MP1570A
SONET/SDH/PDH/ATM アナライザ
取扱説明書
Vol.2
リモートコントロール

第 11 版

・製品をご使用前に必ず本取扱説明書をお読みください。
・安全にお使いいただくための重要事項は，MP1570A SONET/SDH/PDH/ATM アナライザ取扱説明書に記載してありますのでそちらをお読みください。
・本書は製品とともに保管してください。

アンリツ株式会社

管理番号：M-W1721AW-11.0

安全情報の表示について

当社では人身事故や財産の損害を避けるために，危険の程度に応じて下記のようなシグナルワードを用いて安全に関する情報を提供しています。記述内容を十分理解して機器を操作するようにしてください。
下記の表示およびシンボルは，そのすべてが本器に使用されているとは限りません。また，外観図などが本書に含まれるとき，製品に張り付けたラベルなどがその図に記入されていない場合があります。

説明書中の表示について

危険　回避しなければ，死亡または重傷に至る切迫した危険状況があることを警告しています。

警告　回避しなければ，死亡または重傷に至る可能性がある潜在的危険について警告しています。

注意　回避しなければ，軽度または中程度の人体の傷害に至る可能性がある潜在的危険，または，物的損害の発生のみが予測されるような危険状況について警告しています。

機器に表示または説明書に使用されるシンボルについて

機器の内部や操作箇所の近くに，または説明書に，安全上あるいは操作上の注意を喚起するための表示があります。
これらの表示に使用しているシンボルの意味についても十分理解して，注意に従ってください。

禁止行為を示します。丸の中や近くに禁止内容が描かれています。

守るべき義務的行為を示します。丸の中や近くに守るべき内容が描かれています。

警告や注意を喚起することを示します。三角の中や近くにその内容が描かれています。

注意すべきことを示します。四角の中にその内容が書かれています。

このマークを付けた部品がリサイクル可能であることを示しています。

MP1570A
SONET/SDH/PDH/ATM アナライザ
取扱説明書　Vol.2 リモートコントロール

2000年（平成12年）２月13日（初　版）
2005年（平成17年）９月27日（第11版）

・予告なしに本書の内容を変更することがあります。
・許可なしに本書の一部または全部を転載・複製することを禁じます。
Copyright © 2000-2005, ANRITSU CORPORATION
Printed in Japan

品質証明

アンリツ株式会社は，本製品が出荷時の検査により公表規格を満足していること，ならびにそれらの検査には，産業技術総合研究所（National Institute of Advanced Industrial Science and Technology）および情報通信研究機構（National Institute of Information and Communications Technology）などの国立研究所によって認められた公的校正機関にトレーサブルな標準器を基準として校正した測定器を使用したことを証明します。

品質保証

アンリツ株式会社は，納入後 1 年以内に製造上の原因に基づく故障が発生した場合は，無償で修復することを保証します。
ただし，次のような場合は上記保証の対象外とさせていただきます。

- 取扱説明書に記載されている保証対象外に該当する故障の場合。
- お客様の誤操作，誤使用，無断改造・修理による故障の場合。
- 通常の使用を明らかに超える過酷な使用による故障の場合。
- お客様の不適当または不十分な保守による故障の場合。
- 火災，風水害，地震，そのほか天災地変などの不可抗力による故障の場合。
- 指定外の接続機器，応用機器，応用部品，消耗品による故障の場合。
- 指定外の電源，設置場所による故障の場合。

また，この保証は，原契約者のみ有効で，再販売されたものについては保証しかねます。

アンリツ株式会社は，本製品の欠陥に起因する損害のうち，予見できない特別の事情に基づき生じた損害およびお客様の取引上の損失については，責任を負いかねます。

当社へのお問い合わせ

本製品の故障については，本説明書（紙版説明書では巻末，CD 版説明書では別ファイル）に記載の「本製品についてのお問い合わせ窓口」へすみやかにご連絡ください。

国外持出しに関する注意

1. 本製品は日本国内仕様であり，外国の安全規格などに準拠していない場合もありますので，国外へ持ち出して使用された場合，当社は一切の責任を負いかねます。
2. 本製品および添付マニュアル類は，輸出および国外持ち出しの際には，「外国為替及び外国貿易法」により，日本国政府の輸出許可や役務取引許可を必要とする場合があります。また，米国の「輸出管理規則」により，日本からの再輸出には米国政府の再輸出許可を必要とする場合があります。
   本製品や添付マニュアル類を輸出または国外持ち出しする場合は，事前に必ず弊社の営業担当までご連絡ください。
   輸出規制を受ける製品やマニュアル類を廃棄処分する場合は，軍事用途等に不正使用されないように，破砕または裁断処理していただきますようお願い致します。

はじめに

MP1570A SDH/PDH/ATM アナザイザの取扱説明書は，Vol.1～Vo.7 で構成されています。Vol.1 の基本操作は，「SDH 編」と「SONET 編」があります。使用の目的に合わせて使い分けてください。

MP1570A 取扱説明書の構成

- **Vol.1**
  - **基本操作 SDH 編**
    MP1570A の基本操作，PDH に関する測定，および 622M（STM4）までの SDH に関する測定について説明しています（基本的な内容は**「基本操作 SONET 編」**と同じです）。
  - **基本操作 SONET 編**
    MP1570A の基本操作，DSn に関する測定，および 622M（STS12）までの SONET に関する測定について説明しています（基本的な内容は**「基本操作 SDH 編」**と同じです）。
- **Vol.2**
  - **リモートコントロール （本書）**
    GPIB，RS-232C，および Ethernet インタフェースを使用したリモート制御およびプログラム例について説明しています（MP1570A は SPCI に対応しています）。
- **Vol.3**
  - **ATM 測定**
    ATM 信号の発生と解析に関する画面の説明，操作方法，およびリモート制御について説明しています。
- **Vol.4**
  - **2.5G・10G 測定**
    2.5G（STM16/STS48）および 10G（STM64/STS192）に関する画面の説明，操作方法，およびリモート制御について説明しています。
- **Vol.5**
  - **Add/Drop 機能**
    Add/Drop 機能に関する各画面の説明，操作方法，およびリモート制御について説明しています。
- **Vol.6**
  - **ジッタ・ワンダ測定**
    ジッタ（Tx）／周波数オフセット，ジッタ(Rx)，ワンダに関する画面の説明，操作方法，およびリモート制御について説明しています。
- **Vol.7**
  - **2.5G ジッタ・ワンダ測定**
    2.5G のジッタ（Tx）／周波数オフセット，ジッタ(Rx)，ワンダに関する画面の説明，操作方法，およびリモート制御について説明しています。

本取扱説明書の使いかた

本書で説明する内容について

本書（MP1570A 取扱説明書 Vol.2　リモートコントロール）では，おもに GPIB，RS-232C，および Ethernet インタフェースを使用したリモート制御およびプログラム例について説明しています（MP1570A は SPCI に対応しています）。

画面の表記について

本器は，「Setup」，「Test menu」，「Result」，および「Analyze」の４つの主画面を持っています。また，それぞれの主画面は副画面を持っています（詳細は，MP1570A 取扱説明書 Vol.1 の**「４章 画面とパラメータの設定手順について」**をご覧ください）。

たとえば主画面に「Setup」，副画面に「Mapping」を選択する場合には，本書では「Setup : Mapping 画面」と表記しています。

正面パネルのキーの表記について

本文中にでてくる (*****) [*****] は，正面パネルのキーを表します。

目 次

１章 概要 1-1

1.1 インタフェース機能 1-3

1.2 システムアップ例 1-4

２章 GPIB インタフェース 2-1

2.1 GPIB インタフェースファンクション 2-3

2.2 デバイス メッセージ リスト 2-4

2.3 バスコマンド 2-5

2.4 GPIB ケーブルの接続 2-6

2.5 GPIB の設定 2-7

2.6 デバイスの初期化 2-9

３章 RS-232 インタフェース 3-1

3.1 デバイス メッセージ リスト 3-3

3.2 RS-232C ケーブルの接続 3-4

3.3 RS-232C の設定 3-5

3.4 デバイスの初期化 3-7

４章 Ethernet インタフェース 4-1

4.1 デバイス メッセージ リスト 4-3

4.2 Ethernet ボードの初期化 4-5

4.3 ネットワークとの接続とデータの流れ 4-9

５章 リスナ入力フォーマット 5-1

5.1 リスナ入力プログラムメッセージ 5-3

5.2 プログラムメッセージの構成要素 5-5

5.3 プログラムデータのフォーマット 5-15

６章 トーカ出力フォーマット 6-1

6.1 トーカ出力レスポンスメッセージの書式 6-3

6.2 レスポンスメッセージの機能要素 6-4

目 次

７章 IEEE488.2 共通コマンド 7-1

８章 ステータス報告 8-1

8.1 MP1570A のステータスレジスタの構成 8-3

8.2 IEEE488.2 規定ステータスレジスタ 8-6

8.3 SCPI 規定ステータスレジスタ 8-8

8.4 MP1570A 固定ステータスレジスタ 8-9

8.5 ステータスレジスタの読み取り，書き込み，クリア 8-16

９章 SCPI の概要 9-1

9.1 SPCI について 9-3

9.2 コマンドの構造 9-3

9.3 コマンドの記述法 9-4

9.4 コマンドの複合 9-5

9.5 パラメータ 9-5

10 章 デバイスメッセージの詳細 10-1

10.1 レスポンスフォーマット 10-3

10.2 バッファサイズの規定 10-4

10.3 装置固有コマンド 10-5

11 章 プログラム例 11-1

11.1 サンプルプログラム(1) ループバック測定 11-3

11.2 サンプルプログラム(2) モニタ測定 11-9

付録

付録Ａ Conformance Information A-1

付録Ｂ 自己診断エラーコード B-1

付録Ｃ コマンド・画面の対応 C-1

1章　概要

MP1570A SONET/SDH/PDH/ATM Analyzer は，外部コントローラと接続することにより，測定を自動化することができます。接続には，オプションである GPIB インタフェース，RS-232C インタフェース，または Ethernet インタフェースを用います。
この章では，インタフェースの機能およびシステムアップ例について説明します。

1.1 インタフェース機能 1-3
1.2 システムアップ例 1-4

1.1 インタフェース機能

MP1570A には，背面にリモート制御用のコネクタがあります。
GPIB オプション，RS-232C オプション，または Ethernet オプションを装着することにより，本器のリモート制御や，データの外部プリンタ出力ができます。

GPIB オプションと RS-232C オプションのどちらをリモート制御用に割り当てるかは，Setup 主画面の System 副画面で設定します。

GPIB インタフェース ..... 本器の GPIB インタフェースは，IEEE（Institute of Electrical and Electronic Engineers）std 488.1-1987 に準拠しています。また，ソフトウエアの規格は，IEEE488.2 および SCPI(Standard Commands for Programmable Instruments（詳細は 9 章参照）に準拠しています。

RS-232C インタフェース ..... GPIB インタフェースを使用した場合と同じコマンドを，使用することができます。

Ethernet インタフェース ..... GPIB インタフェースを使用した場合と同じコマンドを，使用することができます。

本器には，下記のようなインタフェース機能があります。

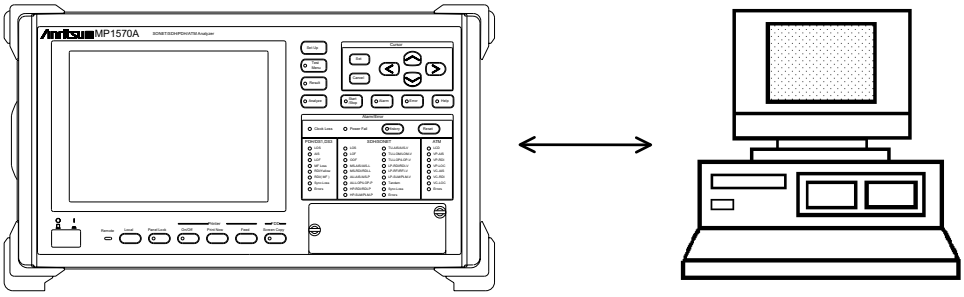
- 電源スイッチおよび Local キーなどの一部を除くすべての機能の制御
- すべての設定条件と画面表示内容の読み出し
- 外部プリンタへの出力。

1.2 システムアップ例

インタフェースを用いたシステムアップ例を下に示します。

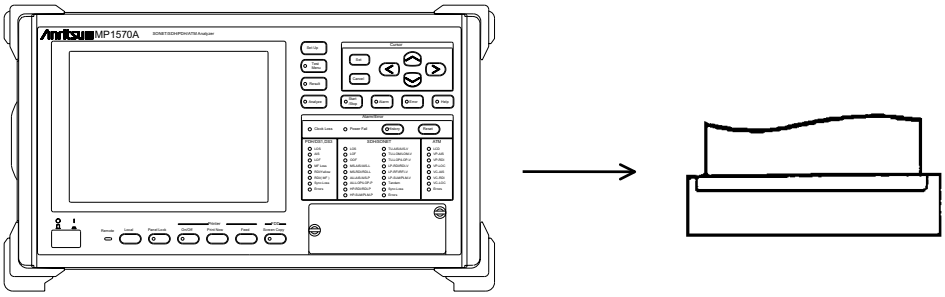
ホストコンピュータからの制御

ホストコンピュータを接続して，本器を自動で測定します。



外部プリンタへの出力

プリンタを接続して，パネル操作により本器で測定したデータをプリンタへ出力します。



２章　GPIB インタフェース

この章では，オプションの GPIB インタフェースを使用する場合の，GPIB インタフェースファンクションと設定について説明します。

2.1 GPIB インタフェースファンクション 2-3
2.2 デバイス メッセージ リスト 2-4
2.3 バスコマンド..... 2-5
2.4 GPIB ケーブルの接続 2-6
2.5 GPIB の設定..... 2-7
2.6 デバイスの初期化 2-9
2.6.1 バスの初期化..... 2-9
2.6.2 メッセージの初期化..... 2-9
2.6.3 デバイスの初期化 2-10
2.6.4 電源スイッチを On にしたときのデバイスの状態 2-10

2.1　GPIB インタフェースファンクション

本器はデバイスとしての機能を持ち，コントローラとしての機能は持っていません。そのためインタフェースファンクションは IEEE488.2 規定に対して下の表のようになります。

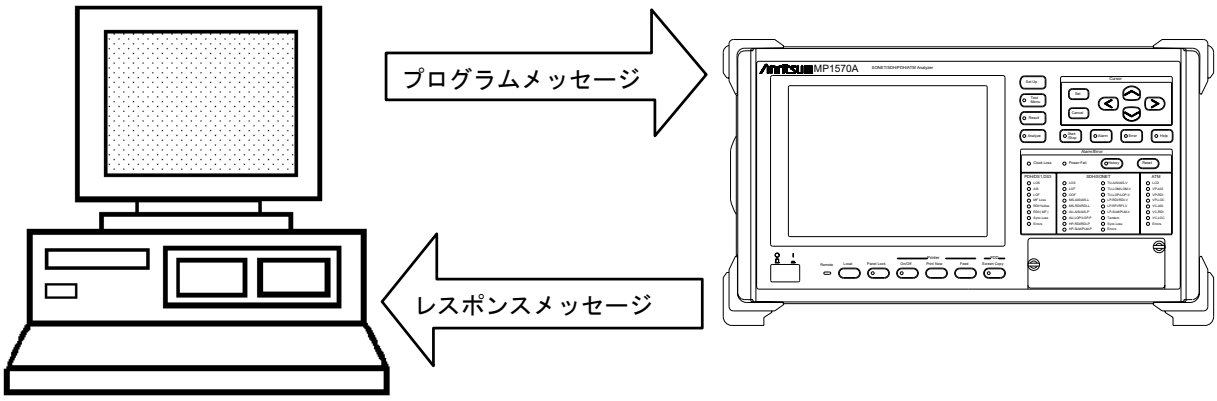
コード	インタフェースファンクション	IEEE488.2 規定
SH1	ソースハンドシェイクの全機能あり	全機能標準装備
AH1	アクセプタハンドシェイクの全機能あり	全機能標準装備
T5	基本的トーカ機能あり シリアルポール機能あり トークオンリモード機能あり MLA によるトーカ解除機能あり	デバイスは，T5，T6，TE5，TE6 いずれかのサブセットを有すること
L4	基本的リスナ機能あり リスンオンリモード機能なし MTA によるリスナ解除機能あり	デバイスは，L3，L4，LE3，LE4 いずれかのサブセットを有すること
SR1	サービスリクエストの全機能あり	全機能標準装備
RL1	リモート・ローカルの全機能あり	RL0(機能なし)または RL1(全機能)リモート・ローカルの全機能あり
PP0	パラレルポール機能なし	PP0(機能なし)または PP1(全機能)
DC1	デバイスクリアの全機能あり	全機能標準装備
DT1	デバイストリガの全機能あり	DT0(機能なし)または DT1(全機能)
C0	システムコントローラの機能なし	C0(機能なし)，C4 と C5，または C7，C9，C11 のいずれか

2.2 デバイス メッセージ リスト

デバイスメッセージは，バスのモードがデータモードのとき（ATN ラインが「H」のとき）に，システムインタフェースを通してコントローラとデバイス間で送受されるデータメッセージです。デバイスメッセージには，プログラムメッセージとレスポンスメッセージがあります。
プログラムメッセージは，コントローラからデバイスへ転送される ASCII データメッセージです。また，レスポンスメッセージは，デバイスからコントローラへ転送されるデータメッセージです。

プログラムメッセージとレスポンスメッセージには，それぞれ次の種類があります。

プログラムメッセージ（詳細は５章）	レスポンスメッセージ（詳細は７章）
プログラム命令 ・装置固有コマンド(詳細は 10 章) ・IEEE488.2 共通コマンド (詳細は７章) プログラム問い合わせ	ステータスメッセージ (詳細は８章) レスポンスメッセージ



コントローラ　　MP1570A

上述したメッセージは，デバイスの入出力バッファを介してやり取りされます。以下に，入出力バッファについて簡単に説明します。

入力バッファ	出力キュー
DAB（プログラムメッセージや問い合わせメッセージ）を構文解析する前に一時的に蓄えておく FIFO (First in First out)タイプのメモリエリアです。本器の入力バッファサイズは 256 バイトあります。	FIFO タイプの待ち行列メモリエリアです。デバイスからコントローラへ出力されるすべての DAB（レスポンスメッセージ）は，コントローラがそれを読み終わるまでは，このメモリに蓄えられます。

2.3 バスコマンド

バスコマンドとはバスのモードがコマンドモードのとき（ATN ラインが”L”のとき）に送られるインタフェースの内部通信のことをです。
バスコマンドの一覧を下の表に示します。

バスコマンド	動 作
DCL(Device clear)	GPIB バスに接続されている全装置のメッセージ交換を初期化します。
SDC(Selected Device Clear)	アドレスされた装置のメッセージ交換を初期化します。動作は DCL と同じです。
GET(Group Execute Trigger)	Start/Stop キーが押された場合と同じ動作を行います。
IFC(Interface Clear)	インタフェースを初期化します。

2.4 GPIB ケーブルの接続

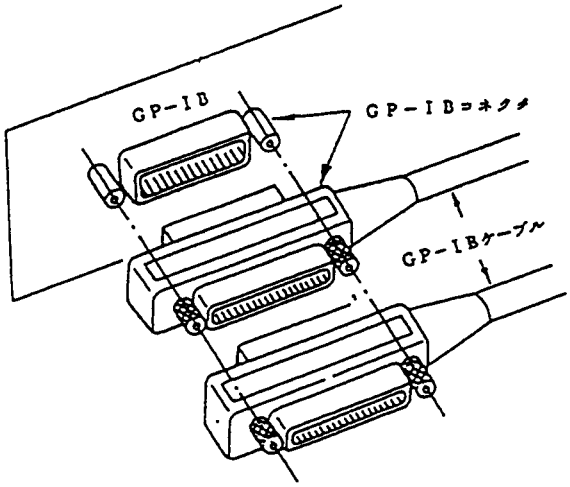
GPIB ケーブルは背面パネルの GPIB コネクタに接続してください。

GPIB を用いたシステムには下記のような制限があります。装置の接続は，下記の条件に従って行ってください。

接続可能なデバイス数 ≦ 15 台

ケーブル長の総和 ≦ ２ｍ×デバイスの数

（最大 20m）



2.5　GPIB の設定

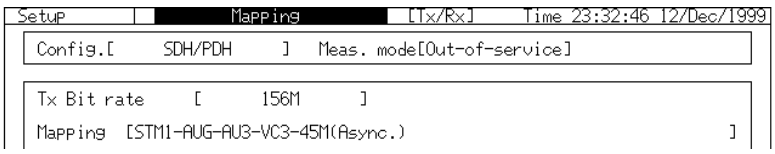
リモートインタフェースとして GPIB を使用する場合は，装置をローカル状態にして，Setup 主画面の中の System 副画面で，下の表に示す設定をキー操作によって行ってください。

設定内容	設定項目	設定値
リモート制御に使用するインタフェースの選択	Control select	GPIB :GPIB インタフェースをリモート制御に使用 (RS-232C オプションが装着されていない場合，本設定はありません。)
インタフェースの使用方法の設定	GPIB Interface	Control :リモート制御に使用 Printer :外部プリンタに使用
アドレスの設定	Address	0～30

設定の手順

(1) 正面パネルの Set Up を押すと，Set up 主画面が開きます。

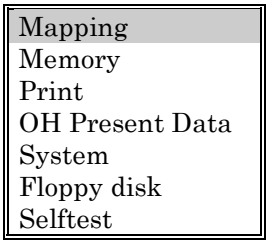
Setup 主画面は，画面左上部に Setup と表示されています。



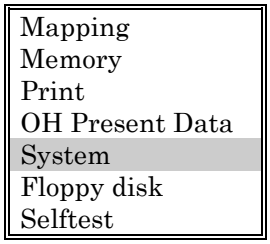
(2) < > ∧ ∨ で，上図の網掛けの部分にカーソルを移動し Set を押すと，下記のようなウインドウが開くので，System 副画面を選択します。

System 副画面を選択するには，カーソルキーを使って System の上にカーソルを移動させ， Set を押します。

(1)



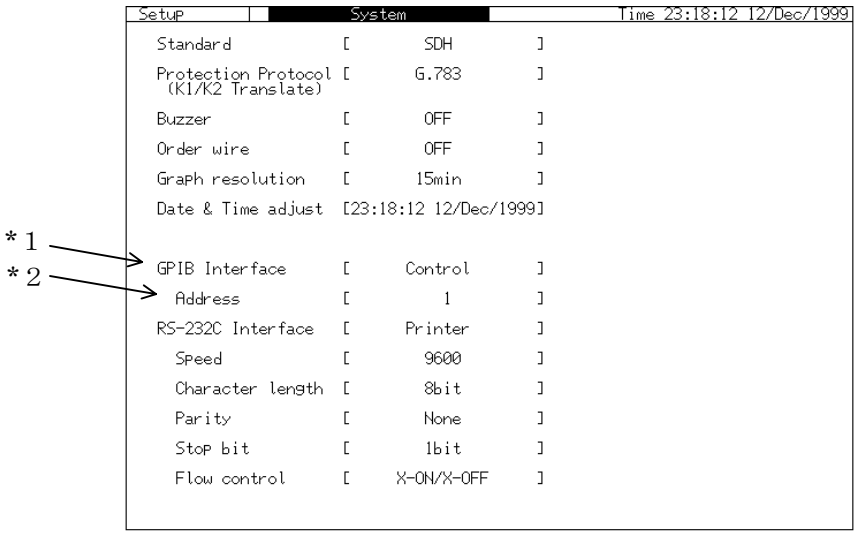
(2)



(3) (1)と(2)の操作により，System 副画面に移行します。

*1～*2 の位置にカーソルを移動して，設定してください。

設定の詳細については，「MP1570A 取扱説明書 Vol.1 基本操作」をご覧ください。



2.6 デバイスの初期化

IEEE488.2 では，システムの初期化について，バスの初期化，メッセージの初期化，およびデバイスの初期化の３つのレベルで規定しています。

レベル	初期化の種類	概要
1	バスの初期化	コントローラからの IFC メッセージによって，バスに接続されたすべてのインタフェース機能を初期化します。
2	メッセージの初期化	GPIB バスコマンド DCL によって GPIB 上の全デバイス，またはバスコマンド SDC によって指定したデバイスのメッセージ交換の初期化やオペレーションが終了したことを，コントローラへ報告する機能を無効にします。
3	デバイスの初期化	*RST によって過去の使用状態に関係なく，そのデバイス固有の，既知の状態に戻します。

2.6.1 バスの初期化

IFC　　IFC ステートメントによるバスの初期化

機 能　　IFC ラインを約 100μs の間アクティブ状態にし，GPIB バスラインに接続されているすべてのデバイスのインタフェース機能を初期化します。
IFC は，システムコントローラのみが送信できます。

2.6.2 メッセージの初期化

DCL，SDC　　DCL，SDC バスコマンドによるメッセージ交換の初期化

機 能　　GPIB 上の全デバイス，または指定したデバイスだけの，メッセージ交換に関する初期化を行います。
パネルの設定状態を変える必要はないが，他のプログラムの実行などで，デバイス内部のメッセージ交換に関係する部分がコントローラから制御するには不適当な状態になっている場合に，メッセージ交換を初期化します。
メッセージ交換を初期化することによって，コントローラから新しい命令を送ることができます。

DCL：GPIB 上のすべてのデバイスに対するメッセージ交換を初期化します。

SDC：指定したデバイスに対するメッセージ交換を初期化します。

2.6.3 デバイスの初期化

＊RST　　＊RST コマンドによるデバイスの初期化

機 能　　デバイス固有の機能を，過去の使用来歴にかかわらず，ある既知の状態へ戻します。

本器では，電源スイッチを On にしたときと同じ状態へ戻します。

2.6.4 電源スイッチを On にしたときのデバイスの状態

本器の電源スイッチを On にすると，下記の状態になります。

- 電源スイッチを Off にしたときの状態が設定されます。
- 入力バッファと出力キューは，クリアされます。
- 構文解析部，実行制御部，および応答作成部はリセットされます。

3 章　RS-232C インタフェース

この章では, オプションの RS-232C インタフェースを使用する場合の設定について説明します。

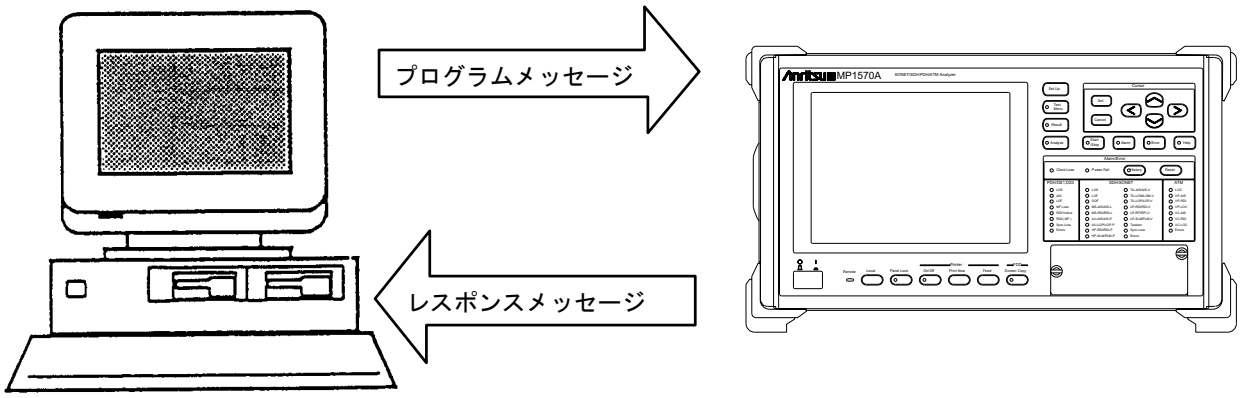
3.1 デバイス メッセージ リスト 3-3
3.2 RS-232C ケーブルの接続 3-4
3.3 RS-232C の設定..... 3-5
3.4 デバイスの初期化 3-7
3.4.1 デバイスの初期化 3-7
3.4.2 電源スイッチを On にしたときのデバイスの状態 3-7

3.1 デバイス メッセージ リスト

デバイスメッセージは，システムインタフェースを通してコントローラとデバイス間で送受されるデータメッセージです。デバイスメッセージには，プログラムメッセージとレスポンスメッセージがあります。
プログラムメッセージはコントローラからデバイスへ転送される ASCII データメッセージです。また，レスポンスメッセージはデバイスからコントローラへ転送されるデータメッセージです。

プログラムメッセージ，レスポンスメッセージにはそれぞれ次の種類があります。

プログラムメッセージ（詳細は５章）	レスポンスメッセージ（詳細は６章）
プログラム命令 ・装置固有コマンド(詳細は 10 章) ・IEEE488.2 共通コマンド (詳細は 7 章) プログラム問い合わせ	ステータスメッセージ (詳細は 8 章) レスポンスメッセージ



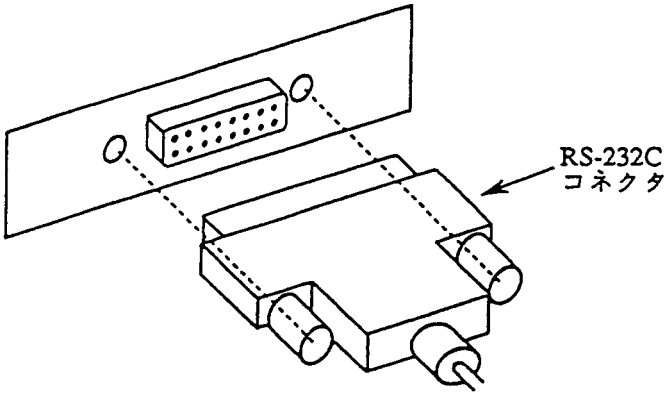
コントローラ　　MP1570A

上述前述したメッセージは，デバイスの入出力バッファを介してやり取りされます。以下に，　入出力バッファについて簡単に説明します。

入力バッファ	出力キュー
DAB（プログラムメッセージや問い合わせメッセージ）を構文解析する前に一時的に蓄えておく FIFO (First in First out)タイプのメモリエリアです。本器の入力バッファサイズは 256 バイトあります。	FIFO タイプの待ち行列メモリエリアです。デバイスからコントローラへ出力するすべての DAB（レスポンスメッセージ）は，コントローラがそれを読み終わるまでは，このメモリに蓄えられます。

3.2　RS-232C ケーブルの接続

RS-232C ケーブルは背面パネルのコネクタに接続してください。



3.3　RS-232C の設定

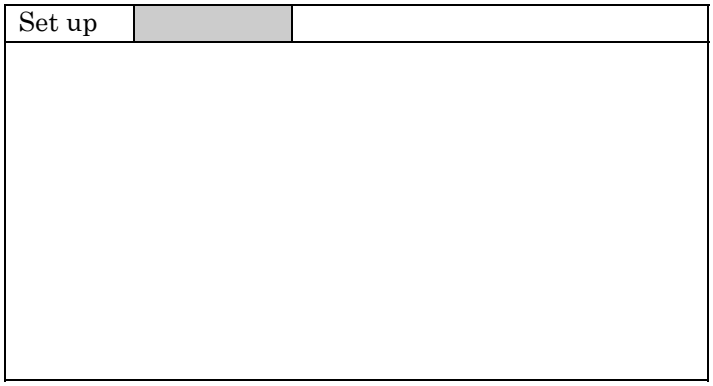
自動制御インタフェースとして RS-232C を使用する場合は，装置をローカル状態にしておき，下の表に示す設定を正面パネルのキー入力によって行ってください。この設定は Setup 主画面の中の System 副画面で行います。

設定内容	設定項目	設定範囲
インタフェースの使用方法の設定	RS-232C Interfac	Control:リモート制御に使用 Printer:外部プリンタに使用
符号速度の設定	Speed	19200bps,9600bps,4800bps,2400bps 1200bps,600bps,300bps
キャラクタ長の設定	Character length	8bits,7bits
パリティの設定	Parity	None:なし Even:偶数パリティ Odd :奇数パリティ
ストップビット長の設定	Stop Bit	2bits,1bit
フロー制御方法の設定	Flow Control	Ready/Busy:RS232C の制御ラインを使用 XON/XOFF:XON/XOFF キャラクタを使用

上に示した設定は Set up 主画面の中の System 副画面で行ってください。

(1) Set Up を押すと，Set up 主画面が開きます。

Setup 主画面は，画面左上部に Setup と表示されています。



(2) 上図の網掛けの部分にカーソルを移動し，Set を押すと，下記のようなウインドウが開くので，System 副画面を選択します。System 副画面を選択するには，カーソルキーを使って System の上にカーソルを移動させ，Set を押します。

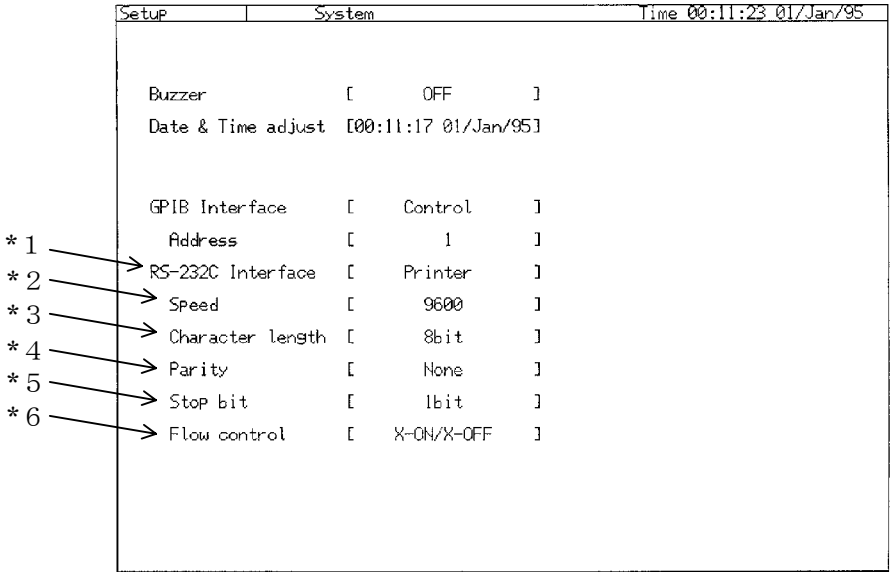
(1)

Mapping
Memory
Print
OH Present Data
System
Floppy disk
Selftest

(2)

Mapping
Memory
Print
OH Present Data
System
Floppy disk
Selftest

(3) (1)と(2)の操作により，System 副画面に移行します。
*1～*6 の位置に反転カーソルを移動し，設定してください。
設定の詳細については本体取扱説明書を参照してください。



3.4 デバイスの初期化

RS-232C インタフェースを使用する場合のデバイスの初期化を行うコマンドとして，本器は＊RST コマンドをサポートしています。

3.4.1 デバイスの初期化

＊RST　　＊RST コマンドによるデバイスの初期化

機 能　　デバイス固有の機能を過去の使用来歴にかかわらず，ある既知の状態へ戻します。

本器では，電源スイッチを On にしたときと同じ状態へ戻します。

3.4.2 電源スイッチを On にしたときのデバイスの状態

本器の電源スイッチを On にすると，下記の状態になります。

- 電源スイッチを Off にしたときの状態が設定されます。
- 入力バッファと出力キューは，クリアされます。
- 構文解析部，実行制御部，および応答作成部はリセットされます。

４章　Ethernet インタフェース

この章では，オプションの Ethernet インタフェースを使用する場合の設定について説明します。

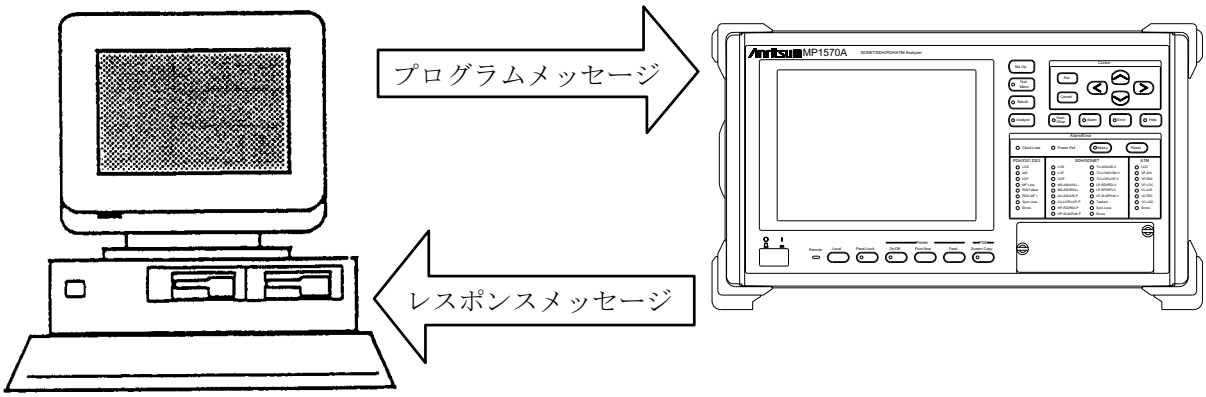
4.1 デバイス メッセージ リスト 4-3
4.2 Ethernet ボードの初期化 4-5
4.3 ネットワークとの接続とデータの流れ..... 4-9

4.1 デバイス メッセージ リスト

デバイスメッセージは，システムインタフェースを通してコントローラとデバイス間で送受されるデータメッセージです。デバイスメッセージには，プログラムメッセージとレスポンスメッセージがあります。
プログラムメッセージはコントローラからデバイスへ転送される ASCII データメッセージです。また，レスポンスメッセージはデバイスからコントローラへ転送されるデータメッセージです。

プログラムメッセージ，レスポンスメッセージにはそれぞれ次の種類があります。

プログラムメッセージ（詳細は５章）	レスポンスメッセージ（詳細は６章）
プログラム命令 ・装置固有コマンド(詳細は 10 章) ・IEEE488.2 共通コマンド (詳細は 7 章) プログラム問い合わせ	ステータスメッセージ (詳細は８章) レスポンスメッセージ



コントローラ　　MP1570A

上述したメッセージは，デバイスの入出力バッファを介してやり取りされます。以下に，入出力バッファについて簡単に説明します。

入力バッファ	出力キュー
DAB（プログラムメッセージや問い合わせメッセージ）を構文解析する前に一時的に蓄えておく FIFO (First in First out)タイプのメモリエリアです。本器の入力バッファサイズは 256 バイトあります。	FIFO タイプの待ち行列メモリエリアです。デバイスからコントローラへ出力するすべての DAB（レスポンスメッセージ）は，コントローラがそれを読み終わるまでは，このメモリに蓄えられます。

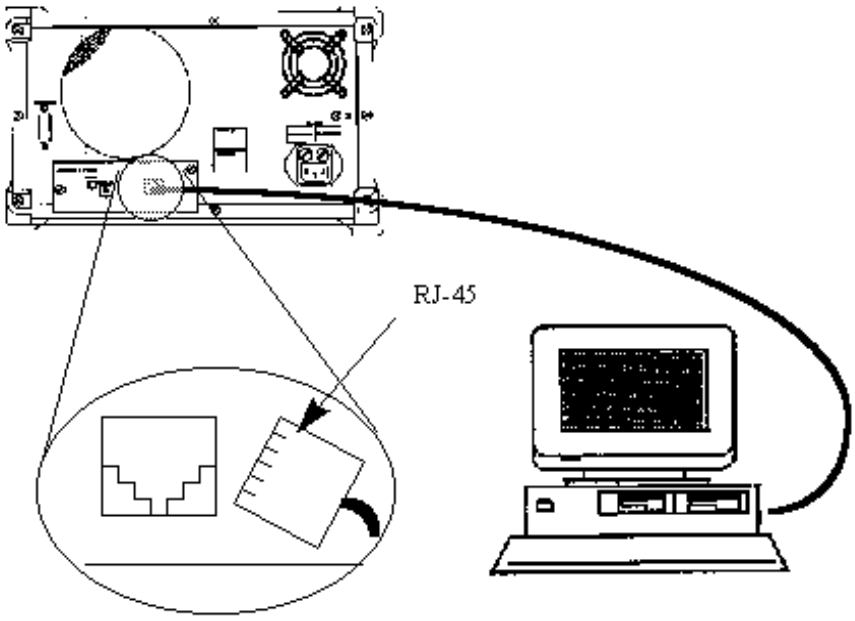
Ethernet インタフェースを使用する場合には，本器を TCP/IP のネットワークに接続する必要があります。また，接続して使用する場合には，本器がサーバとして動作することになります。

4.2　Ethernet ボードの初期化

Ethernet インタフェースを初期化する場合には，設定用に PC などの端末が必要になります。本器と端末とのローカルなネットワークを構築し，以下の手順で初期化します。このとき，端末では FTP を使います。

(1) 本器の Ethernet ボードと端末を接続して，ローカルなネットワークを構築します。

- 下図に示す接続で，端末と本器はローカルネットワークとして物理的につながることになります。しかし，お客様の端末で設定している IP アドレスと，本器の初期化のために起動する IP アドレスは，ネットワーク部が通常異なるため，同一のネットワークとして取り扱うことができません。このため，初期化を行うために，端末の IP アドレスを，本器の初期化のための IP アドレス(128.128.128.XXX XXX は 128 以外の 1～256）に設定してから操作してください。



(2) 本器の Ethernet ボードのスイッチを，「8」に設定して電源スイッチを On にします。 このスイッチで起動した場合，IP アドレス 128.128.128.128 の状態で本器が起動します。

(3) 端末から FTP によって本器のコンフィグファイルを読み出し，エディタなどを使って編集し，再度本器にロードします。操作例を下　記に示します。なお，端末での ftp の起動については端末の取扱説明書をご覧ください。

・端末側での操作例

a.本器とコネクションを張る。

ftp>open 128.128.128.128

220 Setup Setup(vx.xx) service ready.

(username)　　→リターンキーを押す。

230 User logged in.

b.本器から設定ファイルを獲得する。

ftp>get ta.cfg

220 Port set okay

150 File status okay;abut to open data connection.

226 Closing data connection,file transfer successful.

c.ta.cfg ファイルをエディタ等によって編集する。

d.本器へ設定ファイルを Load する。

ftp>put ta.cfg

220 Port set okay

150 File status okay;abut to open data connection.

226 Closing data connection,file transfer successful.

e.接続解除をする。

ftp>close

(4) 再度，Ethernet ボードのスイッチを「1」にしてボードの Reset を押してください。

以下に設定ファイル（ta.cfg）のフォーマットとその内容を示します。お客様の環境に合わせて設定してください。このさい，ネットワーク管理者と設定内容についてご相談ください。

ファイルフォーマット

```
NAME:TA-B40 MAC:00-A0-C2-04-9C-BF VER:1.07
RSP:speed=9600,data=8,stop=1,parity=NON,flow=XONXOFF
SSW:0 TIM:0
OIP:172.16.82.47 OPT:257
DIP:2.2.2.2 DPT:514
GIP:172.16.80.1 MSK:255.255.255.0
PRG:NON
```

設定パラメータ範囲

項目	設定値	説明
RSP　speed	9600	左記の Default の値を設定してください。
data	8	
stop	1	
parity	NON	
flow	XONXOFF	
SSW	0～999	本器が FTP サーバのときの, GET コマンドに対するタイムアウト値になります。
TIM	0～999	本項目は使用しません。任意の値を設定してください。
OIP	000.000.000～255.255.255.255 使用禁止 000.000.000.000 255.255.255.255	本器に割り当てた IP アドレスを設定してください。設定は，10 表記の 3 桁ずつをピリオドで区切ってください。 設定に関しては，ネットワーク管理者にご相談ください。
OPT	0～65535	本器のポート番号を設定してください。 本器と端末の通信時に使用される本器宛のポート番号になります。
DIP	000.000.000～255.255.255.255 使用禁止 000.000.000.000 255.255.255.255	Default ゲートウェイ IP アドレスを設定してください。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。
DPT	0～65535	本項目は使用しません。任意の値を設定してください。
GIP	000.000～255.255.255.255 使用禁止 000.000.000.000 255.255.255.255	Default ゲートウェイ IP アドレスを設定してください。詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。
MASK	000.000.000～255.255.255.255 使用禁止 000.000.000.000 255.255.255.255	サブネットマスクを設定してください。 詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。
BID,MAC VER,PRG FILE	変更禁止	Get したデータを書き換えないでください。

注

- IP アドレスについて

TCP/IP を用いたネットワークでは, ネットワークに接続された装置を IP アドレスによって識別します。したがって，IP アドレスは装置固有に割り当てられる必要があります。IP アドレスは 32 ビットからなる番号で，通常は 8 ビットを 4 つに分け，これをドットで区切って表現されます。（これをドット表記とも呼びます。）

IP アドレスには装置（ホスト）の情報以外にネットワークの情報も含まれます。IP アドレスは，ネットワーク部とホスト部のデータ長が，ネットワークのクラスによって規定されています。クラス C の場合には，ネットワーク部 24 ビット，ホスト部 8 ビット構成で最大 254 のホストを接続することができます。クラスは A～E まで定められていますが，通常は A～C までが使われます。

クラス	ネットワーク部の長さ	ホスト部の長さ	割り当て可能なホスト数
A	8 ビット	24 ビット	16,777,214 台
B	16 ビット	16 ビット	65,534 台
C	24 ビット	8 ビット	254 台

- サブネットマスクについて

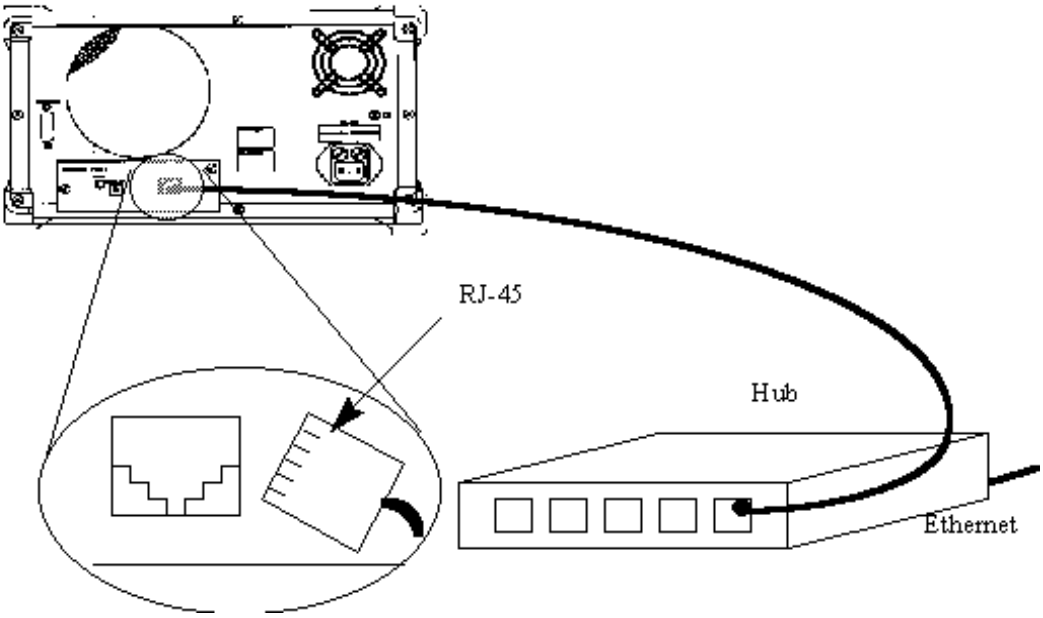
サブネットマスクは，ネットワークをサブネットに分割した場合に，IP アドレスのネットワーク部が何処までなのかを明示するために使用します。上記 IP アドレスのネットワーク部（拡張したサブネット部を含む）を'1'で設定し，ホスト部を 0 で定義したものです。この設定を正しく行わないと，接続するネットワークがサブネットを使用しているときに，IP パケットを正しく送受信することができません。

- ゲートウェイについて

ネットワーク同士を接続する場合に，ゲートウェイと呼ばれる装置が使われます。ゲートウェイには専用機のようなルータと呼ばれるものも含みます。TCP/IP のネットワークでは同じネットワーク内で直接 IP パケットのやり取りが可能です。しかし，異なるネットワークの場合（異なるネットワーク部を持つ IP アドレスの端末）には，ゲートウェイを通してゲートウェイに接続している他のネットワークの中のマシーンと通信することが必要になります。

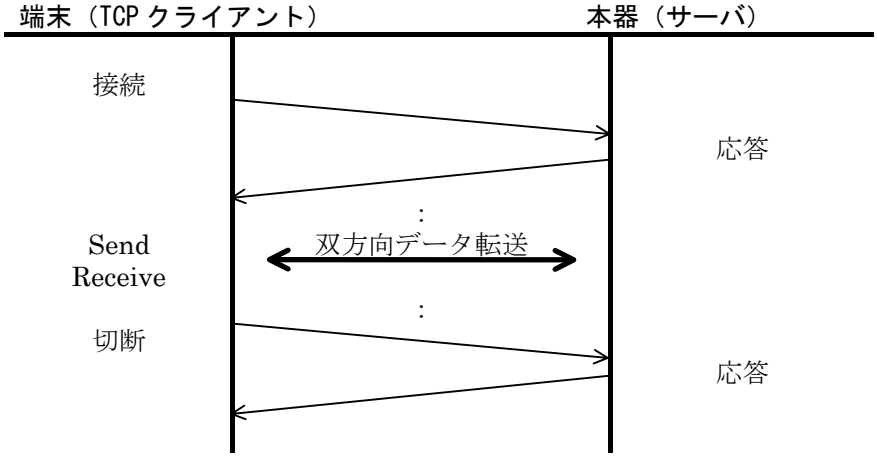
4.3 ネットワークとの接続とデータの流れ

Ethernet ケーブルを本器に接続し，本器をネットワークに接続してください。ネットワークは「4.2 Ethernet ボードの初期化」で説明した接続にしても問題ありません。



なお, 本器との通信は TCP コネクションを使用したデータ通信となります。通信するためには，通信プログラム（ソケットクライアント）を端末側で作成する必要があります。データ通信に使用される IP パケットについては，市販の参考資料をご覧ください。
また，通信に使用されるソケットインタフェースについては端末，装着しているネットワークインタフェースボード，およびドライバソフトの取扱説明書や，市販の参考資料を合わせてご覧ください。

・スイッチ１設定時のデータの流れ



特記：データ通信について

(1) クライアントからのデータを受信バッファに保存します。
内部バッファが満杯になると TCP のフロー制御が発生しクライアントへのコマンドレベルの応答が返らない状態となることがあります。アプリケーションによっては，タイムアウト等で異常終了する場合があります。この時，クライアントとのコネクションは，切断されません。再送等によりアプリケーションの動作を保護する必要があるケースがあります。

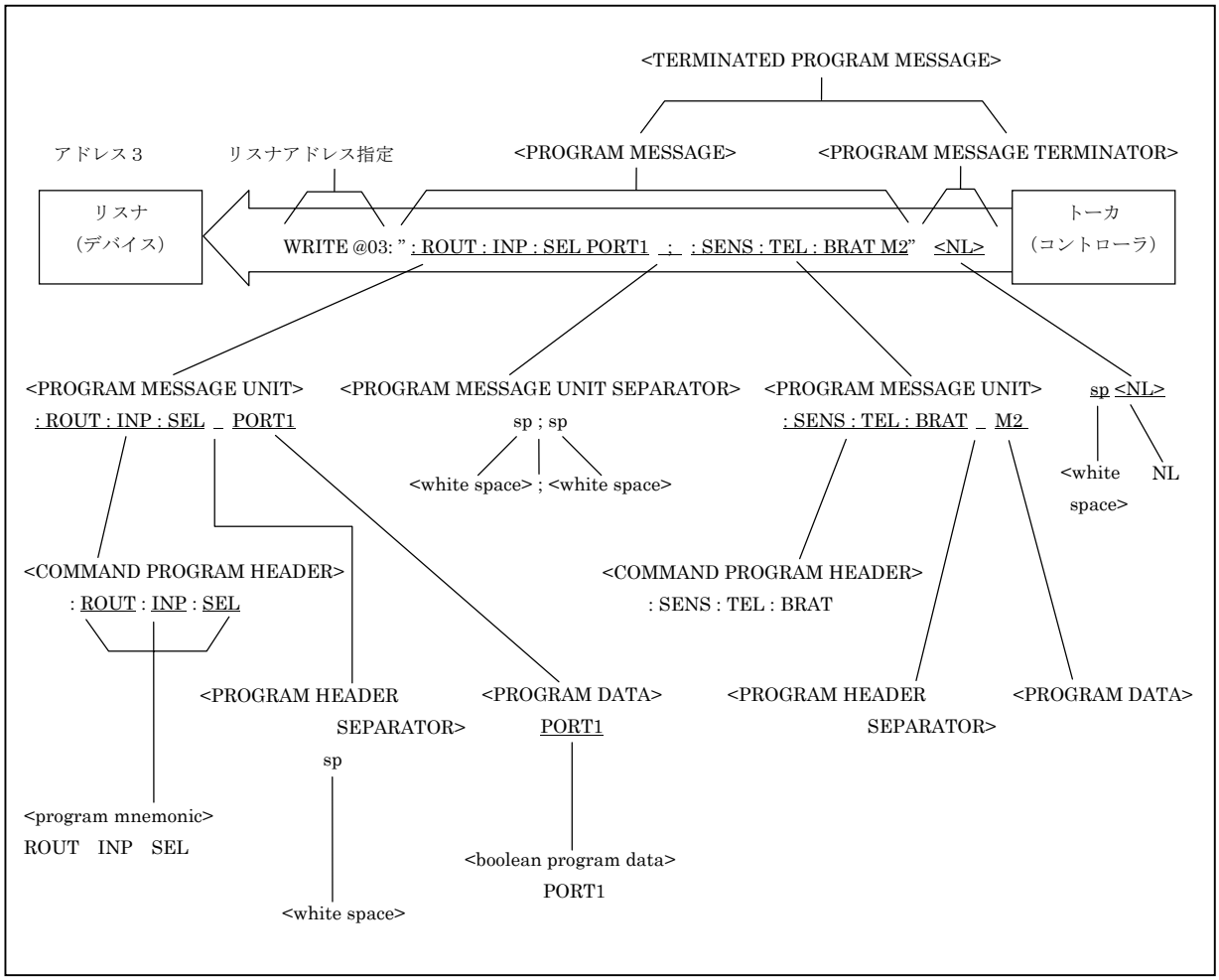
５章　リスナ入力フォーマット

この章では，リスナ（本器）がトーカ（コントローラ）から受信するプログラムメッセージの書式について説明します。
本器の装置固有コマンドは SCPI に準拠しているため, この章の例は SCPI コマンドを使用しています。

5.1 リスナ入力プログラムメッセージ 5-3
5.2 プログラムメッセージの構成要素 5-5
5.2.1 ＜TERMINATED PROGRAM MESSAGE＞ 5-5
5.2.2 ＜PROGRAM MASSAGE TERMINATOR＞ 5-6
5.2.3 ＜white space＞ 5-7
5.2.4 ＜PROGRAM MESSAGE＞ 5-7
5.2.5 ＜PROGRAM MESSAGE UNIT SEPARATOR＞ 5-8
5.2.6 ＜PROGRAM MESSAGE UNIT＞ 5-8
5.2.7 ＜COMMAND MESSAGE UNIT＞/ ＜QUERY MESSAGE UNIT＞ 5-9
5.2.8 ＜COMMAND PROGRAM HEADER＞ 5-11
5.2.9 ＜QUERY PROGRAM HEADER＞ 5-13
5.2.10 ＜PROGRAM HEADER SEPARATOR＞ 5-14
5.2.11 ＜PROGRAMDATASEPARATOR＞ 5-14
5.3 プログラムデータのフォーマット 5-15
5.3.1 ＜CHARACTER PROGRAM DATA＞ 5-16
5.3.2 ＜DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA＞ 5-16
5.3.3 ＜BOOLEAN PROGRAM DATA＞ 5-17
5.3.4 ＜STRING PROGRAM DATA＞ 5-18

5.1 リスナ入力プログラムメッセージの書式

例として，入力コネクタにアンバランスコネクタを選択して，受信信号を2M に設定した場合の，プログラムメッセージを下記に示します。



プログラムメッセージの書式は，機能を表すことのできる最小レベルの単位まで分割した機能要素のシーケンスから構成されます。上図でカギカッコ<>で囲まれた英大文字が機能要素の例です。機能要素をさらに分割したものをコード化要素と呼びます。上図でカギカッコ<>で囲まれた英小文字がコード化要素の例です。

次ページからは機能文法図とコード化文法図を使ってプログラムメッセージの書式を説明します。

・機能文法図　：特定の経路の機能要素の選択を図で表したもの。

・コード化文法図：特定の経路のコード化要素の選択を図で表したもの。

WRITE/READ コマンドは以下の形式となっています。

WRITE　@

装置へデータを出力する。

★書式

WRITE　@装置番号 : データ

データ→ | 数式 | 文字列式 |

＜例＞　前ページの例と同様。

WRITE @03: ” : ROUT : INP : SEL PORT1　;　: SENS : TEL : BRAT M2”

└─ リスナアドレス（SDH/PDH アナライザの GPIB アドレスを３とした場合）

READ　@

装置から入力したデータを変数に代入する。

★書式

READ　@装置番号 : 変数

＜例＞　装置から入力したデータ（入力コネクタの設定）を変数 A$に代入する。

WRITE @03: ” : ROUT : INP : SEL?”　←── 入力コネクタの設定を問い合わせる。

READ @03: A$

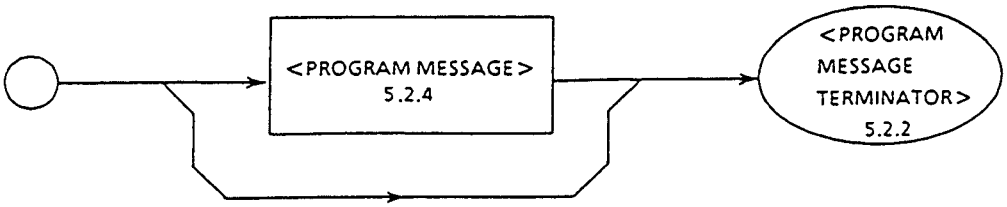
└─ リスナアドレス（SDH/PDH アナライザの GPIB アドレスを３とした場合）

5.2 プログラムメッセージの機能要素

本器は，プログラムメッセージの最後にあるターミネータを検出することにより，プログラムメッセージを受信します。以下，このプログラムメッセージの各機能要素を説明します。

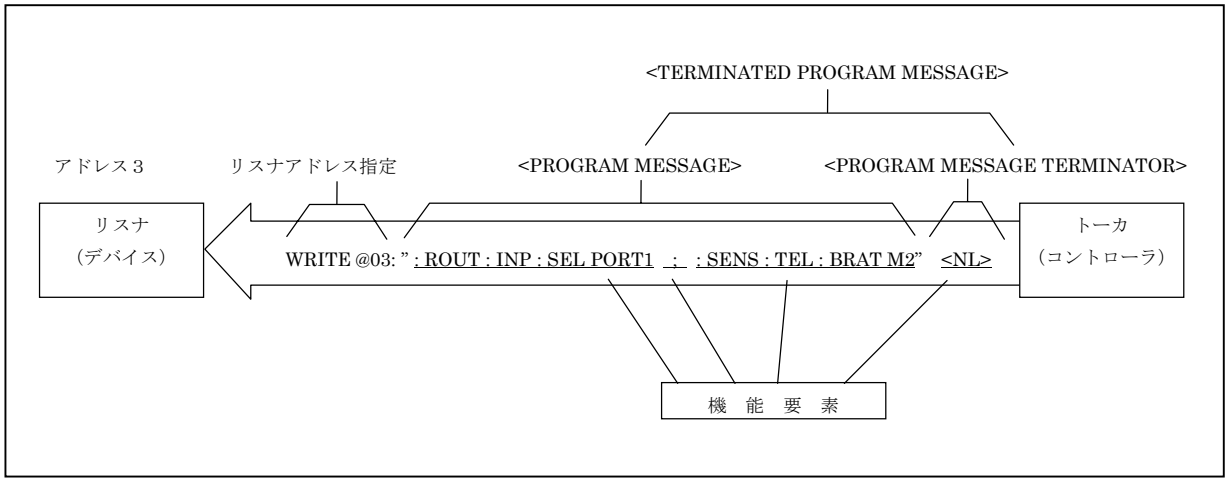
5.2.1 ＜TERMINATED PROGRAM MESSAGE＞

<TERMINATED PROGRAM MESSAGE>は，次のように定義されます。



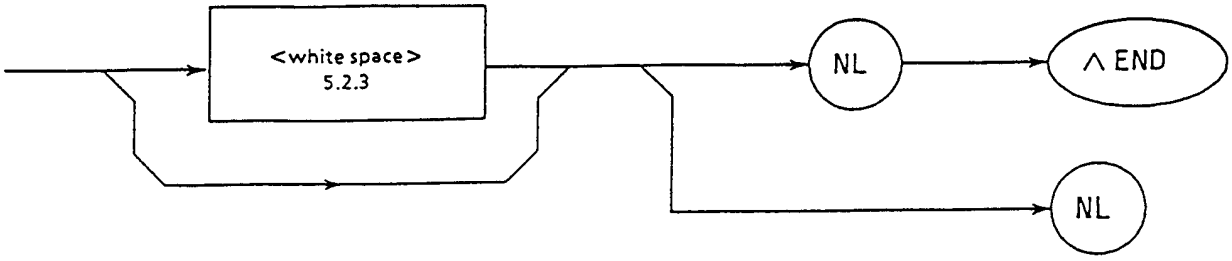
<TERMINATED PROGRAM MESSAGE>は，コントローラから本測定器に送るのに必要なすべての機能要素を満たしたデータメッセージです。<PROGRAM MESSAGE>の転送を完了させるため，<PROGRAM MESSAGE>の最後には<PROGRAM MESSAGE TERMINATOR> が付加されます。

例：２個の命令を送る<TERMINATED PROGRAM MESSAGE>

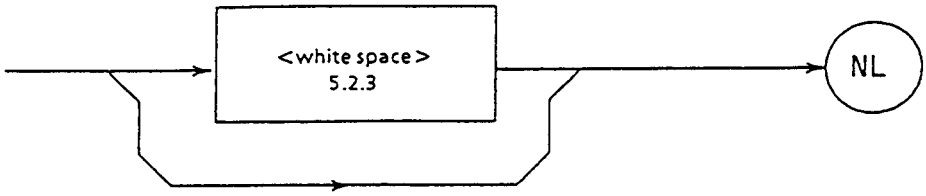


5.2.2 ＜PROGRAM MESSAGE TERMINATOR＞

(1) GPIB インタフェース使用の場合の<PROGRAM MESSAGE TERMINATOR>は，次のように定義されます。



(2) RS-232C インタフェースを使用の場合の<PROGRAM MESSAGE TERMINATOR>は，次のように定義されます。



O

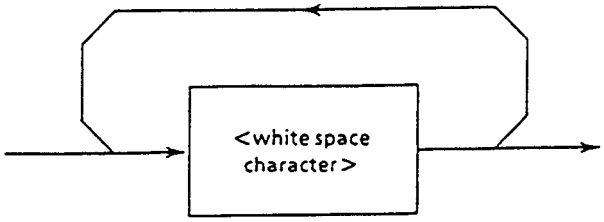
GRAM MESSAGE TERMINATOR>は，１つ，またはそれ以上の長さの<PROGRAM MESSAGE UNIT>要素のシーケンスを終了させます。

NL ..... 単一の ASCII コードバイト 0A（十進数の 10）として定義されます。すなわち，ASCII 制御キャラクタ LF（Line Feed）であり，印字位置を次の行の同じキャラクタ位置へ戻す復帰改行動作を行います。新しい行からスタートするので NL（New Line）とも呼ばれます。

END ..... GPIB 管理バスの EOI (End-or-Identify) ラインを TRUE（LOW レベル）にすることにより，EOI 信号を発生させることができます。EOI ラインを制御するステートメントに EOI ON/OFF 文があります。

5.2.3 ＜white space＞

<white space>は，次のように定義されます。

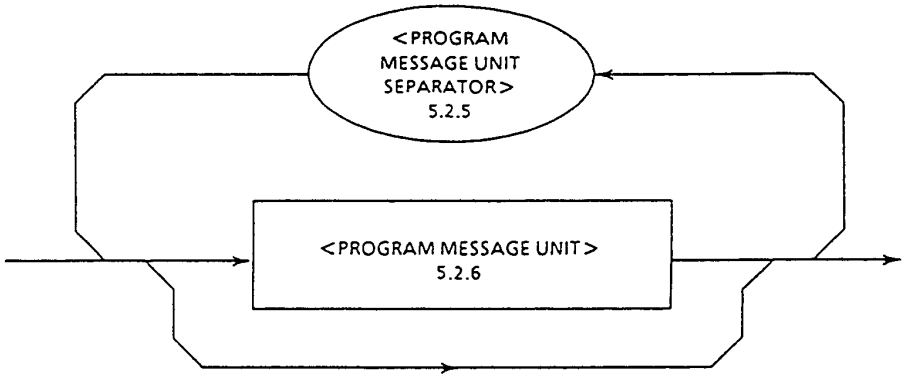


<white space character>は，ASCII コードバイト 00～09，0B～20（十進数，0～9，11～ 32）の範囲の中で，単一の ASCII コードバイトとして定義されます。

ニューラインを除き，その範囲は ASCII コントロール記号およびスペース信号を含みますが，本器はこれらを ASCII コントロール記号の意味として解釈しないで，単にスペースとして処理するか読み飛ばします。

5.2.4 ＜PROGRAM MESSAGE＞

<PROGRAM MESSAGE>は，次のように定義されます。

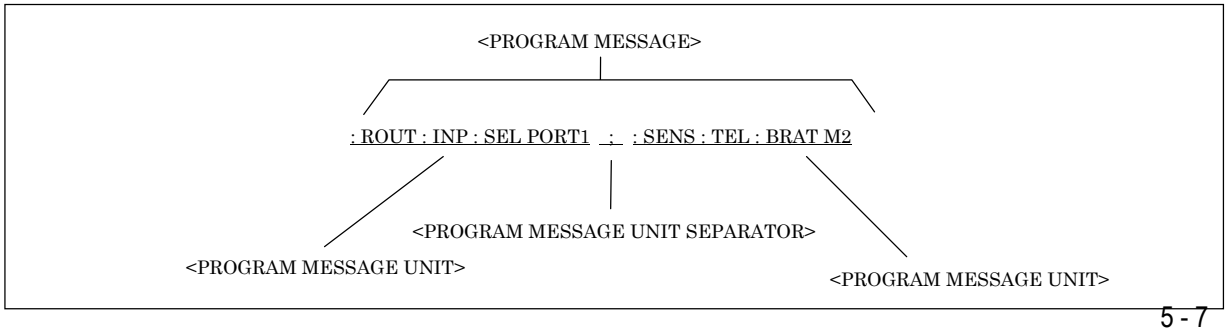


<PROGRAM MESSAGE>は 0 個，または 1 個以上の<PROGRAM MESSAGE UNIT>要素のシーケンスです。

<PROGRAM MESSAGE UNIT>要素は，コントローラから本器に送られるプログラミング命令か，またはデータを意味しています。

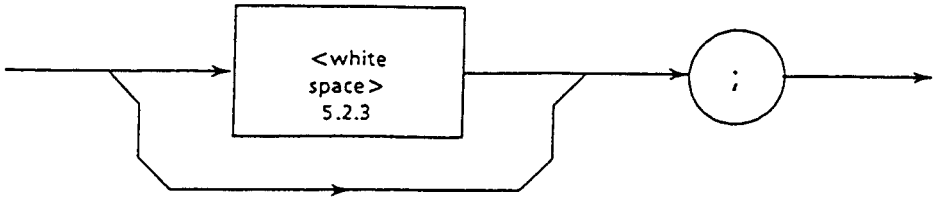
<PROGRAM MESSAGE UNIT SEPARATOR>は，複数の<PROGRAM MESSAGE UNIT>を区切るためのセパレータとして使用されます。

例：アンバランスコネクタを選択して，受信信号を 2M に設定します。

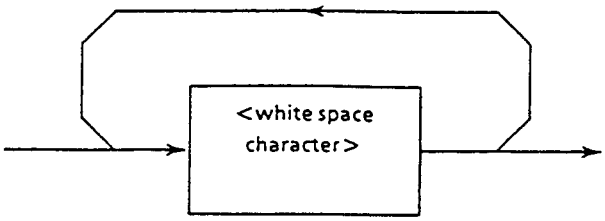


5.2.5 ＜PROGRAM MESSAGE UNIT SEPARATOR＞

<PROGRAM MESSAGE UNIT SEPARATOR>は，次のように定義されます。



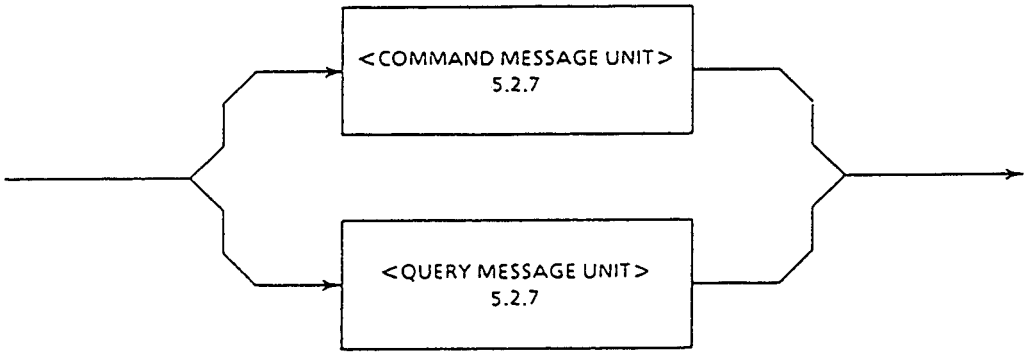
<white space>は，次のように定義されます。



<PROGRAM MESSAGE UNIT SEPARATOR>は，複数の<PROGRAMMESSAGE UNIT>要素のシーケンスを<PROGRAM MESSAGE>の範囲 MESSAGE>の範囲で分割します。
本器は，セミコロン「;」を<PROGRAM MESSAGE UNIT>のセパレータとして解釈します。したがってセミコロン「;」の前後の<white space character>は読み飛ばされます。ただし，<white space character>は，プログラムを読み易くするためには有効です。

5.2.6 ＜PROGRAM MESSAGE UNIT＞

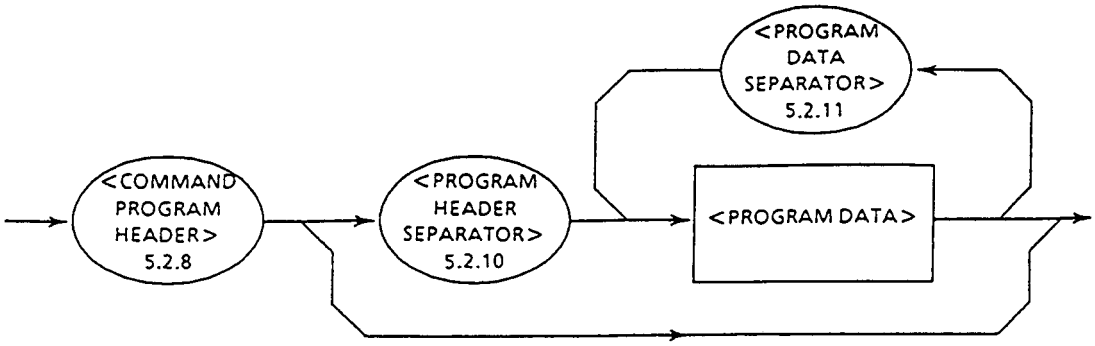
<PROGRAM MESSAGE UNIT>は，次のように定義されます。



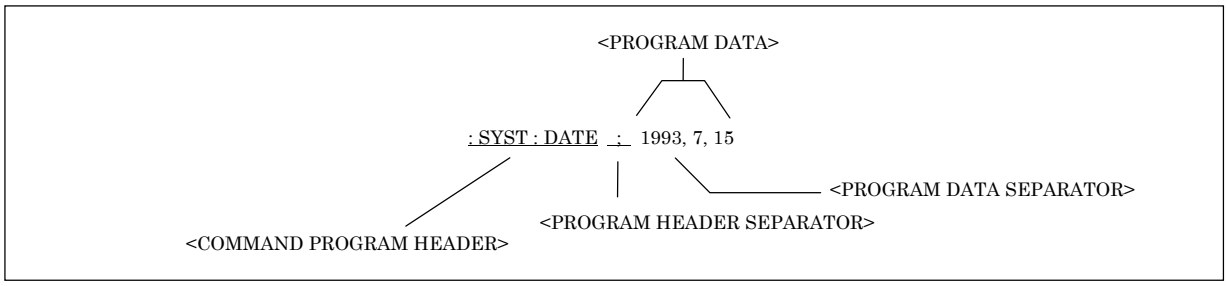
MESSAGE UNIT>は，本器で受信される単一のコマンドメッセージである<COMMAND MESSAGE UNIT>，または単一の問い合わせメッセージである<QUERY MESSAGE UNIT>から成ります。

5.2.7 ＜COMMAND MESSAGE UNIT＞／＜QUERY MESSAGE UNIT＞

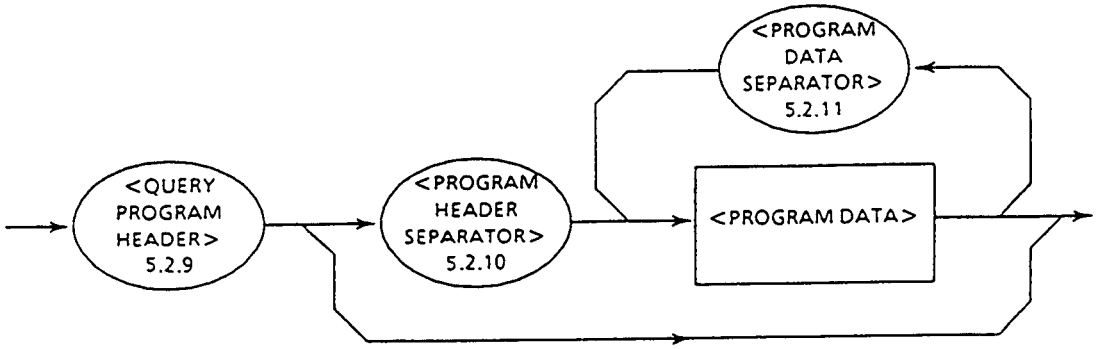
(1) <COMMAND MESSAGE UNIT>は，次のように定義されます。



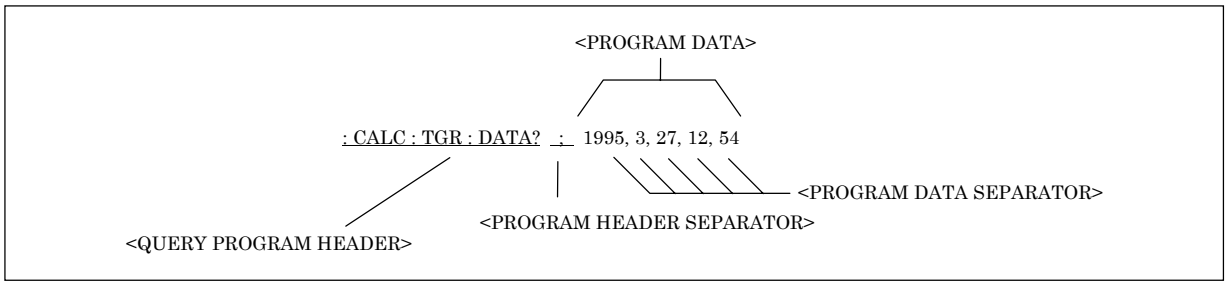
例：日付の設定を行います。



(2) <QUERY MESSAGE UNIT>は，次のように定義されます。



例：Error/Alarm のアナライズデータの問い合わせを行います。



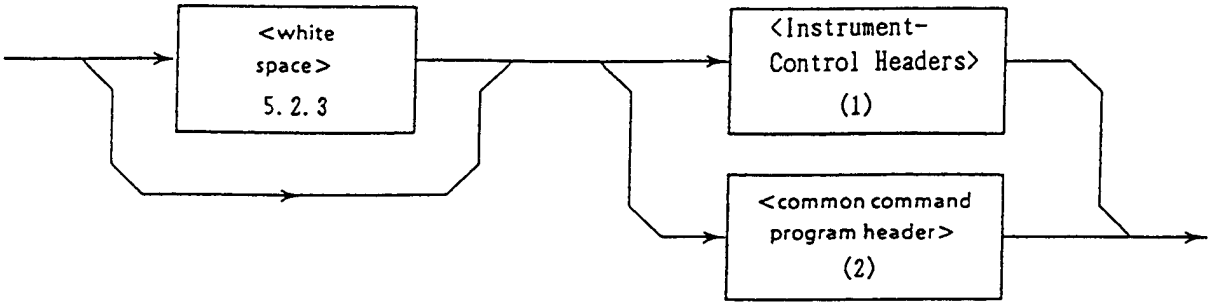
<COMMAND MESSAGE UNIT>も<QUERY MESSAGE UNIT>も，それぞれプログラムヘッダの次にプログラムデータが続く場合は，必ずその間に１個のスペースがセパレータとして入ります。プログラムヘッダによって，プログラム用途，機能，および動作が分かります。プログラムデータが付かない場合は，ヘッダだけで本器の中で実行される用途，機能，および動作を表します。

プログラムヘッダの中で，<COMMAND PROGRAM HEADER>は，コントローラから本器を制御するコマンドであす。<QUERY PROGRAM HEADER>は，コントローラが本器からレスポンスメッセージを受信するために，あらかじめコントローラから本器へ送る問い合わせ用コマンドです。そのヘッダの末尾には，問い合わせインジケータ「 ?」 が付きます。

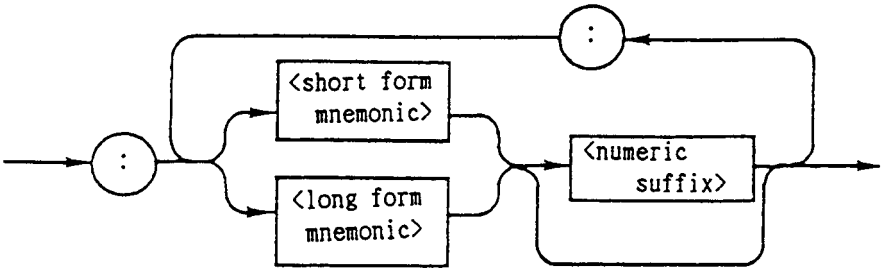
5.2.8 ＜COMMAND PROGRAM HEADER＞

<COMMAND PROGRAM HEADER>は，次のように定義されます。

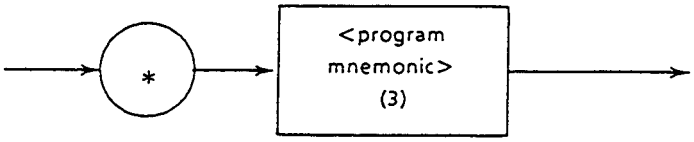
各ヘッダの前には<white space>をおくことができます。



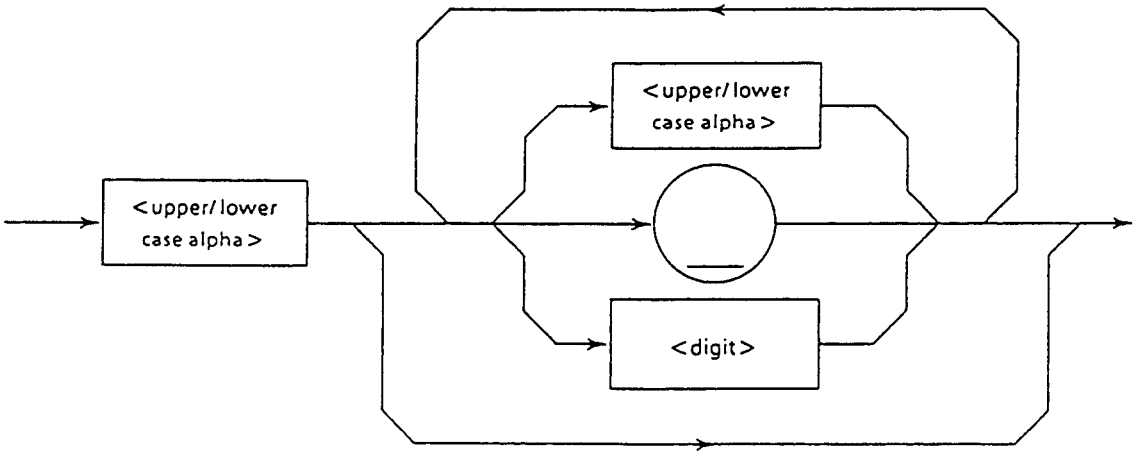
(1) <Instrument-Control Headers>は，次のように定義されます。



(2) <common command program header>は，次のように定義されます。



(3)　<program mnemonic>は，次のように定義されます。



■ <COMMAND PROGRAM HEADER>

本器が実行するプログラムデータの用途，機能，および動作を表すもので，プログラムデータがつかない場合は，ヘッダだけで本器中で実行される用途，機能，および動作を表します。それらの意味を ASCII コード文字で表したのが<program mnemonic>で，一般にはニーモニックと呼ばれています。

■ <program mnemonic>

ニーモニックの先頭は，必ず英大文字または英小文字で始まります。その後は，英大文字 "A"～"Z"／英小文字 "a"～"z"，アンダーライン「_」，数字 "0"～"9"の任意の組み合わせが続きます。ニーモニックのの最大長は 12 文字で，文字と文字の間にはスペースは含まれません。

● <upper/lower case alpha>

ASCII コードバイト 41～5A, 61～7A（十進数，65～90, 97～122 = 英大文字 A～Z，英小文字 a～z）の範囲の中で，単一の ASCII コードバイトとして規定されます。

● <digit>

ASCII コードバイト 30～39 （十進数，48～57 = 数値 0～9） の範囲の中で，単一の ASCII コードバイトとして規定されます。

● （_）

ASCII コードバイト 5F （十進数，95 = アンダーライン） を示し，単一の ASCII コードバイトとして規定されます。

■ <Instrument-Control Headers>

<Instrument-Control Header>は SCPI で規定されています。本測定器の装置固有コマンドは SCPI に準拠しているため，コマンドの書式はこれに従います。

● <short form mnemonic>/<long form mnemonic>

SCPI コマンドのショートフォーム，ロングフォームに対応します（詳細は 9 章参照）。ニーモニックの規定は上で述べた<program mnemonic>の規定がそのまま適用されます。

● <numeric suffix>

ASCII コードバイト 30～39 （十進数，48～57 = 数値 0～9） の範囲の中で，単一の ASCII コードバイトとして規定されます。

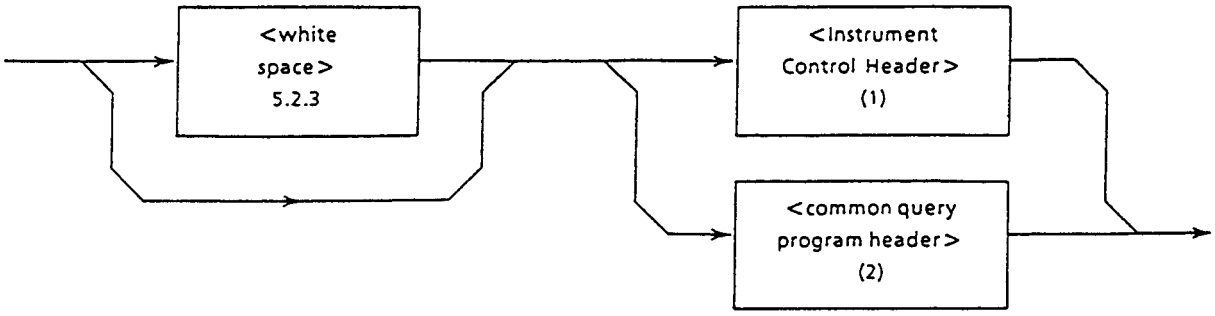
■ <common command program header>

<common command program header>は，<program mnemonic>の前に必ずアスタリスク "*" が付けられます。

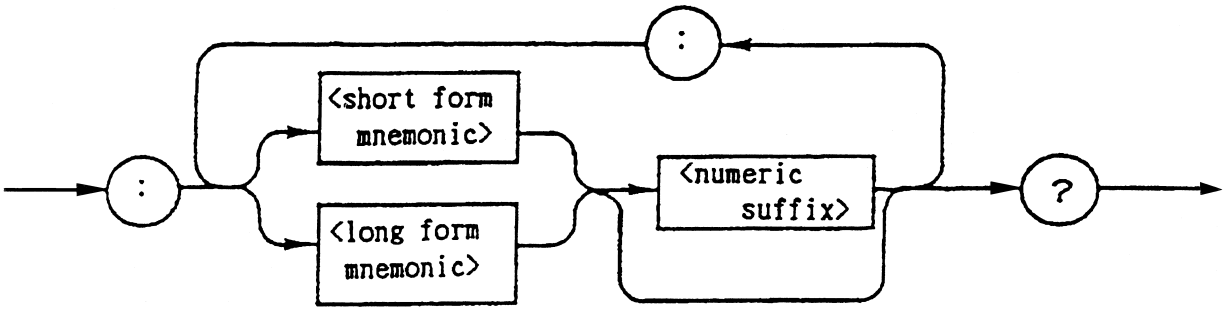
5.2.9 ＜QUERY PROGRAM HEADER＞

<QUERY PROGRAM HEADER>は，次のように定義されます。

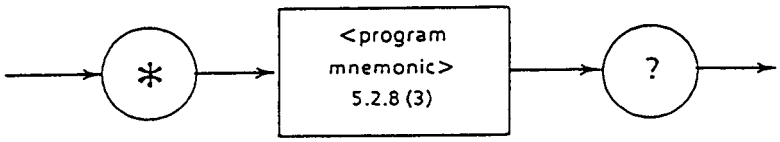
各ヘッダの前には<white space>をおくことができます。



(1) <Instrument-Control Headers>は，次のように定義されます。



(2) <common query program header>は，次のように定義されます。



■ <QUERY PROGRAM HEADER>

<QUERY PROGRAM HEADER>は，コントローラが本測定器からレスポンスメッセージを受信するために，あらかじめコントローラから本測定器へ送る問い合わせ用のコマンドです。そのヘッダの末尾には，必ず問い合わせインジケータ 「？」が付きます。

上記の<QUERY PROGRAM HEADER>の形式は，ヘッダの末尾に問い合わせインジケータ 「？」 が付けられる以外は，<COMMAND PROGRAM HEADER>と同じです。そのため，詳細については「5.2.8 <COMMAND PROGRAM HEADER>」をご覧ください。

5.2.10 ＜PROGRAM HEADER SEPARATOR＞

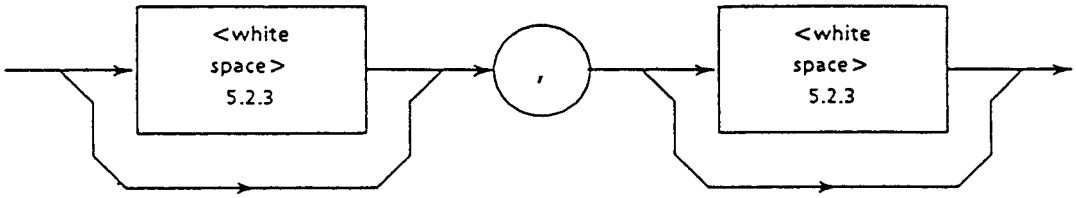
<PROGRAM HEADER SEPARATOR>は，次のように定義されます。

<PROGRAM HEADER SEPARATOR>は，<COMMAND PROGRAM HEADER>または<QUERY PROGRAM HEADER>と<PROGRAM DATA>の間のセパレータとして使用されます。

プログラムヘッダとプログラムデータの間に複数の<white space character>がある場合は，最初の<white space character>がセパレータとして解釈され，残りは読み飛ばされます。ただし，<white space character>は，プログラムを読み易くするためには有効です。すなわち，ヘッダセパレータは，ヘッダとデータの間に１個だけ必ず存在し，プログラムの終わりであると同時にプログラムデータの始まりを示します。

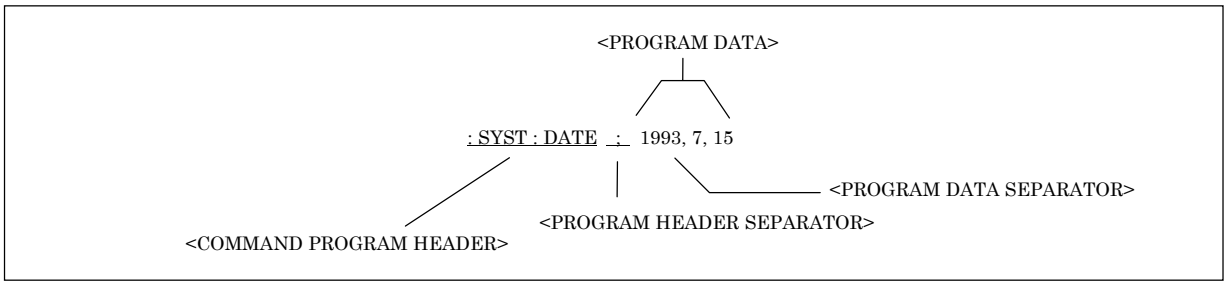
5.2.11 ＜PROGRAM DATA SEPARATOR＞

<PROGRAM DATA SEPARATOR>は，次のように定義されます。



<PROGRAM DATA SEPARATOR>は，<COMMAND PROGRAM HEADER>または<QUERY PROGRAM HEADER>が多数のパラメータを持つ場合に，それらを区切るために使用されます。

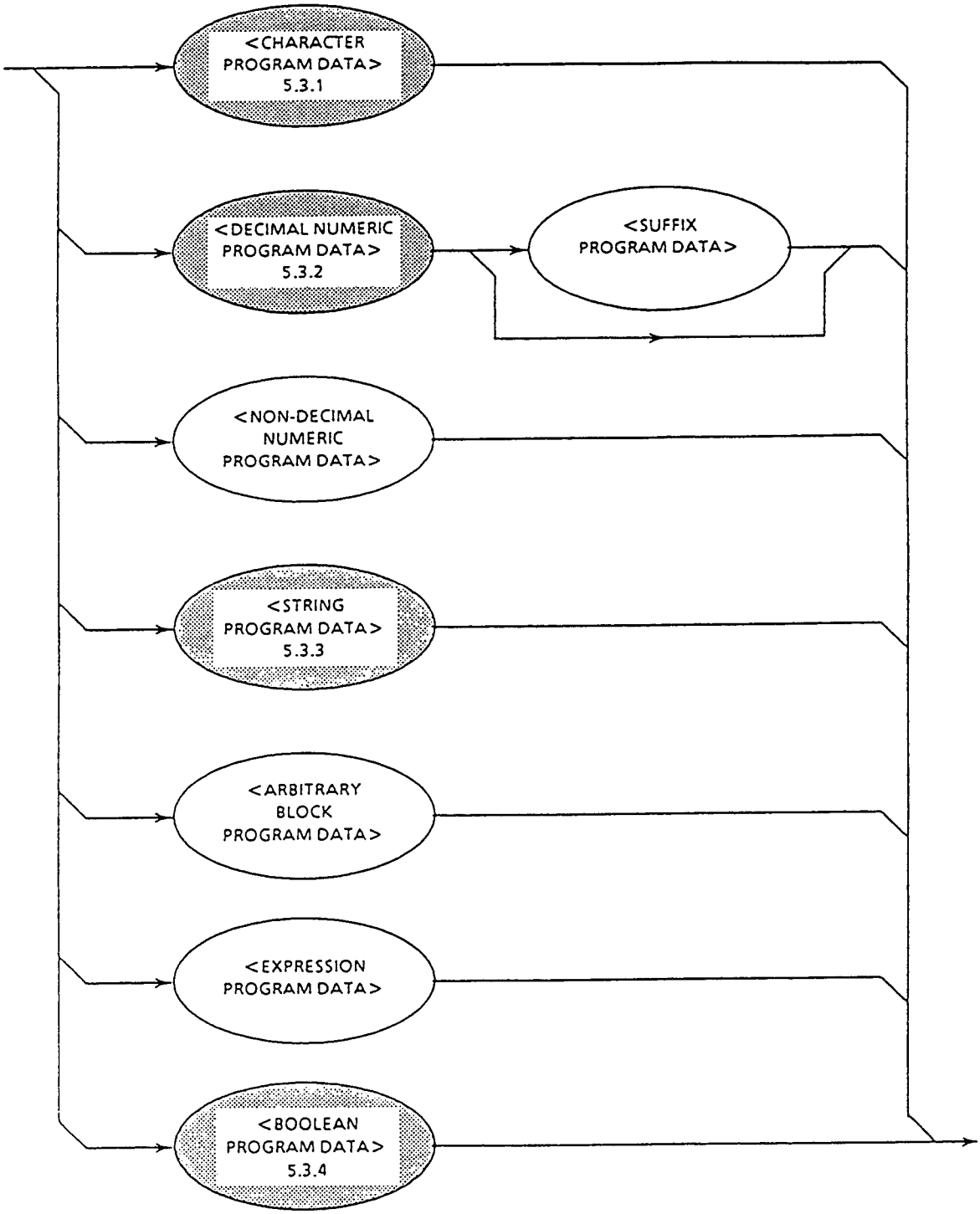
このデータセパレータを使う場合は，コンマが必要ですが，<white space character>は必要ありません。コンマの前または後の<white space character>は，読み飛ばされます。ただし，<white space character>は，プログラムを読み易くするためには有効です。



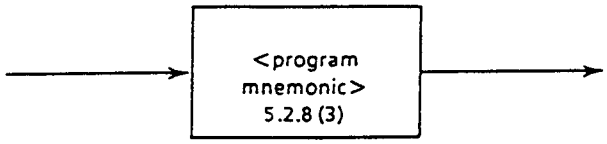
5.3 プログラムデータのフォーマット

前述した，ターミネートされたプログラムメッセージのフォーマット体型のなかから，5.2 項の機能文法図で示されている<PROGRAM DATA>のフォーマットを説明します。

<PROGRAM DATA>の機能要素は，プログラムヘッダに関連したタイプのパラメータを伝送するのに使用されます。下図の網掛けの部分が，本器が使用するプログラムデータです。



5.3.1 ＜CHARACTER PROGRAM DATA＞

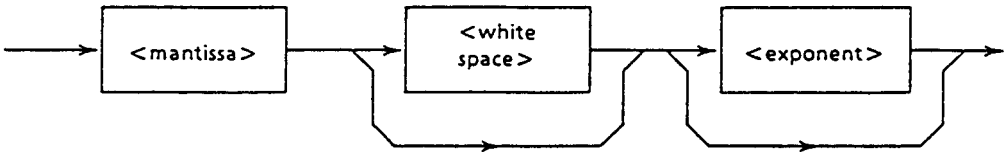


＜例＞　: SENSe : TELecom : PATTern : TYPE PRBS11　（PRBS2^{11}-1 を表すニーモニックデータ）

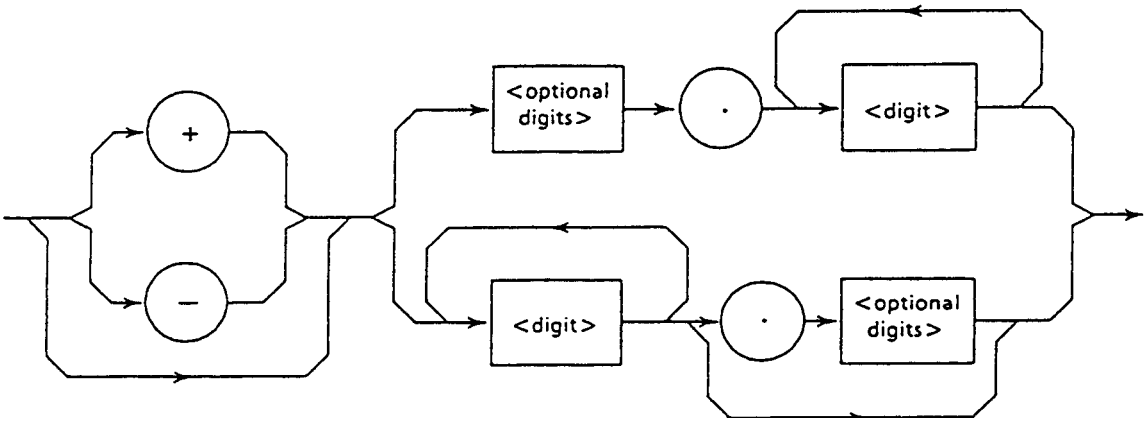
: SENSe : MEASure : TYPE SINGle　（シングル測定を表すニーモニックデータ）

5.3.2 ＜DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA＞

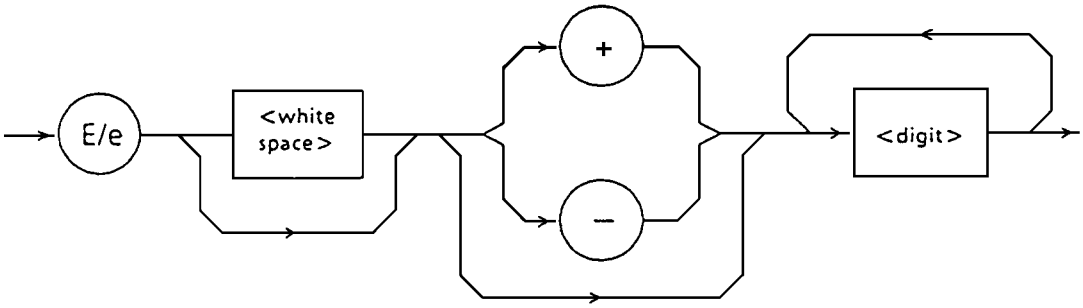
<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>は十進数の数値を表し，次のように定義されます。



<mantissa>（仮数部）は次のように定義されます。



<exponent>（指数部）は次のように定義されます。



本器では，十進数の整数形式を使用しています。

■ 整数形式

十進数の整数値を表します。

・先頭に０挿入可 005

・符号と数字の間にスペース不可 +5（○），+△5（×）

・数値の後ろにスペース挿入可 +5△△

・＋符号はつけてもつけなくてもかまいません +5，5

・桁区切りにコンマは使用できません 1，234（×）

＜例＞　: SOURce : TELecom : MUX : N 5

5.3.3 ＜BOOLEAN PROGRAM DATA＞

<BOOLEAN PROGRAM DATA>は SCPI で規定されているプログラムデータで，理論値を表します。真偽に対応する値として<CHARACTER PROGRAM DATA>の ON と OFF，および<DECIMAL NUMREIC PROGRAM DATA>の 1 と 0 が定義されています。

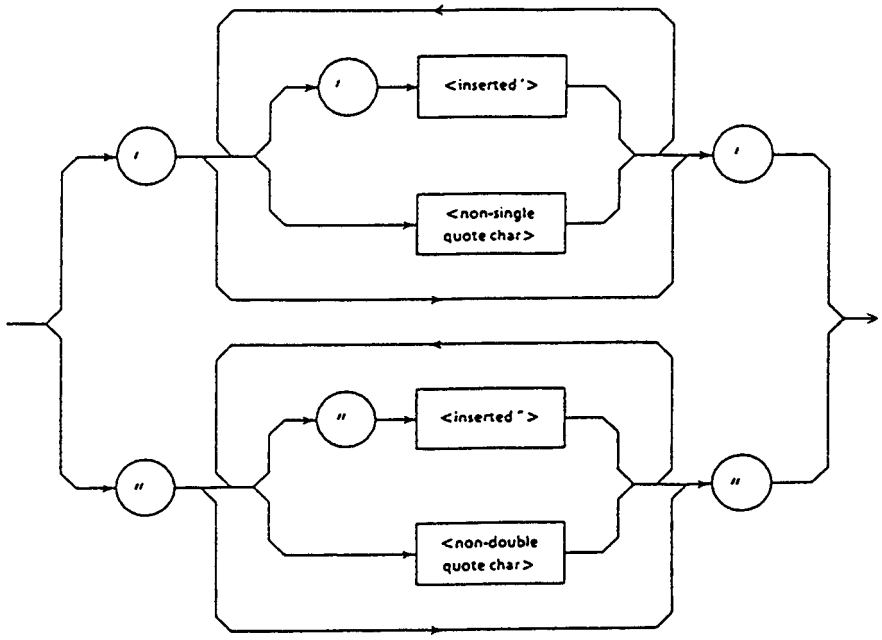
＜例＞　: SOURce : TELecom : FRAMing ON

: SOURce : TELecom : FRAMing 1

5.3.4 ＜STRING PROGRAM DATA＞

<STRING PROGRAM DATA>は，"（ダブルコーテーション），または'（シングルコーテーション）に囲まれた文字列を表します。

次のように定義されます。



(1) <inserted'>は，値 27（十進数，39 = '）の単一の ASCII 記号で規定される。

(2) <non-single quote char>は，27（十進数，39 = '）以外のいずれかの値の単一の ASCII 記号で規定される。

(3) <inserted'>は，値 22（十進数，34 = "）の単一の ASCII 記号で規定される。

(4) <non-double quote char>は，22（十進数，34 = "）以外のいずれかの値の単一の ASCII 記号で規定される。

＜例＞　: SENS : TEL : PATT : UWOR “1100110011001100”

（ワードデータ 1100110011001100 を表す文字列）

: DISP : DSEL : NAME “SETup”　（Setup 主画面を表す文字列）

: CALC : DATA? “EC : BIT”　（ビットエラーのエラーカウントを表す文字列）

６章　トーカ出力フォーマット

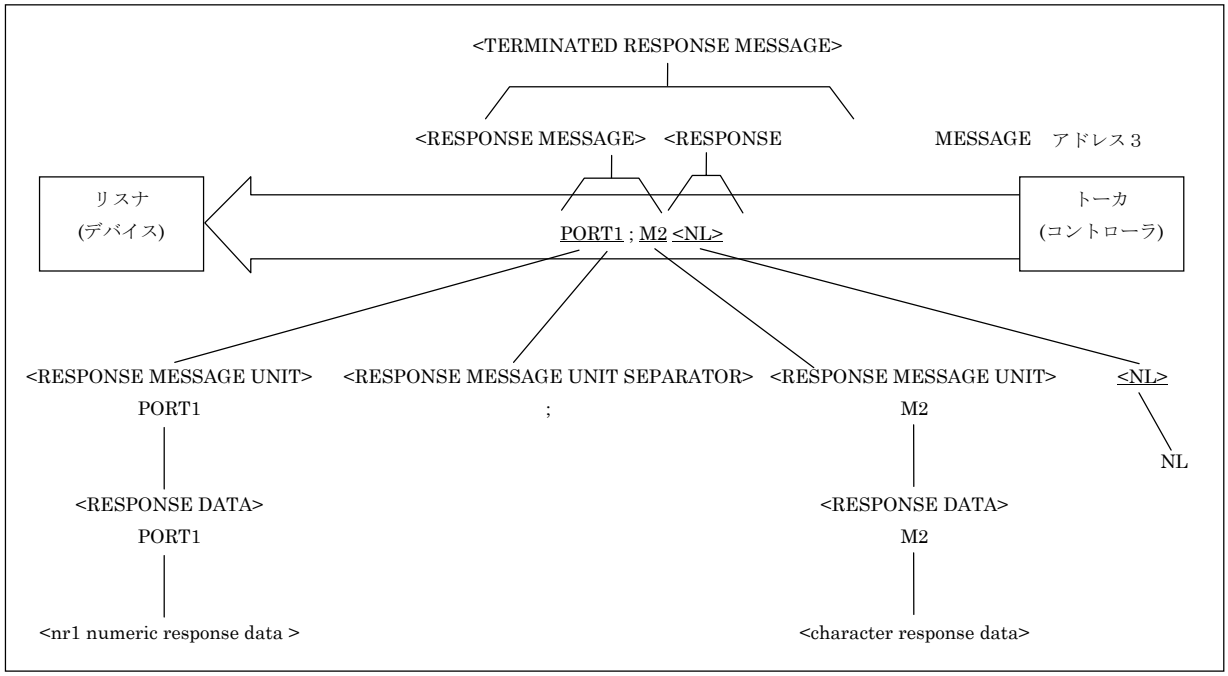
この章では，トーカ（デバイス）からリスナ（コントローラ）へ返されるレスポンスメッセージの書式について説明します。

6.1 トーカ出力レスポンスメッセージの書式 6-3
6.2 レスポンスメッセージの機能要素 6-4
6.2.1 ＜TERMINATED RESPONSE MESSAGE＞ 6-4
6.2.2 ＜RESPONSE MASSAGE TERMINATOR＞ 6-4
6.2.3 ＜RESPONSE MASSAGE＞ 6-5
6.2.4 ＜RESPONSE MASSAG UNIT SEPARATOR＞ 6-6
6.2.5 ＜RESPONSE MASSAG UNIT＞ 6-6
6.2.6 ＜RESPONSE DATA SEPARATOR＞ 6-6
6.2.7 ＜RESPONSE DATA＞ 6-7

6.1 トーカ出力レスポンスメッセージの書式

下記に，入力コネクタの選択の問い合わせ:ROUT:INP:SEL?と，受信信号の符号速度の問い合わせ :SENS:TEL:BRAT?に対するレスポンスを示します。

SCPI のレスポンスにはヘッダがないため，データのみのレスポンスとなります。

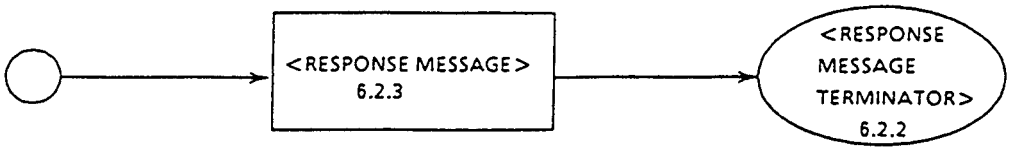


レスポンスメッセージの書式は，プログラムメッセージと同様に，機能を表すことのできる最小レベルの単位まで分割した機能要素のシーケンスから構成されます。上図でカギカッコ<>で囲まれた英大文字が機能要素の例です。機能要素を更に分割したものをコード化要素と呼びます。上図でカギカッコ<>で囲まれた英小文字がコード化要素の例です。したがって文法表記法は，トーカもリスナも同じです。

6.2 レスポンスメッセージの機能要素

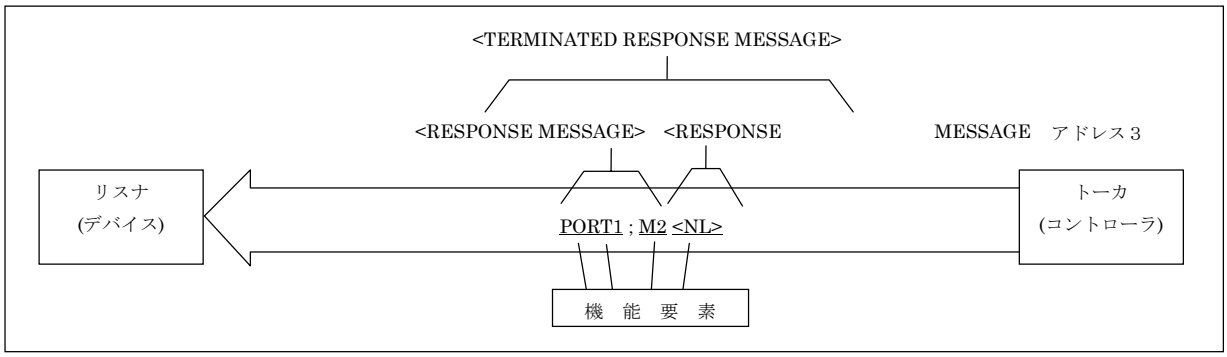
6.2.1 ＜TERMINATED RESPONSE MESSAGE＞

<TERMINATED RESPONSE MESSAGE>は，次のように定義されます。



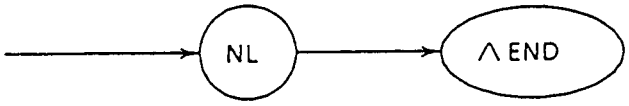
M
INATED RESPONSE MESSAGE>はトーカデバイスからコントローラに送るのに必要なすべての機能要素を満たしたデータメッセージです。
<RESPONSE MESSAGE>の転送を完了させるために，<RESPONSE MESSAGE>の最後には<RESPONSE MESSAGE TERMINATOR>が付加されます。

＜例＞２個のメッセージユニットを連結した<TERMINATED RESPONSE MESSAGE>

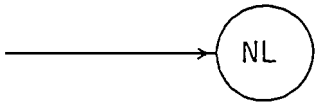


6.2.2 ＜RESPONSE MESSAGE TERMINATOR＞

(1) GPIB インタフェース使用の場合の<RESPONSE MESSAGE TERMINATOR>は，次のように定義されます。



(2) RS-232C インタフェース使用の場合の<RESPONSE MESSAGE TERMINATOR>は，次のように定義されます。



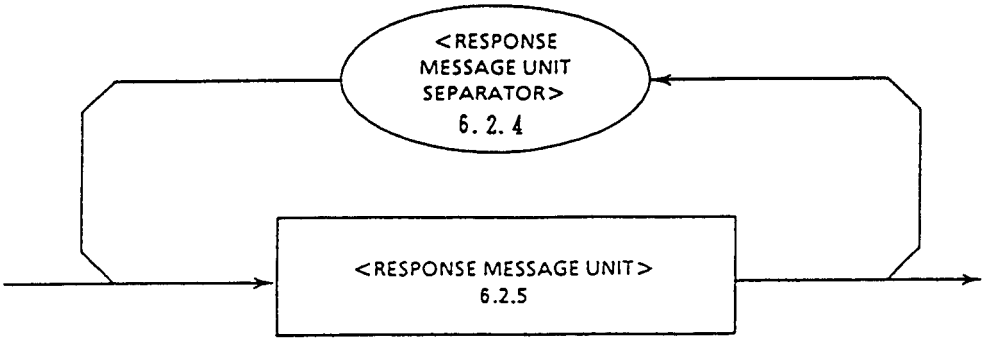
<RESPONSE MESSAGE TERMINATOR> は最後の <RESPONSE MESSAGE UNIT>の次におかれ，１つ，またはそれ以上の一定の長さの<RESPONSE MESSAGE UNIT>要素のシーケンスを終了させます。

＜例＞現在，設定されている入力コネクタの状態を読み出すプログラム例を示します。

```
10 WRITE @03:":ROUT:INP:SEL?"
20 READ @03:A$
30 PRINT A$
40 END
```

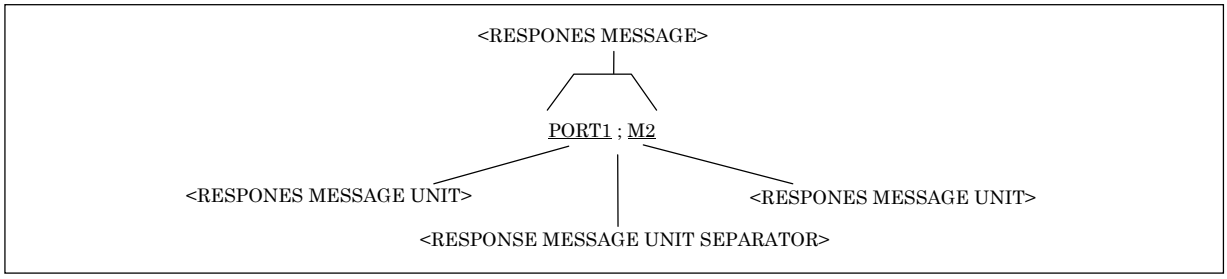
6.2.3 ＜RESPONSE MESSAGE＞

<RESPONSE MESSAGE>は，次のように定義されます



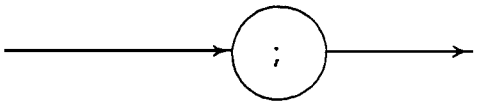
<RESPONSE MESSAGE>とは，１個以上の<RESPONSE MESSAGE UNIT>要素のシーケンスです。
<RESPONSE MESSAGE UNIT>要素は，本測定器からコントローラに送られる単一のメッセージを意味しています。<RESONSE MESSAGE UNIT SEPARATOR>要素は，複数の<RESPONSE MESSAGE UNIT>を区切るためのセパレータとして使用されます。

例：入力コネクタの選択，受信信号の符号速度の設定の問い合わせに対するレスポンスを示します。



6.2.4 ＜RESPONSE MESSAGE UNIT SEPARATOR＞

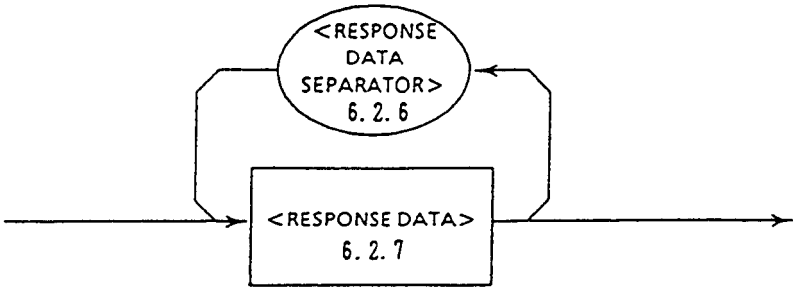
<RESPONSE MESSAGE UNIT SEPARATOR>は，次のように定義されます。



<RESPONSE MESSAGE SEPARATOR>は，複数の<RESPONSE MESSAGE UNIT>要素のシーケンスを１つの<RESPONSE MESSAGE>として出力する場合に，<RESPONSE MESSAGE UNIT>要素を<UNIT SEPARATOR>セミコロン ";" で分割します。

6.2.5 ＜RESPONSE MESSAGE UNIT＞

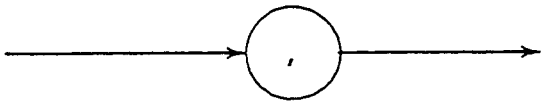
<RESPONSE MESSAGE UNIT>は，次のように定義されます。



本測定器の<RESPONSE MESSAGE UNIT>は，ヘッダなしのレスポンスメッセージユニットで，測定結果のデータだけを返します。

6.2.6 ＜RESPONSE DATA SEPARATOR＞

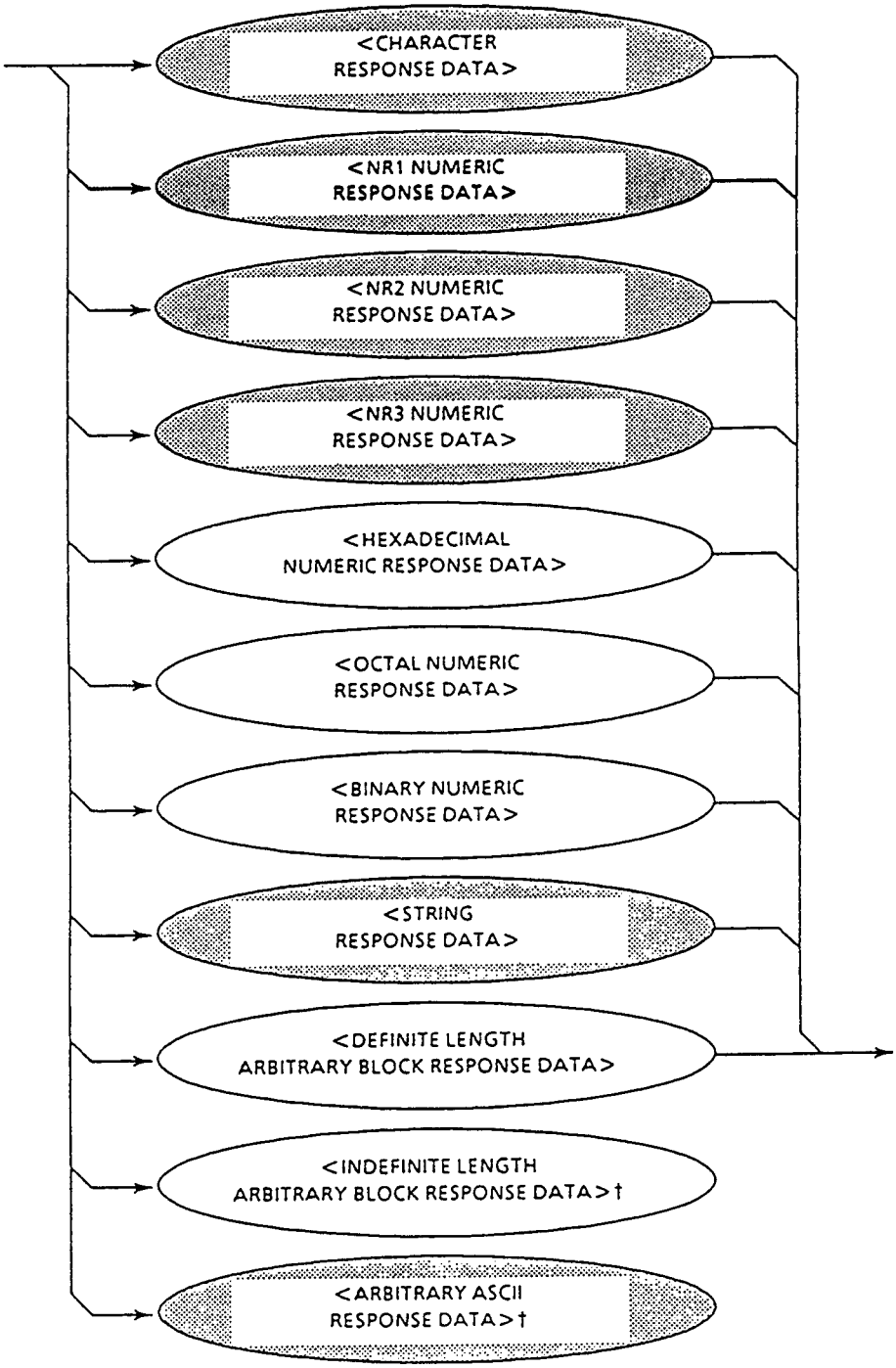
<RESPONSE DATA SEPARATOR>は，次のように定義されます。

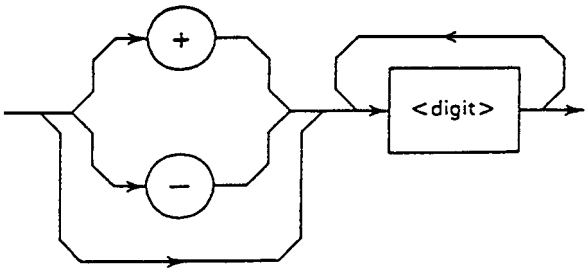
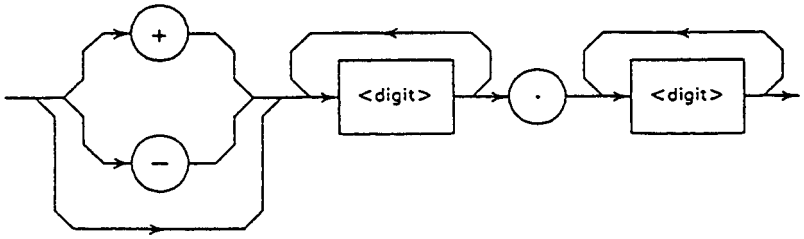
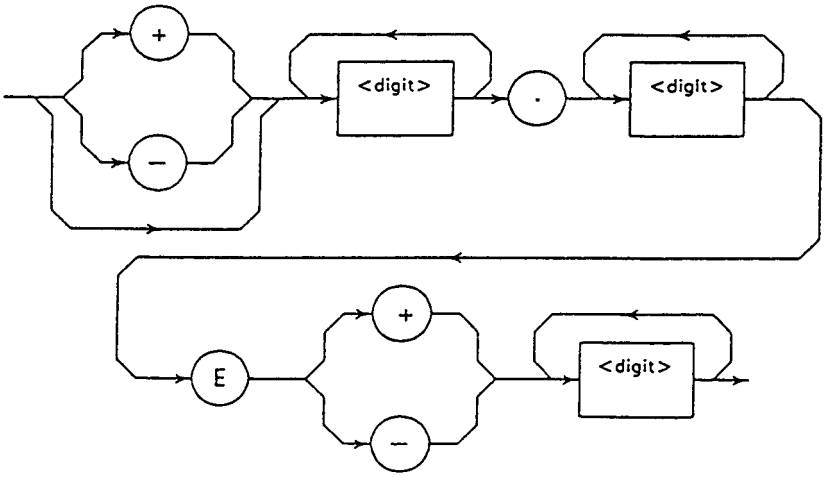


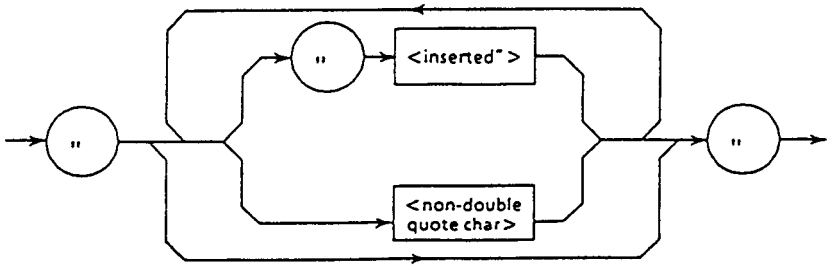
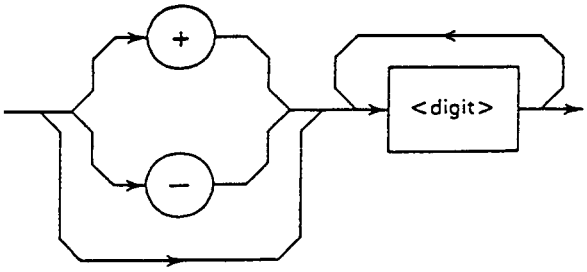
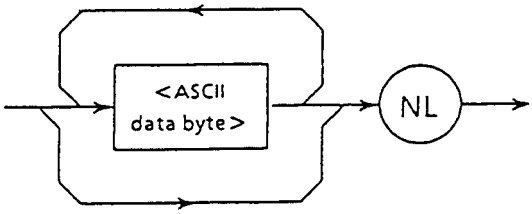
<RESPONSE DATA SEPARATOR>は複数の<RESPONSE DATA>を出力する場合に，データとデータを区切るために使用します。

6.2.7 ＜RESPONSE DATA＞

下の網掛けの部分が本測定器で用いる<RESPONSE DATA>です。
どのレスポンスデータが返されるかは，問い合わせメッセージによって決定されます。



要　　素	機　　能
(1) CHARACTER RESPONSE DATA ＜例＞ ABC DEFG	短いニーモニックデータを表します。
(2) NR1 NUMERIC RESPONSE DATA ＜例＞ 123 +123 -1234	十進数の整数値を表します。 
(3) NR2 NUMERIC RESPONSE DATA ＜例＞ 12.3 +12.34 -12.345	固定小数点の数値を表します。 
(4) NR3 NUMERIC RESPONSE DATA ＜例＞ 1.23E+45 -12.3E+45	指数付きの十進数の実数を表します。 

要　　素	機　　能
(4) STRING RESPONSE DATA ＜例＞ “1234” “ABCD” “ 1234.5”	”（ダブルコーティション）で囲まれた文字列を表します。 
(5) ARBITARY ASCII RESPONSE DATA ＜例＞ <ASCII Byte><ASCII Byte>NL∧END	NL 文字を除いた ASCII データバイトを区切らないで送ります。このため，最後のデータの次に NL∧END（または NL のみ）を置くので出口なしでターミネートされます。 1) GPIB インタフェース使用の場合  2) RS-232C インタフェース使用の場合 

7章　IEEE488.2 共通コマンド

この章では, 本器のサポートする IEEE488.2 共通コマンドの説明をします。

共通コマンドは GPIB インタフェースと RS-232C インタフェースのどちらにも共通して使用できます。
本器のサポートする共通コマンドはすべてシーケンシャルコマンドです。

下表に本器でサポートする IEEE488. 2 共通コマンドをリストします。

IEEE488.2 共通コマンドリスト

ニーモニック	コマンドフルスペル名
＊IDN?	Identification Query
＊RST	Reset Command
＊TST?	Self Test Query
＊OPC	Operation Complete Command
＊OPC?	Operation Complete Query
＊WAI	Wait Continue Command
＊CLS	Clear Status Command
＊ESE	Standard Event Status Enable Command
＊ESE?	Standard Event Status Enable Query
＊ESR?	Standard Event Status Register Query
＊SRE	Service Request Enable Command
＊SRE?	Service Request Enable Query
＊STB?	Read Status Byte Query
＊TRG	Trigger Command
＊PSC	Power On Status Clear Command
＊PSC?	Power On Status Clear Query
＊SAV	Save Command
＊RCL	Recall Command
＊OPT?	Option Identification Query

＊IDN?　　Identification Query

レスポンス　<ARBITRARY ASCII RESPONSE DATA>

<製品メーカ名>，<形名>，<シリアルナンバー>，<ファームウエアレビジョン番号>

本装置では

ANRITSU，MP1570A，0，1

機 能　製品のメーカ名，形名などを報告します。

使用例　＊IDN?

＊RST　　Reset Command

パラメータ　なし

機 能　電源スイッチを入れ直した状態と同じ状態へ戻します。

このとき，測定内容はクリアされますが，測定は保持されたままとなります。工場出荷時の設定へ戻すためには，SCPI コマンド:SYSTem:MEMory:RECall で<0>(Initial)を設定してください。

使用例　＊RST

＊TST?　　Self Test Query

レスポンス　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0：エラーなし

1：エラー発生

機 能　電源投入時に行った自己診断(RAM のチェック，ランプ，およびブザーのチェックなど)の結果を問い合わせします。

信号，オフセットなどの自己診断(Selftest 画面で行う自己診断)は SCPI コマンド:TEST:STARt で行い，結果は:TEST:DATA?で問い合わせます。

使用例　＊TST?

＊OPC　　Operation Complete Command

パラメータ　なし

機 能　事前の命令実行が終了すると，標準イベントステータスレジスタのビット 0 (オペレーション終了ビット)をセットし，SRQ ON にします。

使用例　＊OPC

＊OPC?　　Operation Complete Query

レスポンス　　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

1

機 能　　事前の命令実行が終了すると１を返します。

使用例　　＊OPC?

＊WAI　　Wait to Continue Command

パラメータ　　なし

機 能　　事前の命令実行が終了するまで，次の命令実行の開始を待たせます。

使用例　　＊WAI

＊CLS　　Clear Status Command

パラメータ　　なし

機 能　　出力キューとその MAV サマリメッセージを除くすべてのイベントレジスタおよびキューをクリアします。

装置固有のステータスレジスタにおけるイネーブルレジスタ，transition フィルターのリセットは SCPI コマンド:STATus:PRESet で行います。

＊CLS を<PROGRAM MESSAGE TERMINATOR>の直後で，<Query MESSAGE UNIT>要素の前に送出した場合は，出力キュー，MAV ビット共にクリアされます。事前の命令実行が終了するまで，次の命令実行の開始を待たせます。

使用例　　＊CLS

＊ESE　　Standard Event Status Enable Command

パラメータ　　<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0 ～ 255 の整数値

標準イベントイネーブルレジスタのビットの中から enabled にしたいビットを選択した場合のビット桁値の総和がパラメータとなります。disabled にしたいビット桁値は 0 となります。

本器のレジスタの設定は下記のとおりです。

Bit7(2^7=128)　電源投入

Bit6(2^6= 64)　　ローカルコントロール実行

Bit5(2^5= 32)　　コマンドエラー

Bit4(2^4= 16)　　実行エラー

Bit3(2^3=　8)　　コマンドエラー，問い合わせエラー，実行エラー以外のエラー

Bit2(2^2=　4)　問い合わせエラー

Bit0(2^0=　1)　オペレーション終了

機 能　　標準イベントステータスイネーブルレジスタのセットおよび，クリアをします。

使用例　　イネーブルレジスタのビット２，４をセットします。

＊ESE 20

＊ESE?　　Standard Event Status Enable Query

パラメータ　　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0 ～ 255

機 能　　標準イベントステータスイネーブルレジスタの現在値を問い合わせます。

使用例　　＊ESE 20 を実行後，＊ESE?をおくると，20 が返されます。

＊ESR?　　Standard Event Status Register Query

レスポンス　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0 ～ 255

標準ステータスレジスタのビット桁値の総和がレスポンスとなります。

標準ステータスレジスタのビット設定は＊ESE コマンドのパラメータを参照してください。

機 能　標準イベントステータスレジスタの現在値を問い合わせます。

使用例　コマンドエラーがあった場合＊ESR?の問い合わせに対して 32 が返されます。

＊SRE　　Service Request Enable Command

パラメータ　<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0 ～ 255

サービスリクエストイネーブルレジスタのビットの中から enabled にしたいビットを選択した場合のビット桁値の総和がパラメータとなります。disabled にしたいビット桁値は 0 となります。

本器の設定は下記のとおりです。

Bit7(2^7=128)　オペレーションステータスレジスタサマリ

Bit5(2^5= 32)　イベントステータスレジスタサマリ

Bit4(2^4= 16)　出力キューが空でないことを示す

Bit3(2^3= 8)　クエスチョナブルステータスレジスタサマリ

Bit2(2^2= 4)　エラー，イベントキューが空でないことを示す

機 能　サービスリクエストイネーブルレジスタのビットをセットします。

使用例　イネーブルレジスタのビット 4 をセットします。

＊SRE 16

＊SRE?　　Service Request Enable Query

レスポンス　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0 ～ 255

機 能　サービスリクエストイネーブルレジスタの現在値を問い合わせます。

使用例　＊SRE 16 実行後，＊SRE?を送ると，16 が返されます。

＊STB?　　Read Status Byte Command

レスポンス　　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0 ～ 255

ステータスバイトレジスタの各ビット桁値の総和となります。

本器の設定は下記のとおりです。

Bit7(2^7=128)　オペレーションステータスレジスタサマリ

Bit6(2^6= 64)　　MSS(Master Summary Status)サマリメッセージ

Bit5(2^5= 32)　　イベントステータスレジスタサマリ

Bit4(2^4= 16)　出力キューが空でないことを示す

Bit3(2^3=　8)　クエスチョナブルステータスレジスタサマリ

Bit2(2^2=　4)　エラー，イベントキューが空でないことを示す

機 能　　MSS(Master Summary Status)ビットを含むステータスバイトの現在値を返す。

使用例　　イベントステータスレジスタサマリが真の場合＊STB?の問い合わせに対して 32 が返されます。

＊TRG　　Trigger Command

パラメータ　　なし

機 能　　IEEE488.1 の GET(Group Execute Trigger バスコマンド)と同一の動作を行います。

使用例　　＊TRG

＊PSC　　Power-on Status Clear Command

パラメータ　　<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0　　パワーON ステータスクリアフラグを偽にセットする

0 以外　　パワーON ステータスクリアフラグを真にセットする

機 能　　ステータス報告部のサービスリクエスト，標準イベントステータス，およびパラレルポールの各イネーブルレジスタを電源 ON 時にクリアするかを決定します。０の場合，イネーブルレジスタはクリアされず，デバイスは電源 ON 後に SRQ を発生することができます。

１の場合はイネーブルレジスタはクリアされ，デバイスは電源 ON 後に SRQ を発生できません。

使用例　　パワーON ステータスフラグをクリアしないで SRQ を発生します。

＊PSC 0;＊SRE 32;＊ESE 128

＊PSC?　　Power-on Status Clear Query

レスポンス　　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0　　パワーON ステータスフラグ偽

1　　パワーON ステータスフラグ真

機 能　　パワーON ステータスフラグの真／偽を問い合わせます。

使用例　　＊PSC?

＊SAV　　Save Command

パラメータ　　<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～10

機 能　　指定された番号のメモリに現在の装置の設定を書き込みます。

セーブされたステートの範囲は，RST コマンドによって影響されるステートの範囲と同じです。

同じ機能を持つ SCPI コマンドとして:SYSTem:MEMory:STORe があります。

使用例　　1 番のメモリに現在の設定を書き込みます。

＊SAV 1

＊RCL　　Recall Command

パラメータ　　<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～10

機 能　　指定された番号のメモリの呼び出しを行い，それによって装置を以前の設定に戻します。

セーブされたステートの範囲は，ＲＳＴコマンドによって影響されるステートの範囲と同じです。

同じ機能を持つ SCPI コマンドとして:SYSTem:MEMory:RECall があります。

使用例　　1 番のメモリ情報を呼び出し，設定を行います。

＊RCL 1

＊OPT?　　Option Identification Query

レスポンス　　<ARBITRARY ASCII RESPONSE DATA>

オプションまたは，ユニットに対応したキャラクタ

オプション	キャラクタ
オプション無し	0
オプション 01	OPT01
オプション 02	OPT02
オプション 03	OPT03
オプション 04	OPT04
オプション 06	OPT06
オプション 07	OPT07
オプション 08	OPT08
オプション 09	OPT09
オプション 10	OPT10
オプション 11	OPT11
オプション 13	OPT13
オプション 14	OPT14
オプション 15	OPT15
オプション 22	OPT22
MP0104B 光 156/622M (1.31)インタフェースユニット	MP0104B
MP0106B 光 156/622M (1.55)インタフェースユニット	MP0106B
MP0104A 光 156M (1.31)インタフェースユニット	MP0104A
MP0105A CMI インタフェースユニット	MP0105A
MP0108A NRZ インタフェースユニット	MP0108A
MP0108B NRZ (UTP-5) インタフェースユニット	MP0108B
MP0109A 光 156/622M (1.31)インタフェースユニット	MP0109A
MP0110A 光 156/622M (1.55)インタフェースユニット	MP0110A
MP0111A 光 156/622M (1.31)インタフェースユニット	MP0111A
MP0112A 光 156/622M (1.55)インタフェースユニット	MP0112A
MP0113A 光 156/622M (1.31/1.55)インタフェースユニット	MP0113A
2/8/34/139/156M(CMI)ユニット	MP0121A
1.5/45/52M ユニット	MP0122A
1.5/45/52M (1.31)ユニット	MP0122B
ATM ユニット	MP0123A
2/8/34/139M 156/622M ジッタユニット	MP0124A MU150005A
1.5/45/52M 156/622M ジッタユニット	MP0125A MU150006A
2/8/34/139M 1.5/45/52M 156/622M ジッタユニット	MP0126A MU150007A

2.5G (1.31) ユニット	MP0127A MU150008A
2.5G (1.55) ユニット	MP0128A MU150009A
2.5G (1.31/1.55) ユニット	MP0129A MU150010A
2.5G ジッタユニット	MP0130A MU150011A
Add/Drop ユニット	MP0131A
2.5G/10G ユニット	MU150000A
OPTICAL　10G TX (1.55) ユニット	MU150001A
OPTICAL　10G TX (1.55) ユニット	MU150001B
OPTICAL　10G TX (1.55) ユニット	MU150001C
OPTICAL　10G TX (1.55) ユニット	MU150001D
OPTICAL　10G RX (NARROW) ユニット	MU150002A
OPTICAL　10G RX (Wide) ユニット	MU150017A
OPTICAL　2.5G/10G RX (Wide) ユニット	MU150017B
OPTICAL　10G TX (1.55) ユニット	MU150031A
OPTICAL　2.5G/10G TX (1.55) ユニット	MU150031C
OPTICAL　10G TX (1.31) ユニット	MU150061A
OPTICAL　2.5G/10G TX (1.31) ユニット	MU150061B

機　能　　装着されているオプション･ユニット･リストを報告します。

メインフレーム，インタフェース，各スロットの順にユニットの形名の後にオプション番号をコンマで区切って報告されます。

使用例　　オプション 01，オプション 06，MP0113A, MP0121A, MP0122A ユニットが装備されている場合。

>＊OPT?

< OPT01,OPT06，MP0113A, MP0121A, MP0122A

８章　ステータス報告

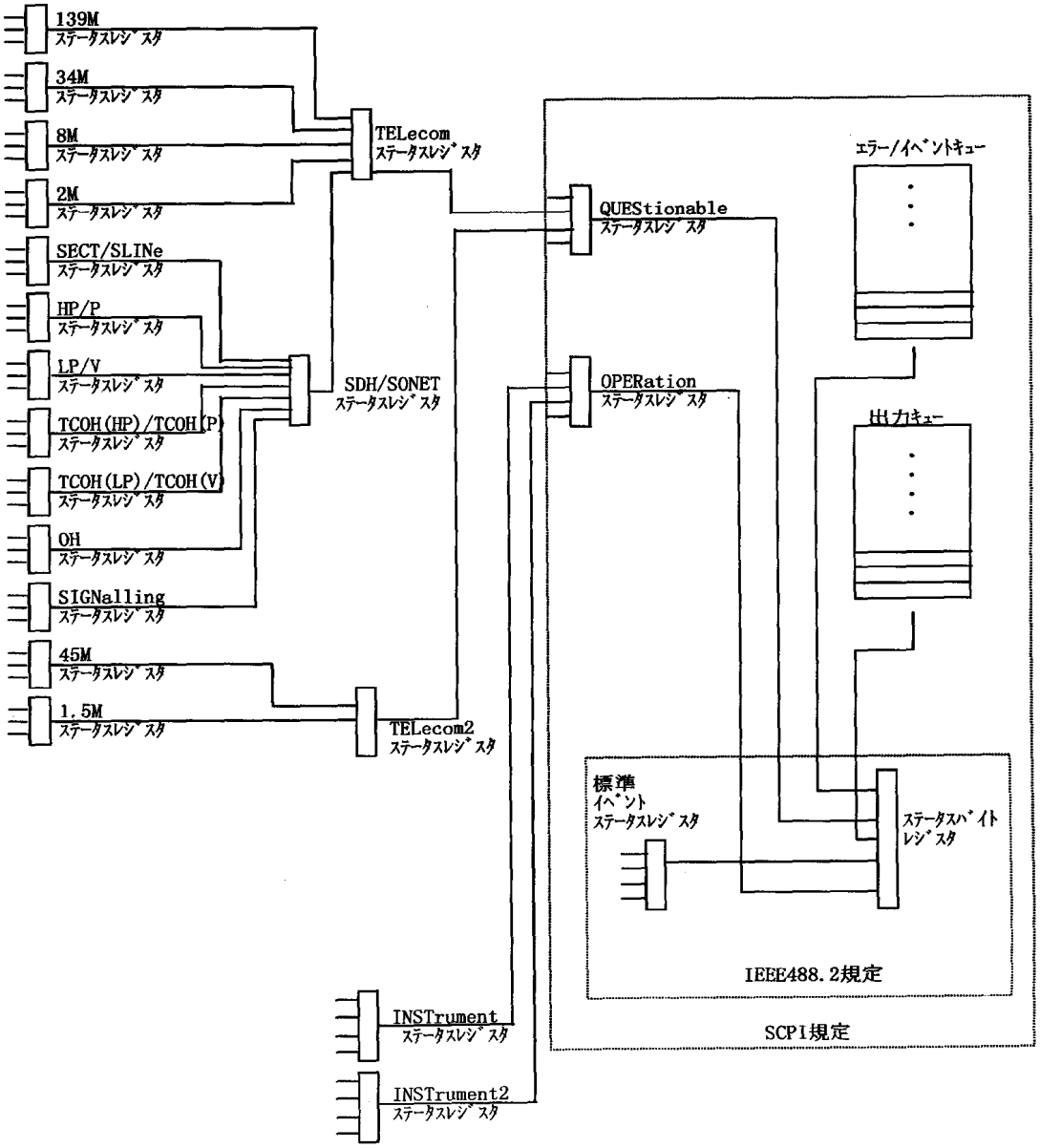
この章では，ステータスレジスタの構成や，装置固有のステータスレジスタのビット定義について説明します。
MP1570A のステータスレジスタの構成は SCPI（Standard Command for Programmable Instruments）の規定に準拠しています。 詳細については，「９章　SCPI の概要」をご覧ください。

8.1 MP1570A のステータスレジスタの構成 8-3
8.2 IEEE488.2 規定ステータスレジスタ 8-6
8.3 SCPI 規定ステータスレジスタ 8-8
8.4 MP1570A 固定ステータスレジスタ 8-9
8.5 ステータスレジスタの読み取り，書き込み，クリア 8-18

8.1　MP1570A のステータスレジスタの構成

SCPI では，ステータスレジスタが IEEE488.2 で規定される構成を持つことと, SCPI 固有の OPERation ステータスレジスタと QUEStionable ステータスレジスタを持つことを規定しています。

次ページに，本器が装備しているステータスレジスタの簡単な構成図を示します。(ビット位置とビット幅については，後述します。)



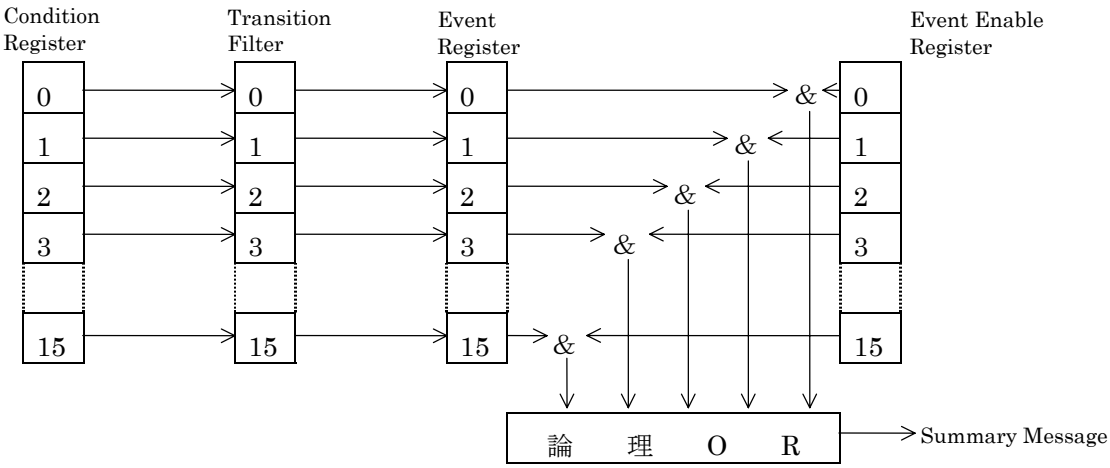
MP1570A ステータスレジスタ構成図

IEEE488.2 規定レジスタ・・・・標準イベントレジスタ，ステータスバイトレジスタ

SCPI 規定レジスタ・・・・QUEStionable ステータスレジスタ，OPERation ステータスレジスタ

装置固有レジスタ・・・・TELecom,TELecom2,INSTrument,INSTrument2,SDH/SONet,139M,34M,8M,2M,SECT/SLINe,HP/P,LP/V,TCOH(HP)/TCOH(P)TCOH(LP)/TCOH(V),OH,SIGNalling,45M,1.5M

SCPI 規定ステータスレジスタと，装置固有ステータスレジスタはそれぞれ下記のような構成になっています。



ステータスレジスタの構成図

レジスタフィルタの内容

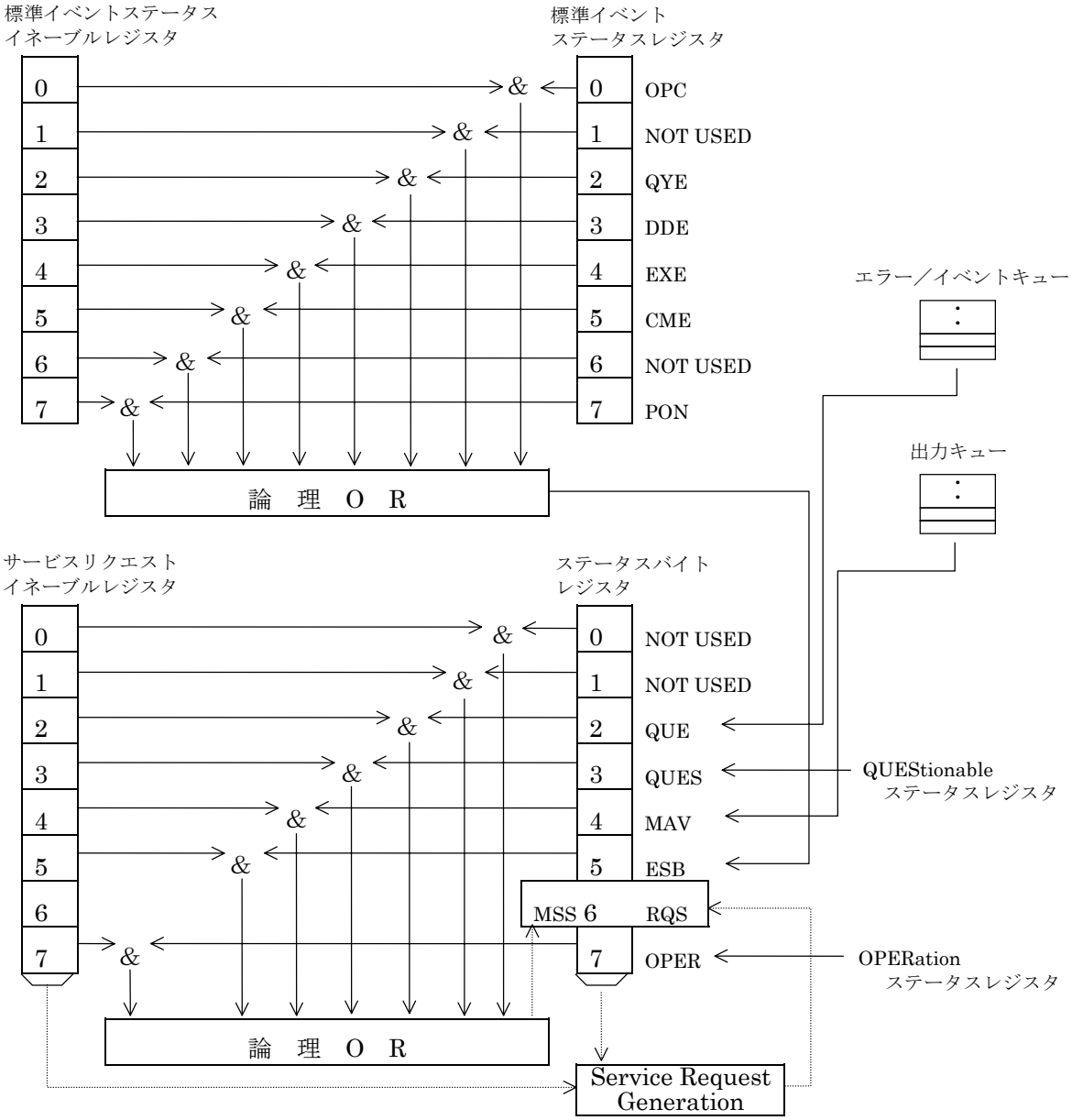
レジスタ・フィルタ	内容
Condition Register	デバイス状態をモニタし，デバイスの状態に応じてリアルタイムに変化します。そのため，このレジスタは状態の記憶を行いません。
Transition Filter	Condition Register の内容を Event Register に設定します。Transition Filter には Condition Register のいずれの変化を評価するかによって下記の３とおりがあります。 正方向変化：対応する条件が偽から真に変化したときのみイベントが真になります。 負方向変化：対応する条件が真から偽に変化したときのみイベントが真になります。 両方向変化：正／負いずれかの方向の変化が生じたときにイベントが真になります。
Event Register	Transition Filter の出力を記憶します。
Event Enable Register	対応する Event Register のどのビットがセットされたときにサマリメッセージを真にするかを選択します。

8.2 IEEE488.2 規定ステータスレジスタ

IEEE488.2 では下記の２つのステータスレジスタを規定しています。

IEEE488.2 規定ステータスレジスタの内容

ステータスバイトレジスタ	RQS および 7 個のサマリメッセージビットをセットできるレジスタです。サービスリクエストイネーブルレジスタと組み合わされて使用され，両者の OR が 0 でないとき SRQ を ON にします。RQS は bit6 にシステム予約されていて，このビットによって外部コントローラにサービス要求があることを報告します。
標準イベントステータスレジスタ	標準事象としてデバイスが遭遇する 8 種類の事象をレジスタにたてます。論理 OR 出力ビットは，ESB(Event Status Bit)サマリメッセージとして，ステータスバイトレジスタの bit5 に要約表示されます。



ステータスバイトレジスタのビット定義

DB2	QUE　(Error/Event QUEue)	エラー，イベントキューが空でないことを示します。
DB3	QUES (QUEStionable status register summary)	QUEStionable ステータスレジスタサマリ
DB4	MAV　(Message AVailable)	出力キューが空でないことを示します。
DB5	ESB　(Event Summary Bit)	標準イベントステータスレジスタサマリ
DB6	RQS　(ReQuest Service) MSS　(Master Summary Status)	RQS メッセージ デバイスに少なくとも 1 つのサービスを要求する原因があることを示します。
DB7	OPER (OPERation status register summary)	OPERation ステータスレジスタサマリ

標準イベントステータスレジスタのビット定義

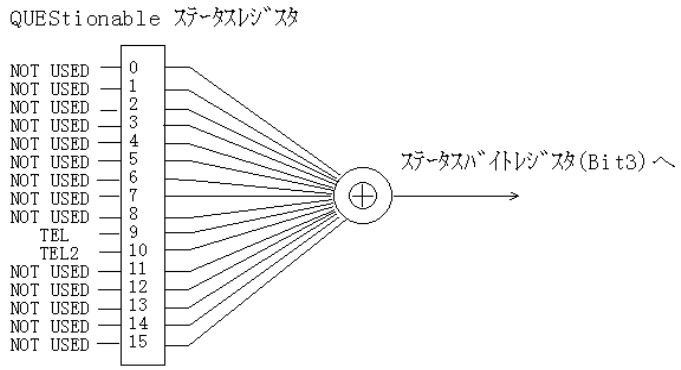
DB0	OPC　(Operation Complete)	指定された動作がすべて完了したことを示します。
DB2	QYE　(Query Error)	問い合わせエラーが発生したことを示します。
DB3	DDE　(Device-dependent Error)	コマンドエラー，問い合わせエラー，または実行エラー以外のエラーが発生したことを示します。
DB4	EXE　(Execution Error)	実行エラーが発生したことを示します。
DB5	CME　(Command Error)	コマンドエラーが発生したことを示します。
DB7	PON　(Power on)	電源が OFF から ON に変化したことを示します。

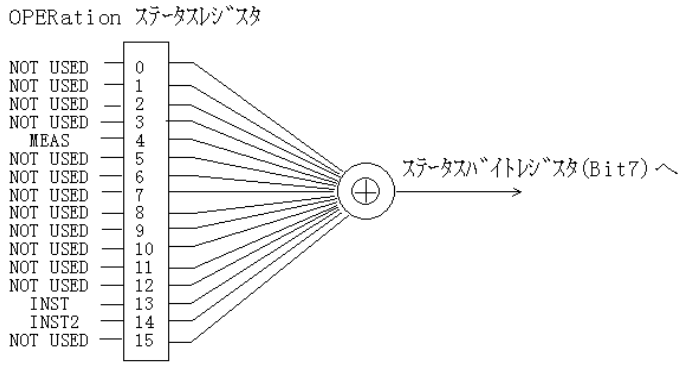
8.3　SCPI 規定ステータスレジスタ

SCPI では，IEEE488.2 で規定されたレジスタに加えて，下記に示すレジスタを含みます。

SCPI 規定ステータスレジスタの内容

OPERation ステータスレジスタ	装置の状態の一部を報告します。
QUEStionable ステータスレジスタ	信号の状態を報告します。





QUEStionable ステータスレジスタのビット定義

DB9	TEL　(TELecom status register summary)	TELecom ステータスレジスタサマリ
DB10	TEL2 (TELecom2 status register summary)	TELecom2 ステータスレジスタサマリ

OPERation ステータスレジスタのビット定義

DB4	MEAS (MEASuring)	測定実行中であることを示します。
DB13	INST (INSTrument status register summary)	INSTrument ステータスレジスタサマリ
DB14	INST2 (INSTrument2 status register summary)	INSTrument2 ステータスレジスタサマリ

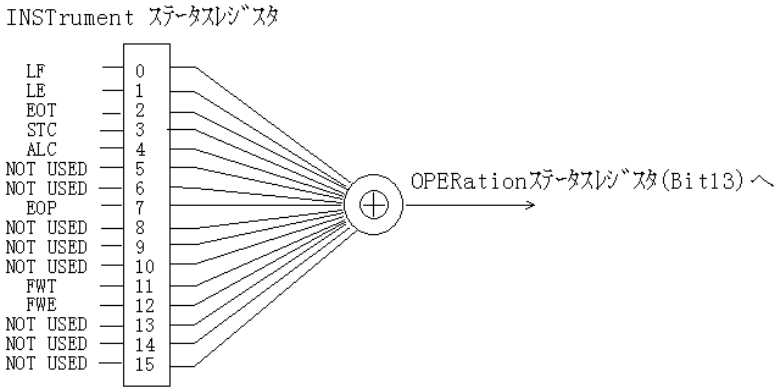
8.4 MP1570A 固有ステータスレジスタ

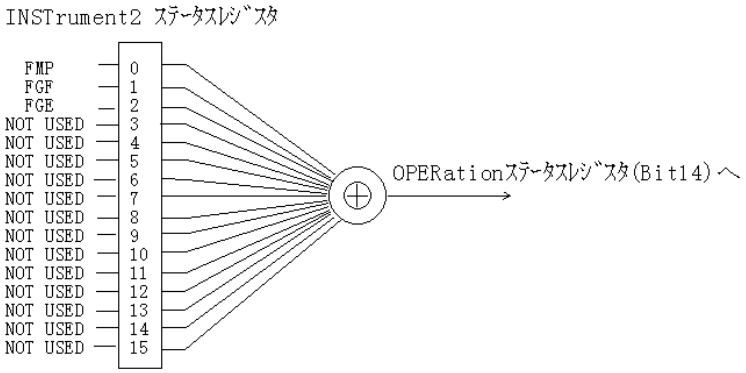
下記に本器固有のステータスレジスタを示します。

MP1570A 固有ステータスレジスタの内容

INSTrument ステータスレジスタ	装置の状態，および測定の状態を報告します。
TELecom ステータスレジスタ	信号の状態を報告し, 下層のサマリメッセージを含みます。
INSTrument2 ステータスレジスタ	装置の状態，および測定の状態を報告します。
TELecom2 ステータスレジスタ	信号の状態を報告し, 下層のサマリメッセージを含みます。
139M ステータスレジスタ	139M 信号の状態を報告します。
34M ステータスレジスタ	34M 信号の状態を報告します。
8M ステータスレジスタ	8M 信号の状態を報告します。
2M ステータスレジスタ	2M 信号の状態を報告します。
SDH/SONet ステータスレジスタ	SDH 信号の状態を報告し，下層のサマリメッセージを含みます。
SECT/SLINe ステータスレジスタ	SECT 信号の状態を報告します。
HP/P ステータスレジスタ	AU 信号の状態を報告します。
LP/V ステータスレジスタ	TU 信号の状態を報告します。
TCOH(HP)/TCOH(P)ステータスレジスタ	タンデムコネクション（高次）時の状態を報告します。
TCOH(LP)/TCOH(V)ステータスレジスタ	タンデムコネクション（低次）時の状態を報告します。
OH ステータスレジスタ	OH の状態を報告します。
SIGNalling ステータスレジスタ	384K 信号の状態を報告します。
45M ステータスレジスタ	45M 信号の状態を報告します。
1.5M ステータスレジスタ	1.5M 信号の状態を報告します。

次ページに上記のレジスタの構成図を示します。



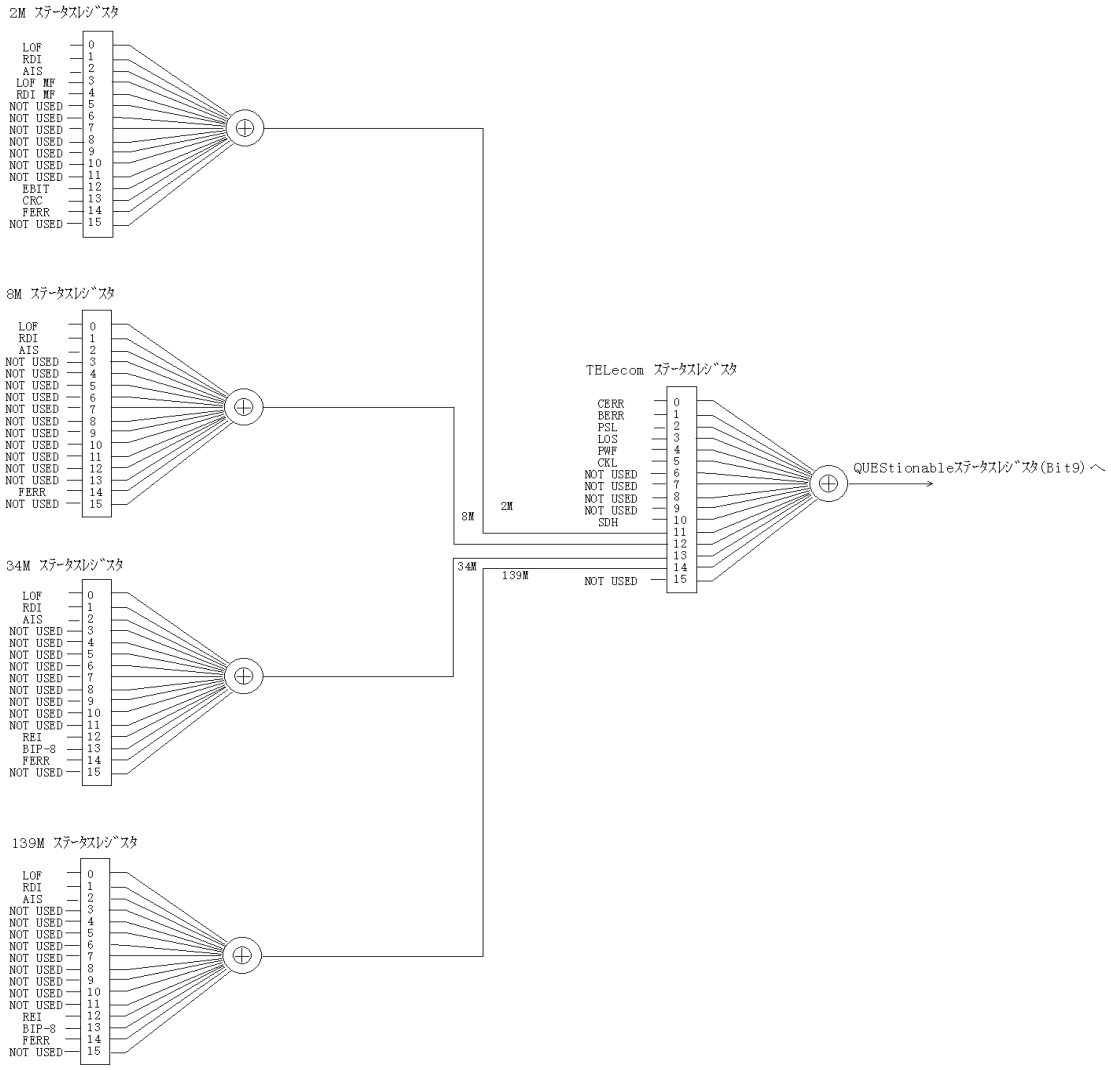


INSTrument ステータスレジスタのビット定義

DB0	LF　(Log Full)	ログがいっぱいになったことを示します。
DB1	LE　(Log Empty)	ログが空であることを示します。
DB2	EOT　(End Of Test period)	試験(測定)が終了したことを示します。
DB3	STC　(Self Test Complete)	セルフテストが終了したことを示します。
DB4	ALC　(ALarm Change)	アラームに変化があったことを示します。
DB7	EOP　(End Of Printer period)	プリンタ中間印字タイミングを示します。

INSTrument2 ステータスレジスタのビット定義

DB0	FMP　(Freq. Monitor Period)	周波数モニタの更新タイミングを示します。
DB1	FGF　(Freq. Graph Full)	Freq.グラフデータがいっぱいになったことを示します。
DB2	FGE　(Freq. Graph Empty)	Freq.グラフデータが空であることを示します。


2M ステータスレジスタ
LOF 0
RDI 1
AIS 2
LOF MF 3
RDI MF 4
NOT USED 5
NOT USED 6
NOT USED 7
NOT USED 8
NOT USED 9
NOT USED 10
NOT USED 11
EBIT 12
CRC 13
FERR 14
NOT USED 15
8M ステータスレジスタ
LOF 0
RDI 1
AIS 2
NOT USED 3
NOT USED 4
NOT USED 5
NOT USED 6
NOT USED 7
NOT USED 8
NOT USED 9
NOT USED 10
NOT USED 11
NOT USED 12
NOT USED 13
FERR 14
NOT USED 15
34M ステータスレジスタ
LOF 0
RDI 1
AIS 2
NOT USED 3
NOT USED 4
NOT USED 5
NOT USED 6
NOT USED 7
NOT USED 8
NOT USED 9
NOT USED 10
NOT USED 11
REI 12
BIP-8 13
FERR 14
NOT USED 15
139M ステータスレジスタ
LOF 0
RDI 1
AIS 2
NOT USED 3
NOT USED 4
NOT USED 5
NOT USED 6
NOT USED 7
NOT USED 8
NOT USED 9
NOT USED 10
NOT USED 11
REI 12
BIP-8 13
FERR 14
NOT USED 15
TELecom ステータスレジスタ
CERR 0
BERR 1
PSL 2
LOS 3
PWF 4
CKL 5
NOT USED 6
NOT USED 7
NOT USED 8
NOT USED 9
SDH 10
11
12
13
14
NOT USED 15
2M
8M
34M
139M
QUEStionableステータスレジスタ(Bit9)へ

TELecom ステータスレジスタのビット定義

DB0	CERR (Code ERRor)	コードエラーがあったことを示します。
DB1	BERR (Bit ERRor)	ビットエラーがあったことを示します。
DB2	PSL　(Pattern Sync Loss)	パターンシンクロスが発生したことを示します。
DB3	LOS　(Loss Of Signal)	シグナルロスが発生したことを示します。
DB4	PWF　(Power Fail)	電源断が発生したことを示します。
DB5	CKL　(Clock Loss)	クロックロスが発生したことを示します。
DB6	Unlock　(Unlock)	Unlock が発生したことを示します。
DB10	SDH　(SDH status register summary)	SDH ステータスレジスタサマリ
DB11	2M　(2M status register summary)	PDH:2M ステータスレジスタサマリ
DB12	8M　(8M status register summary)	PDH:8M ステータスレジスタサマリ
DB13	34M　(34M status register summary)	PDH:34M ステータスレジスタサマリ
DB14	139M (139M status register summary)	PDH:139M ステータスレジスタサマリ

139M／34MMステータスレジスタのビット定義

(139M，34M ともビット定義は同一です)

DB0	LOF　(Loss Of Frame)	LOF が発生したことを示します。
DB1	RDI　(Remote Defect Indication)	RDI が発生したことを示します。
DB2	AIS　(Alarm Indication Signal)	AIS が発生したことを示します。
DB12	REI　(Remote Error Indication)	REI エラーがあったことを示します。
DB13	BIP-8 (BIP-8 error)	BIP-8 エラーがあったことを示します。
DB14	FERR　(Frame ERRor)	フレームエラーがあったことを示します。

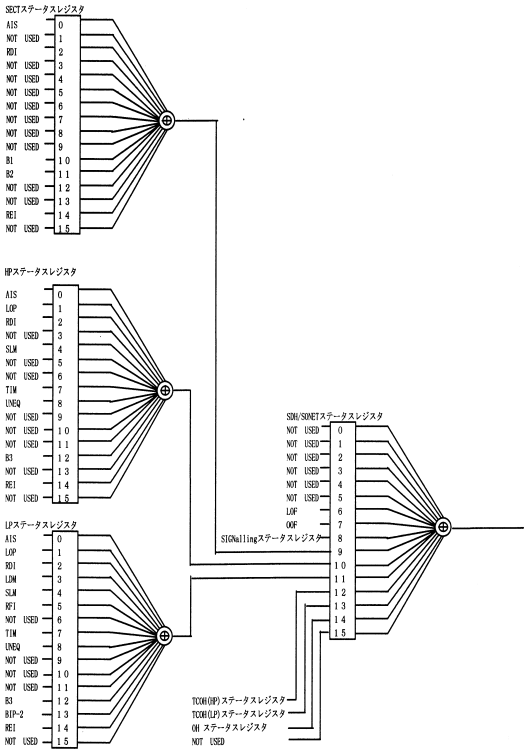
８Ｍステータスレジスタのビット定義

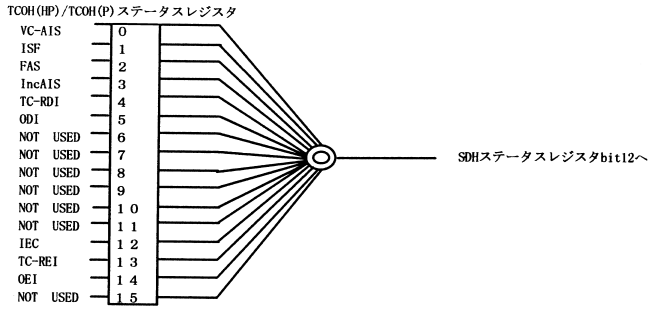
(8M ともビット定義は同一です)

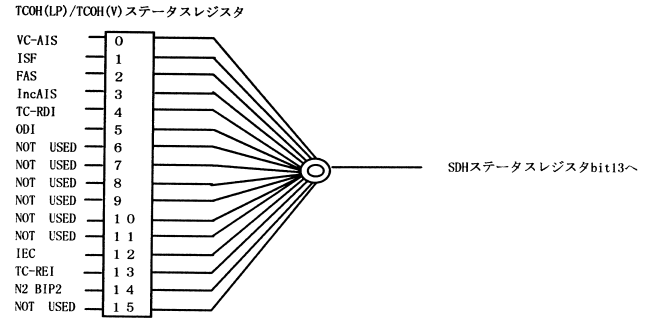
DB0	LOF　(Loss Of Frame)	LOF が発生したことを示します。
DB1	RDI　(Remote Defct Indicatin)	RDI が発生したことを示します。
DB2	AIS　(Alarm Indication Signal)	AIS が発生したことを示します。
DB14	FERR (Frame ERRor)	フレームエラーがあったことを示します。

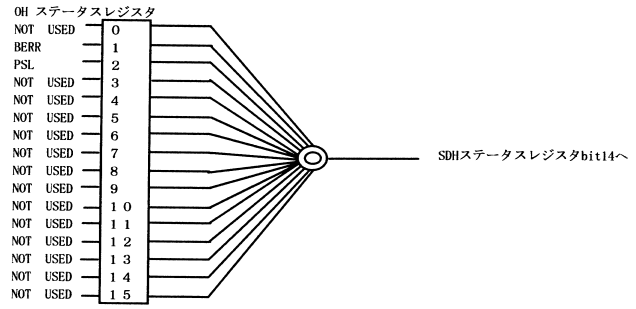
２Ｍステータスレジスタのビット定義

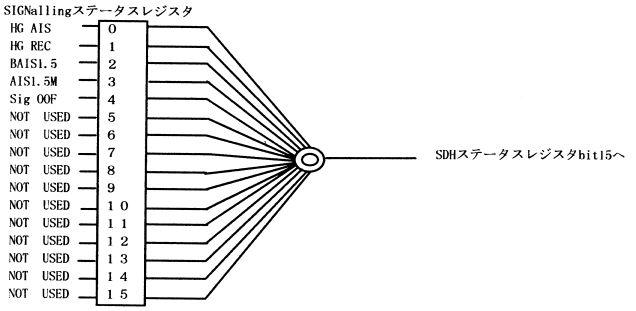
DB0	LOF　(Los Of Frame)	LOF が発生したことを示します。
DB1	RDI　(Remote Defect Indication)	RDI が発生したことを示します。
DB2	AIS　(Alarm Indication Signal)	AIS が発生したことを示します。
DB3	LOF MF(Loss Of Frame MultiFrame)	LOF MF が発生したことを示します。
DB4	RDI MF (Remote Defect Infication MultiFrame)	RDI MF が発生したことを示します。
DB12	EBIT　(E-Bit)	E-Bit が立ったことを示します。
DB13	CRC　(CRC error)	CRC エラーがあったことを示します。
DB14	FERR　(Frame ERRor)	フレームエラーがあったことを示します。


SECTステータスレジスタ
AIS 0
NOT USED 1
RDI 2
NOT USED 3
NOT USED 4
NOT USED 5
NOT USED 6
NOT USED 7
NOT USED 8
NOT USED 9
B1 10
B2 11
NOT USED 12
NOT USED 13
REI 14
NOT USED 15
HPステータスレジスタ
AIS 0
LOP 1
RDI 2
NOT USED 3
SLM 4
NOT USED 5
NOT USED 6
TIM 7
UNEQ 8
NOT USED 9
NOT USED 10
NOT USED 11
B3 12
NOT USED 13
REI 14
NOT USED 15
LPステータスレジスタ
AIS 0
LOP 1
RDI 2
LDM 3
SLM 4
RFI 5
NOT USED 6
TIM 7
UNEQ 8
NOT USED 9
NOT USED 10
NOT USED 11
B3 12
BIP-2 13
REI 14
NOT USED 15
SDH/SONETステータスレジスタ
NOT USED 0
NOT USED 1
NOT USED 2
NOT USED 3
NOT USED 4
NOT USED 5
LOF 6
OOF 7
SIGNallingステータスレジスタ 8
9
10
11
12
13
14
15
TCOH(HP)ステータスレジスタ
TCOH(LP)ステータスレジスタ
OH ステータスレジスタ
NOT USED


TCOH(HP)/TCOH(P)ステータスレジスタ
VC-AIS 0
ISF 1
FAS 2
IncAIS 3
TC-RDI 4
ODI 5
NOT USED 6
NOT USED 7
NOT USED 8
NOT USED 9
NOT USED 10
NOT USED 11
IEC 12
TC-REI 13
OEI 14
NOT USED 15
SDHステータスレジスタbit12へ


TCOH(LP)/TCOH(V)ステータスレジスタ
VC-AIS 0
ISF 1
FAS 2
IncAIS 3
TC-RDI 4
ODI 5
NOT USED 6
NOT USED 7
NOT USED 8
NOT USED 9
NOT USED 10
NOT USED 11
IEC 12
TC-REI 13
N2 BIP2 14
NOT USED 15
SDHステータスレジスタbit13へ


OH ステータスレジスタ
NOT USED 0
BERR 1
PSL 2
NOT USED 3
NOT USED 4
NOT USED 5
NOT USED 6
NOT USED 7
NOT USED 8
NOT USED 9
NOT USED 10
NOT USED 11
NOT USED 12
NOT USED 13
NOT USED 14
NOT USED 15
SDHステータスレジスタbit14へ


SIGNallingステータスレジスタ
HG AIS 0
HG REC 1
BAIS1.5 2
AIS1.5M 3
Sig OOF 4
NOT USED 5
NOT USED 6
NOT USED 7
NOT USED 8
NOT USED 9
NOT USED 10
NOT USED 11
NOT USED 12
NOT USED 13
NOT USED 14
NOT USED 15
SDHステータスレジスタbit15へ

SDH/ SONet ステータスレジスタのビット定義

DB6	LOF　(Loss Of Frame)	LOF が発生したことを示す。
DB7	OOF　(Out Of Frame)	OOF が発生したことを示す。
DB8	SIGNalling	SIGNalling ステータスレジスタサマリ
DB9	SECT(SLINE)　(Section/Line pass)	SECT(SLINE)ステータスレジスタサマリ
DB10	HP(STS)　(HP/STS Path)	HP　(STS)　ステータスレジスタサマリ
DB11	LP(VT)　(LP/VT Path)	LP　(VT)　ステータスレジスタサマリ
DB12	TCOH(HP)	TCOH(HP)　ステータスレジスタサマリ
DB13	TCOH(LP)	TCOH(LP)　ステータスレジスタサマリ
DB14	OH	OH　ステータスレジスタサマリ

SECT/SLINe ステータスレジスタのビット定義

DB0	AIS　(Alarm Indication Signal)	MS-AIS(AIS-L)が発生したことを示す。
DB2	RDI　(Remote Defect Indication)	MS-RDI(RDI-L)が発生したことを示す。
DB10	B1　(B1 error)	B1 があったことを示す。
DB11	B2　(B2 error)	B2 があったことを示す。
DB14	REI　(Remote Error Indication)	MS-REI(REI-L)が発生したことを示す。

HP/P ステータスレジスタのビット定義

DB0	AIS　(Alarm Indication Signal)	AU-AIS(AIS-P)が発生したことを示す。
DB1	LOP　(Loss Of Pointer)　)	AU-LOP(LOP-P)が発生したことを示す。
DB2	RDI　(Remote Defect Indication)	HP-RDI(RDI-P)が発生したことを示す。
DB4	SLM(PLM)　(Signal Label Mismatch)	HP-SLM(PLM-P)が発生したことを示す。
DB7	TIM　(Trace Identifier Mismatch)	TIM が発生したことを示す。
DB8	UNEQ (UnEquipped)	UNEQ が発生したことを示す。
DB12	B3　(B3 error)	HP-B3 エラーがあったことを示す。
DB14	REI　(Remote Error Indication)	HP-REI(REI-P)が発生したことを示す。

LP/V ステータスレジスタのビット定義

DB0	AIS　(Alarm Indication Signal)	TU-AIS(AIS-V)が発生したことを示す。
DB1	LOP　(Loss Of Pointer)	TU-LOP(LOP-V)が発生したことを示す。
DB2	RDI　(Remote Defect Indication)	LP-RDI(RDI-V)が発生したことを示す。
DB3	LOM　(Loss Of Multiframe)	TU-LOM(LOM-V)が発生したことを示す。
DB4	SLM(PLM)　(Signal Label Mismatch)	LP-SLM(PLM-V)が発生したことを示す。
DB5	RFI　(Remote Failure Indication)	LP-RFI(RFI-V)が発生したことを示す。
DB7	TIM　(Trace Identifier Mismatch)	TIM が発生したことを示す。
DB8	UNEQ (UnEquipped)	UNEQ が発生したことを示す。
DB12	B3　(B3 error)	LP-B3 エラーがあったことを示す。
DB13	BIP2 (BIP-2 error)	BIP-2 エラーがあったことを示す。
DB14	REI　(Remote Error Indication)	LP-REI(REI-V)が発生したことを示す。

TCOH(HP)/TCOH(P)ステータスレジスタのビット定義

DB0	VC-AIS(Virtual Container Alarm Indication Signal)	VC-AIS が発生したことを示す。
DB1	ISF (Incoming Signal Failure)	ISF が発生したことを示す。
DB2	FAS (Frame Alignment Signal)	FAS が発生したことを示す。
DB3	IncAIS (Incoming Alarm Indication Signal)	IncAIS が発生したことを示す。
DB4	TC-RDI(Tandem Connection Remote Defect Indication)	TC-RDI が発生したことを示す。
DB5	ODI (Outgoing Defect Indication)	ODI が発生したことを示す。
DB12	IEC (the Incoming Error Count)	IEC エラーがあったことを示す。
DB13	TC-REI(Tandem Connection Remote Error Indication)	TC-REI エラーがあったことを示す。
DB14	OEI　(Outgoing Error Indication)	OEI エラーが発生したことを示す。

TCOH(LP)/TCOH(V)ステータスレジスタのビット定義

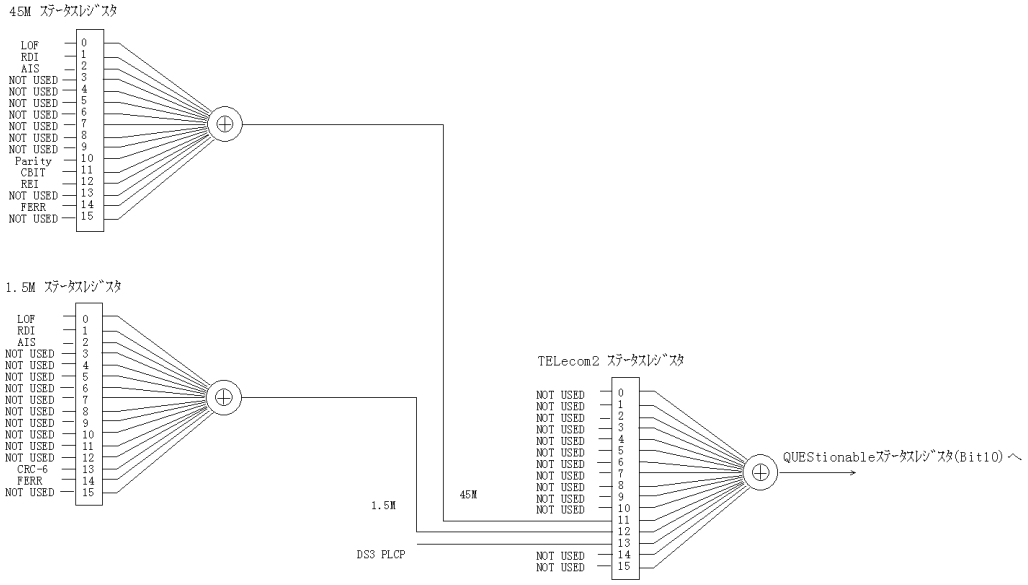
DB0	VC-AIS(Virtual Container Alarm Indication Signal)	VC-AIS が発生したことを示す。
DB1	ISF(Incoming Signal Failure)	ISF が発生したことを示す。
DB2	FAS(Frame Alignment Signal)	FAS が発生したことを示す。
DB3	IncAIS(Incoming Alarm Indication Signal)	IncAIS が発生したことを示す。
DB4	TC-RDI(Tandem Connection Remote Defect Indication)	TC-RDI が発生したことを示す。
DB5	ODI(Outgoing Defect Indication)	ODI が発生したことを示す。
DB12	IEC(the Incoming Error Count)	IEC エラーがあったことを示す。
DB13	TC-REI(Tandem Connection Remote Error Indication)	TC-REI エラーがあったことを示す。
DB14	N2 BIP2 (N2 Bit Interleaved Parity 2)	N2 BIP2 エラーが発生したことを示す。

OH ステータスレジスタのビット定義

DB1	BERR	Sync が発生したことを示す。
DB2	PSL	Bit エラーが発生したことを示す。

SIGNalling ステータスレジスタのビット定義

DB0	HG AIS(Handling Group Alarm Indication Signal)	HG AIS が発生したことを示す。
DB1	HG REC(Handling Group Receive)	HG REC が発生したことを示す。
DB2	BAIS1.5(Backward Alarm Indication Signal)	BAIS1.5 が発生したことを示す。
DB3	AIS1.5M(Alarm Indication Signal 1.5M)	AIS1.5M が発生したことを示す。
DB4	Sig.OOF(Signal Out of Frame)	Sig.OOF が発生したことを示す。



TELcom2 ステータスレジスタのビット定義

DB11	45M　(45M Status Register summary)	45M ステータスレジスタサマリ
DB12	1.5M (1.5M Status Register summary)	1.5M ステータスレジスタサマリ

45M ステータスレジスタのビット定義

DB0	LOF　(Loss Of Frame)	LOF が発生したことを示す。
DB1	RDI　(Remote Defect Indication)	RDI が発生したことを示す。
DB2	AIS　(Alarm Indication Signal)	AIS が発生したことを示す。
DB10	Parity(Parity)	Parity エラーがあったことを示します。
DB11	C-bit(C-bit)	C-bit エラーがあったことを示します。
DB12	REI　(Remote Error Indication)	45M REI エラーがあったことを示します。
DB14	FERR (Frame Error)	フレームエラーが発生したことを示します。

1.5M ステータスレジスタのビット定義

DB0	LOF　(Loss Of Frame)	LOF が発生したことを示す。
DB1	RDI　(Remote Defect Indication)	RDI が発生したことを示す。
DB2	AIS　(Alarm Indication Signal)	AIS が発生したことを示す。
DB13	CRC-6(CRC-6 error)	CRC6 があったことを示します。
DB14	FERR (Frame Error)	フレームエラーが発生したことを示します。

8.5 ステータスレジスタの読み取り，書き込み，クリア

(1)　読み取りと書き込みの方法について

それぞれのステータスレジスタの内容の読み取りと書き込み方法を，下記に示します。

各ステータスレジスタの読み取りと書き込みの方法

レジスタ	読み取り方法	書き込み方法
ステータスバイトレジスタ	シリアルポール 7 ビットのステータスバイトと，RQS メッセージビットが返送されます。このときステータスバイトの値は変化をしません。	不可
サービスリクエストイネーブルレジスタ	*SRE?共通問い合わせ	*SRE 共通コマンド
標準イベントステータスレジスタ	*ESR?共通問い合わせ このとき，読み取られた後にレジスタの内容はクリアされます。	不可
標準イベントステータスイネーブルレジスタ	*ESE?共通問い合わせ このとき，レジスタの内容は変化しません。	*ESE 共通コマンド
SCPI イベントレジスタ	SCPI コマンド (STATus サブシステム) :STATus:...:EVENt? このとき，レジスタの内容はクリアされます。	不可
SCPI イネーブルレジスタ	SCPI コマンド (STATus サブシステム) :STATus:...:ENABle? このとき，レジスタの内容は変化しません。	SCPI コマンド (STATus サブシステム) :STATus:...:ENABle
SCPI Transition フィルタ	SCPI コマンド (STATus サブシステム) :STATus:...:PTRansition? :STATus:...:NTRansition? このとき，レジスタの内容は変化しません。	SCPI コマンド (STATus サブシステム) :STATus:..:PTRansition :STATus:..:NTRansition
エラー／イベントキュー	SCPI コマンド :SYSTem:ERRor?	不可

注

- SCPI イベントレジスタ，SCPI イネーブルレジスタ，および SCPI Transition フィルタは，それぞれ SCPI 規定ステータスレジスタと装置固有ステータスレジスタにおけるイベントレジスタ，イネーブルレジスタ，および Transition フィルタを示します。
- ?共通コマンドと問い合わせの詳細は７章を，また SCPI コマンドの詳細は９章をご覧ください。

(2) クリアとリセットの方法

下記にそれぞれのステータスレジスタのクリアとリセットの方法と，影響を受ける範囲を示します。

各ステータスレジスタのクリア，リセットの方法

レジスタ	*RST	*CLS	電源 ON#	STATus:PRESet	その他のクリア方法
ステータスバイトレジスタ	変化なし	変化なし	クリア	変化なし	
サービスリクエスト	変化なし	変化なし	クリア	変化なし	*SRE 0 の実行
標準イベントステータスレジスタ	変化なし	クリア	クリア	変化なし	*ESR?によりイベントが読み取られたときにクリアされます。
標準イベントステータスイネーブルレジスタ	変化なし	変化なし	クリア	変化なし	*ESE 0 の実行
SCPI イベントレジスタ	変化なし	クリア	クリア	変化なし	:STATus:...:EVENt?によりイベントが読み取られたときにクリアされます。
SCPI イネーブルレジスタ	変化なし	変化なし	リセット	リセット	:STATus:...:ENABle 0 の実行
SCPITransition フィルタ	変化なし	変化なし	リセット	リセット	:STATus:..:PTRansition 0 :STATus:..:NTRansition 0 の実行
エラー／イベントキュー	変化なし	クリア	クリア	変化なし	:SYSTem:ERRor?によりイベントをすべて読み取る。

注

SCPI イベントレジスタ，SCPI イネーブルレジスタ，および SCPI Transition フィルタはそれぞれ，SCPI 規定ステータスレジスタと装置固有ステースレジスタにおけるイベントレジスタ，イネーブルレジスタ，Transition フィルタを示します。

*PSC 共通コマンドにより，PSC(Power-ON Status Clear)フラグを真として，電源を ON にした場合にクリア(またはリセット)されます。

下に:STATus:PRESet コマンドによって影響を受けるレジスタのリセット後の値を示します。

レジスタ　０	イネーブル／フィルタ	リセット値
OPERational ステータスレジスタ QUEStionabl ステータスレジスタ	イネーブルレジスタ PTRansition フィルタ NTRansition フィルタ	All 0 All 1 All 0
INSTrument ステータスレジスタ	イネーブルレジスタ PTRansition フィルタ NTRansition フィルタ	ALL 1 ALL 1 ALL 0
その他の ステータスレジスタ	イネーブルレジスタ PTRansition フィルタ NTRansition フィルタ	All 1 All 1 All 1

９章　SCPI の概要

この章では，SCPI の概要とコマンド体型について説明します。
MP1570A は，リモート制御を行うためのコマンドとして SCPI（Standard Commands for Programmable Instruments）を採用しています。

この章以降で，コマンドの使用例とレスポンスの例は下記のように記述します。

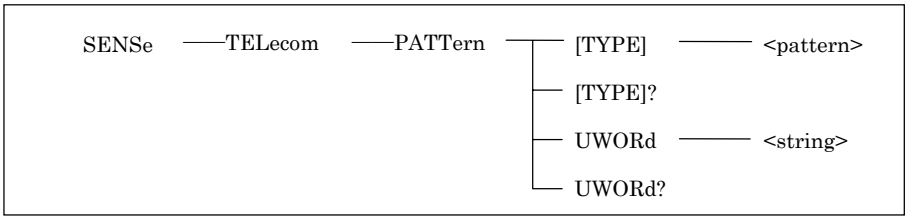
> *プログラムメッセージ（プログラムコマンド，問い合わせコマンド）*
< *レスポンス*

9.1 SPCI について 9-3
9.2 コマンドの構造 9-3
9.3 コマンドの記述法 9-4
9.4 コマンドの複合 9-5
9.5 パラメータ 9-5

9.1 SCPI について

SCPI は，SCPI コンソシアムによって定義されたハードウエアに依存しない装置コマンド言語です。
SCPI の目的は，自動測定器(ATE)のプログラム開発期間をより短くすることで，そのために装置コントロールやデータの取り扱いなどのプログラミング環境に一貫性を持たせています。また，同機種間や同じ機能を持つ異機種間に互換性があり，同じ機能を持つ装置を制御する場合には，まったく同じ制御ができる特徴を持っています。

9.2 コマンドの構造



SCPI コマンド Tree の例

SCPI コマンドは階層構造に基づいています。コマンドは関連する機能ごとにグルーピングされていて，それぞれに「サブシステム」と呼ばれる階層構造を構成しています。
コマンドの中には，同じヘッダが現れる場合がありますが，そのヘッダが存在する位置によって，それぞれ異なる機能に対応しています。そのため，コマンドは，使用するヘッダまでのフルパスで記述する必要があります。

例：SENSe サブシステム
SENSe は最も高いレベルのノード
TELecom は２番目のレベルのノード
PATTern は３番目のレベルのノード
TYPE，TYPE?，UWORd，UWORd?は共に４番目のレベルのノード
<pattern>，<string>はそれぞれ TYPE，UWORd のパラメータタイプ

9.3 コマンドの記述法

```
:SENSe:TELecom:PATTern[:TYPE]<pattern>      <pattern> = PRBS11,PRBS15,PRBS20,PRBS23,
:SENSe:TELecom:PATTern[:TYPE]?                          UWORd16,AZERo,AONE
:SENSe:TELecom:PATTern:UWORd<string>        <string> = "00..00" ～ "11..11"
:SENSe:TELecom:PATTern:UWORd?
```

SCPI コマンドの例

前項で示したコマンド Tree はそれぞれ上記のコマンドとなります。
以下に，コマンドの記述に関する規定を説明します。

＜コマンドフォーマット＞
コマンドは’：’から始まります。
また，コマンドはヘッダとヘッダを’：’で連結して構成しています。

＜ヘッダの省略形式＞
ヘッダには，ショートフォームとロングフォームがあります。
ショートフォームはロングフォームの省略形でヘッダの中の大文字の部分です。コマンドはショートフォームとロングフォームのどちらを用いてもを同じコマンドとして解釈されます（ショートフォームとロングフォームを混ぜて使用することもできます）。
また，コマンドリファレンスではショートとロングの区別のために大文字と小文字が使用されていますが，実際には大小文字の区別はありません（SENSE，Sense，および sense は，同じヘッダとして解釈されます。)

例 : ロングフォーム　> :SENSE:TELECOM:PATTern:TYPE PRBS11
ショートフォーム　> :SENS:TEL:PATT:TYPE PRBS11
ロング+ショート　> :SENS:TEL:PATTern:TYPE PRBS11

＜オプションノード＞
[ ]はオプションノードを表します。[ ]で囲まれたヘッダは，省略することができます。

例 : ヘッダを省略しない場合 > :SENSe:TELecom:PATTern:TYPE PRBS11
ヘッダを省略した場合> :SENSe:TELecom:PATTern PRBS11

＜コマンドセパレータ＞
コマンドとパラメータの間には必ず１つ以上のスペースが必要です。また，２つ以上のパラメータは’，’で区切る必要があります。

9.4 コマンドの複合

コマンドは下記の例のように’；’で複合することができます。２つ目のコマンドは１つ目のコマンドの最下位階層と同じレベルとして参照されます。
そのため，例１のように２つ目のコマンドをフルパスで記述することもできますが，例２のようにTYPEより上位のヘッダを省略して記述することもできます。

例：１>:SENSe:TELecom:PATTern:TYPE UWORd16;:SENS:TELecom:PATTer:UWORd "1100110011001100"
２>:SENSe:TELecom:PATTern:TYPE UWORd16;UWORd "1100110011001100"

9.5 パラメータ

本器で使用しているパラメータのタイプを下表に示します。
本取扱説明書では，下表の＜＞で囲まれた英小文字でパラメータタイプを表現しています。
また，それに対応する IEEE488.2（または SCPI）規定の<PROGRAM DATA>タイプを英大文字で表しています。
各パラメータタイプと，IEEE488.2（または SCPI）規定の<PROGRAM DATA>タイプとの対応は，それぞれのコマンドごとに記述してあります。

パラメータタイプの内容

パラメータタイプ	説 明
<numeric> <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>	十進数を表します。特別な数値形式として MINimum，MAXimam などの<CHARACTER PROGRAM DATA>も含まれます。本装置の使用する数値は主に整数形式です。その場合の小数部は四捨五入されます。
<boolean> <BOOLEAN PROGRAM DATA> (SCPI で定義)	理論値を表します。OFF または 0 が偽，ON または 1 が真に対応します。設定の場合は 0，1 でも OFF，ON でも使用できますが，問い合わせに対するレスポンスは 0 か 1 となります。
<string> <STRING PROGRAM DATA>	文字列を表します。シングルコーティションかダブルコーティションで囲んだ ASCII 文字の文字列です。ロングフォームとショートフォームのどちらでも使用できます。 例：'LOF:M139'または"LOF:M139"
<brate>，<type>..etc <CHARACTER PROGRAM DATA>	キャラクタデータを表します。設定内容に対応した短い文字列で表現されます。ロングフォームとショートフォームのどちらでも使用できます。

10 章　デバイスメッセージの詳細

この章では MP1570A でサポートするデバイスメッセージの詳細について説明します。

- この章では，コマンドの使用例とレスポンスは下記のように記述されています。
  > *プログラムメッセージ (プログラムコマンド，問合せコマンド)*
  < *レスポンス*

10.1 レスポンスフォーマット 10-3
10.2 バッファサイズ 10-4
10.3 装置固有コマンド 10-5
10.3.1 INSTrument subsystem 10-7
10.3.2 SOURce subsystem 10-11
10.3.3 SENSe subsystem 10-211
10.3.4 DISPlay subsystem 10-291
10.3.5 ROUTe subsystem 10-407
10.3.6 CALCulte subsystem 10-415
10.3.7 SYSTem subsystem 10-467
10.3.8 TEST subsystem 10-489
10.3.9 STATus subsystem 10-495

10.1 レスポンスフォーマット

問い合わせコマンドに対するレスポンスのフォーマットは，下記の表に従います。

レスポンスフォーマット（レスポンスタイプ別）

レスポンスタイプ	フォーマット
<numeric>,<year>,... (<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>)	レスポンスの桁数を可変とし，数値範囲の最大桁数をレスポンスの最大桁数とします。符号と数値の間にスペースはありません。 > :SYSTem:DATE? < 1996,7,14
<numeric>,<year>,... (<NR2 NUMERIC RESPONSE DATA>)	レスポンスの桁数を可変とし，数値（小数含む）範囲の最大桁数レスポンスの最大桁数とします。符号と数値の間にスペースはありません。 > :CALCulate:DATA?"ER:BIT" < :"1.0E-05"
<brate>,<type>..etc (<CHARACTER RESPONSE DATA>)	キャラクタのショートフォームが返されます。 例:> :SOURce:TELecom:CLOCk:SOURce? < INT
<string>,<display>..etc (<STRING RESPONSE DATA>)	""で囲まれたストリングが返されます。 対応するプログラムコマンドでストリングの内容にショートフォームとロングフォームがある場合はショートフォームが返されます。 > :DISPlay:DSELect:NAME? < "SET" ("SETup"のショートフォーム) レスポンスフォーマット Form1～Form4 は下記を参照してください。

レスポンスフォーマット(Form1～Form15)

形式	フォーマット	説明
Form1 整数型	"　　XXXXXX"	0≦値≦999,999 の場合。8 文字中右詰め 6 文字。 例: > :CALCulate:DATA? "EC:BIT" < "　　892"
	" X.XXE+XX"	1.0E+06≦値≦9.9E+15 の場合。8 文字中右詰め 7 文字。 例: > :CALCulate:DATA? "EC:BIT" < " 1.25E+07"
	">9.9E+15"	1.0E+16≦値の場合。
	"---------"	問い合わせに該当するデータがない場合。 例:入力信号が 8M の時に 139M の測定結果を問い合わせた場合。
Form2 小数型	" 0.0E-XX"	値=0 の場合。8 文字中右詰め 7 文字。
	"<1.0E-15"	値≦9.9E-16 の場合。
	" X.XE-XX"	1.0E-15≦値≦9.9E-01 の場合。8 文字中右詰め 7 文字。 例: > :CALCulate:DATA? "EC:BIT" < " 1.0E-05"
	" 1.0E-00"	値=1 の場合。8 文字中右詰め 7 文字。
	"--------"	問い合わせに該当するデータがない場合。
Form3 %型	"XXX.XXXX"	0.0000～100.0000 例: > :CALCulate:DATA? "G821:ES" < "　1.0010"
	"--------"	問い合わせに該当するデータがない場合。
Form4 判定型	"　Acceptable" "　　Degraded" "Unacceptable"	12 文字右詰めで表現する。
	"----------"	問い合わせに該当するデータがない場合。
Form7	"　　X.X"	7 文字右詰め。 > :CALCulate:DATA? "APSTest:Switchtime" < " 1234.5"
	">2000.0"	Switch time 測定で，値>2000.0 の場合。
Form1 5	"XXX,XXX,XXX,XXX, XXX,XXX"	カンマを除いて 15 文字右詰め。 例: > :CALCulate:DATA? " IPSend:PACket3" < “123,456,789,012,345”
	“----------“	問い合わせに該当するデータがない場合。

10.2 バッファサイズ

「10.1 レスポンスフォーマット」で説明したフォーマットのレスポンスが，装置からコントローラへ送られます。コントローラ側では，レスポンスを正しく受け取るためのバッファを確保する必要があります。本器のコマンドは，最大で 255 バイトを使用します。

10.3 装置固有コマンド

装置固有コマンドの詳細について説明します。

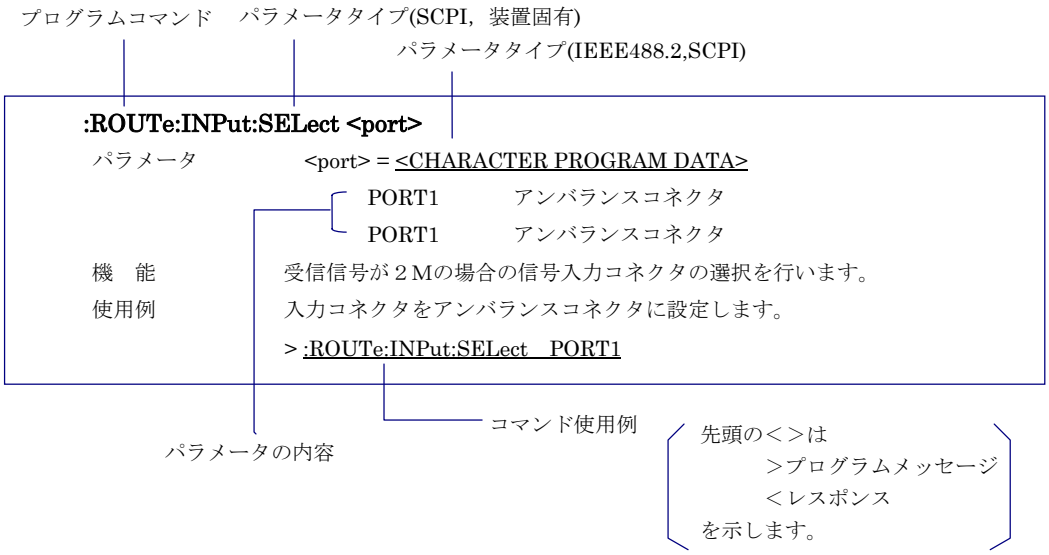
注：

- コマンドは，サブシムテムごとに分類して説明しています。
- 本器でサポートする装置固有コマンドは，一部を除きシーケンシャルコマンドです。
- プログラムコマンドにおける設定値によって，他の項目の設定値が許容されない値となった場合には，許容値に変更されます。
- 測定中に設定条件を変更した場合は，測定は再スタートします。
- 他の項目の設定値を変更する条件，および再スタートを行う条件については，本体取扱説明書の操作方法をご覧ください。

下にコマンドの記述例を示します。

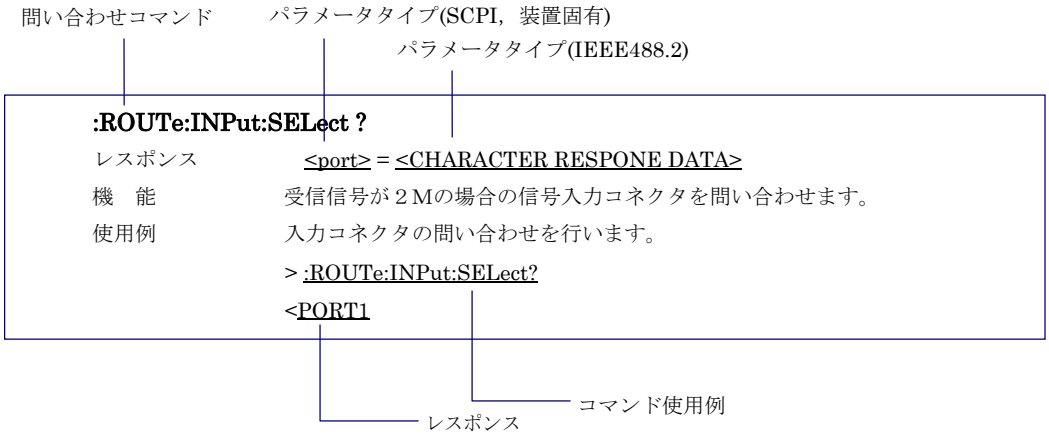
＜プログラムコマンド＞

コマンドを使用するときに制約がある場合は，下の例に加えて「制約」という項目があります。



＜プログラム問い合わせコマンド＞

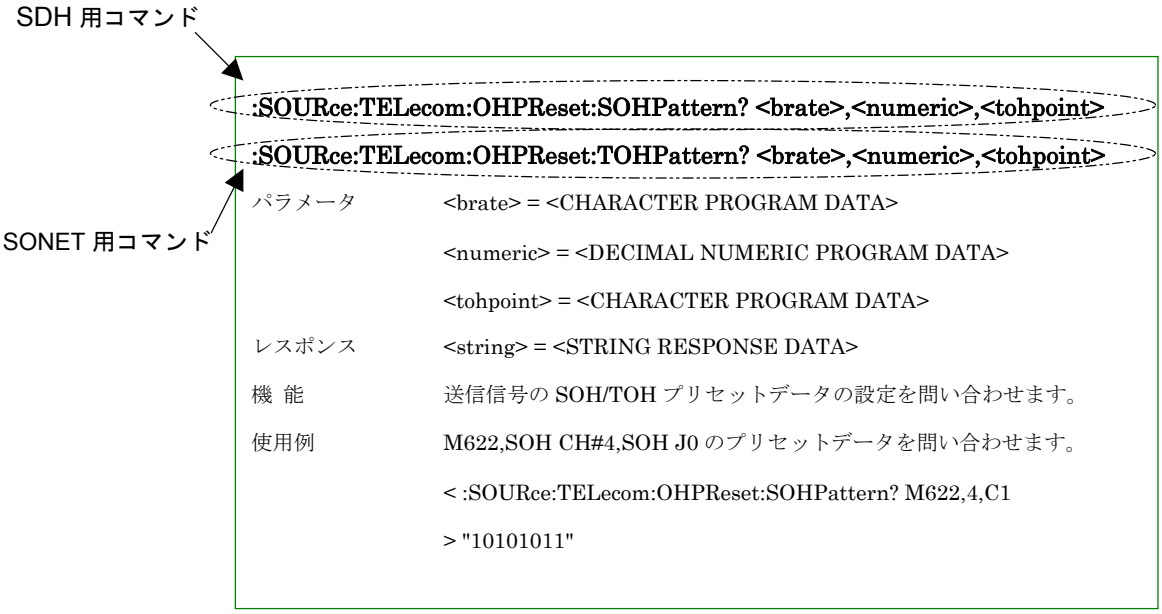
問い合わせに対応するプログラムコマンドが存在する場合は，レスポンスの内容は省略しています（プログラムコマンドのパラメータの内容と，レスポンスが同一となります）。



SDH と SONET の併記について

＜表記例１＞ 同一パラメータを使用する場合

２つのコマンドが併記され，注意書きがない場合は，上段は SDH 用のコマンド，また下段は SONET 用のコマンドを示します。



10.3.1　INSTrument subsystem

INSTrument サブシステムでは，送信と受信を，同一の設定にするか，独立の設定にするかを選択します。以下に，機能，コマンド，およびパラメータの一覧表と，コマンドの詳細説明を示します。

機能	コマンド	パラメータ
Page 10-8		
送信部と受信部を，同一の設定にするか別々の設定にするかの指定	:INSTrument:COUPle	mode
送信部と受信部が，同一の設定かどうかの問い合わせ	:INSTrument:COUPle?	
Page 10-8		
機能を限定するための設定	:INSTrument:CONFig	type
機能限定の問い合わせ	:INSTrument:CONFig?	
Page 10-9		
SDH/SONET の切り替えの選択	:INSTrument:STANdard	type
SDH/SONET の切り替えの状態の問い合わせ	:INSTrument:STANdard?	

:INSTrument:COUPle <mode>

パラメータ　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

ALL	Tx&Rx（送信部と受信部が同一の設定）
NONE	Tx/Rx（送信部と受信部が別々の設定）

機 能　送信部と受信部を，同一の設定にするか別々の設定にするかを指定します。

使用例　送受同一の設定をする場合。

> :INSTrument:COUPle　ALL

:INSTrument:COUPle?

レスポンス　<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　送信部と受信部が，同一の設定かどうかを問い合わせます。

使用例　> :INSTrument:COUPle?

< ALL

:INSTrument:CONFig <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

SDH_PDH	SDH/PDH 信号の送受信機能
SONET_PDH	SONET/PDH 信号の送受信機能
CID	CID pattern の送受信機能
NON	SDH フレームを持たない信号(52M,156M・・)の送受信機能
ATM	SDH(SONET)/PDH ペイロード中のセル信号送受信機能
IP_SDH	SDH フレームコンカチマッピングにおける PPP（IP パケット）の送受信機能
IP_SONET	SONET フレームコンカチマッピングにおける PPP（IP パケット）の送受信機能

機 能　実施する試験項目を設定します。

使用例　SDH/PDH 信号の送受信機能にする場合。

> INSTrument: CONFig SDH_PDH

:INSTrument:CONFig?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

SDH_PDH	SDH/PDH 信号の送受信機能
SONET_PDH	SONET/PDH 信号の送受信機能
CID	CID pattern の送受信機能
NON	SDH フレームを持たない信号(52M,156M・・)の送受信機能
ATM	SDH(SONET)/PDH ペイロード中のセル信号送受信機能
IP_SDH	SDH フレームコンカチマッピングにおける PPP（IP パケット）の送受信機能
IP_SONET	SONET フレームコンカチマッピングにおける PPP（IP パケット）の送受信機能

機 能　機能限定を問い合わせます。

使用例　> :INSTrument: CONFig?

< SDH_PDH

:INSTrument:STANdard<type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

SDH

SONET

機 能　SDH／SONET の切り替えを選択します。

使用例　SDH に切り替える場合。

> :INSTrument:STANdard SDH

:INSTrument:STANdard ?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

SDH

SONET

機 能　SDH／SONET の切り替えの状態を問い合わせます。

使用例　> :INSTrument:STANdard ?

< :SDH

10.3.2　SOURce subsystem

SOURce サブシステムでは送信側の設定を行います。以下に，機能，コマンド，およびパラメータの一覧表と，コマンドの詳細説明を示します。

機能	コマンド	パラメータ
Page 10-38		
送信信号の符号速度の設定	:SOURce:TELecom:BRATe	Brate
送信信号の符号速度の問い合わせ	:SOURce:TELecom:BRATe?	
Page 10-38		
STM4,1,0（STS12,3,1）信号の挿入の設定	:SOURce:TELecom:INSert:MODE	Boolean
STM4,1,0（STS12,3,1）信号の挿入の設定を問い合わせ	:SOURce:TELecom:INSert:MODE?	
Insert を行うレート（インタフェース）の設定	:SOURce:TELecom:INSert:RATE	rate
Insert を行うレート（インタフェース）の問い合わせ	:SOURce:TELecom:INSert:RATE?	
Insert を行うチャネルの設定	:SOURce:TELecom:INSert:CH	ch
Insert を行うチャネルの問い合わせ	:SOURce:TELecom:INSert:CH?	
Insert 入力の波長切り替えの設定	:SOURce:TELecom:INSert:INTerface	optical
Insert 信号入力の波長切り替えの問い合わせ	:SOURce:TELecom:INSert:INTerface?	
Page 10-41		
送信信号 SDH/SONET マッピングルートの設定	:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE	mtype
送信信号 SDH/SONET マッピングルートの問い合わせ	:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE?	
送信信号 SDH マッピングルートの AU ルートの選択	:SOURce:TELecom:MAPPing:AU	atype
送信信号 SDH マッピングルートの AU ルートの問い合わせ	:SOURce:TELecom:MAPPing:AU?	
送信信号 SONET マッピングルートの STS ルートの選択	:SOURce:TELecom:MAPPing:STS	stype
送信信号 SONET マッピングルートの STS ルートの問い合わせ	:SOURce:TELecom:MAPPing:STS?	
送信信号 SDH マッピングルートの TU ルートの選択	:SOURce:TELecom:MAPPing:TU	ttype
送信信号 SDH マッピングルートの TU ルートの問い合わせ	:SOURce:TELecom:MAPPing:TU?	
送信信号 SDH マッピングルートの VT ルートの選択	:SOURce:TELecom:MAPPing:VT	vtype
送信信号 SDH マッピングルートの VT ルートの問い合わせ	:SOURce:TELecom:MAPPing:VT?	
SDH/SONET の各ポイントでのチャネルの設定	:SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe	route numeric

SDH/SONET の各ポイントでのチャネルの問い合わせ	:SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe?	route
VC2/VT6SPE のコンカチチャネル数の設定	:SOURce:TELecom:MAPPing:MC	numeric
VC2/VT6SPE のコンカチチャネル数の問い合わせ	:SOURce:TELecom:MAPPing:MC?	
送信 Signaling フレームの CH 数の設定	:SOURce:TELecom:MAPPing:SIG	sig
送信 Signaling フレームの CH 数の問い合わせ	:SOURce:TELecom:MAPPing:SIG?	
Mixed Payload の設定	:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:MODE	boolean
Mixed Payload の設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:MODE?	
Mixed Payload1 の送信信号の SDH/SONET マッピングルートの設定	:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYload1:TYPE	ptype
Mixed Payload1 の送信信号の SDH/SONET マッピングルートの問い合わせ	:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYload1:TYPE?	
Mixed Payload1 の送信信号の SDH マッピングルート TU ルート選択	:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYload1:TU	ttype
Mixed Payload1 の送信信号の SDH マッピングルート TU ルート選択の問い合わせ	:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYload1:TU?	
Mixed Payload1 の送信信号の SONET マッピングルート VT ルート選択	:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYload1:VT	vtype
Mixed Payload1 の送信信号の SONET マッピングルート VT ルート選択の問い合わせ	:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYload1:VT?	
Mixed Payload2 の送信信号の SDH/SONET マッピングルートの設定	:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYload2:TYPE	ptype
Mixed Payload2 の送信信号の SDH/SONET マッピングルートの問い合わせ	:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYload2:TYPE?	
Mixed Payload2 の送信信号の SDH マッピングルート TU ルート選択	:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYload2:TU	ttype
Mixed Payload2 の送信信号の SDH マッピングルート TU ルート選択の問い合わせ	:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYload2:TU?	
Mixed Payload の送信信号の SONET マッピングルート VT ルート選択	:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYload2:VT	vtype
Mixed Payload2 の送信信号の SONET マッピングルート VT ルート選択の問い合わせ	:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYload2:VT?	
IP over SONET 時において，ペイロード部分にスクランブル機能を使用するかの設定	:SOURce:TELecom:MAPPing:PAYLoad:SCRamble	scr
IP over SONET 時において，ペイロード部分にスクランブル機能を使用しているかの問い合わせ	:SOURce:TELecom:MAPPing:PAYLoad:SCRamble?	

ペイロードデータに対して主 CH の copy か Dummy の設定データを用いる	:SOURce:TELecom:MAPPing:DUMMy	dummy
ペイロードデータに対して主 CH の copy か Dummy の設定データを用いているかの問い合わせ	:SOURce:TELecom:MAPPing:DUMMy?	

Page 10-51

タンデムコネクションでのエラーおよびアラームのデータを送出するかの設定	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:N1HP:MODE	mode
	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:N1LP:MODE	mode
	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:N2:MODE	mode
	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:Z5HP:MODE	mode
	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:Z5LP:MODE	mode
	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:Z6:MODE	mode
タンデムコネクションでのエラーおよびアラームのデータを送出するか/しないかの問い合わせ	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:N1HP:MODE	
	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:N1LP:MODE	
	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:N2:MODE	
	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:Z5HP:MODE	
	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:Z5LP:MODE	
	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:Z6:MODE	
タンデムコネクションでのトレースデータのタイプの設定	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:N1HP:TYPE	type
	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:N1LP:TYPE	type
	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:Z5HP:TYPE	type
	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:Z5LP:TYPE	type
タンデムコネクションでのトレースデータのタイプの問い合わせ	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:N1HP:TYPE?	
	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:N1LP:TYPE?	
	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:Z5HP:TYPE?	
	:SOURce:TELecom:TANDem:Condition:Z5LP:TYPE?	
LAPD メッセージの初期化	:SOURce:TELecom:TANDem:DEFault	
N1 バイト（N1-HP）の Type1 データの設定	:SOURce:TELecom:TANDem:N1HP:TYPE1	tapoint String
Z5 バイト（Z5-HP）の Type1 データの設定	:SOURce:TELecom:TANDem:Z5HP:TYPE1	tapoint String
N1 バイト（N1-HP）の Type1 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:TANDem:N1HP:TYPE1?	tapoint
Z5 バイト（Z5-HP）の Type1 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:TANDem:Z5HP:TYPE1?	tapoint
N1 バイト（N1-HP）の Type2 データの設定	:SOURce:TELecom:TANDem:N1HP:TYPE2	tapoint String
Z5 バイト（Z5-HP）の Type2 データの設定	:SOURce:TELecom:TANDem:Z5HP:TYPE2	tapoint string
N1 バイト（N1-HP）の Type2 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:TANDem:N1HP:TYPE2?	tapoint
Z5 バイト（Z5-HP）の Type2 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:TANDem:Z5HP:TYPE2?	tapoint

N1 バイト（N1-LP）の Type2 データの設定	:SOURce:TELecom:TANDem:N1LP:TYPE2	tapoint string
Z5 バイト（Z5-LP）の Type2 データの設定	:SOURce:TELecom:TANDem:Z5LP:TYPE2	tapoint string
N1 バイト（N1-LP）の Type2 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:TANDem:N1LP:TYPE2?	tapoint
Z5 バイト（Z5-LP）の Type2 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:TANDem:Z5LP:TYPE2?	tapoint
N2 バイトデータの設定	:SOURce:TELecom:TANDem:N2	tapoint string
Z6 バイトデータの設定	:SOURce:TELecom:TANDem:Z6	tapoint string
N2 バイトのデータの問い合わせ	:SOURce:TELecom:TANDem:N2?	tapoint
Z6 バイトのデータの問い合わせ	:SOURce:TELecom:TANDem:Z6?	tapoint

Page 10-56

MUX の最終 Tributary の符号速度設定	:SOURce:TELecom:MUX:MRATe	mrate
MUX の最終 Tributary の符号速度の問い合わせ	:SOURce:TELecom:MUX:MRATe?	
各 MUX 段のチャネルの設定	:SOURce:TELecom:MUX:ROUTe	mrate numeric
MUX のチャネルの問い合わせ	:SOURce:TELecom:MUX:ROUTe?	mrate
64 k bit/s の連続チャネルの設定	:SOURce:TELecom:MUX:N	numeric
64 k bit/s の連続チャネルの問い合わせ	:SOURce:TELecom:MUX:N?	

Page 10-59

送信信号での試験信号のフレームの設定	:SOURce:TELecom:FRAMing	boolean
送信信号での試験信号のフレームの問い合わせ	:SOURce:TELecom:FRAMing?	

Page 10-60

2M での CRC 付加の有無の設定	:SOURce:TELecom:M2:CRC	boolean
2M での CRC 付加の有無の問い合わせ	:SOURce:TELecom:M2:CRC?	
送信 2M の信号の最大チャネル数の設定	:SOURce:TELecom:M2:MCHannel	numeric
送信 2M の信号の最大チャネル数の問い合わせ	:SOURce:TELecom:M2:MCHannel?	

Page 10-61

1.5M の信号のフレームの設定	:SOURce:TELecom:M1_5:FRAMed	frame
1.5M の信号のフレームの問い合わせ	:SOURce:TELecom:M1_5:FRAMed?	
1.5M の信号のコードの設定	:SOURce:TELecom:M1_5:CODE	code
1.5M の信号のコードの問い合わせ	:SOURce:TELecom:M1_5:CODE?	

Page 10-62

45M の信号のフレームの設定	:SOURce:TELecom:M45:FRAMed	frame
45M の信号のフレームの問い合わせ	:SOURce:TELecom:M45:FRAMed?	
45M の信号の XBit の設定	:SOURce:TELecom:M45:XBIT	string
45M の信号の XBit の問い合わせ	:SOURce:TELecom:M45:XBIT?	

Page 10-63

送信信号での DSX のケーブル長の設定	:SOURce:TELecom:DSX	numeric
送信信号での DSX のケーブル長の問い合わせ	:SOURce:TELecom:DSX?	

Page 10-64

試験パターン（送信）の反転設定	:SOURce:TELecom:INVert	boolean
試験パターン反転の設定問い合わせ	:SOURce:TELecom:INVert?	

Page 10-65

送信信号に対して，挿入するアラームの種類を設定	:SOURce:TELecom:ALARm:TYPE	type
送信信号に対して，挿入するアラームの種類を問い合わせ	:SOURce:TELecom:ALARm:TYPE?	
送信信号に対して，アラームを挿入	:SOURce:TELecom:ALARm:STARt	
送信信号に対して，アラームを解除	:SOURce:TELecom:ALARm:STOP	
送信信号に対するアラーム状態の問い合わせ	:SOURce:TELecom:ALARm:STATe?	
アラーム付加タイミングの設定	:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:TYPE	type
アラーム付加タイミングの設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:TYPE?	
アラーム挿入タイミング値と単位の設定	:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:BURSt	timing unit
アラーム挿入タイミング値と単位設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:BURSt?	
Alternate 時のアラーム付加フレーム数の設定	:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:ALARm	alarm
Alternate 時のアラーム付加フレーム数設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:ALARm?	
Alternate 時のノーマル付加フレーム数の設定	:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:NORMal	normal
Alternate 時のノーマル付加フレーム数設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:NORMal?	
アラーム挿入単位の設定	:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:ALTErnate	unit
アラーム挿入単位設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:ALTErnate?	

Page 10-71

送信信号に挿入するエラーの種類を設定	:SOURce:TELecom:ERRor:TYPE	etype
送信信号に挿入するエラーの種類の問い合わせ	:SOURce:TELecom:ERRor:TYPE?	
エラー挿入の割合を設定	:SOURce:TELecom:ERRor:ERATe	erate
エラー挿入の割合の問い合わせ	:SOURce:TELecom:ERRor:ERATe?	
送信信号にエラーを挿入	:SOURce:TELecom:ERRor:STARt	
送信信号にエラーを挿入して解除	:SOURce:TELecom:ERRor:STOP	
送信信号に対するエラー挿入状態の問い合わせ	:SOURce:TELecom:ERRor:STATe?	
エラー挿入の割合の設定	:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:TYPE	erate
エラー挿入の割合の問い合わせ	:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:TYPE?	
エラー挿入ビット数の設定	:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:BURSt:BIT	bit

エラー挿入ビット数の問い合わせ	:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:BURSt:BIT?	
Programable rate エラー付加での付加値設定	:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:PROGrate	error
Programable rate エラー付加での付加値の問い合わせ	:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:PROGrate?	
Alternate 時のエラー付加フレーム数の設定	:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:ERRor	error
Alternate 時のエラー付加フレーム数設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:ERRor?	
Alternate 時のノーマル付加フレーム数の設定	:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:NORMal	normal
Alternate 時のノーマル付加フレーム数設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:NORMal?	

Page 10-78

送信信号のクロック源の設定	:SOURce:TELecom:CLOCK:SOURce	csource
送信信号のクロック源の問い合わせ	:SOURce:TELecom:CLOCK:SOURce?	

Page 10-79

ポインタシーケンス測定の種別の設定	:SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE	pstype
ポインタシーケンス測定の種別の問い合わせ	:SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE?	
ポインタシーケンス測定の対象ポインタの設定	:SOURce:TELecom:PSEQuence:POINter	ptype
ポインタシーケンス測定の対象ポインタの問い合わせ	:SOURce:TELecom:PSEQuence:POINter?	
ポインタシーケンス測定のジャスティフィケーション極性の設定	:SOURce:TELecom:PSEQuence:POLarity	polarity
ポインタシーケンス測定のジャスティフィケーション極性の問い合わせ	:SOURce:TELecom:PSEQuence:POLarity?	
ポインタシーケンス測定の T1 パラメータの設定	:SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T1	numeric
ポインタシーケンス測定の T1 パラメータの問い合わせ	:SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T1?	
ポインタシーケンス測定の T2 パラメータの設定	:SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T2	numeric
ポインタシーケンス測定の T2 パラメータの問い合わせ	:SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T2?	
ポインタシーケンス測定の T パラメータの設定	:SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T	numeric
ポインタシーケンス測定の T パラメータの問い合わせ	:SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T?	
ポインタシーケンス測定の Added ポイント間隔の設定	:SOURce:TELecom:PSEQuence:AINTerval	interval
ポインタシーケンス測定の Added ポイント間隔の問い合わせ	:SOURce:TELecom:PSEQuence:AINTerval?	
ポインタシーケンス測定の Cancel ポイント間隔の設定	:SOURce:TELecom:PSEQuence:CINTerval	interval

ポインタシーケンス測定の Cancel ポイント間隔の問い合わせ	:SOURce:TELecom:PSEQuence:CINTerval?	
Payload オフセットの設定	:SOURce:TELecom:PSEQuence:POFFset	offset
Payload オフセットの設定の問い合せ	:SOURce:TELecom:PSEQuence:POFFset?	
初期化時間の有無の設定	:SOURce:TELecom:PSEQuence:INItial:MODE	mode
初期化時間の有無の設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:PSEQuence:INItial:MODE?	
初期化時間の時間設定	:SOURce:TELecom:PSEQuence:INItial:TIME	s
初期化時間の時間設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:PSEQuence:INItial:TIME?	
初期化時間の時間設定	:SOURce:TELecom:PSEQuence:INItial:TI	ms
初期化時間の時間設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:PSEQuence:INItial:TI?	
安定待ち処理時間の有無の設定	:SOURce:TELecom:PSEQuence:CDOWn:MODE	mode
安定待ち処理時間の有無の設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:PSEQuence:CDOWn:MODE?	
初化時間の時間設定	:SOURce:TELecom:PSEQuence:CDOWn:TIME	s
初期化時間の時間設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:PSEQuence:CDOWn:TIME?	

Page 10-87

送信信号の Dummy preset POH データの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:POHPattern	pohtype pohpoint string
送信信号の Dummy preset POH データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:POHPattern?	
送信信号の Dummy preset POH データの C2 データの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:SLABel	pohtype string
	:SOURce:TELecom:DPReset:PLABel	pohtype string
送信信号の Dummy preset POH データの C2 ニーモニックデータの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:SLABel?	
	:SOURce:TELecom:DPReset:PLABel?	
送信信号の Dummy preset POH データの V5 データ（bit5～7）の設定	:SOURce:TELecom:DPReset:VLABel	string
送信信号の Dummy preset POH データの V5（bit5～7）ニーモニックデータの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:VLABel?	
送信信号の Dummy preset POH データの G1 データの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:GLABel	pohtype string
送信信号の Dummy preset POH データの G1 ニーモニックデータの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:GLABel?	
送信信号の Dummy preset POH データの K4（SDH）データの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:KLABel	string
送信信号の Dummy preset POH データの Z7（SONET）データの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:ZLABel	string
送信信号の Dummy preset POH データの K4（SDH）のニーモニックデータの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:KLABel?	
送信信号の Dummy preset POH データの Z7（SONET）のニーモニックデータの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:ZLABel?	

Dummy preset 画面のプリセットデータの初期化	:SOURce:TELecom:DPReset:DEFault	deftype
タンデムコネクション用のデータを送出するか/しないかの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:MODE	mode
	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1LP:MODE	mode
	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N2:MODE	mode
	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5HP:MODE	mode
	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5LP:MODE	mode
	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z6:MODE	mode
タンデムコネクション用のデータを送出するか/しないかの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:MODE?	
	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1LP:MODE	
	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N2:MODE?	
	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5HP:MODE?	
	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5LP:MODE	
	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z6:MODE?	
タンデムコネクション用のトレースデータのタイプを設定	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:TYPE	type
	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1LP:TYPE	type
	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5HP:TYPE	type
	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5LP:TYPE	type
タンデムコネクション用のトレースデータのタイプの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:TYPE?	
	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1LP:TYPE?	
	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5HP:TYPE?	
	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5LP:TYPE?	
Dummy Preset タンデムコネクションの編集 N1-HP の Type1 データの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:TYPE1	tapoint string
Dummy Preset タンデムコネクションの編集 Z5-HP の Type1 データの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5HP:TYPE1	tapoint string

Dummy Preset タンデムコネクションの編集 N1-HP の Type1 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:TYPE1?	
Dummy Preset タンデムコネクションの編集 Z5-HP の Type1 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5HP:TYPE1?	
Dummy Preset タンデムコネクションの編集 N1-HP の Type2 データの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:TYPE2	tapoint string
Dummy Preset タンデムコネクションの編集 Z5-HP の Type2 データの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5HP:TYPE2	tapoint string
Dummy Preset タンデムコネクションの編集 N1-LP の Type2 データの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1LP:TYPE2	tapoint string
Dummy Preset タンデムコネクションの編集 Z5-LP の Type2 データの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5LP:TYPE2	tapoint string
Dummy Preset タンデムコネクションの編集 N1-HP の Type2 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:TYPE2?	
Dummy Preset タンデムコネクションの編集 Z5-HP の Type2 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5HP:TYPE2?	
Dummy Preset タンデムコネクションの編集 N1-LP の Type2 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1LP:TYPE2?	
Dummy Preset タンデムコネクションの編集 Z5-LP の Type2 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5LP:TYPE2?	
Dummy Preset タンデムコネクションの編集 N2 データの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:N2	tapoint string
Dummy Preset タンデムコネクションの編集 Z6 データの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:Z6	tapoint string
Dummy Preset タンデムコネクションの編集 N2 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:N2?	
Dummy Preset タンデムコネクションの編集 Z6 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:Z6?	
パストレースの条件設定	:SOURce:TELecom:DPReset:PTCondition	pttype trace crc
パストレースの条件設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:PTCondition?	
パストレースデータの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:PTData	pttype string
パストレースデータの設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:PTData?	
パストレースデータの設定（HEX 形式）	:SOURce:TELecom:DPReset:PTData2	pttype string
パストレースデータの問い合わせ（HEX 形式）	:SOURce:TELecom:DPReset:PTData2?	pttype
ペイロードパターンの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:MPAYLoad:PAYLoad1	data
ペイロードパターンの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:MPAYLoad:PAYLoad1?	

ペイロードパターンの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:MPAYLoad:PAYLoad2	data
ペイロードパターンの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:MPAYLoad:PAYLoad2?	
ペイロードパターンの設定	:SOURce:TELecom:DPReset:DUMMy	data
ペイロードパターンの問い合わせ	:SOURce:TELecom:DPReset:DUMMy?	

Page 10-98

APS program データの初期化	:SOURce:TELecom:APRogram:DEFault	
Analyze 画面の Capture データのロード	:SOURce:TELecom:APRogram:CAPTured	
APS program data 編集データの局所的なコピー	:SOURce:TELecom:APRogram:COPY	destno sourcel1 sourcel2
K1（1-4bit）の設定	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:REQuest	no request
K1（1-4bit）の問い合わせ	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:REQuest?	
K1（5-8bit）の設定	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:CHANnel	no mspch
K1（5-8bit）の問い合わせ	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:CHANnel?	
K2（1-4bit）の設定	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:BRIDge	no bridge
K2（1-4bit）の問い合わせ	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:BRIDge?	
K2（5bit）の設定	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:ARCHitect	no arch
K2（5bit）の問い合わせ	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:ARCHitect?	
K2（6-8bit）の設定	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:REServed	no res
K2（6-8bit）の問い合わせ	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:REServed?	
K1（1-4bit）の設定	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:REQuest	no request
K1（1-4bit）の設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:REQuest?	
K1（5-8bit）の設定	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:CHANnel	no mspch
K1（5-8bit）の設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:CHANnel?	
K2（1-4bit）の設定	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:BRIDge	no bridge
K2（1-4bit）の設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:BRIDge?	
K2（5bit）の設定	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:ARCHitect	no arch
K2（5bit）の設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:ARCHitect?	
K2（6-8bit）の設定	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:REServed	No Res
K2（6-8bit）の設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:REServed?	
Frame の設定	:SOURce:TELecom:APRogram:FRAMe	no frame

Frame の設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:APRogram:FRAMe?	no
K1，K2，Frame の設定	:SOURce:TELecom:APRogram:PROGram	no K1 K2 frame
Frame 設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:APRogram:PROGram?	no

Page 10-105

送信信号の SOH プリセットデータの設定	:SOURce:TELecom:OHPReset:SOHPattern	brate numeric tohpoint string
送信信号の TOH プリセットデータの設定	:SOURce:TELecom:OHPReset:TOHPattern	brate numeric tohpoint string
送信信号の SOH プリセットデータの設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHPReset:SOHPattern?	brate numeric tohpoint
送信信号の TOH プリセットデータの問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHPReset:TOHPattern?	brate numeric tohpoint
送信信号の SOH（TOH）プリセットデータの S1 データの設定	:SOURce:TELecom:OHPReset:SSMessage	brate string
送信信号の SOH（TOH）プリセットデータの S1 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHPReset:SSMessage?	brate
送信信号の POH プリセットデータの設定	:SOURce:TELecom:OHPReset:POHPattern	pohtype pohpoint string
送信信号の POH プリセットデータの設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHPReset:POHPattern?	pohtype pohpoint
送信信号の POH プリセットデータの C2 データの設定	:SOURce:TELecom:OHPReset:SLABel	pohtype string
送信信号の POH プリセットデータの C2 データの設定	:SOURce:TELecom:OHPReset:PLABel	pohtype string
送信信号の POH プリセットデータの C2 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHPReset:SLABel?	pohtype
送信信号の POH プリセットデータの C2 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHPReset:PLABel?	pohtype
送信信号の POH プリセットデータの V5 データの設定	:SOURce:TELecom:OHPReset:VLABel	string
送信信号の POH プリセットデータの V5 データの問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHPReset:VLABel?	
送信信号の POH プリセットデータの G1 データ（bit5～7）の設定	:SOURce:TELecom:OHPReset:GLABel	pohtype string
送信信号の POH プリセットデータの G1 の問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHPReset:GLABel?	
送信信号の POH プリセットデータの K4 データの設定	:SOURce:TELecom:OHPReset:KLABel	string

送信信号の POH プリセットデータの Z7 データの設定	:SOURce:TELecom:OHPReset:ZLABel	string
送信信号の POH プリセットデータの K4 の問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHPReset:KLABel?	
送信信号の POH プリセットデータの Z7 の問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHPReset:ZLABel?	
送信信号の OH プリセットデータの初期化	:SOURce:TELecom:OHPReset:DEFault	
パストレースの条件設定	:SOURce:TELecom:OHPReset:PTCondition	pttype trace,crc
パストレースの条件設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHPReset:PTCondition?	pttype
パストレースデータの設定	:SOURce:TELecom:OHPReset:PTData	pttype string
パストレースデータの設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHPReset:PTData?	pttype
パストレースデータの設定（HEX 形式）	:SOURce:TELecom:OHPReset:PTData2	pttype string
パストレースデータの問い合わせ（HEX 形式）	:SOURce:TELecom:OHPReset:PTData2?	pttype
外部入力 DCC の設定	:SOURce:TELecom:OHPReset:DEXTernal	dcctype
外部入力 DCC の設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHPReset:DEXTernal?	

Page 10-114

送信信号の SOH（TOH）プリセットデータの S1 データのニーモニック設定	:SOURce:TELecom:OHCHange:SSMessage	type select
送信信号の SOH（TOH）プリセットデータの S1 データのニーモニックの問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHCHange:SSMessage?	
送信信号の POH プリセットデータの C2 データのニーモニック設定	:SOURce:TELecom:OHCHange:SLABel	type select no pohtype data
	:SOURce:TELecom:OHCHange:PLABel	type select no pohtype data
送信信号の POH プリセットデータの C2 データのニーモニックの問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHCHange:SLABel?	
	:SOURce:TELecom:OHCHange:PLABel?	
送信信号の POH プリセットデータの V5 データのニーモニック設定	:SOURce:TELecom:OHCHange:VLABel	Type select no data
送信信号の POH プリセットデータの V5 データのニーモニックの問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHCHange:VLABel?	

送信信号の POH プリセットデータの G1 データのニーモニック設定	:SOURce:TELecom:OHCHange:GLABel	Type select no pohtype data
送信信号の POH プリセットデータの G1 データのニーモニックの問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHCHange:GLABel?	
送信信号の POH プリセットデータの K4 データのニーモニック設定	:SOURce:TELecom:OHCHange:KLABel	Type select no data
	:SOURce:TELecom:OHCHangeZLABel	Type select no data
送信信号の POH プリセットデータの K4 データのニーモニックの問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHCHange:KLABel?	
	:SOURce:TELecom:OHCHange:ZLABel?	
送信信号の OH プリセットデータ（STM）の初期化	:SOURce:TELecom:OHCHange:RECall:DEFault	Type select no
SOH のプリセットデータの Bit rate と# で選択した値を From で設定した No.から to で設定した No.まで上書き	:SOURce:TELecom:OHCHange:RECall:PRESet	Brate # type select from to
送信信号の SOH プリセットデータの設定（SDH，Bit rate 52M 以外）	:SOURce:TELecom:OHCHange:SOHPattern	Type select no tohpoint data
送信信号の SOH プリセットデータの問い合わせ（SDH，Bit rate 52M 以外）	:SOURce:TELecom:OHCHange:SOHPattern?	Type select no tohpoint
送信信号の TOH プリセットデータの設定（SONET，Bit rate 52M 以外）	:SOURce:TELecom:OHCHange:TOHPattern	Type select no tohpoint data
送信信号の SOH プリセットデータの問い合わせ（SONET，Bit rate 52M 以外）	:SOURce:TELecom:OHCHange:TOHPattern?	Type select no tohpoint

STM フレームの POH データの設定	:SOURce:TELecom:OHCHange:POHPattern	Type select no pohtype pohpoint data
STM フレームの POH データの設定値の問い合わせ	:SOURce:TELecom:OHCHange:POHPattern?	Type select no pohtype pohpoint

Page 10-125

編集中のパケットに初期化されたデータの上書き	:SOURce:TELecom:IPPacket:RECall:DEFault	
すでに編集されたパケット No. の設定を現在編集中のパケットにコピー	:SOURce:TELecom:IPPacket:RECall:COPY	no1 no2
PPP パケットのプロトコルフィールドの値を設定	:SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:PROTocol	protocol
PPP パケットのプロトコルフィールドの値の問い合わせ	:SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:PROTocol?	
PPP パケットの FCS フィールドの値の設定	:SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:FCS	fcs
PPP パケットの FCS フィールドの値の問い合わせ	:SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:FCS?	
PPP パケットデータの編集	:SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:DATA	flag1 adr control protocol info flag2
PPP パケットデータの問い合わせ	:SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:DATA?	
送信する PPP パケットに挿入する IP パケットのヘッダの編集（IP ver.4 時）	:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V4:HEADer	VER IHL TOS TL ID FLAG OFFSET TTL PLOTOCOL
送信する PPP パケットに挿入する IP パケットのヘッダの設定値の問い合わせ（IP ver.4 時）	:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V4:HEADer?	
送信する IP パケット（IP ver.4 時）の Source Address または Destination Address の設定	:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V4:ADDRess	Type adr1 adr2 adr3 adr4

送信する IP パケット（IP ver.4 時）のアドレスの設定値の問い合わせ	:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V4:ADDRess?	type
送信する PPP パケットに挿入する IP パケットのヘッダの編集（IP ver.6 時）	:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:HEADer	VER PRI, FL PL NH HL
送信する PPP パケットに挿入する IP パケットのヘッダの設定値の問い合わせ（IP ver.6 時）	:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:HEADer?	
送信する IP パケット（IP ver.6 時）の Source Address または Destination Address の設定	:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:ADDRess	Type adr1
送信する IP パケット（IP ver.6 時）のアドレスの設定値の問い合わせ	:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:ADDRess?	type
PPP パケットの Information タイプの設定	:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:INFormation:USERprogram	type
PPP パケットの Information タイプの設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:INFormation:USERprogram?	
Information のタイプを User program に設定した時の 65535 bytes ペイロードパターンの設定	:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:INFormation:PATTern	start, string
65535 bytes ペイロードパターンの問い合わせ	:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:INFormation:PATTern?	start, stop

Page 10-132

Frame memory の設定するフレームフォーマットの決定	:SOURce:TELecom:FMEMory:BRATe	brate
Frame memory の設定するフレームフォーマットの問い合わせ	:SOURce:TELecom:FMEMory:BRATe?	
B3 の自動付加（ハード）を行う/行わないの設定	:SOURce:TELecom:FMEMory:B3Adition	mode
B3 の自動付加（ハード）を行う/行わないの設定値の問い合わせ	:SOURce:TELecom:FMEMory:B3Adition?	
フレームのポインタ値の選択設定	:SOURce:TELecom:FMEMory:POINter	pointer
フレームのポインタ値の選択設定値の問い合わせ	:SOURce:TELecom:FMEMory:POINter?	
編集するフレーム No.の設定	:SOURce:TELecom:FMEMory:FRAMe	frame
編集するフレーム No.の設定値の問い合わせ	:SOURce:TELecom:FMEMory:FRAMe?	
フレームのデータの設定	:SOURce:TELecom:FMEMory:PATTern	Column Row string
start1 行 start2 列目から stop1 行 stop2 列目までのフレームデータの問い合わせ	:SOURce:TELecom:FMEMory:PATTern?	colum1 row1 Colum2 row2

Frame memory の設定の初期化	:SOURce:TELecom:FMEMory:RECall	Mode
Frame memory 初期化の種類の問い合わせ	:SOURce:TELecom:FMEMory:RECall?	
印刷範囲の設定	:SOURce:TELecom:FMEMory:PRINt	From to
印刷範囲の問い合わせ	:SOURce:TELecom:FMEMory:PRINt?	

Page 10-136

K1（1-4bit）の設定（ニーモニック形式）	:SOURce:TELecom:MSPMessages:REQuest	Request
K1（1-4bit）の設定の問い合わせ（ニーモニック形式）	:SOURce:TELecom:MSPMessages:REQuest?	
K1（5-8bit）の設定（ニーモニック形式）	:SOURce:TELecom:MSPMessages:CHANnel	mspch
K1（5-8bit）の設定の問い合わせ（ニーモニック形式）	:SOURce:TELecom:MSPMessages:CHANnel?	
K2（1-4bit）の設定（ニーモニック形式）	:SOURce:TELecom:MSPMessages:BRIDge	Bridge
K2（1-4bit）の設定の問い合わせ（ニーモニック形式）	:SOURce:TELecom:MSPMessages:BRIDge?	
K2（5bit）の設定（ニーモニック形式）	:SOURce:TELecom:MSPMessages:ARCHitect	Arch
K2（5bit）の設定の問い合わせ（ニーモニック形式）	:SOURce:TELecom:MSPMessages:ARCHitect?	
K2（6-8bit）の設定（ニーモニック形式）	:SOURce:TELecom:MSPMessages:REServed	res
K2（6-8bit）の設定の問い合わせ（ニーモニック形式）	:SOURce:TELecom:MSPMessages:REServed?	no

Page 10-139

K1（1-4bit）の設定（ビット形式）	:SOURce:TELecom:MSPBits:REQuest	string
K1（1-4bit）の設定の問い合わせ（ビット形式）	:SOURce:TELecom:MSPBits:REQuest?	
K1（5-8bit）の設定（ビット形式）	:SOURce:TELecom:MSPBits:CHANnel	string
K1（5-8bit）の設定の問い合わせ（ビット形式）	:SOURce:TELecom:MSPBits:CHANnel?	
K2（1-4bit）の設定（ビット形式）	:SOURce:TELecom:MSPBits:BRIDge	string
K2（1-4bit）の設定の問い合わせ（ビット形式）	:SOURce:TELecom:MSPBits:BRIDge?	
K2（5bit）の設定（ビット形式）	:SOURce:TELecom:MSPBits:ARCHitect	string
K2（5bit）の設定の問い合わせ（ビット形式）	:SOURce:TELecom:MSPBits:ARCHitect?	
K2（6-8bit）の設定（ビット形式）	:SOURce:TELecom:MSPBits:REServed	string
K2（6-8bit）の設定の問い合わせ（ビット形式）	:SOURce:TELecom:MSPBits:REServed?	

Page 10-141

ポインタ値（NDF）の設定	:SOURce:TELecom:PSETting:NDFSet	ptype string
ポインタ値（NDF）の設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:PSETting:NDFSet?	ptype

ポインタ値（SS）の設定	:SOURce:TELecom:PSETting:SSSet	ptype string
ポインタ値（SS）の設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:PSETting:SSSet?	ptype
ポインタ値（ID）の設定	:SOURce:TELecom:PSETting:IDSet	ptype numeric
ポインタ値（ID）の設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:PSETting:IDSet?	ptype
送信信号に+PJC を 1 回挿入	:SOURce:TELecom:PSETting:PPJC	ptype
送信信号に-PJC を 1 回挿入	:SOURce:TELecom:PSETting:NPJC	ptype

Page 10-144

Paylad オフセットの設定	SOURce:TELecom:POFFset	
Paylad オフセットの問い合わせ	SOURce:TELecom:POFFset?	

Page 10-144

S1 program data における編集データの設定状態を初期化	:SOURce:TELecom:SPRogram:DEFault	
指定された S1 program data の編集データ内容を他の編集データに上書き	:SOURce:TELecom:SPRogram:COPY	Destno source1 source2
S1(bit5-bit8)の設定をニーモニック形式で行う	:SOURce:TELecom:SPRogram:SSMessages:REQuest	no request
S1(bit5-bit8)の設定をニーモニック形式で問い合わせ	:SOURce:TELecom:SPRogram:SSMessages:REQuest ?	no
S1(1-4bit, 5-8bit)の設定をビット形式で行う	:SOURce:TELecom:SPRogram:SSBits:REQuest	No request1
S1(1-4bit, 5-8bit)の設定をビット形式で問い合わせ	:SOURce:TELecom:SPRogram:SSBits:REQuest?	no
S1 program data における編集データのフレームを設定	:SOURce:TELecom:SPRogram:FRAMe	no frame
Frame 設定の問い合わせ	:SOURce:TELecom:SPRogram:FRAMe?	no,
S1 のビットの設定と Frame の設定を同時に行う	:SOURce:TELecom:SPRogram:PROGram	no S1 frame
S1 のビットの設定と Frame の設定を同時に問い合わせ	:SOURce:TELecom:SPRogram:PROGram?	no

Page 10-148

マッピングが BYTE の場合に VC11 のシグナリングバイトに設定するデータのフレーム構成を選択	:SOURce:SIGPreset:TX	type
マッピングが BYTE の場合に VC11 のシグナリングバイトに設定するデータのフレーム構成の問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:TX?	

Page 10-148

8-multiframe シグナリングデータの設定	:SOURce:SIGPreset:MULTi8:TS	Type Ts sp_d
8-multiframe シグナリングデータの問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:MULTi8:TS?	type

8-multiframe シグナリングデータの設定	:SOURce:SIGPreset:MULTi8:SP	
8-multiframe シグナリングデータの問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:MULTi8:SP?	

Page 10-149

シグナリングデータ AIS の設定	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:AIS	ais
シグナリングデータ AIS の問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:AIS?	
シグナリングデータ BAIS の設定	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:BAIS	bais
シグナリングデータ BAIS の問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:BAIS?	
シグナリングデータ PTY の設定	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:PTY	pty
シグナリングデータ PTY の問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:PTY?	
シグナリングデータ BERR の設定	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:BERR	berr
シグナリングデータ BERR の問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:BERR?	
シグナリングデータ TRACE の設定	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:TRACe	trace
シグナリングデータ TRACE の問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:TRACe?	
シグナリングデータ Reserved（s）の設定	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:S	s
シグナリングデータ Reserved（s）の問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:S?	
シグナリングデータ Reserved（UNR）の設定	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:UNR	unr
シグナリングデータ Reserved（UNR）の問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:UNR?	
シグナリングデータ LOOP2 の設定	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:LOOP2	loop2
シグナリングデータ LOOP2 の問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:LOOP2?	
シグナリングデータ LP の設定	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:LP	lp
シグナリングデータ LP の問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:LP?	
シグナリングデータ 1.5M BASIS の設定	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:M15Bais	m15
シグナリングデータ 1.5M BASIS の問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:M15Bais?	
シグナリングデータ kx の設定	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:KX	kx
シグナリングデータ kx の問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:KX?	
シグナリングデータ ky の設定	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:KY	ky
シグナリングデータ ky の問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:KY?	
シグナリングデータ kz の設定	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:KZ	kz
シグナリングデータ kz の問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:KZ?	
シグナリングデータ LOOP-OCU の設定	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:OCULoop	ocu
シグナリングデータ LOOP-OCU の問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:OCULoop?	
シグナリングデータ LOOP-1.5M の設定	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:M15Loop	m15
シグナリングデータ LOOP-1.5M の問い合わせ	:SOURce:SIGPreset:MULTi64:M15Loop?	

Page 10-155

8/64-multiframe シグナリングデータの初期化	:SOURce:SIGPreset:DEFault	

Page 10-155

プログラマブルな PTR のシーケンスデータの設定	:SOURce:PTR64:DATA	Mode no type ptr ndf ss id
プログラマブルな PTR のシーケンスデータの問い合わせ	:SOURce:PTR64:DATA?	Mode no

Page 10-156

PTR ptogram データ（64 個）の初期化	:SOURce:PTR64:DEFault	point

Page 10-156

Performance チェックを行う勧告タイプの設定	:SOURce:PCHeck:TYPE	type
Performance チェックを行う勧告タイプ設定の問い合わせ	:SOURce:PCHeck:TYPE?	

Page 10-157

PDH フレームタイプの設定	:SOURce:PCHeck:PDHFrame	frm
PDH フレームタイプ設定の問い合わせ	:SOURce:PCHeck:PDHFrame?	

Page 10-157

Performance 結果に反映される Error/Alarm の相対的な付加回数の設定	:SOURce:PCHeck:REPeat	repeat
Performance 結果に反映される Error/Alarm の相対的な付加回数の問い合わせ	:SOURce:PCHeck:REPeat?	

Page 10-158

Performance item の設定	:SOURce:PCHeck:ITEM	item
Performance item の設定の問い合わせ	:SOURce:PCHeck:ITEM?	

Page 10-159

Performance 対称，アラーム付加項目，Threchold over の設定	:SOURce:PCHeck:CONDition	Condit Erralm threchold
Performance 対称，アラーム付加項目，Threchold over の設定の問い合わせ	:SOURce:PCHeck:CONDition?	

Page 10-164

Performance check の開始	:SOURce:PCHeck:STARt	

Page 10-164

Performance check の解除	:SOURce:PCHeck:STOP	

Page 10-164

Performance check 状態の問い合わせ	:SOURce:PCHeck:STATe?	

Page 10-164

Frame memory A パターンの送出フレーム数の設定	:SOURce:FMEMory:SEQuence:A:FRAMe	frame
Frame memory A パターンの送出フレーム数の設定の問い合わせ	:SOURce:FMEMory:SEQuence:A:FRAMe?	
Frame memory A 送出回数の設定	:SOURce:FMEMory:SEQuence:A:TIME	times
Frame memory A 送出回数の設定の問い合わせ	:SOURce:FMEMory:SEQuence:A:TIME?	
Frame memory B パターンの送出フレーム数の設定	:SOURce:FMEMory:SEQuence:B:FRAMe	frame
Frame memory B パターンの送出フレーム数の設定の問い合わせ	:SOURce:FMEMory:SEQuence:B:FRAMe?	
Frame memory B 送出回数の設定	:SOURce:FMEMory:SEQuence:B:TIME	times
Frame memory B 送出回数の設定の問い合わせ	:SOURce:FMEMory:SEQuence:B:TIME?	

Page 10-166

送信信号に対して挿入するアラームの種類の設定	:SOURce:FMEMory:ALARm:TYPE	atype
送信信号に対して挿入するアラームの種類の問い合わせ	:SOURce:FMEMory:ALARm:TYPE?	
アラーム付加タイミングの設定	:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:TYPE	type
アラーム付加タイミング設定の問い合わせ	:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:TYPE?	
Alternate 時のアラーム付加フレーム数の設定	:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:ALARm	error
Alternate 時のアラーム付加フレーム数の問い合わせ	:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:ALARm?	
Alternate 時のノーマル付加フレーム数の設定	:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:NORMal	normal
Alternate 時のノーマル付加フレーム数の問い合わせ	:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:NORMal?	
アラーム挿入タイミング値と単位の設定	:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:BURSt	Timing unit
アラーム挿入タイミング値と単位の設定の問い合わせ	:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:BURSt?	

Page 10-169

送信信号に対して挿入するエラーの種類の設定	:SOURce:FMEMory:ERRor:TYPE	etype
送信信号に対して挿入するエラーの種類の問い合わせ	:SOURce:FMEMory:ERRor:TYPE?	
エラー付加タイミングの設定	:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:TYPE	timing
エラー付加タイミング設定の問い合わせ	:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:TYPE?	
Alternate 時のエラー付加フレーム数の設定	:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:ERRor	error
Alternate 時のエラー付加フレーム数の問い合わせ	:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:ERRor?	

Prog.rate エラー付加での付加値の設定	:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:PROGrate	error
Prog.rate エラー付加での付加値設定の問い合わせ	:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:PROGrate?	
Alternate 時のノーマル付加フレーム数の設定	:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:NORMal	normal
Alternate 時のノーマル付加フレーム数の問い合わせ	:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:NORMal?	
エラー挿入ビット数の設定	:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:BURSt:BIT	bit
エラー挿入ビット数の問い合わせ	:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:BURSt:BIT?	

Page 10-172

OH test 項目による切り替え	:SOURce:OHTest:TYPE	type
OH test 項目の問い合わせ	:SOURce:OHTest:TYPE?	

Page 10-172

OHTest の開始	:SOURce:OHTest:STARt	

Page 10-173

OHTest の解除	:SOURce:OHTest:STOP	

Page 10-173

OHTest 状態の問い合わせ	:SOURce:OHTest:STATe?	

Page 10-173

OH change の変更タイプの設定	:SOURce:OHTest:OHCHange:TYPE	type
OH change の変更タイプの問い合わせ	:SOURce:OHTest:OHCHange:TYPE?	
OH change SOH 1byte 変更バイト位置の設定	:SOURce:OHTest:OHCHange:POSition:SOH	posi
OH change TOH 1byte 変更バイト位置の設定	:SOURce:OHTest:OHCHange:POSition:TOH	posi
OH change SOH 1byte 変更バイト位置の問い合わせ	:SOURce:OHTest:OHCHange:POSition:SOH?	
OH change TOH 1byte 変更バイト位置の問い合わせ	:SOURce:OHTest:OHCHange:POSition:TOH?	
OH change POH 1byte POH の変更バイト位置の設定	:SOURce:OHTest:OHCHange:POSition:POH	Vctype posi
OH change 変更バイト位置の問い合わせ	:SOURce:OHTest:OHCHange:POSition:POH?	
OH change SOH 1byte[TOH 1byte], RSOH[RTOH]，MSOH [MTOH]，SOH[TOH]の変更チャネル位置の設定	:SOURce:OHTest:OHCHange:CHANel	ch
OH change SOH 1byte[TOH 1byte], RSOH[RTOH], MSOH [MTOH], SOH [TOH]の変更チャネル位置の問い合わせ	:SOURce:OHTest:OHCHange:CHANel?	
OH change A パターンの送出フレーム数の設定	:SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:A:FRAMe	frame
OH change A パターンの送出フレーム数の設定の問い合わせ	:SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:A:FRAMe?	
OH change A パターンの送出回数の設定	:SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:A:TIME	count

OH change A パターンの送出回数の設定の問い合わせ	:SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:A:TIME?	
OH change B パターンの送出フレーム数の設定	:SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:B:FRAMe	frame
OH change B パターンの送出フレーム数の設定の問い合わせ	:SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:B:FRAMe?	
OH change B パターンの送出回数の設定	:SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:B:TIME	count
OH change B パターンの送出回数の設定の問い合わせ	:SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:B:TIME?	

Page 10-178

OH Bert の変更タイプの設定	:SOURce:OHTest:OHBert:TYPE	type
OH Bert の変更タイプの問い合わせ	:SOURce:OHTest:OHBert:TYPE?	
OH Bert SOH 1byte 変更バイト位置の設定	:SOURce:OHTest:OHBert:POSition:SOH	posi
OH Bert TOH 1byte 変更バイト位置の設定	:SOURce:OHTest:OHBert:POSition:TOH	posi
OH Bert 変更バイト位置の問い合わせ	:SOURce:OHTest:OHBert:POSition:SOH?	
	:SOURce:OHTest:OHBert:POSition:TOH?	
OH Bert POH 1byte，POH の変更バイト位置の設定	:SOURce:OHTest:OHBert:POSition:POH	Vctype posi
OH Bert の変更バイト位置の問い合わせ	:SOURce:OHTest:OHBert:POSition:POH?	
OH Bert SOH 1byte 変更チャネル位置の設定	:SOURce:OHTest:OHBert:CHANel	ch
OH Bert SOH 1byte 変更チャネル位置の問い合わせ	:SOURce:OHTest:OHBert:CHANel?	

Page 10-181

OH Add タイプの設定	:SOURce:OHTest:ADRop:TYPE	type
OH Add タイプの問い合わせ	:SOURce:OHTest:ADRop:TYPE?	
OH Add SOH 1byte の変更バイト位置の設定	:SOURce:OHTest:ADRop:POSition:SOH	posi
OH Add TOH 1byte の変更バイト位置の設定	:SOURce:OHTest:ADRop:POSition:TOH	posi
OH Add の変更バイト位置設定の問い合わせ	:SOURce:OHTest:ADRop:POSition:SOH?	
	:SOURce:OHTest:ADRop:POSition:TOH?	
OH Add POH 1byte，POH の変更バイト位置の設定	:SOURce:OHTest:ADRop:POSition:POH	Vctype posi
OH Add の変更バイト位置の問い合わせ	:SOURce:OHTest:ADRop:POSition:POH?	
OH Add SOH 1byte[TOH 1byte]の変更チャネル位置の設定	:SOURce:OHTest:ADRop:CHANel	ch
OH Add SOH 1byte[TOH 1byte]変更チャネル位置の問い合わせ	:SOURce:OHTest:ADRop:CHANel?	

Page 10-184

PTR64 frame 送出フレーム数の設定	:SOURce:OHTest:PTR64:SEQuence:FRAMe	frame
PTR64 frame 送出フレーム数の設定の問い合わせ	:SOURce:OHTest:PTR64:SEQuence:FRAMe?	

PTR64 frame 送出モードの設定	:SOURce:OHTest:PTR64:SEQuence:MODE	mode
PTR64 frame 送出モードの設定の問い合わせ	:SOURce:OHTest:PTR64:SEQuence:MODE?	
PTR64 frame ポインタの設定	:SOURce:OHTest:PTR64:PTR	point
PTR64 frame ポインタの設定の問い合わせ	:SOURce:OHTest:PTR64:PTR?	

Page 10-186

IP test の Packet 送信の開始	:SOURce:IPTest:STARt	

Page 10-186

IP test の Packet 送信の停止	:SOURce:IPTest:STOP	

Page 10-186

IP test の Packet 送信状態の問い合わせ	:SOURce:IPTest:STATe?	

Page 10-186

IP test における測定モードと回数の設定	:SOURce:IPTest:SEQuence:MODE	mode
IP test における測定モードの問い合わせ	:SOURce:IPTest:SEQuence:MODE?	

Page 10-187

IP test を開始可能状態にする指示を行う	:SOURce:IPTest:PACKset	
IP test で送信される PPP パケット間に挿入する Idle パタン（L）のバイト数の設定	:SOURce:IPTest:PACKet:LBYTe	L
Idle パタン（L）のバイト数の設定の問い合わせ	:SOURce:IPTest:PACKet:LBYTe?	
IP test で送信される PPP パケット間に挿入する Idle パタン（M）のバイト数の設定	:SOURce:IPTest:PACKet:MBYTe	M
Idle パタン（M）のバイト数の設定の問い合わせ	:SOURce:IPTest:PACKet:MBYTe?	
IP test で送信される PPP パケット間に挿入する Idle パタン（N）のバイト数の設定	:SOURce:IPTest:PACKet:NBYTe	N
Idle パタン（N）のバイト数の設定の問い合わせ	:SOURce:IPTest:PACKet:NBYTe?	
IP test で送信される PPP パケット（Idle NL 間）の種類の設定	:SOURce:IPTest:PACKet:NL	no
IP test で送信される PPP パケット（Idle NL 間）の種類の設定の問い合わせ	:SOURce:IPTest:PACKet:NL?	
IP test で送信される PPP パケット（Idle LM 間）の種類の設定	:SOURce:IPTest:PACKet:LM	no
IP test で送信される PPP パケット（Idle LM 間）の種類の設定の問い合わせ	:SOURce:IPTest:PACKet:LM?	
IP test で送信される PPP パケット（Idle MN 間）の種類の設定	:SOURce:IPTest:PACKet:MN	no

IP test で送信される PPP パケット（Idle MN 間）の種類の設定の問い合わせ	:SOURce:IPTest:PACKet:MN?	

Page 10-189

IP test 時におけるアラームの付加項目の設定	:SOURce:IPTest:ALARm:TYPE	alarm
アラーム付加項目の設定の問い合わせ	:SOURce:IPTest:ALARm:TYPE?	
アラームを付加するタイミングの設定	:SOURce:IPTest:ALARm:TIMing:TYPE	timing
アラーム付加タイミング設定の問い合わせ	:SOURce:IPTest:ALARm:TIMing:TYPE?	

Page 10-190

IP test 時における付加するエラー項目の設定	:SOURce:IPTest:ERRor:TYPE	type
付加するエラー項目の設定の問い合わせ	:SOURce:IPTest:ERRor:TYPE?	
エラーを付加するタイミングの設定	:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:TYPE	timing
エラーを付加するタイミングの設定の問い合わせ	:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:TYPE?	
タイミングの設定が Alternate 時でのエラーを付加するフレーム数の設定	:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:ERRor	error
Alternate 時でのエラー付加フレーム数の問い合わせ	:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:ERRor?	
タイミングの設定が Programmable rate 時でのエラーを付加する値の設定	:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:PROGrate	error
Programmable rate 時におけるエラー付加値の設定の問い合わせ	:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:PROGrate?	
タイミングの設定が Alternate 時におけるノーマル（アラームを付加しない）フレーム数の設定	:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:NORMal	normal
タイミングの設定が Alternate 時におけるノーマル（アラームを付加しない）フレーム数の問い合わせ	:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:NORMal?	
タイミングの設定が Burst 時でのエラーを挿入するビット数を設定します。	:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:BURSt:BIT	bit
エラーを挿入するビット数の問い合わせ	:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:BURSt:BIT?	

Page 10-193

APS test 送出パターン数の設定	:SOURce:APSTest:SEQuence:FRAMe	frame
APS test 送出パターン数の設定問い合わせ	:SOURce:APSTest:SEQuence:FRAMe?	
APS test 送出モードの設定	:SOURce:APSTest:SEQuence:MODE	mode
APS test 送出モードの設定問い合わせ	:SOURce:APSTest:SEQuence:MODE?	
APS test の開始	:SOURce:APSTest:STARt	
APS test の停止	:SOURce:APSTest:STOP	

Page 10-195

APS test に対して，挿入するアラームの種類を設定	:SOURce:APSTest:ALARm:TYPE	atype
APS test に対して，挿入するアラームの種類を問い合わせ	:SOURce:APSTest:ALARm:TYPE?	
アラーム付加タイミングの設定	:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:TYPE	type
アラーム付加タイミング設定の問い合わせ	:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:TYPE?	
Alternate 時のアラーム付加フレーム数を設定	:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:ALARm	error
Alternate 時のアラーム付加フレーム数の問い合わせ	:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:ALARm?	
Alternate 時のノーマル付加フレーム数を設定	:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:NORMal	normal
Alternate 時のノーマル付加フレーム数の問い合わせ	:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:NORMal?	
アラーム挿入単位の設定	:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:ALTErnate	unit
アラーム挿入単位設定の問い合わせ	:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:ALTErnate?	
アラーム挿入タイミング値設定，単位設定	:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:BURSt	timing, unit
アラーム挿入タイミング値と単位設定の問い合わせ	:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:BURSt?	

Page 10-200

APS test に対して，挿入するエラーの種類を設定	:SOURce:APSTest:ERRor:TYPE	etype
APS test に対して，挿入するエラーの種類を問い合わせ	:SOURce:APSTest:ERRor:TYPE?	
エラー付加タイミングの設定	:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:TYPE	timing
エラー付加タイミング設定の問い合わせ	:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:TYPE?	
Alternate 時のエラー付加フレーム数を設定	:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:ERRor	error
Alternate 時のエラー付加フレーム数の問い合わせ	:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:ERRor?	
Prog. Rate エラー付加での付加値の設定	:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:PROGrate	error
Prog. Rate エラー付加での付加値設定の問い合わせ	:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:PROGrate?	
Alternate 時のノーマル付加フレーム数を設定	:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:NORMal	normal
Alternate 時のノーマル付加フレーム数の問い合わせ	:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:NORMal?	
エラー挿入ビット数を設定	:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:BURSt:BIT	bit
エラー挿入ビット数の問い合わせ	:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:BURSt:BIT?	

Page 10-204

S1 Test の開始	:SOURce:STEst:STARt	

Page 10-204

S1 Test の停止	:SOURce:STEst:STOP	

Page 10-205

S1 Test の状態の問い合わせ	:SOURce:STEst:STATe?	

Page 10-205

S1 test で送出するパターン数の設定	:SOURce:STEst:SEQuence:FRAMe	frame
S1 test で送出するパターン数の設定の問い合わせ	:SOURce:STEst:SEQuence:FRAMe?	
S1 test 送出方法の設定	:SOURce:STEst:SEQuence:MODE	mode
S1 test 送出方法の設定状態の問い合わせ	:SOURce:STEst:SEQuence:MODE?	

Page 10-206

S1 test に対して，挿入するアラームの種類の設定	:SOURce:STEst:ALARm:TYPE	atype
S1 test に対して，挿入するアラームの種類の問い合わせ	:SOURce:STEst:ALARm:TYPE?	
S1 test に対して，アラームを付加するタイミングの設定	:SOURce:STEst:ALARm:TIMing:TYPE	type
アラームを付加するタイミングの設定状態の問い合わせ	:SOURce:STEst:ALARm:TIMing:TYPE?	

Page 10-207

S1 test に対して，挿入するエラーの種類の設定	:SOURce:STEst:ERRor:TYPE	etype
S1 test に対して，挿入するエラーの種類の問い合わせ	:SOURce:STEst:ERRor:TYPE?	
S1 test に対して，エラーを付加するタイミングの設定	:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:TYPE	timing
S1 test に対して，エラーを付加するタイミングの設定状態の問い合わせ	:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:TYPE?	
エラーを付加するタイミングが Alternate 時において，エラーを挿入するフレーム数の設定	:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:ERRor	error
エラーを付加するタイミングが Alternate 時において，エラーを挿入するフレーム数の問い合わせ	:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:ERRor?	
エラーを付加するタイミングが Alternate 時において，エラー付加を行わないフレーム数の設定	:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:NORMal	normal
エラーを付加するタイミングが Alternate 時において，エラー付加を行わないフレーム数の問い合わせ	:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:NORMal?	
Prog. Rate 時におけるエラー付加のタイミングの設定	:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:PROGrate	error
Prog. Rate 時におけるエラー付加のタイミングを問い合わせます。	:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:PROGrate?	

エラーを付加するタイミングがBurst時において，エラー付加を行うビット数を設定します。	:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:BURSt:BIT	bit
エラーを付加するタイミングがBurst時において，エラー付加を行うビット数の問い合わせ	:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:BURSt:BIT?	

:SOURce:TELecom:BRATe <brate>

パラメータ　<brate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

M9953	9953Mbit/s
M2488	2488Mbit/s
M622	622Mbit/s
M156	156Mbit/s
M156CMI	156Mbit/s CMI
M52	52Mbit/s
M52B3ZS	52Mbit/s B3ZS
M139	139Mbit/s
M45	45Mbit/s
M34	34Mbit/s
M8	8Mbit/s
M2	2Mbit/s
M1_5	1.5Mbit/s

機 能　送信信号の符号速度を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・9953M 選択時。
　2.5G/10G ユニット未装着の場合。
・2488M 選択時。
　2.5G ユニット未装着の場合。
・622M 選択時。
　622M タイプインタフェースユニット未装着の場合。
・156M 選択時。
　156M タイプインタフェースユニット未装着の場合。
・156M CMI,139M,34M,8M,2M 選択時。
　2/8/34/139/156M（CMI）ユニット未装着の場合。
・52M 選択時。
　1.5/45/52M ユニット（MP0122B）未装着の場合。
・52M B3ZS,45M,1.5M 選択時。
　1.5/45/52M ユニット未装着の場合。

使用例　送信信号の符号速度を 622Mbit/s に設定する場合。

```
> :SOURce:TELecom:BRATe    M622
```

:SOURce:TELecom:BRATe?

レスポンス　<brate> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の符号速度を問い合わせます。

使用例

```
> :SOURce:TELecom:BRATe?
< M622
```

:SOURce:TELecom:INSert:MODE <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0
ON　or 1

機 能　STM4,1,0（STS,12,3,1）信号の挿入設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・622M,156M（光，電気）,52M（光，電気）の使用できるインタフェースと 2488M,9953M のユニット組み合わせ挿入（有効）時のみ設定可。

上記で記述している光とは 1.31,1.55um を含むインタフェースであり電気は CMI,NRZ,UTP の信号形式を持つユニットのことです。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID 時。
:SOURce:TELecom:BRATe <brate>が M2488,M9953 選択時以外。
・:SOURce:TELecom:BRATe <brate>が M52,M52B3ZS,M156,M156 CMI,M622 が設定できない場合。

使用例　STM4,1,0 信号の挿入設定を OFF に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:INSert:MODE OFF

:SOURce:TELecom:INSert:MODE?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0
1

機 能　STM4,1,0（STS12,3,1）信号の挿入設定を問い合わせます。

使用例
> :SOURce:TELecom:INSert:MODE?
< 0

:SOURce:TELecom:INSert:RATE <rate>

パラメータ　<rate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

M622	622M
M156	156M
M156CMI	156M CMI
M52	52M
M52B3ZS	52M B3ZS

機 能　Insert を行うレート（インタフェース）を設定します。

制 約　次の場合無効になります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID 時。
・:SOURce:TELecom:BRATe <brate>が M52,M52B3ZS,M156, M156 CMI,M622 が設定できない場合。
・:SOURce:TELecom:INSert:MODE <boolean> ON 時以外。

使用例　Insert を行うレート（インタフェース）を 622M に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:RATE:TYPE M622

:SOURce:TELecom:INSert:RATE ?

レスポンス　<rate> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Insert を行うレート（インタフェース）を問い合わせます。

使用例　Insert を行うレート（インタフェース）を問い合わせる場合。
> :SOURce:TELecom:RATE:TYPE?
< M622

:SOURce:TELecom:INSert:CH <ch>

パラメータ　<ch> = < DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA >
1～64　　ステップ値:1

機 能　Insert を行うチャネルを設定します。

制 約　次の場合無効になります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID 時。
・:SOURce:TELecom:BRATe <brate>が M52,M52B3ZS,M156, M156 CMI,M622 が設定できない場合。
・:SOURce:TELecom:INSert:MODE <boolean>ON 時以外。

使用例　Insert を行うチャネルを 4 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:INSert:CH 4

:SOURce:TELecom:INSert:CH?

レスポンス　<ch> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　Insert を行うチャネルを問い合わせます。
使用例　Insert を行うチャネルの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:INSert:CH?
< 4

:SOURce:TELecom:INSert:INTerface <optical>

パラメータ　<optical> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

1.31	1.31μm
1.55	1.55μm

機 能　Insert 信号入力の波長切り替えを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・MP0122B,C,D 未装着または MU150008A, MU150009A, MU150010A 未装着時設定不可。
・MU150000A 未装着または MU150000A 装着時に MU150001A, MU150002A ユニット未装着時設定不可。
・下記に示す挿入ユニットの光波長範囲以外の設定時。
MP0122B, MP0127A, MU150008A 1.31
MP0128A, MU150009A 1.55
MU150010A 1.31/1.55
MU150001A, MU150002A　1.31/1.55
・:SOURce:TELecom:INSert:MODE <boolean> ON 時以外。
使用例　入力の波長切り替えを 1.31μmに設定する場合。
> :SOURce:TELecom:INSert:INTerface 1.31

:SOURce:TELecom:INSert:INTerface?

レスポンス　<optical> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　Insert 信号入力の波長切り替えを問い合わせます。
使用例　入力の波長切り替えを問い合わせる場合。
> :SOURce:TELecom:INSert:INTerface?
< 1.31

:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>

パラメータ　<mtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）

VC4_ASY	139M（Async.）
VC4_BLK	VC4（Bulk）
VC3_ASY	34M（Async.）
VC3_SYN	34M（Sync.）
VC3_45MASY	45M（Async.）
VC3_BLK	VC3（Bulk）
VC2_6MASY	6M（Async.）
VC2_6MBIT	6M（Bitsync.）
VC2_BLK	VC2（Bulk）
VC2_MC	VC2（mc）
VC12_ASY	2M（Async.）
VC12_BIF	2M（Bitsync.F）
VC12_BIL	2M（Bitsync.L）
VC12_BYF	2M（Bytesync.F）
VC12_BYL	2M（Bytesync.L）
VC12_BLK	VC12（Bulk）
VC11_ASY	1.5M（Async.）
VC11_BIF	1.5M（Bitsync.F）
VC11_BIL	1.5M（Bitsync.L）
VC11_BYF	1.5M（Bitsync.L）
VC11_BYL	1.5M（Bytesync.L）
VC11_BLK	VC11（Bulk）
VC11_BYD[*1]	Byte（Data）
VC11_BYV[*1]	Byte（Voice）
VC11_384D[*1]	384K（Data）
VC11_384V[*1]	384K（Voice）
VC4_64CBLK[*2]	VC4*64C（Bulk）
VC4_16CBLK[*2]	VC4*16C（Bulk）
VC4_4CBLK[*2]	VC4*4C（Bulk）
VC4_4CBLK[*2]	VC4C（Bulk）

（SONET）

ST3_ASY	139M（Async.）
ST3_BLK	ST3cSPE（Bulk）
VC3_ASY	34M（Async.）
VC3_SYN	34M（Sync.）
STS1_45MASY	45M（Async.）
STS1_BLK	STS1 SPE（Bulk）
VT6_ASY	6M（Async.）
VT6_BIT	6M（Bitsync.）
VT6_BLK	VT6 SPE（Bulk）
VT6_MC	VT6 SPE（mc）
VT2_ASY	2M（Async.）
VT2_BIF	2M（Bitsync.F）
VT2_BIL	2M（Bitsync.L）
VT2_BYF	2M（Bytesync.F）
VT2_BYL	2M（Bytesync.L）
VT2_BLK	VT2 SPE（Bulk）
VT15_ASY	1.5M（Async.）
VT15_BIF	1.5M（Bitsync.F）
VT15_BIL	1.5M（Bitsync.L）
VT15_BYF	1.5M（Bitsync.L）
VT15_BYL	1.5M（Bytesync.L）
VT15_BLK	VT1.5 SPE（Bulk）
VT15_BYD*1	Byte（Data）
VT15_BYV*1	Byte（Voice）
VT15_384D[*1]	384K（Data）
VT15_384V[*1]	384K（Voice）
STS3_64CBLK[*2]	STS3SPE*64C（Bulk），STS192C（Bulk）
STS3_16CBLK[*2]	STS3SPE*16C（Bulk），STS48C（Bulk）
STS3_4CBLK[*2]	STS3SPE*4C（Bulk），STS12C（Bulk）
STS3_CBLK[*2]	STS3SPEC（Bulk），STS3C（Bulk）

[*1] オプション 09 装着時有効
[*2] コンカチネーションマッピング

機 能　送信信号の SDH/SONET のマッピングルートを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M52B3ZS>時，<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>設定の場合。
・オプション 09 Japanmapping 未装着時，かつ 1.5/45/52M ユニット未装着時，<VC_384D>,<VC_384V>,<VT15_BYD>,<VT15_BYV>設定の場合。
・コンカチマッピングルート（*2）はコンカチマッピングオプション未装着の場合。

使用例　送信信号の SDH マッピングルートを VC12（BULK）に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE VC12_BLK

:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE?

レスポンス　<mtype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　送信信号の SDH/SONET マッピングルートを問い合わせます。
使用例　> :SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE?
< VC12_BLK

:SOURce:TELecom:MAPPing:AU <atype>

パラメータ　<atype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
AU4
AU3
機 能　送信信号の SDH マッピングルートの AU ルートを選択します。
制 約　次の場合無効となります。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8> <M2>,<M1_5>の場合。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M52B3ZS>時，<AU4>選択の場合。
使用例　> :SOURce:TELecom:MAPPing:AU AU4
< :AU4

:SOURce:TELecom:MAPPing:AU?

レスポンス　<atype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　送信信号の SDH マッピングルートの AU ルート選択を問い合わせます。
使用例　> :SOURce:TELecom:MAPPing:AU?
< AU4

:SOURce:TELecom:MAPPing:STS <stype>

パラメータ　<stype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
STS3
STS1
機 能　送信信号の SONET マッピングルートの STS ルートを選択します。
使用例　送信信号の SONET マッピングルートを STS1 経由に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MAPPing:STS STS1

:SOURce:TELecom:MAPPing:STS?

レスポンス　<atype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　送信信号の SONET マッピングルートの STS ルート選択を問い合わせます。
使用例　> :SOURce:TELecom:MAPPing:STS?
< STS1

:SOURce:TELecom:MAPPing:TU <ttype>

パラメータ　<ttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
TU12
TU11
機 能　送信信号の SDH マッピングルートの TU ルートを選択します。
制 約　次の場合無効となります。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>, <M2>,<M1_5>の場合。
使用例　> :SOURce:TELecom:MAPPing:TU TU12

:SOURce:TELecom:MAPPing:TU?

レスポンス　<ttype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の SDH マッピングルートの TU ルート選択を問い合わせます。

使用例　> :SOURce:TELecom:MAPPing:TU?
< TU12

:SOURce:TELecom:MAPPing:VT <vtype>

パラメータ　<vtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
VT2
VT15

機 能　送信信号の SONET マッピングルートの VT ルートを選択します。

使用例　送信信号の SONET マッピングルートを VT15 経由に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MAPPing:VT VT15

:SOURce:TELecom:MAPPing:VT?

レスポンス　<atype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の SONET マッピングルートの VT ルート選択を問い合わせます。

使用例　> :SOURce:TELecom:MAPPing:VT?
< VT15

:SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe <route>,<numeric>

パラメータ　<route> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

AUG	AUG チャネル
AU3	AU3 チャネル
TUG3	TUG3 チャネル
TUG2	TUG2 チャネル
TU11	TU11 チャネル
TU12	TU12 チャネル
K384	384K チャネル
VC416C	VC4-16c チャネル
VC44C	VC4-4c チャネル
VC4C	VC4c チャネル

(SONET)

STS3	STS3 チャネル
STS1	STS1 チャネル
TUG3	TUG3 チャネル
VTG	VTG チャネル
VT2	VT2 チャネル
VT15	VT15 チャネル
K384	384K チャネル
STS316C	STS3cSPE*16c チャネル，STS48c チャネル
STS34C	STS3cSPE*4c チャネル，STS12c チャネル
STS3C	STS3cSPEc チャネル，STS3c チャネル

<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～4	<route>が AUG の場合	ステップ値:1
1～3	<route>が AU3 の場合	ステップ値:1
1～3	<route>が TUG3 の場合	ステップ値:1
1～7	<route>が TUG2 の場合	ステップ値:1
1～4	<route>が TU11 の場合	ステップ値:1
1～3	<route>が TU12 の場合	ステップ値:1
1～4	<route>が K384 の場合	ステップ値:1
1～4	<route>が VC416C, STS3cSPE*16C の場合	ステップ値:1
1～16	<route>が VC44C, STS3cSPE*4C の場合	ステップ値:1
1～64	<route>が VC4C, STS3cSPE*4C の場合	ステップ値:1

機 能　SDH/SONET の各ポイントにおけるチャネルを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE で設定したマッピングに該当しないチャネルを設定の場合。

・622M タイプインタフェースユニット未装着かつ，156M タイプインタフェースユニット未装着かつ，<AUG>設定の場合。

・2/8/34/139/156M（CMI）ユニット装着時<TU11>設定の場合。

・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。

・下記の表の場合。

<route>	制 約 条 件
AUG	・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M52B3ZS>の場合。
AU3	・:SOURce:TELecom:MAPPing:AU が，<AU4>の場合。
TUG3	・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M52B3ZS>の場合。 ・:SOURce:TELecom:MAPPing:AU が，<AU3>の場合。 ・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC4_BLK>の場合。
TUG2	・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>,<VC3_45MASY>,<VC3_BLK>の場合。
TU12	・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,,<VC4_BLK>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>,<VC3_45MASY>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>の場合。 ・:SOURce:TELecom:MAPPing:TU が，<TU11>の場合。
TU11	・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>,<VC3_45MASY>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>の場合。 ・:SOURce:TELecom:MAPPing:TU が，<TU12>の場合。
K384	・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC11_384D>,<VC11_384V>以外の場合。 ・Japan mapping オプション 09 未装着時。
VC416C	・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE の設定がコンカチマッピング以外の場合。
VC44C	
VC4C	
STS316C	
STS34C	
STS3C	

使用例　AUG チャネルを 4 に設定します。
> :SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe AUG,4

:SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe? <route>

パラメータ　<route> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　SDH/SONET の各ポイントにおけるチャネルを問い合わせます。
使用例　> :SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe? AUG
< 4

:SOURce:TELecom:MAPPing:MC <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 7　ステップ値:1
機 能　VC2/VT6SPE のコンカチチャネル数（mc）設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC2_MC>,<VT6_MC>以外の場合。
<numeric> ＞ （7 - TUG2 + 1） の場合。
※TUG2 = :SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe? TUG2
使用例　> :SOURce:TELecom:MAPPing:MC 5

:SOURce:TELecom:MAPPing:MC?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　VC2/VT6SPE のコンカチチャネル数（mc）設定を問い合わせます。
使用例　> :SOURce:TELecom:MAPPing:MC?
< 5

:SOURce:TELecom:MAPPing:SIG <sig>

パラメータ　<sig> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～4
機 能　送信 Signaling フレームの CH 数を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID 時。
:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>にて VC11_BIF, VC11_BLK, VC11_BYD, VC11_384D, VC11_384V 選択時有効。
オプション 09 が未装着時。
:SOURce:SIGPreset:TX <type>,:SENSe: SIGPreset:RX <type>が OFF 時以外の場合はそれぞれの極性で有効。OFF 時は設定不可。
使用例　送信 Signaling フレームの CH 数を 3 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MAPPing:SIG 3

:SOURce:TELecom:MAPPing:SIG?

レスポンス　<sig> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　送信 Signaling フレームの CH 数を問い合わせます。
使用例　送信 Signaling フレームの CH 数の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:MAPPing:SIG?
< 3

:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:MODE <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF　or　0
ON　or　1

機 能　Mixed Payload を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID 時。
:SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe <route>が TUG3 または,
:SOURce:TELecom:MAPPing:AU <atype>が AU3 でない場合。

使用例　Mixed Payload 設定を OFF に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:MODE OFF

:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:MODE?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0
1

機 能　Mixed Payload 設定を問い合わせます。

使用例　Mixed Payload 設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:MODE?
< 0

:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad1:TYPE <ptype>

パラメータ　<ptype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
（SDH）
VC3_BLK　VC3（Bulk）
VC2_BLK　VC2（Bulk）
VC12_BLK　VC12（Bulk）
VC11_BLK　VC11（Bulk）
（SONET）
STS1_BLK　STS1 SPE（Bulk）
VT6_BLK　VT6 SPE（Bulk）
VT2_BLK　VT2 SPE（Bulk）
VT15_BLK　VT1.5 SPE

機 能　Mixed Payload1 の送信信号の SDH/SONET マッピングルートを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID 時。
:SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe <route>が TUG3 または,
:SOURce:TELecom:MAPPing:AU <atype>が AU3 でない場合。

使用例　Mixed Payload1 の送信信号の SDH マッピングルートを VC3（Bulk）経由に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad1:TYPE VC3_BLK

:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad1:TYPE?

レスポンス　<ptype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Mixed Payload1 の送信信号の SDH/SONET マッピングルート選択を問い合わせます。

使用例　Mixed Payload1 の送信信号の SDH/SONET マッピングルート選択の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad1:TYPE?
< VC3_BLK

:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad1:TU <ttype>

パラメータ　<ttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）	TU12	（SONET）	VT2
	TU11		VT15

機 能　Mixed Payload1 の送信信号の SDH マッピングルート TU ルートを選択します。

制 約　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe <route>が TUG3 または,
:SOURce:TELecom:MAPPing:AU <atype>が AU3 でない場合。
:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:MODE <boolean> OFF 時。

使用例　Mixed Payload1 の送信信号の SDH マッピングルートを TU12 経由に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad1:TU TU12

:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad1:TU?

レスポンス　<ttype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Mixed Payload1 の送信信号の SDH マッピングルート TU ルート選択を問い合わせます。

使用例　Mixed Payload1 の送信信号の SDH マッピングルート TU ルート選択の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad1:TU?
< TU12

:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad1:VT <vtype>

パラメータ　<vtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）	TU12	（SONET）	VT2
	TU11		VT15

機 能　Mixed Payload1 の送信信号の SONET マッピングルート VT ルートを選択します。

制 約　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe <route>が TUG3 または,
:SOURce:TELecom:MAPPing:AU <atype>が AU3 でない場合。
:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:MODE <boolean> OFF 時。

使用例　Mixed Payload1 の送信信号の SONET マッピングルートを VT15 経由に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad1:VT VT15

:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad1:VT?

レスポンス　<vtype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Mixed Payload1 の送信信号の SONET マッピングルート VT ルート選択を問い合わせます。

使用例　Mixed Payload1 の送信信号の SONET マッピングルート VT ルート選択の問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad1:VT?
< VT15

:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad2:TYPE <ptype>

パラメータ　<ptype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）

VC3_BLK	VC3（Bulk）
VC2_BLK	VC2（Bulk）
VC12_BLK	VC12（Bulk）
VC11_BLK	VC11（Bulk）

（SONET）

STS1_BLK	STS1 SPE（Bulk）
VT6_BLK	VT6 SPE（Bulk）
VT2_BLK	VT2 SPE（Bulk）
VT15_BLK	VT1.5 SPE

機 能　Mixed Payload2 の送信信号の SDH/SONET マッピングルートを設定します。

制 約　次の場合無効になります。

:SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe <route>が TUG3 または,
:SOURce:TELecom:MAPPing:AU <atype>が AU3 でない場合。
:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:MODE <boolean> OFF 時。

使用例　Mixed Payload2 の送信信号の SDH マッピングルートを VC3（Bulk）経由に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad2:TYPE VC3_BLK

:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad2:TYPE?

レスポンス　<ptype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Mixed Payload2 の送信信号の SDH/SONET マッピングルート選択を問い合わせます。

使用例　Mixed Payload2 の送信信号の SDH/SONET マッピングルート選択の問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad2:TYPE?
< VC3_BLK

:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad2:TU <ttype>

パラメータ　<ttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）	TU12	（SONET）	VT2
	TU11		VT15

機 能　Mixed Payload2 の送信信号の SDH マッピングルート TU ルートを選択します。

制 約　次の場合無効となります。

:SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe <route>が TUG3 または,
:SOURce:TELecom:MAPPing:AU <atype>が AU3 でない場合。
:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:MODE <boolean> OFF 時。

使用例　Mixed Payload2 の送信信号の SDH マッピングルートを TU12 経由に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad2:TU TU12

:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad2:TU?

レスポンス　<ttype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Mixed Payload2 の送信信号の SDH マッピングルート TU ルート選択を問い合わせます。

使用例　Mixed Payload2 の送信信号の SDH マッピングルート TU ルート選択の問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad2:TU?
< TU12

:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad2:VT <vtype>

パラメータ　<vtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）	TU12	（SONET）	VT2
	TU11		VT15

機 能　Mixed Payload2 の送信信号の SONET マッピングルート VT ルートを選択します。

制 約　次の場合無効となります。

:SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe <route>が TUG3 または,
:SOURce:TELecom:MAPPing:AU <atype>が AU3 でない場合。
:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:MODE <boolean> OFF 時。

使用例　Mixed Payload2 の送信信号の SONET マッピングルートを VT15 経由に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad2:VT VT15

:SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad2:VT?

レスポンス　<vtype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Mixed Payload2 の送信信号の SONET マッピングルート VT ルート選択を問い合わせます。

使用例　Mixed Payload2 の送信信号の SONET マッピングルート VT ルート選択の問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:MAPPing:MPAYload:PAYLoad2:VT?
< VT15

:SOURce:TELecom:MAPPing:PAYLoad:SCRamble <scr>

パラメータ　<scr> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF　or　0
ON　or　1

機 能　IP over SONET時において，ペイロード部分にスクランブル機能を使用するかを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:INSTrument:CONFigの設定が <IP_SONET>以外の場合。

使用例　スクランブル設定をONに設定する場合。

> :SOURce:TELecom:MAPPing:PAYLoad:SCRamble ON

:SOURce:TELecom:MAPPing:PAYLoad:SCRamble?

レスポンス　<scr> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0
1

機 能　　IP over SONET時において，ペイロード部分にスクランブル機能を使用しているかを問い合わせます。

使用例　　> :SOURce:TELecom:MAPPing:PAYLoad:SCRamble?
< 1

:SOURce:TELecom:MAPPing:DUMMy <dummy>

パラメータ　　<dummy> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
COPY
DUMMY

機 能　　ペイロードデータに対して，主 CH の Copy を用いるか Dummy の設定データを用いるかを設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID 時。
:SOURce:TELecom:BRATe <brate> M1.5,M2, M 6, M 8, M 34, M 45, M 139 時。
M 52 時 :SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe <route> TUG2 以外の場合。（45M Async,Bulk）
M156 時 :SOURce:TELecom:MAPPing:AU が AU4 かつ :SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>が VC4_ASY または VC4_BLK 時。
:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>の ＊＊＊_BLK 時の設定以外。
:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>がコンカチマッピング時，:SOURce:TELecom:BRATe <brate>の Bit rate の設定と同様の Bulk が指定された場合。
9953M STM64-VC4*64C-Bulk , STS192-STS192C-Bulk
2488M STM16-VC4*16C-Bulk , STS48-STS48C-Bulk
622M STM4-VC4*4c-Bulk , STS12-STS12C-Bulk
156M STM1-VC4C-Bulk , STS3-STS3C-Bulk

使用例　　ペイロードデータに対して主 CH の Copy を用いるに設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MAPPing:DUMMy COPY

:SOURce:TELecom:MAPPing:DUMMy?

レスポンス　　<dummy> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　ペイロードデータに対して，主 CH の Copy を用いているか Dummy の設定データを用いているかを問い合わせます。

使用例　　ペイロードデータに対して主 CH の Copy を用いているか Dummy の設定データを用いているかを問い合わせる場合。
> :SOURce:TELecom:MAPPing:DUMMy?
< COPY

（SDH 向け）

:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:N1HP:MODE <mode>
:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:N1LP:MODE <mode>
:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:N2:MODE <mode>

（SONET 向け）

:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:Z5HP:MODE <mode>
:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:Z5LP:MODE <mode>
:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:Z6:MODE <mode>

パラメータ　<mode> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF　or　0
ON　or　1

機 能　タンデムコネクションにおけるエラーおよびアラームのデータを送出するか/しないかの設定をします。

制 約　次の場合無効となります。
MP0123A ユニット装着時において，:INSTrument:CONFig <type>が ATM 選択時。

使用例　N1-HP を送出するように設定する場合。
> :SOURce:TELecom: TANDem:CONDition:N1HP:MODE ON

（SDH 向け）

:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:N1HP:MODE?
:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:N1LP:MODE?
:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:N2:MODE?

（SONET 向け）

:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:Z5HP:MODE?
:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:Z5LP:MODE?
:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:Z6:MODE?

レスポンス　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0
1

機 能　タンデムコネクションにおけるエラーおよびアラームのデータを送出するか/しないかの問い合わせをします。

使用例　N1-HP の設定を問い合わせる場合。
> :SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:N1HP:MODE?
< 1

（SDH 向け）

:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:N1HP:TYPE <type>
:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:N1LP:TYPE <type>

（SONET 向け）

:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:Z5HP:TYPE <type>
:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:Z5LP:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
※N2 時は <type> なし
TYPE1
TYPE2

機 能　タンデムコネクションにおけるトレースデータのタイプを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
MP0123A ユニット装着時において，:INSTrument:CONFig <type>が ATM 選択時。
以下のコマンドにおいて OFF 選択時。
:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:N1HP:MODE <mode>
:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:N1LP:MODE <mode>

:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:Z5HP:MODE <mode>
:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:Z5LP:MODE <mode>

使用例　N1-HP のトレースデータのタイプを TYPE2 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom: TANDem:CONDition:N1HP:TYPE TYPE2

（SDH 向け）

:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:N1HP:TYPE?
:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:N1LP:TYPE?

（SONET 向け）

:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:Z5HP:TYPE?
:SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:Z5LP:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
※N2 時は <type> なし

機 能　タンデムコネクションにおけるトレースデータのタイプを問い合わせます。

使用例　N1-HP のトレースデータのタイプを問い合わせる場合。
> :SOURce:TELecom:TANDem:CONDition:N1HP:TYPE?
< TYPE2

:SOURce:TELecom:TANDem:DEFault

パラメータ　なし

機 能　LAPD メッセージを初期化します。

制 約　次の場合無効となります。
MP0123A ユニット装着時において，:INSTrument:CONFig <type> が ATM 選択時。

使用例　LAPD メッセージの初期化をする場合。
> :SOURce:TELecom:TANDem:DEFault

:SOURce:TELecom:TANDem:N1HP:TYPE1 <tapoint>, <string>
:SOURce:TELecom:TANDem:Z5HP:TYPE1 <tapoint>, <string>

パラメータ　<tapoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
FLAG, SAPI, CR, EA2, TEI, EA3, CNTR, TYPE, EIC, LIC, FIC, UNIT, FI, PORT, GEN
<string> = <STRING PROGRAM DATA>

“00000000” ～ “11111111”	（BIN 形式）	<tapoint>が，FLAG, CNTR, TYPE の場合
“000000” ～ “111111”	（BIN 形式）	<tapoint>が，SAPI の場合
“0” ～ “1”	（BIN 形式）	<tapoint>が，CR, EA2, EA3 の場合
“0000000” ～ “1111111”	（BIN 形式）	<tapoint>が，TEI の場合
文字列長 1～10 文字	（ASCII 形式）	<tapoint>が，EIC, FIC の場合
文字列長 1～11 文字	（ASCII 形式）	<tapoint>が，LIC の場合
文字列長 1～6 文字	（ASCII 形式）	<tapoint>が，UNIT の場合
文字列長 1～38 文字	（ASCII 形式）	<tapoint>が，FI, PORT, GEN の場合

文字列長が各ＭＡＸ値に満たない場合はスペースでうめる。

機 能　N1 バイト（N1-HP）および Z5 バイト（Z5-HP）の Type1 データを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
MP0123A ユニット装着時において，:INSTrument:CONFig <type> が ATM 選択時。

使用例　N1 バイト（N1-HP）の Type1 データを”00110010”に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:TANDem:N1HP:TYPE1 TYPE, “00110010”

:SOURce:TELecom:TANDem:N1HP:TYPE1? <tapoint>
:SOURce:TELecom:TANDem:Z5HP:TYPE1? <tapoint>

パラメータ　<tapoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　N1 バイト（N1-HP）および Z5 バイト（Z5-HP）の Type1 データを問い合わせます。<tapoint>が，EIC, FIC, LIC, UNIT, FI, PORT, GEN の場合データは，ASCII 文字列で表します。0x20-0x7e 以外の文字を出力する場合は，'?'に置き換えられます。
使用例　N1 バイト（N1-HP）の Type1 の TYPE データの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:TANDem:N1HP:TYPE1? TYPE
< “00110010”

:SOURce:TELecom:TANDem:N1HP:TYPE2 <tapoint>, <string>
:SOURce:TELecom:TANDem:Z5HP:TYPE2 <tapoint>, <string>

パラメータ　<tapoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
TCREI, OEI, FAS, PATT, RES1～6, TCRDI, ODI
<string> = <STRING PROGRAM DATA>

“0”～“1”	（BIN 形式）	<tapoint>が，TCREI, OEI, RES1～6, TCRDI, ODI の場合
“0000” ～ “FFFF”	（HEX 形式）	<tapoint>が，FAS の場合
文字列長 1～16 文字	（ASCII 形式）	<tapoint>が，PATT の場合

文字列長が 16 文字に満たない場合はスペースでうめる。
機 能　N1 バイト（N1-HP）および Z5 バイト（Z5-HP）の Type2 データを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
MP0123A ユニット装着時において，:INSTrument:CONFig <type>が ATM 選択時。
使用例　N1 バイト（N1-HP）の Type2 の FAS データを“00FF”に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:TANDem:N1HP:TYPE2 FAS, “00FF”

:SOURce:TELecom:TANDem:N1HP:TYPE2? <tapoint>
:SOURce:TELecom:TANDem:Z5HP:TYPE2? <tapoint>

パラメータ　<tapoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　N1 バイト（N1-HP）および Z5 バイト（Z5-HP）の Type2 データを問い合わせます。
使用例　N1 バイト（N1-HP）の Type2 の FAS データの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom: TANDem:N1HP:TYPE2? FAS
< “00FF”

:SOURce:TELecom:TANDem:N1LP:TYPE2 <tapoint>, <string>
:SOURce:TELecom:TANDem:Z5LP:TYPE2 <tapoint>, <string>

パラメータ　<tapoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
TCREI, OEI, FAS, PATT, RES1～6, TCRDI, ODI
<string> = <STRING PROGRAM DATA>

“0”～“1”	（BIN 形式）	<tapoint>が，TCREI, OEI, RES1～6, TCRDI, ODI の場合
“0000” ～ “FFFF”	（HEX 形式）	<tapoint>が，FAS の場合
文字列長 1～16 文字	（ASCII 形式）	<tapoint>が，PATT の場合

文字列長が 16 文字に満たない場合はスペースでうめる。

機 能　N1 バイト（N1-LP）および Z5 バイト（Z5-LP）の Type2 データを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
MP0123A ユニット装着時において，:INSTrument:CONFig <type>が ATM 選択時。

使用例　N1 バイト（N1-LP）の Type2 の FAS データを“00FF”に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:TANDem:N1LP:TYPE2 FAS, “00FF”

:SOURce:TELecom:TANDem:N1LP:TYPE2? <tapoint>
:SOURce:TELecom:TANDem:Z5LP:TYPE2? <tapoint>

パラメータ　<tapoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　N1 バイト（N1-LP）および Z5 バイト（Z5-LP）の Type2 データを問い合わせます。

使用例　N1 バイト（N1-LP）の Type2 の FAS データの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom: TANDem:N1LP:TYPE2? FAS
< “00FF”

:SOURce:TELecom:TANDem:N2 <tapoint>, <string>
:SOURce:TELecom:TANDem:Z6 <tapoint>, <string>

パラメータ　<tapoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
B3, AIS, TCREI, OEI, FAS, PATT, RES1～6, TCRDI, ODI
<string> = <STRING PROGRAM DATA>

“0”～“1”	（BIN 形式）	<tapoint>が，B3, AIS, TCREI, OEI, RES1～6, TCRDI, ODI の場合
“0000” ～ “FFFF”	（HEX 形式）	<tapoint>が，FAS の場合
文字列長 1～16 文字	（ASCII 形式）	<tapoint>が，PATT の場合

文字列長が 16 文字に満たない場合はスペースでうめる。

機 能　N2,Z6 バイトのデータを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
MP0123A ユニット装着時において，:INSTrument:CONFig <type>が ATM 選択時。

使用例　N2 バイトの OEI データを“1”に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:TANDem:N2 OEI, “1”

:SOURce:TELecom:TANDem:N2? <tapoint>
:SOURce:TELecom:TANDem:Z6? <tapoint>

パラメータ　<tapoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　N2,Z6 バイトのデータを問い合わせます。
使用例　N2 バイトの OEI データの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:TANDem:N2? OEI
< “1”

:SOURce:TELecom:MUX:MRATe <mrate>

パラメータ　<mrate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

OFF	MUX 機能を使用しません。
M34	34Mbit/s
M8	8Mbit/s
M2	2Mbit/s
M1_5	1.5Mbit/s
K64	64 k bit/s
K64_M2	＊2/8/34/139/156M（CMI）ユニットかつ 1.5/45/52M ユニット，45M-2M オプション装着かつ Bit rate :45M のときのみ K64_M2 設定可能

機 能　MUX の最終 Tributary の符号速度を設定します。
制 約　次の場合無効となります。

- :SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE の設定においてコンカチマッピング,6M,mc,384k 選択時。
- 2/8/34/139/156M（CMI）ユニット未装着時，<M34>,<M8>,<M2>設定の場合。
- MUX/DEMUX（2/8/34/139M）オプションが未装着時，<M34>,<M8>,<M2>設定の場合。
- 1.5/45/52M ユニット未装着時，<M1_5>設定の場合。
- MUX/DEMUX（1.5/45M）オプションが未装着時，<M1_5>設定の場合。
- 2/8/34/139/156M（CMI）ユニット未装着かつ，1.5/45/52M ユニット未装着時，<K64>設定の場合。
- MUX/DEMUX（2/8/34/139M）オプションが未装着かつ，MUX/DEMUX（5/45M）オプションが未装着かつ 45M-2M オプション未装着時，<OFF>,<K64>,<K64-M2>設定の場合。

・下記の表の場合。

選択項目	制 約 条 件
M34	・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M52B3ZS>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>以外の場合。
M8	・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M52B3ZS>,<M45>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>以外の場合。
M2	・45M-2M オプション未装着時，:SOURce:TELecom:BRATe が<M52B3ZS>,<M45>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC3_45MASY>,<VC4_ASY>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>以外の場合。
M1_5	・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC3_45MASY>以外の場合。
K64, K64_M2	下記の条件をすべて満たす場合。 ① 2M 非選択条件時 ② 1.5M 非選択条件時 ③ :SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC12_ASY>,<VC12_BIF>,<VC12_BIL>,<VC12_BYF>,<VC12_BYL>,<VC11_ASY>,<VC11_BIF>,<VC11_BIL>,<VC11_BYF>,<VC11_BYL>以外時 ④:SOURce:TELecom:BRATe が，<M2>,<M1_5>以外時

使用例　　MUX の最終 Tributary の符号速度を 2Mbit/s に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MUX:MRATe M2

:SOURce:TELecom:MUX:MRATe?

レスポンス　　<mrate> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　　MUX の最終 Tributary の符号速度を問い合わせます。
使用例　　> :SOURce:TELecom:MUX:MRATe?
< M2

:SOURce:TELecom:MUX:ROUTe <mrate>,<numeric>

パラメータ　　<mrate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

M34	34Mbit/s
M8	8Mbit/s
M2	2Mbit/s
M1_5	1.5Mbit/s
K64	64 k bit/s

<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～4	<mrate>が M34,M8,M2 の場合	ステップ値:1
1～28	<mrate>が M1.5 の場合	ステップ値:1
1～31	<mrate>が K64 の場合	ステップ値:1

機 能　　各 MUX 段のチャネルを設定します。

制 約　　次の場合無効となります。

・2/8/34/139/156M（CMI）ユニット未装着時，<M34>,<M8>,<M2>設定の場合。
・MUX/DEMUX（2/8/34/139M）オプションが未装着時，<M34>,<M8>,<M2>設定の場合。
・1.5/45/52M ユニット未装着時，<M1_5>設定の場合。
・MUX/DEMUX（1.5/45M）オプションが未装着時，<M1_5>設定の場合。
・2/8/34/139/156M（CMI）ユニット未装着かつ，1.5/45/52M ユニット未装着かつ，45M-2M オプション未装着時，<K64>設定の場合。
・MUX/DEMUX (2/8/34/139M) オプションが未装着かつ，MUX/DEMUX（5/45M）オプションが未装着かつ，45M-2M オプション未装着時，<K64>設定の場合。
・下記の表の場合。

<mrate>	制 約 条 件
M34	・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M52B3ZS>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SOURce:TELecom:DEMUX:MRATe が，<OFF>の場合。 ・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>以外の場合。
M8	・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M52B3ZS>,<M45>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 :SOURce:TELecom:DEMUX:MRATe が，<OFF>,<M34>の場合。 ・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>以外の場合。
M2	・45M-2M オプション未装着時，:SOURce:TELecom:BRATe が<M52B3ZS>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M2>,<M1_5>の場合。 :SOURce:TELecom:DEMUX:MRATe が，<OFF>,<M34>,<M8>の場合。 ・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>以外の場合。 ・45M-2M オプション未装着時，:SOURce:TELecom:MAPPing :TYPE が，<VC3-45MASY>の場合。
M1_5	・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SOURce:TELecom:DEMUX:MRATe が，<OFF>の場合。 ・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC3_45MASY>以外の場合。 ・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC3_45MASY>時，:SOURce:TELecom:MUX:MRATe が<M2>,<K64-M2>の場合。
K64	・:SOURce:TELecom:DEMUX:MRATe が，<OFF>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・2M に DEMUX するときに，:SOURce:TELecom:M2:MCHannel が<30>時，numeric= <31>設定の場合。 ・1.5M に DEMUX する時に，1～24 以外設定の場合。

使用例　　8Mbit/s のチャネルを 4 チャネルに設定します。

```
> :SOURce:TELecom:MUX:ROUTe M8,4
```

:SOURce:TELecom:MUX:ROUTe? <mrate>

パラメータ　<mrate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　MUX のチャネルを問い合わせます。
使用例　8Mbit/s のチャネルを問い合わせる場合。
> :SOURce:TELecom:MUX:ROUTe? M8
< 4

:SOURce:TELecom:MUX:N <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～31　ステップ値:1
機 能　64 k bit/s の連続チャネルを設定します。
:SOURce:TELecom:MUX:ROUTe で指定した 64 k bit/s のチャネルから N チャネル連続して試験信号を挿入します。
制 約　次の場合無効となります。
・2/8/34/139/156M（CMI）ユニット未装着かつ，1.5/45/52M ユニット未装着の場合。
・MUX/DEMUX (2/8/34/139M) オプションが未装着かつ，MUX/DEMUX（1.5/45M）オプションが未装着かつ，45M-2M オプション未装着の場合。
・:SOURce:TELecom:DEMUX:MRATe が，<OFF>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。
・2M に DEMUX されているときの上限。
<numeric> ＞ （2Mch - Route + 1） の場合。
2Mch = :SOURce:TELecom:M2:MCHannel
Route = :SOURce:TELecom:DEMUX:ROUTe? M2
・1.5M に DEMUX されているときの上限。
<numeric> ＞ （24 - Route + 1） の場合。
Route = :SOURce:TELecom:DEMUX:ROUTe? M1_5
使用例　連続チャネルを 5 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MUX:N 5

:SOURce:TELecom:MUX:N?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　64 k bit/s の連続チャネルの設定を問い合わせます。
使用例　> :SOURce:TELecom:MUX:N?
< 5

:SOURce:TELecom:FRAMing <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　フレームなし
ON or 1　フレームあり
機 能　送信信号における試験信号のフレームを設定します。
MUX（オプション）が ON のときは最終 Tributary 信号のフレームを設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・最終 Tributary の符号速度を 64 k bit/s に設定したとき。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_BLK>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>,<VC12_BLK>,<VC11_BLK>,<VC11_384D>,<VC11_384V>の場合。
・:SOURce:TELecom:MUX:MRATe が，<K64>の場合。

使用例　　試験信号のフレームを ON にする場合。
> :SOURce:TELecom:FRAMing ON

:SOURce:TELecom:FRAMing?

レスポンス　　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 or 1

機 能　　送信信号における試験信号のフレームを問い合わせます。

使用例　　> :SOURce:TELecom:FRAMing?
< 1

:SOURce:TELecom:M2:CRC <boolean>

パラメータ　　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　　CRC を付加しません。
ON　or 1　　CRC を付加します。

機 能　　2M における CRC 付加の有無を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・2/8/34/139/156M（CMI）ユニット未装着の場合。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M622>,<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS> かつ，:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_BLK>,<VC3_45MASY>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>,<VC12_BLK>,<VC11_ASY>,<VC11_BIF>,<VC11_BIL>,<VC11_BYF>,<VC11_BYL>,<VC11_BLK>,<VC11_384D>,<VC11_384V>の場合。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M622>,<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS>かつ, :SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が, <VC4_ASY>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>かつ，:SOURce:TELecom:MUX:MRATe が，<OFF>,<M34>,<M8>の場合。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M34>,<M8>かつ，:SOURce:TELecom:MUX:MRATe が，<OFF>,<M34>,<M8>の場合。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M1_5>の場合。
・45M-2M オプション未装着時:SOURce:TELecom:BRATe が<M45>の場合。
・:SOURce:TELecom:FRAMing が<OFF>時，<ON>設定の場合。

使用例　　CRC 付加を ON にする場合。
> :SOURce:TELecom:M2:CRC ON

:SOURce:TELecom:M2:CRC?

レスポンス　　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 or 1

機 能　　2M における CRC 付加の有無を問い合わせます。

使用例　　> :SOURce:TELecom:M2:CRC?
< 1

:SOURce:TELecom:M2:MCHannel <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMALNUMERIC PROGRAM DATA>

30　30 チャネル

31　31 チャネル

機 能　送信 2M の信号の最大チャネル数を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・2/8/34/139/156M（CMI）ユニット未装着の場合。

・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M622>,<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS> かつ，:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_BLK>,<VC4_BLK>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>,<VC12_BLK>,<VC11_ASY>,<VC11_BIF>,<VC11_BIL>,<VC11_BYF>,<VC11_BYL>,<VC11_BLK>,<VC11_384D>,<VC11_384V>の場合，または<VC3_45MASY>時 45M-2M オプション未装着の場合。

・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M622>,<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS> かつ，:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>かつ，:SOURce:TELecom:MUX:MRATe が，<OFF>,<M34>,<M8>の場合。

・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M34>,<M8>かつ，:SOURce:TELecom:MUX:MRATe が，<OFF>,<M34>,<M8>の場合。

・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M1_5>の場合。

・45M-2M オプション未装着時，SOURce:TELecom:BRATe が<M45>の場合。

使用例　最大チャネル数を 30 チャネルに設定します。

> :SOURce:TELecom:M2:MCHannel 30

:SOURce:TELecom:M2:MCHannel?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　送信 2M の信号の最大チャネル数を問い合わせます。

使用例　> :SOURce:TELecom:M2:MCHannel?

< 30

:SOURce:TELecom:M1_5:FRAMed <frame>

パラメータ　<frame> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

D4

ESF

JESF　Japan ESF

機 能　1.5M の信号のフレームを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・1.5/45/52M ユニット未装着の場合。

・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M622>,<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS> かつ，:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>,<VC12_ASY>,<VC12_BIF>,<VC12_BIL>,<VC12_BIL>,<VC12_BYF>,<VC12_BYL>,<VC12_BLK>,<VC11_BLK>,<VC11_384D>,<VC11_384V>の場合。

・:SOURce:TELecom:BRATe が，M622>,<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS> かつ，:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC3_45MASY>かつ，:SOURce:TELecom:MUX:MRATe が，<OFF>の場合，または<M2>,<K64_M2>選択時，45M_2M オプション未装着の場合。
・または<M45>時，45M-2M オプション未装着の場合。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M34>,<M8>,<M2>の場合。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M45>かつ，:SOURce:TELecom:MUX:MRATe が，<OFF>の場合。
・<JESF>選択時，オプション 09（Japan mapping）未装着時の場合。

使用例　> :SOURce:TELecom:M1_5:FRAMed D4

:SOURce:TELecom:M1_5:FRAMed?

レスポンス　<frame> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　1.5M の信号のフレームを問い合わせます。
使用例　> :SOURce:TELecom:M1_5:FRAMed?
< D4

:SOURce:TELecom:M1_5:CODE <code>

パラメータ　<code> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
AMI
B8ZS
機 能　1.5M の信号のコードを設定します。
制 約　ビットレートが 1.5M のときに有効です。
使用例　> :SOURce:TELecom:M1_5:CODE AMI

:SOURce:TELecom:M1_5:CODE?

レスポンス　<code> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　1.5M の信号のコードを問い合わせます。
使用例　> :SOURce:TELecom:M1_5:CODE?
< AMI

:SOURce:TELecom:M45:FRAMed <frame>

パラメータ　<frame> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
M13
CBIT
機 能　45M の信号のフレームを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・1.5/45/52M ユニット未装着の場合。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M622>,<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS> かつ，:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC3_45MASY>以外の場合。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。

使用例　> :SOURce:TELecom:M45:FRAMed M13

:SOURce:TELecom:M45:FRAMed?

レスポンス　<frame> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　45M の信号のフレームを問い合わせます。
使用例　> :SOURce:TELecom:M45:FRAMed?
< M13

:SOURce:TELecom:M45:XBIT <string>

パラメータ　<string> = <STRING PROGRAM DATA>
"00"
"01"
"10"
"11"
機 能　45M の信号の XBit を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・1.5/45/52M ユニット未装着の場合。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M622>,<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS> かつ，:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC3_45MASY>以外の場合。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5> の場合。
使用例　> :SOURce:TELecom:M45:XBIT "01"

:SOURce:TELecom:M45:XBIT?

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　45M の信号の XBit を問い合わせます。
使用例　> :SOURce:TELecom:M45:XBIT?
< "01"

:SOURce:TELecom:DSX <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERICPROGRAM DATA>

0	0ft
450	450ft
655	655f
900	900f

機 能　送信信号における DSX のケーブル長を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・5/45/52M ユニット未装着の場合。
・SOURce:TELecom:BRATe が，<M622>,<M156>,<156MCMI>,<M139>,<M34>,<M8>,<M2>の場合。
・:SOURce:TELecom:BRATe が<M52B3ZS>,<M45>時，<655>設定の場合。
・:SOURce:TELecom:BRATe が<M1_5>時，<450>,<900>設定の場合。
使用例　> :SOURce:TELecom:DSX 450

:SOURce:TELecom:DSX?

レスポンス　<numeric> = <DECIMAL NUMERICPROGRAM DATA>

0	0ft
450	450ft
655	655f
900	900f

機 能　送信信号における DSX のケーブル長を問い合わせます。

使用例
> :SOURce:TELecom:DSX?
< 450

:SOURce:TELecom:INVert <type>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	PRBS 反転をしない場合
ON　or 1	PRBS 反転をする場合

機 能　試験パターン（送信）の反転設定を行います。

制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig の設定が<CID>,<ATM>,<IP_SDH>,<IP_SONET>,<JITTER>の場合。
・:SENSe:TELecom:PATTern[:TYPE]の設定が PRBS 以外の場合

使用例　試験パターン（PRBS）を反転するに設定する場合。
> :SOURce:TELecom:INVert ON

:SOURce:TELecom:INVert?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0	PRBS 反転をしない場合
1	PRBS 反転をする場合

機 能　試験パターン反転の設定問い合わせを行います。

使用例
> :SOURce:TELecom:INVert?
< 1

:SOURce:TELecom:ALARm:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <STRING PROGRAM DATA>

（SDH/PDH）

OFF	アラームを挿入しません。
LOS	LOS を挿入します。
LOF	LOF を挿入します。
MAIS	MS-AIS を挿入します。
MRDI	MS-RDI を挿入します。
AAIS	AU-AIS を挿入します。
ALOP	AU-LOP を挿入します。
HRDI	HP-RDI を挿入します。
HSLM	HP-HSLM を挿入します。
HTIM	HP-HTIM を挿入します。
HUNEQ	HP-UNEQ を挿入します。
HVAIS	HP-VC-AIS を挿入します。
HISF	HP-ISF を挿入します。
HFAS	HP-FAS を挿入します。
HIAIS	HP-IncAIS を挿入します。
HTRDI	HP-TC-RDI を挿入します。
HODI	HP-ODI を挿入します。
TAIS	TU-AIS を挿入します。
TLOP	TU-LOP を挿入します。
LRDI	LP-RDI を挿入します。
LRFI	LP-RFI を挿入します。
LSLM	LP-SLM を挿入します。
LTIM	LP-TIM を挿入します。
LUNEQ	LP-UNEQ を挿入します。
TLOM	TU-LOM を挿入します。
LVAIS	LP-VC-AIS を挿入します。
LFAS	LP-FAS を挿入します。
LIAIS	LP-InAIS を挿入します。
LTRDI	LP-TC-RDI を挿入します。
LODI	LP-ODI を挿入します。
AIS139	139Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
AIS45	45Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
AIS34	34Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
AIS8	8Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
AIS2	2Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
AIS1_5	1.5Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
LOF139	139Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
LOF45	45Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
LOF34	34Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
LOF8	8Mbit/s 信号に LOF を挿入します。

(SDH/PDH)

LOF2	2Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
LOF1_5	1.5Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
LOFPLCP	PLCPLOF を挿入します。
RDI139	139Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
RDI45	45Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
RDI34	34Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
RDI8	8 Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
RDI2	2 Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
RDI1_5	1.5Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
RDIMF	2 Mbit/s 信号に MF-RDI を挿入します。
RDIPLCP	PLCPRDI を挿入します。
HGAIS	HG-AIS を挿入します。
HGREC	HG-REC を挿入します。
SIGAIS15	SigAIS1.5 を挿入します。
SIGOOF	SigOOF を挿入します。
BAIS1_5	BAIS1.5 を挿入します。

(SONET)

OFF	アラームを挿入しません。
LOS	LOS を挿入します。
LOF	LOF を挿入します。
AISL	MS-AIS を挿入します。
RDIL	MS-RDI を挿入します。
AISP	AU-AIS を挿入します。
LOPP	AU-LOP を挿入します。
RDIP	HP-RDI を挿入します。
SLMP	HP-HSLM を挿入します。
TIMP	HP-HTIM を挿入します。
UNEQP	HP-UNEQ を挿入します。
HVAIS	HP-VC-AIS を挿入します。
HISF	HP-ISF を挿入します。
HFAS	HP-FAS を挿入します。
HIAIS	HP-IncAIS を挿入します。
HTRDI	HP-TC-RDI を挿入します。
AISV	TU-AIS を挿入します。
LOPV	TU-LOP を挿入します。
RDIV	LP-RDI を挿入します。
RFIV	LP-RFI を挿入します。
SLMV	LP-SLM を挿入します。
TIMV	LP-TIM を挿入します。
UNEQV	LP-UNEQ を挿入します。
LOMV	TU-LOM を挿入します。
LVAIS	LP-VC-AIS を挿入します。
LFAS	LP-FAS を挿入します。
LIAIS	LP-IncAIS を挿入します。
LTRDI	LP-TC-RDI を挿入します。
LODI	LP-ODI を挿入します。
AIS139	139Mbit/s 信号に AIS を挿入します。

（SONET）

AIS45	45Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
AIS34	34Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
AIS8	8Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
AIS2	2Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
AIS1_5	1.5Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
LOF139	139Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
LOF45	45Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
LOF45	45Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
LOF34	34Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
LOF8	8Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
LOF2	2Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
LOF1_5	1.5Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
LOFPLCP	PLCPLOF を挿入します。
RDI139	139Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
RDI45	45Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
RDI34	34Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
RDI8	8 Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
RDI2	2 Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
RDI1_5	1.5Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
RDIMF	2 Mbit/s 信号に MF-RDI を挿入します。
RDIPLCP	PLCPRDI を挿入します。
HGAIS	HG-AIS を挿入します。
HGREC	HG-REC を挿入します。
SIGAIS15	SigAIS1.5 を挿入します。
SIGOOF	SigOOF を挿入します。
BAIS1_5	BAIS1.5 を挿入します。

機 能　送信信号に対して，挿入するアラームの種類を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・タンデムコネクション用のデータを送出する設定を行っていない場合におけるタンデムコネクションアラーム設定時。

使用例　> :SOURce:TELecom:ALARm:TYPE AIS8

:SOURce:TELecom:ALARm:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　送信信号に対して，挿入するアラームの種類の問い合わせます。

使用例　> :SOURce:TELecom:ALARm:TYPE?

< AIS8

:SOURce:TELecom:ALARm:STARt

パラメータ　なし

機 能　送信信号に対して，アラームを挿入します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例　> :SOURce:TELecom:ALARm:STARt

:SOURce:TELecom:ALARm:STOP

パラメータ　なし

機 能　送信信号に対して，アラーム挿入を解除します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例　> :SOURce:TELecom:ALARm:STOP

:SOURce:TELecom:ALARm:STATe?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0	アラーム挿入停止中
1	アラーム挿入中

機 能　送信信号に対するアラーム挿入状態を問い合わせます。

使用例　> :SOURce:TELecom:ALARm:STATe?

< 0

:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

SINGle	Single
BURSt	Burst
ALTernate	Alternate
ALL	All

機 能　アラーム付加タイミングを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・BURST，ALTERNATE は，:SOURce:TELecom:BRATe <brate> が M139,M45,M34,M8,M2,M1.5 選択時。

使用例　アラーム付加タイミングを BURST に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:TYPE BURST

:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　アラーム付加タイミング設定を問い合わせます。

使用例　アラーム付加タイミング設定の問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:TYPE?

< BURST

:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:BURSt<timing>,<unit>

パラメータ　<timing> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～8000	unit が frame のとき	ステップ値 1
125～1000000	unit が μs のとき	ステップ値 125

<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

FRAME	frame
US	μs

機 能　アラーム挿入タイミング値と単位を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

:SOURce:TELecom:BRATe <brate>が M139,M45,M34,M8,M2,M1.5 選択時。

使用例　　アラーム挿入タイミングを 5000 frame に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:BURSt 5000, FRAME

:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:BURSt?

レスポンス　　<timing> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:と同じ。
<unit> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:と同じ。
機 能　　アラーム挿入タイミング値と単位設定を問い合わせます。
使用例　　アラーム挿入タイミング値と単位設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:BURSt?
< 5000, FRAME

:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:ALARm<alarm>

パラメータ　　<error> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0～8000	unit が frame のとき	ステップ値 1
0～1000000	unit が μs のとき	ステップ値 125

機 能　　Alternate 時のアラーム付加フレーム数を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:BRATe <brate>が M139,M45,M34,M8,M2,M1.5 選択時。
使用例　　Alternate 時のアラーム付加フレーム数を 3000 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:ALARm 3000

:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:ALARm?

レスポンス　　<error> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　Alternate 時のアラーム付加フレーム数設定を問い合わせます。
使用例　　Alternate 時のアラーム付加フレーム数設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:ALARm?
< 3000

:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:NORMal<normal>

パラメータ　　<normal> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～8000	unit が frame のとき	ステップ値 1
125～1000000	unit が μs のとき	ステップ値 125

機 能　　Alternate 時のノーマル付加フレーム数を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:BRATe <brate>が M139,M45,M34,M8,M2,M1.5 選択時。
使用例　　Alternate 時のノーマル付加フレーム数を 1700 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:NORMal 1700

:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:NORMal?

レスポンス　　<normal> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　Alternate 時のノーマル付加フレーム数の設定を問い合わせます。
使用例　　Alternate 時のノーマル付加フレーム数設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:NORMal?
< 1700

:SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:ALTErnate <unit>

パラメータ　　<unit>=<CHARACTER PROGRAM DATA>
　　FRAME　　frame
　　US　　μs

機 能　　アラーム挿入単位を設定します。

制 約　　次の場合無効になります。
:SOURce:TELecomBRATe ＜brate＞が M139,M45,M34,M8,M2,M1_5 選択時

使用例　　アラーム挿入単位を frame に変更する場合。
> SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:ALTErnate FRAME

SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:ALTErnate?

レスポンス　　<unit>=<CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　アラーム挿入単位設定を問い合わせます。

使用例　　> SOURce:TELecom:ALARm:TIMing:ALTErnate?
<FRAME

:SOURce:TELecom:ERRor:TYPE <etype>

パラメータ　<etype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）

OFF	アラームを挿入しません。
B1	B1 にエラーを挿入します。
B2	B2 にエラーを挿入します。
HB3	HP-B3 にエラーを挿入します。
LB3	LP-B3 にエラーを挿入します。
BIP2	BIP-2 にエラーを挿入します。
MREI	MS-REI にエラーを挿入します。
HREI	HP-REI にエラーを挿入します。
HIEC	HP-IEC を挿入します
HTREI	HP-TC-REI を挿入します。
HOEI	HP-OEI を挿入します。
LREI	LP-REI にエラーを挿入します。
LIEC	LP-IEC を挿入します。
LTREI	LP-TC-REI を挿入します。
LOEI	LP-OEI を挿入します。
N2BIP2	N2_BIP2 を挿入します。
FAS	（SDH）FAS エラーを挿入します。
BALL	Bit all エラーを挿入します。
BIT139	139Mbit/s 信号にビットエラーを挿入します。
BIT45	45Mbit/s 信号にビットエラーを挿入します。
BIT34	34Mbit/s 信号にビットエラーを挿入します。
BIT8	8Mbit/s 信号にビットエラーを挿入します。
BIT2	2Mbit/s 信号にビットエラーを挿入します。
BIT1_5	1.5Mbit/s 信号にビットエラーを挿入します。
BINF	Bit info.
CODE	コードエラーを挿入します。
EBIT	E-bit エラーを挿入します。
FAS139	139Mbit/s 信号へ FAS エラーを挿入します。
FAS45	45Mbit/s 信号へ FAS エラーを挿入します。
FAS34	34Mbit/s 信号へ FAS エラーを挿入します。
FAS8	8Mbit/s 信号へ FAS エラーを挿入します。
FAS2	2Mbit/s 信号へ FAS エラーを挿入します。
FAS1_5	1.5Mbit/s 信号へ FAS エラーを挿入します。
REI139	139Mbit/s 信号へ REI エラーを挿入します。
REI45	45Mbit/s 信号へ REI エラーを挿入します。
REI34	34Mbit/s 信号へ REI エラーを挿入します。
PLCPREI	REI PLCP を挿入します。
PARITY	Prity エラーを挿入します。
CRC6	CRC-6 エラーを挿入します。
CBIT	Cbit エラーを挿入します。
PLCPFAS	FAS PLCP を挿入します。

（SONET）

OFF	アラームを挿入しません。
B1	B1 にエラーを挿入します。
B2	B2 にエラーを挿入します。
HB3	HP-B3 にエラーを挿入します。
LB3	LP-B3 にエラーを挿入します。
BIP2	BIP-2 にエラーを挿入します。
REIL	MS-REI を挿入します。
REIP	HP-REI を挿入します。
HIEC	HP-IEC を挿入します
HTREI	HP-TC-REI を挿入します。
HOEI	HP-OEI を挿入します。
REIV	LP-REI を挿入します。
LIEC	LP-IEC を挿入します。
LTREI	LP-TC-REI を挿入します。
LOEI	LP-OEI を挿入します。
N2BIP2	N2_BIP2 を挿入します。
FAS	（SDH）FAS エラーを挿入します。
BALL	Bit all エラーを挿入します。
BIT139	139Mbit/s 信号にビットエラーを挿入します。
BIT45	45Mbit/s 信号にビットエラーを挿入します。
BIT34	34Mbit/s 信号にビットエラーを挿入します。
BIT8	8Mbit/s 信号にビットエラーを挿入します。
BIT2	2Mbit/s 信号にビットエラーを挿入します。
BIT1_5	1.5Mbit/s 信号にビットエラーを挿入します。
BINF	Bit info.
CODE	コードエラーを挿入します。
EBIT	E-bit エラーを挿入します。
FAS139	139Mbit/s 信号へ FAS エラーを挿入します。
FAS45	45Mbit/s 信号へ FAS エラーを挿入します。
FAS34	34Mbit/s 信号へ FAS エラーを挿入します。
FAS8	8Mbit/s 信号へ FAS エラーを挿入します。
FAS2	2Mbit/s 信号へ FAS エラーを挿入します。
FAS1_5	1.5Mbit/s 信号へ FAS エラーを挿入します。
REI139	139Mbit/s 信号へ REI エラーを挿入します。
REI45	45Mbit/s 信号へ REI エラーを挿入します。
REI34	34Mbit/s 信号へ REI エラーを挿入します。
PLCPREI	REI PLCP を挿入します。
PARITY	Prity エラーを挿入します。
CRC6	CRC-6 エラーを挿入します。
CBIT	Cbit エラーを挿入します。
PLCPFAS	FAS PLCP を挿入します。

機 能　　送信信号に対して，挿入するエラーの種類を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・MUX 最終 Tributary よりも下位の符号速度へのエラー挿入を設定した場合。
・インタフェースより上位の符号速度へのエラー挿入を設定した場合。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE で指定した SDH ルートに対して，無効なエラー挿入を設定した場合。
・タンデムコネクション用のデータを送出する設定を行っていない場合におけるタンデムコネクションエラー設定時。

使用例　　34Mbit/s 信号にビットエラーを挿入します。
> :SOURce:TELecom:ERRor:TYPE BIT34

:SOURce:TELecom:ERRor:TYPE?

レスポンス　　<etype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　送信信号に挿入するエラーの種類を問い合わせます。

使用例　　> :SOURce:TELecom:ERRor:TYPE?
< BIT34

:SOURce:TELecom:ERRor:ERATe <erate>

パラメータ　<erate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

ONCE	Single error
R1E_3	1E-3
R1E_4	1E-4
R1E_5	1E-5
R1E_6	1E-6
R1E_7	1E-7
R1E_8	1E-8
R1E_9	1E-9
R1IN16	1 in 16
R2IN16	2 in 16
R3IN16	3 in 16
R4IN16	4 in 16
ALL	All
BURSt	Burst
R5E_3	5E-3
R5E_4	5E-4
R5E_5	5E-5
R5E_6	5E-6
R5E_7	5E-7
R5E_8	5E-8
R5E_9	5E-9
ALTernate	Alternate
PROGRATE	Programable rate

機 能　エラー挿入の割合を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:SOURce:TELecom:ERRor:TYPE が，<OFF>,<FAS>の場合。

・:SOURce:TELecom:ERRor:TYPE が，<CODE>,<EBIT>,<BIT139>,<BIT45>,<BIT34>,<BIT8>,<BIT2>,<BIT1_5>,<BINF> 時，<R1E_8>,<R1E_9>設定の場合。

・:SOURce:TELecom:ERRor:TYPE が，<B1>,<B2>,<HB3>,<LB3>,<BIP2>,<MREI>, <HREI>,<LREI>,<EBIT>時，<R1E_3>設定の場合。

・:SOURce:TELecom:ERRor:TYPE が，<FAS139>,<FAS45>,<FAS34>,<FAS8>,<FAS2>,<FAS1_5>以外時，<R1IN16>,<R2IN16>,<R3IN16>,<R4IN16>設定の場合。

・:SOURce:TELecom:ERRor:TYPE が，<FAS139>,<FAS45>,<FAS34>,<FAS8>,<FAS2>,<FAS1_5> 時，<R1IN16>,<R2IN16>,<R3IN16>,<R4IN16>以外を設定の場合。

・:SOURce:TELecom:ERRor:TYPE が，<FAS>,<BALL>,<BIT139>,<BIT45>,<BIT34>,<BIT8>,<BIT2>,<BIT1_5>,<BINF>時，<ALL>設定の場合。

・BURST, ALTERNATE, または PROGRATE が設定，かつ:SOURce:TELecom:BRATe <brate>が M139,M45,M34,M8,M2,または M1.5 の場合。

使用例　1E-3 の頻度でエラーを挿入する場合。

> :SOURce:TELecom:ERRor:ERATe R1E_3

:SOURce:TELecom:ERRor:ERATe?

レスポンス　　<erate> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　　エラー挿入の割合を問い合わせます。
使用例　　> :SOURce:TELecom:ERRor:ERATe?
　　< R1E_3

:SOURce:TELecom:ERRor:STARt

パラメータ　　なし
機 能　　送信信号に対して，エラーを挿入します。
制 約　　次の場合無効となります。
　　・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。
使用例　　> :SOURce:TELecom:ERRor:STARt

:SOURce:TELecom:ERRor:STOP

パラメータ　　なし
機 能　　送信信号に対して，エラー挿入を解除します。
制 約　　次の場合無効となります。
　　:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。
使用例　　> :SOURce:TELecom:ERRor:STOP

:SOURce:TELecom:ERRor:STATe?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
　　0　　エラー挿入停止中
　　1　　エラー挿入中
機 能　　送信信号に対するエラー挿入状態を問い合わせます。
使用例　　> :SOURce:TELecom:ERRor:STATe?
　　< 0

:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:TYPE <erate>

パラメータ　<erate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

ONCE	Single error
R1E_3	1E-3
R1E_4	1E-4
R1E_5	1E-5
R1E_6	1E-6
R1E_7	1E-7
R1E_8	1E-8
R1E_9	1E-9
R1IN16	1 in 16
R2IN16	2 in 16
R3IN16	3 in 16
R4IN16	4 in 16
ALL	All
BURSt	Burst
R5E_3	5E-3
R5E_4	5E-4
R5E_5	5E-5
R5E_6	5E-6
R5E_7	5E-7
R5E_8	5E-8
R5E_9	5E-9
ALTernate	Alternate
PROGRATE	Programable rate

機 能　エラー挿入の割合を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:SOURce:TELecom:ERRor:TYPE が，<OFF>,<FAS>の場合。
・:SOURce:TELecom:ERRor:TYPE が，<CODE>,<EBIT>,<BIT139>,<BIT45>,<BIT34>,<BIT8>,<BIT2>,<BIT1_5>,<BINF> 時，<R1E_8>,<R1E_9>設定の場合。
・:SOURce:TELecom:ERRor:TYPE が，<B1>,<B2>,<HB3>,<LB3>,<BIP2>,<MREI>, <HREI>,<LREI>,<EBIT>時，<R1E_3>設定の場合。
・:SOURce:TELecom:ERRor:TYPE が，<FAS139>,<FAS45>,<FAS34>,<FAS8>,<FAS2>,<FAS1_5>以外時，<R1IN16>,<R2IN16>,<R3IN16>,<R4IN16>設定の場合。
・:SOURce:TELecom:ERRor:TYPE が，<FAS139>,<FAS45>,<FAS34>,<FAS8>,<FAS2>,<FAS1_5> 時，<R1IN16>,<R2IN16>,<R3IN16>,<R4IN16>以外を設定の場合。
・:SOURce:TELecom:ERRor:TYPE が，<FAS>,<BALL>,<BIT139>,<BIT45>,<BIT34>,<BIT8>,<BIT2>,<BIT1_5>,<BINF>時，<ALL>設定の場合。
・BURST，ALTERNATE，PROGRATE は，:SOURce:TELecom:BRATe <brate>が M139,M45,M34,M8,M2,M1.5 選択時。

使用例　1E-3 の頻度でエラーを挿入する場合。

> :SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:TYPE　R1E_3

:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:TYPE?

レスポンス　<erate> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　エラー挿入の割合を問い合わせます。
使用例　> :SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:TYPE?
< R1E_3

:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:BURSt:BIT <bit>

パラメータ　<bit> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64000　ステップ値 1
機 能　エラー挿入ビット数を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:BRATe <brate>が M139,M45,M34,M8,M2,M1.5 選択時。
使用例　エラー挿入ビット数を 1000 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:BURSt:BIT 1000

:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:BURSt:BIT?

レスポンス　<bit> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　エラー挿入ビット数を問い合わせます。
使用例　エラー挿入ビット数の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:BURSt:BIT?
< 1000

:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:PROGrate <error>

パラメータ　<error> = <STRING PROGRAM DATA>
"1.0E-2" ～ "9.9E-10"　仮数部 1.0 ～ 9.9　ステップ値 0.1
指数部 1 ～ 10　ステップ値 1
"1.0E-2"は" 1 E-2"でも可
機 能　Programable rate エラー付加での付加値を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:BRATe <brate>が M139,M45,M34,M8,M2,M1.5 選択時。
使用例　Prog.rate エラー付加での付加値を 1.0E-5 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:PROGrate "1.0E-5"

:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:PROGrate?

レスポンス　<error> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　Prog.rate エラー付加での付加値を問い合わせます。
使用例　Prog.rate エラー付加での付加値の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:PROGrate?
< "1.0E-5"

:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:ERRor <error>

パラメータ　<error> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 8000　ステップ値 1
機 能　Alternate 時のエラー付加フレーム数を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:BRATe <brate>が M139,M45,M34,M8,M2,M1.5 選択時。

使用例　　エラー付加フレーム数を 3000 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:ERRor 3000

:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:ERRor?

レスポンス　　<error> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　Alternate 時のエラー付加フレーム数設定を問い合わせます。
使用例　　Alternate 時のエラー付加フレーム数設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:ERRor?
< 3000

:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:NORMal <normal>

パラメータ　　<normal> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 8000　　ステップ値 1
機 能　　Alternate 時のノーマル付加フレーム数を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:BRATe <brate>が M139,M45,M34,M8,M2,M1.5 選択時。
使用例　　ノーマル付加フレーム数を 1700 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:NORMal 1700

:SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:NORMal?

レスポンス　　<normal> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　Alternate 時のノーマル付加フレーム数設定を問い合わせます。
使用例　　Alternate 時のノーマル付加フレーム数設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:ERRor:TIMing:NORMal?
< 1700

:SOURce:TELecom:CLOCk:SOURce <csource>

パラメータ　　<csource> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

INTernal	Internal
EXTernal	External
LUNBalanced	Look 2MHz Unbalanced
LBALanced	Look 2MHz Balanced
LUNB_2MHZ	Look 2MHz Unbalanced
LBAL_2MHZ	Look 2MHz Balanced
LUNB_2MBPS	Look 2Mbps Unbalanced
LBAL_2MBPS	Look 2Mbps Balanced
LBAL_1_5MHZ	Look 1.5MHz Balanced
LBAL_1_5MBPS	Look 1.5Mbps Balanced
LBAL_64K	Look 64k+8kHz
L10M	Look 10M
RECeive	Receive
L5M	Look 5M

機 能　　送信信号のクロック源を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
:INSTrument:COUPled が<NONE>時，<RECeive>設定の場合。
使用例　　送信信号のクロック源を内部に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:CLOCk:SOURce INTernal

:SOURce:TELecom:CLOCk:SOURce?

レスポンス　<csource> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

INT	Internal
EXT	External
LUNB_2MHZ	Lock 2MHz Unbalanced
LBAL_2MHZ	Lock 2MHz Balanced
LUNB_2MBPS	Lock 2Mbps Unbalanced
LBAL_2MBPS	Lock 2Mbps Balanced
LBAL_1_5MHZ	Lock 1.5MHz Balanced
LBAL_1_5MBPS	Look 1.5Mbps Balanced
LBAL_64K	Lock 64k+8kHz
L10M	Look 10M
REC	Receive
L5M	Look 5M

機 能　送信信号のクロック源を問い合わせます。

使用例　> :SOURce:TELecom:CLOCk:SOURce?
< INT

:SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE <pstype>

パラメータ　<pstype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

OFF	OFF
SOOPolarity	Single of opposite polarity
RWDouble	Regular with double
RWMissing	Regular with missing
DOOPolarity	Double of opposite polarity
NORMa187_3	87-3/26-1 Normal
ADD87_3	87-3/26-1 Add
CANCe187_3	87-3/26-1 Cancel
CPNormal	Continuous pattern Normal
CPADd	Continuous pattern Add
CPCancel	Continuous pattern Cancel
SPADjustment	G.783:Single pointer adjustment
MRPBurst	G.783:Maximum rate pointer burst
PTPBurst	G.783:Phase transient pointer burst

機 能　ポインタシーケンス測定の種別を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・INSTrument:STANdard が <SDH> 時，<SPADjustment>, <MRPBurst>,<PTPBurst>設定の場合。

使用例　ポインタシーケンス測定の種別を Single of opposite polarity に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE SOOPolarity

:SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE?

レスポンス　<pstype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

OFF	OFF
SOOP	Single of opposite polarity
RWD	Regular with double
RWM	Regular with missing
DOOP	Double of opposite polarity
NORM87_3	87-3/26-1 Normal
ADD87_3	87-3/26-1 Add
CANC87_3	87-3/26-1 Cancel
CPN	Continuous pattern Normal
CPAD	Continuous pattern Add
CPC	Continuous pattern Cancel
SPAD	G.783:Single pointer adjustment
MRPB	G.783:Maximum rate pointer burst
PTPB	G.783:Phase transient pointer burst

機 能　ポインタシーケンス測定の種別を問い合わせます。

使用例
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE?
< SOOP

:SOURce:TELecom:PSEQuence:POINter <ptype>

パラメータ　<ptype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

AU	AU-PTR
TU	TU-PTR

機 能　ポインタシーケンス測定の対象ポインタを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE が，<OFF>の場合。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC12_BIL>,<VC12_BYL>,<VC11_BIL>,<VC11_BYL>時，<TU>設定の場合。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC3_45MASY>,<VC3_BLK>かつ，:SOURce:TELecom:MAPPing:AU が<AU3>時，<TU>設定の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]<"PSEQuence[:JOFF]">以外の場合。

使用例　AU ポインタに対し，ポインタシーケンス測定をする場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:POINter AU

:SOURce:TELecom:PSEQuence:POINter?

レスポンス　<ptype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　ポインタシーケンス測定の対象ポインタを問い合わせます。

使用例
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:POINter?
< AU

:SOURce:TELecom:PSEQuence:POLarity <polarity>

パラメータ　<polarity> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

PPJC	+Just
NPJC	-Just

機 能　ポインタシーケンス測定のジャスティフィケーション極性を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE　が，　<OFF>,<SOOPolarity>,<DOOPolarity>,の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"PSEQuence[:JOFF]">以外の場合。

使用例　　ジャスティフィケーション極性を+Just に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:POLarity PPJC

:SOURce:TELecom:PSEQuence:POLarity?

レスポンス　　<polarity> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　ポインタシーケンス測定のジャスティフィケーション極性を問い合わせます。

使用例　　> :SOURce:TELecom:PSEQuence:POLarity?
< PPJC

:SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T1 <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～60000　　単位は ms

機 能　　ポインタシーケンス測定の T1 パラメータを設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"PSEQuence[:JOFF]">以外の場合。
・:SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE　が，　<OFF>,<NORMal87_3>,<ADD87_3>,<CANCel87_3>,<CPNormal>,<SPADjustment>,<MRPBurst>,<PTPBurst>の場合。
・下記の表の範囲以外の場合。

	C3 , C4 マッピング	C11,C12,C2 マッピング
Single of opposite polarity	1 ～ 60000ms	4 ～ 60000ms
Regular with double	8 ～ 60000ms T1 > T2 × 2	8 ～ 60000ms T1 > T2 × 2
Regular with missing	2 ～ 60000ms T1 > T2 × 2	8 ～ 60000ms T1 > T2 × 2
Double of opposite polarity	4 ～ 60000ms	4 ～ 60000ms
Continuous pattern add	8 ～ 60000ms T1 > T2 × 2	8 ～ 60000ms T1 > T2 × 2
Continuous pattern cancel	2 ～ 60000ms T1 > T2 × 2	8 ～ 60000ms T1 > T2 × 2

使用例　　ポインタシーケンス測定の T1 パラメータを 300ms に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T1 300

:SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T1?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　　ポインタシーケンス測定の T1 パラメータを問い合わせます。

使用例　　> :SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T1?
< 300

:SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T2 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～30000　単位は ms

機 能　ポインタシーケンス測定の T2 パラメータを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE が， <OFF>,<SOOPolarity>, <DOOPolarity>,<NORMal87_3>,<ADD87_3>,<CANCel87_3>,<SPADjustment>,<MRPBurst>,<PTPBurst>の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"PSEQuence[:JOFF]">以外の場合。
・下記の表の範囲以外の場合。

	C3 , C4 マッピング	C11,C12,C2 マッピング
Regular with double	4 ～ 30000ms	4 ～ 30000ms
Regular with missing	1 ～ 30000ms	4 ～ 30000ms
Continuous pattern normal	4 ～ 30000ms	4 ～ 30000ms
Continuous pattern add	4 ～ 30000ms	4 ～ 30000ms
Continuous pattern cancel	1 ～ 30000ms	4 ～ 30000ms

使用例　ポインタシーケンス測定の T2 パラメータを 300ms にする場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T2 300

:SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T2?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　ポインタシーケンス測定の T2 パラメータを問い合わせます。

使用例　> :SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T2?
< 300

:SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 30000　単位は ms

機 能　ポインタシーケンス測定の T パラメータを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE が， <OFF>,<SOOPolarity>, <RWDouble>,<RWMissing>,<DOOPolarity>,<CPNormal>,<CPADd>, <CPCancel>の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"PSEQuence[:JOFF]">以外の場合。
・下記の表の範囲以外の場合。

	C3 , C4 マッピング	C11,C12,C2 マッピング
87-3/26-1 normal	1 ～ 30000ms	4 ～ 30000ms
87-3/26-1 add	1 ～ 30000ms	4 ～ 30000ms
87-3/26-1 cancel	1 ～ 30000ms	4 ～ 30000ms
Single pointer adjustment	1 ～ 30000ms	1 ～ 30000ms
Maximum rate pointer burst	1 ～ 30000ms	1 ～ 30000ms
Phase transient pointer burst	1 ～ 30000ms	1 ～ 30000ms

使用例　　ポインタシーケンス測定の T パラメータを 300ms に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T 300

:SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　ポインタシーケンス測定の T パラメータを問い合わせます。
使用例　　> :SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T?
< 300

:SOURce:TELecom:PSEQuence:AINTerval <interval>

パラメータ　　<interval> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

R1IN1	1in1
R1IN2	1in2
R1IN3	1in3
R1IN4	1in4
R1IN5	1in5
R1IN6	1in6
R1IN7	1in7
R1IN8	1in8
R1IN9	1in9
R1IN10	1in10

機 能　　ポインタシーケンス測定の Added ポイント間隔を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE が，<ADD87_3>以外の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"PSEQuence[:JOFF]">以外の場合。
使用例　　> :SOURce:TELecom:PSEQuence:AINTerval 100

:SOURce:TELecom:PSEQuence:AINTerval?

レスポンス　　<interval> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　ポインタシーケンス測定の Added ポイント間隔を問い合わせます。
使用例　　> :SOURce:TELecom:PSEQuence:AINTerval?
< 100

:SOURce:TELecom:PSEQuence:CINTerval <interval>

パラメータ　　<interval> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

R1IN1	1in1
R1IN2	1in2
R1IN3	1in3
R1IN4	1in4
R1IN5	1in5
R1IN6	1in6
R1IN7	1in7
R1IN8	1in8
R1IN9	1in9
R1IN10	1in10

機 能　　ポインタシーケンス測定の Cancel ポイント間隔を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE が, <CANCel87_3>以外の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"PSEQuence[:JOFF]">以外の場合。
使用例　　> :SOURce:TELecom:PSEQuence:CINTerval 100

:SOURce:TELecom:PSEQuence:CINTerval?

レスポンス　　<interval> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　ポインタシーケンス測定の Cancel ポイント間隔を問い合わせます。
使用例　　> :SOURce:TELecom:PSEQuence:CINTerval?
< 100

:SOURce:TELecom:PSEQuence:POFFset <offset>

パラメータ　　<offset> = <NON-DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
-100.0 ～ 100.0　　ステップ値 0.1
機 能　　Payload オフセットを設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>の設定が 139M（Async.）, 34M (Async.) , 45M (Async.) , 6M (Async.) , 2M (Async.) , 1.5M (Async.) 以外の設定の場合。
使用例　　Payload オフセットを-60.0 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:POFFset –60.0

:SOURce:TELecom:PSEQuence:POFFset?

レスポンス　　<offset> = <NR2 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　Payload オフセットの設定を問い合わせます。
使用例　　Payload オフセット設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:POFFset?
< -60.0

:SOURce:TELecom:PSEQuence:INItial:MODE <mode>

パラメータ　　<mode> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF	or	0
ON	or	1

機 能　　初期化時間の有無を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE <pstype>の設定が以下のとき。
<pstype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

OFF	OFF
SOOPolarity	Single of opposite polarity
RWDouble	Regular with double
RWMissing	Regular with missing
DOOPolarity	Double of opposite polarity

使用例　　初期化時間を有設定にする場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:INItial:MODE ON

:SOURce:TELecom:PSEQuence:INItial:MODE?

レスポンス　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0
1

機 能　初期化時間の有無設定を問い合わせます。

使用例　初期化時間の有無設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence: INItial:MODE?
< 1

:SOURce:TELecom:PSEQuence:INItial:TIME <s>

パラメータ　<s> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 99　s　ステップ値 1

機 能　初期化時間の時間を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE <pstype>の設定が OFF 時。

使用例　初期化時間を 1s 500ms に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:INItial:TIME 1

:SOURce:TELecom:PSEQuence:INItial:TIME?

レスポンス　<s> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　初期化時間の時間設定を問い合わせます。

使用例　初期化時間の時間設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:INItial:TIME?
< 1

:SOURce:TELecom:PSEQuence:INItial:TI <ms>

パラメータ　<ms> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 30000　ms　ステップ値 1

機 能　初期化時間の時間を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE <pstype>の設定が OFF 時。

使用例　初期化時間を 500ms に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:INItial:TI 500

:SOURce:TELecom:PSEQuence:INItial:TI?

レスポンス　<ms> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　初期化時間の時間設定を問い合わせます。

使用例　初期化時間の時間設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:INItial:TI?
< 500

:SOURce:TELecom:PSEQuence:COOLdown:MODE <mode>

パラメータ　<mode> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF　or　0
ON　or　1

機 能　安定待ち処理時間の有無を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE <pstype>の設定が以下のとき。
<pstype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

OFF	OFF
SOOPolarity	Single of opposite polarity
RWDouble	Regular with double
RWMissing	Regular with missing
DOOPolarity	Double of opposite polarity

使用例　　安定待ち処理時間を無に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:COOLdown:MODE OFF

:SOURce:TELecom:PSEQuence:COOLdown:MODE?

レスポンス　　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0
1
機 能　　安定待ち処理時間の有無の設定を問い合わせます。
使用例　　安定待ち処理時間の有無の設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:COOLdown:MODE?
< 0

:SOURce:TELecom:PSEQuence:COOLdown:TIME <s>

パラメータ　　<s> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 99	s	ステップ値 1

機 能　　初期化時間の時間を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE <pstype>の設定が以下の時。
<pstype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

OFF	OFF
SOOPolarity	Single of opposite polarity
RWDouble	Regular with double
RWMissing	Regular with missing
DOOPolarity	Double of opposite polarity

使用例　　初期化時間を 1s 500ms に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:COOLdown:TIME 1

:SOURce:TELecom:PSEQuence:COOLdown:TIME?

レスポンス　　<s> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　初期化時間の時間設定を問い合わせます。
使用例　　初期化時間の時間設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:PSEQuence:COOLdown:TIME?
< 1

:SOURce:TELecom:DPReset:POHPattern <pohtype>, <pohpoint>, <string>

パラメータ　<pohtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）

VC4	POH VC4 パターン
VC3	POH VC3 パターン
VC1	POH VC2/1 パターン

（SONET）

STS3	POH STS3 パターン
STS1	POH STS1 パターン
VT	POH VT パターン

<pohpoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

SDH	J1	C2	G1	F2	H4	F3	K3	N1	V5	J2	N2	K4
SONET	J1	C2	G1	F2	H4	Z3	Z4	Z5	V5	J2	Z6	Z7

<string> = <STRING PROGRAM DATA>

"**", "00" ～ "FF" （HEX 形式）

機 能　送信信号の Dummy preset POH データを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

<pohpoint> = V5 以外の "**" 設定の場合

実行エラー（"Illegal parameter value"）とする。

使用例　POH VC3 のプリセットデータを"EF"と設定する場合。

:SOURce:TELecom:DPReset:POHPattern VC3, F2, "EF"

:SOURce:TELecom:DPReset:POHPattern? <pohtype>, <pohpoint>

パラメータ　<pohtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

<pohpoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の Dummy preset POH データを問い合わせます。

使用例　POH VC3 の F2 プリセットデータの問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:DPReset:POHPattern? VC3, F2

< "EF"

:SOURce:TELecom:DPReset:SLABel <pohtype>, <string>
:SOURce:TELecom:DPReset:PLABel <pohtype>, <string>

パラメータ　<pohtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）

VC4	POH VC4 パターン
VC3	POH VC3 パターン

（SONET）

STS3	POH STS3 パターン
STS1	POH STS1 パターン

<string> = <STRING PROGRAM DATA>

C2（b1-8）は，ニーモニック設定可

（SDH 時）

"Unequipped"	"UNEQ"	(0000 0000)
"Equipped-non-specific"	"non-specific"	(0000 0001)
"TUG structure"	"TUG"	(0000 0010)
"Locked TU"	"Locked TU"	(0000 0011)
"Async. 34M or 45M（C-3）"	"34M" または "45M"	(0000 0100)
"Async. 139M（C-4）"	"139M"	(0001 0010)
"ATM mapping"	"ATM"	(0001 0011)
"MAN（DQDB）mapping"	"MAN" または "DQDB"	(0001 0100)
"FDDI mapping"	"FDDI	(0001 0101)
"O.181 mapping"	"O.181	(1111 1110)
"VC-AIS"	"VC-AIS"	(1111 1111)

（SONET 時）

"Unequipped"	"UNEQ"	(0000 0000)
"Equipped-non-specific"	"non-specific"	(0000 0001)
"VT structure"	"VT"	(0000 0010)
"Locked VT"	"Locked VT"	(0000 0011)
"Async. Mapping DS3"	"DS3"	(0000 0100)
"Async. Mapping DS4NA"	"DS4NA"	(0001 0010)
"Mapping for ATM"	"ATM"	(0001 0011)
"Mapping for DQDB"	"MAN" または "DQDB"	(0001 0100)
"Async. Mapping FDDI"	"FDDI	(0001 0101)
"Unused"	"UNUSED	(1111 1110)
"AIS-P"	"AIS-P"	(1111 1111)

機 能　送信信号の Dummy preset POH データの C2 データを設定します。

使用例　POH VC3 C2 の Dummy preset データを“Unequipped”に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:DPReset:SLABel VC3, “Unequipped”

:SOURce:TELecom:DPReset:SLABel? <pohtype>
:SOURce:TELecom:DPReset:PLABel? <pohtype>

パラメータ　<pohtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の Dummy preset POH データの C2 のニーモニックデータを問い合わせます。

使用例　POH VC3 C2 の Dummy preset データのニーモニックデータの問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:DPReset:SLABel? VC3

< “Unequipped”

:SOURce:TELecom:DPReset:VLABel <string>

パラメータ　<string> = <STRING PROGRAM DATA>

V5（b5-7）は，ニーモニック設定可

（SDH）

"Unequipped"	"UNEQ"	(000)
“Unequipped-non-specific”	"non-specific"	(001)
“Asynchronous”	“Async”	(010)
“Bitsynchronous”	“Bitsync”	(011)
“Bytesynchronous”	“Bytesync”	(100)
“Reserved101”	“Reserved”	(101)
“O.181 mapping”	“O.181”	(110)
“VC-AIS”	“VC-AIS”	(111)

（SONET）

"Unequipped"	"UNEQ"	(000)
“Unequipped-non-specific”	"non-specific"	(001)
“Asynchronous”	“Async”	(010)
“Bitsynchronous”	“Bitsync”	(011)
“Bytesynchronous”	“Bytesync”	(100)
“Reserved101”	“Reserved101”	(101)
“Reserved110”	“Reserved110”	(110)
“AIS-V”	“AIS-V”	(111)

※右は省略形式。

機 能　送信信号の Dummy preset POH データの V5 データ（bit 5～7）を設定します。（ニーモニック形式）

使用例　POH V5 の Dummy preset データを“Unequipped”に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:DPReset:VLABel “Unequipped”

:SOURce:TELecom:DPReset:VLABel?

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の Dummy preset POH データの V5（bit 5～7）のニーモニックデータを問い合わせます。

使用例　POH V5 のニーモニックプリセットデータの問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:DPReset:VLABel?

< “Unequipped”

:SOURce:TELecom:DPReset:GLABel <pohtype>, <string>

パラメータ　<pohtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）

VC4	POH VC4 パターン
VC3	POH VC3 パターン

（SONET）

STS3	POH STS3 パターン
STS1	POH STS1 パターン

<string> = <STRING PROGRAM DATA>

G1（b5-7）は，ニーモニック設定可

“No remote defect000”	（ 000 ）
“No remote defect001”	（ 001 ）
“Remote payload defect”	（ 010 ）
“No remote defect011”	（ 011 ）
“Remote defect100”	（ 100 ）
“Remote server defect”	（ 101 ）
“Remote connectivity defect”	（ 110 ）
“Remote defect111”	（ 111 ）

機 能　送信信号の Dummy preset POH データの G1 データを設定します。

使用例　POH VC3 G1 の Dummy preset データを“No remote defect 000”に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:DPReset:GLABel VC3, “No remote defect 000”

:SOURce:TELecom:DPReset:GLABel? <pohtype>

パラメータ　<pohtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の Dummy preset POH データの G1 のニーモニックデータを問い合わせます。

使用例　POH VC3 G1 の Dummy preset データのニーモニックデータの問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:DPReset:GLABel? VC3

< “No remote defect 000”

:SOURce:TELecom:DPReset:KLABel <string>
:SOURce:TELecom:DPReset:ZLABel <string>

パラメータ　<string> = <STRING PROGRAM DATA>

K4（b5-7）, Z7（b5-7）は，ニーモニック設定可

“No remote defect000”	（ 000 ）
“No remote defect001”	（ 001 ）
“Remote payload defect”	（ 010 ）
“No remote defect011”	（ 011 ）
“Remote defect100”	（ 100 ）
“Remote server defect”	（ 101 ）
“Remote connectivity defect”	（ 110 ）
“Remote defect111”	（ 111 ）

機 能　送信信号の Dummy preset POH データの K4（SDH）, Z7（SONET）データを設定します。

使用例　POH K4 の Dummy preset データを”No remote defect 000”に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:DPReset:KLABel “No remote defect 000”

:SOURce:TELecom:DPReset:KLABel?
:SOURce:TELecom:DPReset:ZLABel?

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の Dummy preset POH データの K4（SDH）, Z7（SONET）のニーモニックデータを問い合わせます。

使用例　POH K4 の Dummy preset データのニーモニックデータの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:DPReset:KLABel?
< “No remote defect 000”

:SOURce:TELecom:DPReset:DEFault <deftype>

パラメータ　<deftype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

ALLPOH	全 POH
LAPD	LAPD メッセージ N1, N2

機 能　Dummy preset 画面のプリセットデータを初期化します。

使用例　Dummy preset 画面の全 POH を初期化設定する場合。
> :SOURce:TELecom:DPReset:DEFault ALLPOH

（SDH 向け）

:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:MODE <mode>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1LP:MODE <mode>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N2:MODE <mode>

（SONET 向け）

:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5HP:MODE <mode>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5LP:MODE <mode>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z6:MODE <mode>

パラメータ　<mode> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF	or	0
ON	or	1

機 能　タンデムコネクション用のデータを送出するか/しないかを設定します。

使用例　N1-HP のタンデムコネクション用のデータを送出するに設定する場合。
> :SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:MODE ON

（SDH 向け）

:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:MODE?
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1LP:MODE?
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N2:MODE?

（SONET 向け）

:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5HP:MODE?
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5LP:MODE?
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z6:MODE?

レスポンス　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0
1

機 能　N1-HP タンデムコネクション用のデータを送出するか/しないかを問い合わせます。

使用例　N1-HP タンデムコネクション用のデータを送出するか/しないかの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:MODE?
< 1

（SDH 向け）

:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:TYPE <type>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1LP:TYPE <type>

（SONET 向け）

:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5HP:TYPE <type>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5LP:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
TYPE1
TYPE2

機 能　タンデムコネクション用のトレースデータのタイプを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
以下のコマンドの設定が OFF の時。
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:MODE <mode>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1LP:MODE <mode>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5HP:MODE <mode>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5LP:MODE <mode>

使用例　N1-HP のタンデムコネクション用のトレースデータのタイプを Type2 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:
TYPE TYPE2

（SDH 向け）

:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:TYPE?
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1LP:TYPE?

（SONET 向け）

:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5HP:TYPE?
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5LP:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　N1-HP タンデムコネクション用のトレースデータのタイプを問い合わせます。

使用例　N1-HP タンデムコネクション用のトレースデータのタイプの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:TYPE?
< TYPE2

:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:N1HP:TYPE1 <tapoint>, <string>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:Z5HP:TYPE1 <tapoint>, <string>

パラメータ　<tapoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
IEC, D_LINK
<string> = <STRING PROGRAM DATA>
“0000”　～　“1111”（BIN 形式）
<tapoint>が，IEC, D_LINK の場合

機 能　Dummy Preset タンデムコネクションの編集 N1-HP,Z5-HP の Type1 データを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:TYPE <type>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5HP:TYPE <type>
が TYPE1 以外のとき。

使用例　Dummy Preset タンデムコネクションの Type1 の IEC データを“1010”に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:N1HP:TYPE1 IEC, “1010”

:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:N1HP:TYPE1? <tapoint>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:Z5HP:TYPE1? <tapoint>

パラメータ　<tapoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　Dummy Preset タンデムコネクションの編集 N1-HP の Type1 データを問い合わせます。
使用例　タンデムコネクションの N1-HP Type1 の IEC データの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:N1HP:TYPE1 IEC
< “1010”

（SDH 向け）
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:N1HP:TYPE2 <tapoint>, <string>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:N1LP:TYPE2 <tapoint>, <string>
（SONET 向け）
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:Z5HP:TYPE2 <tapoint>, <string>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:Z5LP:TYPE2 <tapoint>, <string>

パラメータ　<tapoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
IEC, TCREI, OEI, BIT7_8
<string> = <STRING PROGRAM DATA>

“0” ～ “1”	（BIN 形式）	<tapoint>が，TCREI, OEI の場合
“00” ～ “11”	（BIN 形式）	<tapoint>が，BIT7_8 の場合
“0000” ～“1111”	（BIN 形式）	<tapoint>が，IEC の場合

機 能　Dummy Preset タンデムコネクションの編集 N1-HP, N1-LP の Type2 データを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1HP:TYPE <type>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N1LP:TYPE <type>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5HP:TYPE <type>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z5LP:TYPE <type>
の設定が TYPE2 以外のとき。
使用例　Dummy Preset タンデムコネクションの N1 Type2 の OEI データを“1”に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:N1HP:TYPE2 OEI, “1”

（SDH 向け）
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:N1HP:TYPE2? <tapoint>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:N1LP:TYPE2? <tapoint>

（SONET 向け）

:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:Z5HP:TYPE2? <tapoint>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:Z5LP:TYPE2? <tapoint>

パラメータ　<tapoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　Dummy Preset タンデムコネクションの編集 N1-HP,N1-LP の Type2 データを問い合わせます。
使用例　Dummy Preset タンデムコネクションの Type2 の OEI データの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:N1HP:TYPE2? OEI
< “1”

:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:N2 <tapoint>, <string>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:Z6 <tapoint>, <string>

パラメータ　<tapoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
B3, AIS, TCREI, OEI, BIT7_8
<string> = <STRING PROGRAM DATA>
“0” ～ “1”　（BIN 形式）　<tapoint>が，B3, AIS, TCREI, OEI の場合
“00” ～ “11”　（BIN 形式）　<tapoint>が，BIT7_8 の場合
機 能　Dummy Preset タンデムコネクションの編集 N2 のデータを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:N2:MODE <mode>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:CONDition:Z6:MODE <mode>
の設定が OFF の場合。
使用例　Dummy Preset タンデムコネクションの N2 OEI データを“1”に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:N2 OEI, “1”

:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:N2? <tapoint>
:SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:Z6? <tapoint>

パラメータ　<tapoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　Dummy Preset タンデムコネクション N2 データを問い合わせます。
使用例　Dummy Preset タンデムコネクションの N2 OEI データの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:DPReset:TANDem:N2? OEI
< “1”

:SOURce:TELecom:DPReset:PTCondition <pttype>, <trace>, <crc>

パラメータ　<pttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

J1H	J1-HP path trace
J1L	J1-LP path trace
J2	J2 path trace

<trace> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	パストレース OFF
ON　or 1	パストレース ON

<crc> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	CRC-7 OFF
ON　or 1	CRC-7 ON

機 能　パストレースの条件を設定します。

使用例　J1-HP のパストレース条件をパストレース ON, CRC-7 OFF と設定する場合。

> :SOURce:TELecom:DPReset: PTCondition J1H, ON, OFF

SOURce:TELecom:DPReset:PTCondition? <pttype>

パラメータ　<pttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<trace> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0	パストレース OFF
1	パストレース ON

<crc> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0	CRC-7 OFF
1	CRC-7 ON

機 能　パストレース条件の設定を問い合わせます。

使用例　J1-HP のパストレース条件の問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:DPReset:PTCondition? J1H

< 1, 0

:SOURce:TELecom:DPReset:PTData <pttype>, <string>

パラメータ　<pttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

J1H	J1-HP path trace
J1L	J1-LP path trace
J2	J2 path trace

<string> = <STRING PROGRAM DATA>

“ABCDEFG01234abc…”

文字列長は :SOURce:TELecom:DPReset:PTCondition で CRC-7 ON にした場合 0～16 文字，CRC-7 OFF にした場合は 0～64 文字とし，“”は可とする。“”が設定された場合は，すべてスペースと見なす。CRC-7 ON 時 16 文字，CRC-7 OFF 時 64 文字に満たない場合は，スペースでうめる。

機 能　パストレースデータを設定します。

データは，ASCII 文字列で表します。

使用例　J1-HP のパストレースデータを“ABc … XYZ”と設定する場合。

> :SOURce:TELecom:DPReset:PTData J1H, “ABc … XYZ”

:SOURce:TELecom:DPReset:PTData? <pttype>

パラメータ　<pttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　　パストレース条件の設定を問い合わせます。
データは，ASCII 文字列で表します。
0x20-0x7e 以外の文字を出力する場合は，'?'に置き換えます。
CRC ON の場合は，1 文字目に'*'を付け，合計 16 文字分を出力します。
CRC OFF の場合は，64 文字分を出力します。

使用例　　J1-HP のパストレースデータの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:DPReset:PTData? J1H
< “ABc … XYZ”

:SOURce:TELecom:DPReset:PTData2 <pttype>,<string>

パラメータ　　<pttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
J1H　J1-HP path trace
J1L　J1-LP path trace
J2　J2 path trace
<string> = <STRING PROGRAM DATA>
（CRC が ON の場合）：“<str1>,<str2>,…,<str16>”
（HEX 形式 2 桁: 00～FF）
（CRC が OFF の場合）：“<str1>,<str2>,…,<str64>”
（HEX 形式 2 桁: 00～FF）
例：　"41,42,43,44,45,46,47,48,49,4A"
入力文字数は，HEX 形式 2 桁を 1 バイトとして，CRC ON のとき最大 16 バイト分，CRC OFF のとき最大 64 バイト分です。入力文字は，アルファベットの大文字，小文字ともに有効となります。CRC ON の場合は先頭の 1 バイトが CRC コードに置き換えられ，画面上では’*’と表示されます。

機 能　　パストレースデータを設定します。送信データは ASCII コードを HEX 形式 2 桁に変換した形となります。

使用例　　J2 のパストレースデータを「ABCDEFGHIJ」と設定する場合。
>:SOURce:TELecom:DPReset:PTData2 J2,"41,42,43,44,45,46,47,48,49,4A"

:SOURce:TELecom:DPReset:PTData2? <pttype>

パラメータ　　<pttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
J1H　J1-HP path trace
J1L　J1-LP path trace
J2　J2 path trace

レスポンス　　<string> = < STRING RESPONSE DATA >
（CRC が ON の場合）：“<str1>,<str2>,…,<str16>”
（HEX 形式 2 桁: 00～FF）
（CRC が OFF の場合）：“<str1>,<str2>,…,<str64>”
（HEX 形式 2 桁: 00～FF）

機 能　　パストレースデータの設定を問い合わせます。データは ASCII コードを HEX 形式 2 桁に変換した形で出力されます。CRC ON の場合は，先頭 1 バイト分が’**’と出力され，残り 15 バイト分が HEX 形式 2 桁で出力されます。CRC OFF の場合は HEX 形式 2 桁で 64 バイト分出力されます。

使用例　MP1570A の J2 パストレースデータが「ABCDEFGHIJ」と設定されている状態で問い合わせる場合。

（CRC = OFF の場合）

>:SOURce:TELecom:DPReset:PTData2? J2

<”41,42,43,44,45,46,47,48,49,4A,20,20,20,20,20,20,…,20"

.....画面上のスペース部分：54 バイト分

（CRC = ON の場合）

>:SOURce:TELecom:DPReset:PTData2? J2

<”**,42,43,44,45,46,47,48,49,4A,20,20,20,20,20,20"

.....画面上のスペース部分

:SOURce:TELecom:DPReset:MPAYload:PAYLoad1 <data>

パラメータ　<data> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

PRBS11
PRBS15
ALL0
ALL1

機 能　ペイロードパターンを設定します。

使用例　Mixed Payload2 のペイロードパターンを ALL0 に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:DPReset:MPAYload:PAYLoad1 ALL0

:SOURce:TELecom:DPReset:MPAYload:PAYLoad1?

レスポンス　<data> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　ペイロードパターンを問い合わせます。

使用例　Mixed Payload2 のペイロードパターンの問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:DPReset:MPAYload:PAYLoad1?

< ALL0

:SOURce:TELecom:DPReset:MPAYload:PAYLoad2 <data>

パラメータ　<data> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

PRBS11
PRBS15
ALL0
ALL1

機 能　ペイロードパターンを設定します。

使用例　Mixed Payload2 のペイロードパターンを ALL0 に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:DPReset:MPAYload:PAYLoad2 ALL0

:SOURce:TELecom:DPReset:MPAYload:PAYLoad2?

レスポンス　<data> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　ペイロードパターンを問い合わせます。

使用例　Mixed Payload2 のペイロードパターンの問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:DPReset:MPAYload:PAYLoad2?

< ALL0

:SOURce:TELecom:DPReset:DUMMy <data>

パラメータ　<data> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
PRBS11
PRBS15
ALL0
ALL1

機 能　ペイロードパターンを設定します。

使用例　Mixed Payload2 のペイロードパターンを ALL0 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:DPReset:MPAYLoad:DUMMy ALL0

:SOURce:TELecom:DPReset:DUMMy?

レスポンス　<data> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　ペイロードパターンを問い合わせます。

使用例　Mixed Payload2 のペイロードパターンの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:DPReset:MPAYLoad:DUMMy?
< ALL0

:SOURce:TELecom:APRogram:DEFault

パラメータ　なし

機 能　APS program データを初期化します。

使用例　APS program データの初期化をする場合。
> :SOURce:TELecom: APRogram:DEFault

:SOURce:TELecom:APRogram:CAPTured

パラメータ　なし

機 能　Analyze 画面の Capture データをロードします。

使用例　Analyze 画面の Capture データのロードをする場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:CAPTured

:SOURce:TELecom:APRogram:COPY <destno>, <source1>, <source2>

パラメータ　<destno> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　コピー元 No
<source1> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　コピー先開始 No
<source2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　コピー先終了 No

機 能　APS program data 編集データ（No に関連したデータ）を局所的にコピーします。

使用例　画面上 No60 行の APS program データを No5 から No10 へコピーする場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:COPY 60, 5, 10

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:REQuest <no>, <request>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～64	No.	

<request> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(G.783)

NREQ	No request	(0000)
DNR	Do not revet	(0001)
RREQ	Reverse request	(0010)
UUS3	Unused	(0011)
EXER	Exercise	(0100)
UUS5	Unused	(0101)
WTR	Wait to restore	(0110)
UUS7	Unused	(0111)
MSW	Manual switch	(1000)
UUS9	Unused	(1001)
SDLP	Signal degrade low proiority	(1010)
SDHP	Signal degrade high proiority	(1011)
SFLP	Signal fall low proiority	(1100)
SFHP	Signal fall high proiority	(1101)
FSW	Forced switch	(1110)
LOPR	Locked of protection	(1111)

（G.841）

NR	NR	(0000)
RRR	RR-R	(0001)
RRS	RR-S	(0010)
EXERR	EXER-R	(0011)
EXERS	EXER-S	(0100)
WTR	WTR	(0101)
MSR	MS-R	(0110)
MSS	MS-S	(0111)
SDR	SD-R	(1000)
SDS	SD-S	(1001)
SDP	SD-P	(1010)
SFR	SF-R	(1011)
SFS	SF-S	(1100)
FSR	FS-R	(1101)
FSS	FS-S	(1110)
LPS	LP-S	(1111)
SFP	SF-P	(1111)

機 能　K1（1-4bit）を設定します。（ニーモニック形式）

使用例　No.2 K1（1-4bit）を“1011”に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:REQuest 2, SF-R

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:REQuest? <no>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

レスポンス　<request> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

※勧告 G.783, G.841 によりレスポンスのニーモニックが異なる。

(G.783)

1 1 1 1　LOPR

(G.841)

1 1 1 1　LPS or SFP

機 能　K1（1-4bit）を問い合わせます。（ニーモニック形式）

使用例　No.2 K1（1-4bit）のニーモニック形式の問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:REQuest? 2

< SF-R

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:CHANnel <no>, <mspch>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～64　No.

<mspch> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(G.783)

NCH	Null channel	(0000)
WC1	Working channel1	(0001)
WC2	Working channel2	(0010)
WC3	Working channel3	(0011)
WC4	Working channel4	(0100)
WC5	Working channel5	(0101)
WC6	Working channel6	(0110)
WC7	Working channel7	(0111)
WC8	Working channel8	(1000)
WC9	Working channel9	(1001)
WC10	Working channel10	(1010)
WC11	Working channel11	(1011)
WC12	Working channel12	(1100)
WC13	Working channel13	(1101)
WC14	Working channel14	(1110)
ETCH	Extra trafic channel	(1111)

(G.841)

0～15

機 能　K1（5-8bit）を設定します。（ニーモニック形式）

使用例　No.5 K1（5-8bit）を “1110”に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:CHANnel 5, WC14

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:CHANnel? <no>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

レスポンス　<mspch> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

※勧告 G.783, G.841 によりレスポンスのニーモニックが異なる。

機 能　K1（5-8bit）を問い合わせます。（ニーモニック形式）

使用例　No.5 K1（5-8bit）のニーモニック形式の問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:CHANnel? 5

< WC14

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:BRIDge <no>, <bridge>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～64	No.	

<bridge> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（G.783）

NCH	Null channel	(0000)
WC1	Working channel1	(0001)
WC2	Working channel2	(0010)
WC3	Working channel3	(0011)
WC4	Working channel4	(0100)
WC5	Working channel5	(0101)
WC6	Working channel6	(0110)
WC7	Working channel7	(0111)
WC8	Working channel8	(1000)
WC9	Working channel9	(1001)
WC10	Working channel10	(1010)
WC11	Working channel11	(1011)
WC12	Working channel12	(1100)
WC13	Working channel13	(1101)
WC14	Working channel14	(1110)
ETCH	Extra trafic channel	(1111)

（G.841）

0～15

機 能　K2（1-4bit）を設定します。（ニーモニック形式）

使用例　No.18 K2（1-4bit）を“0010”に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:BRIDge 18, WC2

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:BRIDge? <no>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

レスポンス　<bridge> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

※勧告 G.783, G.841 によりレスポンスのニーモニックが異なります。

機 能　K2（1-4bit）を問い合わせます。（ニーモニック形式）

使用例　No.18 K2（1-4bit）のニーモニック形式の問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:BRIDge? 18

< WC2

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:ARCHitect <no>, <arch>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～64	No.	

<arch> = <CHARCTER PROGRAM DATA>

(G.783)

OPOA	1+1 architecture（0）
OCNA	1:n architecture（1）

(G.841)

SHORT	0
LONG	1

機 能　K2（5bit）を設定します。（ニーモニック形式）

使用例　No.63 K2（5bit）を"1"に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:ARCHitect 63, LONG

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:ARCHitect? <no>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
レスポンス　<arch> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
※勧告 G.783, G.841 によりレスポンスのニーモニックが異なります。
機 能　K2（5bit）を問い合わせます。（ニーモニック形式）
使用例　No.63 K2（5bit）のニーモニック形式の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:ARCHitect? 63
< LONG

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:REServed <no>, <res>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～64	No.

<res> = <CHARCTER PROGRAM DATA>

Idle	000
Bridged	001
Br&Sw	010
Reserved011	011
Reserved100	100
Reserved101	101
MS-RDI	110
MS-AIS	111

機 能　K2（6-8bit）を設定します。（ニーモニック形式）
使用例　No.8 K2（6-8bit）を MS-AIS に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:REServed 8, MS-AIS

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:REServed? <no>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
レスポンス　<arch> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　K2（6-8bit）を問い合わせます。（ニーモニック形式）
使用例　No.8 K2（6-8bit）のニーモニック形式の問い合わせする場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPMessages:REServed? 8
< MS-AIS

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:REQuest <no>, <request>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～64	No.

<request> = <STRING PROGRAM DATA>
“0000”～”1111”
機 能　K1（1-4bit）を設定します。（ビット形式）
使用例　No.2 K1（1-4bit）を"1011"に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:REQuest 2, "1011"

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:REQuest? <no>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
レスポンス　<request> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　K1（1-4bit）の設定を問い合わせます。（ビット形式）
使用例　No.2 K1（1-4bit）のビット形式の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:REQuest? 2
< "1011"

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:CHANnel <no>, <mspch>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　No.
<mspch> = <STRING PROGRAM DATA>
“0000” ～ “1111”
機 能　K1（5-8bit）を設定します。（ビット形式）
使用例　No.5 K1（5-8bit）を“1110”に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:CHANnel 5, “1110”

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:CHANnel? <no>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
レスポンス　<mspch> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　K1（5-8bit）を問い合わせます。（ビット形式）
使用例　No.5 K1（5-8bit）のビット形式の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:CHANnel? 5
< “1110”

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:BRIDge <no>, <bridge>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　No.
<bridge> = <STRING PROGRAM DATA>
“0000” ～ “1111”
機 能　K2（1-4bit）を設定します。（ビット形式）
使用例　No.18 K2（1-4bit）を“0010”に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:BRIDge 18, “0010”

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:BRIDge? <no>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
レスポンス　<bridge> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　K2（1-4bit）を問い合わせます。（ビット形式）
使用例　No.18 K2（1-4bit）のビット形式の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:BRIDge? 18
< “0010”

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:ARCHitect <no>, <arch>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　No.
<arch> = <STRING PROGRAM DATA>
“0”～”1”
機 能　K2（5bit）を設定します。（ビット形式）

使用例　No.63 K2（5bit）を"1"に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:ARCHitect 63, "1"

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:ARCHitect? <no>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
レスポンス　<arch> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　K2（5bit）の設定を問い合わせます。（ビット形式）
使用例　No.63 K2（5bit）のビット形式の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:ARCHitect? 63
< "1"

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:REServed <no>, <res>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　No.
<res> = <STRING PROGRAM DATA>
“000” ～ “111”
機 能　K2（6-8bit）を設定します。（ビット形式）
使用例　No.32 k2（6-8bit）を"101"に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:REServed 32, "101"

:SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:REServed? <no>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
レスポンス　<res> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　K2（6-8bit）の設定を問い合わせます。（ビット形式）
使用例　No.32 K2（6-8bit）のビット形式の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:MSPBits:REServed? 32
< "101"

:SOURce:TELecom:APRogram:FRAMe <no>, <frame>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　No.
<frame> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～8000　Frame
機 能　Frame を設定します。
使用例　No.20 Frame を 5000 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:FRAMe 20, 5000

:SOURce:TELecom:APRogram:FRAMe? <no>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
レスポンス　<frame> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　Frame 設定を問い合わせます。
使用例　No.20 Frame の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:FRAMe? 20
< 5000

:SOURce:TELecom:APRogram:PROGram <no>, <K1>, <K2>, <frame>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　1～64　No.
<K1> = <STRING PROGRAM DATA>
　“00” ～ “FF”
<K2> = <STRING PROGRAM DATA>
　“00” ～ “FF”
<frame> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　1～8000　Frame

機 能　K1, K2, Frame を設定します。

使用例　No.20 Frame を 5000 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:PROGram 20, “01”, “02”, 5000

:SOURce:TELecom:APRogram:PROGram? <no>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

レスポンス　<K1> = <STRING PROGRAM DATA>
<K2> = <STRING PROGRAM DATA>
<frame> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Frame 設定を問い合わせます。

使用例　No.20 Frame の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:APRogram:PROGram? 20
< “01”, “02”, 5000

:SOURce:TELecom:OHPReset:SOHPattern <brate>,<numeric>,<sohpoint>,<string>
:SOURce:TELecom:OHPReset:TOHPattern <brate>,<numeric>,<tohpoint>,<string>

パラメータ　<brate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

M9953	9953Mbit/s
M2488	2488Mbit/s
M622	622Mbit/s
M156	156Mbit/s
M52	52Mbit/s

<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　1～64　ステップ値：1
　選択したビットレートにより選択できる数値範囲が変化します。
<tohpoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）

A11	A12	A13	A21	A22	A23	J01 Z0	X18	X19
X21	X22	X23	E1 X24	X25	X26	F1 X27	X28	X29
D1 X31	X32	X33	D2 X34	X35	X36	D3 X37	X38	X39
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	X54	X55	X56	X57	X58	X59
D4 X61	X62	X63	D5 X64	X65	X66	D6 X67	X68	X69
D7 X71	X72	X73	D8 X74	X75	X76	D9 X77	X78	X79
D10 X81	X82	X83	D11 X84	X85	X86	D12 X87	X88	X89
S1 Z11	Z12	Z13	Z21	Z22	M1 Z23	E2 X97	X98	X99

（SONET）

A11	A12	A13	A21	A22	A23	J0 Z01	Z02	Z03
X21	X22	X23	E1 X24	X25	X26	F1 X27	X28	X29
D1 X31	X32	X33	D2 X34	X35	X36	D3 X37	X38	X39
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	X54	X55	X56	X57	X58	X59
D4 X61	X62	X63	D5 X64	X65	X66	D6 X67	X68	X69
D7 X71	X72	X73	D8 X74	X75	X76	D9 X77	X78	X79
D10 X81	X82	X83	D11 X84	X85	X86	D12 X87	X88	X89
S1 Z11	Z12	Z13	Z21	Z22	M1 Z23	E2 X97	X98	X99

<string> = <STRING PROGRAM DATA>
"00000000"～"11111111"　（バイナリ形式）

機 能　送信信号の SOH（TOH）プリセットデータを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・2.5G/10G ユニット未装着時，<M9953>設定の場合。
・2.5G ユニット未装着時，<M2488>設定の場合。
・622M タイプインタフェースユニット未装着時，<M622>設定の場合。
・156M タイプインタフェースユニット，2/8/34/139/156M（CMI）ユニットともに未装着時，<M156>設定の場合。
・1.5/45/52M ユニット未装着時，<M52>設定の場合。
・<brate>が M622，<numeric>が 3 以外の時に，<M1>設定の場合。
・<brate>が M622，<numeric>が 3 の時に，<Z23>設定の場合。

使用例　622M,SOH CH#4,SOH のプリセットデータを以下のように設定します。
All= 10101011
> :SOURce:TELecom:OHPReset:SOHPattern M622,4,All,"10101011"

:SOURce:TELecom:OHPReset:SOHPattern? <brate>,<numeric>,<tohpoint>
:SOURce:TELecom:OHPReset:TOHPattern? <brate>,<numeric>,<tohpoint>

パラメータ　<brate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
<tohpoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の SOH プリセットデータの設定を問い合わせます。

使用例　M622,SOH CH#4,SOH All のプリセットデータの問い合わせをします。
< :SOURce:TELecom:OHPReset:SOHPattern? M622,4,All
> "10101011"

:SOURce:TELecom:OHPReset:SSMessage <brate>,<string>

パラメータ　<brate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

M9953	9953Mbit/s
M2488	2488Mbit/s
M622	622Mbit/s
M156	156Mbit/s
M52	52Mbit/s

<string> = <STRING PROGRAM DATA>
S1（b5-8）は，ニーモニック設定可

（SDH）

"Quality unknown"	(0000)
"G.811"	(0010)
"G.812 transit"	(0100)
"G.812 local"	(1000)
"SETS"	(1011)
"Don not use for Sync."	(1111)

（SONET）

"Synchronized Traceability Unkown"	(0000)
"STU"	(0000)
"Stratum 1 Traceable"	(0001)
"PRS"	(0001)
"Stratum 2 Traceable"	(0111)
"ST2"	(0111)
"Stratum 3 Traceable"	(1010)
"ST3"	(1010)
"SONET Minimum Clock Traceable	(1100)
"SMC"	(1100)
"Reserved"	(1110)
"RES"	(1110)
"Don't USE for Synchronization"	(1111)
"DUS"	(1111)

上記の文字列は，省略形式無し。

機 能　　送信信号の SOH（TOH）プリセットデータの S1 データを設定します。（ニーモニック形式）

制 約　　次の場合無効となります。
・2.5G/10G ユニット未装着時，<M9953>設定の場合。
・2.5G ユニット未装着時，<M2488>設定の場合。
・622M タイプインタフェースユニット未装着時，<M622>設定の場合。
・156M タイプインタフェースユニット未装着かつ，2/8/34/139/156M（CMI）ユニット未装着時，　<M156>設定の場合。
・1.5/45/52M ユニット未装着時，<M52>設定の場合。

使用例　　622M の S1 プリセットデータをニーモニックで"Quality unknown"に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:OHPReset:SSMessage M622,"Quality unknown"

:SOURce:TELecom:OHPReset:SSMessage? <brate>

パラメータ　　<brate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　　送信信号の SOH プリセットデータの S1 ニーモニックデータを問い合わせます。

使用例　　622M の S1 プリセットデータの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:OHPReset:SSMessage? M622
< "Quality unknown"

:SOURce:TELecom:OHPReset:POHPattern <pohtype>,<pohpoint>,<string>

パラメータ　　<pohtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
（SDH）
VC4　　POH VC4 パターン
VC3　　POH VC3 パターン
VC1　　POH VC1 パターン
（SONET）
STS3　　POH STS3 パターン
STS1　　POH STS1 パターン
VT　　POH VT パターン

<pohpoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
（SDH）　　J1,C2,G1,F2,H4,F3,K3,N1,V5,J2,N2,K4
（SONET）　　J1,C2,G1,F2,H4,Z3,Z4,Z5,V5,J2,Z6,Z7

<string> = <STRING PROGRAM DATA>
"00"～"FF","**"

機 能　　送信信号の POH プリセットデータを設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・<pohpoint> = <V5>以外の<"**">設定の場合。

使用例　　POH VC4 のプリセットデータを以下のように設定する場合。
G1= AB（Hex）
> :SOURce:TELecom:OHPReset:POHPattern VC3,G1,"AB"

:SOURce:TELecom:OHPReset:POHPattern? <pohtype>,<pohpoint>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<point> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の POH プリセットデータの設定を問い合わせます。
<string>は十六進数表示されます。また Illegal な組み合わせ時は"__"と表示されます。

使用例　POH VC3 の G1 のプリセットデータの問い合わせをします。
< :SOURce:TELecom:OHPReset:POHPattern? VC3,G1
> "AB"

:SOURce:TELecom:OHPReset:SLABel <pohtype>,<string>
:SOURce:TELecom:OHPReset:PLABel <pohtype>,<string>

パラメータ　<pohtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）

VC4	POH VC4 パターン
VC3	POH VC3 パターン

（SONET）

STS3	POH STS3 パターン
STS1	POH STS1 パターン

<string> = <STRING PROGRAM DATA>
C2（b1-8）は，ニーモニック設定可

（SDH）

"Unequipped"	"UNEQ"	(0000 0000)
"Equipped-non-specific"	"non-specific"	(0000 0001)
"TUG structure"	"TUG"	(0000 0010)
"Locked TU"	"Locked TU"	(0000 0011)
"Async. 34M or 45M(C-3)"	"34M" または "45M"	(0000 0100)
"Async. 139M(C-4)"	"139M"	(0001 0010)
"ATM mapping"	"ATM"	(0001 0011)
"MAN(DQDB)mapping"	"MAN" または "DQDB"	(0001 0100)
"FDDI mapping"	"FDDI"	(0001 0101)
"O.181 mapping"	"O.181"	(1111 1110)
"VC-AIS"	"VC-AIS"	(1111 1111)

（SONET）

"Unequipped"	"UNEQ"	(0000 0000)
"Equipped-non-specific"	"non-specific"	(0000 0001)
"VT structure"	"VT"	(0000 0010)
"Locked VT"	"Locked VT"	(0000 0011)
"Async. Mapping DS3"	"DS3"	(0000 0100)
"Async. Mapping DS4NA"	"DS4NA"	(0001 0010)
"Mapping for ATM"	"ATM"	(0001 0011)
"Mapping for DQDB"	"MAN" または "DQDB"	(0001 0100)
"Async. Mapping FDDI"	"FDDI"	(0001 0101)
"Unused"	"UNUSED"	(1111 1110)
"AIS-P"	"AIS-P"	(1111 1111)

※右は省略形式。

機 能　　送信信号の POH プリセットデータの C2 データを設定します。
（ニーモニック形式）

使用例　　POH VC3 C2 のプリセットデータを以下のように設定する場合。
> :SOURce:TELecom:OHPReset:SLABel VC3,"Unequipped"

:SOURce:TELecom:OHPReset:SLABel? <pohtype>
:SOURce:TELecom:OHPReset:PLABel? <pohtype>

パラメータ　　<pohtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　　送信信号の POH プリセットデータの C2 のニーモニックデータを問い合わせます。

使用例　　POH VC3 の C2 のニーモニックデータの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:OHPReset:SLABel? VC3
< "Unequipped"

:SOURce:TELecom:OHPReset:VLABel <string>

パラメータ　　<string> = <STRING PROGRAM DATA>
V5（b6-8）は，ニーモニック設定可

（SDH）

"Unequipped"	"UNEQ"	(000)
"Unequipped-non-specific"	"non-specific"	(001)
"Asynchronous"	"Aysnc"	(010)
"Bitsynchronous"	"Bitsync"	(011)
"Bytesynchronous"	"Bytesync"	(100)
"Reserved"	"Reserved"	(101)
"O.181 mapping"	"O.181"	(110)
"VC-AIS"	"VC-AIS"	(111)

（SONET）

"Unequipped"	"UNEQ"	(000)
"Unequipped-non-specific"	"Nonspecific"	(001)
"Asynchronous"	"Aysnc"	(010)
"Bitsynchronous"	"Bitsync"	(011)
"Bytesynchronous"	"Bytesync"	(100)
"Reserved"	"Reserved101"	(101)
"Reserved"	"Reserved110"	(110)
"VC-AIS"	"VC-AIS"	(111)

機 能　　送信信号の POH プリセットデータの V5 データを設定します。

使用例　　POH V5 のプリセットデータを"Unequipped"に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:OHPReset:VLABel "Unequipped"

:SOURce:TELecom:OHPReset:VLABel?

レスポンス　　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　　POH V5 のニーモニックプリントデータを問い合わせます。

使用例　　> :SOURce:TELecom:OHPReset:VLABel?
< "Unequipped"

:SOURce:TELecom:OHPReset:GLABel <pohtype>,<string>

パラメータ　<pohtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）

VC4	POH VC4 パターン
VC3	POH VC3 パターン

（SONET）

STS3	POH STS3 パターン
STS1	POH STS1 パターン

<string> = <STRING PROGRAM DATA>

G1（b5-7）は，ニーモニック設定可

"No remote defect000"	(000)
"No remote defect001"	(001)
"Remote payload defect"	(010)
"No remote defect011"	(011)
"Remote defect100"	(100)
"Remote server defect"	(101)
"Remote connectivity defect"	(110)
"Remote defect111"	(111)

機 能　送信信号の POH プリセットデータの G1 データ（bit 5～7）を設定します。（ニーモニック形式）

使用例　POH VC3 G1 のプリセットデータを 101 に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:OHPReset:GLABel VC3,"Remote server defect"

:SOURce:TELecom:OHPReset:GLABel? <pohtype>

パラメータ　<pohtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の POH プリセットデータの G1（bit 5～7）のニーモニックデータを問い合わせます。

使用例　POH VC3 の G1 のニーモニックプリセットデータの問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:OHPReset:GLABel? VC3

< "Remote server defect"

:SOURce:TELecom:OHPReset:KLABel <string>
:SOURce:TELecom:OHPReset:ZLABel <string>

パラメータ　<string> = <STRING PROGRAM DATA>

K4（b5-7）,Z7（b5-7）は，ニーモニック設定可

"No remote defect000"	(000)
"No remote defect001"	(001)
"Remote payload defect"	(010)
"No remote defect011"	(011)
"Remote defect100"	(100)
"Remote server defect"	(101)
"Remote connectivity defect"	(110)
"Remote defect111"	(111)

機 能　送信信号の POH プリセットデータの K4,Z7 データを設定します。（ニーモニック形式）

使用例　POH K4 のプリセットデータを 110 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:OHPReset:KLABel "Remote connentivity defect"

:SOURce:TELecom:OHPReset:KLABel?
:SOURce:TELecom:OHPReset:ZLABel?

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　送信信号の POH プリセットデータの K4,Z7 のニーモニックデータを問い合わせます。
使用例　POH K4 のニーモニックプリセットデータの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:OHPReset:KLABel?
< "Remote connentivity defect"

:SOURce:TELecom:OHPReset:DEFault

パラメータ　なし
機 能　送信信号の OH プリセットデータを初期化します。
使用例　> :SOURce:TELecom:OHPReset:DEFault

:SOURce:TELecom:OHPReset:PTCondition <pttype>,<trace>,<crc>

パラメータ　<pttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

J0	J0 path trace
J1H	J1-HP path trace
J1L	J1-LP path trace
J2	J2 path trace

<trace> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	パストレース OFF
ON or 1	パストレース ON

<crc> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	CRC-7 OFF
ON or 1	CRC-7 ON

機 能　パストレースの条件を設定します。
使用例　J0 のパストレース条件を以下のように設定します。
パストレース ON,CRC-7 OFF
> :SOURce:TELecom:OHPReset:PTCondition J0,ON,OFF

:SOURce:TELecom:OHPReset:PTCondition? <pttype>

パラメータ　<pttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　<trace> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 or 1
<crc> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 or 1
機 能　パストレース条件の設定を問い合わせます。
使用例　J0 のパストレース条件の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:OHPReset:PTCondition? J0
< 1,0

:SOURce:TELecom:OHPReset:PTData <pttype>,<string>

パラメータ　<pttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

J0	J0 path trace
J1H	J1-HP path trace
J1L	J1-LP path trace
J2	J2 path trace

<string> = <STRING PROGRAM DATA>

:SOURce:TELecom:OHPReset:PTCondition で CRC-7 ON にした<pttype>の場合は 16 文字とし，CRC-7 OFF にした<pttype>の場合は 64 文字とします。CRC-7 ON の場合は，先頭の 1 文字が CRC コードに置き換えられます。

機 能　パストレースデータを設定します。データは ASCII 文字列で表示されます。

使用例　J0 のパストレースデータを以下のように設定する場合。

"ABc ･･･ XYZ"

> :SOURce:TELecom:OHPReset:PTData J0,"ABc ･･･ XYZ"

:SOURce:TELecom:OHPReset:PTData? <pttype>

パラメータ　<pttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　パストレースデータの設定を問い合わせます。

CRC ON の場合は，1 文字目に'*'を付け，合計 16 文字分が出力されます。

0x20-0x7e 以外の文字を出力する場合は，'?'に置き換えて出力されます。

CRC OFF の場合は，64 文字分が出力されます。

使用例　J0 のパストレースデータの問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:OHPReset:PTData? J0

< "ABc ･･･ XYZ"

:SOURce:TELecom:OHPReset:PTData2 <pttype>,<string>

パラメータ　<pttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

J0	J0 path trace
J1H	J1-HP path trace
J1L	J1-LP path trace
J2	J2 path trace

<string> = <STRING PROGRAM DATA>

（CRC が ON の場合）：“<str1>,<str2>,…,<str16>”
（HEX 形式 2 桁: 00～FF）

（CRC が OFF の場合）：“<str1>,<str2>,…,<str64>”
（HEX 形式 2 桁: 00～FF）

例：　"41,42,43,44,45,46,47,48,49,4A"

入力文字数は，HEX 形式 2 桁を 1 バイトとして，CRC ON のとき最大 16 バイト分，CRC OFF のとき最大 64 バイト分です。入力文字は，アルファベットの大文字，小文字ともに有効となります。CRC ON の場合は先頭の 1 バイトが CRC コードに置き換えられ，画面上では’*’と表示されます。

機 能　パストレースデータを設定します。送信データは ASCII コードを HEX 形式 2 桁に変換した形となります。

使用例　J0 のパストレースデータを「ABCDEFGHIJ」と設定する場合。

>:SOURce:TELecom:OHPReset:PTData2 J0,"41,42,43,44,45,46,47,48,49,4A"

:SOURce:TELecom:OHPReset:PTData2? <pttype>

パラメータ　<pttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

J0	J0 path trace
J1H	J1-HP path trace
J1L	J1-LP path trace
J2	J2 path trace

レスポンス　<string> = < STRING RESPONSE DATA >

（CRC が ON の場合）：“<str1>,<str2>,…,<str16>”
（HEX 形式 2 桁: 00～FF）

（CRC が OFF の場合）：“<str1>,<str2>,…,<str64>”
（HEX 形式 2 桁: 00～FF）

機 能　パストレースデータの設定を問い合わせます。データは ASCII コードを HEX 形式 2 桁に変換した形で出力されます。CRC ON の場合は，先頭 1 バイト分が'**'と出力され，残り 15 バイト分が HEX 形式 2 桁で出力されます。CRC OFF の場合は HEX 形式 2 桁で 64 バイト分出力されます。

使用例　MP1570A の J0 パストレースデータが「ABCDEFGHIJ」と設定されている状態で問い合わせる場合。

（CRC = OFF の場合）
>:SOURce:TELecom:OHPReset:PTData2? J0
<”41,42,43,44,45,46,47,48,49,4A,20,20,20,20,20,20,…,20"
..... 画面上のスペース部分：54 バイト分

（CRC = ON の場合）
>:SOURce:TELecom:OHPReset:PTData2? J0
<”**,42,43,44,45,46,47,48,49,4A,20,20,20,20,20,20"
..... 画面上のスペース部分

:SOURce:TELecom:OHPReset:DEXTernal <dcctype>

パラメータ　<dcctype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

OFF	OFF
DRSect	D1-D3
DMSect	D4-D12

機 能　外部入力 DCC を設定します。

使用例　外部入力 DCC を行わないように設定する場合。
> :SOURce:TELecom:OHPReset:DEXTernal OFF

:SOURce:TELecom:OHPReset:DEXTernal?

レスポンス　<dcctype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　外部入力 DCC の設定を問い合わせます。

使用例　> :SOURce:TELecom:OHPReset:DEXTernal?
< OFF

:SOURce:TELecom:OHCHange:SSMessage <type>, <select>, <no>, <data>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)
STM1
STM0
(SONET)
STS3
STS1

<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

PATTERNA	PatternA	（編集するパターンの種類）
PATTERNB	PatternB	

<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～64　ステップ値 1

<data> = <STRING PROGRAM DATA>

S1（b5-8）

(SDH)

“Quality unknown“	0000
“Reserved0001“	0001
“G.811“	0010
“Reserved0011“	0011
“G.812 transit“	0100
“Reserved0101“	0101
“Reserved0110“	0110
“Reserved0111“	0111
“G.812 local“	1000
“Reserved1001“	1001
“Reserved1010“	1010
“Synchronous Equipment Timing Source“	1011
“Reserved1100“	1100
“Reserved1101“	1101
“Reserved1110“	1110
“Do not use for synchronization“	1111

(SONET)

“Synchronized Traceability Unknown“	0000
“Stratum 1 Traceable“	0001
“Unused0010“	0010
“Unused0011“	0011
“Unused0100“	0100
“Unused0101“	0101
“Unused0110“	0110
“Stratum 2 Traceable“	0111
“Unused1000“	1000
“Unused1001“	1001
“Stratum 3 Traceable“	1010
“Unused1011“	1011
“SONET Minimum Clock Traceable“	1100
“Unused1101“	1101
“Reserved1110“	1110
“Do not use for synchronization“	1111

機 能　送信信号の SOH（TOH）プリセットデータの S1 データをニーモニック設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・2.5G/10G ユニット未装着時，<M9953>設定の場合。
・2.5G ユニット未装着時，<M2488>設定の場合。
・622M タイプインタフェースユニット未装着時，<M622>設定の場合。
・156M タイプインタフェースユニット未装着かつ，2/8/34/139/156M

（CMI）ユニット未装着時，<M156>設定の場合。
・1.5/45/52M ユニット未装着時，<M52>設定の場合。

使用例　STM0 フレーム PatternB, No.4 の S1 プリセットデータをニーモニックで“Reserved1101”に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:OHCHange:SSMessage STM0, PATTERNB, 4, “Reserved1101”

:SOURce:TELecom:OHCHange:SSMessage? <type>, <select>, <no>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

レスポンス　<data> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の SOH（TOH）プリセットデータの S1 ニーモニックデータを問い合わせます。

使用例　STM0 フレームの PatternB, No.4，S1 ニーモニックデータの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:OHCHange:SSMessage? STM0, PATTERNB, 4
< “Reserved1101”

:SOURce:TELecom:OHCHange:SLABel <type>, <select>, <no>, <pohtype>, <data>
:SOURce:TELecom:OHCHange:PLABel <type>, <select>, <no>, <pohtype>, <data>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
（SDH）
STM1
STM0
（SONET）
STS3
STS1

<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

PATTERNA	PatternA	（編集するパターンの種類）
PATTERNB	PatternB	

<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～64	ステップ値 1

<pohtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
（SDH）
VC4
VC3
（SONET）
STS3
STS1

<data> = <STRING PROGRAM DATA>

C2（b1-8）

“Unequipped“	0000 0000
“Equipped-non-specific“	0000 0001
“TUG structure“	0000 0010
“Locked TU“	0000 0011
“Async. 34M or 45M（C-3）“	0000 0100
“Async. 139M（C-4）“	0001 0010
“ATM mapping“	0001 0011
“MAN（DQDB）mapping“	0001 0100
“FDDI mapping“	0001 0101
“O.181 mapping“	1111 1110
“VC-AIS“	1111 1111

注）上記以外のニーモニックはすべて Unused とします。

機 能　送信信号の POH プリセットデータの C2 データをニーモニック設定します。

使用例　STM0 フレームの PatternB, No.4,VC3,C2 プリセットデータをニーモニックで “Locked TU”に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:OHCHange:PLABel STM0, PATTERNB, 4, VC3, “Locked TU”

:SOURce:TELecom:OHCHange:SLABel? <type>, <select>, <no>, <pohtype>
:SOURce:TELecom:OHCHange:PLABel? <type>, <select>, <no>, <pohtype>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
<pohtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<data> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の POH プリセットデータの C2 ニーモニックを問い合わせます。

使用例　STM0 フレームの PatternB, No.4, VC3, C2 ニーモニックデータの問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:OHCHange:PLABel? STM0, PATTERNB, 4, VC3
< “Locked TU”

:SOURce:TELecom:OHCHange:VLABel <type>, <select>, <no>, <data>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）
STM1
STM0

（SONET）
STS3
STS1

<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

PATTERNA	PatternA	（編集するパターンの種類）
PATTERNB	PatternB	

<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　ステップ値 1

<data> = <STRING PROGRAM DATA>

V5（b5-7）

SDH	SONET	
“Unequipped“	“Unequipped“	000
“Unequipped-non-specific“	“Unequipped-non-specific“	001
“Asynchronous“	“Asynchronous“	010
“Bit synchronous“	“Bit synchronous“	011
“Byte synchronous“	“Byte synchronous“	100
“Reserved101“	“Reserved101“	101
“O.181 mapping“	“Reserved110“	110
“VC-AIS“	“AIS-V“	111

機 能　送信信号の POH プリセットデータの V5 データのニーモニックを設定します。

使用例　STS1 フレームの PatternB, No.4,V5 プリセットデータをニーモニックで“AIS-V”に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:OHCHange:VLABel STS1, PATTERNB, 4, “AIS-V”

:SOURce:TELecom:OHCHange:VLABel? <type>, <select>, <no>

パラメータ
<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

レスポンス
<data> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の POH プリセットデータの V5 ニーモニックデータを問い合わせます。

使用例　STS1 フレームの PatternB, No.4, V5 ニーモニックデータの問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:OHCHange:VLABel? STS1, PATTERNB, 4
< “AIS-V”

:SOURce:TELecom:OHCHange:GLABel <type>, <select>, <no>, <pohtype>, <data>

パラメータ
<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
（SDH）
STM1
STM0
（SONET）
STS3
STS1
<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

PATTERNA	PatternA	（編集するパターンの種類）
PATTERNB	PatternB	

<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　ステップ値 1
<pohtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
（SDH）
VC4
VC3
（SONET）
STS3
STS1

<data> = <STRING PROGRAM DATA>
G1（b5-7）は，ニーモニック設定可

“No remote defect000”	（ 000 ）
“No remote defect001”	（ 001 ）
“Remote payload defect”	（ 010 ）
“No remote defect011”	（ 011 ）
“Remote defect100”	（ 100 ）
“Remote server defect”	（ 101 ）
“Remote connectivity defect”	（ 110 ）
“Remote defect111”	（ 111 ）

注）上記以外のニーモニックはすべてUnusedとします。

機 能　送信信号の POH プリセットデータの G1（Bit 5～7）データをニーモニックで設定します。

使用例　STM0 フレームの PatternB, No.4,VC3,G1 プリセットデータをニーモニックで 101 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:OHCHange:GLABel STM0, PATTERNB, 4, VC3, "Remote server defect"

:SOURce:TELecom:OHCHange:GLABel? <type>, <select>, <no>, <pohtype>

パラメータ
<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
<pohtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<data> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の POH プリセットデータの G1（Bit 5～7）ニーモニックデータを問い合わせます。

使用例　STM0 フレームの PatternB, No.4, VC3, G1 ニーモニックデータの問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:OHCHange:GLABel? STM0, PATTERNB, 4, VC3
< "Remote server defect"

:SOURce:TELecom:OHCHange:KLABel <type>, <select>, <no>, <data>
:SOURce:TELecom:OHCHange:ZLABel <type>, <select>, <no>, <data>

パラメータ
<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
（SDH）
STM1
STM0
（SONET）
STS3
STS1
<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

PATTERNA	PatternA	（編集するパターンの種類）
PATTERNB	PatternB	

<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　ステップ値 1
<data> = <STRING PROGRAM DATA>

K4（b5-7）は，ニーモニック設定可

“No remote defect000”	（ 000 ）
“No remote defect001”	（ 001 ）
“Remote payload defect”	（ 010 ）
“No remote defect011”	（ 011 ）
“Remote defect100”	（ 100 ）
“Remote server defect”	（ 101 ）
“Remote connectivity defect”	（ 110 ）
“Remote defect111”	（ 111 ）

機 能　送信信号の POH プリセットデータの K4 データ（Bit 5～7）をニーモニックで設定します。

使用例　STS1 フレームの PatternB, No.4,K4 プリセットデータ（Bit 5～7）をニーモニックで 010 に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:OHCHange:KLABel STS1, PATTERNB, 4, "Remote payload defect"

:SOURce:TELecom:OHCHange:KLABel? <type>, <select>, <no>
:SOURce:TELecom:OHCHange:ZLABel? <type>, <select>, <no>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

レスポンス　<data> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の POH プリセットデータの K4（Bit 5～7）ニーモニックデータを問い合わせます。

使用例　STS1 フレームの PatternB, No.4，K4 ニーモニックデータの問い合わせをする場合。

> :SOURce:TELecom:OHCHange:KLABel? STS1, PATTERNB, 4
< “Remote payload defect”

:SOURce:TELecom:OHCHange:RECall:DEFault <type>, <select>, <no>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
（SDH）
STM1
STM0
（SONET）
STS3
STS1
<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

PATTERNA	PatternA	（編集するパターンの種類）
PATTERNB	PatternB	

<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　ステップ値 1

機 能　送信信号の OH プリセットデータ（STM）を初期化します。

使用例　STS3 フレームの PatternA, No.5, OH プリセットデータの初期化をする場合。

> :SOURce:TELecom:OHCHange:RECall:DEFault STS3, PATTERNA, 5

:SOURce:TELecom:OHCHange:RECall:PRESet <brate>, <#>, <type>, <select>, <from>, <to>

パラメータ

<brate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
M9953, M2488, M622, M156, M52

<#> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～64	ステップ値: 1	（9953M 時）
1～16	ステップ値: 1	（2488M 時）
1～4	ステップ値: 1	（622M 時）
1	ステップ値: 1	（上記以外）

<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
（SDH）
STM1
STM0
（SONET）
STS3
STS1

<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

PATTERNA	PatternA	（編集するパターンの種類）
PATTERNB	PatternB	

<from> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　ステップ値: 1

<to> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
<from>～64　ステップ値: 1

機 能

SOH のプリセットデータ（Setup:OH preset で設定）の Bit rate と#で選択した値を From で設定した No.から to で設定した No.まで上書きします。

制 約

次の場合無効となります。

・STM0（STS1）にデータを書込む場合に 52M preset データ以外を書き込む場合。
・<#>は 52M,156M 時設定不可。
・<to>の設定が<From>を越えて設定したとき。
・<Type>が STM0 の設定は Bit rate が 52M 以外設定不可。
・<Type>が STM1 の場合は Bit rate は 52M 設定不可。

使用例

SOH プリセットデータの Bit rate 2448M, # = 16 を STS1 フレームの PatternA の 5～15 まで上書きする場合。

> :SOURce:TELecom:OHCHange:RECall:PRESet M2448, 16, STS1, PATTERNA, 5, 15

:SOURce:TELecom:OHCHange:SOHPattern <type>,<select>, <no>, <tohpoint>,<data>

パラメータ

<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
STM1
STM0

<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

PATTERNA	PatternA	（編集するパターンの種類）
PATTERNB	PatternB	

<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　ステップ値 1

<tohpoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（STM1 時）

A11	A12	A13	A21	A22	A23	J0	X18	X19
	X22	X23	E1	X25	X26	F1	X28	X29
D1	X32	X33	D2	X35	X36	D3	X38	X39
			K1	X55	X56	K2	X58	X59
D4	X62	X63	D5	X65	X66	D6	X68	X69
D7	X72	X73	D8	X75	X76	D9	X78	X79
D10	X82	X83	D11	X85	X86	D12	X88	X89
S1	Z11	Z12	Z21	Z22	M1	E2	X98	X99

（STM0）

A11	A21	J0
B1	E1	F1
D1	D2	D3
	K1	K2
D4	D5	D6
D7	D8	D9
D10	D11	D12
S1	Z21	E2

<data> = <STRING PROGRAM DATA>
“00000000” ～ “11111111”　　（バイナリ設定，HEX 表示）

機 能　送信信号の SOH プリセットデータを設定します。
（SDH, Bit rate 52M 以外のとき）
<data>は二進数で表します。

制 約　次の場合無効となります。
・<#>は 52M,156M 時設定不可。
・<to>の設定が<From>を越えて設定したとき。
・<Type>が STM0 の設定は Bit rate が 52M 以外設定不可。
・<Type>が STM1 の場合は Bit rate は 52M 設定不可。

使用例　STM1 フレームの PatternB, No.4 の A11 プリセットデータを “AB”に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:OHCHange:SOHPattern STM1,PATTERNB, 4, A11, “10101011”

:SOURce:TELecom:OHCHange:SOHPattern? <type>,<select>, <no>, <tohpoint>

パラメータ
<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
<tohpoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<data> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の SOH プリセットデータの設定値を問い合わせます。
（SDH, Bit rate 52M 以外）

使用例　STM1 フレームの PatternB, No.4 の A11 プリセットデータの設定を問い合わせる場合。
> :SOURce:TELecom:OHCHange:SOHPattern? STM1,PATTERNB, 4, A11
< “10101011”

:SOURce:TELecom:OHCHange:TOHPattern <type>, <select>, <no>, <tohpoint>, <data>

パラメータ

<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

STS3

STS1

<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

PATTERNA　PatternA　（編集するパターンの種類）

PATTERNB　PatternB

<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～64　ステップ値 1

<tohpoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（STS3 時）

A11	A12	A13	A21	A22	A23	J0	Z01	Z02
	X22	X23	E1	X25	X26	F1	X28	X29
D1	X32	X33	D2	X35	X36	D3	X38	X39
			K1	X55	X56	K2	X58	X59
D4	X62	X63	D5	X65	X66	D6	X68	X69
D7	X72	X73	D8	X75	X76	D9	X78	X79
D10	X82	X83	D11	X85	X86	D12	X88	X89
S1	Z11	Z12	Z21	Z22	M1	E2	X98	X99

（STS1 時）

A11	A21	J0
B1	E1	F1
D1	D2	D3
	K1	K2
D4	D5	D6
D7	D8	D9
D10	D11	D12
S1	Z21	E2

<data> = <STRING PROGRAM DATA>

“00000000” ～ “11111111”　（バイナリ設定，HEX 表示）

機 能

送信信号の TOH プリセットデータを設定します。

（SONET, Bit rate 52M 以外のとき）

<data>は二進数で表す。

制 約

次の場合無効となります。

・<#>は 52M,156M 時設定不可。

・<to>の設定が<From>を越えて設定したとき。

・<Type>が STS1 の設定は Bit rate が 52M 以外設定不可。

・<Type>が STS3 の場合は Bit rate は 52M 設定不可。

使用例

STS3 フレームの PatternB, No.4 の A11 プリセットデータを“AB”に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:OHCHange:TOHPattern STS3, PATTERNB, 4, A11, “10101011”

:SOURce:TELecom:OHCHange:TOHPattern? <type>, <select>, <no>, <tohpoint>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
<tohpoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<data> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　送信信号の SOH プリセットデータの設定値を問い合わせます。
（SONET, Bit rate 52M 以外）

使用例　STS3 フレームの PatternB, No.4 の A11 プリセットデータの設定を問い合わせる場合。
> :SOURce:TELecom:OHCHange:TOHPattern? STS3, PATTERNB, 4, A11
< “10101011”

:SOURce:TELecom:OHCHange:POHPattern <type>, <select>,<no>,<pohtype>,<pohpoint>,<data>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
（SDH）
STM1
STM0
（SONET）
STS3
STS1

<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

PATTERNA	PatternA （編集するパターンの種類）
PATTERNB	PatternB

<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　ステップ値 1

<pohtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）	
VC4	POH VC4 パターン
VC3	POH VC3 パターン
VC1	POH VC2/1 パターン
（SONET）	
STS3	POH STS3 パターン
STS1	POH STS1 パターン
VT	POH VT パターン

<pohpoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）	J1	C2	G1	F2	H4	F3	K3	N1	J2	N2	K4
（SONET）	J1	C2	G1	F2	H4	Z3	Z4	Z5	J2	Z6	Z7

<data> = <STRING PROGRAM DATA>
"00"～"FF","**"

機 能　STM フレームの POH データを設定します。<data>は十六進数で表します。

使用例　STM0 フレームの PatternB, No.4, VC4 の J1 プリセットデータを“AB”に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:OHCHange:POHPattern PATTERNB, 4, VC4, J1, “AB”

:SOURce:TELecom:OHCHange:POHPattern? <type>,<select>,<no>,<pohtype>, <pohpoint>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<select> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
<pohtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<pohpoint> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<data> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　STM フレームの POH データの設定値を問い合わせます。
<data>は十六進数で表します。

使用例　STM0 フレームの PatternB, No.4 VC4 の J1 プリセットデータの設定を問い合わせる場合。
> :SOURce:TELecom:OHCHange:POHPattern? STM0, PATTERNB, 4, VC4, J1
< “AB”

:SOURce:TELecom:IPPacket:RECall:DEFault

パラメータ　なし

機 能　編集中のパケットに初期化されたデータを上書きします。

制 約　次の場合無効となります。
・本体のオプション 13,14 が装着されていない場合。

使用例　> 編集してあるパケット No.1 のパケットを初期化する場合。
: SOURce:TELecom:IPPacket:RECall:DEFault 1

:SOURce:TELecom:IPPacket:RECall:COPY <no1>,<no2>

パラメータ　<no1> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 3　ステップ値 1
<no2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 3　ステップ値 1

機 能　すでに編集されたパケット No. の設定を現在編集中のパケットにコピーします。

制 約　次の場合無効となります。
本体のオプション 13,14 が装着されていない場合。
編集中のパケット No.を指定した場合。

使用例　パケット No.2 の情報を No.3 へコピーする場合。
> ：SOURce:TELecom:IPPacket:RECall:COPY 2,3

:SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:PROTocol <protocol>

パラメータ　<protocol> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
BIT8　8bit
BIT16　16bit

機 能　PPP パケットのプロトコルフィールドの値を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
本体のオプション 13,14 が装着されていない場合。

使用例　PPP パケットのプロトコルフィールドを 16bit に設定する場合。
> ：SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:PROTocol BIT16

:SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:PROTocol?

レスポンス　　<protocol> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
　　：SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:PROTocol と同じ。
機 能　　PPP パケットのプロトコルフィールドの値を問い合わせます。
使用例　　> ：SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:PROTocol?
　　< BIT16

:SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:FCS <fcs>

パラメータ　　<fcs> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
　　BIT16　　16bit
　　BIT32　　32bit
機 能　　PPP パケットの FCS フィールドの値を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
　　本体のオプション 13,14 が装着されていない場合。
使用例　　PPP パケットの FCS フィールドを 16bit に設定する場合。
　　> ：SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:FCS BIT16

:SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:FCS?

レスポンス　　<fcs> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
　　：SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:FCS と同じ。
機 能　　PPP パケットの FCS フィールドの値を問い合わせます。
使用例　　> ：SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:FCS?
　　< BIT16

:SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:DATA “[<flag1>],[<adr>],[<control>],[<protocol>],[<info>],[<flag2>]”

パラメータ　　<flag1> = < BINARY NUMERIC PROGRAM DATA >
　　00000000 ～ 11111111　（BIN 形式）
　　<adr> = < BINARY NUMERIC PROGRAM DATA >
　　00000000 ～ 11111111　（BIN 形式）
　　<control> = < BINARY NUMERIC PROGRAM DATA >
　　00000000 ～ 11111111　（BIN 形式）
　　<protocol> = < HEX NUMERIC PROGRAM DATA>
　　0000 ～ FFFF または 0000000 ～ FFFFFFFF　（HEX 形式）
　　<info> = <STRING PROGRAM DATA>
　　IPv4 または IPv6　　（ASCII 形式）
　　<flag2> = < BINARY NUMERIC PROGRAM DATA >
　　00000000 ～ 11111111　（BIN 形式）
　　ある値の後ろがすべて省略の場合，およびパラメータがすべて省略された場合（「Parameter not allowed」のとき）は，コンマも省略できます。
機 能　　PPP パケットデータを編集します。
　　このデータ（Information）に IP Packet を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
　　・本体のオプション 13,14 が装着されていない場合。
使用例　　PPP パケットデータを Control 00000011, Protocol 0021 と設定する場合。
　　> ：SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:DATA “,,00000011,0021,,”

:SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:DATA?

レスポンス　<pattern> = <STRING RESPONSE DATA>
：SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:DATA と同じ。

機 能　PPP パケットデータを問い合わせます。

使用例　> ：SOURce:TELecom:IPPacket:PPACket:DATA?
< “01111110,11111111,00000011,0021,IPv4,01111110”

:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V4:HEADer [<VER>], [<IHL>],[<TOS>],[<TL>],[<ID>],[<FLAG>],[<OFFSET>],[<TTL>],[<PLOTOCOL>]”

パラメータ　<STRING PROGRAM DATA>
<VER> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0～15　　ステップ値 1
<IHL> = < DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
5（固定）
<TOS> = <BINARY NUMERIC PROGRAM DATA >
00000000 ～ 11111111　（BIN 形式）
<TL> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
20 ～ 65535
<ID> =<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 65535
<FLAG> = < BINARY NUMERIC PROGRAM DATA >
000 ～ 111　（BIN 形式）
<OFFSET> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 8191
<TTL> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 255
<PLOTOCOL> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0～255
ある値の後ろからすべて省略する場合は，省略部分のコンマも省略することができます。

機 能　送信する PPP パケットに挿入する IP パケットのヘッダを編集します。
（IP　ver.4 時）

制 約　次の場合無効となります。
・本体のオプション 13,14 が装着されていない場合。

使用例　PPPパケットに挿入するIPパケットの編集内容をVER 1, TOS 00000111, OFFSET 100 と設定する場合。
> ：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V4:HEADer
“1,,00000111,,,,100,,”

:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V4:HEADer?

レスポンス　<VER> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
<IHL> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
<TOS> = < BINARY NUMERIC PROGRAM DATA >
<TL> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
<ID> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
<FLAG> = < BINARY NUMERIC PROGRAM DATA >
<OFFSET> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
<TTL> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
<PLOTOCOL> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　　送信する PPP パケットに挿入する IP パケットのヘッダの設定値を問い合わせます。（IP ver.4 時）

使用例　　ヘッダパターンの問い合わせをする場合。

> ：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V4:HEADer?

< “1,5,00000111,532,0,000,100,127,6”

:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V4:ADDRess <type>, “<adr1>, <adr2>, <adr3>, <adr4>”

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

SOURCE

DESTIN

<adr1> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0 ～ 255

<adr2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0 ～ 255

<adr3> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0 ～ 255

<adr4> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0 ～ 255

機 能　　送信する IP パケット（IP ver.4 時）の Source Address または Destination Address を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。

・本体のオプション 13,14 が装着されていない場合。

使用例　　送信する IP パケット（IP ver.4 時）の Source Address を 123.0.123.0 に設定する場合。

> ：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V4:ADDRess SOURCE, “123,0,123,0”

:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V4:ADDRess? <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V4:ADDRess と同じ。

レスポンス　　<adr1> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V4:ADDRess と同じ。

<adr2> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V4:ADDRess と同じ。

<adr3> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V4:ADDRess と同じ。

<adr4> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V4:ADDRess と同じ。

機 能　　送信する IP パケット（IP ver.4 時）のアドレスの設定値を問い合わせます。

使用例　　送信する IP パケット（IP ver.4 時）の Source Address の設定値を問い合わせる場合。

> ：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V4:ADDRess? SOURCE

< “123,0,123,0”

:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:HEADer “[<VER>],[<PRI>],[<FL>],[<PL>],[<NH>],[<HL>]”

パラメータ　<STRING PROGRAM DATA>
<VER> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0～15
<PRI> = < BINARY NUMERIC PROGRAM DATA >
0000 ～ 1111　（BIN 形式）
<FL> = < BINARY NUMERIC PROGRAM DATA>
000000000000000000000000 ～ 111111111111111111111111　（BIN 形式）
<PL> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 65535
<NH> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 255
<HL> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 255
ある値の後ろからすべて省略する場合は，省略部分のコンマも省略することができます。

機 能　送信する PPP パケットに挿入する IP パケットのヘッダを編集します。(IP ver.6 時)

制 約　次の場合無効となります。
・本体のオプション 13,14 が装着されていない場合。

使用例　PPP パケットに挿入する IP パケットの編集内容を Priority 0100, Hop Limit 120 と設定する場合。
> ：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:HEADer “,0100,,,,120”

:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:HEADer? <pattern> = <STRING RESPONSE DATA>

レスポンス　<VER> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
<PRI> = < BINARY NUMERIC PROGRAM DATA >
：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:HEADer と同じ。
<FL> = < BINARY NUMERIC PROGRAM DATA >
<PL> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
<NH> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
<HL> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　送信する PPP パケットに挿入する IP パケットのヘッダの設定値を問い合わせます。（IP ver.6 時）

使用例　ヘッダパターンの問い合わせをする場合。
> ：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:HEADer?
< “6,0100,000000000000000000000000,512,6,120”

:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:ADDRess <type>, “<adr1>, <adr2>, <adr3>, <adr4>,<adr5>, <adr6>, <adr7>, <adr8>”

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
SOURCE
DESTIN
<adr1> = <STRING PROGRAM DATA>
0000 ～ FFFF （HEX 形式）
<adr2> = <STRING PROGRAM DATA>
0000 ～ FFFF （HEX 形式）
<adr3> = <STRING PROGRAM DATA>
0000 ～ FFFF （HEX 形式）
<adr4> = <STRING PROGRAM DATA>
0000 ～ FFFF （HEX 形式）
<adr5> = <STRING PROGRAM DATA>
0000 ～ FFFF （HEX 形式）
<adr6> = <STRING PROGRAM DATA>
0000 ～ FFFF （HEX 形式）
<adr7> = <STRING PROGRAM DATA>
0000 ～ FFFF （HEX 形式）
<adr8> = <STRING PROGRAM DATA>
0000 ～ FFFF （HEX 形式）

機 能　送信する IP パケット（IP ver.6 時）の Source Address または Destination Address を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・本体のオプション 13,14 が装着されていない場合。

使用例　送信する IP パケット（IPv6 時）の Source Address を 0.0.0.0.0.0.0.1 に設定する場合。
> ：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:ADDRess SOURCE,“0000,0000,0000,0000,0000,0000,0000,0001”

:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:ADDRess? <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:ADDRess と同じ。

レスポンス　<adr1> = <STRING RESPONSE DATA>
：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:ADDRess と同じ。
<adr2> = <STRING RESPONSE DATA>
：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:ADDRess と同じ。
<adr3> = <STRING RESPONSE DATA>
：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:ADDRess と同じ。
<adr4> = <STRING RESPONSE DATA>
：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:ADDRess と同じ。
<adr5> = <STRING RESPONSE DATA>
：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:ADDRess と同じ。
<adr6> = <STRING RESPONSE DATA>
：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:ADDRess と同じ。
<adr7> = <STRING RESPONSE DATA>
：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:ADDRess と同じ。
<adr8> = <STRING RESPONSE DATA>
：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:ADDRess と同じ。

機 能　　送信する IP パケット（IP ver.6 時）のアドレスの設定値を問い合わせます。

使用例　　送信する IP パケット（IP ver.6 時）の Source address の設定値を問い合わせる場合。

> ：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:HEADer:V6:ADDRess? SOURCE

< “0000,0000,0000,0000,0000,0000,0000,0001”

:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:INFormation:USERprogram <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

USER	User program
ALL1	All 1
ALL0	All 0
SPRBS7	Single PRBS7

機 能　　PPP パケットの Information タイプを設定します。

制 約　　次の場合無効となります。

・本体のオプション 13,14 が装着されていない場合。

使用例　　PPP パケットの Information タイプを All 0 に設定する場合。

> ：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:INFormation:USERprogram ALL0

:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:INFormation:USERprogram?

レスポンス　　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:INFormation:USERprogram と同じ。

機 能　　PPP パケットの Information タイプの設定を問い合わせます。

使用例　　PPP の Information タイプの設定を問い合わせる場合。

> ：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:INFormation:USERprogram?

< ALL0

:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:INFormation:PATTern <start>, <string>

パラメータ　　<start> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～65535　　（設定開始位置（バイト））

<string> = <STRING PROGRAM DATA>

“00” ～ “FF” の範囲で “00, 00, …, 00”

（設定するバイト数を，十六進数で指定します。最大 64 バイトまで設定できます。）

機 能　　Information のタイプを User program に設定した時の 65535 bytes ペイロードパターンを設定します。

制 約　　次の場合無効となります。

・本体のオプション 13,14 が装着されていない場合。

使用例　　ペイロードの 3 番目から 4 バイト分 “10, 01, 01, 10”を設定する場合

> ：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:INFormation:PATTern 3, “10, 01, 01, 10”

:SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:INFormation:PATTern? <start>, <stop>

パラメータ　<start>, <stop>= <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～65535　（出力開始位置（バイト））
出力開始位置～65535　（出力終了位置（バイト））

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:INFormation:PATTern と同じ。

機 能　65535 bytes ペイロードパターンを問い合わせます。

使用例　> ：SOURce:TELecom:IPPacket:IPPacket:INFormation:PATTern? 3, 10
< “10,01,01,10,00,00,00,00”
設定を行っていない byte のレスポンスは初期値 0x00 となります。

:SOURce:TELecom:FMEMory:BRATe <brate>

パラメータ　<brate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

M9953	9953M
M2488	2488M
M622	622M
M156	156M
M52	52M

機 能　Frame memory の設定するフレームフォーマットを決定します。

制 約　次の場合無効となります。
・オプション 13 が装着されていないとき。
・ユニットオプション 01Frame memory/capture がある場合でオプション未装着時。
・設定に対応する Bit rate が設定されていない場合。

使用例　フレームフォーマットを 9953M に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:FMEMory:BRATe M9953

:SOURce:TELecom:FMEMory:BRATe?

レスポンス　<brate> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Frame memory の設定するフレームフォーマットを問い合わせます。

使用例　Frame memory の設定するフレームフォーマットの問い合わせる場合。
> :SOURce:TELecom:FMEMory:BRATe?
< M9953

:SOURce:TELecom:FMEMory:B3ADdition <mode>

パラメータ　<mode> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	B3 自動付加 OFF
ON or 1	B3 自動付加 ON

機 能　B3 の自動付加（ハード）を行う/行わないの設定をします。

制 約　次の場合無効となります。
・オプション 13 が装着されていないとき。
・ユニットオプション 01Frame memory/capture がある場合でオプション未装着時。
・:SOURce:TELecom:OHPReset:PTCondition の<trace>が設定中一つでも ON の場合は OFF は設定不可。

使用例　B3 の自動付加を設定する場合。
> :SOURce:TELecom:FMEMory:B3ADdition ON

:SOURce:TELecom:FMEMory:B3ADdition?

レスポンス　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0　B3 自動付加 OFF
1　B3 自動付加 ON

機 能　B3 の自動付加（ハード）を行う/行わないの設定値を問い合わせます。

使用例　B3 の自動付加（ハード）を行う/行わないの設定値の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:FMEMory:B3ADdition?
< 1

:SOURce:TELecom:FMEMory:POINter <pointer>

パラメータ　<pointer> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
0
522

機 能　フレームのポインタ値の選択を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・オプション 13 が装着されていないとき。
・ユニットオプション 01Frame memory/capture がある場合でオプション未装着時。

使用例　フレームのポインタ値を 0 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:FMEMory:POINter 0

:SOURce:TELecom:FMEMory:POINter?

レスポンス　<pointer> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　フレームのポインタ値の選択設定値を問い合わせます。

使用例　フレームのポインタ値の選択設定値の問い合わせを行う場合。
> :SOURce:TELecom:FMEMory:POINter?
< 0

:SOURce:TELecom:FMEMory:FRAMe <frame>

パラメータ　<frame> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　ステップ値 1

機 能　編集するフレーム No.を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・オプション 13 が装着されていないとき。
・ユニットオプション 01Frame memory/capture がある場合でオプション未装着時。

使用例　編集するフレームの No.を 7 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:FMEMory:FRAMe 7

:SOURce:TELecom:FMEMory:FRAMe?

レスポンス　<frame> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　編集するフレーム No.の設定値を問い合わせます。

使用例　編集するフレーム No.の設定値の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:FMEMory:FRAMe?
< 7

:SOURce:TELecom:FMEMory:PATTern <row>, <column>, <string>

パラメータ　<row> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 9　行番号　ステップ値 1
<column> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 90　52M 時
1 ～ 270　156M 時
1 ～ 1080　622M 時　列番号　ステップ値 1
<string> = <STRING PROGRAM DATA>
“00” ～ “FF”　（HEX 形式）　※MAX 18 バイト設定可能

機 能　フレームデータを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・オプション 13 が装着されていないとき。
・ユニットオプション 01Frame memory/capture がある場合でオプション未装着時。

使用例　3 行 7 列から 3 行 11 列目までのフレームデータを “AB, BC, CD, DE, EF” に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:FMEMory:PATTern 3, 7,“AB, BC, CD, DE, EF”

:SOURce:TELecom:FMEMory:PATTern? <row1>,<column1>, <row2>, <column2>

パラメータ　<row1>, <row2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 9　行番号　ステップ値 1
<column1>, <column2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 90　52M 時
1 ～ 270　156M 時
1 ～ 1080　622M 時　列番号　ステップ値 1

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　<start1>行<start2>列目から <stop1>行<stop2>列目までのフレームデータを問い合わせます。

使用例　3 行 7 列から 3 行 11 列目までのフレームデータを問い合わせる場合。
> :SOURce:TELecom:FMEMory:PATTern 3, 7, 3, 11
< “AB, BC, CD, DE, EF”

:SOURce:TELecom:FMEMory:RECall <mode>

パラメータ　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

DEFault	Default
OHPRESET	OH preset
ALL1	Payload all1
ALL0	Payload all0
CAPTURED	Captured

機 能　Frame memory の設定を初期化します。

Default	以降設定値の Default 値を設定しし。
OH preset	OH preset の設定データ（Bit rate が一致のもの）の OH をコピーします。
Payload all0/1	Payload 部分を 0 または 1 に初期化します。

制 約　次の場合無効となります。
・オプション 13 が装着されていないとき。
・ユニットオプション 01Frame memory/capture がある場合でオプション未装着時。

・< CAPTURED >はデータがない場合選択不可。
・<OHPRESET>を選択時にデータがないもの（B1,B2,K1,K2）は変更しない。

使用例　ペイロードデータを all0 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:FMEMory:RECall ALL0

:SOURce:TELecom:FMEMory:RECall?

レスポンス　<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　Frame memory 初期化の種類を問い合わせます。
使用例　Frame memory 初期化の種類の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:FMEMory:RECall?
< ALL0

:SOURce:TELecom:FMEMory:PRINt <from>,<to>

パラメータ　<from> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 17280　ステップ値：1
<to> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
from ～ 17280　ステップ値：1
機 能　印刷範囲を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・オプション 13 が装着されていないとき。
・ユニットオプション 01Frame memory/capture がある場合でオプション未装着時。
・<from>の値が <to>より大きい値の設定時。
・設定 Bit rate によって上限が異なる。
9953M:270×64
2488M:270×16
622M:270×4
156M:270
52M:90

使用例　7 行目だけ印刷する場合。
> :SOURce:TELecom:FMEMory:PRINt 7,7

:SOURce:TELecom:FMEMory:PRINt?

レスポンス　<from> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
<to> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　印刷範囲を問い合わせます。
使用例　> :SOURce:TELecom:FMEMory:PRINt?
< 7,7

:SOURce:TELecom:MSPMessages:REQuest <request>

パラメータ　<request> = <CHARCTER PROGRAM DATA>

（G.783）

NREQ	No request（0000）
DNR	Do not revet（0001）
RREQ	Reverce request（0010）
UUS3	Unused（0011）
EXER	Exercise（0100）
UUS5	Unused（0101）
WTR	Wait to restore（0110）
UUS7	Unused（0111）
MSW	Manual switch（1000）
UUS9	Unused（1001）
SDLP	Signal degrade lowpriority（1010）
SDHP	Signal degrade high priority（1011）
SFLP	Signal fall low priority（1100）
SFHP	Signal fall high priority（1101）
FSW	Forced switch（1110）
LOPR	Lockout of protection（1111）

（G.841）

NR	NR（0000）
RRR	RR-R（0001）
RRS	RR-S（0010）
EXERR	EXER-R（0011）
EXERS	EXER-S（0100）
WTR	WTR（0101）
MSR	MS-R（0110）
MSS	MS-S（0111）
SDR	SD-R（1000）
SDS	SD-S（1001）
SDP	SD-P（1010）
SFR	SF-R（1011）
SFS	SF-S（1100）
FSR	FS-R（1101）
FSS	FS-S（1110）
LPS	LP-S（1111）
SFP	SF-P（1111）

機 能　K1（1-4bit）を設定します。（ニーモニック形式）

制 約　次の場合無効となります。

・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。

・:ROUTe:THRough が，<ON>の場合。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例　K1 の 1-4bit を"1011"に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:MSPMessages:REQuest SDHP

:SOURce:TELecom:MSPMessages:REQuest?

レスポンス　<request> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
※勧告 G.783, G.841 によりレスポンスのニーモニックが異なる。
(G.783)
1 1 1 1　LOPR
(G.841)
1 1 1 1　LPS or SFP

機 能　K1（1-4bit）を問い合わせます。（ニーモニック形式）

使用例
> :SOURce:TELecom:MSPMessages:REQuest?
< SDHP

:SOURce:TELecom:MSPMessages:CHANnel <mspch>

パラメータ　<mspch> = <CHARCTER PROGRAM DATA>
（G.783）

NCH	Null channel（0000）
WC1	Working channel1（0001）
WC2	Working channel2（0010）
WC3	Working channel3（0011）
WC4	Working channel4（0100）
WC5	Working channel5（0101）
WC6	Working channel6（0110）
WC7	Working channel7（0111）
WC8	Working channel8（1000）
WC9	Working channel9（1001）
WC10	Working channel10（1010）
WC11	Working channel11（1011）
WC12	Working channel12（1100）
WC13	Working channel13（1101）
WC14	Working channel14（1110）
ETCH	Extra traffic channel（1111）

(G.841)
0 ～ 15

機 能　K1（5-8bit）を設定します。（ニーモニック形式）

制 約　次の場合無効となります。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。
・:ROUTe:THRough が，<ON>の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例　K1 の 5-8bit を"1110"に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MSPMessages:CHANnel WC14

:SOURce:TELecom:MSPMessages:CHANnel?

レスポンス　<mspch> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　K1（5-8bit）の設定を問い合わせます。（ニーモニック形式）

使用例
> :SOURce:TELecom:MSPMessages:CHANnel?
< WC14

:SOURce:TELecom:MSPMessages:BRIDge <bridge>

パラメータ　<bridge> = <CHARCTER PROGRAM DATA>

（G.783）

NCH	Null channel（0000）
WC1	Working channel1（0001）
WC2	Working channel2（0010）
WC3	Working channel3（0011）
WC4	Working channel4（0100）
WC5	Working channel5（0101）
WC6	Working channel6（0110）
WC7	Working channel7（0111）
WC8	Working channel8（1000）
WC9	Working channel9（1001）
WC10	Working channel10（1010）
WC11	Working channel11（1011）
WC12	Working channel12（1100）
WC13	Working channel13（1101）
WC14	Working channel14（1110）
ETCH	Extra traffic channel（1111）

(G.841)

0 ～ 15

機 能　K2（1-4bit）を設定します。（ニーモニック形式）

制 約　次の場合無効となります。

:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>, <M1_5>の場合。

:ROUTe:THRough が，<ON>の場合。

:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例　K2 の 1-4bit を"1110"に設定する場合。

> :SOURce:TELecom:MSPMessages:BRIDge WC14

:SOURce:TELecom:MSPMessages:BRIDge?

レスポンス　<bridge> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　K2（1-4bit）の設定を問い合わせます。（ニーモニック形式）

使用例　> :SOURce:TELecom:MSPMessages:BRIDge?

< WC14

:SOURce:TELecom:MSPMessages:ARCHitect <arch>

パラメータ　<arch> = <CHARCTER PROGRAM DATA>

（G.783）

OPOA	1+1 architecture（0）
OCNA	1:n architecture（1）

（G.841）

SHORT	0
LONG	1

機 能　K2（5bit）を設定します。（ニーモニック形式）

制 約　次の場合無効となります。

・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>, <M1_5>の場合。

・:ROUTe:THRough が，<ON>の場合。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例　K2 の 5bit を"1"に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MSPMessages:ARCHitect OCNA

:SOURce:TELecom:MSPMessages:ARCHitect?

レスポンス　<arch> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　K2（5bit）の設定を問い合わせます。（ニーモニック形式）
使用例　> :SOURce:TELecom:MSPMessages:ARCHitect?
< OCNA

:SOURce:TELecom:MSPMessages:REServed <res>

パラメータ　<res> = <CHARCTER PROGRAM DATA>

Idle	000
Bridged	001
Br&Sw	010
Reserved011	011
Reserved100	100
Reserved101	101
MS-RDI	110
MS-AIS	111

機 能　K2（6-8bit）を設定します。（ニーモニック形式）
制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID 時。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。
・:ROUTe:THRough が，<ON>の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例　No.8 K2（6-8bit）を MS-AIS に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MSPMessages:REServed MS-AIS

:SOURce:TELecom:MSPMessages:REServed?

レスポンス　<arch> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　K2（6-8bit）を問い合わせます。（ニーモニック形式）
使用例　No.8 K2（6-8bit）のニーモニック形式の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:MSPMessages:REServed? 8
< MS-AIS

:SOURce:TELecom:MSPBits:REQuest <string>

パラメータ　<string> = <STRING PROGRAM DATA>
"0000"～"1111"
機 能　K1（1-4bit）を設定します。（ビット形式）
制 約　次の場合無効となります。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。
・:ROUTe:THRough が，<ON>の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例　K1 の 1-4bit を"1011"に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MSPBits:REQuest "1011"

:SOURce:TELecom:MSPBits:REQuest?

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　K1（1-4bit）の設定を問い合わせます。（ビット形式）
使用例　> :SOURce:TELecom:MSPBits:REQuest?
< "1011"

:SOURce:TELecom:MSPBits:CHANnel <string>

パラメータ　<string> = <STRING PROGRAM DATA>
"0000"～"1111"
機 能　K1（5-8bit）を設定します。（ビット形式）
制 約　次の場合無効となります。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。
・:ROUTe:THRough が，<ON>の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。
使用例　K1 の 5-8bit を"1110"に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MSPBits:CHANnel "1110"

:SOURce:TELecom:MSPBits:CHANnel?

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　K1（5-8bit）の設定を問い合わせます。（ビット形式）
使用例　> :SOURce:TELecom:MSPBits:CHANnel?
< "1110"

:SOURce:TELecom:MSPBits:BRIDge <string>

パラメータ　<string> = <STRING PROGRAM DATA>
"0000"～"1111"
機 能　K2（1-4bit）を設定します。（ビット形式）
制 約　次の場合無効となります。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。
・:ROUTe:THRough が，<ON>の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。
使用例　K2 の 1-4bit を"1110"に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MSPBits:BRIDge "1110"

:SOURce:TELecom:MSPBits:BRIDge?

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　K2（1-4bit）の設定を問い合わせます。（ビット形式）
使用例　> :SOURce:TELecom:MSPBits:BRIDge?
< "1110"

:SOURce:TELecom:MSPBits:ARCHitect <string>

パラメータ　<string> = <STRING PROGRAM DATA>
"0"～"1"
機 能　K2（5bit）を設定します。（ビット形式）
制 約　次の場合無効となります。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。

・:ROUTe:THRough が，<ON>の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例　K2 の 5bit を"1"に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MSPBits:ARCHitect "1"

:SOURce:TELecom:MSPBits:ARCHitect?

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　K2（5bit）の設定を問い合わせます。（ビット形式）
使用例　> :SOURce:TELecom:MSPBits:ARCHitect?
< "1"

:SOURce:TELecom:MSPBits:REServed <string>

パラメータ　<string> = <STRING PROGRAM DATA>
"000"～"101"
機 能　K2（6-8bit）を設定します。（ビット形式）
制 約　次の場合無効となります。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。
・:ROUTe:THRough が，<ON>の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例　K2 の 6-8bit を"101"に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:MSPBits:REServed "101"

:SOURce:TELecom:MSPBits:REServed?

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　K2（6-8bit）の設定を問い合わせます。（ビット形式）
使用例　> :SOURce:TELecom:MSPBits:REServed?
< "101"

:SOURce:TELecom:PSETting:NDFSet <ptype>,<string>

パラメータ　<ptype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

AU	AU-PTR
TU	TU-PTR

<string> = <STRING PROGRAM DATA>
"0000"～"1111"
機 能　ポインタ値（NDF）を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。
・:ROUTe:THRough が，<ON>の場合。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC12_BIL>,<VC12_BYL>,<VC11_BIL>,<VC11_BYL>時，<TU>設定の場合。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC3_45MASY>,<VC3_BLK>かつ，:SOURce:TELecom:MAPPing:AU が<AU3>時，<TU>設定の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例　AU PTR NDF を"1011"に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:PSETting:NDFSet AU,"1011"

:SOURce:TELecom:PSETting:NDFSet? <ptype>

パラメータ　<ptype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　ポインタ値（NDF）の設定を問い合わせます。
使用例　AU PTR NDF の設定を問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:PSETting:NDFSet? AU
< "1011"

:SOURce:TELecom:PSETting:SSSet <ptype>,<string>

パラメータ　<ptype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

AU	AU-PTR
TU	TU-PTR

<string> = <STRING PROGRAM DATA>
"00"～"11"
機 能　ポインタ値（SS）のを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。
・:ROUTe:THRough が，<ON>の場合。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC12_BIL>,<VC12_BYL>,<VC11_BIL>,<VC11_BYL>時，<TU>設定の場合。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC3_45MASY>,<VC3_BLK>かつ，:SOURce:TELecom:MAPPing:AU が<AU3>時，<TU>設定の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。
使用例　AU PTR SS を"10"に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:PSETting:SSSet AU,"10"

:SOURce:TELecom:PSETting:SSSet? <ptype>

パラメータ　<ptype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　ポインタ値（SS）の設定を問い合わせます。
使用例　AU PTR SS の設定を問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:PSETting:SSSet? AU
< "10"

:SOURce:TELecom:PSETting:IDSet <ptype>,<numeric>

パラメータ　<ptype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

AU	AU-PTR
TU	TU-PTR

<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 1023　ステップ値：1
機 能　ポインタ値（ID）を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。
・:ROUTe:THRough が，<ON>の場合。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC12_BIL>,<VC12_BYL>,<VC11_BIL>,<VC11_BYL>時，<TU>設定の場合。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC3_45MASY>,<VC3_BLK>かつ，:SOURce:TELecom:MAPPing:AU が<AU3>時，<TU>設定の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例　　AU PTR ID を 10（10 進数）に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:PSETting:IDSet AU,10

:SOURce:TELecom:PSETting:IDSet? <ptype>

パラメータ　　<ptype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　ポインタ値（ID）の設定を問い合わせます。
使用例　　AU PTR ID の設定を問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:PSETting:IDSet? AU
< 10

:SOURce:TELecom:PSETting:PPJC <ptype>

パラメータ　　<ptype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

AU	AU-PTR
TU	TU-PTR

機 能　　送信信号に対して，+PJC を 1 回挿入します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。
・:ROUTe:THRough が，<ON>の場合。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC12_BIL>,<VC12_BYL>,<VC11_BIL>,<VC11_BYL>時，<TU>設定の場合。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC3_45MASY>,<VC3_BLK>かつ，:SOURce:TELecom:MAPPing:AU が<AU3>時，<TU>設定の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例　　AU ポインタに+PJC を 1 回挿入する場合。
> :SOURce:TELecom:PSETting:PPJC AU

:SOURce:TELecom:PSETting:NPJC <ptype>

パラメータ　　<ptype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

AU	AU-PTR
TU	TU-PTR

機 能　　送信信号に対して，-PJC を 1 回挿入します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。
・:ROUTe:THRough が，<ON>の場合。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC12_BIL>,<VC12_BYL>,<VC11_BIL>,<VC11_BYL>時，<TU>設定の場合。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC3_45MASY>,<VC3_BLK>かつ，:SOURce:TELecom:MAPPing:AU が<AU3>時，<TU>設定の場合。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例　　AU ポインタに-PJC を 1 回挿入する場合。
> :SOURce:TELecom:PSETting:NPJC AU

:SOURce:TELecom:POFFset <offset>

パラメータ　　<offset> = <NON-DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
-100.0 ～ 100.0　　ステップ値 0.1

機 能　　Payload オフセットを設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM 時。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE が Ansyc.以外の設定時。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例　　Payload オフセットを-60.0 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:POFFset –60.0

:SOURce:TELecom:POFFset?

レスポンス　　<offset> = <NR2 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　　Payload オフセット設定の問い合わせます。

使用例　　Payload オフセット設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:POFFset?
< -60.0

:SOURce:TELecom:SPRogram:DEFault

パラメータ　　なし

機 能　　S1 program data における編集データの設定状態を初期化します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> の設定が<SDH_PDH>,<SONET_PDH> 以外の場合。
・測定モードが In-service 以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・:ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・オプション 22 が装着されていない場合。

使用例　　S1 program データの初期化をする場合
> :SOURce:TELecom:SPRogram:DEFault

:SOURce:TELecom:SPRogram:COPY <destno>, <source1>, <source2>

パラメータ　<destno> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　上書きする元のデータ No.
<source1> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　上書き範囲の開始 No.
<source2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　上書き範囲の終了 No.

機 能　指定された S1 program data の編集データ内容を他の編集データに上書きします。

制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> の設定が
<SDH_PDH>,<SONET_PDH>以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。
・ :ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・ :ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・ オプション 22 が装着されていない場合。
・ <source1>の指定 No.が<source2>の指定 No.を超えて設定した場合。

使用例　画面上 No.60 で編集されたデータ内容を No5 から No10 へコピーする場合。
> :SOURce:TELecom:SPRogram:COPY 60, 5, 10

:SOURce:TELecom:SPRogram:SSMessages:REQuest <no>, <request>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　No.
<request> = <STRING PROGRAM DATA>
(bit5-bit8)
(SDH)

"Quality unknown"	(0000)
"G.811"	(0010)
"G.812 transit"	(0100)
"G.812 local"	(1000)
"SETS"	(1011)
"Do not use for Sync."	(1111)

(SONET)

"Synchronized Traceability Unknown"	(0000)
"STU"	(0000)
"Stratum 1 Traceable"	(0001)
"PRS"	(0001)
"Stratum 2 Traceable"	(0111)
"ST2"	(0111)
"Stratum 3 Traceable"	(1010)
"ST3"	(1010)
"SONET Minimum Clock Traceable"	(1100)
"SMC"	(1100)
"Reserved"	(1110)
"RES"	(1110)
"DON'T USE for Synchronization"	(1111)
"DUS"	(1111)

機 能　S1(bit5-bit8)の設定をニーモニック形式で行います。
制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> の設定が
<SDH_PDH>,<SONET_PDH>以外の場合。
・測定モードが In-service 以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。
・ :ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・ :ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・オプション 22 が装着されていない場合。
使用例　No.2 S1(5-8bit)を “1011”に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:SPRogram:SSMessages:REQuest 2, “SETS”

:SOURce:TELecom:SPRogram:SSMessages:REQuest? <no>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
:SOURce:TELecom:SPRogram:SSMessages:REQuest と同じ。
レスポンス　<request> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
:SOURce:TELecom:SPRogram:SSMessages:REQuest と同じ。
※SDH,SONET によりレスポンスが異なります。
上記該当がない場合"Reserved"が返ります。
機 能　S1(bit5-bit8)の設定をニーモニック形式で問い合わせます。
使用例　No.2 S1(5-8bit)のニーモニック形式の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:SPRogram:SSMessages:REQuest? 2
< “SETS”

:SOURce:TELecom:SPRogram:SSBits:REQuest <no>, <request1>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　No.
<request1> = <STRING PROGRAM DATA>
(bit1-4)
“0000”～”1111”
<request2> = <STRING PROGRAM DATA>
(bit5-8)
“0000”～”1111”
機 能　S1(1-4bit，5-8bit)の設定をビット形式で行います。
制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> の設定が<SDH_PDH>,
<SONET_PDH>以外の場合。
・測定モードが In-service 以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・:ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・オプション 22 が装着されていない場合。
使用例　No.2 S1 を"1011"，”0000”に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:SPRogram:SSBits:REQuest 2, "1011",”0000”

:SOURce:TELecom:SPRogram:SSBits:REQuest? <no>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
:SOURce:TELecom:SPRogram:SSBits:REQuest と同じ。

レスポンス　<request1> = <STRING RESPONSE DATA>
:SOURce:TELecom:SPRogram:SSBits:REQuest と同じ。
<request2> = <STRING RESPONSE DATA>
:SOURce:TELecom:SPRogram:SSBits:REQuest と同じ。
機 能　S1(1-4bit，5-8bit)の設定をビット形式で問い合わせます。
使用例　No.2 S1 をビット形式の問い合わせる場合。
> :SOURce:TELecom:SPRogram:SSBits:REQuest? 2
< "1011",”0000”

:SOURce:TELecom:SPRogram:FRAMe <no>, <frame>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　No.
<frame> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～8000　Frame
機 能　S1 program data における編集データのフレームを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> の設定が<SDH_PDH>, <SONET_PDH>以外の場合。
・測定モードが In-service 以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・:ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・オプション 22 が装着されていない場合。
使用例　No.20 の Frame を 5000 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:SPRogram:FRAMe 20, 5000

:SOURce:TELecom:SPRogram:FRAMe? <no>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
:SOURce:TELecom:SPRogram:FRAMe と同じ。
レスポンス　<frame> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
:SOURce:TELecom:SPRogram:FRAMe と同じ。
機 能　Frame 設定の問い合わせを行う。
使用例　No.20 Frame の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:SPRogram:FRAMe? 20
< 5000

:SOURce:TELecom:SPRogram:PROGram <no>, <S1>, <frame>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　No.
<S1> = <STRING PROGRAM DATA>
“00” ～ “FF”
<frame> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～8000　Frame
機 能　S1 のビットの設定と Frame の設定を同時に行います。
制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> の設定が<SDH_PDH>, <SONET_PDH>以外の場合。
・測定モードが In-service 以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。

・:ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・:ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・オプション 22 が装着されていない場合。

使用例　No.20 Frame を 5000 に設定する場合。
> :SOURce:TELecom:SPRogram:PROGram 20,“01”,5000

:SOURce:TELecom:SPRogram:PROGram? <no>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
:SOURce:TELecom:SPRogram:PROGram と同じ。

レスポンス　<S1> = <STRING PROGRAM DATA>
:SOURce:TELecom:SPRogram:PROGram と同じ。
<frame> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
:SOURce:TELecom:SPRogram:PROGram と同じ。

機 能　S1 のビットの設定と Frame の設定を同時に問い合わせます。

使用例　No.20 Frame の問い合わせをする場合。
> :SOURce:TELecom:SPRogram:PROGram? 20
< “01”,5000

:SOURce:SIGPreset:TX <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
OFF
MULTI64
MULTI8

機 能　マッピングが BYTE（Data, Voice）の場合に VC11（V5byte）のシグナリングバイト（通称 Wbyte）に設定するデータのフレーム構成を選択します。

制 約　次の場合無効となります。
オプション 09 Japan mapping が未装着時。

使用例　送信シグナリングバイトに 64-multiframe を設定する場合。
> :SOURce:SIGPreset:TX MULTI64

:SOURce:SIGPreset:TX?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　マッピングが BYTE（Data, Voice）の場合に VC11（V5byte）のシグナリングバイト（通称 Wbyte）に設定するデータのフレーム構成を問い合わせます。

使用例　送信シグナリングバイトのフレーム構成を問い合わせる場合。
> :SOURce:SIGPreset:TX?
< MULTI64

:SOURce:SIGPreset:MULTi8:TS <type>, <ts>,<sp_d>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
TS1
TS2
TS3
TS4
<ts> = <STRING PROGRAM DATA>
“000000” ～ “111111”　（BIN 形式）

機 能　　8-multiframe シグナリングデータを設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
　　オプション 09 Japan mapping が未装着時。
使用例　　8-multiframe シグナリングデータの TS1～21 ビットを“010101”に設定する場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi8:TS TS1, “010101”

:SOURce:SIGPreset:MULTi8:TS? <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　　<ts> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　　8-multiframe シグナリングデータを問い合わせます。
使用例　　8-multiframe シグナリングデータの TS1 の問い合わせをする場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi8:TS? TS1
　　< “010101”

:SOURce:SIGPreset:MULTi8:SP <sp>

パラメータ　　<sp> = <STRING PROGRAM DATA>
　　“0” ～ “1”　　（BIN 形式）
機 能　　8-multiframe シグナリングデータを設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
　　オプション 09 Japan mapping が未装着時。
使用例　　8-multiframe シグナリングデータの SP ビットを“0”に設定する場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi8:SP “0”

:SOURce:SIGPreset:MULTi8:SP?

レスポンス　　<sp> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　　8-multiframe シグナリングデータを問い合わせます。
使用例　　8-multiframe シグナリングデータの SP の問い合わせをする場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi8:SP?
　　< “0”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:AIS <ais>

パラメータ　　<ais> = <STRING PROGRAM DATA>
　　“000000000000000000000000” ～ “111111111111111111111111”
　　（BIN 形式）
機 能　　シグナリングデータ AIS を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
　　オプション 09 Japan mapping が未装着時。
使用例　　シグナリングデータ AIS の設定を“000000000000011111111111”に設定する場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:AIS “000000000000011111111111”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:AIS?

レスポンス　　<ais> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　　シグナリングデータ AIS を問い合わせます。
使用例　　シグナリングデータ AIS の問い合わせをする場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:AIS?
　　< “000000000000011111111111”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:BAIS <bais>

パラメータ　<bais> = <STRING PROGRAM DATA>
“000000000000000000000000” ～ “111111111111111111111111”
（BIN 形式）

機 能　シグナリングデータ BAIS を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
オプション 09 Japan mapping が未装着時。

使用例　シグナリングデータ BAIS の設定を“000000000000111111111111”に設定する場合。
> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:BAIS “000000000000111111111111”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:BAIS?

レスポンス　<bais> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　シグナリングデータ BAIS を問い合わせます。

使用例　シグナリングデータ BAIS の問い合わせをする場合。
> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:BAIS?
< “000000000000111111111111”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:PTY <pty>

パラメータ　<pty> = <STRING PROGRAM DATA>
“000000000000000000000000” ～ “111111111111111111111111”
（BIN 形式）

機 能　シグナリングデータ PTY を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
オプション 09 Japan mapping が未装着時。

使用例　シグナリングデータ PTY の設定を “000000000000111111111111”に設定する場合。
> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:PTY “000000000000111111111111”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:PTY?

レスポンス　<pty> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　シグナリングデータ PTY を問い合わせます。

使用例　シグナリングデータ PTY の問い合わせをする場合。
> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:PTY?
< “000000000000111111111111”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:BERR <berr>

パラメータ　<berr> = <STRING PROGRAM DATA>
“000000000000000000000000” ～ “111111111111111111111111”
（BIN 形式）

機 能　シグナリングデータ BERR を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
オプション 09 Japan mapping が未装着時。

使用例　シグナリングデータ BERR の設定を “000000000000111111111111”に設定する場合。
> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:BERR “000000000000111111111111”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:BERR?

レスポンス　<berr> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　シグナリングデータ BERR を問い合わせます。
使用例　シグナリングデータ BERR の問い合わせをする場合。
> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:BERR?
< “000000000000111111111111”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:TRACe <trace>

パラメータ　<trace> = <STRING PROGRAM DATA>
“000000000000000000000000” ～ “111111111111111111111111”
（BIN 形式）
機 能　シグナリングデータ TRACE を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
オプション 09 Japan mapping が未装着時。
使用例　シグナリングデータ TRACE の設定を “000000000000111111111111”に設定する場合。
> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:TRAce “000000000000111111111111”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:TRACe?

レスポンス　<trace> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　シグナリングデータ TRACE を問い合わせます。
使用例　シグナリングデータ TRACE の問い合わせをする場合。
> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:TRAce?
< “000000000000111111111111”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:S <s>

パラメータ　<s> = <STRING PROGRAM DATA>
“000000000000000000000000” ～ “111111111111111111111111”
（BIN 形式）
機 能　シグナリングデータ Reserved（S）を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
オプション 09 Japan mapping が未装着時。
使用例　シグナリングデータ Reserved（S）の設定を “000000000000111111111111”に設定する場合。
> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:S “000000000000111111111111”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:S?

レスポンス　<s> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　シグナリングデータ Reserved（S）の設定を問い合わせます。
使用例　シグナリングデータ Reserved（S）の設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:S?
< “000000000000111111111111”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:UNR <unr>

パラメータ　<unr> = <STRING PROGRAM DATA>
“000000000000000000000000” ～ “111111111111111111111111”
（BIN 形式）
機 能　シグナリングデータ Reserved（UNR）を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
　　オプション 09 Japan mapping が未装着時。
使用例　　シグナリングデータ Reserved（UNR）の設定を
　　“000000000000111111111111”に設定する場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:UNR “000000000000111111111111”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:UNR?

レスポンス　　<unr> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　　シグナリングデータ Reserved（UNR）の設定を問い合わせます。
使用例　　シグナリングデータ Reserved（UNR）の設定の問い合わせをする場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:UNR?
　　< “000000000000111111111111”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:LOOP2 <loop2>

パラメータ　　<loop2> = <STRING PROGRAM DATA>
　　“000” ～ “111” （BIN 形式）
機 能　　シグナリングデータ LOOP2 を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
　　オプション 09 Japan mapping が未装着時。
使用例　　シグナリングデータ LOOP2 の設定を “111”に設定する場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:LOOP2 “111”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:LOOP2?

レスポンス　　<loop2> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　　シグナリングデータ LOOP2 の設定を問い合わせます。
使用例　　シグナリングデータ LOOP2 の設定の問い合わせをする場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:LOOP2?
　　< “111”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:LP <lp>

パラメータ　　<lp> = <STRING PROGRAM DATA>
　　“00000000000000000000” ～ “11111111111111111111”
　　（BIN 形式）
機 能　　シグナリングデータ LP を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
　　オプション 09 Japan mapping が未装着時。
使用例　　シグナリングデータ LP の設定を “11100000000000000000”に設定する場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:LP “11100000000000000000”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:LP?

レスポンス　　<lp> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　　シグナリングデータ LP の設定を問い合わせます。
使用例　　シグナリングデータ LP の設定の問い合わせをする場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:LP?
　　< “11100000000000000000”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:M15Bais <m15>

パラメータ　<m15> = <STRING PROGRAM DATA>
　“0” ～ “1” （BIN 形式）
機 能　シグナリングデータ 1.5M BASIS を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
　オプション 09 Japan mapping が未装着時。
使用例　シグナリングデータ 1.5M BASIS の設定を “1”に設定する場合。
　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:M15Basis “1”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:M15Bais?

レスポンス　<m15> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　シグナリングデータ 1.5M BASIS の設定を問い合わせます。
使用例　シグナリングデータ 1.5M BASIS の設定の問い合わせをする場合。
　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:M15Basis?
　< “1”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:KX <kx>

パラメータ　<kx> = <STRING PROGRAM DATA>
　“0” ～ “1” （BIN 形式）
機 能　シグナリングデータ kx を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
　オプション 09 Japan mapping が未装着時。
使用例　シグナリングデータ kx の設定を “0”に設定する場合。
　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:KX “0”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:KX?

レスポンス　<kx> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　シグナリングデータ kx の設定を問い合わせます。
使用例　シグナリングデータ kx の設定の問い合わせをする場合。
　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:KX?
　< “0”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:KY <ky>

パラメータ　<ky> = <STRING PROGRAM DATA>
　“0” ～ “1” （BIN 形式）
機 能　シグナリングデータ ky を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
　オプション 09 Japan mapping が未装着時。
使用例　シグナリングデータ ky の設定を “1”に設定する場合。
　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:KY “1”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:KY?

レスポンス　<ky> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　シグナリングデータ ky の設定を問い合わせます。
使用例　シグナリングデータ ky の設定の問い合わせをする場合。
　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:KY?
　< “1”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:KZ <kz>

パラメータ　　<kz> = <STRING PROGRAM DATA>
　　“0” ～ “1” （BIN 形式）
機 能　　シグナリングデータ kz を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
　　オプション 09 Japan mapping が未装着時。
使用例　　シグナリングデータ kz の設定を “1”に設定する場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:KZ “1”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:KZ?

レスポンス　　<kz> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　　シグナリングデータ kz の設定を問い合わせます。
使用例　　シグナリングデータ kz の設定の問い合わせをする場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:KZ?
　　< “1”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:OCULoop <ocu>

パラメータ　　<ocu> = <STRING PROGRAM DATA>
　　“0” ～ “1” （BIN 形式）
機 能　　シグナリングデータ LOOP-OCU を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
　　オプション 09 Japan mapping が未装着時。
使用例　　シグナリングデータ LOOP-OCU の設定を “1”に設定する場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:OCULoop “1”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:OCULoop?

レスポンス　　<ocu> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　　シグナリングデータ LOOP-OCU の設定を問い合わせます。
使用例　　シグナリングデータ LOOP-OCU の設定の問い合わせをする場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:OCULoop?
　　< “1”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:M15Loop <m15>

パラメータ　　<m15> = <STRING PROGRAM DATA>
　　“0” ～ “1” （BIN 形式）
機 能　　シグナリングデータ LOOP-1.5M を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
　　オプション 09 Japan mapping が未装着時。
使用例　　シグナリングデータ LOOP-1.5M の設定を “0”に設定する場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:M15Loop “0”

:SOURce:SIGPreset:MULTi64:M15Loop?

レスポンス　　<m15> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　　シグナリングデータ LOOP-1.5M の設定を問い合わせます。
使用例　　シグナリングデータ LOOP-1.5M の設定の問い合わせをする場合。
　　> :SOURce:SIGPreset:MULTi64:M15Loop?
　　< “0”

:SOURce:SIGPreset:DEFault

パラメータ　なし

機 能　8/64-multiframe シグナリングデータを初期化します。

制 約　次の場合無効となります。
オプション 09 Japan mapping が未装着時。

使用例　8/64-multiframe シグナリングデータの初期化をする場合。
> :SOURce:SIGPreset:DEFault

:SOURce:PTR64:DATA <mode>, <no>, <type>, <ptr>, <ndf>, <ss>, <id>

パラメータ　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
（SDH）
AUPTR
TUPTR
（SONET）
STSPTR
VTPTR
<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　No.
<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
NDF, PTR, +PJC, -PJC, CONTinue
※ CONTinue は前 No. 継続の意味
<ptr> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
0～1023,
<ndf> = <STRING PROGRAM DATA>
“0000” ～ “1111”
<ss> = <STRING PROGRAM DATA>
“00” ～ “11”
<id> = <STRING PROGRAM DATA>
“0000000000” ～ “1111111111”

機 能　プログラマブルな PTR のシーケンスデータ（64 フレーム分）を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
<type> = NDF 時　<ndf>,<ss>,<ptr>の設定以外。
<type> = PTR 時　<ptr>の設定以外。
<type> = +PJC,-PJC 時　<id>の設定以外。

使用例　AUPTR シーケンスデータ No.6 フレームを type NDF, PTR 8, NDF “0000”, ss “01”,ID “0000100000”と設定する場合。
> :SOURce:PTR64:DATA AUPTR, 6, NDF, 8, “0000”, “01”, “000100000”

:SOURce:PTR64:DATA? <mode>, <no>

パラメータ　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
<ptr> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
<ndf> = <STRING RESPONSE DATA>
<ss> = <STRING RESPONSE DATA>
<id> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　プログラマブルな PTR シーケンスデータを問い合わせます。

使用例　AUPTR シーケンスデータ No.6 フレームの問い合わせをする場合。
> :SOURce:PTR64:DATA? AUPTR, 6
> NDF, 8, “0000”, “01”, “0000100000”

:SOURce:PTR64:DEFault <point>

パラメータ　<point> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
（SDH）
AUPTR
TUPTR
（SONET）
STSPTR
VTPTR

機 能　PTR program データ（64 個）を初期化します。

使用例　TUPTR program データを初期化する場合。
> :SOURce:PTR64:FRAMe:DEFault TUPTR

:SOURce:PCHeck:TYPE <type> [,<mode>]

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
OFF
G821
G826
M2100
M2101
M2110
M2120
<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
（M.2110, M.2120 時のみ）
（SDH）
PDH
SDH
（SONET）
DSn
SONET

機 能　Performance チェックを行う勧告タイプを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<" PERFormance ">以外の場合。

使用例　勧告タイプを M.2110,SDH に設定する場合。
> :SOURce:PCHeck:TYPE M2110,SDH

:SOURce:PCHeck:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>(M.2110, M.2120 時のみ)

機 能　Performance チェックを行う勧告タイプの設定を問い合わせます。

使用例　Performance チェックを行う勧告タイプの設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:PCHeck:TYPE?
< M2110,SDH

:SOURce:PCHeck:PDHFrame <frm>

パラメータ　<frm> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

M139	139M
M45	45M
M34	34M
M8	8M
M2	2M
M1_5	1.5M

機 能　PDH フレームタイプを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"PERFormance">以外の場合。

使用例　PDH フレームタイプを 45M に設定する場合。

> :SOURce:PCHeck:PDHFrame M45

:SOURce:PCHeck:PDHFrame?

レスポンス　<frm> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　PDH フレームタイプ設定を問い合わせます。

使用例　PDH フレームタイプの設定の問い合わせをする場合。

> :SOURce:PCHeck:PDHFrame?

< M45

:SOURce:PCHeck:REPeat <repeat>

パラメータ　<repeat> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 99998

機 能　Performance 結果に反映される Error/Alarm の相対的な付加回数を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"PERFormance">以外の場合。

使用例　付加回数を 7 に設定する場合。

> :SOURce:PCHeck:REPeat 7

:SOURce:PCHeck:REPeat?

レスポンス　<repeat> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　指定された Error/Alarm の相対的な付加回数を問い合わせます。

使用例　付加回数を問い合わせる場合。

> :SOURce:PCHeck:REPeat?

< 7

:SOURce:PCHeck:ITEM <item>

パラメータ　<item> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(G.821 時)

EC	EC
ES	ES
SES	SES
US	US
DM	DM
CES	Code ES

(G.826 時)

ES	ES
SES	SES
BBE	BBE
SDP	SDP
US	US

(M.2100, M.2101, M.2110, M.2120 時)

RES	Rx-ES
RSES	Rx-SES
TES	Tx-ES
TSES	Tx-SES
US	US

機 能　Performance item を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"PERFormance">以外の場合。
・:SOURce:PCHeck:TYPE に準じた item 以外の設定の場合。
・:SOURce:PCHeck:TYPE G.821 にて Code が付加できない条件において CES 選択時。

使用例　Performance item を Code ES に設定する場合。

```
> :SOURce:PCHeck:ITEM CES
```

:SOURce:PCHeck:ITEM?

レスポンス　<item> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Performance item の設定を問い合わせます。

使用例　Performance item の設定の問い合わせをする場合。

```
> :SOURce:PCHeck:ITEM?
< CES
```

:SOURce:PCHeck:CONDition <condit>,<erralm>,<threshold>

パラメータ　<condit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(G.821,M2100)

NON　No parameter

(G.826 時)

FAS	FAS/CRC
PAR	Parity
BIT	Bit
B1	B1
B2	B2
HB3	HP-B3
LB3	LP-B3
BIP2	BIP-2
MREI	MS-REI（REI-L）
HREI	HP-REI（REI-P）
LREI	LP-REI（REI-V）

（M.2101, M.2110, M2120 時）

SECT	Section（Sect/Line）
AU	AU-path（STS-path）
TU	TU-path（VT-path）

<erralm> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)	OFF	アラームを挿入しません。
	LOS	LOS を挿入します。
	LOF	LOF を挿入します。
	MAIS	MS-AIS を挿入します。
	MRDI	MS-RDI を挿入します。
	AAIS	AU-AIS を挿入します。
	ALOP	AU-LOP を挿入します。
	HRDI	HP-RDI を挿入します。
	TAIS	TU-AIS を挿入します。
	TLOP	TU-LOP を挿入します。
	LRDI	LP-RDI を挿入します。
	TLOM	TU-LOM を挿入します。
	LTRDI	LP-TC-RDI を挿入します。
	AIS139	139Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
	AIS45	45Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
	AIS34	34Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
	AIS8	8Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
	AIS2	2Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
	AIS1_5	1.5Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
	LOF139	139Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
	LOF45	45Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
	LOF34	34Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
	LOF8	8Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
	LOF2	2Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
	LOF1_5	1.5Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
	RDI139	139Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
	RDI45	45Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
	RDI34	34Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
	RDI8	8Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
	RDI2	2Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
	RDI1_5	1.5Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
	RDIMF	2Mbit/s 信号に MF-RDI を挿入します。
	B1	B1 を挿入します。
	B2	B2 を挿入します。
	HB3	HB3 を挿入します。
	LB3	LB3 を挿入します。
	BIP2	BIP2 を挿入します。
	MREI	MS-REI を挿入します。
	HREI	HP-REI を挿入します。
	HTREI	HP-TC-REI を挿入します。
	N2BIP2	N2_BIP2 を挿入します。
	FAS	FAS を挿入します。
	BALL	Bit all を挿入します。

(SDH)	BIT139	Bit 139M を挿入します。
	BIT45	Bit 45M を挿入します。
	BIT34	Bit 34M を挿入します。
	BIT8	Bit 8M を挿入します。
	BIT2	Bit 2M を挿入します。
	BIT1_5	Bit 1.5M を挿入します。
	CODE	Code を挿入します。
	EBIT	Ebit を挿入します。
	FAS139	FAS 139M を挿入します。
	FAS45	FAS 45M を挿入します。
	FAS34	FAS 34M を挿入します。
	FAS8	FAS 8M を挿入します。
	FAS2	FAS 2M を挿入します。
	FAS1_5	FAS 1.5M を挿入します。
	REI139	REM 139M を挿入します。
	REI45	REM 45M を挿入します。
	REI34	REM 34M を挿入します。
	PLCPREI	REI PLCP を挿入します。
	PARITY	Parity を挿入します。
	CRC6	CRC-6 を挿入します。
	CBIT	Cbit を挿入します。
	BIP8	BIP8 を挿入します。

(SONET)	OFF	アラームを挿入しない。
	LOS	LOS を挿入します。
	LOF	LOF を挿入します。
	AISL	MS-AIS を挿入します。
	RDIL	MS-RDI を挿入します。
	AISP	AU-AIS を挿入します。
	LOPP	AU-LOP を挿入します。
	RDIP	HP-RDI を挿入します。
	AISV	TU-AIS を挿入します。
	LOPV	TU-LOP を挿入します。
	RDIV	LP-RDI を挿入します。
	LOMV	TU-LOM を挿入します。
	AIS139	139Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
	AIS45	45Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
	AIS34	34Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
	AIS8	8Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
	AIS2	2Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
	AIS1_5	1.5Mbit/s 信号に AIS を挿入します。
	LOF139	139Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
	LOF45	45Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
	LOF34	34Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
	LOF8	8Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
	LOF2	2Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
	LOF1_5	1.5Mbit/s 信号に LOF を挿入します。
	RDI139	139Mbit/s 信号に RDI を挿入します。

(SONET)	RDI45	45Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
	RDI34	34Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
	RDI8	8Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
	RDI2	2Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
	RDI1_5	1.5Mbit/s 信号に RDI を挿入します。
	RDIMF	2Mbit/s 信号に MF-RDI を挿入します。
	B1	B1 を挿入します。
	B2	B2 を挿入します。
	HB3	HB3 を挿入します。
	LB3	LB3 を挿入します。
	BIP2	BIP2 を挿入します。
	REIL	MS-REI を挿入します。
	REIP	HP-REI を挿入します。
	HTREI	HP-TC-REI を挿入します。
	REIV	LP-REI を挿入します。
	LTREI	LP-TC-REI を挿入します。
	N2BIP2	N2_BIP2 を挿入します。
	FAS	FAS を挿入します。
	BALL	Bit all を挿入します。
	BIT139	Bit 139M を挿入します。
	BIT45	Bit 45M を挿入します。
	BIT34	Bit 34M を挿入します。
	BIT8	Bit 8M を挿入します。
	BIT2	Bit 2M を挿入します。
	BIT1_5	Bit 1.5M を挿入します。
	CODE	Code を挿入します。
	EBIT	Ebit を挿入します。
	FAS139	FAS 139M を挿入します。
	FAS45	FAS 45M を挿入します。
	FAS34	FAS 34M を挿入します。
	FAS8	FAS 8M を挿入します。
	FAS2	FAS 2M を挿入します。
	FAS1_5	FAS 1.5M を挿入します。
	REI139	REM 139M を挿入します。
	REI45	REM 45M を挿入します。
	REI34	REM 34M を挿入します。
	PARITY	Parity を挿入します。
	CRC6	CRC-6 を挿入します。
	CBIT	Cbit を挿入します。
	BIP8	BIP8 を挿入します。

<threshold> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

ON　or　1

OFF or　0

機 能　　Performance 対称，アラーム付加項目，Threshold over を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"PERFormance">以外の場合。
・Threshold over 設定時，:SOURce:PCHeck:TYPE <type>で指定が存在しない場合。
使用例　　Performance 対称を FAS/CRC，アラーム付加項目を Parity, Threshold over を ON に設定する場合。
> :SOURce:PCHeck:CONDition FAS, PARITY, ON

:SOURce:PCHeck:CONDition?

レスポンス　　<condit> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
<erralm> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
<threshold> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
機 能　　Performance 対称,アラーム付加項目,Threshold over の設定を問い合わせます。
使用例　　Performance 対称,アラーム付加項目,Threshold over の設定を問い合わせる場合。
> :SOURce:PCHeck:CONDition?
< FAS, PARITY, ON

:SOURce:PCHeck:STARt

パラメータ　　なし
機 能　　Performance check を開始します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<" PERFormance ">以外の場合。
使用例　　> :SOURce:PCHeck:STARt

:SOURce:PCHeck:STOP

パラメータ　　なし
機 能　　Performance check を解除します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"PERFormance">以外の場合。
使用例　　> :SOURce:PCHeck:STOP

:SOURce:PCHeck:STATe?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0　　アラーム挿入停止中
1　　アラーム挿入中
機 能　　Performance check 状態を問い合わせます。
使用例　　> :SOURce:PCHeck:STATe?
< 0

:SOURce:FMEMory:SEQuence:A:FRAMe <frame>

パラメータ　　<frame> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　　送出フレーム数　ステップ値 1
機 能　　Frame memory A パターンの送出フレーム数を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] <"FMEMory”>　以外時。

使用例　Frame memory A パターンの送出フレーム数を 2 に設定をする場合。
> :SOURce:FMEMory:SEQuence:A:FRAMe 2

:SOURce:FMEMory:SEQuence:A:FRAMe?

レスポンス　<frame> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　Frame memory A パターンの送出フレーム数の設定を問い合わせます。
使用例　Frame memory A パターンの送出フレーム数の設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:FMEMory:SEQuence:A:FRAMe?
< 2

:SOURce:FMEMory:SEQuence:A:TIME <times>

パラメータ　<times> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 8000　送出回数　ステップ値 1
機 能　Frame memory A 送出回数を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] <“FMEMory”> 以外時。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>
コンカチネーションマッピングルート以外選択時。
使用例　Frame memory A パターンの送出回数を 50 に設定をする場合。
> :SOURce:FMEMory:SEQuence:A:TIME 50

:SOURce:FMEMory:SEQuence:A:TIME?

レスポンス　<times> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　Frame memory A パターンの送出回数の設定を問い合わせます。
使用例　Frame memory A パターンの送出回数の設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:FMEMory:SEQuence:A:TIME?
< 50

:SOURce:FMEMory:SEQuence:B:FRAMe <frame>

パラメータ　<frame> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 63　送出フレーム数　ステップ値 1
機 能　Frame memory B パターンの送出フレーム数を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] <“FMEMory”>　以外時。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>
コンカチネーションマッピングルート以外選択時。
・最大値は下記のようになる。
64 - A（frame）
使用例　Frame memory B パターンの送出フレーム数を 2 に設定をする場合。
> :SOURce:FMEMory:SEQuence:B:FRAMe 2

:SOURce:FMEMory:SEQuence:B:FRAMe?

レスポンス　<frame> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　Frame memoryB パターンの送出フレーム数の設定を問い合わせます。
使用例　Frame memoryB パターンの送出フレーム数の設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:FMEMory:SEQuence:B:FRAMe?
< 2

:SOURce:FMEMory:SEQuence:B:TIME <times>

パラメータ　<times> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 8000　送出回数　ステップ値 1

機 能　Frame memory B パターンの送出回数を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME] <“FMEMory”> 以外時。

・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>
コンカチネーションマッピングルート以外選択時。

・:SOURce:FMEMory:SEQuence:B:FRAMe において<0>設定時

使用例　Frame memory B パターンの送出回数を 50 に設定をする場合。

> :SOURce:FMEMory:SEQuence:B:TIME 50

:SOURce:FMEMory:SEQuence:B:TIME?

レスポンス　<times> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Frame memory B パターン送出回数の設定を問い合わせます。

使用例　Frame memory B パターンの送出回数の設定の問い合わせをする場合。

> :SOURce:FMEMory:SEQuence:B:TIME?

< 50

:SOURce:FMEMory:ALARm:TYPE <atype>

パラメータ　<atype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

OFF	OFF
LOS	LOS
LOF	LOF
MAIS	MS-AIS
MRDI	MS-RDI
AAIS	AU-AIS
ALOP	AU-LOP
HRDI	HP-RDI
HSLM	HP-HSLM
HTIM	HP-HTIM
HUNEQ	HP-UNEQ

(SONET)

OFF	OFF
LOS	LOS
LOF	LOF
AISL	MS-AIS
RDIL	MS-RDI
AISP	AU-AIS
LOPP	AU-LOP
RDIP	HP-RDI
SLMP	HP-HSLM
TIMP	HP-HTIM
UNEQP	HP-UNEQ

機 能　送信信号に対して，挿入するアラームの種類を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] <“FMEMory”> 以外時。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>
コンカチネーションマッピングルート以外選択時。
使用例　　送信信号に MS-AIS を挿入する場合。
> :SOURce:FMEMory:ALARm:TYPE MAIS

:SOURce:FMEMory:ALARm:TYPE?

レスポンス　　<atype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　　送信信号に対して，挿入するアラームの種類を問い合わせます。
使用例　　送信信号に対して，挿入するアラームの種類の問い合わせをする場合。
> :SOURce:FMEMory:ALARm:TYPE?
< MAIS

:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:TYPE <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
SINGLE
BURST
ALTERNATE
ALL
機 能　　アラーム付加タイミングを設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] <"FMEMory”>　以外時。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>
コンカチネーションマッピングルート以外選択時。
・:SOURce:FMEMory:ALARm:TYPE <OFF>設定時。
・SOURce:FMEMory:ALARm:TYPE <LOS>,<HTIM>設定時において，ALL 以外の設定時。
使用例　　アラーム付加タイミングを BURST に設定する場合。
> :SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:TYPE BURST

:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:TYPE?

レスポンス　　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　　アラーム付加タイミング設定を問い合わせます。
使用例　　アラーム付加タイミング設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:TYPE?
< BURST

:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:ALARm <error>

パラメータ　　<error> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 8000　　ステップ値 1
機 能　　Alternate 時のアラーム付加フレーム数を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] <“FMEMory”> 以外時。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>
・コンカチネーションマッピングルート以外選択時。
・:SOURce:FMEMory:ALARm:TYPE <OFF>設定時。
・:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:TYPE <ALTERNATE>以外設定時。

使用例　　アラーム付加フレーム数を 3000 に設定する場合。
> :SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:ALARm 3000

:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:ALARm?

レスポンス　　<error> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　Alternate 時のアラーム付加フレーム数を問い合わせます。
使用例　　Alternate 時のアラーム付加フレーム数の問い合わせをする場合。
> :SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:ALARm?
< 3000

:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:NORMal <normal>

パラメータ　　<normal> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 8000　　ステップ値 1
機 能　　Alternate 時のノーマル付加フレーム数を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] <"FMEMory”>　以外時。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>
コンカチネーションマッピングルート以外選択時。
・:SOURce:FMEMory:ALARm:TYPE <OFF>設定時。
・ :SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:TYPE <ALTERNATE>以外設定時。
使用例　　ノーマル付加フレーム数を 1700 に設定する場合。
> :SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:NORMal 1700

:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:NORMal?

レスポンス　　<normal> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　Alternate 時のノーマル付加フレーム数の設定を問い合わせます。
使用例　　Alternate 時のノーマル付加フレーム数設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:NORMal?
< 1700

:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:BURSt <timing>, <unit>

パラメータ　　<timing> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 8000　　unit が frame のとき　　ステップ値 1
1 ～ 1000000　　unit が us のとき　　ステップ値 125
<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
FRAME frame
US　　μs
機 能　　アラーム挿入タイミング値と単位を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] <“FMEMory”> 以外時。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>
コンカチネーションマッピングルート以外選択時。
・:SOURce:FMEMory:ALARm:TYPE <OFF>設定時。
・:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:TYPE <BURST>以外の設定時。
使用例　　アラーム挿入タイミングを 5000 frame に設定する場合。
> :SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:BURSt 5000, FRAME

:SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:BURSt?

レスポンス　<timing> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
<unit> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　アラーム挿入タイミング値と単位設定を問い合わせます。

使用例　アラーム挿入タイミング値と単位設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:FMEMory:ALARm:TIMing:BURSt?
< 5000, FRAME

:SOURce:FMEMory:ERRor:TYPE <etype>

パラメータ　<etype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）

OFF	OFF
B1	B1
B2	B2
HB3	HP-B3
HREI	HP-REI
MREI	MS-REI
FAS	FAS
BALL	Bitall

（SONET）

OFF	OFF
B1	B1
B2	B2
HB3	HP-B3
REIL	REI-L
REIP	REI-P
FAS	FAS
BALL	Bitall

機 能　送信信号に対して，挿入するエラーの種類を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] <“FMEMory”> 以外時。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>
コンカチネーションマッピングルート以外選択時。

使用例　送信信号に B1 を挿入する場合。
> :SOURce:FMEMory:ERRor:TYPE B1

:SOURce:FMEMory:ERRor:TYPE?

レスポンス　<etype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　送信信号に対して，挿入するエラー種類を問い合わせます。

使用例　送信信号に対して，挿入するエラーの種類の問い合わせをする場合。
> :SOURce:FMEMory:ERRor:TYPE?
< B1

:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:TYPE <timing>

パラメータ　<timing> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

ONCE	Single error
R1E_3	1E-3
R1E_4	1E-4
R1E_5	1E-5
R1E_6	1E-6
R1E_7	1E-7
R1E_8	1E-8
R1E_9	1E-9
ALL	All
BURST	Burs
R5E_3	5E-3
R5E_4	5E-4
R5E_5	5E-5
R5E_6	5E-6
R5E_7	5E-7
R5E_8	5E-8
R5E_9	5E-9
ALTERNATE	Alternate
PROGRATE	Programable rate

機 能　エラー付加タイミングを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME] <“FMEMory”> 以外時。

・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>
コンカチネーションマッピングルート以外選択時。

・:SOURce:FMEMory:ERRor:TYPE <OFF>選択時。

使用例　エラー付加タイミングを All に設定する場合。

> :SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:TYPE ALL

:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:TYPE?

レスポンス　<timing> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　エラー付加タイミング設定を問い合わせます。

使用例　エラー付加タイミング設定の問い合わせをする場合。

> :SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:TYPE?

< ALL

:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:ERRor <error>

パラメータ　<error> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0 ～ 8000　　ステップ値 1

機 能　Alternate 時のエラー付加フレーム数を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME] <“FMEMory”> 以外時。

・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>
コンカチネーションマッピングルート以外選択時。

・ :SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:TYPE <ALTERNATE>以外の設定時。

使用例　Alternate 時のエラー付加フレーム数を 3000 に設定する場合。
> :SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:ERRor 3000

:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:ERRor?

レスポンス　<error> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　Alternate 時のエラー付加フレーム数を問い合わせます。
使用例　Alternate 時のエラー付加フレーム数の問い合わせをする場合。
> :SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:ERRor?
< 3000

:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:PROGrate <error>

パラメータ　<error> = <STRING PROGRAM DATA>
“1.0E-2” ～ “9.9E-10” 仮数部 1.0 ～ 9.9　ステップ値 0.1
指数部 1 ～ 10　ステップ値 1
“1.0E-2”は“1E-2”でも可
機 能　Prog. Rate エラー付加での付加値を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] <“FMEMory”> 以外時。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>
コンカチネーションマッピングルート以外選択時。
・:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:TYPE <PROGRATE>以外の設定時。
使用例　Prog. Rate エラー付加での付加値を 1.0E-5 に設定する場合。
> :SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:PROGrate “1.0E-5”

:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:PROGrate?

レスポンス　<error> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　Prog. Rate エラー付加での付加値設定を問い合わせます。
使用例　Prog. Rate エラー付加での付加値設定を問い合わせる場合。
> :SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:PROGrate?
< “1.0E-5”

:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:NORMal <normal>

パラメータ　<normal> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 8000　ステップ値 1
機 能　Alternate 時のノーマル付加フレーム数を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] <“FMEMory”> 以外時。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>
・コンカチネーションマッピングルート以外選択時。
・:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:TYPE <ALTERNATE>以外の設定時。
使用例　ノーマル付加フレーム数を 1700 に設定する場合。
> :SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:NORMal 1700

:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:NORMal?

レスポンス　<normal> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　Alternate 時のノーマル付加フレーム数を問い合わせます。

使用例　Alternate 時のノーマル付加フレーム数の問い合わせをする場合。
> :SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:NORMal?
< 1700

:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:BURSt:BIT <bit>

パラメータ　<bit> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64000　ステップ値 1
機 能　エラー挿入ビット数を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] <“FMEMory”> 以外時。
・:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>
コンカチネーションマッピングルート以外選択時。
・:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:TYPE <BURST>以外の設定時。
使用例　エラー挿入ビット数を 1000 に設定する場合。
> :SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:BURSt:BIT 1000

:SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:BURSt:BIT?

レスポンス　<bit> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　エラー挿入ビット数を問い合わせます。
使用例　エラー挿入ビット数の問い合わせをする場合。
> :SOURce:FMEMory:ERRor:TIMing:BURSt:BIT?
< 1000

:SOURce:OHTest:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

OHC	OH change
OHB	OH BERT
PTR64	PTR64frame
ADROP	OH Add/Drop

機 能　OH test 項目による切り替えを行います。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
使用例　OH test 項目を OH change に設定する場合。
> :SOURce:OHTest:TYPE OHC

:SOURce:OHTest:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　OH test 項目を問い合わせます。
使用例　OH test 項目の問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:TYPE?
< OHC

:SOURce:OHTest:STARt

パラメータ　なし
機 能　OHTest を開始します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<OHC>以外の設定時。

使用例　　> :SOURce:OHTest:STARt

:SOURce:OHTest:STOP

パラメータ　　なし
機 能　　OHTest を解除します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<OHC>以外の設定時。
使用例　　> :SOURce:OHTest:STOP

:SOURce:OHTest:STATe?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0	OH パターン挿入停止中
1	OH パターン挿入中

機 能　　OHTest 状態を問い合わせます。
使用例　　> :SOURce:OHTest:STATe?
< 0

:SOURce:OHTest:OHCHange:TYPE <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）

SOH1B	SOH 1byte
POH1B	POH 1byte
K1K2	K1/K2
RSOH	RSOH
MSOH	MSOH
SOH	SOH
POH	POH

（SONET）

TOH1B	TOH 1byte
POH1B	POH 1byte
K1K2	K1/K2
RTOH	RTOH
MTOH	MTOH
TOH	TOH
POH	POH

機 能　　OH change の変更タイプを設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<OHC>以外の設定時。
使用例　　OH change の変更タイプを POH 1byte に設定する場合。
> :SOURce:OHTest:OHCHange:TYPE POH1B

:SOURce:OHTest:OHCHange:TYPE?

レスポンス　　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　　OH change の変更タイプを問い合わせます。

使用例　　OH change の変更タイプの問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:OHCHange:TYPE?
< POH1B

:SOURce:OHTest:OHCHange:POSition:SOH <posi>
:SOURce:OHTest:OHCHange:POSition:TOH <posi>

パラメータ　　<posi> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

A11	A12	A13	A21	A22	A23	J0 Z01	X18	X19
X21	X22	X23	E1 X24	X25	X26	F1 X27	X28	X29
D1 X31	X32	X33	D2 X34	X35	X36	D3 X37	X38	X39
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	X54	X55	X56	X57	X58	X59
D4 X61	X62	X63	D5 X64	X65	X66	D6 X67	X68	X69
D7 X71	X72	X73	D8 X74	X75	X76	D9 X77	X78	X79
D10 X81	X82	X83	D11 X84	X85	X86	D12 X87	X88	X89
S1 Z11	Z12	Z13	Z21	Z22	M1 Z23	E2 X97	X98	X99

(SONET)

A11	A12	A13	A21	A22	A23	J0 Z01	Z02	Z03
X21	X22	X23	E1 X24	X25	X26	F1 X27	X28	X29
D1 X31	X32	X33	D2 X34	X35	X36	D3 X37	X38	X39
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	X54	X55	X56	X57	X58	X59
D4 X61	X62	X63	D5 X64	X65	X66	D6 X67	X68	X69
D7 X71	X72	X73	D8 X74	X75	X76	D9 X77	X78	X79
D10 X81	X82	X83	D11 X84	X85	X86	D12 X87	X88	X89
S1 Z11	Z12	Z13	Z21	Z22	M1 Z23	E2 X97	X98	X99

機 能　　OH change SOH 1byte[TOH 1byte], 変更バイト位置を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。

- :DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
- :SOURce:OHTest:TYPE<OHC>以外の設定時。
- :SOURce:OHTest:OHCHange:TYPE <SOH1B>または<TOH1B>以外の設定時。

使用例　　OH change の変更する位置を Z12 に設定する場合。
> :SOURce:OHTest:OHCHange:POSition:SOH Z12

:SOURce:OHTest:OHCHange:POSition:SOH?
:SOURce:OHTest:OHCHange:POSition:TOH?

レスポンス　　<posi> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　　OH change の変更バイト位置を問い合わせます。
使用例　　OH change 変更バイト位置設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:OHCHange:POSition:SOH?
<　Z12

:SOURce:OHTest:OHCHange:POSition:POH <vctype>,<posi>

パラメータ　　<vctype > = <CHARACTER PROGRAM DATA>
（SDH）
VC4　　POH VC4 パターン
VC3　　POH VC3 パターン
VC1　　POH VC2/1 パターン
（SONET）
STS3　　POH STS3 パターン
STS1　　POH STS1 パターン
VT　　POH VT パターン

<posi> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）	J1	C2	G1	F2	H4	F3	K3	N1	J2	N2	K4
（SONET）	J1	C2	G1	F2	H4	Z3	Z4	Z5	J2	Z6	Z7

機 能　　OH change　POH 1byte,POH の変更バイト位置を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<OHC>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:OHCHange:TYPE <POH1B>以外の設定時。
・VC4[STS3]は，:SOURce:TELecom:MAPPing:AU の設定が<AU3>時。
・VC3[STS1]は，:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <VC4_ASY>, <VC4_BLK>または<ST3_ASY>,< ST3_BLK>選択時。
・VC3[STS1]は，:SOURce:TELecom:MAPPing:AU の設定が<AU4>時かつ:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>の設定が下記の Mapping 選択時。
6M（Async.）, 6M（Bitsync.）, VC2-mc, VC2-Bulk, 2M（Async.）, 2M（Bitsync.F）, 2M（Bitsync.L）, 2M（Bytesync.F）, 2M（Bytesync.L）, VC12-Bulk, 1.5M（Async.）, 1.5M（Bitsync.F）, 1.5M（Bitsync.L）, 1.5M（Bytesync.F）, 1.5M（Bytesync.L）, VC11-Bulk, Byte（Data）, Byte（Voice）, 384k（Data）, 384k（Voice）
・VC2/1[VT]は，:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>の設定が下記の Mapping 選択時。
139M（Async.）, VC4-Bulk, 34M（Async.）, 34M（Sync.）, 45M（Async.）VC3-Bulk, 2M（Bitsync.L）, 2M（Bytesync.L）, 1.5M（Bitsync.L）, 1.5M（Bytesync.L）

使用例　　OH change の変更タイプが POH 1byte のとき，変更する位置を VC4 の J1 に設定する場合。
> :SOURce:OHTest:OHCHange:POSition:POH VC4,J1

:SOURce:OHTest:OHCHange:POSition:POH?

レスポンス　<vctype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
<posi> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　OH change の変更バイト位置を問い合わせます。

使用例　OH change 変更バイト位置設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:OHCHange:POSition:POH?
< VC4, J1

:SOURce:OHTest:OHCHange:CHANel <ch>

パラメータ　<ch> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　ステップ値 1

機 能　OH change SOH 1byte[TOH 1byte], RSOH[RTOH], MSOH[MTOH], SOH[TOH]の変更チャネル位置を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<OHC>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:OHCHange:TYPE の設定が<SOH1B>,<TOH1B>, <POH1B>,<RSOH>,<RTOH>,<MSOH>,<MTOH>,<SOH>,<TOH>以外のとき。

使用例　OH change の変更タイプ RSOH のとき，変更チャネル位置を 7 に設定する場合。
> :SOURce:OHTest:OHCHange:CHANel 7

:SOURce:OHTest:OHCHange:CHANel?

レスポンス　<ch> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　OH change SOH 1byte[TOH 1byte], RSOH[RTOH], MSOH[MTOH], SOH[TOH]の変更チャネル位置を問い合わせます。

使用例　OH change の変更タイプ RSOH のとき，変更チャネル位置の問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:OHCHange:CHANel?
< 7

:SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:A:FRAMe <frame>

パラメータ　<frame> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　送出フレーム数　ステップ値 1

機 能　OH change A パターンの送出フレーム数を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<OHC>以外の設定時。

使用例　OH change A パターンの送出フレーム数を 2 に設定をする場合。
> :SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:A:FRAMe 2

:SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:A:FRAMe?

レスポンス　<frame> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　OH change A パターンの送出フレーム数の設定を問い合わせます。

使用例　OH change A パターンの送出フレーム数の設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:A:FRAMe?
< 2

:SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:A:TIME <count>

パラメータ　<count> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 8000　送出回数　ステップ値 1

機 能　OH change A パターンの送出回数を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<OHC>以外の設定時。

使用例　OH change A パターンの送出回数を 50 に設定をする場合。
> :SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:A:TIME 50

:SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:A:TIME?

レスポンス　<count> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　OH change A パターンの送出回数の設定を問い合わせます。

使用例　OH change A　送出回数の設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:A:TIME?
< 50

:SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:B:FRAMe <frame>

パラメータ　<frame> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　送出フレーム数　ステップ値 1

機 能　OH change B パターンの送出フレーム数を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<OHC>以外の設定時。

使用例　OH change B パターンの送出フレーム数を 2 に設定をする場合。
> :SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:B:FRAMe 2

:SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:B:FRAMe?

レスポンス　<frame> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　OH change B パターンの送出フレーム数の設定を問い合わせます。

使用例　OH change B パターンの送出フレーム数の設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:B:FRAMe?
< 2

:SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:B:TIME <count>

パラメータ　<count> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 8000　送出回数　ステップ値 1

機 能　OH change B パターンの送出回数を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<OHC>以外の設定時。

使用例　OH change B パターンの送出回数を 50 に設定をする場合。
> :SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:B:TIME 50

:SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:B:TIME?

レスポンス　<count> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　OH change B 送出回数の設定を問い合わせます。

使用例　　OH change B パターンの送出回数の設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:OHCHange:SEQuence:B:TIME?
<　50

:SOURce:OHTest:OHBert:TYPE <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

OFF	OFF
SOH1B	SOH 1byte
POH1B	POH 1byte
DRSect	D1-D3
DMSect	D4-D12

(SONET)

OFF	OFF
TOH1B	TOH 1byte
POH1B	POH 1byte
DRSect	D1-D3
DMSect	D4-D12

機 能　　OH Bert の変更タイプを設定します。

制 約　　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<OHB>以外の設定時。

使用例　　OH Bert の変更タイプを POH 1byte に設定する場合。
> :SOURce:OHTest:OHBert:TYPE POH1B

:SOURce:OHTest:OHBert:TYPE?

レスポンス　　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　OH Bert の変更タイプを問い合わせます。

使用例　　OH Bert の変更タイプの問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:OHBert:TYPE?
< POH1B

:SOURce:OHTest:OHBert:POSition:SOH <posi>
:SOURce:OHTest:OHBert:POSition:TOH <posi>

パラメータ　<posi> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）

A11	A12	A13	A21	A22	A23	J0 Z01	X18	X19
X21	X22	X23	E1 X24	X25	X26	F1 X27	X28	X29
D1 X31	X32	X33	D2 X34	X35	X36	D3 X37	X38	X39
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	X54	X55	X56	X57	X58	X59
D4 X61	X62	X63	D5 X64	X65	X66	D6 X67	X68	X69
D7 X71	X72	X73	D8 X74	X75	X76	D9 X77	X78	X79
D10 X81	X82	X83	D11 X84	X85	X86	D12 X87	X88	X89
S1 Z11	Z12	Z13	Z21	Z22	M1 Z23	E2 X97	X98	X99

（SONET）

A11	A12	A13	A21	A22	A23	J0 Z01	Z02	Z03
X21	X22	X23	E1 X24	X25	X26	F1 X27	X28	X29
D1 X31	X32	X33	D2 X34	X35	X36	D3 X37	X38	X39
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	X54	X55	X56	X57	X58	X59
D4 X61	X62	X63	D5 X64	X65	X66	D6 X67	X68	X69
D7 X71	X72	X73	D8 X74	X75	X76	D9 X77	X78	X79
D10 X81	X82	X83	D11 X84	X85	X86	D12 X87	X88	X89
S1 Z11	Z12	Z13	Z21	Z22	M1 Z23	E2 X97	X98	X99

機 能　OH Bert SOH 1byte[TOH 1byte], 変更バイト位置を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<OHB>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:OHBert:TYPE<SOH1B>,<TOH1B>以外の設定時。

使用例　OH Bert の変更する位置を Z12 に設定する場合。

> :SOURce:OHTest:OHBert:POSition:SOH Z12

:SOURce:OHTest:OHBert:POSition:SOH?
:SOURce:OHTest:OHBert:POSition:TOH?

レスポンス　<posi> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　OH Bert の変更バイト位置を問い合わせます。

使用例　OH Bert 変更バイト位置設定の問い合わせをする場合。

> :SOURce:OHTest:OHBert:POSition:SOH?

<　Z12

:SOURce:OHTest:OHBert:POSition:POH <vctype>,<posi>

パラメータ　< vctype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）

VC4	POH VC4 パターン
VC3	POH VC3 パターン
VC1	POH VC2/1 パターン

（SONET）

STS3	POH STS3 パターン
STS1	POH STS1 パターン
VT	POH VT パターン

<posi> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）	J1	C2	G1	F2	H4	F3	K3	N1	J2	N2	K4
（SONET）	J1	C2	G1	F2	H4	Z3	Z4	Z5	J2	Z6	Z7

機 能　OH Bert POH 1byte,POH の変更バイト位置を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<OHB>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:OHBert:TYPE<POH1B>以外の設定時。
・VC4[STS3]は，:SOURce:TELecom:MAPPing:AU の設定が<AU3>時。
・VC3[STS1]は，:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <VC4_ASY>,
・<VC4_BLK>または<ST3_ASY>,< ST3_BLK>選択時。
・VC3[STS1]は，:SOURce:TELecom:MAPPing:AU の設定が<AU4>時かつ:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>の設定が下記の Mapping 選択時。
　6M（Async.）, 6M（Bitsync.）, VC2-mc, VC2-Bulk, 2M（Async.）, 2M（Bitsync.F）, 2M（Bitsync.L）, 2M（Bytesync.F）, 2M（Bytesync.L）, VC12-Bulk, 1.5M（Async.）, 1.5M（Bitsync.F）, 1.5M（Bitsync.L）, 1.5M（Bytesync.F）, 1.5M（Bytesync.L）, VC11-Bulk, Byte（Data）, Byte（Voice）, 384k（Data）, 384k（Voice）
・VC2/1[VT]は，:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>の設定が下記の Mapping 選択時。
　139M（Async.）, VC4-Bulk, 34M（Async.）, 34M（Sync.）, 45M（Async.）VC3-Bulk, 2M（Bitsync.L）, 2M（Bytesync.L）, 1.5M（Bitsync.L）, 1.5M（Bytesync.L）

使用例　OH Bert の変更タイプが POH 1byte のとき，変更する位置を VC4 の J1 に設定する場合。

> :SOURce:OHTest:OHBert:POSition:POH VC4,J1

:SOURce:OHTest:OHBert:POSition:POH?

レスポンス　<vctype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
<posi> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　OH Bert の変更バイト位置を問い合わせます。

使用例　OH Bert 変更バイト位置設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:OHBert:POSition:POH?
< VC4, J1

:SOURce:OHTest:OHBert:CHANel <ch>

パラメータ　<ch> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　ステップ値 1

機 能　OH Bert SOH 1byte 変更チャネル位置を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<OHB>以外の設定時。
・SOURce:OHTest:OHBert:TYPE<SOH1B>,<TOH1B>以外の設定時。

使用例　OH Bert の SOH 1byte のとき，変更チャネル位置を 7 に設定する場合。
> :SOURce:OHTest:OHBert:CHANel 7

:SOURce:OHTest:OHBert:CHANel?

レスポンス　<ch> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　OH Bert の SOH 1byte のとき，変更チャネル位置を問い合わせます。

使用例　OH Bert の SOH 1byte のとき，変更チャネル位置の問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:OHBert:CHANel?
< 7

:SOURce:OHTest:ADRop:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）

OFF	OFF
SOH1B	SOH 1byte
POH1B	POH 1byte
DRSect	D1-D3
DMSect	D4-D12

（SONET）

OFF	OFF
TOH1B	TOH 1byte
POH1B	POH 1byte
DRSect	D1-D3
DMSect	D4-D12

機 能　OH Add タイプを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<ADROP>以外の設定時。

使用例　OH Add タイプを POH 1byte に設定する場合。
> :SOURce:OHTest:ADRop:TYPe POH1B

:SOURce:OHTest:ADRop:TYPE?

レスポンス　　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　OH Add タイプを問い合わせます。

使用例　　OH Add タイプの問い合わせをする場合。

> :SOURce:OHTest:ADRop:TYPE?

< POH1B

:SOURce:OHTest:ADRop:POSition:SOH <posi>
:SOURce:OHTest:ADRop:POSition:TOH <posi>

パラメータ　　<posi> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

A11	A12	A13	A21	A22	A23	J01 Z01	X18	X19
X21	X22	X23	E1 X24	X25	X26	F1 X27	X28	X29
D1 X31	X32	X33	D2 X34	X35	X36	D3 X37	X38	X39
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	X54	X55	X56	X57	X58	X59
D4 X61	X62	X63	D5 X64	X65	X66	D6 X67	X68	X69
D7 X71	X72	X73	D8 X74	X75	X76	D9 X77	X78	X79
D10 X81	X82	X83	D11 X84	X85	X86	D12 X87	X88	X89
S1 Z11	Z12	Z13	Z21	Z22	M1 Z23	E2 X97	X98	X99

(SONET)

A11	A12	A13	A21	A22	A23	J0 Z01	Z02	Z03
X21	X22	X23	E1 X24	X25	X26	F1 X27	X28	X29
D1 X31	X32	X33	D2 X34	X35	X36	D3 X37	X38	X39
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	X54	X55	X56	X57	X58	X59
D4 X61	X62	X63	D5 X64	X65	X66	D6 X67	X68	X69
D7 X71	X72	X73	D8 X74	X75	X76	D9 X77	X78	X79
D10 X81	X82	X83	D11 X84	X85	X86	D12 X87	X88	X89
S1 Z11	Z12	Z13	Z21	Z22	M1 Z23	E2 X97	X98	X99

機 能　　OH Add SOH 1byte[TOH 1byte]の変更バイト位置を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<ADROP>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:ADRop:TYPE の設定が<SOH1B>,<TOH1B>以外の設定時。

使用例　　OH Add の変更タイプを SOH 1byte のとき，変更する位置を X85 に設定する場合。
> :SOURce:OHTest:ADRop:POSition:SOH X85

:SOURce:OHTest:ADRop:POSition:SOH?
:SOURce:OHTest:ADRop:POSition:TOH?

レスポンス　　<posi> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　OH Add の変更バイト位置の設定を問い合わせます。

使用例　　OH Add の変更バイト位置設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:ADRop:POSition:SOH?
< X85

:SOURce:OHTest:ADRop:POSition:POH <vctype>,<posi>

パラメータ　　< vctype > = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）

VC4	POH VC4 パターン
VC3	POH VC3 パターン
VC1	POH VC2/1 パターン

（SONET）

STS3	POH STS3 パターン
STS1	POH STS1 パターン
VT	POH VT パターン

<posi> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）	J1	C2	G1	F2	H4	F3	K3	N1	J2	N2	K4
（SONET）	J1	C2	G1	F2	H4	Z3	Z4	Z5	J2	Z6	Z7

機 能　　OH Add POH 1byte,POH の変更バイト位置を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<ADROP>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:ADRop:TYPE の設定が<POH1B>以外の設定時。
・VC4[STS3]は，:SOURce:TELecom:MAPPing:AU の設定が<AU3>時。
・VC3[STS1]は，:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <VC4_ASY>, <VC4_BLK>または<ST3_ASY>,< ST3_BLK>選択時。
・VC3[STS1]は，:SOURce:TELecom:MAPPing:AU の設定が<AU4>時かつ，:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>の設定が下記の Mapping 選択時。
6M（Async.）, 6M（Bitsync.）, VC2-mc, VC2-Bulk, 2M（Async.）, 2M（Bitsync.F）, 2M（Bitsync.L）, 2M（Bytesync.F）, 2M（Bytesync.L）, VC12-Bulk, 1.5M（Async.）, 1.5M（Bitsync.F）, 1.5M（Bitsync.L）, 1.5M（Bytesync.F）, 1.5M（Bytesync.L）, VC11-Bulk, Byte（Data）, Byte（Voice）, 384k（Data）, 384k（Voice）

・VC2/1[VT]は，:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>の設定が下記の Mapping 選択時。
139M（Async.）, VC4-Bulk, 34M（Async.）, 34M（Sync.）, 45M（Async.）VC3-Bulk, 2M（Bitsync.L）, 2M（Bytesync.L）, 1.5M（Bitsync.L）, 1.5M（Bytesync.L）

使用例　OH Add の変更タイプが POH 1byte のとき，変更する位置を VC4 の J1 に設定する場合。
> :SOURce:OHTest:ADRop:POSition:POH VC4,J1

:SOURce:OHTest:ADRop:POSition:POH?

レスポンス　<vctype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
<posi> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　OH Add の変更バイト位置を問い合わせます。

使用例　OH Add 変更バイト位置設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:ADRop:POSition:POH?
< VC4, J1

:SOURce:OHTest:ADRop:CHANel <ch>

パラメータ　<ch> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　　ステップ値 1

機 能　OH Add SOH 1byte[TOH 1byte]の変更チャネル位置を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<ADROP>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:ADRop:TYPE の設定が<SOH1B>,<TOH1B>以外の設定時。

使用例　OH Add SOH 1byte のとき，変更チャネル位置を 7 に設定する場合。
> :SOURce:OHTest:ADRop:CHANel 7

:SOURce:OHTest:ADRop:CHANel?

レスポンス　<ch> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　OH Add の SOH 1byte のとき，変更チャネル位置を問い合わせます。

使用例　OH Add の SOH 1byte のとき，変更チャネル位置の問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:ADRop:CHANel?
< 7

:SOURce:OHTest:PTR64:SEQuence:FRAMe <frame>

パラメータ　<frame> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　　送出フレーム数　ステップ値 1

機 能　PTR64 frame 送出フレーム数を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE <PTR64>以外の設定時。

使用例　PTR64 frame 2 フレームに設定する場合。
> :SOURce:OHTest:PTR64:SEQuence:FRAMe 2

:SOURce:OHTest:PTR64:SEQuence:FRAMe?

レスポンス　　<frame> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　PTR64 frame 送出フレーム数の設定を問い合わせます。
使用例　　PTR64 frame 送出フレーム数の設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:PTR64:SEQuence:FRAMe?
< 2

:SOURce:OHTest:PTR64:SEQuence:MODE <mode>

パラメータ　　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
SINGLE　　Single
REPEAT　　Repeat
機 能　　PTR64 frame 送出モードを設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE <PTR64>以外の設定時。
使用例　　PTR64 frame 送出モード Single に設定する場合。
> :SOURce:OHTest:PTR64:SEQuence:MODE SINGLE

:SOURce:OHTest:PTR64:SEQuence:MODE?

レスポンス　　<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　　PTR64 frame 送出モードの設定を問い合わせます。
使用例　　PTR64 frame 送出モードの設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:FRAMe64:SEQuence:MODE?
<　SINGLE

:SOURce:OHTest:PTR64:PTR <point>

パラメータ　　<point> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
（SDH）
AU
TU
（SONET）
STS
VT
機 能　　PTR64 frame ポインタを設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE <PTR64>以外の設定時。
・TU [VT]の設定については,
:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>の設定が下記の
Mapping 選択時。
VC4-139M（Async.）, VC4-Bulk, 2M（Bitsync.L）, 2M（Bytesync.L）
1.5M（Bitsync.L）,1.5M（Bytesync.L）AU3-VC3-45M（Async.）
AU3-VC3-VC3_Bulk
使用例　　PTR64 frame ポインタを TU に設定する場合。
> :SOURce:OHTest:PTR64:PTR TU

:SOURce:OHTest:PTR64:PTR?

レスポンス　<point> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　PTR64 frame ポインタの設定を問い合わせます。
使用例　PTR64 frame ポインタの設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:OHTest:FRAMe64:PTR?
< TU

:SOURce:IPTest:STARt

パラメータ　無し
機 能　IP test の Packet の送信を開始します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。
使用例　Packet 送信の開始設定をする場合。
> :SOURce:IPTest:SEQuence:STARt

:SOURce:IPTest:STOP

パラメータ　無し
機 能　IP test の Packet の送信を停止します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。
使用例　Packet 送信の停止設定をする場合。
> :SOURce:IPTest:SEQuence:STOP

:SOURce:IPTest:STATe?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0　アラーム挿入停止中
1　アラーム挿入中
機 能　IP test の Packet 送信状態を問い合わせます。
使用例　> :SOURce:IPTest:STATe?
< 0

:SOURce:IPTest:SEQuence:MODE <mode>

パラメータ　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
SINGLE　Single
REPEAT　Repeat
機 能　IP test における測定モードと回数を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。
使用例　測定モードを Single に設定する場合。
> :SOURce:IPTest:SEQuence:MODE SINGLE

:SOURce:IPTest:SEQuence:MODE?

レスポンス　<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　IP test における測定モードを問い合わせます。
使用例　> :SOURce:IPTest:SEQuence:MODE?
< SINGLE

:SOURce:IPTest:PACKset

パラメータ　なし
機 能　IP test を開始可能状態にする指示を行います。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。
使用例　IP test 開始可能状態にする場合。
＞:SOURce:IPTest:PACkset

:SOURce:IPTest:PACKet:LBYTe <L>

パラメータ　<L> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 100000　ステップ値 1byte
機 能　IP test で送信される PPP パケット間に挿入する Idle パターン（L）のバイト数を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。
使用例　Idle パターン（L）を 5000 バイトに設定する場合。
＞:SOURce:IPTest:PACKet:LBYTe 5000

:SOURce:IPTest:PACKet:LBYTe?

レスポンス　<L> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　Idle パターン（L）のバイト数の設定を問い合わせます。
使用例　> :SOURce:IPTest:PACKet:LBYTe?
< 5000

:SOURce:IPTest:PACKet:MBYTe <M>

パラメータ　<M> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 100000　ステップ値 1byte
機 能　IP test で送信される PPP パケット間に挿入する Idle パターン（M）のバイト数を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。
使用例　Idle パターン（M）を 5000 バイトに設定する場合。
> :SOURce:IPTest:PACKet:MBYTe 5000

:SOURce:IPTest:PACKet:MBYTe?

レスポンス　<M> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　Idle パターン（M）のバイト数の設定を問い合わせます。
使用例　> :SOURce:IPTest:PACKet:MBYTe?
< 5000

:SOURce:IPTest:PACKet:NBYTe <N>

パラメータ　<N> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 100000　ステップ値 1byte
機 能　IP test で送信される PPP パケット間に挿入する Idle パターン（N）のバイト数を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。
使用例　Idle パターン（N）を 5000 バイトに設定する場合。
> :SOURce:IPTest:PACKet:NBYTe 5000

:SOURce:IPTest:PACKet:NBYTe?

レスポンス　<N> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Idle パターン（N）のバイト数の設定を問い合わせます。

使用例　> :SOURce:IPTest:PACKet:NBYTe?
< 5000

:SOURce:IPTest:PACKet:NL <no>

パラメータ　<no> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

1	IP packet preset No.1
2	IP packet preset No.2
3	IP packet preset No.3

機 能　IP test で送信される PPP パケット（Idle NL 間）の種類を設定します。パケットの詳細内容に関する設定は Setup:IP packet 画面で行われます。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。

使用例　パケットの種類を 1 に設定する場合。
> :SOURce:IPTest:PACKet:NL 1

:SOURce:IPTest:PACKet:NL?

レスポンス　<no> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　IP test で送信される PPP パケット（Idle NL 間）の種類の設定を問い合わせます。

使用例　> :SOURce:IPTest:PACKet:NL?
< 1

:SOURce:IPTest:PACKet:LM <no>

パラメータ　<no> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

NON	設定しない
1	IP packet preset No.1
2	IP packet preset No.2
3	IP packet preset No.3

機 能　IP test で送信される PPP パケット（Idle LM 間）の種類を設定します。パケットの詳細内容に関する設定は Setup:IP packet 画面で行われます。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。

使用例　パケットの種類を 3 に設定する場合。
> :SOURce:IPTest:PACKet:LM 3

:SOURce:IPTest:PACKet:LM?

レスポンス　<no> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　IP test で送信される PPP パケット（Idle LM 間）の種類の設定を問い合わせます。

使用例　> :SOURce:IPTest:PACKet:LM?
< 3

:SOURce:IPTest:PACKet:MN <no>

パラメータ　<no> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

NON	設定しない
1	IP packet preset No.1
2	IP packet preset No.2
3	IP packet preset No.3

機 能　IP test で送信される PPP パケット（Idle MN 間）の種類を設定します。
パケットの詳細内容に関する設定は Setup:IP packet 画面で行われます。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。

使用例　パケットの種類を NON に設定する場合。
> :SOURce:IPTest:PACKet:MN NON

:SOURce:IPTest:PACKet:MN?

レスポンス　<no> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　IP test で送信される PPP パケット（Idle MN 間）の種類の設定を問い合わせます。

使用例　> :SOURce:IPTest:PACKet:MN?
< NON

:SOURce:IPTest:ALARm:TYPE <alarm>

パラメータ　<alarm> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）

OFF	OFF
LOS	LOS

（SONET）

OFF	OFF
LOS	LOS

機 能　IP test 時におけるアラームの付加項目を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。

使用例　アラーム付加項目を LOS に設定する場合。
> :SOURce:IPTest:ALARm:TYPE LOS

:SOURce:IPTest:ALARm:TYPE?

レスポンス　<alarm> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　アラーム付加項目の設定を問い合わせます。

使用例　> :SOURce:IPTest:ALARm:TYPE?
< LOS

:SOURce:IPTest:ALARm:TIMing:TYPE <timing>

パラメータ　<timing> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

ALL	All

機 能　アラームを付加するタイミングを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。
・:SOURce:IPTest:ALARm:TYPE <OFF>の場合。
付加するアラームによりタイミングの設定が ALL のみの場合もあります。

使用例　　アラーム付加タイミングを All に設定する場合。
> :SOURce:IPTest:ALARm:TIMing:TYPE ALL

:SOURce:IPTest:ALARm:TIMing:TYPE?

レスポンス　　<timing> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　　アラーム付加タイミング設定を問い合わせます。
使用例　　> :SOURce:IPTest:ALARm:TIMing:TYPE?
< SINGLE

:SOURce:IPTest:ERRor:TYPE <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

OFF	OFF
B1	B1
B2	B2
HB3	HP-B3
LB3	LP-B3
BIP2	BIP2
MREI	MS-REI
HREI	HP-REI
FCS	FCS

(SONET)

OFF	OFF
B1	B1
B2	B2
HB3	HP-B3
LB3	LP-B3
BIP2	BIP2
REIL	REI-L
REIP	REI-P
FCS	FCS

機 能　　IP test 時における付加するエラー項目を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。
使用例　　エラー項目を B1 に設定する場合。
> :SOURce:IPTest:ERRor:TYPE B1

:SOURce:IPTest:ERRor:TYPE?

レスポンス　　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　　付加するエラー項目の設定を問い合わせます。
使用例　　> :SOURce:IPTest:ERRor:TYPE?
< B1

:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:TYPE <timing>

パラメータ　<timing> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

ONCE	Single error
R1E_3	1E-3
R1E_4	1E-4
R1E_5	1E-5
R1E_6	1E-6
R1E_7	1E-7
R1E_8	1E-8
R1E_9	1E-9
R1IN16	1 in 16
R2IN16	2 in 16
R3IN16	3 in 16
R4IN16	4 in 16
ALL	All
BURST	Burst
R5E_3	5E-3
R5E_4	5E-4
R5E_5	5E-5
R5E_6	5E-6
R5E_7	5E-7
R5E_8	5E-8
R5E_9	5E-9
ALTERNATE	Alternate
PROGRATE	Programmable rate

機 能　エラーを付加するタイミングを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。

・:SOURce:IPTest:ERRor:TYPE <OFF>の場合。

使用例　エラー付加タイミングを All に設定する場合。

> :SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:TYPE ALL

:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:TYPE?

レスポンス　<timing> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　エラーを付加するタイミングの設定を問い合わせます。

使用例　> :SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:TYPE?

< ALL

:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:ERRor <error>

パラメータ　<error> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0 ～ 8000　ステップ値 1

機 能　タイミングの設定が Alternate 時でのエラーを付加するフレーム数の設定を行います。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。

・:SOURce:IPTest:ERRor:TYPE <OFF>の場合。

・:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:TYPE <ALTERNATE>以外の場合。

使用例　　エラー付加フレーム数を 3000 に設定する場合。
> :SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:ERRor 3000

:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:ERRor?

レスポンス　　<error> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　Alternate 時でのエラー付加フレーム数を問い合わせます。
使用例　　> :SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:ERRor?
< 3000

:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:PROGrate <error>

パラメータ　　<error> = <STRING PROGRAM DATA>
“1.0E-2” ～ “9.9E-10”　仮数部 1.0 ～ 9.9　ステップ値 0.1
指数部 1 ～ 10　　ステップ値 1
“1.0E-2”は” 1 E-2”でも可
機 能　　タイミングの設定が Programmable rate 時でのエラーを付加する値を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。
・:SOURce:IPTest:ERRor:TYPE <OFF>の場合。
・:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:TYPE <PROGRATE>以外の場合。
使用例　　Prog. Rate エラー付加での付加値を 1.0E-5 に設定する場合。
> :SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:PROGrate “1.0E-5”

:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:PROGrate?

レスポンス　　<error> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　　Programmable rate 時におけるエラー付加値の設定を問い合わせます。
使用例　　> :SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:PROGrate?
< “1.0E-5”

:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:NORMal <normal>

パラメータ　　<normal> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 8000　ステップ値 1
機 能　　タイミングの設定が Alternate 時におけるノーマル（アラームを付加しない）フレーム数を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。
・:SOURce:IPTest:ERRor:TYPE <OFF>の場合。
・:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:TYPE <ALTERNATE>以外の場合。
使用例　　ノーマルフレーム数を 1700 に設定する場合。
> :SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:NORMal 1700

:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:NORMal?

レスポンス　　<normal> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　タイミングの設定が Alternate 時におけるノーマル（アラームを付加しない）フレーム数を問い合わせます。
使用例　　> :SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:NORMal?
< 1700

:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:BURSt:BIT <bit>

パラメータ　<bit> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64000 ステップ値 1（bit）

機 能　タイミングの設定がBurst時でのエラーを挿入するビット数を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。
・:SOURce:IPTest:ERRor:TYPE <OFF>の場合。
・:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:TYPE <BURST>以外の場合。

使用例　エラーを挿入するビット数を 1000 に設定する場合。
> :SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:BURSt:BIT 1000

:SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:BURSt:BIT?

レスポンス　<bit> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　エラーを挿入するビット数を問い合わせます。

使用例　> :SOURce:IPTest:ERRor:TIMing:BURSt:BIT?
< 1000

:SOURce:APSTest:SEQuence:FRAMe <frame>

パラメータ　<frame> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　送出フレーム数　ステップ値 1

機 能　APS test 送出パターン数を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“APSTest”>以外の設定時。

使用例　APS test 2 パターンに設定する場合。
> :SOURce:APSTest:SEQuence:FRAMe 2

:SOURce:APSTest:SEQuence:FRAMe?

レスポンス　<frame> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　APS test 送出パターン数の設定を問い合わせます。

使用例　APS test 送出パターン数の設定問い合わせをする場合。
> :SOURce:APSTest:SEQuence:FRAMe?
< 2

:SOURce:APSTest:SEQuence:MODE <mode>

パラメータ　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
SINGLE　Single
REPEAT　Repeat

機 能　APS test 送出モードを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“APSTest”>以外の設定時。

使用例　APS 送出モード Single に設定する場合。
> :SOURce:APSTest:SEQuence:MODE SINGLE

:SOURce:APSTest:SEQuence:MODE?

レスポンス　<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　APS test 送出モードの設定を問い合わせます。

使用例　APS test 送出モードの設定問い合わせをする場合。
> :SOURce:APSTest:SEQuence:MODE?
< SINGLE

:SOURce:APSTest:STARt

パラメータ　なし

機 能　APS test を開始します。
(Setup 画面：APS programmable data において設定したデータ送出を開始します)

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“APSTest”>以外の設定時。

使用例　> :SOURce:APSTest:STARt

:SOURce:APSTest:STOP

パラメータ　なし

機 能　APS test を停止します。
(Setup 画面：APS programmable data において設定したデータ送出を停止します)

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“APSTest”>以外の設定時。

使用例　> :SOURce:APSTest:STOP

:SOURce:APSTest:ALARm:TYPE <atype>

パラメータ　<atype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)	OFF	アラームを挿入しません。
	LOS	LOS を挿入します。
	LOF	LOF を挿入します。
	MAIS	MS-AIS を挿入します。
	MRDI	MS-RDI を挿入します。
	AAIS	AU-AIS を挿入します。
	ALOP	AU-LOP を挿入します。
	HRDI	HP-RDI を挿入します。
	HSLM	HP-HSLM を挿入します。
	HTIM	HP-HTIM を挿入します。
	HUNEQ	HP-UNEQ を挿入します。
	HVAIS	HP-VC-AIS を挿入します。
	HISF	HP-ISF を挿入します。
(SDH)	HFAS	HP-FAS を挿入します。
	HIAIS	HP-IncAIS を挿入します。
	HTRDI	HP-TC-RDI を挿入します。
	HODI	HP-ODI を挿入します。
	TAIS	TU-AIS を挿入します。
	TLOP	TU-LOP を挿入します。
	LRDI	LP-RDI を挿入します。
	LRFI	LP-RFI を挿入します。
	LSLM	LP-SLM を挿入します。
	LTIM	LP-TIM を挿入します。
	LUNEQ	LP-UNEQ を挿入します。
	TLOM	TU-LOM を挿入します。
	LVAIS	LP-VC-AIS を挿入します。
	LFAS	LP-FAS を挿入します。
	LIAIS	LP-IncAIS を挿入します。
	LTRDI	LP-TC-RDI を挿入します。
	LODI	LP-ODI を挿入します。

（SONET）	OFF	アラームを挿入しません。
	LOS	LOS を挿入します。
	LOF	LOF を挿入します。
	AISL	MS-AIS を挿入します。
	RDIL	MS-RDI を挿入します。
	AISP	AU-AIS を挿入します。
	LOPP	AU-LOP を挿入します。
	RDIP	HP-RDI を挿入します。
	SLMP	HP-HSLM を挿入します。
	TIMP	HP-HTIM を挿入します。
	UNEQP	HP-UNEQ を挿入します。
	HVAIS	HP-VC-AIS を挿入します。
	HISF	HP-ISF を挿入します。
	HFAS	HP-FAS を挿入します。
	HIAIS	HP-IncAIS を挿入します。
	HTRDI	HP-TC-RDI を挿入します。
	HODI	HP-ODI を挿入します。
	AISV	TU-AIS を挿入します。
	LOPV	TU-LOP を挿入します。
	RDIV	LP-RDI を挿入します。
	RFIV	LP-RFI を挿入します。
	SLMV	LP-SLM を挿入します。
	TIMV	LP-TIM を挿入します。
	UNEQV	LP-UNEQ を挿入します。
	LOMV	TU-LOM を挿入します。
	LVAIS	LP-VC-AIS を挿入します。
	LFAS	LP-FAS を挿入します。
	LIAIS	LP-IncAIS を挿入します。
	LTRDI	LP-TC-RDI を挿入します。
	LODI	LP-ODI を挿入します。

機 能　APS test に対して，挿入するアラームの種類を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“APSTest”>以外の設定時。

使用例　APS test に対して，LOS を挿入する場合。

> :SOURce:APSTest:ALARm:TYPE LOS

:SOURce:APSTest:ALARm:TYPE?

レスポンス　<atype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　APS test に対して，挿入するアラームの種類を問い合わせます。

使用例　APS test に対して，挿入するアラームの種類を問い合わせる場合。

> :SOURce:APSTest:ALARm:TYPE?

< LOS

:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
SINGLE
BURST
ALTERNATE
ALL

機 能　アラーム付加タイミングを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“APSTest”>以外の設定時。
・:SOURce:APSTest:ALARm:TYPE <OFF>設定時。
・:SOURce:APSTest:ALARm:TYPE の設定が
<HTRDI>,<HODI>,<LTRDI>,<LODI>の時<type>ALL 以外選択時。

使用例　アラーム付加タイミングを BURST に設定する場合。
> :SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:TYPE BURST

:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　アラーム付加タイミング設定を問い合わせます。

使用例　アラーム付加タイミング設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:TYPE?
< BURST

:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:ALARm <error>

パラメータ　<error> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0 ～ 8000	unit が Frame のとき	ステップ値 1
0 ～ 1000000	unit が μs のとき	ステップ値 125

機 能　Alternate 時のアラーム付加フレーム数を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“APSTest”>以外の設定時。
・:SOURce:APSTest:ALARm:TYPE <OFF>設定時。
・:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:TYPE <ALTERNATE>以外選択時

使用例　アラーム付加フレーム数を 3000 に設定する場合。
＞:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:ALARm 3000

:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:ALARm?

レスポンス　<error> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Alternate 時のアラーム付加フレーム数を問い合わせます。

使用例　Alternate 時のアラーム付加フレーム数の問い合わせをする場合。
> :SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:ALARm?
< 3000

:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:NORMal <normal>

パラメータ　<normal> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 8000	unit が Frame のとき	ステップ値 1
125 ～ 1000000	unit が μs のとき	ステップ値 125

機 能　Alternate 時のノーマル付加フレーム数を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“APSTest”>以外の設定時。
・:SOURce:APSTest:ALARm:TYPE <OFF>設定時。
・:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:TYPE <ALTERNATE>以外の選択時。

使用例　　ノーマル付加フレーム数を 1700 に設定する場合。
> :SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:NORMal 1700

:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:NORMal?

レスポンス　　<normal> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　　Alternate 時のノーマル付加フレーム数を問い合わせます。

使用例　　Alternate 時のノーマル付加フレーム数の問い合わせをする場合。
> :SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:NORMal?
< 1700

:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:ALTErnate <unit>

パラメータ　　<unit>=<CHARACTER PROGRAM DATA>
FRAME　frame
US　μs

機能　　アラーム挿入単位を設定します。

制約　　次の場合無効になります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<“APSTest”>以外の設定時。
・:SOURce:APSTest:ALARm:TYPE <OFF>設定時
・:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:TYPE <ALTERNATE>以外選択時

使用例　　アラーム挿入単位を frame に変更する場合。
> :SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:ALTErnate FRAME

SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:ALTErnate?

レスポンス　　<unit>=<CHARACTER RESPONSE DATA>

機能　　アラーム挿入単位設定を問い合わせます。

使用例　　> :SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:ALTErnate?
< FRAME

:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:BURSt <timing>, <unit>

パラメータ　　<timing> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 8000	unit が frame のとき	ステップ値 1
1 ～ 1000000	unit が μs のとき	ステップ値 125

<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
FRAME　frame
US　Ms

機 能　　アラーム挿入タイミング値と単位を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“APSTest”>以外の設定時。
・:SOURce:APSTest:ALARm:TYPE <OFF>設定時。
・:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:TYPE <BURST>以外の選択時。

使用例　　アラーム挿入タイミングを 5000 frame に設定する場合。
> :SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:BURSt 5000, FRAME

:SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:BURSt?

レスポンス	<timing> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> <unit> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能	アラーム挿入タイミング値と単位の設定を問い合わせます。
使用例	アラーム挿入タイミング値と単位設定の問い合わせをする場合。 > :SOURce:APSTest:ALARm:TIMing:BURSt? < 5000, FRAME

:SOURce:APSTest:ERRor:TYPE <etype>

パラメータ　<etype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)	OFF	エラーを挿入しません。
	B1	B1 を挿入します。
	B2	B2 を挿入します。
	HB3	HB3 を挿入します。
	LB3	LB3 を挿入します。
	BIP2	BIP2 を挿入します。
	MREI	MS-REI を挿入します。
	HREI	HP-REI を挿入します。
	HIEC	HP-IEC を挿入します。
	HTREI	HP-TC-REI を挿入します。
	HOEI	HP-OEI を挿入します。
	LREI	LP-REI を挿入します。
	LIEC	LP-IEC を挿入します。
	LTREI	LP-TC-REI を挿入します。
	LOEI	LP-OEI を挿入します。
	N2BIP2	N2_BIP2 を挿入します。
	FAS	FAS を挿入します。
	BALL	Bit all を挿入します。
	BIT139	Bit 139M を挿入します。
	BIT45	Bit 45M を挿入します。
	BIT34	Bit 34M を挿入します。
	BIT8	Bit 8M を挿入します。
	BIT2	Bit 2M を挿入します。
	BIT1_5	Bit 1.5M を挿入します。
	BINF	Bit info を挿入します。
	CODE	Code を挿入します。
	EBIT	Ebit を挿入します。
	FAS139	FAS 139M を挿入します。
	FAS45	FAS 45M を挿入します。
	FAS34	FAS 34M を挿入します。
	FAS8	FAS 8M を挿入します。
	FAS2	FAS 2M を挿入します。
	FAS1_5	FAS 1.5M を挿入します。
	REI139	REM 139M を挿入します。
	REI45	REM 45M を挿入します。
	REI34	REM 34M を挿入します。
	PLCPREI	REI PLCP を挿入します。
	PARITY	Parity を挿入します。
	CRC6	CRC-6 を挿入します。
	CBIT	Cbit を挿入します。
	BIP8	BIP8 を挿入します。
	PLCPFAS	FAS PLCP を挿入します。

(SONET)	OFF	エラーを挿入しません。
	B1	B1 を挿入します。
	B2	B2 を挿入します。
	HB3	HB3 を挿入します。
	LB3	LB3 を挿入します。
	BIP2	BIP2 を挿入します。
	REIL	MS-REI を挿入します。
	REIP	HP-REI を挿入します。
	HIEC	HP-IEC を挿入します。
	HTREI	HP-TC-REI を挿入します。
	HOEI	HP-OEI を挿入します。
	REIV	LP-REI を挿入します。
	LIEC	LP-IEC を挿入します。
	LTREI	LP-TC-REI を挿入します。
	LOEI	LP-OEI を挿入します。
	N2BIP2	N2_BIP2 を挿入します。
	FAS	FAS を挿入します。
	BALL	Bit all を挿入します。
	BIT139	Bit 139M を挿入します。
	BIT45	Bit 45M を挿入します。
	BIT34	Bit 34M を挿入します。
	BIT8	Bit 8M を挿入します。
	BIT2	Bit 2M を挿入します。
	BIT1_5	Bit 1.5M を挿入します。
	BINF	Bit info を挿入します。
	CODE	Code を挿入します。
	EBIT	Ebit を挿入します。
	FAS139	FAS 139M を挿入します。
	FAS45	FAS 45M を挿入します。
	FAS34	FAS 34M を挿入します。
	FAS8	FAS 8M を挿入します。
	FAS2	FAS 2M を挿入します。
	FAS1_5	FAS 1.5M を挿入します。
	REI139	REM 139M を挿入します。
	REI45	REM 45M を挿入します。
	REI34	REM 34M を挿入します。
	PLCPREI	REI PLCP を挿入します。
	PARITY	Parity を挿入します。
	CRC6	CRC-6 を挿入します。
	CBIT	Cbit を挿入します。
	BIP8	BIP8 を挿入します。
	PLCPFAS	FAS PLCP を挿入します。

機 能　APS test に対して，挿入するエラーの種類を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“APSTest”>以外の設定時。

使用例　34Mbit/s 信号にビットエラーを挿入する場合。

> :SOURce:APSTest:ERRor:TYPE BIT34

:SOURce:APSTest:ERRor:TYPE?

レスポンス　<etype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　APS test に対して，挿入するエラーの種類を問い合わせます。

使用例　APS test に対して，挿入するエラーの種類を問い合わせる場合。

> :SOURce:APSTest:ERRor:TYPE?

< BIT34

:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:TYPE <timing>

パラメータ　<timing> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

ONCE	Single error
R1E_3	1E-3
R1E_4	1E-4
R1E_5	1E-5
R1E_6	1E-6
R1E_7	1E-7
R1E_8	1E-8
R1E_9	1E-9
R1IN16	1 in 16
R2IN16	2 in 16
R3IN16	3 in 16
R4IN16	4 in 16
ALL	All
BURST	Burst
R5E_3	5E-3
R5E_4	5E-4
R5E_5	5E-5
R5E_6	5E-6
R5E_7	5E-7
R5E_8	5E-8
R5E_9	5E-9
ALTERNATE	Alternate
PROGRATE	Programable rate

機 能　エラー付加タイミングを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“APSTest”>以外の設定時。

・:SOURce:APSTest:ERRor:TYPE <OFF>設定時。

使用例　エラー付加タイミングを All に設定する場合。

> :SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:TYPE ALL

:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:TYPE?

レスポンス　<timing> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　エラー付加タイミング設定を問い合わせます。

使用例　エラー付加タイミング設定の問い合わせをする場合。

> :SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:TYPE?

< ALL

:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:ERRor <error>

パラメータ　<error> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 8000　ステップ値 1

機 能　Alternate 時のエラー付加フレーム数を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“APSTest”>以外の設定時。
・:SOURce:APSTest:ERRor:TYPE <OFF>設定時。
・:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:TYPE <ALTERNATE> 以外の設定時。

使用例　エラー付加フレーム数を 3000 に設定する場合。
> :SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:ERRor 3000

:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:ERRor?

レスポンス　<error> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Alternate 時のエラー付加フレーム数を問い合わせます。

使用例　Alternate 時のエラー付加フレーム数の問い合わせをする場合。
> :SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:ERRor?
< 3000

:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:PROGrate <error>

パラメータ　<error> = <STRING PROGRAM DATA>
“0.1E-10” ～ “1.9E-1” 仮数部 0.1 ～ 9.9　ステップ値 0.1
指数部 1 ～ 10　ステップ値 1
“1.0E-2”は“1E-2”でも可

機 能　Prog. Rate エラー付加での付加値を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“APSTest”>以外の設定時。
・:SOURce:APSTest:ERRor:TYPE <OFF>設定時。
・:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:TYPE <PROGRATE> 以外の設定時。

使用例　Prog. Rate エラー付加での付加値を 1.0E-5 に設定する場合。
> :SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:PROGrate “1.0E-5”

:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:PROGrate?

レスポンス　<error> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　Prog. Rate エラー付加での付加値の設定を問い合わせます。

使用例　Prog. Rate エラー付加での付加値設定の問い合わせをする場合。
> :SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:PROGrate?
< “1.0E-5”

:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:NORMal <normal>

パラメータ　<normal> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 8000　ステップ値 1

機 能　Alternate 時のノーマル付加フレーム数を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“APSTest”>以外の設定時。
・:SOURce:APSTest:ERRor:TYPE <OFF>設定時。
・:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:TYPE <ALTERNATE> 以外の設定時。

使用例　　ノーマル付加フレーム数を 1700 に設定する場合。
> :SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:NORMal 1700

:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:NORMal?

レスポンス　　<normal> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　Alternate 時のノーマル付加フレーム数を問い合わせます。
使用例　　Alternate 時のノーマル付加フレーム数の問い合わせをする場合。
> :SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:NORMal?
< 1700

:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:BURSt:BIT <bit>

パラメータ　　<bit> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64000　　ステップ値 1
機 能　　エラー挿入ビット数を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“APSTest”>以外の設定時。
・:SOURce:APSTest:ERRor:TYPE <OFF>設定時。
・:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:TYPE <BURST> 以外の設定時。
使用例　　エラー挿入ビット数を 1000 に設定する場合。
> :SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:BURSt:BIT 1000

:SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:BURSt:BIT?

レスポンス　　<bit> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　エラー挿入ビット数を問い合わせます。
使用例　　エラー挿入ビット数の問い合わせをする場合。
> :SOURce:APSTest:ERRor:TIMing:BURSt:BIT?
< 1000

:SOURce:STEst:STARt

パラメータ　　なし
機 能　　S1 Test を開始します。
（Setup 画面:S1 program data において設定したデータ送出を開始します。）
制 約　　次の場合無効となります。
:INSTrument:CONFig <type> の設定が<SDH_PDH>,<SONET_PDH>以外の場合。
測定モードが In-service 以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・:ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・オプション 22 が装着されていない場合。
使用例　　> :SOURce:STEst:STARt

:SOURce:STEst:STOP

パラメータ　　なし
機 能　　S1 Test を停止します。
（Setup 画面:S1 program data において設定したデータ送出を停止します。）

制 約　　次の場合無効となります。
:INSTrument:CONFig <type> の設定が<SDH_PDH>,<SONET_PDH>以外の場合。
測定モードが In-service 以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・:ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・オプション 22 が装着されていない場合。

使用例　　> :SOURce:STEst:STOP

:SOURce:STEst:STATe?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0　　S1 Program data 挿入停止状態
1　　S1 Program data 挿入中

機 能　　S1 Test の状態の問い合わせを行います。
(Setup:S1 program のデータ送出状態を問い合わせます。)

使用例　　> :SOURce:STEst:STATe?
< 0

:SOURce:STEst:SEQuence:FRAMe <frame>

パラメータ　　<frame> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　　送出フレーム数　ステップ値 1

機 能　　S1 test で送出するパターン数の設定を行います。

制 約　　次の場合無効となります。
:INSTrument:CONFig <type> の設定が<SDH_PDH>,<SONET_PDH>以外の場合。
測定モードが In-service 以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・:ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・オプション 22 が装着されていない場合。

使用例　　S1 test で送出するパターンを 2 パターンに設定する場合。
> :SOURce:STEst:SEQuence:FRAMe 2

:SOURce:STEst:SEQuence:FRAMe?

レスポンス　　<frame> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
:SOURce:STEst:SEQuence:FRAMe と同じ。

機 能　　S1 test で送出するパターン数の設定を問い合わせます。

使用例　　> :SOURce:STEst:SEQuence:FRAMe?
< 2

:SOURce:STEst:SEQuence:MODE <mode>

パラメータ　　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
SINGle　　Single
REPEat　　Repeat

機 能　　S1 test 送出方法の設定を行います。

制 約　　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> の設定が<SDH_PDH>, <SONET_PDH>以外の場合。
・測定モードが In-service 以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・:ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・オプション 22 が装着されていない場合。

使用例　　S1 送出方法を Single に設定する場合。
> :SOURce:STEst:SEQuence:MODE SING

:SOURce:STEst:SEQuence:MODE?

レスポンス　　<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
:SOURce:STEst:SEQuence:MODE と同じ。

機 能　　S1 test 送出方法の設定状態を問い合わせます。

使用例　　> :SOURce:STEst:SEQuence:MODE?
< SING

:SOURce:STEst:ALARm:TYPE <atype>

パラメータ　　<atype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
OFF　　アラームを挿入しない。
LOS　　LOS を挿入する。

機 能　　S1 test に対して，挿入するアラームの種類を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> の設定が<SDH_PDH>, <SONET_PDH>以外の場合。
・測定モードが In-service 以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・:ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・オプション 22 が装着されていない場合。

使用例　　S1 test に LOS を挿入する場合。
> :SOURce:STEst:ALARm:TYPE LOS

:SOURce:STEst:ALARm:TYPE?

レスポンス　　<atype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
:SOURce:STEst:ALARm:TYPE と同じ。

機 能　　S1 test に対して，挿入するアラームの種類を問い合わせます。

使用例　　> :SOURce:STEst:ALARm:TYPE?
< LOS

:SOURce:STEst:ALARm:TIMing:TYPE <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
ALL

機 能　　S1 test に対して，アラームを付加するタイミングの設定を行います。

制 約　　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> の設定が<SDH_PDH>,
・<SONET_PDH>以外の場合。
・測定モードが In-service 以外の場合。

・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・:ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・オプション 22 が装着されていない場合。
・:SOURce:STEst:ALARm:TYPE の設定が，<OFF>の場合。

使用例　付加タイミングを ALL に設定する場合。
> :SOURce:STEst:ALARm:TIMing:TYPE ALL

:SOURce:STEst:ALARm:TIMing:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
:SOURce:STEst:ALARm:TIMing:TYPE と同じ。

機 能　アラームを付加するタイミングの設定状態を問い合わせます。

使用例　> :SOURce:STEst:ALARm:TIMing:TYPE?
< ALL

:SOURce:STEst:ERRor:TYPE <etype>

パラメータ　<etype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

OFF	アラームを挿入しない。
B1	B1 を挿入する。
B2	B2 を挿入する。
BALL	Bit all を挿入する。

機 能　S1 test に対して，挿入するエラーの種類を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> の設定が<SDH_PDH>, <SONET_PDH>以外の場合。
・測定モードが In-service 以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・:ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・オプション 22 が装着されていない場合。

使用例　B1 エラーを挿入する場合。
> :SOURce:STEst:ERRor:TYPE B1

:SOURce:STEst:ERRor:TYPE?

レスポンス　<etype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
:SOURce:STEst:ERRor:TYPE と同じ。

機 能　S1 test に対して，挿入するエラーの種類を問い合わせます。

使用例　> :SOURce:STEst:ERRor:TYPE?

:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:TYPE <timing>

パラメータ　<timing> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

ONCE	Single error
R1E_3	1E-3
R1E_4	1E-4
R1E_5	1E-5
R1E_6	1E-6
R1E_7	1E-7
R1E_8	1E-8
R1E_9	1E-9

ALL	All
BURST	Burst
R5E_3	5E-3
R5E_4	5E-4
R5E_5	5E-5
R5E_6	5E-6
R5E_7	5E-7
R5E_8	5E-8
R5E_9	5E-9
ALTERNATE	Alternate
PROGRATE	Programable rate

機 能　S1 test に対して，エラーを付加するタイミングの設定を行います。

制 約　次の場合無効となります。

・:INSTrument:CONFig <type> の設定が<SDH_PDH>, <SONET_PDH>以外の場合。
・測定モードが In-service 以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・:ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・オプション 22 が装着されていない場合。
・:SOURce:STEst:ERRor:TYPE の設定が，<OFF>の場合。

使用例　エラーを付加するタイミングを All に設定する場合。

> :SOURce:STEst:ERRor:TIMing:TYPE ALL

:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:TYPE?

レスポンス　<timing> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:TYPE と同じ。

機 能　S1 test に対して，エラーを付加するタイミングの設定状態を問い合わせます。

使用例　> :SOURce:STEst:ERRor:TIMing:TYPE?

< ALL

:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:ERRor <error>

パラメータ　<error> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0 ～ 8000　ステップ値 1

機 能　エラーを付加するタイミングが Alternate 時において，エラーを挿入するフレーム数の設定を行います。

制 約　次の場合無効となります。

・:INSTrument:CONFig <type> の設定が<SDH_PDH>, <SONET_PDH>以外の場合。
・測定モードが In-service 以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・:ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・オプション 22 が装着されていない場合。
・:SOURce:STEst:ERRor:TYPE の設定が，<OFF>の場合。
・:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:TYPE の設定が<ALTERNATE>以外の場合。

使用例　　エラーを付加するフレーム数を 3000 に設定する場合。
> :SOURce:STEst:ERRor:TIMing:ERRor 3000

:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:ERRor?

レスポンス　　<error> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:ERRor と同じ。

機 能　　エラーを付加するタイミングが Alternate 時において，エラーを挿入するフレーム数を問い合わせます。

使用例　　> :SOURce:STEst:ERRor:TIMing:ERRor?
< 3000

:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:NORMal <normal>

パラメータ　　<normal> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 8000　　ステップ値 1

機 能　　エラーを付加するタイミングが Alternate 時において，エラー付加を行わないフレーム数を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> の設定が<SDH_PDH>, <SONET_PDH>以外の場合。
・測定モードが In-service 以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・:ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・オプション 22 が装着されていない場合。
・:SOURce:STEst:ERRor:TYPE の設定が，<OFF>の場合。
・:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:TYPE の設定が<ALTERNATE>以外の場合。

使用例　　Normal 付加フレーム数を 1700 に設定する場合。
> :SOURce:STEst:ERRor:TIMing:NORMal 1700

:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:NORMal?

レスポンス　　<normal> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:NORMal と同じ。

機 能　　エラーを付加するタイミングが Alternate 時において，エラー付加を行わないフレーム数を問い合わせます。

使用例　　> :SOURce:STEst:ERRor:TIMing:NORMal?
< 1700

:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:PROGrate <error>

パラメータ　　<error> = <STRING PROGRAM DATA>
“1.0E-3” ～ “9.9E-10”　　仮数部 1.0 ～ 9.9　ステップ値 0.1
指数部 1 ～ 10　　ステップ値 1
“1.0E-3”は“1E-3”でも設定可能です。

機 能　　Prog. Rate 時におけるエラー付加のタイミングを設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> の設定が<SDH_PDH>,
・<SONET_PDH>以外の場合。
・測定モードが In-service 以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。

・:ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・ :ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・ オプション 22 が装着されていない場合。
・ :SOURce:STEst:ERRor:TYPE の設定が，<OFF>の場合。
・ :SOURce:STEst:ERRor:TIMing:TYPE の設定が<PROGRATE>以外の場合。

使用例　エラーを付加する付加値を 1.0E-5 に設定する場合。
> :SOURce:STEst:ERRor:TIMing:PROGrate “1.0E-5”

:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:PROGrate?

レスポンス　<error> = <STRING RESPONSE DATA>
:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:PROGrate と同じ。

機 能　Prog. Rate 時におけるエラー付加のタイミングを問い合わせます。

使用例　> :SOURce:STEst:ERRor:TIMing:PROGrate?
< “1.0E-5”

:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:BURSt:BIT <bit>

パラメータ　<bit> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64000　　ステップ値 1

機 能　エラーを付加するタイミングが Burst 時において，エラー付加を行うビット数を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> の設定が<SDH_PDH>, <SONET_PDH>以外の場合。
・測定モードが In-service 以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・:ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・オプション 22 が装着されていない場合。
・:SOURce:STEst:ERRor:TYPE の設定が，<OFF>の場合。
・:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:TYPE の設定が<BURST>以外の場合。

使用例　エラーを挿入するビット数を 1000 に設定する場合。
> :SOURce:STEst:ERRor:TIMing:BURSt:BIT 1000

:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:BURSt:BIT?

レスポンス　<bit> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
:SOURce:STEst:ERRor:TIMing:BURSt:BIT と同じ。

機 能　エラーを付加するタイミングが Burst 時において，エラー付加を行うビット数を問い合わせます。

使用例　> :SOURce:STEst:ERRor:TIMing:BURSt:BIT?
< 1000

10.3.3　SENSe subsystem

SENSe サブシステムでは，受信側の設定や測定条件の設定を行います。以下に，機能，コマンド，およびパラメータの一覧表と，コマンドの詳細説明を示します。

機能	コマンド	パラメータ
Page 10-222		
受信信号のビットレートの設定	:SENSe:TELecom:BRATe	brate
受信信号のビットレートの問い合わせ	:SENSe:TELecom:BRATe?	
Page 10-222		
STM4,1,0 信号の抽出設定	:SENSe:TELecom:EXTRact:MODE	boolean
STM4,1,0 信号の抽出設定問い合わせ	:SENSe:TELecom:EXTRact:MODE?	
EXTRact を行うレート(インタフェース)の設定	:SENSe:TELecom:EXTRact:RATE	rate
EXTRact を行うレート(インタフェース)問い合わせ	:SENSe:TELecom:EXTRact:RATE ?	
入力の波長切り替えの設定	:SENSe:TELecom:EXTRact:INTerface	optical
入力の波長切り替えの問い合わせ	:SENSe:TELecom:EXTRact:INTerface?	
Page 10-224		
受信信号の SDH/SONET マッピングルートの設定	:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE	mtype
受信信号の SDH/SONET マッピングルートを問い合わせ	:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE?	
受信信号の SDH マッピングルートの AU ルートを選択	:SENSe:TELecom:MAPPing:AU	atype
受信信号の SDH マッピングルートの AU ルートを問い合わせ	:SENSe:TELecom:MAPPing:AU?	
送信信号の SONET マッピングルートの STS ルートを選択	:SENSe::TELecom:MAPPing:STS	stype
送信信号の SONET マッピングルートの STS ルート選択を問い合わせ	:SENSe:TELecom:MAPPing:STS?	
受信信号の SDH マッピングルートの TU ルートを選択	:SENSe:TELecom:MAPPing:TU	ttype
受信信号の SDH マッピングルートの TU ルートを問い合わせ	:SENSe:TELecom:MAPPing:TU?	
送信信号の SONET マッピングルートの VT ルートを選択	:SENSe:TELecom:MAPPing:VT	vtype
送信信号の SONET マッピングルートの VT ルート選択を問い合わせ	:SENSe:TELecom:MAPPing:VT?	
SDH/SONET の各ポイントでのチャネルの設定	:SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe	route numeric
SDH/SONET の各ポイントでのチャネルを問い合わせ	:SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe?	route
VC2/VT6SPE のコンカチチャネル数の設定	:SENSe:TELecom:MAPPing:MC	numeric
VC2/VT6SPE のコンカチチャネル数を問い合わせ	:SENSe:TELecom:MAPPing:MC?	

IP over SONET で使用するフレームメモリ受信のペイロード部分のディスクランブルを設定	:SENSe:TELecom:MAPPing:PAYLoad:DESCramble	descr
IP over SONET で使用するフレームメモリ受信のペイロード部分のディスクランブル設定を問い合わせ	:SENSe:TELecom:MAPPing:PAYLoad:DESCramble?	
受信 Signaling フレームの CH 数を設定	:SENSe:TELecom:MAPPing:SIG	sig
受信 Signaling フレームの CH 数を問い合わせ	:SENSe:TELecom:MAPPing:SIG?	

Page 10-230

DEMUX の最終段のビットレートを設定	:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe	mrate
DEMUX の最終段のビットレートを問い合わせ	:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe?	
各 DEMUX 段のチャネルの設定	:SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe	mrate numeric
各 DEMUX 段のチャネルを問い合わせ	:SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe?	mrate
64kbit/s の連続チャネルの設定	:SENSe:TELecom:DEMUX:N	numeric
64kbit/s の連続チャネルを問い合わせ	:SENSe:TELecom:DEMUX:N?	

Page 10-234

試験パターン(送受信)の設定	:SENSe:TELecom:PATTern[:TYPE]	pattern
試験パターン(送受信)の設定の問い合わせ	:SENSe:TELecom:PATTern[:TYPE]?	
試験パターン(送受信)のワードデータの設定	:SENSe:TELecom:PATTern:UWORd	string
試験パターン(送受信)のワードデータの設定を問い合わせ	:SENSe:TELecom:PATTern:UWORd?	

Page 10-235

試験パターン(受信)の反転設定	:SENse:TELecom:INVert	boolean
試験パターン反転の設定問い合わせ	:SENSe:TELecom:INVert?	

Page 10-235

CID pattern の設定	:SENSe:TELecom:CIDPattern	byte
CID pattern 設定の問い合わせ	:SENSe:TELecom:CIDPattern?	

Page 10-236

受信信号での試験信号のフレームを設定	:SENSe:TELecom:FRAMing	boolean
受信信号での試験信号のフレームを問い合わせ	:SENSe:TELecom:FRAMing?	

Page 10-236

測定モードの選択	:SENSe:TELecom:MMODe	service
測定モードの問い合わせ	:SENSe:TELecom:MMODe?	

Page 10-236

2M での CRC チェックの選択	:SENSe:TELecom:M2:CRC	boolean
2M での CRC チェックの問い合わせ	:SENSe:TELecom:M2:CRC?	
シグナリングマルチフレームの設定	:SENSe:TELecom:M2:SIGNaling	boolean

シグナリングマルチフレームの設定の問い合わせ	:SENSe:TELecom:M2:SIGNaling?	
受信 2M の信号の最大チャネル数を設定	:SENSe:TELecom:M2:MCHannel	numeric
受信 2M の信号の最大チャネル数を問い合わせ	:SENSe:TELecom:M2:MCHannel?	

Page 10-239

1.5M 信号のフレームの設定	:SENSe:TELecom:M1_5:FRAMed	frame
5M 信号のフレームの問い合わせ	:SENSe:TELecom:M1_5:FRAMed?	
1.5M 信号のコードの設定	:SENSe:TELecom:M1_5:CODE	code
5M 信号のコードの問い合わせ	:SENSe:TELecom:M1_5:CODE?	

Page 10-240

45M 信号のフレームの設定	:SENSe:TELecom:M45:FRAMed	frame
45M 信号のフレームの問い合わせ	:SENSe:TELecom:M45:FRAMed?	

Page 10-240

入力信号のレベルの設定	:SENSe:TELecom:IMODe	imode
入力信号のレベルの問い合わせ	:SENSe:TELecom:IMODe?	

Page 10-241

受信信号での DSX のケーブル長を設定	:SENSe:TELecom:DSX	dsx
受信信号での DSX のケーブル長を問い合わせ	:SENSe:TELecom:DSX?	

Page 10-241

測定モードの選択	:SENSe:MEASure:TYPE	mmode
測定モードの問い合わせ	:SENSe:MEASure:TYPE?	

Page 10-242

測定期間の設定	:SENSe:MEASure:PERiod	numeric suffix
測定期間の問い合わせ	:SENSe:MEASure:PERiod?	

Page 10-242

測定開始時刻の設定機能の ON/OFF を設定	:SENSe:MEASure:BTIMe:SET	Boolean
測定開始時刻の設定機能の ON/OFF を問い合わせ	:SENSe:MEASure:BTIMe:SET?	
測定開始時刻の設定機能の測定開始時刻を設定	:SENSe:MEASure:BTIMe:STARt	Year month Day hour Minute second
測定開始時刻の設定機能の測定開始時刻を問い合わせ	:SENSe:MEASure:BTIMe:STARt?	

Page 10-243

Bit エラー測定の有無の設定	:SENSe:MEASure:BERRor	boolean
Bit エラー測定の有無の問い合わせ	:SENSe:MEASure:BERRor?	

Page 10-244

測定状態の問い合わせ	:SENSe:MEASure:STATe?	

Page 10-244

:DISPlay:TMENu[:NAME] で指定した測定の開始	:SENSe:MEASure:STARt	

Page 10-244

現在実行中の測定の停止	:SENSe:MEASure:STOP	

Page 10-244

測定の開始時間の問い合わせ	:SENSe:MEASure:STIMe?	[type]

Page 10-245

測定の経過時間の問い合わせ	:SENSe:MEASure:ELAPsed?	[type]

Page 10-245

トラブルサーチのウエイトタイムの設定	:SENSe:MEASure:TSEarch:WTIMe	wtime
トラブルサーチのウエイトタイムの問い合わせ	:SENSe:MEASure:TSEarch:WTIMe?	
トラブルサーチの Mixed payload 機能の ON/OFF を設定	:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:MODE	boolean
トラブルサーチの Mixed payload 機能の設定を問い合わせ	:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:MODE?	
トラブルサーチの Mixed payload1 の測定マッピングルートを設定	:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad1:TYPE	ptype
トラブルサーチの Mixed payload1 の測定マッピングルートを問い合わせ	:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad1:TYPE?	
トラブルサーチの Mixed payload1 の測定マッピングルート TU ルートを設定	:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad1:TU	ttype
	:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad1:VT	ttype
トラブルサーチの Mixed payload1 の測定マッピングルート TU ルートを問い合わせ	:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad1:TU?	
	:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad1:VT?	
トラブルサーチの Mixed payload2 の測定マッピングルートを設定	:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad2:TYPE	ptype
トラブルサーチの Mixed payload2 の測定マッピングルートを問い合わせ	:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad2:TYPE?	
トラブルサーチの Mixed payload2 の測定マッピングルート TU ルートを設定	:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad2:TU	ttype
	:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad2:VT	ttype
トラブルサーチの Mixed payload2 の測定マッピングルート TU ルートを問い合わせ	:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad2:TU?	
	:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad2:VT?	

Page 10-249

Delay 測定の測定周期の設定	:SENSe:MEASure:DELay:PERiod	period
Delay 測定の測定周期の問い合わせ	:SENSe:MEASure:DELay:PERiod?	

Page 10-249

分析グラフの時間軸分解能の設定	:SENSe:MEASure:GRESolution	gres

分析グラフの時間軸分解能の設定を問い合わせ	:SENSe:MEASure:GRESolution?	

Page 10-249

Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定	:SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:MEAS	type mode
Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせ	:SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:MEAS?	Type
Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定	:SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:DETection	Type mode
Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせ	:SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:DETection?	Type
Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定	:SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:REMove	Type mode
Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせ	:SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:REMove?	Type
Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定	:SENSe:MEASure:ALARm:HP:MEAS	Type mode
Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせ	:SENSe:MEASure:ALARm:HP:MEAS?	Type
Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定	:SENSe:MEASure:ALARm:HP:DETection	type mode
Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせ	:SENSe:MEASure:ALARm:HP:DETection?	Type
Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定	:SENSe:MEASure:ALARm:HP:REMove	Type mode
Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせ	:SENSe:MEASure:ALARm:HP:REMove?	Type
Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定	:SENSe:MEASure:ALARm:LP:MEAS	Type mode
Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせ	:SENSe:MEASure:ALARm:LP:MEAS?	Type
Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定	:SENSe:MEASure:ALARm:LP:DETection	Type mode
Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせ	:SENSe:MEASure:ALARm:LP:DETection?	Type
Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定	:SENSe:MEASure:ALARm:LP:REMove	Type mode
Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせ	:SENSe:MEASure:ALARm:LP:REMove?	Type
上位アラームが発生していた場合に下位アラームが発生していてもマスクするかの設定	:SENSe:MEASure:ALARm:MASK	mask
上位アラームが発生していた場合に下位アラームが発生していてもマスクするかの問い合わせ	:SENSe:MEASure:ALARm:MASK?	

Page 10-256

タンデムコネクションのエラーやアラームの受信状態を設定	:SENSe:MEASure:TANDem:N1HP:MODE	mode
	:SENSe:MEASure:TANDem:N1LP:MODE	mode

	:SENSe:MEASure:TANDem:N2:MODE	mode
	:SENSe:MEASure:TANDem:Z5HP:MODE	mode
	:SENSe:MEASure:TANDem:Z5LP:MODE	mode
	:SENSe:MEASure:TANDem:Z6:MODE	mode
タンデムコネクションのエラーやアラームの受信状態の設定を問い合わせ	:SENSe:MEASure:TANDem:N1HP:MODE?	
	:SENSe:MEASure:TANDem:N1LP:MODE?	
	:SENSe:MEASure:TANDem:N2:MODE?	
	:SENSe:MEASure:TANDem:Z5HP:MODE?	
	:SENSe:MEASure:TANDem:Z5LP:MODE?	
	:SENSe:MEASure:TANDem:Z6:MODE?	
タンデムコネクションに関する N1/Z5 バイトのタイプを設定	:SENSe:MEASure:TANDem:N1HP:TYPE	type
	:SENSe:MEASure:TANDem:N1LP:TYPE	type
	:SENSe:MEASure:TANDem:Z5HP:TYPE	type
	:SENSe:MEASure:TANDem:Z5LP:TYPE	type
タンデムコネクションに関する N1/Z5 バイトのタイプを問い合わせ	:SENSe:MEASure:TANDem:N1HP:TYPE?	
	:SENSe:MEASure:TANDem:N1LP:TYPE?	
	:SENSe:MEASure:TANDem:Z5HP:TYPE?	
	:SENSe:MEASure:TANDem:Z5LP:TYPE?	
タンデムエラーおよびアラームの検出解除条件の有無を設定	:SENSe:MEASure:TANDem:HP:MEAS	type mode
タンデムエラーおよびアラームの検出解除条件の有無を問い合わせ	:SENSe:MEASure:TANDem:HP:MEAS?	type
タンデムエラーおよびアラームの検出条件を設定	:SENSe:MEASure:TANDem:HP:DETection	type mode
タンデムエラーおよびアラームの検出条件を問い合わせ	:SENSe:MEASure:TANDem:HP:DETection?	type
タンデムエラーおよびアラームの解除条件を設定	:SENSe:MEASure:TANDem:HP:REMove	type mode
タンデムエラーおよびアラームの解除条件の設定値を問い合わせ	:SENSe:MEASure:TANDem:HP:REMove?	type
タンデムエラーおよびアラームの検出解除条件の有無を設定	:SENSe:MEASure:TANDem:LP:MEAS	type mode
タンデムエラーおよびアラームの検出解除条件の有無を問い合わせ	:SENSe:MEASure:TANDem:LP:MEAS?	type
タンデムエラーおよびアラームの検出条件を設定	:SENSe:MEASure:TANDem:LP:DETection	type mode
タンデムエラーおよびアラームの検出条件を問い合わせ	:SENSe:MEASure:TANDem:LP:DETection?	type
タンデムエラーおよびアラームの解除条件を設定	:SENSe:MEASure:TANDem:LP:REMove	type mode
タンデムエラーおよびアラームの解除条件の設定値を問い合わせ	:SENSe:MEASure:TANDem:LP:REMove?	type

Page 10-260

POH 中のシグナル識別パターンの比較パターンを設定	:SENSe:MEASure:SLM:DETection:HP:MODE	mode
	:SENSe:MEASure:SLM:DETection:LP:MODE	mode
	:SENSe:MEASure:PLM:DETection:HP:MODE	mode
	:SENSe:MEASure:PLM:DETection:LP:MODE	mode

POH 中のシグナル識別パターンの比較パターンを設定値を問い合わせ	:SENSe:MEASure:SLM:DETection:HP:MODE?	
	:SENSe:MEASure:SLM:DETection:LP:MODE?	
	:SENSe:MEASure:PLM:DETection:HP:MODE?	
	:SENSe:MEASure:PLM:DETection:LP:MODE?	
POH 中のシグナル識別パターンの比較パターンを設定	:SENSe:MEASure:SLM:DETection:HP:PATTern	pattern
	:SENSe:MEASure:SLM:DETection:LP:PATTern	pattern
	:SENSe:MEASure:PLM:DETection:HP:PATTern	pattern
	:SENSe:MEASure:PLM:DETection:LP:PATTern	pattern
POH 中のシグナル識別パターンの比較パターン設定値を問い合わせ	:SENSe:MEASure:SLM:DETection:HP:PATTern?	
	:SENSe:MEASure:SLM:DETection:LP:PATTern?	
	:SENSe:MEASure:PLM:DETection:HP:PATTern?	
	:SENSe:MEASure:PLM:DETection:LP:PATTern?	

Page 10-261

LOP 検出条件の設定	:SENSe:MEASure:LOPDetection	type
LOP 検出条件の問い合わせ	:SENSe:MEASure:LOPDetection?	

Page 10-262

マッピングが BYTE(Data, Voice)の場合に VC11(V5byte)のシグナリングバイト(通称 Wbyte)に設定するデータのフレーム構成を選択	:SENSe:SIGPreset:RX	type
マッピングが BYTE(Data, Voice)の場合に VC11(V5byte)のシグナリングバイト(通称 Wbyte)に設定するデータのフレーム構成の問い合わせ	:SENSe:SIGPreset:RX?	

Page 10-262

Performance check 測定モードの設定	:SENSe:PCHeck:MODE	mode
Performance check 測定モードの設定を問い合わせ	:SENSe:PCHeck:MODE?	

Page 10-263

IP test 測定モードの設定	:SENSe:IPTest:MEASuer:TYPE	mmode
IP test 測定モードの問い合わせ	:SENSe:IPTest:MEASuer:TYPE?	

Page 10-263

測定ゲーティングピリオドの時間と単位の設定	:SENSe:IPTest:MEASuer:PERiod	numeric suffix
測定ゲーティングピリオドの時間と単位の問い合わせ	:SENSe:IPTest:MEASuer:PERiod?	

Page 10-263

OH Bertr の送信変更パターンの設定	:SENSe:OHTest:OHBert:PATTern	pattern
OH Bert の送信変更パターンの設定を問い合わせ	:SENSe:OHTest:OHBert:PATTern?	
OH Bert の受信変更タイプの設定	:SENSe:OHTest:OHBert:TYPE	type
OH Bert の変更タイプの問い合わせ	:SENSe:OHTest:OHBert:TYPE?	
OH Bert SOH 1byt の変更バイト位置の設定	:SENSe:OHTest:OHBert:POSition:SOH	posi
OH Bert TOH 1byte の変更バイト位置の設定	:SENSe:OHTest:OHBert:POSition:TOH	posi
OH Bert の変更バイト位置の問い合わせ	:SENSe:OHTest:OHBert:POSition:SOH?	

	:SENSe:OHTest:OHBert:POSition:TOH?	
OH Bert POH 1byte の変更バイト位置の設定	:SENSe:OHTest:OHBert:POSition:POH	Vctype posi
OH Bert の変更バイト位置の問い合わせ	:SENSe:OHTest:OHBert:POSition:POH?	
OH Bert SOH 1byte または TOH 1byte 受信変更チャネル位置の設定	:SENSe:OHTest:OHBert:CHANel	ch
OH Bert SOH 1byte また TOH 1byte 受信変更チャネル位置の設定の問い合わせ	:SENSe:OHTest:OHBert:CHANel?	
OH Drop タイプの設定	:SENSe:OHTest:ADRop:TYPE	type
OH Drop タイプの問い合わせ	:SENSe:OHTest:ADRop:TYPE?	
OH Drop SOH 1byte [TOH 1byte]の変更バイト位置の設定	:SENSe:OHTest:ADRop:POSition:SOH :SENSe:OHTest:ADRop:POSition:TOH	posi
OH Drop の変更バイト位置設定の問い合わせ	:SENSe:OHTest:ADRop:POSition:SOH? :SENSe:OHTest:ADRop:POSition:TOH?	
OH Drop POH 1byte, POH の変更バイト位置の設定	:SENSe:OHTest:ADRop:POSition:POH	vctype, posi
OH Drop の変更バイト位置の問い合わせ	:SENSe:OHTest:ADRop:POSition:POH?	
OH Drop SOH 1byte 変更チャネル位置の設定	:SENSe:OHTest:ADRop:CHANel	ch
OH Drop SOH 1byte 変更チャネル位置の設定の問い合わせ	:SENSe:OHTest:ADRop:CHANel?	

Page 10-270

OH test 測定モード測定ゲーティングピリオドの時間と単位の設定	:SENSe:OHTest:MEASure:TYPE	mode
OH test 測定モード測定ゲーティングピリオドの時間と単位の設定の問い合わせ	:SENSe:OHTest:MEASure:TYPE?	
OH test 測定モード測定ゲーティングピリオドの時間と単位の設定	:SENSe:OHTest:MEASure:PERiod	Time suffix
OH test 測定モード測定ゲーティングピリオドの時間と単位の設定の問い合わせ	:SENSe:OHTest:MEASure:PERiod?	

Page 10-272

検出条件の設定	:SENSe:APSTest:TRIGger:TYPE	trig
検出条件の設定問い合わせ	:SENSe:APSTest:TRIGger:TYPE?	

Page 10-273

APS test 測定に対して Threshold rate の検出範囲を設定	:SENSe:APSTest:THReshold	thresh
APS test 測定に対して Threshold rate の検出範囲の問い合わせ	:SENSe:APSTest:THReshold?	

Page 10-273

APS test 測定モード設定	:SENSe:APSTest:MEASure:TYPE	mode
APS test 測定モード設定の問い合わせ	:SENSe:APSTest:MEASure:TYPE?	

APS test 測定ゲーティングピリオドの時間と単位の設定	:SENSe:APSTest:MEASure:PERiod	Time suffix
APS test 測定ゲーティングピリオドの時間と単位の設定の問い合わせ	:SENSe:APSTest:MEASure:PERiod?	

Page 10-274

Swich time measure 開始	:SENSe:APSTest:STARt	

Page 10-274

Swich time measure の停止	:SENSe:APSTest:STOP	

Page 10-274

Swich time measure の状態の問い合わせ	:SENSe:APSTest:STATe?	

Page 10-275

Capture の開始	:SENSe:APSCapture:STARt	

Page 10-275

Capture の停止	:SENSe:APSCapture:STOP	

Page 10-275

Capture の状態の問い合わせ	:SENSe:APSCapture:STATe?	

Page 10-275

Trigger 項目の設定	:SENSe:APSCapture:TRIGger:TYPE	trig
Trigger 項目の設定を問い合わせ	:SENSe:APSCapture:TRIGger:TYPE?	
Trigger 位置の設定	:SENSe:APSCapture:TRIGger:POSition	position
Trigger 位置の設定の問い合わせ	:SENSe:APSCapture:TRIGger:POSition?	
APS capture のトリガパターンを設定	:SENSe:APSCapture:TRIGger:PATTern	pattern
APS capture のトリガパターンの問い合わせ	:SENSe:APSCapture:TRIGger:PATTern?	
APS capture のマスクパターンを設定	:SENSe:APSCapture:TRIGger:MASK	mask
パターンマスクの問い合わせ	:SENSe:APSCapture:TRIGger:MASK?	

Page 10-277

FRAMecapture の開始	:SENSe:FRAMecapture:STARt	

Page 10-278

FRAMecapture の停止	:SENSe:FRAMecapture:STOP	

Page 10-278

FRAMecapture の状態問い合わせ	:SENSe:FRAMecapture:STATe?	

Page 10-278

Trigger 項目の設定	:SENSe:FRAMecapture:TRIGger:TYPE	type position
FRAMecapture Trigger 項目の設定を問い合わせ	:SENSe:FRAMecapture:TRIGger:TYPE?	
FRAMecapture Trigger パターンの設定	:SENSe:FRAMecapture:TRIGger:PATTern	pattern
FRAMecapture Trigger パターンの問い合わせ	:SENSe:FRAMecapture:TRIGger:PATTern?	
FRAMecapture Trigger パターンマスクの設定	:SENSe:FRAMecapture:TRIGger:MASK	mask
FRAMecapture Trigger パターンマスクの問い合わせ	:SENSe:FRAMecapture:TRIGger:MASK?	

Page 10-280

Capture する項目を設定	:SENSe:OHCapture:TYPE	type
Capture する項目の設定の問い合わせ	:SENSe:OHCapture:TYPE?	

Page 10-281

Trigger 項目の設定	:SENSe:OHCapture:TRIGger:TYPE	trig
Trigger 項目の設定の問い合わせ	:SENSe:OHCapture:TRIGger:TYPE?	
Trigger 位置の設定	:SENSe:OHCapture:TRIGger:POSition	numeric
Trigger 位置の問い合わせ	:SENSe:OHCapture:TRIGger:POSition?	
OH capture のトリガパターンを設定	:SENSe:OHCapture:TRIGger:PATTern	pattern
OH capture のトリガパターンの問い合わせ	:SENSe:OHCapture:TRIGger:PATTern?	
OH capture のマスクパターンを設定	:SENSe:OHCapture:TRIGger:MASK	mask
OH capture のマスクパターンの問い合わせ	:SENSe:OHCapture:TRIGger:MASK?	

Page 10-285

Capture の開始	:SENSe:OHCapture:STARt	

Page 10-285

OHCapture の停止	:SENSe:OHCapture:STOP	

Page 10-285

OHCapture 状態の問い合わせ	:SENSe:OHCapture:STATe?	

Page 10-285

Type:SOH 1byte 時の Capture するバイト位置の設定	:SENSe:OHCapture:POSition:SOH	posi
Type:TOH 1byte 時の Capture するバイト位置の設定	:SENSe:OHCapture:POSition:TOH	posi
Type:SOH 1byte 時の Capture する位置の問い合わせ	:SENSe:OHCapture:POSition:SOH?	
Type:TOH 1byte 時の Capture する位置の問い合わせ	:SENSe:OHCapture:POSition:TOH?	
Type:POH 1byte 時の Capture する POH の設定	:SENSe:OHCapture:POSition:POH	Vctype posi
Type:POH 1byte 時の Capture する POH タイプを問い合わせ	:SENSe:OHCapture::POSition:POH?	

Page 10-287

Type:SOH 1byte[TOH 1byte] 時の Capture するチャネル位置の設定	:SENSe:OHCapture:CHANel	ch
Type:SOH 1byte[TOH 1byte] 時の Capture する位置を問い合わせ	:SENSe:OHCapture:CHANel?	

Page 10-287

S1 測定モードの設定	:SENSe:STEst:MEASure:TYPE	mode
S1 測定モードの設定状態の問い合わせ	:SENSe:STEst:MEASure:TYPE?	

Page 10-287

IPCapture の開始	:SENSe:IPCapture:STARt	

Page 10-287

IPCapture の停止	:SENSe:IPCapture:STOP	

Page 10-288

IPCapture の実行状態の問い合わせ	:SENSe:IPCapture:STATe?	

Page 10-288

IPCapture において Trigger をかける項目の設定	:SENSe:IPCapture:TRIGger:TYPE	type
IPCapture において Trigger 項目の問い合わせ	:SENSe:IPCapture:TRIGger:TYPE?	

Page 10-288

Capture する IP アドレスのマスクの設定（IP ver.4 時）	:SENSe:IPCapture:IPV4adr	sadr1 sadr2 sadr3 sadr4 dadr1 dadr2 dadr3 dadr4
Capture する IP アドレスのマスク設定の問い合わせ（IP ver.4 時）	:SENSe:IPCapture:IPV4adr?	

Page 10-289

Capture する IP アドレスのマスクの設定（IP ver.6 時）	:SENSe:IPCapture:IPV6adr	sadr1 sadr2 sadr3 sadr4 sadr5 sadr6 sadr7 sadr8 dadr1 dadr2 dadr3 dadr4 dadr5 dadr6 dadr7 dadr8
Capture する IP アドレスのマスク設定の問い合わせ（IP ver.6 時）	:SENSe:IPCapture:IPV6adr?	

:SENSe:TELecom:BRATe <brate>

パラメータ　<brate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

M9953	9953Mbit/s
M2488	2488Mbit/s
M622	622Mbit/s
M156	156Mbit/s
M156CMI	156Mbit/s(CMI 本体内蔵オプション)
M52B3ZS	52Mbit/sB3ZS
M139	139Mbit/s
M52	52Mbit/s
M45	45Mbit/s
M34	34Mbit/s
M8	8Mbit/s
M2	2Mbit/s
M1_5	1.5Kbit/s

機 能　受信信号のビットレートを設定します。

制 約　M622 は MP0108A,MP0111A,MP0112A,MP0113A 装着時有効 M156 は MP0105A,MP0111A,MP0112A,MP0113A 装着時有効となります。
M2,M8,M34,M139M156 は 2/8/34/139/156M(CMI)ユニット装着時有効となります。
M1.5,M45,M52B3ZS は 1.5/45/52M ユニット装着時有効となります。

使用例　受信信号のビットレートを 139Mbit/s に設定する場合。
> :SENSe:TELecom:BRATe M139

:SENSe:TELecom:BRATe?

レスポンス　<brate> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　受信信号のビットレートを問い合わせます。

使用例　> :SENSe:TELecom:BRATe?
< M139

:SENSe:TELecom:EXTRact:MODE <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0
ON　or 1

機 能　STM4,1,0 信号の抽出を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・622M,156M（光，電気）,52M（光，電気）の使用できるインタフェースと 2488M,9953M のユニット組み合わせ挿入（有効）時のみ設定可。上記で記述している光とは 1.31,1.55um を含むインタフェースであり電気は CMI,NRZ,UTP の信号形式を持つユニットのことです。
・::INSTrument:CONFig <type> が「NON」または「CID」のとき。
・:SENSe:TELecom:BRATe <brate>が M2488,M9953 選択時以外。
・:SENSe:TELecom:BRATe <brate>が M52,M52B3ZS,M156,M156 CMI,M622 が設定できない場合。

使用例　STM4,1,0 信号の抽出設定を OFF に設定する場合。
> :SENSe:TELecom:EXTRact:MODE OFF

:SENSe:TELecom:EXTRact:MODE?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0
1

機 能　STM4,1,0 信号の抽出設定を問い合わせます。

使用例　> :SENSe:TELecom:EXTRact:MODE?
< 0

:SENSe:TELecom:EXTRact:RATE <rate>

パラメータ　<rate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

M622	622M
M156	156M
M156CMI	156M CMI
M52	52M
M52B3ZS	52M B3ZS

機 能　EXTRact を行うレート（インタフェース）を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・::INSTrument:CONFig <type> が「NON」または「CID」のとき。
・:SENSe:TELecom:BRATe <brate>が M52,M52B3ZS,M156, M156 CMI,M622 が設定できない場合。
・:SENSe:TELecom:EXTRact:MODE <boolean> ON 時以外。

使用例　EXTRact を行うレート（インタフェース）を 622M に設定する場合。
> :SENSe:TELecom:EXTRact:RATE M622

:SENSe:TELecom:EXTRact:RATE ?

レスポンス　<rate> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　EXTRact を行うレート（インタフェース）を問い合わせます。

使用例　EXTRact を行うレート（インタフェース）を問い合わせする場合。
> :SENSe:TELecom:EXTRact:RATE?
< M622

:SENSe:TELecom:EXTRact:INTerface <optical>

パラメータ　<optical> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

1.31	1.31μm
1.55	1.55μm

機 能　入力の波長切り替えを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・MP0122B,C,D 未装着または MU150008A, MU150009A, MU150010A 未装着時設定不可。
・MU150000A 未装着または MU150000A 装着時に MU150001A, MU150002A ユニット未装着時設定不可。
・下記に示す挿入ユニットの光波長範囲以外の設定時。
MP0122B,MP0127A ,MU150008A 1.31
MP0128A, MU150009A 1.55
MU150010A 1.31/1.55
MU150001A , MU150002A　1.31/1.55
・:SENSe:TELecom:EXTRact:MODE <boolean> ON 時以外。

使用例　入力の波長切り替えを 1.31μmに設定する場合。
> :SENSe:TELecom:EXTRact:INTerface 1.31

SENSe:TELecom:EXTRact:INTerface?

レスポンス　<optical> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　入力の波長切り替えを問い合わせます。

使用例　入力の波長切り替えを問い合わせをする場合

> :SENSe:TELecom:EXTRact:INTerface?

< 1.31

:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE <mtype>

パラメータ　<mtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

VC4_ASY	139M(Async.)
VC4_BLK	VC4(Bulk)
VC3_ASY	34M(Async.)
VC3_SYN	34M(Sync.)
VC3_45MASY	45M(Async.)
VC3_BLK	VC3(Bulk)
VC2_6MASY	6M(Async.)
VC2_6MBIT	6M(Bitsync.)
VC2_BLK	VC2(Bulk)
VC2_MC	VC2(mc)
VC12_ASY	2M(Async.)
VC12_BIF	2M(Bitsync.F)
VC12_BIL	2M(Bitsync.L)
VC12_BYF	2M(Bytesync.F)
VC12_BYL	2M(Bytesync.L)
VC12_BLK	VC12(Bulk)
VC11_ASY	1.5M(Async.)
VC11_BIF	1.5M(Bitsync.F)
VC11_BIL	1.5M(Bitsync.L)
VC11_BYF	1.5M(Bytesync.F)
VC11_BYL	1.5M(Bytesync.L)
VC11_BLK	VC11(Bulk)
VC11_BYD[*1]	Byte(Data)
VC11_BYV[*1]	Byte(Voice)
VC11_384D[*1]	384K(Data)
VC11_384V[*1]	384K(Voice)
VC4_64CBLK[*2]	VC4*64C(Bulk)
VC4_16CBLK[*2]	VC4*16C(Bulk)
VC4_4CBLK[*2]	VC4*4C(Bulk)
VC4_CBLK[*2]	VC4C(Bulk)

(SONET)

STS3_ASY	139M(Async.)
STS3_BLK	STS3cSPE(Bulk)
VC3_ASY	34M(Async.)
VC3_SYN	34M(Sync.)
STS1_45MASY	45M(Async.)
STS1_BLK	STS1 SPE(Bulk)
VT6_ASY	6M(Async.)
VT6_BIT	6M(Bitsync.)
VT6_BLK	VT6 SPE(Bulk)
VT6_MC	VT6 SPE(mc)
VT2_ASY	2M(Async.)
VT2_BIF	2M(Bytesync.F)
VT2_BIL	2M(Bitsync.L)
VT2_BYF	2M(Bytesync.F)
VT2_BYL	2M(Bytesync.L)
VT2_BLK	VT2 SPE(Bulk)
VT15_ASY	1.5M(Async.)
VT15_BIF	1.5M(Bitsync.F)
VT15_BIL	1.5M(Bitsync.L)
VT15_BYF	1.5M(Bytesync.F)
VT15_BYL	1.5M(Bytesync.L)
VT15_BLK	VT1.5 SPE(Bulk)
VT15_BYD[*1]	Byte(Data)
VT15_BYV[*1]	Byte(Voice)
VT15_384D[*1]	384k(Data)
VT15_384V[*1]	384k(Voice)
STS3_64CBLK[*2]	STS3CSPE*64C(Bulk)，STS192C(Bulk)
STS3_16CBLK[*2]	STS3CSPE*16C(Bulk)，STS48C(Bulk)
STS3_4CBLK[*2]	STS3CSPE*4C(Bulk)　，STS12C(Bulk)
STS3_CBLK[*2]	STS3CSPEC(Bulk)　，STS3C(Bulk)

[*1] オプション 09 装着時有効

[*2] コンカチネーションマッピング

機 能　受信信号の SDH/SONET のマッピングルートを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:SENSe:TELecom:BRATe が<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。

・:SENSe:TELecom:BRATe が<M52B3ZS>時<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>設定の場合。

・オプション 09 Japanmapping 未装着時，かつ 1.5/45/52M ユニット未装着時，<VC_384D>,<VC_384V>,<VT15_BYD>,<VT15_BYV>設定の場合。

・コンカチマッピングルート(*2)はコンカチマッピングオプション未装着の場合。

使用例　受信信号の SDH マッピングルートを VC12(BULK)に設定します。

>:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE VC12_BLK

:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE?

レスポンス　<mtype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　受信信号の SDH/SONET マッピングルートを問い合わせます。
使用例　> :SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE?
< VC12_BLK

:SENSe:TELecom:MAPPing:AU <atype>

パラメータ　<atype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
AU4
AU3
機 能　受信信号の SDH マッピングルートの AU ルートを選択します。
制 約　次の場合無効となります。
:SENSe:TELecom:BRATe が<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>, <M1_5>の場合。
:SENSe:TELecom:BRATe が<M52B3ZS>時<AU4>選択の場合。
使用例　受信信号の SDH マッピングルートを AU4 経由に設定する場合。
> :SENSe:TELecom:MAPPing:AU AU4

:SENSe:TELecom:MAPPing:AU?

レスポンス　<atype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　受信信号の SDH マッピングルートの AU ルート選択を問い合わせます。
使用例　> :SENSe:TELecom:MAPPing:AU?
< AU4

:SENSe:TELecom:MAPPing:STS <stype>

パラメータ　<stype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
STS3
STS1
機 能　送信信号の SONET マッピングルートの STS ルートを選択します。
使用例　送信信号の SONET マッピングルートを STS1 経由に設定する場合。
> :SENSe:TELecom:MAPPing:STS STS1

:SENSe:TELecom:MAPPing:STS?

レスポンス　<atype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　送信信号の SONET マッピングルートの STS ルート選択を問い合わせます。
使用例　> :SENSe:TELecom:MAPPing:STS?
< STS1

:SENSe:TELecom:MAPPing:TU <ttype>

パラメータ　<ttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
TU12
TU11
機 能　受信信号の SDH マッピングルートの TU ルートを選択します。
制 約　以下の場合無効となります。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>, <M1_5>の場合。
使用例　受信信号の SDH マッピングルートを TU12 経由に設定する場合。
> :SENSe:TELecom:MAPPing:TU TU12

:SENSe:TELecom:MAPPing:TU?

レスポンス　<ttype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　受信信号の SDH マッピングルートの TU ルート選択を問い合わせます。
使用例　> :SENSe:TELecom:MAPPing:TU?
< TU12

:SENSe:TELecom:MAPPing:VT <vtype>

パラメータ　<vtype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
VT2
VT15
機 能　送信信号の SONET マッピングルートの VT ルートを選択します。
使用例　送信信号の SONET マッピングルートを VT15 経由に設定する場合。
> :SENSe:TELecom:MAPPing:VT VT15

:SENSe:TELecom:MAPPing:VT?

レスポンス　<atype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　送信信号の SONET マッピングルートの VT ルート選択を問い合わせます。
使用例　> :SENSe:TELecom:MAPPing:VT?
< VT15

:SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe <route>,<numeric>

パラメータ　<route> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

AUG	AUG チャネル
AU3	AU3 チャネル
TUG3	TUG3 チャネル
TUG2	TUG2 チャネル
TU11	TU11 チャネル
TU12	TU12 チャネル
K384	384K チャネル
VC416C	VC4_16c チャネル
VC44C	VC4_4c チャネル
VC4C	VC4_c チャネル

(SONET)

STS3	STS3 チャネル
STS1	AU3 チャネル
TUG3	TUG3 チャネル
VTG	VTG チャネル
VT2	VT2 チャネル
VT15	VT1.5 チャネル
K384	384k チャネル
STS316C	STS3cSPE*16c チャネル，STS48c チャネル
STS34C	STS3cSPE*4c チャネル ，STS12c チャネル
STS3C	STS3cSPEc チャネル ，STS3c チャネル

<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～64	<route>が AUG,STS3 の場合	ステップ値：1
1～3	<route>が AU3,STS1SPE の場合	ステップ値：1
1～3	<route>が TUG3 の場合	ステップ値：1
1～7	<route>が TUG2,VTG の場合	ステップ値：1
1～3	<route>が TU12,VT2 の場合	ステップ値：1
1～4	<route>が TU11,VT15 の場合	ステップ値：1
1～4	<route>が 384k の場合	ステップ値：1
1～4	<route>が VC4_16c, STS3cSPE*16c の場合	ステップ値：1
1～16	<route>が VC4_4c, STS3cSPE*4c の場合	ステップ値：1
1～64	<route>が VC4_c, STS3cSPEc の場合	ステップ値：1

機 能　SDH/SONET の各ポイントにおけるチャネルを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE で設定したマッピングに該当しないチャネルを設定の場合。

・622M タイプインタフェースユニット未装着かつ，156M タイプインタフェースユニット未装着かつ，<AUG>設定の場合。

・2/8/34/139/156M(CMI)ユニット装着時<TU11>設定の場合。

・:SENSe:TELecom:BRATe が<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。

・下記の表の場合。<route>	制 約 条 件
AUG	・:SENSe:TELecom:BRATe が<M52B3ZS>の場合。
AU3	・:SENSe:TELecom:MAPPing:AU が<AU4>の場合。
TUG3	・:SENSe:TELecom:BRATe が<M52B3ZS>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:AU が<AU3>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC4_ASY>,<VC4_BLK>の場合。
TUG2	・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>,<VC3_45MASY>,<VC3_BLK>の場合。
TU12	・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>,<VC3_45MASY>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>の場合。 ・:SOURce:TELecom:MAPPing:TU が<TU11>の場合。
TU11	・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>,<VC3_45MASY>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>の場合。 ・:SOURce:TELecom:MAPPing:TU が<TU12>の場合。
K384	・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC11_384D>,<VC11_384V>以外の場合。 ・Japan mapping オプション 09 未装着時。
VC416C VC44C VC4C STS316C STS34C STS3C	・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE の設定がコンカチマッピング以外の場合。

使用例　AUG チャネルを 4 に設定します。
> :SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe AUG,4

:SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe? <route>

パラメータ　<route> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　SDH/SONET の各ポイントにおけるチャネルを問い合わせます。
使用例　> :SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe? AUG
< 4

:SENSe:TELecom:MAPPing:MC <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 7　ステップ値:1
機 能　VC2/VT6SPE のコンカチチャネル数(mc)設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC2_MC>,<VT6_MC>以外の場合。
・<numeric> ＞ (7 - TUG2 + 1) の場合。
※TUG2 = :SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe? TUG2
使用例　VC2 のコンカチチャネル数を 5 に設定する場合。
> :SENSe:TELecom:MAPPing:MC 5

:SENSe:TELecom:MAPPing:MC?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　VC2/VT6SPE のコンカチチャネル数(mc)設定を問い合わせます。
使用例　> :SENSe:TELecom:MAPPing:MC?
< 5

:SENSe:TELecom:MAPPing:PAYLoad:DESCramble <descr>

パラメータ　<descr> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0
ON　or 1
機 能　IP over SONET で使用するフレームメモリ受信のペイロード部分のディスクランブルを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig の設定が <IP_SONET>以外の場合。
使用例　IP over SONET で使用するフレームメモリ受信のペイロード部分のディスクランブル設定を ON に設定する場合。
> :SENSe:TELecom: MAPPing:PAYLoad:DESCramble ON

:SENSe:TELecom:MAPPing:PAYLoad:DESCramble?

レスポンス　<boolen> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0
1
機 能　IP over SONET で使用するフレームメモリ受信のペイロード部分のディスクランブル設定を問い合わせます
使用例　> :SENSe:TELecom: MAPPing:PAYLoad:DESCramble?
< 1

:SENSe:TELecom:MAPPing:SIG <sig>

パラメータ　<sig> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　1 ～ 4　ステップ値:1

機 能　受信 Signaling フレームの CH 数を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・::INSTrument:CONFig <type> が「NON」または「CID」のとき。
・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE にて VC11_BIF,VC11_BLK, VC11_BYD, VC11_384D, VC11_384V 選択時有効。
・オプション 09 が未装着時。
・:SOURce:SIGPreset:TX <type>,:SENSe: SIGPreset:RX <type>が OFF 時以外の場合はそれぞれの極性で有効。OFF 時は設定不可。

使用例　受信 Signaling フレームの CH 数を 2 に設定する場合。
> :SENSe:TELecom: MAPPing: SIG 2

:SENSe:TELecom:MAPPing:SIG?

レスポンス　<sig> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　受信 Signaling フレームの CH 数を問い合わせます。

使用例　受信 Signaling フレームの CH 数問い合わせをする場合。
> :TELecom: MAPPing:SIG?
< 2

:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe <mrate>

パラメータ　<mrate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

OFF	DEMUX 機能を使用しません。
M34	34Mbit/s
M8	8Mbit/s
M2	2Mbit/s
M1_5	1.5Mbit/s
K64	64kbit/s
K64_M2	＊2/8/34/139/156M(CMI)ユニットかつ 1.5/45/52M ユニット 45M-2M オプション装着かつ Bit rate :45M のときのみ K64_M2 選択可能。

機 能　DEMUX の最終段のビットレートを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE の設定においてコンカチマッピング,6M,mc,384k 選択時。
・2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着時<M34>,<M8>,<M2>設定の場合。
・MUX/DEMUX(2/8/34/139M)オプションが未装着時<M34>,<M8>設定の場合または 45M_2M オプション未装着時<M2>設定の場合。
・1.5/45/52M ユニット未装着時<M1_5>設定の場合。
・MUX/DEMUX(1.5/45M）オプションが未装着時<M1_5>設定の場合。
・2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着かつ，1.5/45/52M ユニット未実装かつ，45M_2M オプション未装着時<K64>,<K64_M2>設定の場合。
・MUX/DEMUX(2/8/34/139M)オプションが未装着かつ MUX/DEMUX (1.5/45M)オプションが未装着時<OFF>,<K64>設定の場合。

・下記の表の場合。

選択項目	制 約 条 件
M34	・:SENSe:TELecom:BRATe が<M52B3ZS>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC4_ASY>以外の場合。
M8	・:SENSe:TELecom:BRATe が<M52B3ZS>,<M45>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC4_ASY>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>以外の場合。
M2	・45M-2M オプション未装着時:SENSe:TELecom:BRATe が<M52B3ZS>,<M45>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SENSe:TELecom:BRATe が<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC3_45MASY>,<VC4_ASY>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>以外の場合。
M1_5	・:SENSe:TELecom:BRATe が<M139>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC3_45MASY>以外の場合。
K64, K64_M2	下記の条件をすべて満たす場合。 ① 2M 非選択条件時 ② 1.5M 非選択条件時 ③ :SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC12_ASY>,<VC12_BIF>,<VC12_BIL>,<VC12_BYF>,<VC12_BYL>,<VC11_ASY>,<VC11_BIF>,<VC11_BIL>,<VC11_BYF>,<VC11_BYL>以外時 ④:SENSe:TELecom:BRATe が<M2>,<M1_5>以外時

使用例　　DEMUX の最終段のビットレートを 2Mbit/s に設定します。
> :SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe M2

:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe?

レスポンス　　<mrate> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　　DEMUX の最終段のビットレートを問い合わせます。
使用例　　> :SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe?
< M2

:SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe <mrate>,<numeric>

パラメータ　　<mrate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

M34	34Mbit/s
M8	8Mbit/s
M2	2Mbit/s
M1_5	1.5Mbit/s
K64	64kbit/s

<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～4	<mrate>が M34,M8,M2 の場合	ステップ値:1
1～28	<mrate>が M1.5 の場合	ステップ値:1
1～31	<mrate>が K64 の場合	ステップ値:1

機 能　　各 DEMUX 段のチャネルを設定します。

制 約　　次の場合無効となります。

・2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着時<M34>,<M8>,<M2>設定の場合。
・MUX/DEMUX(2/8/34/139M)オプションが未装着時<M34>,<M8>設定の場合または 45M_2M オプション未装着時<M2>設定の場合。
・1.5/45/52M ユニット未装着時<M1_5>設定の場合。
・MUX/DEMUX(1.5/45M)オプションが未装着時<M1_5>設定の場合。
・2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着かつ 1.5/45/52M ユニット未実装時<K64>設定の場合。
・MUX/DEMUX(2/8/34/139M)オプションが未装着かつ MUX/DEMUX MUX/DEMUX(1.5/45M)オプションが未装着かつ 45M_2M オプション未装着時<K64>設定の場合。
・下記の表の場合。

<mrate>	制 約 条 件
M34	・:SENSe:TELecom:BRATe が<M52B3ZS>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC4_ASY>以外の場合。
M8	・:SENSe:TELecom:BRATe が<M52B3ZS>,<M45>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>,<M34>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC4_ASY>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>以外の場合。
M2	・:SENSe:TELecom:BRATe が<M52B3ZS>,<M2>,<M1_5>の場合または<M45>時 45M_2M オプション未装着の場合。 ・:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>,<M34>,<M8>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC4_ASY>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>以外の場合。
M1_5	・:SENSe:TELecom:BRATe が M139>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>,<K64-M2>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC3_45MASY>以外の場合。
K64	・:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・2M に DEMUX するときに:SENSe:TELecom:M2:MCHannel が<30>時 numeric= <31>設定の場合。 ・1.5M に DEMUX するときに 1～24 以外設定の場合。

使用例　　8Kbit/s のチャネルを 4 に設定します。

> :SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe M8,4

:SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe? <mrate>

パラメータ　<mrate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　各 DEMUX 段のチャネルを問い合わせます。
使用例　8Kbit/s のチャネルを問い合わせます。
> :SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe? M8
< 4

:SENSe:TELecom:DEMUX:N <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～31　ステップ値:1
機 能　64kbit/s の連続チャネルを設定します。
:SENSe:TELecom:MUX:ROUTe で指定した 64kbit/s のチャネルから
N チャネル連続して試験信号を受信します。
制 約　次の場合無効となります。
・2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着かつ，1.5/45/52M ユニット未装着の場合。
・MUX/DEMUX(2/8/34/139M)オプションが未装着かつ，MUX/DEMUX (1.5/45M)オプションが未装着かつ，45M-2M オプション未装着の場合。
・SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>,<M34>,<M8>,<M2>, <M1_5>の場合。
・2M に DEMUX されているときの上限。
<numeric> ＞ (2Mch - Route + 1) の場合。
2Mch　=SENSe:TELecom:M2:MCHannel
Route　=SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe?M2
・1.5M に DEMUX されているときの上限。
<numeric> ＞ (24 - Route + 1) の場合。
Route　=:SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe?M1_5
使用例　64kbit/s の連続チャネルを 5 に設定する場合。
> :SENSe:TELecom:DEMUX:N 5

:SENSe:TELecom:DEMUX:N?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　64kbit/s の連続チャネルの設定を問い合わせます。
使用例　> :SENSe:TELecom:DEMUX:N?
< 5

:SENSe:TELecom:PATTern[:TYPE] <pattern>

パラメータ　　<pattern> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

PRBS11	$PRBS2^{11-1}$
PRBS15	$PRBS2^{15-1}$
PRBS20	$PRBS2^{20-1}$
PRBS20Z	$PRBS2^{20-1}$ (Zero suppress)
PRBS23	$PRBS2^{23-1}$
PRBS31	$PRBS2^{31-1}$
UWORd16	Word 16
AZERo	ALL0
AONE	ALL1
FRM3_24	3 in 24

機 能　　試験パターン(送受信)を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。

・:ROUTe:DROP が<ON>の場合。

・:ROUTe:THRough が<ON>の場合。

・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC3_45MASY>,<VC11_ASY>,<VC11_BIF>,<VC11_BIL>,<VC11_BYF>,<VC11_BYL>,<VC11_BIL>,<VC11_BYF>,<VC11_BYL>,<VC11_BLK>以外時<PRBS20Z>設定の場合。

・下記に示す設定において<FRM3_24>以外の設定の場合。

Mapping	MUX/DEMUX	Bit rate	MUX/DEMUX
45M(Async.)	1.5M	45M	1.5M
1.5M(Async.)	OFF	1.5M	OFF
1.5M(Bitsync.F)	OFF		
1.5M(Bitsync.L)	OFF		
1.5M(Bytesync.F)	OFF		
1.5M(Bytesync.L)	OFF		
Byte(Data)	OFF		
Byte(Voice)	OFF		

・下記に示す設定において<PRBS31>以外の設定の場合。

Bit rate	Concatenation mapping
9953M	STM64c-VC4*64c-Bulk
	STM64c-VC4*16c-Bulk
2488M	STM16c-VC4*16c-Bulk

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例　　受信信号における試験パターンを $PRBS2^{11-1}$ に設定する場合。

> :SENSe:TELecom:PATTern:TYPE PRBS11

または :SENSe:TELecom:PATTern PRBS11(TYPE は省略可)

:SENSe:TELecom:PATTern[:TYPE]?

レスポンス　　<pattern> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　試験パターン(送受信)の設定を問い合わせます。

使用例　　> :SENSe:TELecom:PATTern:TYPE?

または :SENSe:TELecom:PATTern?(TYPE は省略可)

< PRBS11

:SENSe:TELecom:PATTern:UWORd <string>

パラメータ　<string> = <STRING PROGRAM DATA>
"0000000000000000"～"1111111111111111"

機 能　試験パターン(送受信)のワードデータを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:ROUTe:THRough が<ON>の場合。
・:SENSe:TELecom:PATTern:TYPE が<PRBS11>,<PRBS15>,<PRBS20>,<PRBS20Z>,<PRBS23>,<AZERo>,<AONE>の場合。

使用例　ワード長 16 ビットのワードデータを"1100110011001100"に設定する場合。
> :SENSe:TELecom:PATTern:UWORd "1100110011001100"

:SENSe:TELecom:PATTern:UWORd?

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　試験パターン(送受信)のワードデータを問い合わせます。

使用例　> :SENSe:TELecom:PATTern:UWORd?
< "1100110011001100"

:SENse:TELecom:INVert <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　PRBS 反転をしない場合
ON　or 1　PRBS 反転をする場合

機　能　試験パターン(受信)の反転設定を行います。

制　約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig の設定が<CID>,<ATM>,<IP_SDH>,<IP_SONET>,<JITTER>の場合。
・:SENSe:TELecom:PATTern[:TYPE]の設定が PRBS 以外の場合。

使用例　試験パターン(PRBS)を反転するに設定する場合。
> :SENse:TELecom:INVert ON

:SENSe:TELecom:INVert?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0　PRBS 反転をしない場合
1　PRBS 反転をする場合

機　能　試験パターン反転の設定問い合わせを行います。

使用例　> :SENSe:TELecom:INVert?
< 1

:SENSe:TELecom:CIDPattern　<byte>

パラメータ　<byte> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～100　ステップ値：1byte

機 能　CID pattern を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・::INSTrument:CONFig <type> が「NON」または「CID」のとき。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。

使用例　CID pattern を 7 バイト にする場合。
> :SENSe:TELecom:CIDPattern 7

:SENSe:TELecom:CIDPattern?

レスポンス　<byte> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　CID pattern 設定を問い合わせます。
使用例　CID pattern を問い合わせる場合。
> :SENSe:TELecom:CIDPattern?
< 7

:SENSe:TELecom:FRAMing <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　フレームなし
ON or 1　フレームあり
機 能　受信信号における試験信号のフレームを設定します。
DEMUX(オプション)が ON のときは最終 Tributary 信号のフレームの設定をします。
制 約　次の場合無効となります。
・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC4_BLK>,<V3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>,<VC12_BLK>,<VC11_BLK>,<VC11_384D>,<VC12_BLK>,<VC11_BLK>,<VC11_384D>,<VC11_384V>の場合。
使用例　受信信号の試験信号のフレームを ON に設定する場合。
> :SENSe:TELecom:FRAMing ON

:SENSe:TELecom:FRAMing?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 or 1
機 能　受信信号における試験信号のフレームを問い合わせます。
使用例　> :SENSe:TELecom:FRAMing?
< 1

:SENSe:TELecom:MMODe <service>

パラメータ　<service> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
OSERvice　Out-of-Service 測定
ISERvice　In-Service 測定
機 能　測定モードを選択します。
使用例　測定モードを Out-of-Service に設定する場合。
> :SENSe:TELecom:MMODe OSERvice

:SENSe:TELecom:MMODe?

レスポンス　<service> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　測定モードを問い合わせます。
使用例　> :SENSe:TELecom:MMODe?
< OSER

:SENSe:TELecom:M2:CRC <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　CRC チェックを行いません。
ON or 1　CRC チェックを行います。
機 能　2M における CRC チェックを選択します。

制 約　　次の場合無効となります。
・2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M622>,<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS>かつ:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC4_BLK>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>,<VC12_BLK>,<VC11_ASY>,<VC11_BIF>,<VC11_BIL>,<VC11_BYF>,<VC11_BYL>,<VC11_BLK>,<VC11_384D>,<VC11_384V>の場合または<VC3_45MASY>時 45M_2M オプション未装着の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M622>,<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS>かつ，:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>,<M34>,<M8>かつ，:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC4_ASY>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>の場合または<VC3_M45MASY>時 45M_2M オプション未装着時 DEMUX が<OFF>,<M1_5>,<K64>の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M139>,<M34>,<M8>かつ,:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>,<M34>,<M8>の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M1_5>の場合または<M45>時 45M_2M オプション未装着の場合。
・:SENSe:TELecom:FRAMing が<OFF>時<ON>設定の場合。

使用例　　CRC チェックを ON にする場合。
> :SENSe:TELecom:M2:CRC ON

:SENSe:TELecom:M2:CRC?

レスポンス　　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 or 1

機 能　　2M における CRC チェックの設定を問い合わせます。

使用例　　> :SENSe:TELecom:M2:CRC?
< 1

:SENSe:TELecom:M2:SIGNaling <boolean>

パラメータ　　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	シグナリングマルチフレーム OFF
ON　or 1	シグナリングマルチフレーム ON

機 能　　シグナリングマルチフレームを設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M622>,<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS>かつ，:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC4_BLK>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>,<VC12_BLK>,<VC11_ASY>,<VC11_BIF>,<VC11_BIL>,<VC11_BYF>,<VC11_BYL>,<VC11_BLK>,<VC11_384D>,<VC11_384V>の場合または<VC3_45MASY>時 45M_2M オプション未装着の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M622>,<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS>かつ，:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>,<M34>,<M8>かつ，:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC4_ASY>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>の場合または<VC3_45MASY>時 45M_2M オプション未装着時 DEMUX が<OFF>,<M1_5>,<K64>の場合。

・:SENSe:TELecom:BRATe が<M139>,<M34>,<M8>かつ
:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>,<M34>,<M8>の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M1_5>の場合または<M45>時
45M_2M オプション未装着の場合。
・:SENSe:TELecom:M2:MCHannel が<31>時<ON>設定の場合。
・:SENSe:TELecom:FRAMing が<OFF>時<ON>設定の場合。

使用例　シグナリングマルチフレームのチェックを ON にする場合。
> :SENSe:TELecom:M2:SIGNaling ON

:SENSe:TELecom:M2:SIGNaling?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 or 1

機 能　シグナリングマルチフレームの設定を問い合わせます。

使用例　> :SENSe:TELecom:M2:SIGNaling?
< 1

:SENSe:TELecom:M2:MCHannel <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMALNUMERIC PROGRAM DATA>
30　30 チャネル
31　31 チャネル

機 能　受信 2M の信号の最大チャネル数を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M622>,<M156>,<M156CMI>,
<M52B3ZS>かつ，:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が
<VC4_BLK>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>,<VC12_BLK>,
<VC11_ASY>,<VC11_BIF>,<VC11_BIL>,<VC11_BYF>,<VC11_BYL
>,<VC11_BLK>,<VC11_384D>,<VC11_384V>の場合または
<VC3_45MASY>時 45M_2M オプション未装着の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M622>,<M156>,<M156CMI>,
<M52B3ZS>かつ，:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が
<OFF>,<M34>,<M8>かつ，:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が
<VC4_ASY>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>の場合または<VC3_45MASY
>時 DEMUX が<OFF>,<M1_5>,<K64>の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M139>,<M34>,<M8>かつ,
:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>,<M34>,<M8>の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M1_5>の場合または<M45>時
M45_2M オプション未装着の場合。

使用例　最大チャネル数を 30 チャネルとする場合。
> :SENSe:TELecom:M2:MCHannel 30

:SENSe:TELecom:M2:MCHannel?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　受信 2M の信号の最大チャネル数を問い合わせます。

使用例　> :SENSe:TELecom:M2:MCHannel?
< 30

:SENSe:TELecom:M1_5:FRAMed <frame>

パラメータ　<frame> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
D4
ESF
ESF　Japan ESF

機 能　1.5M の信号のフレームを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・1.5/45/52M ユニット未装着の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M622>,<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS>かつ，:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>,<VC12_ASY>,<VC12_BIF>,<VC12_BIL>,<VC12_BYF>,<VC12_BYL>,<VC12_BLK>,<VC11_384D>,<VC11_384V>の場合または<VC3_45MASY>時 45M_2M オプション未装着の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M622>,<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS>かつ，:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>,<M34>,<M8>の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M139>,<M34>,<M8>,<M2>の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M45>かつ，:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>の場合。

使用例　1.5M フレームを D4 に設定する場合。
> :SENSe:TELecom:M1_5:FRAMed D4

:SENSe:TELecom:M1_5:FRAMed?

レスポンス　<frame> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　1.5M の信号のフレームを問い合わせます。

使用例　> :SENSe:TELecom:M1_5:FRAMed?
< D4

:SENSe:TELecom:M1_5:CODE <code>

パラメータ　<code> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
AMI
B8ZS

機 能　1.5M の信号のコードを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・1.5/45/52M ユニット未装着の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M622>,<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS>かつ，:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>,<VC12_ASY>,<VC12_BIF>,<VC12_BIL>,<VC12_BYF>,<VC12_BYL>,<VC12_BLK>,<VC11_384D>,<VC11_384V>の場合または<VC3_45MASY>時 45M_2M オプション未装着の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M622>,<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS>かつ，:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>,<M34>,<M8>の場合。

・:SENSe:TELecom:BRATe が<M139>,<M34>,<M8>,<M2>の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M45>かつ,
:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>の場合。
※:SOURce:TELecom:M1_5:FRAMed の制約条件と同じ。

使用例　1.5M コードを AMI に設定する場合。
> :SENSe:TELecom:M1_5:CODE AMI

:SENSe:TELecom:M1_5:CODE?

レスポンス　<code> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　1.5M の信号のコードを問い合わせます。
使用例　> :SENSe:TELecom:M1_5:CODE?
< AMI

:SENSe:TELecom:M45:FRAMed <frame>

パラメータ　<frame> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
M13
CBIT
機 能　45M の信号のフレームを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・1.5/45/52M ユニット未装着の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M622>,<M156>,<M156CMI>,
<M52B3ZS>かつ:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が
<VC3_45MASY>以外の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M139>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>
の場合。

使用例　45M フレームを M13 に設定する場合。
> :SENSe:TELecom:M45:FRAMed M13

:SENSe:TELecom:M45:FRAMed?

レスポンス　<frame> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　45M の信号のフレームを問い合わせます。
使用例　> :SENSe:TELecom:M45:FRAMed?
< M13

:SENSe:TELecom:IMODe <imode>

パラメータ　<imode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

TERMinal	Monitor mode OFF
MONitoring	Monitor mode ON

機 能　入力信号のレベルを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・光または NRZ ユニット装着かつ，:SENSe:TELecom:BRATe が
<M622>,<M156>時の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M52B3ZS>,<M45>,<M1_5>の場合。
・SENSe:TELecom:BRATe が<M52B3ZS>,<M45>かつ，DSX が<900>の
場合。

使用例　入力信号レベル TERMinal に設定する場合。
> :SENSe:TELecom:IMODe TERMinal

:SENSe:TELecom:IMODe?

レスポンス　<imode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　入力信号のレベルを問い合わせます。
使用例　> :SENSe:TELecom:IMODe?
< TERM

:SENSe:TELecom:DSX <dsx>

パラメータ　<dsx> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

0	0ft
450	450ft
655	655f
900	900f

機 能　受信信号における DSX のケーブル長を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・1.5/45/52M ユニット未装着の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M622>,<M156>,<156MCMI><M139>,<M34>,<M8>,<M2>の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M52B3ZS>,<M45>時<0>,<655>設定の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M1_5>時<450>,<900>設定の場合。
・Tx/Rx 時:SENSe:TELecom:BRATe が<M1_5>設定の場合。
使用例　DSX のケーブル長を 450ft にする場合。
> :SENSe:TELecom:DSX 450

:SENSe:TELecom:DSX?

レスポンス　<dsx> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

0	0ft
450	450ft
655	655f
900	900f

機 能　受信信号における DSX のケーブル長を問い合わせます。
使用例　> :SENSe:TELecom:DSX?
< 450

:SENSe:MEASure:TYPE <mmode>

パラメータ　<mmode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

MANua	マニュアル測定
SINGle	シングル測定
REPeat	リピート測定

機 能　測定モードを選択します。
制 約　次の場合無効になります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual:[JOFF]">,<"PSEQuence[:JOFF]">以外の場合。
使用例　測定モードをリピート測定にする場合。
> :SENSe:MEASure:TYPE REPeat

:SENSe:MEASure:TYPE?

レスポンス　<mmode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　測定モードを問い合わせます。
使用例　> :SENSe:MEASure:TYPE?
< REP

:SENSe:MEASure:PERiod <numeric>,<suffix>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 99
<suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

D	day
H	hour
M	minute
S	second

機 能　測定期間を設定します。
制 約　次の場合無効になります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual:[JOFF]">,<"PSEQuence [:JOFF]">以外の場合。
・:SENSe:MEASure:TYPE で<MANual>を設定した場合。
使用例　測定時間を 1 時間に設定する場合。
> :SENSe:MEASure:PERiod 1,h

:SENSe:MEASure:PERiod?

レスポンス　<numeric>,<suffix>
<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
<suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　測定期間を問い合わせます。
使用例　> :SENSe:MEASure:PERiod?
< 1,h

:SENSe:MEASure:BTIMe:SET <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	測定開始時刻設定機能 OFF
ON　or 1	測定開始時刻設定機能 ON

機 能　測定開始時刻設定機能の ON/OFF を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual:[JOFF]">以外の場合。
使用例　測定開始時刻の設定機能を ON にする場合。
> :SENSe:MEASure:BTIMe:SET ON

:SENSe:MEASure:BTIMe:SET?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 or 1
機 能　測定開始時刻設定機能の ON/OFF を問い合わせます。
使用例　> :SENSe:MEASure:BTIMe:SET?
< 1

:SENSe:MEASure:BTIMe:STARt <year>,<month>,<day>,<hour>,<minute>,<second>

パラメータ　<year>　= <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1994～2093
<month> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～12
<day>　= <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～31
<hour>　= <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0～23
<minute>= <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0～59
<second>= <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0～59

機 能　測定開始時刻設定機能の測定開始時刻を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual:[JOFF]">以外の場合。
・:SENSe:MEASure:BTIMe:SET で<OFF>とした場合。

使用例　測定開始時刻を 1995 年 4 月 1 日 10 時 12 分 13 秒に設定する場合。
> :SENSe:MEASure:BTIMe:STARt 1995,4,1,10,12,13

:SENSe:MEASure:BTIMe:STARt?

レスポンス　<year>,<month>,<day>,<hour>,<minute>,<second>
= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　測定開始時刻設定機能の測定開始時刻を問い合わせます。

使用例　> :SENSe:MEASure:BTIMe:STARt?
< 1995,4,1,10,12,13

:SENSe:MEASure:BERRor <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0
ON　or 1

機 能　Bit エラー測定の有無を設定します。

使用例　> :SENSe:MEASure:BERRor ON

:SENSe:MEASure:BERRor?

レスポンス　<boolean> = <N1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0
1

機 能　Bit エラー測定の有無を問い合わせます。

使用例　> :SENSe:MEASure:BERRor?
< 0

:SENSe:MEASure:STATe?

レスポンス　<mestype>,<numeric>

<mestype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

TSE	Trouble search 測定
MAN	Manual 測定
PSEQ	Pointer sequence 測定
DEL	Delay 測定
JTOL	Jitter tolerance 測定
JTR	Jitter transfer 測定
JFR	Jitter frequency 測定
WAND	Wander 測定
CDV1	1-point CDV 測定
CDV2	2-point CDV 測定
JSW	Jitter sweep 測定
FSW	Freq. sweep 測定
WSW	Wander sweep 測定
OHT	OH test 測定
APST	APS test 測定
PERF	Performance check 測定
IPT	IP test 測定
FMEM	Frame memory 測定
S1T	S1 test 測定

<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0	測定終了
1	測定中

機 能　測定状態を問い合わせます。
なにも測定されていない場合は以下のように出力されます。
< NON,0

使用例　> :SENSe:MEASure:STATe?
< MAN,1

:SENSe:MEASure:STARt

パラメータ　なし

機 能　:DISPlay:TMENu[:NAME] で指定した測定を開始させます。

制 約　セルフテスト画面が表示されている場合無効となります。

使用例　> :SENSe:MEASure:STARt

:SENSe:MEASure:STOP

パラメータ　なし

機 能　現在実行中の測定を停止します。

制 約　セルフテスト画面が表示されている場合無効となります。

使用例　> :SENSe:MEASure:STOP

:SENSe:MEASure:STIMe?

レスポンス　<year>,<month>,<day>,<hour>,<minute>,<second>
= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　測定の開始時間を問い合わせます。

使用例　> :SENSe:MEASure:STIMe?
< 1995,10,5,19,50,34

:SENSe:MEASure:ELAPsed?

レスポンス　<day>,<hour>,<minute>,<second>
= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　測定の経過時間を問い合わせます。

使用例　経過時間が 5 日 19 時 50 分 34 秒間あった場合。
> :SENSe:MEASure:ELAPsed?
< 5,19,50,34

:SENSe:MEASure:TSEarch:WTIMe <wtime>

パラメータ　<wtime> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

MS500	0.5s
SEC1	1s
SEC2	2s
SEC5	5s

機 能　トラブルサーチのウェイトタイムを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"TSEarch">以外の場合。

使用例　トラブルサーチのウェイトタイムを 1s に設定する場合。
> :SENSe:MEASure:TSEarch:WTIMe SEC1

:SENSe:MEASure:TSEarch:WTIMe?

レスポンス　<wtime> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　トラブルサーチのウェイトタイムの設定を問い合わせます。

使用例　> :SENSe:MEASure:TSEarch:WTIMe?
< SEC1

:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:MODE <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0
ON or 1

機 能　トラブルサーチの Mixed payload 機能の ON/OFF を設定します。

制 約　次の場合無効になります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] の設定が<”TSEarch”>時以外
・:SENSe:TELecom:BRATe の設定が<M9953>,<M2488>,
<M622>,<M156>,<M156CMI>時以外
・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE の設定が<VC4_ASY>,
<VC4_BLK>,<VC4_64CBLK>,<VC4_16CBLK>,
<VC4_4CBLK>, <VC4_CBLK>または<ST3_ASY>
<ST3_BLK>,<STS3_64CBLK>,<STS3_16CBLK>,
<STS3_4CBLK>,<STS3_CBLK>時

使用例　トラブルサーチの Mixed payload 機能を ON にする場合。
>:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:MODE ON

:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:MODE?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0
1

機 能　トラブルサーチの Mixed payload 機能の設定を問い合わせます。

使用例　>:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:MODE?
<1

:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad1:TYPE <ptype>

パラメータ　<ptype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

VC3_BLK	VC3(Bulk)
VC2_BLK	VC2(Bulk)
VC12_BLK	VC12(Bulk)
VC11_BLK	VC11(Bulk)

(SONET)

STS1_BLK	STS1 SPE (Bulk)
VT6_BLK	VT6 SPE (Bulk)
VT2_BLK	VT2 SPE (Bulk)
VT15_BLK	VT1.5 SPE (Bulk)

機 能　トラブルサーチの Mixed payload1 の測定マッピングルートを設定します。

制 約　次の場合無効になります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME] の設定が<”TSEarch”>時以外
・:SENSe:TELecom:BRATe の設定が<M9953>,<M2488>,<M622>,<M156>,<M156CMI>時以外
・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE の設定が<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC4_64CBLK>,<VC4_16CBLK>,<VC4_4CBLK>, <VC4_CBLK>または<ST3_ASY>,<ST3_BLK>,<STS3_64CBLK>,<STS3_16CBLK>,<STS3_4CBLK>,<STS3_CBLK>時
・:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:MODE <OFF>時

使用例　トラブルサーチの Mixed payload1 の測定マッピングルートを VC3 (Bulk) にする場合。
>:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad1:TYPE VC3_BLK

:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad1:TYPE?

レスポンス　<ptype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　トラブルサーチの Mixed payload1 の測定マッピングルートを問い合わせます

使用例　>:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad1:TYPE?
>VC3_BLK

:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad1:TU <ttype>
:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad1:VT <ttype>

パラメータ　<ttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)	TU12	(SONET)	VT2
	TU11		VT15

機 能　トラブルサーチの Mixed payload1 の測定マッピングルート TU ルートを設定します。

制 約　　次の場合無効になります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] の設定が<”TSEarch”>時以外
・:SENSe:TELecom:BRATe の設定が<M9953>,<M2488>,<M622>,<M156>,<M156CMI>時以外
・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE の設定が<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC4_64CBLK>,<VC4_16CBLK>,<VC4_4CBLK>, <VC4_CBLK>または<ST3_ASY>,<ST3_BLK>,<STS3_64CBLK>,<STS3_16CBLK>,<STS3_4CBLK>,<STS3_CBLK>時
・:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:MODE <OFF>時
・:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYload1:TYPE <VC12_BLK>,<VC11_BLK>

使用例　　トラブルサーチの Mixed payload1 の測定マッピングルート TU ルートを TU12 にする場合。
>:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYload1:TU TU12

:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad1:TU?
:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad1:VT?

パラメータ　　<ttype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　トラブルサーチの Mixed payload1 の測定マッピングルート TU ルートを問い合わせます。

使用例　　>:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad1:TU?
<TU12

:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad2:TYPE <ptype>

パラメータ　　<ptype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

VC3_BLK	VC3(Bulk)
VC2_BLK	VC2(Bulk)
VC12_BLK	VC12(Bulk)
VC11_BLK	VC11(Bulk)

(SONET)

STS1_BLK	STS1 SPE (Bulk)
VT6_BLK	VT6 SPE (Bulk)
VT2_BLK	VT2 SPE (Bulk)
VT15_BLK	VT1.5 SPE (Bulk)

機 能　　トラブルサーチの Mixed payload2 の測定マッピングルートを設定します。

制 約　　次の場合無効になります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] の設定が<”TSEarch”>時以外
・:SENSe:TELecom:BRATe の設定が<M9953>,<M2488>,<M622>,<M156>,<M156CMI>時以外
・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE の設定が<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC4_64CBLK>,<VC4_16CBLK>,<VC4_4CBLK>, <VC4_CBLK>または<ST3_ASY>,<ST3_BLK>,<STS3_64CBLK>,<STS3_16CBLK>,<STS3_4CBLK>,<STS3_CBLK>時
・:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:MODE <OFF>時

使用例　トラブルサーチの Mixed payload2 の測定マッピングルートを VC3 (Bulk) にする場合。
>:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad2:TYPE VC3_BLK

:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad2:TYPE?

レスポンス　<ptype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　トラブルサーチの Mixed payload2 の測定マッピングルートを問い合わせます
使用例　>:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad2:TYPE?
>VC3_BLK

:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad2:TU <ttype>
:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad2:VT <ttype>

パラメータ　<ttype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)	TU12	(SONET)	VT2
	TU11		VT15

機 能　トラブルサーチの Mixed payload2 の測定マッピングルート TU ルートを設定します。
制 約　次の場合無効になります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] の設定が<”TSEarch”>時以外
・:SENSe:TELecom:BRATe の設定が<M9953>,<M2488>,<M622>,<M156>,<M156CMI>時以外
・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE の設定が<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC4_64CBLK>,<VC4_16CBLK>,<VC4_4CBLK>, <VC4_CBLK>または<ST3_ASY>,<ST3_BLK>,<STS3_64CBLK>,<STS3_16CBLK>,<STS3_4CBLK>,<STS3_CBLK>時
・:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:MODE <OFF>時
・:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYload2:TYPE <VC12_BLK>,<VC11_BLK>
使用例　トラブルサーチの Mixed payload2 の測定マッピングルート TU ルートを TU12 にする場合。
>:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYload2:TU TU12

:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad2:TU?
:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad2:VT?

パラメータ　<ttype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　トラブルサーチの Mixed payload2 の測定マッピングルート TU ルートを問い合わせます。
使用例　>:SENSe:MEASure:TSEarch:MPAYload:PAYLoad2:TU?
<TU12

:SENSe:MEASure:DELay:PERiod <period>

パラメータ　<period> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

MS500	0.5s
SEC1	1s
SEC2	2s
SEC5	5s
SEC10	10s

機 能　Delay 測定の測定周期を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"DELay">以外の場合。

使用例　Delay 測定の測定周期を 1s に設定する場合。

> :SENSe:MEASure:DELay:PERiod SEC1

:SENSe:MEASure:DELay:PERiod?

レスポンス　<period> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Delay 測定の測定周期を問い合わせます。

使用例　> :SENSe:MEASure:DELay:PERiod?

< SEC1

:SENSe:MEASure:GRESolution <gres>

パラメータ　<gres> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

SEC1	1ec
MIN1	1min
MIN15	15min
MIN60	60min

機 能　分析グラフの時間軸分解能を設定します。

使用例　分析グラフの時間軸分解能を 15 分に設定する場合。

> :SENSe:MEASure:GRESolution MIN15

:SENSe:MEASure:GRESolution?

レスポンス　<gres> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　分析グラフの時間軸分解能の設定を問い合わせます。

使用例　> :SENSe:MEASure:GRESolution?

< MIN15

:SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:MEAS <type>,<mode>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LOS
LOF
OOF
AIS
RDI

<mode> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0
ON　or 1

機 能　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <CID>設定時において AIS,RDI を設定した場合。
・:INSTrument:CONFig < NON >設定時において LOF,OOF,AIS,RDI を設定した場合。

使用例　　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の LOS を ON に設定する場合。
> :SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:MEAS LOS,ON

:SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:MEAS? <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0
1

機 能　　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせます。

使用例　　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の LOS の設定の問い合わせをする場合。
> :SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:MEAS? LOS
< 1

:SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:DETection <type>,<mode>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
LOF
AIS
RDI
<mode> = <NON-DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1.0 ～ 5.0ms　ステップ値：0.1　<type>が LOF の場合
1 ～ 15frame　ステップ値：1　<type>が AIS の場合
1 ～ 15frame　ステップ値：1　<type>が RDI の場合

機 能　　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <CID>設定時において AIS,RDI を設定した場合。
・:INSTrument:CONFig < NON >設定時。

使用例　　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の LOF Det を 1.0ms に設定する場合。
> :SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:DETection LOF,1.0

:SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:DETection? <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　　<mode> = <NR2 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせます。

使用例　　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の LOF Det の設定の問い合わせをする場合。
> :SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:DETection? LOF
< 1.0

:SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:REMove <type>,<mode>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
LOF
AIS
RDI
<mode> = <NON-DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1.0 ～ 5.0ms　ステップ値：0.1　<type>が LOF の場合
1　～ 15frame　ステップ値：1　<type>が AIS の場合
1　～ 15frame　ステップ値：1　<type>が RDI の場合

機 能　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <CID>設定時において AIS,RDI を設定した場合。
・:INSTrument:CONFig < NON >設定時。

使用例　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の LOF Rem を 2.0ms に設定する場合。
> :SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:REMove LOF,2.0

:SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:REMove? <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせます。

使用例　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の LOF Rem の設定の問い合わせをする場合。
> :SENSe:MEASure:ALARm:SECTion:REMove? LOF
< 2.0

:SENSe:MEASure:ALARm:HP:MEAS <type>,<mode>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
(SDH)
AIS
LOP
RDI
SLM
TIM
UNEQ
(SONET)
AIS
LOP
RDI
PLM
TIM
UNEQ
<mode> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0
ON　or 1

機 能　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件を設定します。

使用例　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件 AIS を ON に設定する場合。
> :SENSe:MEASure:ALARm:HP:MEAS AIS,ON

:SENSe:MEASure:ALARm:HP:MEAS? <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0

1

機 能　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせます。

使用例　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の AIS の設定の問い合わせをする場合。

> :SENSe:MEASure:ALARm:HP:MEAS? LOF

< 1

:SENSe:MEASure:ALARm:HP:DETection <type>,<mode>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

AIS

RDI

SLM

UNEQ

(SONET)

AIS

RDI

PLM

UNEQ

<mode> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 15 frame　ステップ値： 1

機 能　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件を設定します。

使用例　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件 AIS Det を 2 に設定する場合。

> :SENSe:MEASure:ALARm:HP:DETection AIS,2

:SENSe:MEASure:ALARm:HP:DETection? <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせます。

使用例　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の AIS Det の設定の問い合わせをする場合。

> :SENSe:MEASure:ALARm:HP:DETection? AIS

< 2

:SENSe:MEASure:ALARm:HP:REMove <type>,<mode>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

AIS

RDI

SLM

UNEQ

(SONET)
AIS
RDI
PLM
UNEQ
<mode> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 15 frame　ステップ値： 1

機 能　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件を設定します。

使用例　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件 AIS Rem を 2 に設定する場合。
> :SENSe:MEASure:ALARm:HP:REMove AIS,2

:SENSe:MEASure:ALARm:HP:REMove? <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせます。

使用例　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の AIS Rem の設定の問い合わせをする場合。
> :SENSe:MEASure:ALARm:HP:REMove? AIS
< 2

:SENSe:MEASure:ALARm:LP:MEAS <type>,<mode>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
(SDH)
AIS
LOP
RDI
SLM
RFI
LOM
TIM
UNEQ
(SONET)
AIS
LOP
RDI
PLM
RFI
LOM
TIM
UNEQ
<mode> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0
ON　or 1

機 能　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件を設定します。

使用例　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件 AIS を OFF に設定する場合。
> :SENSe:MEASure:ALARm:LP:MEAS AIS,OFF

:SENSe:MEASure:ALARm:LP:MEAS? <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0

1

機 能　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせます。

使用例　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の AIS の設定の問い合わせをする場合。

> :SENSe:MEASure:ALARm:LP:MEAS? LOF

< 0

:SENSe:MEASure:ALARm:LP:DETection <type>,<mode>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

AIS
LOP
RDI
SLM
RFI
LOM
UNEQ

(SONET)

AIS
LOP
RDI
PLM
RFI
LOM
UNEQ

<mode> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 15 frame　ステップ値： 1

機 能　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件を設定します。

使用例　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件 AIS DETection を 2 に設定する場合。

> :SENSe:MEASure:ALARm:LP:DETection AIS,2

:SENSe:MEASure:ALARm:LP:DETection? <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせます。

使用例　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の AIS Det の設定の問い合わせをする場合。

> :SENSe:MEASure:ALARm:LP:DETection? AIS

< 2

:SENSe:MEASure:ALARm:LP:REMove <type>,<mode>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

AIS
LOP
RDI
SLM
RFI
LOM
UNEQ

(SONET)

AIS
LOP
RDI
PLM
RFI
LOM
UNEQ

<mode> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 15 frame　ステップ値： 1

機 能　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件を設定します。

使用例　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件 AIS Rem を 2 に設定する場合。

> :SENSe:MEASure:ALARm:LP:REMove AIS,2

:SENSe:MEASure:ALARm:LP:REMove? <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の設定値を問い合わせます。

使用例　Error/Alarm 測定の Alarm 検出解除条件の AIS Rem の設定の問い合わせをする場合。

> :SENSe:MEASure:ALARm:LP:REMove? AISREMove

< 2

:SENSe:MEASure:ALARm:MASK <mask>

パラメータ　<mask> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0
ON　or 1

機 能　上位アラームが発生していた場合に下位アラームが発生していてもマスクする／しないを設定します。

使用例　上位アラームが発生していた場合下位アラームが発生していてもマスクするに設定する場合。

> :SENSe:MEASure:ALARm:MASK ON

:SENSe:MEASure:ALARm:MASK?

レスポンス　<mask> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0
1

機 能　　上位アラームが発生していた場合に下位アラームが発生していてもマスクする／しないの設定値を問い合わせます。

使用例　　上位アラームが発生していた場合に下位アラームが発生していてもマスクする／しないの設定を問い合わせる場合。

```
> :SENSe:MEASure:ALARm:MASK?
< 1
```

(SDH 向け)

:SENSe:MEASure:TANDem:N1HP:MODE <mode>
:SENSe:MEASure:TANDem:N1LP:MODE <mode>
:SENSe:MEASure:TANDem:N2:MODE <mode>

(SONET 向け)

:SENSe:MEASure:TANDem:Z5HP:MODE <mode>
:SENSe:MEASure:TANDem:Z5LP:MODE <mode>
:SENSe:MEASure:TANDem:Z6:MODE <mode>

パラメータ　　<mode> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
　　OFF or 0
　　ON　or 1

機 能　　タンデムコネクションのエラーやアラームの受信状態の設定をします。

制 約　　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM の場合。

使用例　　N1_HP のタンデムコネクションにおけるエラーやアラームの受信状態を有効にする場合。

```
> :SENSe:MEASure:TANDem:N1HP:MODE ON
```

(SDH 向け)

:SENSe:MEASure:TANDem:N1HP:MODE?
:SENSe:MEASure:TANDem:N1LP:MODE?
:SENSe:MEASure:TANDem:N2:MODE?

(SONET 向け)

:SENSe:MEASure:TANDem:Z5HP:MODE?
:SENSe:MEASure:TANDem:Z5LP:MODE?
:SENSe:MEASure:TANDem:Z6:MODE?

レスポンス　　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
　　0
　　1

機 能　　タンデムコネクションのエラーやアラームの受信状態の設定を問い合わせます。

使用例

```
> :SENSe:MEASure:TANDem:N1HP?
< 1
```

(SDH 向け)
:SENSe:MEASure:TANDem:N1HP:TYPE　<type>
:SENSe:MEASure:TANDem:N1LP:TYPE　<type>
(SONET 向け)
:SENSe:MEASure:TANDem:Z5HP:TYPE　<type>
:SENSe:MEASure:TANDem:Z5LP:TYPE　<type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
TYPE1(N1-LP は TYPE1 なし)
TYPE2

機 能　タンデムコネクションに関する N1/Z5 バイトのタイプを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM の場合。

使用例　N1_HP の N1 のタイプを TYPE2 に設定する場合。
> :SENSe:MEASure:TANDem:N1HP:TYPE TYPE2

(SDH 向け)
:SENSe:MEASure:TANDem:N1HP:TYPE?
:SENSe:MEASure:TANDem:N1LP:TYPE?
(SONET 向け)
:SENSe:MEASure:TANDem:Z5HP:TYPE?
:SENSe:MEASure:TANDem:Z5LP:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
TYPE1(N1-LP は TYPE1 なし)
TYPE2

機 能　タンデムコネクションに関する N1/Z5 バイトのタイプを設定します。

使用例　> :SENSe:MEASure:TANDem:N1HP:TYPE?
< TYPE2

:SENSe:MEASure:TANDem:HP:MEAS <type>,<mode>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
VC-AIS
ISF
FAS
INCais
TC-RDI
ODI
<mode> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0
ON　or 1

機 能　タンデムエラーおよびアラームの検出解除条件をの有無を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM の場合。

使用例　VC-AIS の検出解除条件を ON に設定する場合。
> :SENSe:MEASure:TANDem:HP:MEAS VC-AIS,ON

:SENSe:MEASure:TANDem:HP:MEAS? <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0

1

機 能　タンデムエラーおよびアラームの検出解除条件の有無を問い合わせます。

使用例　VC-AIS の検出解除条件の有無の問い合わせをする場合。

> :SENSe:MEASure:TANDem:HP:MEAS? VC-AIS

< 1

:SENSe:MEASure:TANDem:HP:DETection <type>,<mode>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

VC-AIS

ISF

FAS

INCais

TC-RDI

ODI

<mode> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 15 frame　ステップ値： 1

機 能　タンデムエラーおよびアラームの検出条件を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM の場合。

使用例　検出条件 VC-AIS Det を 2 に設定する場合。

> :SENSe:MEASure:TANDem:HP:DETection VC-AIS,2

:SENSe:MEASure:TANDem:HP:DETection? <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

レスポンス　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　タンデムエラーおよびアラームの検出条件を問い合わせます。

使用例　検出条件 VC-AIS Det の設定の問い合わせをする場合。

> :SENSe:MEASure:TANDem:HP:DETection? VC-AIS

< 2

:SENSe:MEASure:TANDem:HP:REMove <type>,<mode>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

VC-AIS

ISF

FAS

INCais

TC-RDI

ODI

<mode> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 15 frame　ステップ値： 1

機 能　タンデムエラーおよびアラームの解除条件を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM の場合。

使用例　　タンデムエラーおよびアラームの解除条件 VC-AIS Rem を 2 に設定する場合。
> :SENSe:MEASure:TANDem:HP:REMove VC-AIS,2

:SENSe:MEASure:TANDem:HP:REMove? <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　タンデムエラーおよびアラームの解除条件の設定値を問い合わせます。
使用例　　解除条件の VC-AIS Rem の設定の問い合わせをする場合。
> :SENSe:MEASure:TANDem:HP:REMove? VC-AIS
< 2

:SENSe:MEASure:TANDem:LP:MEAS <type>,<mode>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
VC-AIS
FAS
INCais
TC-RDI
ODI
<mode> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0
ON　or 1
機 能　　タンデムエラーおよびアラームの検出解除条件の有無を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM の場合。
使用例　　VC-AIS の検出解除条件を ON に設定する場合。
> :SENSe:MEASure:TANDem:LP:MEAS VC-AIS,OFF

:SENSe:MEASure:TANDem:LP:MEAS? <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0
1
機 能　　タンデムエラーおよびアラームの検出解除条件の有無を問い合わせます。
使用例　　VC-AIS の検出解除条件の有無の問い合わせをする場合。
> :SENSe:MEASure:TANDem:LP:MEAS? LOF
< 0

:SENSe:MEASure:TANDem:LP:DETection <type>,<mode>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
VC-AIS
FAS
INCais
TC-RDI
ODI
<mode> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 15 frame　ステップ値： 1
機 能　　タンデムエラーおよびアラームの検出条件を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM の場合。
使用例　　検出条件 VC-AIS Det を 2 に設定する場合。
> :SENSe:MEASure:TANDem:LP:DETection VC-AIS,2

:SENSe:MEASure:TANDem:LP:DETection? <type>
パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　タンデムエラーおよびアラームの検出条件を問い合わせます。
使用例　　検出条件 VC-AIS Det の設定の問い合わせをする場合。
> :SENSe:MEASure:TANDem:LP:DETection? VC-AIS
< 2

:SENSe:MEASure:TANDem:LP:REMove <type>,<mode>
パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
VC-AIS
FAS
INCais
TC-RDI
ODI
<mode> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 15 frame　ステップ値： 1
機 能　　タンデムエラーおよびアラームの解除条件を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM の場合。
使用例　　タンデムエラーおよびアラームの解除条件 VC-AIS Rem を 2 に設定する場合。
> :SENSe:MEASure:TANDem:LP:REMove VC-AIS,2

:SENSe:MEASure:TANDem:LP:REMove? <type>
パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
レスポンス　　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　タンデムエラーおよびアラームの解除条件の設定値を問い合わせます。
使用例　　解除条件の VC-AIS Rem の設定の問い合わせをする場合。
> :SENSe:MEASure:TANDem:LP:REMove? AISREMove
< 2

(SDH 向け)
:SENSe:MEASure:SLM:DETection:HP:MODE <mode>
:SENSe:MEASure:SLM:DETection:LP:MODE <mode>
(SONET 向け)
:SENSe:MEASure:PLM:DETection:HP:MODE <mode>
:SENSe:MEASure:PLM:DETection:LP:MODE <mode>
パラメータ　　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
AUTO
MANual
機 能　　POH 中のシグナル識別パターンの比較パターンを設定します。

使用例　　POH 中のシグナル識別パターンの比較パターンを AUTO に設定する場合。
> SENSe:MEASure:SLM:DETection:HP:MODE AUTO

(SDH 向け)
:SENSe:MEASure:SLM:DETection:HP:MODE?
:SENSe:MEASure:SLM:DETection:LP:MODE?
(SONET 向け)
:SENSe:MEASure:PLM:DETection:HP:MODE?
:SENSe:MEASure:PLM:DETection:LP:MODE?
レスポンス　　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
機 能　　POH 中のシグナル識別パターンの比較パターンの設定値を問い合わせます。
使用例　　POH 中のシグナル識別パターンの比較パターン設定の問い合わせをする場合。
> SENSe:MEASure:SLM:DETection:HP:MODE?
< AUTO

(SDH 向け)
:SENSe:MEASure:SLM:DETection:HP:PATTern <pattern>
:SENSe:MEASure:SLM:DETection:LP:PATTern <pattern>
(SONET 向け)
:SENSe:MEASure:PLM:DETection:HP:PATTern <pattern>
:SENSe:MEASure:PLM:DETection:LP:PATTern <pattern>
パラメータ　　<string> = <STRING PROGRAM DATA>
“00” ～ “FF” (HEX 形式)
機 能　　POH 中のシグナル識別パターンの比較パターンを設定します。
使用例　　POH 中のシグナル識別パターンの比較パターンを AB に設定する場合。
> SENSe:MEASure:SLM:DETection:HP:PATTern “AB”

(SDH 向け)
:SENSe:MEASure:SLM:DETection:HP:PATTern?
:SENSe:MEASure:SLM:DETection:LP:PATTern?
(SONET 向け)
:SENSe:MEASure:PLM:DETection:HP:PATTern?
:SENSe:MEASure:PLM:DETection:LP:PATTern?
レスポンス　　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
機 能　　POH 中のシグナル識別パターンの比較パターンの設定値を問い合わせます。
使用例　　POH 中のシグナル識別パターンの比較パターン設定の問い合わせをする場合。
> SENSe:MEASure:SLM:DETection:HP:PATTern?
< “AB”

:SENSe:MEASure:LOPDetection <type>
パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

WITHssbit	With SS bit
WOUTssbit	Without SS bit

機　能　　LOP 検出条件の設定を行います。

制　約　　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig の設定が<CID>,<NON>,<ATM>,<JITTER>の場合

使用例　　LOP Detection の設定を行います。
> :SENSe:MEASure:LOPDetection WITHssbit

:SENSe:MEASure:LOPDetection?

レスポンス　　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
WITH　　With SS bit
WOUT　　Without SS bit

機　能　　LOP 検出条件の問い合わせを行います。

使用例　　> :SENSe:MEASure:LOPDetection?
< WITH

:SENSe:SIGPreset:RX <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
OFF
MULTI64
MULTI8

機 能　　マッピングが BYTE(Data, Voice)の場合に VC11(V5byte)のシグナリングバイト(通称 Wbyte)に設定するデータのフレーム構成を選択します。

制 約　　次の場合無効となります。
オプション 09 Japan mapping が未装着時。

使用例　　送信シグナリングバイトに 64-multiframe を設定する場合。
> :SENSe:SIGPreset:RX MULTI64

:SENSe:SIGPreset:RX?

レスポンス　　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　マッピングが BYTE(Data, Voice)の場合に，VC11(V5byte)のシグナリングバイト(通称 Wbyte)に設定するデータの，フレーム構成を問い合わせます。

使用例　　送信シグナリングバイトのフレーム構成を問い合わせる場合。
> :SENSe:SIGPreset:RX?

:SENSe:PCHeck:MODE <mode>

パラメータ　　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
MANUAL　　Manual

機 能　　Performance check 測定モードの設定を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]の設定が<“PERFormance”>以外の場合。

使用例　　測定モードを設定する場合。
> :SENSe:PCHeck:MODE MANUAL

:SENSe:PCHeck:MODE?

レスポンス　　<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　Performance check 測定モードの設定を問い合わせます。

使用例　　> :SENSe:PCHeck:MODE?
< MANUAL

:SENSe:IPTest:MEASuer:TYPE <mmode>

パラメータ　<mmode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

SINGle	Single
REPeat	Repeat
MANual	Manual

機 能　IP test 測定モードを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・ オプション 14 が装着されていない場合。

・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。

使用例　測定モードをリピート測定に設定する場合。

> :SENSe:IPTest:MEASuer:TYPE REPeat

:SENSe:IPTest:MEASuer:TYPE?

レスポンス　<mmode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

:SENSe:IPTest:MEASuer:TYPE と同じ。

機 能　IP test 測定モードを問い合わせます。

使用例　> :SENSe:IPTest:MEASuer:TYPE?

< REP

:SENSe:IPTest:MEASuer:PERiod <numeric>,<suffix>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 99　　ステップ値：1

<suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

S	s
M	min
H	h
D	day

機 能　測定ゲーティングピリオドの時間と単位を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・ オプション 14 が装着されていない場合。

・ :DISPlay:TMENu[:NAME]が<“IPTest”>以外の場合。

・ :SENSe:IPTest:MEASuer:TYPE が <MANual>の場合。

使用例　測定時間を 1 時間に設定する場合。

> :SENSe:IPTest:MEASuer:PERiod 1,H

:SENSe:IPTest:MEASuer:PERiod?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

:SENSe:IPTest:MEASuer:PERiod と同じ。

<suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

:SENSe:IPTest:MEASuer:PERiod と同じ。

機 能　測定ゲーティングピリオドの時間と単位を問い合わせます。

使用例　> :SENSe:IPTest:MEASuer:PERiod?

< 1,H

:SENSe:OHTest:OHBert:PATTern <pattern>

パラメータ　<pattern> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

PRBS11

PRBS15

機 能　　OH Bert の送信変更パターンを設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<OHB>以外の設定時。
使用例　　OH Bert の送信変更パターンを PRBS11 に変更する場合。
> :SENSe:OHTest:OHBert:PATTern PRBS11

:SENSe:OHTest:OHBert:PATTern?

レスポンス　　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　　OH Bert の送信変更パターンの設定を問い合わせます。
使用例　　> :SENSe:OHTest:OHBert:PATTern?
< PRBS11

:SENSe:OHTest:OHBert:TYPE <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
(SDH)

OFF	OFF
SOH1B	SOH 1byte
POH1B	POH 1byte
DRSect	D1-D3
DMSect	D4-D12

(SONET)

OFF	OFF
TOH1B	TOH 1byte
POH1B	POH 1byte
DRSect	D1-D3
DMSect	D4-D12

機 能　　OH Bert の受信変更タイプを設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<OHB>以外の設定時。
使用例　　OH Bert の変更タイプを POH 1byte に変更する場合。
> :SENSe:OHTest:OHBert:TYPE POH1B

:SENSe:OHTest:OHBert:TYPE?

レスポンス　　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　　OHBert の変更タイプを問い合わせます。
使用例　　> :SENSe:OHTest:OHBert:TYPE?
< POH1B

:SENSe:OHTest:OHBert:POSition:SOH <posi>
:SENSe:OHTest:OHBert:POSition:TOH <posi>

パラメータ　　<posi> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

A11	A11	A13	A21	A22	A23	J0 Z01	X18	X19
X21	X22	X23	E1 X24	X25	X26	F1 X27	X28	X29
D1 X31	X32	X33	D2 X34	X35	X36	D3 X37	X38	X39
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	X54	X55	X56	X57	X58	X59
D4 X61	X62	X63	D5 X64	X65	X66	D6 X67	X68	X69
D7 X71	X72	X73	D8 X74	X75	X76	D9 X77	X78	X79
D10 X81	X82	X83	D11 X84	X85	X86	D12 X87	X88	X89
S1 Z11	Z12	Z13	Z21	Z22	Z23 M1	E2 X97	X98	X99

(SONET)

A11	A12	A13	A21	A22	A23	J0 Z01	Z02	Z03
X21	X22	X23	E1 X24	X25	X26	F1 X27	X28	X29
D1 X31	X32	X33	D2 X34	X35	X36	D3 X37	X38	X39
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	X54	X55	X56	X57	X58	X59
D4 X61	X62	X63	D5 X64	X65	X66	D6 X67	X68	X69
D7 X71	X72	X73	D8 X74	X75	X76	D9 X77	X78	X79
D10 X81	X82	X83	D11 X84	X85	X86	D12 X87	X88	X89
S1 Z11	Z12	Z13	Z21	Z22	Z23 M1	E2 X97	X98	X99

機 能　　OH Bert SOH 1byte・TOH 1byte の 変更バイト位置を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。

・:SOURce:OHTest:TYPE<OHB>以外の設定時。

・:SENSe:OHTest:OHBert:TYPE が<SOH1B>,<TOH1B>以外の場合。

使用例　　OH Bert の変更する位置を Z12 に設定する場合。

> :SENSe:OHTest:OHBert:POSition:SOH Z12

:SENSe:OHTest:OHBert:POSition:SOH?
:SENSe:OHTest:OHBert:POSition:TOH?

レスポンス　<posi> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
:SENSe:OHTest:OHBert:POSiton:SOH と同じです。

機 能　OH Bert の変更バイト位置を問い合わせます。

使用例　OH Bert 変更位置設定の問い合わせをする場合。
> :SENSe:OHTest:OHBert:POSition:SOH?
<　Z12

:SENSe:OHTest:OHBert:POSition:POH <vctype>,<posi>

パラメータ　<vctype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
(SDH)
VC4　POH VC4 パターン
VC3　POH VC3 パターン
VC1　POH VC2/1 パターン
(SONET)
STS3　POH STS3 パターン
STS1　POH STS1 パターン
VT　POH VT パターン
<posi> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
(SDH)　J1, C2, G1, F2, H4, F3, K3, N1, J2, N2, K4
(SONET)　J1, C2, G1, F2, H4, Z3, Z4, Z5, J2, Z6, Z7

機 能　OH Bert POH 1byte,POH の変更バイト位置を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<OHB>以外の設定時。
・:SENSe:OHTest:OHBert:TYPE が<POH1B>の設定以外の場合。
・VC4[STS3]は，:SENSe:TELecom:MAPPing:AU の設定が<AU3>時。
・VC3[STS1]は，:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE <VC4_ASY>, <VC4_BLK>又は<ST3_ASY>,< ST3_BLK>選択時。
・VC3[STS1]は，:SENSe:TELecom:MAPPing:AU の設定が<AU4>時かつ:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE の設定が下記の Mapping を選択した場合。
6M(Async.), 6M(Bitsync.), VC2-mc, VC2-Bulk, 2M(Async.), 2M(Bitsync.F), 2M(Bitsync.L), 2M(Bytesync.F), 2M(Bytesync.L), VC12-Bulk, 1.5M(Async.), 1.5M(Bitsync.F), 1.5M(Bitsync.L), 1.5M(Bytesync.F), 1.5M(Bytesync.L), VC11-Bulk, Byte(Data), Byte(Voice), 384k(Data), 384k(Voice)
・VC2/1 および VT は，:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE の設定が下記の Mapping を選択した場合。
139M(Async.), VC4-Bulk, 34M(Async.), 34M(Sync.), 45M(Async.) VC3-Bulk, 2M(Bitsync.L), 2M(Bytesync.L), 1.5M(Bitsync.L), 1.5M(Bytesync.L)

使用例　OH Bert の変更タイプが POH 1byte のとき変更する位置を VC4 の J1 に設定する場合。
> :SENSe:OHTest:OHBert:POSition:POH VC4,J1

:SENSe:OHTest:OHBert:POSition:POH?

レスポンス　<posi> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　OH Bert の変更バイト位置を問い合わせます。

使用例　OH Bert 変更バイト位置設定の問い合わせをする場合。

> :SENSe:OHTest:OHBert:POSition:POH?

< VC4, J1

:SENSe:OHTest:OHBert:CHANel <ch>

パラメータ　<ch> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 64　ステップ値：1

機 能　OH Bert SOH 1byte または TOH 1byte 受信変更チャネル位置を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。

・:SOURce:OHTest:TYPE<OHB>以外の設定時。

・:SENSe:OHTest:OHBert:TYPE が<SOH1B>,<TOH1B>以外の場合。

使用例　OH Bert の SOH 1byte のとき受信変更チャネル位置を 7 に設定する場合。

> :SENSe:OHTest:OHBert:CHANel 7

:SENSe:OHTest:OHBert:CHANel?

レスポンス　<ch> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　OH Bert SOH 1byte または TOH 1byte 受信変更チャネル位置の設定を問い合わせます。

使用例　OH Bert の SOH 1byte のとき受信変更チャネル位置を問い合わせる場合。

> :SENSe:OHTest:OHBert:CHANel?

< 7

:SENSe:OHTest:ADRop:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)	OFF	OFF
	SOH1B	SOH 1byte
	POH1B	POH 1byte
	DRSect	D1-D3
	DMSect	D4-D12
(SONET)	OFF	OFF
	TOH1B	TOH 1byte
	POH1B	POH 1byte
	DRSect	D1-D3
	DMSect	D4-D12

機 能　OH Drop タイプを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。

・:SOURce:OHTest:TYPE<ADROP>以外の設定時。

使用例　OH Drop タイプを POH 1byte に変更する場合。

> :SENSe:OHTest:ADRop:TYPE POH1B

:SENSe:OHTest:ADRop:TYPE?

レスポンス　　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
:SENSe:OHTest:ADRop:TYPE と同じ。

機 能　　OH Drop タイプの問い合わせを行います。

使用例　　> :SENSe:OHTest:ADRop:TYPE?
< POH1B

:SENSe:OHTest:ADRop:POSition:SOH <posi>
:SENSe:OHTest:ADRop:POSition:TOH <posi>

パラメータ　　<posi> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

A11	A12	A13	A21	A22	A23	J0 Z01	X18	X19
X21	X22	X23	E1 X24	X25	X26	F1 X27	X28	X29
D1 X31	X32	X33	D2 X34	X35	X36	D3 X37	X38	X39
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	X54	X55	X56	X57	X58	X59
D4 X61	X62	X63	D5 X64	X65	X66	D6 X67	X68	X69
D7 X71	X72	X73	D8 X74	X75	X76	D9 X77	X78	X79
D10 X81	X82	X83	D11 X84	X85	X86	D12 X87	X88	X89
S1 Z11	Z12	Z13	Z21	Z22	M1 Z23	E2 X97	X98	X99

(SONET)

A11	A12	A13	A21	A22	A23	J0 Z01	Z02	Z03
X21	X22	X23	E1 X24	X25	X26	F1 X27	X28	X29
D1 X31	X32	X33	D2 X34	X35	X36	D3 X37	X38	X39
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	X54	X55	X56	X57	X58	X59
D4 X61	X62	X63	D5 X64	X65	X66	D6 X67	X68	X69
D7 X71	X72	X73	D8 X74	X75	X76	D9 X77	X78	X79
D10 X81	X82	X83	D11 X84	X85	X86	D12 X87	X88	X89
S1 Z11	Z12	Z13	Z21	Z22	M1 Z23	E2 X97	X98	X99

機 能　　OH Drop SOH 1byte [TOH 1byte]の変更バイト位置の設定を行います。

制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<ADROP>以外の設定時。
・:SENSe:OHTest:ADRop:TYPE が<SOH1B>,<TOH1B>以外の場合。

使用例　　OH Drop の変更タイプを SOH 1byte の時，変更する位置を X85 に設定する場合。
> :SENSe:OHTest:ADRop:POSition:SOH X85

:SENSe:OHTest:ADRop:POSition:SOH?
:SENSe:OHTest:ADRop:POSition:TOH?

レスポンス　　<posi> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
:SENSe:OHTest:ADRop:POSition:SOH と同じ。

機 能　　OH Drop の変更バイト位置設定の問い合わせを行います。

使用例　　OH Drop の変更バイト位置設定の問い合わせをする場合。
> :SENSe:OHTest:ADRop:POSition:SOH?
< X85

:SENSe:OHTest:ADRop:POSition:POH<vctype>,<posi>

パラメータ　　<vctype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
(SDH)
VC4　POH VC4 パターン
VC3　POH VC3 パターン
VC1　POH VC2/1 パターン
(SONET)
STS3　POH STS3 パターン
STS1　POH STS1 パターン
VT　POH VT パターン

<posi> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)	J1	C2	G1	F2	H4	F3	K3	N1	J2	N2	K4
(SONET)	J1	C2	G1	F2	H4	Z3	Z4	Z5	J2	Z6	Z7

機 能　　OH Drop POH 1byte, POH の変更バイト位置を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<ADROP>以外の設定時。
・:SENSe:OHTest:ADRop:TYPE が<POH1B>以外の場合。
・VC4[STS3]は，:SENSe:TELecom:MAPPing:AU の設定が<AU3>時。
・VC3[STS1]は，:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE <VC4_ASY>, <VC4_BLK>又は<VC3_ASY>,< VC3_BLK>選択時。
・VC3[STS1]は，:SENSe:TELecom:MAPPing:AU の設定が<AU3>時かつ:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE の設定が下記の Mapping を選択した場合。
6M(Async.), 6M(Bitsync.), VC2-mc, VC2-Bulk, 2M(Async.), 2M(Bitsync.F), 2M(Bitsync.L), 2M(Bytesync.F), 2M(Bytesync.L), VC12-Bulk, 1.5M(Async.), 1.5M(Bitsync.F), 1.5M(Bitsync.L), 1.5M(Bytesync.F), 1.5M(Bytesync.L), VC11-Bulk, Byte(Data), Byte(Voice), 384k(Data), 384k(Voice), VC4*64c-Bulk, VC4*16c-Bulk, VC4*4c-Bulk, VC4c-Bulk

・VC2/1 および VT は，:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE の設定が下記の Mapping を選択した場合。
139M(Async.), VC4-Bulk, 34M(Async.), 34M(Sync.), 45M(Async.), VC3-Bulk, 2M(Bitsync.L), 2M(Bytesync.L), 1.5M(Bitsync.L), 1.5M(Bytesync.L), VC4*64c-Bulk, VC4*16c-Bulk, VC4*4c-Bulk, VC4c-Bulk

使用例　OH Drop の変更タイプを POH 1byte の時，変更する位置を VC4 の J1 に設定する場合。
> :SENSe:OHTest:ADRop:POSition:POH VC4,J1

:SENSe:OHTest:ADRop:POSition:POH?

レスポンス　<posi> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
:SENSe:OHTest:ADRop:POSition:POH と同じ。

機 能　OH Drop の変更バイト位置の問い合わせを行います。

使用例　OH Drop 変更バイト位置設定の問い合わせをする場合。
> :SENSe:OHTest:ADRop:POSition:POH?
< VC4, J1

:SENSe:OHTest:ADRop:CHANel <ch>

パラメータ　<ch> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1～64　ステップ値：1

機 能　OH Drop SOH 1byte 変更チャネル位置の設定を行います。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。
・:SOURce:OHTest:TYPE<ADROP>以外の設定時。
・:SENSe:OHTest:ADRop:TYPE が<SOH1B>,<TOH1B>以外の場合。

使用例　OH Drop SOH 1byte の時，変更チャネル位置を 7 に設定する場合。
> :SENSe:OHTest:ADRop:CHANel 7

:SENSe:OHTest:ADRop:CHANel?

レスポンス　<ch> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
:SENSe:OHTest:ADRop:CHANel と同じ。

機 能　OH Drop SOH 1byte 変更チャネル位置の設定の問い合わせを行います。

使用例　OH Drop SOH 1byte の時，変更チャネル位置を問い合わせる場合。
> :SENSe:OHTest:ADRop:CHANel?
< 7

:SENSe:OHTest:MEASure:TYPE <mode>

パラメータ　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

SINGLE	Single
REPEAT	Repeat
MANUAL	Manual

機 能　OH test 測定モード測定ゲーティングピリオドの時間と単位を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。

使用例　OH test 測定モードを Repeat 測定ゲーティングピリオド時間を 5 秒に設定する場合。
> :SENSe:OHTest:MEASure:TYPE REPEAT

:SENSe:OHTest:MEASure:TYPE?

レスポンス　　<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　OH test 測定モード測定ゲーティングピリオドの時間と単位を設定を問い合わせます。

使用例　　OH test 測定モード測定ゲーティングピリオドの時間と単位設定の問い合わせをする場合。

> :SENSe:OHTest:MEASure:TYPE?

< REPEAT

:SENSe:OHTest:MEASure:PERiod　<time>,<suffix>

パラメータ　　<time> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 99　　ステップ値：1

<suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

S	s
MIN	min
H	h
DAY	day

機 能　　OH test 測定モード測定ゲーティングピリオドの時間と単位を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が <“OHTest”>以外の設定時。

使用例　　OH test 測定モードを Repeat 測定ゲーティングピリオド時間を 5 秒に設定する場合。

> :SENSe:OHTest:MEASure:PERiod 5,S

:SENSe:OHTest:MEASure:PERiod?

レスポンス　　<time> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

<suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　OH test 測定ゲーティングピリオドの時間と単位の設定を問い合わせます。

使用例　　OH testv 測定ゲーティングピリオドの時間と単位の設定を問い合わせる場合。

> :SENSe:OHTest:MEASure:PERiod?

<　5,S

:SENSe:APSTest:TRIGger:TYPE <trig>

パラメータ　<trig> = <STRING PROGRAM DATA>

(SDH)

"B1"		B1
"B2"		B2
"HB3"		HP-B3
"LB3"		LP-B3
"BIP2"		BIP-2
"MREI"	(SDH)	MS-REI
"HREI"	(SDH)	HP-REI
"LREI"	(SDH)	LP-REI
"BIT"		Bit
"MAIS"	(SDH)	MS-AIS
"AAIS"	(SDH)	AU-AIS
"ALOP"	(SDH)	AU-LOP
"HRDI"	(SDH)	HP-RDI
"TAIS"	(SDH)	TU-AIS
"TLOP"	(SDH)	TU-LOP
"TLOM"	(SDH)	TU-LOM
"LRDI"	(SDH)	LP-RDI
"LRFI"	(SDH)	LP-RFI

(SONET)

"B1"		B1
"B2"		B2
"HB3"		HP-B3
"LB3"		LP-B3
"BIP2"		BIP-2
"REIL"	(SONET)	REI-L
"REIP"	(SONET)	REI-P
"REIV"	(SONET)	REI-V
"BIT"		Bit
"AISL"	(SONET)	AIS-L
"AISP"	(SONET)	AIS-P
"LOPP"	(SONET)	LOP-P
"RDIP"	(SONET)	RDI-P
"AISV"	(SONET)	AIS-V
"LOPV"	(SONET)	LOP-V
"LOMV"	(SONET)	LOM-V
"RDIV"	(SONET)	RDI-V
"RFIV"	(SONET)	RFI-V

機 能　検出条件を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME] の設定が<“APSTest”>以外の場合。

使用例　検出条件の設定を B2 に設定する場合。

> :SENSe:APSTest:TRIGger:TYPE "B2"

:SENSe:APSTest:TRIGger:TYPE?

レスポンス　<trig> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　検出条件の設定を問い合わせます。
使用例　検出条件の設定問い合わせをする場合。
> :SENSe:APSTest:TRIGger:TYPE?
< "B2”

:SENSe:APSTest:THReshold <thresh>

パラメータ　<thresh> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

1	1ms
10	10ms
100	100ms

機 能　APS test 測定に対して Threshold rate の検出範囲を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] の設定が<“APSTest”>以外の場合。
・:SENSe:APSTest:TRIGger:TYPE の設定が，Trigger が，MAIS, MREI, AAIS, ALOP, HRDI, TAIS, TLOP, LRDI, LRFI, TLOM 時以外の場合。
使用例　Threshold rate の検出範囲を 100 に設定を行う場合。
> :SENSe:APSTest:THReshold 100

:SENSe:APSTest:THReshold?

レスポンス　<Thresh> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　APS test 測定に対して Threshold rate の検出範囲を問い合わせます。
使用例　> :SENSe:APSTest:THReshold?
< 100

:SENSe:APSTest:MEASure:TYPE <mode>

パラメータ　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

SINGLE	Single
REPEAT	Repeat
MANUAL	Manual

機 能　APS test 測定モードを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] の設定が<“APSTest”>以外の場合。
使用例　APS test 測定モードを Repeat に設定する場合。
> :SENSe:APSTest:MEASure:TYPE REPEAT

:SENSe:APSTest:MEASure:TYPE?

レスポンス　<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　APS test 測定モード設定を問い合わせます。
使用例　APS test 測定モード設定の問い合わせをする場合。
> :SENSe:APSTest:MEASure:TYPE?
< REPEAT

:SENSe:APSTest:MEASure:PERiod <time>,<suffix>

パラメータ　<time> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 99　ステップ値：1
<suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

S	s
MIN	min
H	h
DAY	day

機 能　APS test 測定ゲーティングピリオドの時間と単位を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] の設定が<“APSTest”>以外の場合。
使用例　APS test 測定ゲーティングピリオド時間を 5 秒に設定する場合。
> :SENSe:APSTest:MEASure:PERiod 5,S

:SENSe:APSTest:MEASure:PERiod?

レスポンス　<time> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
<suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　APS test 測定ゲーティングピリオドの時間と単位の設定を問い合わせます。
使用例　APS test 測定 ゲーティングピリオドの時間と単位の設定を問い合わせる場合。
> :SENSe:APSTest:MEASure:PERiod?
< 5,S

:SENSe:APSTest:STARt

パラメータ　なし
機 能　Swich time measure を 開始します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] の設定が<“APSTest”>以外の場合。
使用例　> :SENSe:APSTest:STARt

:SENSe:APSTest:STOP

パラメータ　なし
機 能　Swich time measure を停止します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] の設定が<“APSTest”>以外の場合。
使用例　> :SENSe:APSTest:STOP

:SENSe:APSTest:STATe?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0	Swich time measure 停止中
1	Swich time measure 開始中

機 能　Swich time measure の状態を問い合わせます。
使用例　> :SENSe:APSTest:STATe?
< 0

:SENSe:APSCapture:STARt

パラメータ　なし
機 能　Capture を開始します。
使用例　> :SENSe:APSCapture:STARt

:SENSe:APSCapture:STOP

パラメータ　なし
機 能　Capture を停止します。
使用例　> :SENSe:APSCapture:STOP

:SENSe:APSCapture:STATe?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0　Swich time measure 停止中
1　Swich time measure 開始中
機 能　Capture の状態を問い合わせます。
使用例　> :SENSe:APSCapture:STATe?
< 0

:SENSe:APSCapture:TRIGger:TYPE <trig>

パラメータ　<trig> = <STRING PROGRAM DATA>
(SDH)

"B1"		B1
"B2"		B2
"HB3"		HP-B3
"LB3"		LP-B3
"BIP2"		BIP-2
"MREI"	(SDH)	MS-REI
"HREI"	(SDH)	HP-REI
"LREI"	(SDH)	LP-REI
"MAIS"	(SDH)	MS-AIS
"AAIS"	(SDH)	AU-AIS
"ALOP"	(SDH)	AU-LOP
"HSLM"	(SDH)	HP-SLM
"HRDI"	(SDH)	HP-RDI
"HTIM"	(SDH)	HP-TIM
"HUNEQ"	(SDH)	HP-UNEQ
"TAIS"	(SDH)	TU-AIS
"TLOP"	(SDH)	TU-LOP
"TLOM"	(SDH)	TU-LOM
"LRDI"	(SDH)	LP-RDI
"LSLM"	(SDH)	LP-SLM
"LRFI"	(SDH)	LP-RFI
"LTIM"	(SDH)	LP-TIM
"LUNEQ"	(SDH)	LP-UNEQ
"EXTernal"		External
"MANual"		MANual
"K12MAtch"		K1/K2 match
"K12MIsmatch"		K1/K2 mismatch

(SONET)

"B1"		B1
"B2"		B2
"HB3"		HP-B3
"LB3"		LP-B3
"BIP2"		BIP-2
"REIL"	(SONET)	REI-L
"REIP"	(SONET)	REI-P
"REIV"	(SONET)	REI-V
"AISL"	(SONET)	AIS-L
"AISP"	(SONET)	AIS-P
"LOPP"	(SONET)	LOP-P
"SLMP"	(SONET)	
"RDIP"	(SONET)	RDI- SLM-P P
"TIMP"	(SONET)	TIM-P
"UNEQP"	(SONET)	UNEQ-P
"AISV"	(SONET)	AIS-V
"LOPV"	(SONET)	LOP-V
"LOMV"	(SONET)	LOM-V
"RDIV"	(SONET)	RDI-V
"SLMV"	(SONET	SLM-V
"RFIV"	(SONET)	RFI-V
"TIMV"	(SONET)	TIM-V
"UNEQV"	(SONET)	UNEQ-V
"EXTernal"		EXTernal
"MANual"		MANual
"K12MAtch"		K1/K2 match
"K12MIsmatch"		K1/K2 mismatch

機 能　　Trigger 項目を設定します。
使用例　　Trigger を BIP2 に設定する場合。
> :SENSe:APSCapture:TRIGger:TYPE "BIP2"

:SENSe:APSCapture:TRIGger:TYPE?

レスポンス　　<trig> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　　Trigger 項目の設定を問い合わせます。
使用例　　Trigger 項目の設定を問い合わせます。
> :SENSe:APSCapture:TRIGger:TYPE?
< "BIP2"

:SENSe:APSCapture:TRIGger:POSition <position>

パラメータ　　<position> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 63　　ステップ値： 1
機 能　　Trigger 位置を設定します。
使用例　　Trigger 位置を 5 に設定する場合。
> :SENSe:APSCapture:TRIGger:POSition 5

:SENSe:APSCapture:TRIGger:POSition?

レスポンス　<position> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　Trigger 位置の設定を問い合わせます。
使用例　Trigger 位置の設定を問い合わせます。
> :SENSe:APSCapture:TRIGger:POSition?
< 5

:SENSe:APSCapture:TRIGger:PATTern <pattern>

パラメータ　<pattern> = <STRING PROGRAM DATA>
"0000000000000000" ～ "1111111111111111"
機 能　APS capture のトリガパターン設定する。
制　約　次の場合無効となります。
・:SENSe:APSCapture:TRIGger:TYPE が<"K12MAtch">, <"K12MIsmatch">以外の設定の場合。
使用例　トリガのパターンを"0000110100001101"に設定する場合。
> :SENSe:APSCapture:TRIGger:PATTern "0000110100001101"

:SENSe:APSCapture:TRIGger:PATTern?

レスポンス　<pattern> = <STRING PESPONSE DATA>
:SENSe:APSCapture:TRIGger:PATTern と同じ。
機　能　APS capture のトリガパターンの問い合わせを行う。
使用例　>:SENSe:APSCapture:TRIGger:PATTern?
< "0000110100001101"

:SENSe:APSCapture:TRIGger:MASK <mask>

パラメータ　<mask> = <STRING PROGRAM DATA>
"0000000000000000" ～ "1111111111111111"
機 能　APS capture のマスクパターン設定する。
制　約　次の場合無効となります。
・:SENSe:APSCapture:TRIGger:TYPE が<"K12MAtch">, <"K12MIsmatch">以外の設定の場合。
使用例　パターンマスクを"0000110100001101"に設定する場合。
> :SENSe:APSCapture:TRIGger:MASK "0000110100001101"

:SENSe:APSCapture:TRIGger:MASK?

レスポンス　<mask> = <STRING PESPONSE DATA>
:SENSe:APSCapture:TRIGger:MASK と同じ。
機　能　パターンマスクの問い合わせを行う。
使用例　>:SENSe:APSCapture:TRIGger:MASK?
< "0000110100001101"

:SENSe:FRAMecapture:STARt

パラメータ　なし
機 能　FRAMecapture を開始します。
使用例　FRAMecapture の開始を行う場合。
> :SENSe:FRAMecapture:STARt

:SENSe:FRAMecapture:STOP

パラメータ　なし

機 能　FRAMecapture の停止します。

使用例　FRAMecapture の停止を行う場合。

> :SENSe:FRAMecapture:STOP

:SENSe:FRAMecapture:STATe?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0	Manual Trigger の挿入停止中
1	Manual Trigger の挿入中

機 能　FRAMecapture の状態を問い合わせます。

使用例

> :SENSe:FRAMecapture:STATe?

< 0

:SENSe:FRAMecapture:TRIGger:TYPE <type>,<position>

パラメータ　<type> = <STRING PROGRAM DATA>

(SDH)

"B1"	B1
"B2"	B2
"HB3"	HP-B3
"LB3"	LP-B3
"MREI"	MS-REI
"HREI"	HP-REI
"LOF"	LOF
"OOF"	OOF
"MAIS"	MS-AIS
"MRDI"	MS-RDI
"AAIS"	AU-AIS
"ALOP"	AU-LOP
"HRDI"	HP-RDI
"HSLM"	HP-SLM
"HTIM"	HP-TIM
"HUNEQ"	HP-UNEQ
"K12MAtch"	K1/K2 match
"K12MIsmatch"	K1/K2 mismatch
"ANDF”	AU-NDF
"APPJC”	AU+PJC
"AMPJC”	AU-PJC
"A3CONS”	AU 3 cons
"EXTernal"	External
"MANual"	MANual

(SONET)

"B1"	B1
"B2"	B2
"HB3"	HP-B3
"LB3"	LP-B3
"REIL"	REI-L
"REIP"	REI-P
"LOF"	LOF
"OOF"	OOF
"AISL"	AIS-L
"RDIL"	RDI-L
RDI-L	AIS-P
"LOPP"	LOP-P
"RDIP"	RDI-P
"SLMP"	SLM-P
"TIMP"	TIM-P
"UNEQP"	UNEQ-P
"K12MAtch"	K1/K2 match
"K12MIsmatch"	K1/K2 mismatch
"ANDF”	STS NDF
"APPJC”	STS+PJC
"AMPJC”	STS-PJC
"A3CONS”	STS 3 cons
"EXTernal”	EXTernal
"MANual"	MANual

<position> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 64　　ステップ値：1

機 能　Trigger 項目を設定します。

使用例　Trigger を LOF20 に設定する場合。

> :SENSe:FRAMecapture:TRIGger:TYPE "LOF",20

:SENSe:FRAMecapture:TRIGger:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

<position> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATE>

機 能　FRAMecapture　Trigger 項目の設定を問い合わせます。

使用例　Trigger 項目の設定を問い合わせる場合。

> :SENSe:FRAMecapture:TRIGger:TYPE?

< "LOF",20

:SENSe:FRAMecapture:TRIGger:PATTern <pattern>

パラメータ　<pattern> = <STRING PROGRAM DATA>

"00000000 00000000" ～ "11111111 11111111"

機 能　FRAMecapture Trigger パターンを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:SENSe:FRAMecapture:TRIGger:TYPE の設定が<"K12MAtch">, <"K12MIsmatch">以外の設定の場合。

使用例　Trigger パターンを"10111100 01000011"に設定する場合。

> :SENSe:FRAMecapture:TRIGger:PATTern "10111100 01000011"

:SENSe:FRAMecapture:TRIGger:PATTern?

レスポンス　<pattern> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　FRAMecapture Trigger パターンを問い合わせます。
使用例　> :SENSe:FRAMecapture:TRIGger:PATTern?
< "10111100 01000011"

:SENSe:FRAMecapture:TRIGger:MASK <mask>

パラメータ　<mask> = <STRING PROGRAM DATA>
"00000000 00000000" ～ "11111111 11111111"
機 能　FRAMecapture Trigger パターンマスクを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:SENSe:FRAMecapture:TRIGger:TYPE の設定が<"K12MAtch">, <"K12MIsmatch">以外の設定の場合。
使用例　Trigger パターンマスクを設定する場合。
> :SENSe:FRAMecapture::TRIGger:MASK "10010010 11111111"

:SENSe:FRAMecapture:TRIGger:MASK?

レスポンス　<mask> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　FRAMecapture Trigger パターンマスクを問い合わせます。
使用例　> :SENSe:FRAMecapture:TRIGger:MASK?
< "10010010 11111111"

:SENSe:OHCapture:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
(SDH)

H1H2	H1/H2
K1K2	K1/K2
SOH	SOH 1byte
POH	POH 1byte

(SONET)

H1H2	H1/H2
K1K2	K1/K2
TOH	TOH 1byte
POH	POH 1byte

機 能　Capture する項目を設定します。
使用例　Capture する項目を SOH に設定する場合。
> :SENSe:OHCapture:TYPe SOH

:SENSe:OHCapture:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　Capture する項目の設定を問い合わせます。
使用例　> :SENSe:OHCapture:TYPe?
< SOH

:SENSe:OHCapture:TRIGger:TYPE <trig>

パラメータ　<trig> = <STRING PROGRAM DATA>

(SDH)

"B1"	B1
"B2"	B2
"HB3"	HP-B3
"BIP2"	BIP-2
"MREI"	MS-REI
"HREI"	HP-REI
"HIEC"	HP-IEC
"HTREI"	HP-TC-REI
"HOEI"	HP-OEI
"LREI"	LP-REI
"LIEC"	LP-IEC
"LTREI"	LP-TC-REI
"LOEI"	LP-OEI
"N2BIP2"	N2 BIP-2
"BIT"	Bit
"LOF"	LOF
"OOF"	OOF
"MAIS"	MS-AIS
"MRDI"	MS-RDI
"AAIS"	AU-AIS
"ALOP"	AU-LOP
"HRDI"	AU
"HSLM"	HP-RDI
"HTIM"	HP-TIM
"HUNEQ"	HP-UNEQ
"HVAIS"	HP-VC-AIS
"HISF"	HP-ISF
"HFAS"	HP-FAS
"HIAIS"	HP-Inc-AIS
"HTRDI"	HP-TC-RDI
"HODI"	HP-ODI
"TAIS"	TU-AIS
"TLOP"	TU-LOP
"TLOM"	TU-LOM
"LRDI"	LP-RDI
"LSLM"	LP-SLM
"LRFI"	LP-RFI
"LUNEQ"	LP-UNEQ
"LVAIS"	LP-VC-AIS
"LFAS"	LP-FAS
"LIAIS"	LP-Inc-AIS
"LTRDI"	LP-TC-RDI
"LODI"	LP-ODI
"SYNC"	Sync

"HAIS"	HG AIS
"HREC"	HG REC
"BAIS15M"	BAIS 1.5M
"SIGAIS"	SigAIS
"SIGOOF"	SigOOF
"K12MAtch"	K1/K2 match
"K12MIsmatch"	K1/K2 mismatch
"ANDF”	AU-NDF
"APPJC”	AU+PJC
"AMPJC”	AU-PJC
"A3CONS”	AU 3 cons
"TNDF”	TU-NDF
"TPPJC”	TU+PJC
"TMPJC”	TU-PJC
"T3CONS”	TU 3 cons
"MANual"	MANual

(SONET)

"B1"	B1
"B2"	B2
"HB3"	HP-B3
"LB3"	LP-B3
"BIP2"	BIP-2
"REIL"	REI-L
"REIP"	REI-P
"HIEC"	HP-IEC
"HTREI"	HP-TC-REI
"HOEI"	HP-OEI
"REIV"	REI-V
"LIEC"	LP-IEC
"LTREI"	LP-TC-REI
"LOEI"	LP-OEI
"N2BIP2"	N2 BIP-2
"LOF"	LOF
"OOF"	OOF
"AISL"	AIS-L
"RDIL"	RDI-L
"AISP"	AIS-P
"LOPP"	LOP-P
"RDIP"	RDI-P
"SLMP"	SLM-P
"TIMP"	TIM-P
"UNEQP"	UNEQ-P
"HVAIS"	HP-VC-AIS
"HISF"	HP-ISF
"HFAS"	HP-FAS

"HIAIS"	HP-Inc-AIS
"HTRDI"	HP-TC-RDI
"HODI"	HP-ODI
"AISV"	AIS-V
"LOPV"	LOP-V
"LOMV"	LOM-V
"RDIV"	RDI-V
"SLMV"	SLM-V
"RFIV"	RFI-V
"UNEQV"	UNEQ-V
"LVAIS"	LP-VC-AIS
"LFAS"	LP-FAS
"LIAIS"	LP-Inc-AIS
"LTRDI"	LP-TC-RDI
"LODI"	LP-ODI
"SYNC"	Sync
"HAIS"	HG AIS
"HREC"	HG REC
"BAIS15M"	BAIS 1.5M
"SIGAIS"	
"SIGOOF"	SigOOF
"K12MAtch"	K1/K2 match
"K12MIsmatch"	K1/K2 mismatch
"ANDF”	AU-NDF
"APPJC”	AU+PJC
"AMPJC”	AU-PJC
"A3CONS”	AU 3 cons
"TNDF”	TU-NDF
"TPPJC”	TU+PJC
"TMPJC”	TU-PJC
"T3CONS	TU 3 cons
"MANual"	MANual

機 能　Trigger 項目を設定します。

使用例　Trigger を B2 に設定する場合。

> :SENSe:OHCapture:TRIGger:TYPE "B2"

:SENSe:OHCapture:TRIGger:TYPE?

レスポンス　<trig> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Trigger 項目の設定を問い合わせます。

使用例　Trigger 項目の設定を問い合わせる場合。

> :SENSe:OHCapture:TRIGger:TYPE?

< B2

:SENSe:OHCapture:TRIGger:POSition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　　1 ～ 1023　　ステップ値：1
機 能　Trigger 位置を設定します。
使用例　Tirgger 位置を 7 に設定する場合。
　　> :SENSe:OHCapture:TRIGger:POSition 7

:SENSe:OHCapture:TRIGger:POSition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　Trigger 位置を問い合わせます。
使用例　> :SENSe:OHCapture:TRIGger:POSition?
　　< 7

:SENSe:OHCapture:TRIGger:PATTern <pattern>

パラメータ　<pattern> = <STRING PROGRAM DATA>
　　"0000000000000000"～"1111111111111111"
機 能　OH capture のトリガパターンを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
　　・:SENSe:OHCapture:TRIGger:TYPE の設定が<"K12MAtch">, <"K12MIsmatch">以外の設定の場合。
使用例　トリガのパターンを"0000110100001101"に設定する場合。
　　> :SENSe:OHCapture:TRIGger:PATTern "0000110100001101"

:SENSe:OHCapture:TRIGger:PATTern?

レスポンス　<pattern> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　OH capture のトリガパターンを問い合わせます。
使用例　> :SENSe:OHCapture:TRIGger:PATTern?
　　< "0000110100001101"

:SENSe:OHCapture:TRIGger:MASK <mask>

パラメータ　<mask> = <STRING PROGRAM DATA>
　　"0000000000000000"～"1111111111111111"
機 能　OH capture のマスクパターンを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
　　・:SENSe:OHCapture:TRIGger:TYPE の設定が<"K12MAtch">, <"K12MIsmatch">以外の設定の場合。
使用例　パターンマスクを"0000110100001101"に設定する場合。
　　> :SENSe:OHCapture:TRIGger:MASK "0000110100001101"

:SENSe:OHCapture:TRIGger:MASK?

レスポンス　<mask> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　OH capture のマスクパターンを問い合わせます。
使用例　> :SENSe:OHCapture:TRIGger:MASK?
　　< "0000110100001101"

:SENSe:OHCapture:STARt

パラメータ　なし

機 能　Capture を開始します。

使用例　Capture の開始を設定する場合。

> :SENSe:OHCapture: STARt

:SENSe:OHCapture:STOP

パラメータ　なし

機 能　OHCapture を停止します。

使用例　OHCapture の停止を行う場合。

> :SENSe:OHCapture:STOP

:SENSe:OHCapture:STATe?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0　OHCapture 停止中

1　OHCapture 開始中

機 能　OHCapture 状態を問い合わせます。

使用例　> :SENSe:OHCapture:STATe?

< 0

:SENSe:OHCapture:POSition:SOH <posi>
:SENSe:OHCapture:POSition:TOH <posi>

パタメータ　<posi> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

A11	A12	A13	A21	A22	A23	J0	X18	X19
						Z01	Z02	Z03
–	X22	X23	E1	X25	X26	F1	X28	X29
X21			X24			X27		
X29	X32	X33	D2	X35	X36	D3	X38	X39
			X34			X37		
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	–	X55	X56	–	X58	X59
			X54			X57		
D4	X62	X63	D5	X65	X66	D6	X68	X69
X61			X64			X67		
D7	X72	X73	D8	X75	X76	D9	X78	X79
X71			X74			X77		
D10	X82	X83	D11	X85	X86	D12	X88	X89
X81			X84			X87		
S1	Z12	Z13	Z21	Z22	M1	E2	X98	X99
Z11					Z23	X97		

機 能　Type:SOH 1byte[TOH 1byte]時の Capture するバイト位置の設定を行います。

制 約　次の場合無効となります。

・:SENSe:OHCapture:TYPE の設定が<SOH>,<TOH>以外の場合。

使用例　Type:SOH 1byte[TOH 1byte]時の Capture する位置を Z12 に設定する場合。

> :SENSe:OHCapture:POSition:SOH Z12

:SENSe:OHCapture:POSition:SOH?
:SENSe:OHCapture:POSition:TOH?

レスポンス　<posi> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Type:SOH 1byte[TOH 1byte]時の Capture する位置を問い合わせます。

使用例　OH Bert 変更バイト位置設定の問い合わせをする場合。

> :SENSe:OHCapture:POSition:SOH?

<　Z12

:SENSe:OHCapture:POSition:POH <vctype>,<posi>

パラメータ　<vctype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

VC4　POH VC4 パターン

VC3　POH VC3 パターン

VC1　POH VC2/1 パターン

(SONET)

STS3　POH STS3 パターン

STS1　POH STS1 パターン

VT　POH VT パターン

<posi> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)　J1, C2, G1, F2, H4, F3, K3, N1, J2, N2, K4

(SONET)　J1, C2, G1, F2, H4, Z3, Z4, Z5, J2, Z6, Z7

機 能　Type:POH 1byte のとき Capture する POH を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:SENSe:OHCapture:TYPE の設定が<POH>以外の場合。

・VC4[STS3]は，:SENSe:TELecom:MAPPing:AU の設定が<AU3>時。

・VC3[STS1]は，:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE <VC4_ASY>, <VC4_BLK>又は<ST3_ASY>,< ST3_BLK>,コンカチネーションマッピング選択時。

・VC3[STS1]は，:SENSe:TELecom:MAPPing:AU の設定が<AU4>時かつ:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE の設定が下記の Mapping を選択した場合。

6M(Async.), 6M(Bitsync.), VC2-mc, VC2-Bulk, 2M(Async.), 2M(Bitsync.F), 2M(Bitsync.L), 2M(Bytesync.F), 2M(Bytesync.L), VC12-Bulk, 1.5M(Async.), 1.5M(Bitsync.F), 1.5M(Bitsync.L), 1.5M(Bytesync.F), 1.5M(Bytesync.L), VC11-Bulk, Byte(Data), Byte(Voice), 384k(Data), 384k(Voice)

・VC2/1 および VT は，:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE の設定が下記の Mapping を選択した場合。

139M(Async.), VC4-Bulk, 34M(Async.), 34M(Sync.), 45M(Async.) VC3-Bulk, 2M(Bitsync.L), 2M(Bytesync.L), 1.5M(Bitsync.L), 1.5M(Bytesync.L),コンカチネーションマッピング

使用例　POH 1byte のとき変更する位置を VC4 の J1 に設定する場合。

> :SENSe:OHCapture::POSition:POH VC4,J1

:SENSe:OHCapture::POSition:POH?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Type:POH 1byte のときの Capture する POH タイプを問い合わせます。

使用例　> :SENSe:OHCapture:POSition:POH?

< VC4,J1

:SENSe:OHCapture:CHANel <ch>

パラメータ　<ch> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　　1 ～ 64　　ステップ値：1

機 能　Type:SOH 1byte[TOH 1byte]時の Capture するチャネル位置の設定を行います。

制 約　次の場合無効となります。
・:SENSe:OHCapture:TYPE の設定が<SOH>,<TOH>以外の場合。

使用例　チャネル位置を 1 に設定する場合。
> :SENSe:OHCapture:CHANel 1

:SENSe:OHCapture:CHANel?

レスポンス　<chanel> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Type:SOH 1byte[TOH 1byte]時の Capture する位置を問い合わせます。

使用例　> :SENSe:OHCapture:CHANel?
< 1

:SENSe:STEst:MEASure:TYPE <mode>

パラメータ　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
　　MANUAL　　Manual

機 能　S1 test 測定モードの設定を行います。

制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> の設定が<SDH_PDH>, <SONET_PDH>以外の場合。
・測定モードが In-service 以外の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が，<OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE の設定が，<OH>以外の場合。
・:ROUTe:THRough:OH <S1>以外の場合。
・オプション 22 が装着されていない場合。

使用例　> :SENSe:STEst:MEASure:TYPE MANUAL

:SENSe:STEst:MEASure:TYPE?

レスポンス　<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
　　:SENSe:STEst:MEASure:TYPE と同じ

機 能　S1 test 測定モードの設定状態を問い合わせます。

使用例　> :SENSe:STEst:MEASure:TYPE?
<　MANUAL

:SENSe:IPCapture:STARt

パラメータ　なし

機 能　IPCapture を開始します。

使用例　IPCapture の開始する場合。
> :SENSe:IPCapture:STARt

:SENSe:IPCapture:STOP

パラメータ　なし

機 能　IPCapture を停止します。

使用例　IPCapture の停止を行う場合。
> :SENSe:IPCapture:STOP

:SENSe:IPCapture:STATe?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
　　0　　IPCapture 停止中
　　1　　IPCapture 実行中

機 能　　IPCapture の実行状態を問い合わせます。

使用例　　> :SENSe:IPCapture:STATe?
　　< 0

:SENSe:IPCapture:TRIGger:TYPE <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
　　PPPFRAME　　PPPframe

機 能　　IPCapture において Trigger をかける項目を設定します。

使用例　　Trigger を PPPframe に設定する場合。
　　> :SENSe:IPCapture:TRIGger:TYPE PPPFRAME

:SENSe:IPCapture:TRIGger:TYPE?

レスポンス　　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
　　:SENSe:IPCapture:TRIGger:TYPE と同じ。

機 能　　IPCapture において Trigger 項目の設定を問い合わせます。

使用例　　> :SENSe:IPCapture:TRIGger:TYPE?
　　< PPPFR

:SENSe:IPCapture:IPV4adr “<sadr1>,<sadr2>,<sadr3>,<sadr4>”, “<dadr1>,<dadr2>,<dadr3>,<dadr4>”

パラメータ　　<sadr1>,<sadr2>,<sadr3>,<sadr4> = <STRING PROGRAM DATA>
　　***,000～ 255　　ステップ値：1
　　<dadr1>,<dadr2>,<dadr3>,<dadr4> = <STRING NUMERIC PROGRAM DATA>
　　***,000～ 255　　ステップ値：1

機 能　　Capture する IP アドレスのマスク設定を行います。（IP ver.4 時）

制 約　　次の場合無効となります。
- オプション 14 が装着されていない場合。
- :DISPlay:ANALysis:IPCapture:CAPTuretype が<IPV4>以外の場合。

使用例　　IPv4 時 IP のマスクを Source address= 255.255.255.255,
　　Distination address = 255.255.255.254 に設定する場合。
　　>:SENSe:IPCapture:IPV4adr “255,255,255,255”,“255,255,255,254”

:SENSe:IPCapture:IPV4adr?

レスポンス　　<sadr1>,<sadr2>,<sadr3>,<sadr4> = <STRING RESPONSE DATA>
　　:SENSe:IPCapture:IPV4adr と同じ。
　　<dadr1>,<dadr2>,<dadr3>,<dadr4> = <STRING RESPONSE DATA>
　　:SENSe:IPCapture:IPV4adr と同じ。

機 能　　Capture する IP アドレスのマスクの設定を問い合わせます（IP ver.4 時）。

使用例　　> :SENSe:IPCapture:IPV4adr?
　　< “255,255,255,255”,“255,255,255,254”

:SENSe:IPCapture:IPV6adr “<sadr1>,<sadr2>,<sadr3>,<sadr4>,<sadr5>,<sadr6>,<sadr7>,<sadr8>”, “<dadr1>,<dadr2>, <dadr3>,<dadr4>,<dadr5>,<dadr6>,<dadr7>,<dadr8>”

パラメータ　<sadr1>,<sadr2>,…,<sadr8>　= <STRING PROGRAM DATA>
"XXXX"
"XXXX"は 0000～FFFF,****　　ステップ値：1
<dadr1>,<dadr2>,…,<dadr8>　= <STRING PROGRAM DATA>
"XXXX"
"XXXX"は 0000～FFFF　　ステップ値：1

機 能　Capture する IP アドレスのマスクを設定します（IP ver.6 時）。

制 約　次の場合無効となります。
・ オプション 14 が装着されていない場合。
・ :DISPlay:ANALysis:IPCapture:CAPTuretype が<IPV6>以外の場合。

使用例　IP ver.6 時 IP のマスクを
Source address　= FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFE,
Distination address　= FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF:FFFF
に設定する場合。
>:SENSe:IPCapture:IPV6adr
“FFFF,FFFF,FFFF,FFFF,FFFF,FFFF,FFFF,FFFE”,
“FFFF,FFFF,FFFF,FFFF,FFFF,FFFF,FFFF,FFFF”

:SENSe:IPCapture:IPV6adr?

レスポンス　<sadr1>,<sadr2>,…,<sadr8>　= <STRING RESPONSE DATA>
:SENSe:IPCapture:IPV6adr と同じ。
<dadr1>,<dadr2>,…,<dadr8>　= <STRING RESPONSE DATA>
:SENSe:IPCapture:IPV6adr と同じ。

機 能　Capture する IP アドレスのマスク設定を問い合わせます（IP ver.6 時）。

使用例　IP のマスクを問い合わせする場合。
>:SENSe:IPCapture:IPV6adr?
< “FFFF,FFFF,FFFF,FFFF,FFFF,FFFF,FFFF,FFFE”,
“FFFF,FFFF,FFFF,FFFF,FFFF,FFFF,FFFF,FFFF”

10.3.4 DISPlay subsystem

DISPlay サブシステムでは, Result 画面と Analysis 画面の設定を行います。以下に，機能，コマンド，およびパラメータの一覧表と，コマンドの詳細説明を示します。

機能	コマンド	パラメータ
Page 10-306		
主画面の切り替えの設定	:DISPlay:DSELect[:NAME]	display
主画面の表示状態の問い合わせ	:DISPlay:DSELect[:NAME]?	
Page 10-306		
Test Menu 主画面での副画面の選択	:DISPlay:TMENu[:NAME]	tdisplay
Test Menu 主画面での副画面の問い合わせ	:DISPlay:TMENu[:NAME]?	
Page 10-307		
Mixed Payload の表示を行うためのトリガを設定	:DISPlay:MAPPing:MIXCh	boolean
Page 10-307		
N1 バイトでのパスの設定	:DISPlay:TANDem:CONDition:N1:MODE	mode
N1 バイトでのパスの設定の問い合わせ	:DISPlay:TANDem:CONDition:N1:MODE?	
N1 バイトでの LAPD メッセージタイプの設定	:DISPlay:TANDem:CONDition:N1:TYPE	mode
N1 バイトでの LAPD メッセージタイプの問い合わせ	:DISPlay:TANDem:CONDition:N1:TYPE?	
Z5 バイトでのパスの設定	:DISPlay:TANDem:CONDition:Z5:MODE	mode
Z5 バイトでのパスの設定の問い合わせ	:DISPlay:TANDem:CONDition:Z5:MODE?	
Z5 バイトでの LAPD メッセージタイプの設定	:DISPlay:TANDem:CONDition:Z5:TYPE	type
Z5 バイトでの LAPD メッセージタイプの問い合わせ	:DISPlay:TANDem:CONDition:Z5:TYPE?	
Page 10-308		
ダミーチャネルでの N1 バイトのパスの設定	:DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:N1:MODE	mode
ダミーチャネルでの N1 バイトのパスの問い合わせ	:DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:N1:MODE?	
ダミーチャネルでの N1 バイトの LAPD メッセージタイプの設定	:DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:N1:TYPE	mode
ダミーチャネルでの N1 バイトの LAPD メッセージタイプの問い合わせ	:DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:N1:TYPE?	
ダミーチャネルでの Z5 バイトのパスの設定	:DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:Z5:MODE	mode
ダミーチャネルでの Z5 バイトのパスの問い合わせ	:DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:Z5:MODE?	
ダミーチャネルでの Z5 バイトの LAPD メッセージタイプの設定	:DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:Z5:TYPE	type
ダミーチャネルでの Z5 バイトの LAPD メッセージタイプの問い合わせ	:DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:Z5:TYPE?	
Page 10-309		
編集する IP パケットの番号の設定	:DISPlay:IPPacket:PRESetno	presetno
編集する IP パケット番号の問い合わせ	:DISPlay:IPPacket:PRESetno?	
Page 10-309		
PTR の範囲設定	:DISPlay:PTR64:POINter	mode

PTR 範囲の問い合わせ	:DISPlay:PTR64:POINter?	

Page 10-310

Result 主画面での副画面の選択	:DISPlay:RESult[:NAME]	display
Result 主画面での副画面の問い合わせ	:DISPlay:RESult[:NAME]?	

Page 10-310

Result 主画面(Error/Alarm 副画面)での表示モードの選択	:DISPlay:RESult:EALarm:MODE	rdmode
Result 主画面(Error/Alarm 副画面)での表示モードの問い合わせ	:DISPlay:RESult:EALarm:MODE?	
Result 主画面(Error/Alarm 副画面)でのカウント値/レート値表示の選択	:DISPlay:RESult:EALarm:UNIT	unit
Result 主画面(Error/Alarm 副画面)でのカウント値/レート値表示の問い合わせ	:DISPlay:RESult:EALarm:UNIT?	
SDH/PDH に関連した測定結果の表示切り替え	:DISPlay:RESult:EALarm:DISPmode	mode
測定結果の表示モードを問い合わせ	:DISPlay:RESult:EALarm:DISPmode?	
アラーム測定結果の表示単位の設定	:DISPlay:RESult:EALarm:AUNit	unit
アラーム測定結果の表示単位の設定の問い合わせ	:DISPlay:RESult:EALarm:AUNit?	
測定結果表示を強制的に止める	:DISPlay:RESult:EALarm:PAUSe	
測定結果表示を強制的に止める状態の問い合わせ	:DISPlay:RESult:EALarm:PAUSe?	

Page 10-312

Result 主画面(Jastification 副画面)での表示モードの選択	:DISPlay:RESult:JUSTificat:MODE	rdmode
Result 主画面(Jastification 副画面)での表示モードの問い合わせ	:DISPlay:RESult:JUSTificat:MODE?	
Result 主画面(Jastification 副画面)でのカウント値/レート値表示の選択	:DISPlay:RESult:JUSTificat:UNIT	unit
Result 主画面(Jastification 副画面)でのカウント値/レート値表示の問い合わせ	:DISPlay:RESult:JUSTificat:UNIT?	

Page 10-313

Result 主画面(Zoom 副画面)での表示モードの選択	:DISPlay:RESult:ZOOM:MODE	rdmode
Result 主画面(Zoom 副画面)での表示モードの問い合わせ	:DISPlay:RESult:ZOOM:MODE?	
Result 主画面(Zoom 副画面)でのカウント値/レート値表示の選択	:DISPlay:RESult:ZOOM:UNIT	unit
Result 主画面(Zoom 副画面)でのカウント値/レート値表示の問い合わせ	:DISPlay:RESult:ZOOM:UNIT?	
アラーム測定結果の表示単位を設定	:DISPlay:RESult:ZOOM:AUNit	Unit
アラーム測定結果の表示単位を問い合わせ	:DISPlay:RESult:ZOOM:AUNit?	
Result 主画面(Zoom 副画面)での測定結果のアラーム表示の選択	:DISPlay:RESult:ZOOM:ALARm	alarm
Result 主画面(Zoom 副画面)での測定結果のアラーム表示の問い合わせ	:DISPlay:RESult:ZOOM:ALARm?	
Result 主画面(Zoom 副画面)での測定結果のエラー表示の選択	:DISPlay:RESult:ZOOM:ERRor	error
Result 主画面(Zoom 副画面)での測定結果のエラー表示の問い合わせ	:DISPlay:RESult:ZOOM:ERRor?	

Page 10-318

測定結果の表示モードの選択	:DISPlay:RESult:PERFormance:MODE	rdmode
測定結果の表示モードの問い合わせ	:DISPlay:RESult:PERFormance:MODE?	

Result 主画面(Performance 副画面)での測定結果(パフォーマンス G.826)のエラー内容の選択	:DISPlay:RESult:PERFormance:ERROR[:G826]	error
Result 主画面(Performance 副画面)での測定結果(パフォーマンス G.826)のエラー内容の問い合わせ	:DISPlay:RESult:PERFormance:ERROR[:G826]?	
測定結果(パフォーマンス M.2101) のエラー内容を選択	:DISPlay:RESult:PERFormance:ERROR:M2101	error
測定結果(パフォーマンス M.2101) のエラー内容の問い合わせ	:DISPlay:RESult:PERFormance:ERROR:M2101?	
M.2110 の測定対象範囲を決定	:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2110:LAYer1	type
M.2110 の測定対象範囲の問い合わせ	DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2110:LAYer1?	
M.2110 の測定対象範囲を決定	:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2110:LAYer2	type
M.2110 の測定対象範囲の問い合わせ	:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2110:LAYer2?	
M.2120 の測定対象範囲を決定	:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer1	type
M.2120 の測定対象範囲を問い合わせ	:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer1?	
M.2120 の測定対象範囲を決定	:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer2	type
M.2120 の測定対象範囲を問い合わせ	:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer2?	

Page 10-321

Simultaneous 測定の結果表示の種類（現在表示／測定終了）を設定	:DISPlay:RESult:SIMultaneous:DISPdata	data
SIMultaneous 測定の結果表示の種類（現在表示／測定終了）の問い合わせ	:DISPlay:RESult:SIMultaneous:DISPdata?	

Page 10-321

測定結果の B2 表示モードの選択	:DISPlay:RESult:B2:MODE	rdmode
測定結果の B2 表示モードの問い合わせ	:DISPlay:RESult:B2:MODE?	

Page 10-322

Result 主画面の測定時間表示の選択	:DISPlay:RESult:TIME	time
Result 主画面の測定時間表示の問い合わせ	:DISPlay:RESult:TIME?	

Page 10-322

Trouble search 測定結果で表示する AUG チャネルの設定	:DISPlay:RESult:TSEarch:AUG	numeric
Trouble search 測定結果で表示する STS3 チャネルの設定	:DISPlay:RESult:TSEarch:STS	numeric
Trouble search 測定結果で表示する AUG チャネルの値を問い合わせ	:DISPlay:RESult:TSEarch:AUG?	
Trouble search 測定結果で表示する STS3 チャネルの値を問い合わせ	:DISPlay:RESult:TSEarch:STS?	
Trouble 発生チャネル（AUG#／STS3#）を検索	:DISPlay:RESult:TSEarch:SEARch	type
Trouble 発生チャネル（AUG#／STS3#）の詳細情報を画面上に表示	:DISPlay:RESult:TSEarch:ANALyze	

Page 10-323

Result 画面の IP Packet 画面において，測定結果の表示モードを選択	:DISPlay:RESult:IPPacket:MODE	Rdmode
Result 画面の IP Packet 画面において，測定結果の表示モードを問い合わせ	:DISPlay:RESult:IPPacket:MODE?	

Page 10-324

アラーム測定結果の表示単位を設定	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:AUNit	unit
アラーム測定結果の表示単位の設定の問い合わせ	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:AUNit?	
エラー測定結果の表示単位を設定	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:ERRor	error
エラー測定結果の表示単位の設定を問い合わせ	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:ERRor?	
SDH/PDH に関連した測定結果の表示切り替え	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:DISPmode	mode
測定結果の表示モードを問い合わせ	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:DISPmode?	
Justification 測定の単位設定	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:JUSTificat:UNIT	unit
Justification 測定の単位の問い合わせ	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:JUSTificat:UNIT?	
アラーム測定結果の表示単位を設定	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:AUNit	unit
アラーム測定結果の表示単位の設定を問い合わせ	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:AUNit?	
エラー測定結果表示単位を設定	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:UNIT	unit
エラー測定結果表示単位の設定を問い合わせ	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:UNIT?	
測定結果（ZOOM）のアラーム表示を選択	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:ALARm	alarm
測定結果（ZOOM）のアラーム表示について問い合わせ	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:ALARm?	
測定結果（ZOOM）のエラー表示を選択	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:ERRor	error
エラー測定項目の表示種類設定の問い合わせ	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:ERRor?	
測定結果(パフォーマンス G.826)のエラー内容を選択	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor[:G826]	error
測定結果(パフォーマンス G.826)のエラー内容の問い合わせ	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor[:G826]?	
測定結果(パフォーマンス M.2101）のエラー内容を選択	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2101	error
測定結果(パフォーマンス M.2101）のエラー内容の問い合わせ	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2101?	
M.2110 の測定対象範囲を決定	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2110:LAYer2	type
M.2110 の測定対象範囲を問い合わせ	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2110:LAYer2?	
M.2120 の測定対象範囲を決定	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer1	type
M.2120 の測定対象範囲を問い合わせ	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer1?	
M.2120 の測定対象範囲を決定	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer2	type
M.2120 の測定対象範囲を問い合わせ	:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer2?	

Page 10-333

Analyze 主画面での副画面の選択	:DISPlay:ANALysis:[NAME]	adisplay
Analyze 主画面での副画面の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:[NAME]?	

Page 10-333

トラブルサーチの結果表示切り替え	:DISPlay:ANALysis:TSEarch:SELect	search
トラブルサーチの結果表示モード問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TSEarch:SELect?	
Analyze 主画面(Trouble search 副画面)でのアナライズサーチを指示	:DISPlay:ANALysis:TSEarch:SEARch	search
Analyze 主画面(Trouble search 副画面)でのアナライズ結果の表示ルートの指示	:DISPlay:ANALysis:TSEarch:ROUTe	troute numeric

Analyze 主画面(Trouble search 副画面)でのアナライズ結果の表示ルートの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TSEarch:ROUTe?	
Analyze 主画面(Trouble search 副画面)での現在表示されているルートのアナライズ結果の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TSEarch:DATA?	result
Analyze 主画面(Trouble search 副画面)での印字範囲の指定	:DISPlay:ANALysis:TSEarch:PRINt	Type
Analyze 主画面(Trouble search 副画面)での印字範囲の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TSEarch:PRINt?	
Trouble search 測定と Select:NG path 表示のときの，グラフスクロールを指示	:DISPlay:ANALysis:TSEarch:SCRoll	scroll

Page 10-341

Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのスクロールの表示	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:SCRoll	scroll
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのマーカ移動の表示	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:MARKer	marker
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのマーカが示すデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:DATA?	
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)での時間軸の 1 目盛りの幅の設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:INTerval	numeric suffix
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)での時間軸の 1 目盛りの幅の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:INTerval?	
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのマーカ表示有無の設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:MDISplay	boolean
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのマーカ表示有無の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:MDISplay?	
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのサーチの指示	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:SEARch	type
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのグラフの表示開始位置の設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:FROM	numeric1 numeric2 numeric3 numeric4 numeric5 numeric6
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのグラフの表示開始位置の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:FROM?	
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのグラフ指示するエラー項目の設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ERRor	error1 error2
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのグラフ指示するエラー項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ERRor?	
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのアラーム 1 に表示するアラーム項目の設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1	alarm
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのアラーム 1 に表示するアラーム項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1?	
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのアラーム 2 に表示するアラーム項目の設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm2	alarm
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのアラーム 2 に表示するアラーム項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm2?	
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのアラーム 3 に表示するアラーム項目の設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm3	alarm

Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのアラーム 3 に表示するアラーム項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm3?	
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのアラーム 4 に表示するアラーム項目の設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm4	alarm
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのアラーム 4 に表示するアラーム項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm4?	
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのアラーム 5 に表示するアラーム項目の設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm5	alarm
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのアラーム 5 に表示するアラーム項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm5?	
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)の印字範囲の指定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:PRINt	type
Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)の印字範囲の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:PRINt?	
トレースグラフスタイルの設定	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:TITLe	title
トレースグラフスタイルの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:TGRaph:TITLe?	

Page 10-350

Analyze 主画面(OH monitor 副画面)でのモニタ項目の選択	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TYPE	ohmonitor
Analyze 主画面(OH monitor 副画面)でのモニタ項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TYPE?	
Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での SOH モニタチャネルの選択	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SOHCh	numeric
Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での TOH モニタチャネルの選択	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TOHCh	numeric
Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での SOH モニタチャネルの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SOHCh?	
Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での TOH モニタチャネルの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TOHCh?	
Analyze 主画面(OH monitor 副画面)	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SOHDate?	
での SOH モニタデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TOHDate?	
OH モニタでの S1(5-8bit)のモニタデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SSMessage?	
Analyze 主画面(OH Monitor 副画面)での POH モニタデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:POHData?	
OH モニタでの C2(1-8bit)のモニタデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SLABel?	pohtype
	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PLABel?	
OH モニタでのモニタデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:VLABel?	
OH モニタでの VC4 および VC3 の G1(5-7bit)のモニタデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:G1Label?	
OH モニタでの K4/Z7(5-7bit)のモニタデータを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:K4Label?	
	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:Z7Label?	
Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での K1/K2 モニタデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:MSP?	
Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での Pointer のモニタデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:POINter?	
Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での Path trace(J0)のモニタデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PTRace:J0?	

Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での Path trace(J1-HP)のモニタデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PTRace:J1H?	
Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での Path trace(J1-LP)のモニタデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PTRace:J1L?	
Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での Path trace(J2)のモニタデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PTRace:J2?	
PDH Frame の表示項目の選択	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PFRame	display
PDH Frame モニタのパターンの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PFRame?	
OH モニタでのペイロードのモニタデータを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PAYLoad?	
OHMonitor(ペイロード)でのチャネルの選択	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PCH	
OHMonitor(ペイロード)でのチャネルの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PCH?	
OHMonitor(ペイロード)でのカラム位置の設定	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PCOLumn	numeric
OHMonitor(ペイロード)でのカラム位置の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PCOLumn?	
OH モニタでの Trail trace のモニタデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TTRace?	
2M 指定の 64k チャネルのバイト(8bit)モニタを行う	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:IBData?	
OH monitor 画面 Info.byte のモニタチャネルの設定	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:IBCHannel	
OH monitor 画面 Info.byte のモニタチャネルの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:IBCHannel?	
OH モニタでの Pause の設定	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PAUSe	Boolean
OH モニタでの Pause の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PAUSe?	
Tandem モニタデータを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TANDem?	
Tandem connection モニタタイプの設定	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:Tcselect	type
Tandem connection モニタタイプの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:Tcselect?	
Tandem connection(TC-API #9-#72)表示切り替えの設定	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:ASCII	type
Tandem connection(TC-API #9-#72)表示切り替えの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:ASCII?	
OH monitor モニタデータ(Signalling #4 時)の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SIGDATA?	

Page 10-366

Opt.power meter での Wave length の設定	:DISPlay:ANALysis:OPMeter:WLENgth	length
Opt.power meter での Wave length 状態の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OPMeter:WLENgth?	
Opt.power meter での Reference 値の設定	:DISPlay:ANALysis:OPMeter:Reference:SET	
Opt.power meter での Pause の設定	:DISPlay:ANALysis:OPMeter:PAUSe	boolean
Opt.power meter での Pause 状態の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OPMeter:PAUSe?	
Opt.power meter のモニタデータを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OPMeter:DATA?	

Page 10-367

Analyze:OH capture 画面でのタイトルの設定	:DISPlay:ANALysis:OHCapture:TITLe	title
Analyze:OH capture 画面でのタイトルの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHCapture:TITLe?	
Analyze:OH capture 画面での表示位置の設定	:DISPlay:ANALysis:OHCapture:JUMP:TYPE	Type
Analyze:OH capture 画面での表示位置の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHCapture:JUMP:TYPE?	
Analyze:OH capture 画面での表示位置（Nomber）を設定	:DISPlay:ANALysis:OHCapture:JUMP:LINE	numeric
Analyze:OH capture 画面での表示位置（Nomber）の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHCapture:JUMP:LINE?	
Analyze:OH capture 画面でのスクロールの指示	:DISPlay:ANALysis:OHCapture:SCRoll	type
データ表示形式の設定	:DISPlay:ANALysis:OHCapture:PTYPe	type
データ表示形式の設定の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHCapture:PTYPe?	
印刷範囲の設定	:DISPlay:ANALysis:OHCapture:PRINt	from,to
印刷範囲の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:OHCapture:PRINt?	

Page 10-370

Analyze:APS capture 画面でのタイトルを設定	:DISPlay:ANALysis:APSCapture:TITLe	title
Analyze:APS capture 画面でのタイトルの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:APSCapture:TITLe?	
Analyze:APS capture 画面での表示位置の設定	:DISPlay:ANALysis:APSCapture:JUMP:TYPE	type
Analyze:APS capture 画面での表示位置の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:APSCapture:JUMP:TYPE?	
Analyze:APS capture 画面での表示位置(Number)の設定	:DISPlay:ANALysis:APSCapture:JUMP:LINE	numeric
Analyze:APS capture 画面での表示位置(Number)の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:APSCapture:JUMP:LINE?	
ASP Capture データ表のスクロール	:DISPlay:ANALysis:APSCapture:SCRoll	type

Page 10-371

Analyze:Error/Alarm 画面でのマーカ移動を指示	:DISPlay:ANALysis:PMONitor:MARKer	marker
Analyze:Pointer monitor 画面でのマーカが示すデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:PMONitor:DATA?	
Analyze:Pointer monitor 画面での時間軸の 1 目盛りの幅を設定	:DISPlay:ANALysis:PMONitor:INTerval	numeric suffix
Analyze:Pointer monitor 画面での時間軸の 1 目盛りの幅の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:PMONitor:INTerval?	
Analyze:Pointer monitor 画面でのマーカの表示有無を設定	:DISPlay:ANALysis:PMONitor:MDISplay	boolean
Analyze:Pointer monitor 画面でのマーカの表示状態の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:PMONitor:MDISplay?	
モニタする pointer の設定	:DISPlay:ANALysis:PMONitor:TYPE	type
モニタする pointer の設定の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:PMONitor:TYPE?	
Analyze:Pointer monitor 画面でのポインタグラフ縦軸スケールの設定	:DISPlay:ANALysis:PMONitor:PSCale	scale
Analyze:Pointer monitor 画面でのポインタグラフ縦軸スケールの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:PMONitor:PSCale?	
Analyze:Pointer monitor 画面でのジャスティフィケーショングラフ縦軸スケールを設定	:DISPlay:ANALysis:PMONitor:JSCale	scale

Analyze:Pointer monitor 画面でのジャスティフィケーショングラフ縦軸スケールの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:PMONitor:JSCale?	
Pointer monitor で表示するグラフの選択	:DISPlay:ANALysis:PMONitor:SELect	type
Pointer monitor で表示するグラフの設定問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:PMONitor:SELect?	

Page 10-375

Capture する IP パケットの種類の設定	:DISPlay:ANALysis:IPCapture:CAPTuretype	type
Capture する IP パケットの種類の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:IPCapture:CAPTuretype?	
表示開始位置の設定	:DISPlay:ANALysis:IPCapture:JUMP	jump
表示開始位置の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:IPCapture:JUMP?	
IPCapture データの表をスクロール	:DISPlay:ANALysis:IPCapture:SCRoll	type

Page 10-376

Analyze: Frame capture 画面でのタイトルの設定	:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:TITLe	title
Analyze: Frame capture 画面でのタイトルの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:TITLe?	
表示するフレームの番号の設定	:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:DFRame	frame
表示するフレーム番号を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture: DFRame?	
Analyze: Frame capture 画面での表示位置を設定	:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:JUMP:TYPE	type
Analyze: Frame capture 画面での表示位置の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:JUMP:TYPE?	
Analyze: Frame capture 画面での表示位置を設定	:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:JUMP:LINE	numeric
Analyze: Frame capture 画面での表示位置（Number)の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:JUMP:LINE?	
Frame capture データの印字開始と終了位置の設定	:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:PRINt	from,to
Frame capture データの印字開始と終了位置設定の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:PRINt?	
Cell capture データ表のスクロール	:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:SCRoll	type

Page 10-378

Freq.モニタデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:FMONitor:FREQuency?	
Freq.モニタでの Pouse を設定	:DISPlay:ANALysis:FMONitor:PAUSe	boolean
Freq.モニタでの Pouse 状態の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:FMONitor:PAUSe?	

Page 10-378

Analyze:Frequency 画面でのタイトル設定	:DISPlay:ANALysis:FGRaph:TITLe	title
Analyze:Frequency 画面でのタイトルの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:FGRaph:TITLe?	
Analyze:Frequency 画面でのスクロールを指示	:DISPlay:ANALysis:FGRaph:SCRoll	scroll
Analyze:Frequency 画面でのマーカ移動を指示	:DISPlay:ANALysis:FGRaph:MARKer	marker
Analyze:Frequency 画面でのマーカが示すデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:FGRaph:DATA?	
Analyze:Frequency 画面での時間軸の 1 目盛りの幅を設定	:DISPlay:ANALysis:FGRaph:INTerval	numeric suffix
Analyze:Frequency 画面での時間軸の 1 目盛りの幅の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:FGRaph: INTerval?	

Analyze:Frequency 画面でのマーカ表示を設定	:DISPlay:ANALysis:FGRaph: MDISplay	boolean
Analyze:Frequency 画面でのマーカ表示を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:FGRaph: MDISplay?	
Frequency グラフの表示開始の位置を設定	:DISPlay:ANALysis:FGRaph: FROM	numeric1 numeric2 numeric3 numeric4 numeric5 [numeric6]
Frequency グラフの表示開始位置を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:FGRaph: FROM?	
Analyze:Frequency 画面の印字範囲を指定	:DISPlay:ANALysis:FGRaph: PRINt	type
Analyze:Frequency 画面の印字範囲を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:FGRaph: PRINt?	
Analyze:Frequency 画面でのグラフ縦軸スケールを設定	:DISPlay:ANALysis:FGRaph: SCALe	character
Analyze:Frequency 画面でのグラフ縦軸スケールを問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:FGRaph: SCALe?	

Page 10-382

Analyze:Recall 画面に表示されているデータ種別の問い合せ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?	
Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)でのスクロールの指示	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:SCRool	scroll
Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)でのマーカ位置の指示	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:MARKer	marker
Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)でのマーカが示すデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:DATA?	
Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)での時間軸の 1 目盛りの幅の設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:INTerval	numeric suffix
Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)での時間軸の 1 目盛りの幅の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:INTerval?	
Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)でのマーカの表示の有無の設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:MDISplay	boolean
Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)でのマーカの表示の有無の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:MDISplay?	
Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)でのサーチの指示	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:SEARch	type
Analyze:Recall 画面での Error/Alarm グラフの表示開始位置の設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:FROM	numeric1 numeric2 numeric3 numeric4 numeric5 numeric6
Analyze:Recall 画面での Error/Alarm グラフの表示開始位置の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:FROM?	
Analyze:Recall 画面での Error/Alarm グラフを表示するエラー項目の設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ERRor	error1 error2
Analyze:Recall 画面での Error/Alarm グラフを表示するエラー項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ERRor?	
Analyze:Recall 画面でのアラーム 1 に表示するアラーム項目の設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1	alarm
Analyze:Recall 画面でのアラーム 1 に表示するアラーム項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1?	
Analyze:Recall 画面でのアラーム 2 に表示するアラーム項目の定	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm2	alarm

Analyze:Recall 画面でのアラーム 2 に表示するアラーム項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm2?	
Analyze:Recall 画面でのアラーム 3 に表示するアラーム項目の定	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm3	alarm
Analyze:Recall 画面でのアラーム 3 に表示するアラーム項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm3?	
Analyze:Recall 画面でのアラーム 4 に表示するアラーム項目の定	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm4	alarm
Analyze:Recall 画面でのアラーム 4 に表示するアラーム項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm4?	
Analyze:Recall 画面でのアラーム 5 に表示するアラーム項目の設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm5	alarm
Analyze:Recall 画面でのアラーム 5 に表示するアラーム項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm5?	
Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)の印字範囲の指定	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:PRINt	type
Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)の印字範囲の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:PRINt?	
Analyze:Recall 画面でのトレースグラフのタイトルの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:TITLe?	
Analyze:OH capture 画面でのタイトルの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:TITLe?	
Analyze:Recall(OH capture)画面での表示位置を設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:JUMP:TYPE	type
Analyze:Recall(OH capture)画面での表示位置の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:JUMP:TYPE?	
Analyze:Recall(OH capture)画面での表示位置(Number)を設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:JUMP:LINE	numeric
Analyze:Recall(OH capture)画面での表示位置(Number)の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:JUMP:LINE?	
Analyze:OH capture 画面でのスクロールの指示	:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:SCRoll	type
データ表示形式の設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:PTYPe	type
データ表示形式の設定の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:PTYPe?	
印刷範囲の設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:PRINt	from,to
印刷範囲の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:PRINt?	
Analyze:APS capture 画面でのタイトルの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:APSCapture:TITLe?	
Analyze:Recall(APS capture)画面での表意位置をトリガ表示位置に設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:APSCapture:JUMP:TYPE	type
Analyze:Recall(APS capture)画面での表意位置のトリガ表示位置の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:APSCapture:JUMP:TYPE?	
Analyze:Recall(APS capture)画面での表意位置を表示位置(Number)に設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:APSCapture:JUMP:LINE	numeric
Analyze:Recall(APS capture)画面での表意位置の表示位置(Number)の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:APSCapture:JUMP:LINE?	
ASP Capture データ表のスクロール	:DISPlay:ANALysis:RECall:APSCapture:SCRoll	type
Analyze:Recall(Frequency)画面でのタイトルの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:TITLe?	
Analyze:Recall(Frequency)画面でのスクロールを指示	:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:SCRoll	scroll
Analyze:Recall(Frequency)画面でのマーカ移動を指示	:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:MARKer	marker
Analyze:Recall(Frequency)画面でのマーカが示すデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:DATA?	

Analyze:Recall(Frequency)画面での時間軸の 1 目盛りの幅を設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:INTerval	numeric suffix
Analyze:Recall(Frequency)画面での時間軸の 1 目盛りの幅の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:INTerval?	
Analyze:Recall(Frequency)画面でのマーカ表示を設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:MDISplay	boolean
Analyze:Recall(Frequency)画面でのマーカ表示の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:MDISplay?	
Analyze:Recall(Frequency)画面でのグラフ表示開始位置を設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:FROM	numeric1 numeric2 numeric3 numeric4 numeric5 [numeric6]
Analyze:Recall(Frequency)画面でのグラフ表示開始位置の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:FROM?	
Analyze:Recall(Frequency)画面での印字範囲の設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:PRINt	type
Analyze:Recall(Frequency)画面での印字範囲の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:PRINt?	
Analyze:Recall(Frequency)画面でのグラフ縦軸スケールを設定	:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:SCALe	numeric
Analyze:Recall(Frequency)画面でのグラフ縦軸スケールの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:SCALe?	

Page 10-394

Analyze:SEQuence test 画面に表示されているデータ種別の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TYPE?	
Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)でのスクロールの指示	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:SCRoll	scroll
Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)でのマーカ移動の指示	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:MARKer	marker
Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)で，マーカが示すデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:DATA?	
Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)での時間軸の 1 目盛りの幅を設定	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:INTerval	numeric suffix
Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)での時間軸の 1 目盛りの幅の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:INTerval?	
Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)でのマーカ表示の有無を設定	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:MDISplay	boolean
Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)でのマーカの表示状態の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:MDISplay?	
Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)でのサーチを指示	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:SEARch	type
Analyze:SEQuencetest 画面での Error/Alarm グラフの表示開始位置を設定	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:FROM	numeric1 numeric2 numeric3 numeric4 numeric5 numeric6
Analyze:SEQuencetest 画面での Error/Alarm グラフの表示開始位置の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:FROM?	

Analyze:SEQuencetest 画面での Error/Alarm グラフ表示するエラー項目の設定	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ERRor	error1 error2
Analyze:SEQuencetest 画面での Error/Alarm グラフ表示するエラー項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ERRor?	
Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 1 に表示するアラーム項目の設定	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm1	alarm
Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 1 に表示するアラーム項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm1?	
Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 2 に表示するアラーム項目を設定	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm2	alarm
Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 2 に表示するアラーム項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm2?	
Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 3 に表示するアラーム項目を設定	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm3	alarm
Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 3 に表示するアラーム項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm3?	
Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 4 に表示するアラーム項目を設定	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm4	alarm
Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 4 に表示するアラーム項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm4?	
Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 5 に表示するアラーム項目を設定	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm5	alarm
Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 5 に表示するアラーム項目の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm5?	
Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)の印字範囲を指定	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:PRINt	type
Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)の印字範囲の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:PRINt?	
Analyze:SEQuencetest 画面でのトレースグラフのタイトルの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:TITLe?	
Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)でのタイトルの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:TITLe?	
Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)でのマーカ表示を設定	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:MDISplay	boolean
Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)でのマーカ表示の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:MDISplay?	
Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)でのスクロールを指示	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:SCRoll	scroll
Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)でのマーカ移動を指示	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:MARKer	marker
Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)でのマーカが示すデータの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:DATA?	
Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)での時間軸の 1 目盛りの幅を設定	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:INTerval	numeric suffix
Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)での時間軸の 1 目盛りの幅の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:INTerval?	

Analyze:SEQuencetest 画面での Frequency グラフの表示開始位置を設定	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:FROM	numeric1 numeric2 numeric3 numeric4 numeric5 [numeric6]
Analyze:SEQuencetest 画面での Frequency グラフの表示開始位置の問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:FROM?	
Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)の印字範囲を指定	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:PRINt	type
Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)の印字範囲を問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:PRINt?	
Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)でのグラフ縦軸スケールを設定	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:SCALe	numeric
Analyze : SEQuencetest 画面(Frequency)でのグラフ縦軸スケールの問い合わせ	:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:SCALe?	

Page 10-403

Setup 主画面での副画面の選択	:DISPlay:SETup:[NAME]	sdisplay
Setup 主画面での副画面の問い合わせ	:DISPlay:SETup:[NAME]?	

Page 10-404

Setup 主画面(OH preset data 副画面)での OH プリセットデータの表示ビットレートの設定	:DISPlay:SETup:BRATe	brate
Setup 主画面(OH preset data 副画面)での OH プリセットデータの表示ビットレートの問い合わせ	:DISPlay:SETup:BRATe?	

Page 10-404

Setup 主画面(OH preset data 副画面)での OH プリセットデータの表示 SOH チャネルの設定	:DISPlay:SETup:SOHCh :DISPlay:SETup:TOHch	numeric
Setup 主画面(OH preset data 副画面)での OH プリセットデータの表示 SOH チャネルの問い合わせ	:DISPlay:SETup:SOHCh? :DISPlay:SETup:TOHch?	

Page 10-404

Set up 主画面(Floppy disk 副画面)でのページ切り替えの指示	:DISPlay:SETup:FDPage	numeric
Set up 主画面(Floppy disk 副画面)で現在表示されているページ番号の問い合わせ	:DISPlay:SETup:FDPage?	

Page 10-405

Setup 画面の OH プリセットデータの表示切り換えを設定	:DISPlay:SETup:OHPReset:[NAME]	type
Setup 画面の OH プリセットデータの表示切り換えの問い合わせ	:DISPlay:SETup:OHPReset:[NAME]?	

Page 10-405

Setup 画面の PTR64 frame でのスクロールの指示	:DISPlay:SETup:PTR64:SCRoll	scroll

Page 10-406

編集するための表示列番号の先頭値の設定	:DISPlay:SETup:FMEMory:JUMP	jump
編集する表示位置の設定の問い合わせ	:DISPlay:SETup:FMEMory:JUMP?	

Frame memory のペイロードデータの表示位置を設定	:DISPlay:SETup:FMEMory:SCRoll	scroll

Page 10-406

Set up 画面の APS program data におけるスクロールを指示	:DISPlay:SETup:APS:SCRoll	type

Page 10-406

Set up 画面の S1 program data におけるスクロールを指示	:DISPlay:SETup:SPR:SCRoll	type

:DISPlay:DSELect[:NAME] <display>

パラメータ　<display> = <STRING PROGRAM DATA>

"SETup"	Setup 主画面
"TMENu"	Test menu 主画面
"RESult"	Result 主画面
"ANALysis"	Analyze 主画
"T&R"	Test menu & Result 主画
"T&A"	Test menu & Analyze 主画面
"R&A"	Result & Analyze 主画面
"T&R&A"	Test menu & Result & Analyze 主画面

機 能　主画面の切り替えを選択します。

使用例　Test menu 主画面と Result 主画面の 2 分割表示を選択します。
> :DISPlay:DSELect:NAME "T&R"
または :DISPlay:DSELect "T&R"（NAME はできます）

:DISPlay:DSELect[:NAME]?

レスポンス　<display> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　主画面の表示状態を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:DSELect:NAME?
または :DISPlay:DSELect?（NAME はできます）
< "T&R"

:DISPlay:TMENu[:NAME] <tdisplay>

パラメータ　<tdisplay> = <STRING PROGRAM DATA>

"TSEarch"	Trouble search 副画面
"MANual:JOFF"	Manual 副画面
"MANual"	Manual 副画面
"MANual:NON"	Manual Non-frame 画面
"MANual:CID"	Manual CID 画面
"PSEQuence"	Pointer sequence 副画面
"PSEQuence:JOFF"	Pointer sequence 副画面
"DELay"	Delay 副画面
"OHTest”	OH test 画面
"APSTest”	APS test 画面
"PERFormance”	Performance check 画面
"FMEMory”	Frame memory 画面
“IPTest”	IP Test 画面

機 能　Test menu 主画面での副画面を選択します。
:SENSe:MEASure:STARt により開始される測定は，本コマンドで指定した副画面に対応した測定となります。

制 約　次の場合無効となります。

・MP0104A/B,MP0105A,MP0106B,MP0108A,MP0109A,MP0110A が未装着時，"PSEQuence"設定の場合。

・:SOURce:TELecom:BRATe が<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>または，:SENSe:TELecom:MMODe が<ISERvice>時<"PSEQuence:[JOFF]">の場合。
・:SENSe:TELecom:MMODe が<ISERvice>時，<"DELay">設定の場合。
・フレームメモリオプション未装着時，<"FMEMory”>設定の場合。

・オプション 14 未装着時<"IPTest”>設定の場合。
・オプション 22 未装着時, <”STE”>設定の場合。
・測定モードが In-service 以外時に<”STE”>設定の場合。
・ROUTe:THRough[:TYPE] の設定が,<OFF>時に<”STE”>設定の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE の設定が,<OH>以外時に<”STE”>設定の場合。
・:ROUTe:THRough:OH <S1>以外時に<”STE”>設定の場合。

使用例　Test menu 主画面での副画面を"TSEarch"に選択する場合。
> :DISPlay:TMENu:NAME "TSEarch"
または :DISPlay:TMENu "TSEarch"（NAME はできます）

:DISPlay:TMENu[:NAME]?

レスポンス　<display> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　Test menu 主画面での副画面を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:TMENu:NAME?
または :DISPlay:TMENu?（NAME はできます）
< "TSE"

:DISPlay:MAPPing:MIXCh <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF	or	0
ON	or	1

機 能　Mixed Payload の表示を行うためのトリガを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM 時。
使用例　Mixed Payload の表示を行う設定の場合。
> :DISPlay:MAPPing:MIXCh ON

:DISPlay:TANDem:CONDition:N1:MODE <mode>
:DISPlay:TANDem:CONDition:Z5:MODE <mode>

パラメータ　<mode> = <CHARACTOR PROGRAM DATA>

HP	Higher order Pass
LP	Lower order Pass

機 能　N1 バイトおよび Z5 バイトでのパスを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM 時。
使用例　N1 バイトのパスを HP に設定する場合。
> :DISPlay:TANDem:CONDition:N1:MODE HP

:DISPlay:TANDem:CONDition:N1:MODE?
:DISPlay:TANDem:CONDition:Z5:MODE?

レスポンス　<mode> = <CHARACTOR RESPONSE DATA>
機 能　N1 バイトおよび Z5 バイトでのパスの設定を問い合わせます。
使用例　N1 バイトのパスの問い合わせを行う場合。
> :DISPlay:TANDem:CONDition:N1:MODE?
< HP

:DISPlay:TANDem:CONDition:N1:TYPE <mode>
:DISPlay:TANDem:CONDition:Z5:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTOR PROGRAM DATA>
TYPE1
TYPE2

機 能　N1 バイトおよび Z5 バイトでの LAPD メッセージタイプを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM 時。
・:DISPlay:TANDem:CONDition:N1:MODE の設定が<LP>および :DISPlay:TANDem:CONDition:Z5:MODE の設定が<LP>の場合。

使用例　N1byte での LAPD メッセージタイプを Type1 に設定する場合。
> :DISPlay:TANDem:CONDition:N1:TYPE TYPE1

:DISPlay:TANDem:CONDition:N1:TYPE?
:DISPlay:TANDem:CONDition:Z5:TYPE?

レスポンス　<mode> = <CHARACTOR RESPONSE DATA>

機 能　N1 バイトおよび Z5 バイトでの LAPD メッセージタイプを問い合わせます。

使用例　N1byte の LAPD メッセージタイプの問い合わせをする場合。
> :DISPlay:TANDem:CONDition:N1:TYPE?
< TYPE1

:DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:N1:MODE <mode>
:DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:Z5:MODE <mode>

パラメータ　<mode> = <CHARACTOR PROGRAM DATA>
HP　Higher order Pass
LP　Lower　order Pass

機 能　ダミーチャネルでの N1 バイトおよび Z5 バイトのパスを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM 時。

使用例　N1 バイトのパスを HP に設定する場合。
> :DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:N1:MODE HP

:DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:N1:MODE?
:DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:Z5:MODE?

レスポンス　<mode> = <CHARACTOR RESPONSE DATA>

機 能　ダミーチャネルでの N1 バイトおよび Z5 バイトのパスを問い合わせます。

使用例　N1 バイトのパスの問い合わせをする場合。
> :DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:N1:MODE?
< HP

:DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:N1:TYPE <mode>
:DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:Z5:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTOR PROGRAM DATA>
TYPE1
TYPE2

機 能　ダミーチャネルでの N1 バイトおよび Z5 バイトの LAPD メッセージタイプを設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM 時。
・:DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:N1:MODE の<LP>または :DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:Z5:MODE <LP>の場合において<TYPE2>を設定する場合。

使用例　　N1 バイトでの LAPD メッセージタイプを Type1 に設定する場合。
> :DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:N1:TYPE TYPE1

:DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:N1:TYPE?
:DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:Z5:TYPE?

レスポンス　　<mode> = <CHARACTOR RESPONSE DATA>

機 能　　ダミーチャネルでの N1 バイトおよび Z5 バイトの LAPD メッセージタイプを問い合わせます。

使用例　　N1 バイトでの LAPD メッセージタイプの問い合わせをする場合。
> :DISPlay:DPReset:TANDem:CONDition:N1:TYPE?
< TYPE1

:DISPlay:IPPacket:PRESetno <presetno>

パラメータ　　<presetno> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 3　　ステップ値 1

機 能　　編集する IP パケットの番号を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・オプション 13,14 未装着時。

使用例　　編集するパケット No を No.1 に設定する場合。
> :DISPlay:IPPacket:PRESetno 1

:DISPlay:IPPacket:PRESetno?

レスポンス　　<presetno> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機能　　編集する IP パケット番号を問い合わせます。

使用例　　編集するパケット No の問い合わせをする場合。
> :DISPlay:IPPacket: PRESetno?
< 1

:DISPlay:PTR64:POINter <mode>

パラメータ　　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
(SDH)
AUPTR
TUPTR
(SONET)
STSPTR
VTPTR

機 能　　PTR の範囲を設定します。

使用例　　PTR の範囲設定を AUPTR に設定する場合。
> :DISPlay:PTR64:POINter AUPTR

:DISPlay:PTR64:POINter?

レスポンス　<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　PTR の範囲を問い合わせます。
使用例　PTR の範囲の問い合わせをする場合。
> :DISPlay:PTR64:POINter?
> AUPTR

:DISPlay:RESult[:NAME] <rdisplay>

パラメータ　<rdisplay> = <STRING PROGRAM DATA>

"TSEarch"	Trouble search 副画面
"EALarm"	Error/Alarm 副画面
"JUSTificat"	Justification 副画面
"ZOOM"	Zoom 副画面
"PERFormance"	Performance 副画面
"DELay"	Performance 副画面
"B2"	B2 error 副画面
"SIMultaneous”	Simultaneous 画面
"DELay"	Delay 画面
"APS”	APS test 画面
“IPPacket”	IP packet 画面
"SEQuence”	Sequence test 画面

機 能　Result 主画面での副画面を選択します。
制 約　次の場合無効となります。
・Test menu 選択画面により選択不可の Result 画面選択の場合。
使用例　Result 主画面での副画面を"TSEarch"に選択します。
> :DISPlay:RESult:NAME "TSEarch"
または :DISPlay:RESult "TSEarch"（NAME はできます）

:DISPlay:RESult[:NAME]?

レスポンス　<rdisplay> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　Result 主画面での副画面を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:RESult:NAME?
または :DISPlay:RESult?（NAME はできます）
< "TSE"

:DISPlay:RESult:EALarm:MODE <rdmode>

パラメータ　<rdmode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

CURRent	現在の測定結果
LAST	直前の測定結果

機 能　Result 主画面(Error/Alarm 副画面)での表示モードを選択します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。
使用例　現在の測定結果を表示します。
> :DISPlay:RESult:EALarm:MODE CURRent

:DISPlay:RESult:EALarm:MODE?

レスポンス　<rdmode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　Result 主画面(Error/Alarm 副画面)での表示モードを問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:RESult:EALarm:MODE?
< CURR

:DISPlay:RESult:EALarm:UNIT <unit>

パラメータ　<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

COUNt	カウント値表示
RATE	レート値表示

機 能　Result 主画面(Error/Alarm 副画面)でのカウント値/レート値表示を選択します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<PSEQuence [:"JOFF"]>以外の場合。
使用例　測定結果をカウント値表示にします。
> :DISPlay:RESult:EALarm:UNIT COUNt

:DISPlay:RESult:EALarm:UNIT?

レスポンス　<unit> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　Result 主画面(Error/Alarm 副画面)でのカウント値/レート値表示を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:RESult:EALarm:UNIT?
< COUN

:DISPlay:RESult:EALarm:DISPmode <mode>

パラメータ　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

SDH	SDH
SONET	SONET
TC	TC または Tc/Sig

機 能　SDH/SONET ,PDH に関連した測定結果の表示を切り替えます。
制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM 時。
・Setup:System 画面の Standard の有効設定項目が，SDH のみの場合の SONET 設定時，または SONET のみの場合の SDH 設定時。
使用例　測定結果の表示を SDH に設定する場合。
> :DISPlay:RESult:EALarm:DISPmode SDH

:DISPlay:RESult:EALarm:DISPmode?

レスポンス　<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　測定結果の表示モードを問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:RESult:EALarm:DISPmode?
< SDH

:DISPlay:RESult:EALarm:AUNit <unit>

パラメータ　<alarm> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
SECond
FRAMe
機 能　アラーム測定結果の表示単位を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM 時。
・:SENSe:TELecom:BRATe の設定が M1_5,M2,M8,M34,M45,M139 時での<FRAMe>設定時。

使用例　　表示単位を SECOND に設定する場合。
> :DISPlay:RESult:EALarm:AUNit SECOND

:DISPlay:RESult:EALarm:AUNit?

レスポンス　　<alarm> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　アラーム測定結果の表示単位の設定を問い合わせます。

使用例　　> :DISPlay:RESult:EALarm:AUNit?
< SEC

:DISPlay:RESult:EALarm:PAUSe

パラメータ　　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	止めない
ON　or 1	止める

機 能　　測定結果の表示を強制的に止めます。

制 約　　次の場合無効となります。
・:SYSTem:MPAuse <DISABLE>設定時。

使用例　　測定結果を強制的に止める場合。
> :DISPlay:RESult:EALarm:PAUSe ON

:DISPlay:RESult:EALarm:PAUSe?

レスポンス　　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0
1

機 能　　測定結果の表示を強制的に止める状態を問い合わせます。

使用例　　> : DISPlay:RESult:EALarm:PAUSe?
< 1

:DISPlay:RESult:JUSTificat:MODE <rdmode>

パラメータ　　<rdmode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

CURRent	現在の測定結果
LAST	直前の測定結果

機 能　　Result 主画面(Justification 副画面)での表示モードを選択します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。

使用例　　現在の測定結果を表示します。
> :DISPlay:RESult:JUSTificat:MODE CURRent

:DISPlay:RESult:JUSTificat:MODE?

レスポンス　<rdmode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　Result 主画面(Justification 副画面)での表示モードを問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:RESult:JUSTificat:MODE?
< CURR

:DISPlay:RESult:JUSTificat:UNIT <unit>

パラメータ　<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
COUNt　カウント値表示
RATE　レート値表示
PPM　ppm 表示
機 能　Result 主画面(Justification 副画面)でのカウント値/レート値の表示を選択します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">以外の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。
使用例　測定結果をカウント値の表示にする場合。
> :DISPlay:RESult:JUSTificat:UNIT COUNt

:DISPlay:RESult:JUSTificat:UNIT?

レスポンス　<unit> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　Result 主画面(Justification 副画面)でのカウント値/レート値/ppm の表示を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:RESult:JUSTificat:UNIT?
< COUN

:DISPlay:RESult:ZOOM:MODE <rdmode>

パラメータ　<rdmode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
CURRent　現在の測定結果
LAST　直前の測定結果
機 能　Result 主画面(Zoom 副画面)での表示モードを選択します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<PSEQuence[:"JOFF"]>以外の場合。
使用例　現在の測定結果を表示する場合。
> :DISPlay:RESult:ZOOM:MODE CURRent

:DISPlay:RESult:ZOOM:MODE?

レスポンス　<rdmode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　Result 主画面(Zoom 副画面)での表示モードを問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:RESult:ZOOM:MODE?
< CURR

:DISPlay:RESult:ZOOM:UNIT <unit>

パラメータ　<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
COUNt　カウント値表示
RATE　レート値表示

機 能　Result 主画面(Zoom 副画面)でのカウント値/レート値の表示を選択します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<PSEQuence [:"JOFF"]>以外の場合。
使用例　測定結果をカウント値表示にする場合。
> :DISPlay:RESult:ZOOM:UNIT COUNt

:DISPlay:RESult:ZOOM:UNIT?

レスポンス　<unit> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　Result 主画面(Zoom 副画面)でのカウント値/レート値の表示を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:RESult:ZOOM:UNIT?
< COUN

:DISPlay:RESult:ZOOM:AUNit <unit>

パラメータ　<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
SECond
FRAMe
機 能　アラーム測定結果の表示単位を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM 時。
・:SENSe:TELecom:BRATe の設定が M1_5,M2,M8,M34,M45,M139 時での<FRAMe>設定時。
使用例　表示単位を SECOND に設定する場合。
> :DISPlay:RESult:ZOOM:AUNit SECOND

:DISPlay:RESult:ZOOM:AUNit?

レスポンス　<unit> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　アラーム測定結果の表示単位の設定を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:RESult:ZOOM:AUNit?
< SEC

:DISPlay:RESult:ZOOM:ALARm <alarm>

パラメータ　<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>

"POWer"		Power fail
"LOS"		LOS
"LOF"		LOF
"OOF"		OOF
"AIS:MS"	(SDH)	MS-AIS
"AIS:L"	(SONET)	AIS-L
"RDI:MS"	(SDH)	MS-RDI
"RDI:L"	(SONET)	RDI-L
"AIS:AU"	(SDH)	AU-AIS
"AIS:P"	(SONET)	AIS-P
"LOP:AU"	(SDH)	AU-LOP
"LOP:P"	(SONET)	LOP-P
"RDI:HP"	(SDH)	HP-RDI
"RDI:P"	(SONET)	RDI-P
"SLM:HP"	(SDH)	HP-SLM
"PLM:P"	(SONET)	PLM-P
“TIM:HP”	(SDH)	HP-TIM
“TIM:P”	(SONET)	TIM-P
“UNEQ:HP”	(SDH)	HP-UNEQ
“UNEQ:P”	(SONET)	UNEQ-P
“AIS:HV”		HP-VC-AIS
“ISF:HP”		HP-ISF
“FAS:HP”		HP-FAS
“IAIS:HP”		HP-IncAIS
“TRDI:HP”		HP-TC-RDI
“ODI:HP”		HP-ODI
"AIS:TU"	(SDH)	TU-AIS
"AIS:V"	(SONET)	AIS-V
"LOP:TU"	(SDH)	TU-LOP
"LOP:V"	(SONET)	LOP-V
"RDI:LP"	(SDH)	LP-RDI
"RDI:V"	(SONET)	RDI-V
"SLM:LP"	(SDH)	LP-SLM
"PLM:V"	(SONET)	PLM-V
"RFI:LP"		LP-RFI
"RFI:V"	(SONET)	RFI-V
"LOM:HP"		HP-LOM
"LOM:TU"		TU-LOM
"LOP:V"	(SONET)	LOP-V
“TIM:LP”	(SDH)	LP-TIM
“TIM:V”	(SONET)	TIM-V
“UNEQ:LP”	(SDH)	LP-UNEQ
“UNEQ:V”	(SONET)	UNEQ-V
“AIS:LV”		LP-VC-AIS
“FAS:LP”		LP-FAS
“IAIS:LP”		LP-IncAIS
“TRDI:LP”		LP-TC-RDI
“ODI:LP”		LP-ODI
"AIS:M139"		139M AIS
"AIS:M45"		45M AIS
"AIS:M34"		34M AIS
"AIS:M8"		8M AIS

"AIS:M2"	2M AIS
"AIS:M1_5"	1.5M AIS
"LOF:M139"	139M LOF
"LOF:M45"	45M LOF
"LOF:M34"	34M LOF
"LOF:M8"	8M LOF
"LOF:M2"	2M LOF
"LOF:M1_5"	1.5M LOF
"LOF:MF"	MF LOF
"RDI:M139"	139M RDI
"RDI:M45"	45M RDI
"RDI:M34"	34M RDI
"RDI:M8"	8M RDI
"RDI:M2"	2M RDI
"RDI:M1_5"	1.5M RDI
"RDI:MF"	MF RDI
“SYN:OH”	OH sync
“AIS:HG”	HG AIS
“REC:HG”	HG REC
“BAI:S15”	BAIS1.5
“AIS:S15”	SigAIS1.5
“SIG:OOF”	SigOOF
"PATTern"	Sync. loss

※(SDH)(SONET)表記の無いものは SDH・SONET 両方でご使用になれます。

機 能　Result 主画面(Zoom 副画面)での測定結果のアラーム表示を選択します。

制 約　次の場合無効となります。
:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<PSEQuence [:"JOFF"]>以外の場合。
Setup:Measurement condition 画面の N1,N2 バイトに関する設定が OFF 時のとき，タンデムコネクションでのアラームを設定する場合。

使用例　測定結果(ZOOM)のアラーム表示を MS-AIS にします。
> :DISPlay:RESult:ZOOM:ALARm "AIS:MS"

:DISPlay:RESult:ZOOM:ALARm?

レスポンス　<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　Result 主画面(Zoom 副画面)での測定結果のアラーム表示について問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:RESult:ZOOM:ALARm?
< "AIS:MS"

:DISPlay:RESult:ZOOM:ERRor <error>

パラメータ　<error> = <STRING PROGRAM DATA>

"B1"	B1 エラー
"B2"	B2 エラー
"B3:HP"	HP-B3 エラー
"B3:LP"	LP-B3 エラー
"BIP2"	BIP-2 エラー
"REI:MS"　(SDH)	MS-REI エラー
"REI:HP" (SDH)	HP-REI エラー
"REI:LP" (SDH)	LP-REI エラー
"REI:L" (SONET)	REI-L エラー
"REI:P"　(SONET)	REI-P エラー
"REI:V"　(SONET)	REI-V エラー
“IEC:HP”	HP-IEC エラー
“REI:HT”	HP-TC-REI エラー
“OEI:HP”	HP-OEI エラー
“IEC:LP”	LP-IEC エラー
“REI:LT”	LP-TC-REI エラー
“OEI:LP”	LP-OEIエラー
“BIP2:N2”	N2 BIP-2 エラー
“BIT:OH”	OH Bit エラー
"CODE"	コードエラー
"FRAMe:M139"	139M FAS
"FRAMe:M45"	45M FAS
"FRAMe:M34"	34M FAS
"FRAMe:M8"	8M FAS
"FRAMe:M2"	2M FAS
"FRAMe:M1_5"	1.5M FAS
"REI:M139"	139M REI エラー
"REI:M45"	45M REI エラー
"REI:M34"	34M REI エラー
"EBIT"	E-Bit
"BIP8"	BIP-8 エラー
"PARITY"	Parity
"CBIT"	C-Bit
"CRC6"	CRC-6 エラー
"BIT"	ビットエラー
"CIDPKT"	CID PKT

※(SDH)(SONET)表記の無いものは SDH・SONET 両方でご使用になれます。

機 能　Result 主画面(Zoom 副画面)での測定結果のエラー表示を選択します。

制 約　次の場合無効となります。

:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<PSEQuence [:"JOFF"]>以外の場合。

Setup:Measurement condition 画面の N1,N2 バイトに関する設定が OFF のとき，タンデムコネクションでのエラーを設定する場合。

使用例　測定結果(ZOOM)のエラー表示を E-Bit にする場合。

> :DISPlay:RESult:ZOOM:ERRor "EBIT"

:DISPlay:RESult:ZOOM:ERRor?

レスポンス　<error> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　Result 主画面(Zoom 副画面)での測定結果エラーの表示について問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:RESult:ZOOM:ERRor?
< "EBIT"

:DISPlay:RESult:PERFormance:MODE <rdmode>

パラメータ　<rdmode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

CURRent	現在の測定結果
LAST	直前の測定結果

機 能　測定結果の表示モードを選択します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<PSEQuence [:"JOFF"]>以外の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，<OFF>の場合。

使用例　測定結果の表示モードを，現在の測定結果に選択する場合。
> :DISPlay:RESult:PERFormance:MODE CURRent

:DISPlay:RESult:PERFormance:MODE?

レスポンス　<rdmode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

CURR	現在の測定結果
LAST	直前の測定結果

機 能　測定結果の表示モードを問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:RESult:PERFormance:MODE?
< CURR

:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor [:G826]<error>

パラメータ　<error> = <STRING PROGRAM DATA>

"BIP"	BIP
"REI"	REI
"FCRC"	FAS/CRC
"PARITY"	PARITY
"BIT"	Bit

機 能　Result 主画面(Performance 副画面)での測定結果(パフォーマンス G.826)のエラー内容を選択します。

制 約　次の場合無効となります。
:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<PSEQuence [:"JOFF"]>以外の場合。
・1.5/45/52M ユニット未装着時，<"PARITY">設定の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，<OFF>,<G821>,<M2100><M2101><M2110><M2120>の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>時，<"BIP">,<"REI">設定の場合。
・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_BLK>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>,<VC12_BLK>,<VC11_BLK>時，<"FCRC">,<"BIT">設定の場合。
・:SENSe:TELecom:MMODe が<OSERvice>時，<"FCRC">設定の場合。
・:SENSe:TELecom:MMODe が<ISERvice>時，<"BIT">設定の場合。

・:SENSe:TELecom:MMODe が<ISERvice>かつ，
:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>かつ，
:SENSe:TELecom:FRAMing が<OFF>時，<"FCRC">設定の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M45>以外時，<"PARITY">設定の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M45>時，<"FCRC">設定の場合。

使用例　測定結果(パフォーマンス G.826)のエラーを BIP にします。
> :DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor "BIP"

:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor[:G826]?

レスポンス　<error> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　Result 主画面(Performance 副画面)での測定結果(パフォーマンス G.826)のエラー内容を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor?
< "BIP"

:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2101 <error>

パラメータ　<error> = <STRING PROGRAM DATA>
"SECTion"
"HOPath"
"LOPath"

機 能　測定結果（パフォーマンス M.2101）のエラー内容を選択します。

制 約　次の場合無効となります。
・1.5/45/52M ユニット未装着時，<"PARITY">設定の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，<OFF>,<G821>,<M2100><M2100><M2110><M2120>の場合。
・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_BLK>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>,<VC12_BLK>,<VC11_BLK>時，<"FCRC">,<"BIT">設定の場合。
・:SENSe:TELecom:MMODe が<OSERvice>時，<"FCRC">設定の場合。
・:SENSe:TELecom:MMODe が<ISERvice>時，<"BIT">設定の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M45>以外時，<"PARITY">設定の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M45>時，<"FCRC">設定の場合。

使用例　測定結果（パフォーマンス M.2101）のエラーを，Section にする場合。
> :DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2101 "SECTion"

:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2101?

レスポンス　<error> = <STRING RESPONSE DATA>
"SECT"
"HOP"
"LOP"

機 能　測定結果（パフォーマンス M.2101）のエラー内容を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2101?
< "SECT"

:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2110:LAYer1 <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
PDH
SDH

機 能　M.2110 の測定対象範囲を決定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE の設定において
< M2110>以外設定時。

使用例　M.2110 の測定対象範囲を PDH に設定する場合。
> :DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2110:LAYer1 PDH

:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2110:LAYer1?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　M.2110 の測定対象範囲を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2110:LAYer1?
< PDH

:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2110:LAYer2 <type>

パラメータ　<type> = <STRING PROGRAM DATA>

(SDH)	"SECTion"	(SONET)	"SECTion"
	"AUPath"		"STSPath"
	"TUPath"		"VTPath"

機 能　M.2110 の測定対象範囲を決定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE の設定において
< M2110>以外設定時。

使用例　M.2110 の測定対象範囲を"SECTion"に設定する場合。
> :DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2110:LAYer2 "SECTion"

:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2110:LAYer2?

レスポンス　<type> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　M.2110 の測定対象範囲を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2110:LAYer2?
< "SECT"

:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer1 <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
PDH
SDH

機 能　M.2120 の測定対象範囲を決定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE の設定において
< M2120>以外設定時。

使用例　M.2120 の測定対象範囲を PDH に設定する場合。
> :DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer1 PDH

:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer1?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　M.2120 の測定対象範囲を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer1?
< PDH

:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer2 <type>

パラメータ　<type> = <STRING PROGRAM DATA>

(SDH)	"SECTion"	(SONET)	"SECTion"
	"AUPath"		"STSPath"
	"TUPath"		"VTPath"

機 能　M.2120 の測定対象範囲を決定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE の設定において
< M2120>以外設定時。
使用例　M.2120 の測定対象範囲を"SECTion"に設定する場合。
> :DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer2 "SECTion"

:DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer2?

レスポンス　<type> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　M.2120 の測定対象範囲を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer2?
< "SECT"

:DISPlay:RESult:SIMultaneous:DISPdata <data>

パラメータ　<data> = <STRING PROGRAM DATA>

“CURRent”	Current
“LAST”	Last

機 能　Simultaneous 測定の結果表示の種類（現在表示／測定終了）を設定します。
使用例　Last に設定する場合。
> :DISPlay:RESult:Simultaneous:DISPdata LAST

:DISPlay:RESult:SIMultaneous:DISPdata?

レスポンス　<data> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　SIMultaneous 測定の結果表示の種類（現在表示／測定終了）を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:RESult:SIMultaneous:DISPdata?
< ・LAST”

:DISPlay:RESult:B2:MODE <rdmode>

パラメータ　<rdmode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

CURRent	現在の測定結果
Last	直前の測定結果

機 能　測定結果の B2 表示モードを選択します。
使用例　測定結果の B2 表示モードを現在の測定結果に選択する場合。
> :DISPlay:RESult:B2:MODE CURRent

:DISPlay:RESult:B2:MODE?

レスポンス　<rdmode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　測定結果の B2 表示モードを問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:RESult:B2:MODE?
< CURR

:DISPlay:RESult:TIME <time>

パラメータ　<time> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
ELAPsed　経過時間
STARt　開始時間
機 能　Result 主画面の測定時間表示を選択します。
制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"TSEarch">,<"DELay">,の時,
<ELAPsed>設定の場合。
使用例　経過時間を表示します。
> :DISPlay:RESult:TIME ELAPsed

:DISPlay:RESult:TIME?

レスポンス　<time> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　Result 主画面の測定時間表示を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:RESult:TIME?
< ELAP

:DISPlay:RESult:TSEarch:AUG <numeric>
:DISPlay:RESult:TSEarch:STS <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　ステップ値：1
機 能　Trouble search 測定結果で表示する AUG/STS3 チャネルを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・Rx Bit rate(:SENSe:TELecom:BRATe)により上限値が下記のようになります。

Rx Bit rate	上限値
156M,	1
156MCMI	1
622M	4
2488M	16
9953M	64

・Rx Bit rate(:SENSe:TELecom:BRATe)1.5,2,8,34,45,139,52M,
52MB3ZS のとき。
・:DISPlay:TMENu[:NAME] <"TSEarch">以外の設定の場合。
・測定中
使用例　AUG チャネルを 7 に設定する場合。
> :DISPlay:RESult:TSEarch:AUG 7

:DISPlay:RESult:TSEarch:AUG?
:DISPlay:RESult:TSEarch:STS?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Trouble search 測定結果で表示する AUG（STS3）チャネルの値を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:RESult:TSEarch:AUG?
< 7

:DISPlay:RESult:TSEarch:SEARch <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

BEFore	チャネルが小さい方へサーチする。
NEXT	チャネルが大きい方へサーチする。

機 能　Trouble 発生チャネル（AUG#／STS3#）を検索します。

制 約　次の場合無効となります。
・:SENSe:TELecom:BRATe の設定が M1_5,M2,M8,M34,M45,M139 時
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"TSEarch">以外の場合。

使用例　Trouble 発生チャネルを大きい方へサーチする場合。
> :DISPlay:RESult:TSEarch:SEARch BIG

:DISPlay:RESult:TSEarch:ANALyze

パラメータ　なし

機 能　Trouble 発生チャネル（AUG#／STS3#）の詳細情報を画面上に表示します。

使用例　> :DISPlay:RESult:TSEarch:ANALyze

:DISPlay:RESult:IPPacket:MODE <rdmode>

パラメータ　<rdmode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

CURRent	現在の測定結果
LAST	直前の測定結果

機 能　Result 画面の IP packet 画面において,測定結果の表示モードを選択します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]の設定が<"IPTest”>以外の場合。

使用例　測定結果の表示モードを,現在の測定結果に選択する場合。
> :DISPlay:RESult:IPPacket:MODE CURRent

:DISPlay:RESult:IPPacket:MODE?

レスポンス　<rdmode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

CURR	現在の測定結果
LAST	直前の測定結果

機 能　Result 画面の IP packet 画面において,測定結果の表示モードの問い合わせを行います。

使用例　> :DISPlay:RESult:IPPacket:MODE?
< CURR

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:AUNit <unit>

パラメータ　<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
SECond
FRAMe

機 能　アラーム測定結果の表示単位を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM 時。
・:SENSe:TELecom:BRATe の設定が M1_5,M2,M8,M34,M45,M139 時での<FRAMe>設定時。

使用例　表示単位を SECOND に設定する場合。
> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:ALArm SECOND

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:AUNit?

レスポンス　<unit> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

SEC	SECond
FRAM	FRAMe

機 能　アラーム測定結果の表示単位の設定を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:ALARm?
< SEC

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:ERRor <error>

パラメータ　<error> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

COUNT	Count
RATE	Rate

機 能　エラー測定結果の表示単位を設定します。

使用例　表示単位を Rate に設定する場合。
> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:ERRor RATE

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:ERRor?

レスポンス　<error> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　エラー測定結果の表示単位の設定を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:ERRor?
< RATE

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:DISPmode <mode>

パラメータ　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

SDH	SDH
SONET	SONET
TC	TC または Tc/Sig

機 能　SDH/PDH に関連した測定結果の表示を切り替えます。

制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM 時。
・:SENSe:TELecom:BRATe の設定が M1_5,M2,M8,M34,M45,M139 時測定結果がない場合。

使用例　測定結果の表示を SDH に設定する場合。
< :DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:DISPmode SDH

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:DISPmode?

レスポンス　<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　測定結果の表示モードを問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:EALarm:DISPmode?
< SDH

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:JUSTificat:UNIT <unit>

パラメータ　<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

COUNt	Count
RATE	Rate
PPM	ppm

機 能　Justification 測定の単位を設定します。
使用例　単位を ppm に設定する場合。
> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:JUSTificat:UNIT PPM

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:JUSTificat:UNIT?

レスポンス　<unit> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

COUN	Count
RATE	Rate
PPM	ppm

機 能　Justification 測定の単位を合わせます。
使用例　> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:JUSTificat:UNIT?
< PPM

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:AUNit <unit>

パラメータ　<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

SECond	Second
FRAMe	Frame

機 能　アラーム測定結果の表示単位を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM 時。
・:SENSe:TELecom:BRATe の設定が M1_5,M2,M8,M34,M45,M139 時での<FRAMe>設定時。
使用例　表示単位を Frame に設定する。
> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:AUNit FRAMe

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:AUNit?

レスポンス　<unit> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

SEC	Second
FRAM	Frame

機 能　アラーム測定結果の表示単位の設定を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:AUNit?
< FRAM

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:UNIT <unit>

パラメータ　<unit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

COUNt	Count
RATE	Rate

機 能　エラー測定結果表示単位を設定します。

使用例　単位を Count に設定する場合。

> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:UNIT COUNT

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:UNIT?

レスポンス　<unit> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

COUN	Count
RATE	Rate

機 能　エラー測定結果表示単位の設定を問い合わせます。

使用例

> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:UNIT?

< COUNT

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:ALARm <alarm>

パラメータ <alarm> = <STRING PROGRAM DATA>

"POWer"		Power fail
"LOS"		LOS
"LOF"		LOF
"OOF"		OOF
"AIS:MS"	(SDH)	MS-AIS
"AIS:L"	(SONET)	AIS-L
"RDI:MS"	(SDH)	MS-RDI
"RDI:L"	(SONET)	RDI-L
"AIS:AU"	(SDH)	AU-AIS
"AIS:P"	(SONET)	AIS-P
"LOP:AU"	(SDH)	AU-LOP
"LOP:P"	(SONET)	LOP-P
"RDI:HP"	(SDH)	HP-RDI
"RDI:P"	(SONET)	RDI-P
"SLM:HP"	(SDH)	HP-SLM
"PLM:P"	(SONET)	PLM-P
“TIM:HP”	(SDH)	HP-TIM
“TIM:P”	(SONET)	TIM-P
“UNEQ:HP”	(SDH)	HP-UNEQ
“UNEQ:P”	(SONET)	UNEQ-P
“AIS:HV”		HP-VC-AIS
“ISF:HP”		HP-ISF
“FAS:HP”		HP-FAS
“IAIS:HP”		HP-IncAIS
“TRDI:HP”		HP-TC-RDI
“ODI:HP”		HP-ODI
"AIS:TU"	(SDH)	TU-AIS
"AIS:V"	(SONET)	AIS-V
"LOP:TU"	(SDH)	TU-LOP
"LOP:V"	(SONET)	LOP-V
"RDI:LP"	(SDH)	LP-RDI
"RDI:V"	(SONET)	RDI-V
"SLM:LP"	(SDH)	LP-SLM
"PLM:V"	(SONET)	PLM-V
"RFI:LP"	(SDH)	LP-RFI
"RFI:V"	(SONET)	RFI-V
"LOM:HP"		HP-LOM
"LOM:TU"	(SDH)	TU-LOM
"LOP:V"	(SONET)	LOP-V
“TIM:LP”	(SDH)	LP-TIM
“TIM:V”	(SONET)	TIM-V
“UNEQ:LP”	(SDH)	LP-UNEQ
“UNEQ:V”	(SONET)	UNEQ-V
“AIS:LV”		LP-VC-AIS
“FAS:LP”		LP-FAS
“IAIS:LP”		LP-IncAIS
“TRDI:LP”		LP-TC-RDI
“ODI:LP”		LP-ODI
"AIS:M139"		139M AIS
"AIS:M45"		45M AIS
"AIS:M34"		34M AIS
"AIS:M8"		8M AIS

"AIS:M2"	2M AIS
"AIS:M1_5"	1.5M AIS
"LOF:M139"	139M LOF
"LOF:M45"	45M LOF
"LOF:M34"	34M LOF
"LOF:M8"	8M LOF
"LOF:M2"	2M LOF
"LOF:M1_5"	1.5M LOF
"LOF:MF"	MF LOF
"RDI:M139"	139M RDI
"RDI:M45"	45M RDI
"RDI:M34"	34M RDI
"RDI:M8"	8M RDI
"RDI:M2"	2M RDI
"RDI:M1_5"	1.5M RDI
"RDI:MF"	MF RDI
“SYN:OH”	OH sync
“AIS:HG”	HG AIS
“REC:HG”	HG REC
“BAI:S15”	BAIS1.5
“AIS:S15”	SigAIS1.5
“SIG:OOF”	SigOOF
"PATTern"	Sync. loss

※(SDH)(SONET)表記の無いものは SDH・SONET 両方でご使用になれます。

機 能　測定結果（ZOOM）のアラーム表示を選択します。

使用例　測定結果（ZOOM）を RDI-L 表示する場合。

> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:ALARm “RDI:L”

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:ALARm?

レスポンス　<alarm> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　測定結果（ZOOM）のアラーム表示を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:ALARm?

< “RDI:L”

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:ERRor <error>

パラメータ　<error> = <STRING PROGRAM DATA>

"B1"	B1 エラー
"B2"	B2 エラー
"B3:HP"	HP-B3 エラー
"B3:LP"	LP-B3 エラー
"BIP2"	BIP-2 エラー
"REI:MS"　(SDH)	MS-REI エラー
"REI:HP" (SDH)	HP-REI エラー
"REI:LP" (SDH)	LP-REI エラー
"REI:L" (SONET)	REI-L エラー
"REI:P"　(SONET)	REI-P エラー
"REI:V"　(SONET)	REI-V エラー
“IEC:HP”	HP-IEC エラー
“REI:HT”	HP-TC-REI エラー
“OEI:HP”	HP-OEI エラー
“IEC:LP”	LP-IEC エラー
“REI:LT”	LP-TC-REI エラー
“OEI:LP”	LP-OEIエラー
“BIP2:N2”	N2 BIP-2 エラー
“BIT:OH”	OH Bit エラー
"CODE"	コードエラー
"FRAMe:M139"	139M FAS
"FRAMe:M45"	45M FAS
"FRAMe:M34"	34M FAS
"FRAMe:M8"	8M FAS
"FRAMe:M2"	2M FAS
"FRAMe:M1_5"	1.5M FAS
"REI:M139"	139M REI エラー
"REI:M45"	45M REI エラー
"REI:M34"	34M REI エラー
"EBIT"	E-Bit
"BIP8"	BIP-8 エラー
"PARITY"	Parity
"CBIT"	C-Bit
"CRC6"	CRC-6 エラー
"BIT"	ビットエラー
"CIDPKT"	CID PKT

※(SDH)(SONET)表記の無いものは SDH・SONET 両方でご使用になれます。

機 能　測定結果（ZOOM）のエラー表示を選択します。

使用例　測定結果（ZOOM）を E-Bit 表示にする場合。

> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:ERRor “EBIT”

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:ERRor?

レスポンス　<error> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　エラー測定項目の表示種類の設定を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:ZOOM:ERRor?
< “EBIT”

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor[:G826] <error>

パラメータ　<error> = <STRING PROGRAM DATA>

"BIP"	BIP
"REI"	REI
"FCRC"	FAS/CRC
"PARITY"	Parity
"BIT"	Bit

機 能　測定結果(パフォーマンス G.826)のエラー内容を選択します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<PSEQuence [:"JOFF"]>以外の場合。
・1.5/45/52M ユニット未装着時，<"PARITY">設定の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，<OFF>,<G821>, <M2100><M2101><M2110><M2120>の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>, <M1_5>時，<"BIP">,<"REI">設定の場合。
・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_BLK>,<VC3_BLK>, <VC2_BLK>,<VC2_MC>,<VC12_BLK>,<VC11_BLK>時，<"FCRC">, <"BIT">設定の場合。
・:SENSe:TELecom:MMODe が<OSERvice>時，<"FCRC">設定の場合。
・:SENSe:TELecom:MMODe が<ISERvice>時，<"BIT">設定の場合。
・:SENSe:TELecom:MMODe が<ISERvice>かつ, :SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>かつ, :SENSe:TELecom:FRAMing が<OFF>時，<"FCRC">設定の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M45>以外時，<"PARITY">設定の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M45>時，<"FCRC">設定の場合。

使用例　測定結果(パフォーマンス G.826)のエラーを BIP にする場合。
> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor "BIP"
または,
> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:G826 "BIP"

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor[:G826]?

レスポンス　<error> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　測定結果(パフォーマンス G.826)のエラー内容を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor?
または,
> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:G826?
< "BIP"

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2101 <error>

パラメータ　<error> = <STRING PROGRAM DATA>
"SECTion"
"HOPath"
"LOPath"

機 能　測定結果（パフォーマンス M.2101）のエラー内容を選択します。

使用例　測定結果（パフォーマンス M.2101）のエラーを，Section にする場合。
> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:
M2101"SECTion"

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2101?

レスポンス　<error> = <STRING RESPONSE DATA>
"SECT"
"HOP"
"LOP"

機 能　測定結果（パフォーマンス M.2101）のエラー内容を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2101?
< "SECT"

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2110:LAYer2 <type>

パラメータ　<type> = <STRING PROGRAM DATA>
"SECTion"
"AUPath"
"TUPath"

機 能　M.2110 の測定対象範囲を決定します。

制 約　次の場合無効となります。
・Setup:Measument condition 画面で Peformance が M.2110 が設定されていないとき。
・Setup:Measurent condition Peformance 画面にて M.2100 が設定できない状態または M.2101 が設定できない状態の場合。

使用例　M.2110 の測定対象範囲を"SECTion"に設定する場合。
> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2110:
LAYer2 "SECTion"

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2110:LAYer2?

レスポンス　<type> = <STRING RESPONSE DATA>
"SECT"
"AUP"
"TUP"

機 能　M.2110 の測定対象範囲を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2110:
LAYer2?
< "SECT"

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer1 <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
PDH
SDH

機 能　M.2120 の測定対象範囲を決定します。

制 約　次の場合無効となります。
・Setup:Measument condition 画面で Peformance が M.2110 が設定されていないとき。
・Setup:Measurent condition Peformance 画面にて M.2100 が設定できない状態または M.2101 が設定できない状態の場合。

使用例　M.2120 の測定対象範囲を PDH に設定する場合。
> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer1 PDH

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer1?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　M.2120 の測定対象範囲を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer1?
< PDH

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer2 <type>

パラメータ　<type> = <STRING PROGRAM DATA>
"SECTion"
"AUPath"
"TUPath"

機 能　M.2120 の測定対象範囲を決定します。

制 約　次の場合無効となります。
・Setup:Measument condition 画面で Peformance が M.2110 が設定されていないとき。
・Setup:Measurent condition Peformance 画面にて M.2100 が設定できない状態または M.2101 が設定できない状態の場合。

使用例　M.2120 の測定対象範囲を"SECTion"に設定する場合。
> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer2 "SECTion"

:DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer2?

レスポンス　<type> = <STRING RESPONSE DATA>
"SECT"
"AUP"
"TUP"

機 能　M.2120 の測定対象範囲を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:RESult:SEQuencetest:PERFormance:ERRor:M2120:LAYer2?
< "SECT"

:DISPlay:ANALysis[:NAME] <adisplay>

パラメータ　<adisplay> = <STRING PROGRAM DATA>

"TSEarch"	Trouble search 画面
"EALarm"	Error/Alarm 画面
"OHMonitor"	OH monitor 画面
"OPMeter"	Opt. power meter 画面
"OHCapture"	OH capture 画面
“APSCapture"	APS capture 画面
“POINtermonitor"	Pointer monitor 画面
“FCAPture"	Frame capture 画面
"FMONitor"	Freq. monitor 画面
"FREQuency"	Frequency 画面
"SEQuencetest"	Sequence test 画面
"RECall"	Recall 画面
“IPCapture"	IP capture 画面

機 能　Analyze 主画面での副画面を選択します。

制 約　次の場合無効となります。

・Test menu 選択画面により選択不可の Analyze 画面選択の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M45>,<M1_5>時，<”OHMonitor”>設定の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>時，<"FRAMe64">設定の場合。
・オプション 14 未装着時，<“IPCapture">設定の場合。
・Sequence test 未実行時に,<"SEQuencetest">を設定した場合。

使用例　Analyze 主画面での副画面を"TSEarch"に選択します。

> :DISPlay:ANALysis:NAME "TSEarch"

または :DISPlay:ANALysis "TSEarch"（NAME はできます）

:DISPlay:ANALysis[:NAME]?

レスポンス　<adisplay> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　Analyze 主画面での副画面を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:NAME?

または :DISPlay:ANALysis?（NAME はできます）

< "TSE"

:DISPlay:ANALysis:TSEarch:SELect <search>

パラメータ　<search> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

DETail	Detail
NGPath	NG path

機 能　トラブルサーチの結果表示切り替えをします。

制 約　次の場合無効となります。

・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CI 時の Justification,B2 error, Simultaneous を設定する場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe の設定が M1_5,M2,M8,M34,M45,M139 時の Justification,B2 error,Simultaneous の設定。

使用例　トラブルサーチの結果表示切り替えを測定ルート毎の表示をする場合。

> :DISPlay:ANALysis:TSEarch:SELect DETail

:DISPlay:ANALysis:TSEarch:SELect?

レスポンス　<search> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

DET	Detail
NGP	NG path

機 能　トラブルサーチの結果表示モードを問い合わせます。

使用例　トラブルサーチの結果表示モード問い合わせをする場合。

> :DISPlay:ANALysis:TSEarch:SELect?

< DET

:DISPlay:ANALysis:TSEarch:SEARch <search>

パラメータ　<search> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

BEFore	Before サーチ
NEXT	Next サーチ

機 能　Analyze 主画面(Trouble search 副画面)でのアナライズサーチを指示します。

制 約　Trouble search データが存在しない場合無効となります。

使用例　前へサーチする場合。

> :DISPlay:ANALysis:TSEarch:SEARch BEFore

:DISPlay:ANALysis:TSEarch:ROUTe <troute>,<numeric>

パラメータ　<troute> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

AUG	AUG チャネル
AU3	AU3 チャネル
TUG3	TUG3 チャネル
TUG2	TUG2 チャネル
TU12	TU12 チャネル
TU11	TU11 チャネル
K384	384k チャネル
M34	34Mbit/s チャネル
M8	8Mbit/s チャネル
M2	2Mbit/s チャネル
M1_5	1.5Mbit/s チャネル
K64	64kbit/s チャネル

(SONET)

STS3	AUG チャネル
STS1	AU3 チャネル
TUG3	TUG3 チャネル
VTG	TUG2 チャネル
VT2	TU12 チャネル
VT15	TU11 チャネル
K384	384k チャネル
M34	34M チャネル
M8	8M チャネル
M2	2M チャネル
M1_5	1.5M チャネル
K64	64k チャネル

<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1～16	<route>が AUG,STS3 の場合	ステップ値:1
1～3	<route>が AU3,STS1 の場合	ステップ値:1
1～3	<route>が TUG3 の場合	ステップ値:1
1～7	<route>が TUG2,VTG の場合	ステップ値:1
1～3	<route>が TU12,VT2 の場合	ステップ値:1
1～4	<route>が TU11,VT15 の場合	ステップ値:1
1～4	<route>が 384k の場合	ステップ値:1
1～4	<route>が M34 の場合	ステップ値:1
1～4	<route>が M8 の場合	ステップ値:1
1～21	<route>が M2 の場合	ステップ値:1
1～28	<route>が M1.5 の場合	ステップ値:1
1～31	<route>が K64 の場合	ステップ値:1

機 能　　Analyze 主画面(Trouble search 副画面)でのアナライズ結果の表示ルートを指定します。

制 約　　次の場合無効となります。

・2/8/34/139/156M(CMI)ユニット装着時，<TU11>設定の場合，
・Trouble search データが存在しない場合。
・Trouble search 実行中に該当チャネルのテストが終了していない場合。
・下記の表の場合。

<route>	制 約 条 件
AUG	・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M52B3ZS>,<M139>,<M45>,<M52B3ZS>,<M139>,<M45>,<M34>,<M2>,<M1_5>の場合。
AU3	・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:AU が，<AU4>の場合。
TUG3	・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M52B3ZS>,<M139>,<M45>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:AU が，<AU3>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC4_BLK>の場合。
TUG2	・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>,<VC3_45MASY>,<VC3_BLK>の場合。
TU12	・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,,<VC4_BLK>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>,<VC3_45MASY>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TU が，<TU11>の場合。
TU11	・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>,<VC3_45MASY>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TU が，<TU12>の場合。
M34	・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M52B3ZS>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MUX:MRATe が，<OFF>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>以外の場合。
M8	・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M52B3ZS>,<M45>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MUX:MRATe が，<OFF>,<M34>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>以外の場合。
M2	・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M52B3ZS>,<M45>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MUX:MRATe が，<OFF>,<M34>,<M8>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_ASY>,<VC3_ASY>,<VC3_SYN>以外の場合。

M1_5	・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M139>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MUX:MRATe が，<OFF>の場合。 ・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC3_45MASY>以外の場合。
K384	・オプション 09 Japan mapping 未装着の場合。
K64	・:SENSe:TELecom:MUX:MRATe が，<OFF>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合 ・2M に DEMUX する時に，:SENSe:TELecom:M2:MCHannel が<30>時，numeric = <31>設定の場合。 ・1.5M に DEMUX する時に，1～24 以外設定の場合。

使用例　AU チャネルを 4 に設定します。
> :DISPlay:ANALysis:TSEarch:ROUTe AUG,4

:DISPlay:ANALysis:TSEarch:ROUTe?

レスポンス　<aug>,<au3>,<tug3>,<tug2>,<tu12>,<tu11>,<k384>,<m34>,<m8>,<m2>,<m1.5>,<k64>

<aug> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0,1 ～ 64　AUG チャネル番号
<au3> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0,1 ～ 3　AU3 チャネル番号
<tug3> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0,1 ～ 3　TUG3 チャネル番号
<tug2> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0,1 ～ 7　TUG2 チャネル番号
<tu12> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0,1 ～ 3　TU12 チャネル番号
<tu11> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0,1 ～ 4　TU11 チャネル番号
<k384> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0,1 ～ 4　384k チャネル番号
<m34> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0,1 ～ 4　34Mbit/s チャネル番号
<m8> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0,1 ～ 4　8Mbit/s チャネル番号
<m2> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0,1 ～ 21　2Mbit/s チャネル番号
<m1.5> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0,1 ～ 28　1.5Mbit/s チャネル番号
<k64> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0,1 ～ 31　64kbit/s チャネル番号

データが存在しない場合。
< 0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0

機 能　トラブルサーチのアナライズ結果の表示ルートを問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:TSEarch:ROUTe?
< 1,0,3,0,0,0,0,0,4,1,0,3

:DISPlay:ANALysis:TSEarch:DATA? <result>

パラメータ　<result> = <STRING PROGRAM DATA>
下記の表を参照。

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
下記の表を参照。

機 能　Analyze 主画面(Trouble search 副画面)において現在表示されているルートのアナライズ結果を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:TSEarch:DATA? "TSEarch:LOS:PDH"
< "　Acceptable"

アナライズ結果(Trouble search)の問い合わせ内容 (1/3)

項目		<result>	レスポンス・フォーマット
LOS		"TSEarch:LOS"	Form4
Sync. loss		"TSEarch:PATTern"	Form4
AIS	139M	"TSEarch:AIS:M139"	Form4
	45M	"TSEarch:AIS:M45"	Form4
	34M	"TSEarch:AIS:M34"	Form4
	8M	"TSEarch:AIS:M8"	Form4
	2M	"TSEarch:AIS:M2"	Form4
	1.5M	"TSEarch:AIS:M1_5"	Form4
	MS(SDH)	"TSEarch:AIS:MS"	Form4
	L (SONET)	"TSEarch:AIS:L"	Form4
	AU(SDH)	"TSEarch:AIS:AU"	Form4
	TU(SDH)	"TSEarch:AIS:TU"	Form4
	P (SONET)	"TSEarch:AIS:P"	Form4
	V (SONET)	"TSEarch:AIS:V"	Form4
LOF	139M	"TSEarch:LOF:M139"	Form4
	45M	"TSEarch:LOF:M45"	Form4
	34M	"TSEarch:LOF:M34"	Form4
	8M	"TSEarch:LOF:M8"	Form4
	2M	"TSEarch:LOF:M2"	Form4
	1.5M	"TSEarch:LOF:M1_5"	Form4
	MF	"TSEarch:LOF:MF"	Form4
		"TSEarch:LOF"	Form4

アナライズ結果(Trouble search)の問い合わせ内容 (2/3)

項目		<result>	レスポンス・フォーマット
	139M	"TSEarch:RDI:M139"	Form4
	45M	"TSEarch:RDI:M45"	Form4
	34M	"TSEarch:RDI:M34"	Form4
	8M	"TSEarch:RDI:M8"	Form4
	2M	"TSEarch:RDI:M2"	Form4
	1.5M	"TSEarch:RDI:M1_5"	Form4
	MF	"TSEarch:RDI:MF"	Form4
OOF		"TSEarch:OOF"	Form4
LOP	AU(SDH)	"TSEarch:LOP:AU"	Form4
	TU(SDH)	"TSEarch:LOP:TU"	Form4
	P (SONET)	"TSEarch:LOP:P"	Form4
	V (SONET)	"TSEarch:LOP:V"	Form4
RDI	MS(SDH)	"TSEarch:RDI:MS"	Form4
	L (SONET)	"TSEarch:RDI:L"	Form4
	HP(SDH)	"TSEarch:RDI:HP"	Form4
	LP(SDH)	"TSEarch:RDI:LP"	Form4
	P (SONET)	"TSEarch:RDI:P"	Form4
	V (SONET)	"TSEarch:RDI:V"	Form4
SLM	HP(SDH)	"TSEarch:SLM:HP"	Form4
	LP(SDH)	"TSEarch:SLM:LP"	Form4
	P (SONET)	"TSEarch:SLM:P"	Form4
	V (SONET)	"TSEarch:SLM:V"	Form4
LP-RFI(SDH)		"TSEarch:RFI:LP"	Form4
RFI-V(SONET)		"TSEarch:RFI:V"	Form4
TU-LOM(SDH)		"TSEarch:LOM:TU"	Form4
LOM-V(SONET)		"TSEarch:LOM:V"	Form4

アナライズ結果(Trouble search)の問い合わせ内容 (3/3)

項目	<result>	レスポンス・フォーマット
B1 エラー	"TSEarch:B1"	Form4
B2 エラー	"TSEarch:B2"	Form4
HP-B3 エラー	"TSEarch:B3:HP"	Form4
LP-B3 エラー	"TSEarch:B3:LP"	Form4
BIP-2 エラー	"TSEarch:BIP2"	Form4
MS-REI エラー	"TSEarch:REI:MS"	Form4
HP-REI エラー	"TSEarch:REI:HP"	Form4
LP-REI エラー	"TSEarch:REI:LP"	Form4
REI-L エラー	"TSEarch:REI:L"	Form4
REI-P エラー	"TSEarch:REI:P"	Form4
REI-V エラー	"TSEarch:REI:V"	Form4
コードエラー	"TSEarch:CODE"	Form4
139M フレームエラー	"TSEarch:FRAMe:M139"	Form4
45M フレームエラー	"TSEarch:FRAMe:M45"	Form4
34M フレームエラー	"TSEarch:FRAMe:M34"	Form4
8M フレームエラー	"TSEarch:FRAMe:M8"	Form4
2M フレームエラー	"TSEarch:FRAMe:M2"	Form4
1.5M フレームエラー	"TSEarch:FRAMe:M1_5"	Form4
45M REI エラー	"TSEarch:REI:M45"	Form4
CRC-4 エラー	"TSEarch:CRC4"	Form4
E-Bit	"TSEarch:EBIT"	Form4
PARITY エラー	"TSEarch:PARITY"	Form4
C-Bit	"TSEarch:CBIT"	Form4
CRC-6 エラー	"TSEarch:CRC6"	Form4
ビットエラー	"TSEarch:BIT"	Form4

:DISPlay:ANALysis:TSEarch:PRINt <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

DISPlay	Display
ALL	All
AFTer	After
BEFore	Before

機 能　Analyze 主画面(Trouble search 副画面)での印字範囲を指定します。

使用例　現在表示されている画面を印字範囲にします。

> :DISPlay:ANALysis:TSEarch:PRINt DISPlay

:DISPlay:ANALysis:TSEarch:PRINt?

レスポンス　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

機 能　Analyze 主画面(Trouble search 副画面)の印字範囲を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:TSEarch:PRINt?

< DISP

:DISPlay:ANALysis:TSEarch:SCRoll <scroll>

パラメータ　<scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

UP	上半画面スクロール
DOWN	下半画面スクロール
TOP	先頭へ移動
BOTTom	後尾へ移動

機 能　Trouble search 測定と Select:NG path 表示のときの，グラフスクロールを指示します。

制 約　次の場合無効となります。
Error/Alarm データが存在しない場合無効にします。

使用例　上方向へスクロールする場合。
> :DISPlay:ANALysis:LMONitor:SCRoll UP

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:SCRoll <scroll>

パラメータ　<scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へスクロール
RIGHt	右へスクロール
TOP	先頭へ移動
BOTTom	後尾へ移動

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのスクロールを指示します。

制 約　次の場合無効となります。
Error/Alarm データが存在しない場合無効にします。

使用例　右へスクロールする場合。
> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:SCRoll RIGHt

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:MARKer <marker>

パラメータ　<marker> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へ 1Div 移動
RIGHt	右へ 1Div 移動

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのマーカ移動を指示します。

制 約　次の場合無効となります。
Error/Alarm データが存在しない場合無効にします。

使用例　マーカを右へ 1Div 移動する場合。
> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:MARKer RIGHt

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:DATA?

レスポンス　<time>,<alarm1s>,<alarm1c>,<alarm2s>,<alarm2c>,<alarm3s>,
<alarm3s>,<alarm3c>,<alarm4s>,<alarm4c>,<alarm5s>,<alarm5c>,
<error1>,<error2>
<time> = <year>,<month>,<day>,<hour>,<minute>,<second>
マーカの示す時間
<year> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0, 1994 ～ 2093　年
<month> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0, 1 ～ 12　月
<day> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0, 1 ～ 31　日
<hour> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 ～ 23　時

<minute> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 ～ 59　　分
<second> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 ～ 59　　秒
<alarm1s> = <STRING RESPONSE DATA>
マーカの示すデータのアラーム 1 の発生時間(sec)
Form1
<alarm1c> = <STRING RESPONSE DATA>
マーカの示すデータのアラーム 1 の発生個数
Form1
<alarm2s> = <STRING RESPONSE DATA>
マーカの示すデータのアラーム 2 の発生時間(sec)
Form1
<alarm2c> = <STRING RESPONSE DATA>
マーカの示すデータのアラーム 2 の発生個数
Form1
<alarm3s> = <STRING RESPONSE DATA>
マーカの示すデータのアラーム 3 の発生時間(sec)
Form1
<alarm3c> = <STRING RESPONSE DATA>
マーカの示すデータのアラーム 3 の発生個数
Form1
<alarm4s> = <STRING RESPONSE DATA>
マーカの示すデータのアラーム 4 の発生時間(sec)
Form1
<alarm4c> = <STRING RESPONSE DATA>
マーカの示すデータのアラーム 4 の発生個数
Form1
<alarm5s> = <STRING RESPONSE DATA>
マーカの示すデータのアラーム 5 の発生時間(sec)
Form1
<alarm5c> = <STRING RESPONSE DATA>
マーカの示すデータのアラーム 5 の発生個数
Form1
<error1> = <STRING RESPONSE DATA>
マーカの示すデータのエラーカウント値
Form1
<error2> = <STRING RESPONSE DATA>
マーカの示すデータのエラーレート値
Form2

機 能　　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)において，マーカが示すデータを問い合わせます。

使用例

```
> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:DATA?
< 1996,12,25,12,54,30,"      1","      1","      0","      0",
"    104","    10","      1","      1","      1","      1",
"    189"," 3.3E-04"
```

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:INTerval <numeric>,<suffix>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1,15,60
<suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
M　minute
S　second

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)での時間軸の 1 目盛りの幅を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<PSEQuence [:"JOFF"]>以外の場合。
・:SENSe:MEASure:GRESolution により下記の制限を受けます。
【次の設定以外の場合】
・1sec: 1sec, 1min,15min,60min
・1min: 1min,15min,60min
・15min:15min,60min
・60min:60min
・:SENSe:MEASure:GRESolution で設定した値より小さい値の場合。

使用例　1 目盛りの幅を 1 分に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:INTerval 1,M

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:INTerval?

レスポンス　<interval> = <CHARCTER RESPONSE DATA>

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)での時間軸の 1 目盛りの幅を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:INTerval?
< 1,M

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:MDISplay <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　マーカ OFF
ON　or 1　マーカ ON

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのマーカの表示有無を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・Error/Alarm データが存在しない場合。

使用例　マーカ表示を有りに設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:MDISplay ON

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:MDISplay?

レスポンス　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 or 1

使用例　> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:MDISplay?
< 1

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:SEARch <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

BEFore	Before サーチ
NEXT	Next サーチ

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのサーチを指示します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:ANALysis:TGRaph:MDISplay が，<OFF>の場合。
・前方向に測定ポイントが存在しないときに，<BEFore>設定の場合。
・後方向に測定ポイントが存在しないときに，<NEXT>設定の場合。

使用例　Next サーチを指示します。

> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:SEARch NEXT

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:FROM<numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5>,[<numeric6>]

パラメータ　<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

<numeric1> =	1994 ～ 2093 (year)
<numeric2> =	1 ～ 12 (month)
<numeric3> =	1 ～ 31 (day)
<numeric4> =	0 ～ 23 (hour)
<numeric5> =	0 ～ 59 (minute)
<numeric6> =	0 ～ 59 (second)

Graphic resolution で設定した間隔の以外の値が設定された場合，秒単位も含めて切り上げられます。

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのグラフの表示開始位置を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<PSEQuence[:"JOFF"]>以外の場合。

使用例　1994 年 7 月 28 日 11 時 30 分から表示する場合。

> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:FROM 1994,7,28,11,30,0

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:FROM?

レスポンス　<numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5>,<numeric6>
= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)でのグラフの表示開始位置を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:FROM?
< 1994,7,28,11,30,0

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ERRor <error1>,<error2>

パラメータ　<error1> = <STRING PROGRAM DATA>

"B1"	B1 エラー
"B2"	B2 エラー
"B3:HP"	HP-B3 エラー
"B3:LP"	LP-B3 エラー
"BIP2"	BIP-2 エラー
"REI:MS" (SDH)	MS-REI エラー
"REI:HP" (SDH)	HP-REI エラー
"REI:LP" (SDH)	LP-REI エラー
"REI:L" (SONET)	REI-L エラー
"REI:P" (SONET)	REI-P エラー
"REI:V" (SONET)	REI-V エラー
“IEC:HP”	HP-IEC エラー
“REI:HT”	HP-TC-REI エラー
“OEI:HP”	HP-OEI エラー
“IEC:LP”	LP-IEC エラー
“REI:LT”	LP-TC-REI エラー
“OEI:LP”	LP-OEIエラー
“BIP2:N2”	N2 BIP-2 エラー
“BIT:OH”	OH Bit エラー
"CODE"	コードエラー
"FRAMe:M139"	139M FAS
"FRAMe:M45"	45M FAS
"FRAMe:M34"	34M FAS
"FRAMe:M8"	8M FAS
"FRAMe:M2"	2M FAS
"FRAMe:M1_5"	1.5M FAS
"REI:M139"	139M REI エラー
"REI:M45"	45M REI エラー
"REI:M34"	34M REI エラー
"EBIT"	E-Bit
"BIP8"	BIP-8 エラー
"PARITY"	Parity
"CBIT"	C-Bit
"CRC6"	CRC-6 エラー
"BIT"	ビットエラー
"CIDPKT"	CID PKT

※(SDH)(SONET)表記の無いものは SDH・SONET 両方でご使用になれます。

<error2> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

EC	カウント
ER	レート

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)においてグラフ表示するエラー項目を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<PSEQuence[:"JOFF"]>以外の場合。

使用例　　ビットエラーのエラーレートをグラフ表示する場合。
> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ERRor "BIT",ER

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ERRor?

レスポンス　　<error1>,<error2>
<error1> = <STRING RESPONSE DATA>
<error2> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)においてグラフ表示するエラー項目を問い合わせます。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ERRor?
< "BIT",ER

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1 <alarm>

パラメータ　<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>

"ALL"		ALL
"POWer"		Power fail
"LOS"		LOS
"LOF"		LOF
"OOF"		OOF
"AIS:MS"	(SDH)	MS-AIS
"AIS:L"	(SONET)	AIS-L
"RDI:MS"	(SDH)	MS-RDI
"RDI:L"	(SONET)	RDI-L
"AIS:AU"	(SDH)	AU-AIS
"AIS:P"	(SONET)	AIS-P
"LOP:AU"	(SDH)	AU-LOP
"LOP:P"	(SONET)	LOP-P
"RDI:HP"	(SDH)	HP-RDI
"RDI:P"	(SONET)	RDI-P
"SLM:HP"	(SDH)	HP-SLM
"PLM:P"	(SONET)	PLM-P
“TIM:HP”	(SDH)	HP-TIM
“TIM:P”	(SONET)	TIM-P
“UNEQ:HP”	(SDH)	HP-UNEQ
“UNEQ:P”	(SONET)	UNEQ-P
“AIS:HV”		HP-VC-AIS
“ISF:HP”		HP-ISF
“FAS:HP”		HP-FAS
“IAIS:HP”		HP-IncAIS
“TRDI:HP”		HP-TC-RDI
“ODI:HP”		HP-ODI
"AIS:TU"	(SDH)	TU-AIS
"AIS:V"	(SONET)	AIS-V
"LOP:TU"	(SDH)	TU-LOP
"LOP:V"	(SONET)	LOP-V
"RDI:LP"	(SDH)	LP-RDI
"RDI:V"	(SONET)	RDI-V
"SLM:LP"	(SDH)	LP-SLM
"PLM:V"	(SONET)	PLM-V
"RFI:LP"	(SDH)	LP-RFI
"RFI:V"	(SONET)	RFI-V
"LOM:TU"	(SDH)	TU-LOM
"LOM:V"	(SONET)	LOP-V
“TIM:LP”	(SDH)	LP-TIM
“TIM:V”	(SONET)	TIM-V
“UNEQ:LP”	(SDH)	LP-UNEQ
“UNEQ:V”	(SONET)	UNEQ-V
“AIS:LV”		LP-VC-AIS
“FAS:LP”		LP-FAS
“IAIS:LP”		LP-IncAIS
“TRDI:LP”		LP-TC-RDI
“ODI:LP”		LP-ODI
"AIS:M139"		139M AIS
"AIS:M45"		45M AIS
"AIS:M34"		34M AIS
"AIS:M8"		8M AIS

"AIS:M2"	2M AIS
"AIS:M1_5"	1.5M AIS
"LOF:M139"	139M LOF
"LOF:M45"	45M LOF
"LOF:M34"	34M LOF
"LOF:M8"	8M LOF
"LOF:M2"	2M LOF
"LOF:M1_5"	1.5M LOF
"LOF:MF"	MF LOF
"RDI:M139"	139M RDI
"RDI:M45"	45M RDI
"RDI:M34"	34M RDI
"RDI:M8"	8M RDI
"RDI:M2"	2M RDI
"RDI:M1_5"	1.5M RDI
"RDI:MF"	MF RDI
“SYN:OH”	OH sync
“AIS:HG”	HG AIS
“REC:HG”	HG REC
“BAI:S15”	BAIS1.5
“AIS:S15”	SigAIS1.5
“SIG:OOF”	SigOOF
"PATTern"	Sync. loss

※(SDH)(SONET)表記の無いものは SDH・SONET 両方でご使用になれます。

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)においてアラーム 1 に表示するアラーム項目を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<PSEQuence[:"JOFF"]>以外の場合。

使用例　アラーム 1 に Power fail を表示する場合。

> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1 "POWer"

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1?

レスポンス　<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)においてアラーム 1 に表示するアラーム項目を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1?

< "POW"

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm2 <alarm>

パラメータ　<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1 と同じです。

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)においてアラーム 2 に表示するアラーム項目を設定します。

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm2?

レスポンス　<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>
:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1? と同じです。

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)においてアラーム 2 に表示するアラーム項目を問い合わせます。

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm3 <alarm>

パラメータ　<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>
:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1 と同じです。

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)においてアラーム 3 に表示するアラーム項目を設定します。

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm3?

レスポンス　<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>
:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1? と同じです。

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)においてアラーム 3 に表示するアラーム項目を問い合わせます。

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm4 <alarm>

パラメータ　<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>
:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1 と同じです。

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)においてアラーム 4 に表示するアラーム項目を設定します。

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm4?

レスポンス　<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>
:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1? と同じです。

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)においてアラーム 4 に表示するアラーム項目を問い合わせます。

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm5 <alarm>

パラメータ　<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>
:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1 と同じです。

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)においてアラーム 5 に表示するアラーム項目を設定します。

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm5?

レスポンス　<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>
:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1? と同じです。

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)においてアラーム 5 に表示するアラーム項目を問い合わせます。

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:PRINt <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

DISPlay	Display
ALL	All
AFTer	After
BEFore	Before

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)の印字範囲を指定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<PSEQuence [:"JOFF"]>以外の場合。

使用例　現在表示されている画面範囲を印字する場合。

> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:PRINt DISPlay

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:PRINt?

レスポンス　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

機 能　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)の印字範囲を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:PRINt?

< DISP

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:TITLe <title>

パラメータ　<title> = <STRING PROGRAM DATA>

"タイトル文字列"　　タイトル文字列(最大 15 文字)

文字列長は 0～15 文字とし，""は可とします。

機 能　トレースグラフタイトルを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<PSEQuence [:"JOFF"]>以外の場合。

使用例　トレースグラフタイトルに"TITLE-DISP"を表示する場合。

> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:TITLe "TITLE-DISP"

:DISPlay:ANALysis:TGRaph:TITLe?

レスポンス　<title> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　トレースグラフのタイトルを問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:TGRaph:TITLe?

< "TITLE-DISP　　"

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TYPE <ohmonitor>

パラメータ　<ohmonitor> = <CHRACTER PROGRAM DATA>

OHead	OH
PMSP	PTR,K1/K2
PTRace	Path trace
DFRame	DSn frame
TTRace	Trail trace
IBYTe	Info. Byte
PAYLoad	Payload
TANDem	Tandem
SIGNal	Signalling

機 能　Analyze 主画面(OH monitor 副画面)でのモニタ項目を選択します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<"PSEQuence [:JOFF]">以外の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>, <M1_5>のとき，<OHead>,<PMSP>,<PTRace>設定の場合。
・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_BLK>, <VC3_45MASY>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>, <VC12_BLK>,<VC11_ASY>,<VC11_BIF>,<VC11_BIL>, <VC11_BYF>,<VC11_BYL>,<VC11_BLK>時，<PFRame>設定の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M45>,<M1_5>時，<PFRame>設定の場合。
・:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が<OFF>かつ, :SENSe:TELecom:FRAMing が<OFF>時は，<PFRame>設定の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M139>,<M34>以外時，<TTRace>設定の場合。
・<SIGNal>設定時，オプション 09 未装着の場合。

使用例　　Path trace を選択します。
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TYPE PTRace

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TYPE?

レスポンス　　<ohmonitor> = <CHRACTER RESPONSE DATA>

OH	OH
PMSP	PTR,K1/K2
PTR	Path trace
DFR	DSn frame
TTR	Trail trace
IBYT	Info. byte
PAYL	Payload
TANDem	Tandem
SIGNal	Signalling

機 能　　Analyze 主画面(OH monitor 副画面)でのモニタ項目を問い合わせます。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TYPE?
< PTR

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SOHCh<numeric>
:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TOHCh <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　　ステップ値:1

機 能　　Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での SOH モニタチャネルを問い合わせます。

制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<PSEQuence [:"JOFF"]>以外の場合。
・:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TYPE が，<OH>以外の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS>, <M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。
・:SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe で<AUG>の設定されている値以外の場合。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SOHCh 4

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SOHCh?
:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TOHCh?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
　　1 ～ 64　　ステップ値:1

機 能　　Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での SOH モニタチャネルを問い合わせます。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SOHCh?
　　< 4

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SOHData?
:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TOHData?

レスポンス　　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
　　SOH(TOH)のモニタデータ(Hex 表示)
　　データがない場合は,

・Bit rate : 622M,156M 時

```
"--,--,--,--,--,--,--,--,--,
 --,--,--,--,--,--,--,--,--,
 --,--,--,--,--,--,--,--,--,
 --,--,--,--,--,--,--,--,--,
 --,--,--,--,--,--,--,--,--,
 --,--,--,--,--,--,--,--,--,
 --,--,--,--,--,--,--,--,--,
 --,--,--,--,--,--,--,--,--,
 --,--,--,--,--,--,--,--,--,"
```

・Bit rate : 52MB3ZS 時

```
"--,--,--,
 --,--,--,
 --,--,--,
 --,--,--,
 --,--,--,
 --,--,--,
 --,--,--,
 --,--,--,
 --,--,--,"
```

機 能　　Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での SOH モニタデータを問い合わせます。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SOHData?

```
< "  01,02,03,04,05,06,07,08,09
     01,02,03,04,05,06,07,08,09,
     01,02,03,04,05,06,07,08,09,
     01,02,03,04,05,06,07,08,09,
     01,02,03,04,05,06,07,08,09,
     01,02,03,04,05,06,07,08,09,
     01,02,03,04,05,06,07,08,09,
     01,02,03,04,05,06,07,08,09,
     01,02,03,04,05,06,07,08,09,"
```

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SSMessage?

レスポンス　　<string>,<s1bit>
　　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
　　S1(5-8bit)のモニタデータ(ニーモニック表示)

"Quality unknown"	(0000
"G.811"	(0010)
"G.812 transit"	(0100)
"G.812 local"	(1000)
"SETS"	(1011)
"Do not use for sync."	(1111)

<s1bit> = <STRING RESPONSE DATA>
S1(5-8bit)のモニタデータ(ビット表示)
"0000" ～ "1111"

機 能　OH モニタでの S1(5-8bit)のモニタデータを問い合わせします。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SSMessage?
< "Quality unknown","0000"

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:POHData?

レスポンス
<pohvc4>,<pohvc3>,<pohvc2/1>
<pohvc4> = <STRING RESPONSE DATA>
POH-VC4 のモニタデータ(Hex 表示)
データがない場合は，"--,--,--,--,--,--,--,--,--",
<pohvc3> = <STRING RESPONSE DATA>
POH-VC3 のモニタデータ(Hex 表示)
データがない場合は，"--,--,--,--,--,--,--,--,--",
<pohvc2/1> = <STRING RESPONSE DATA>
POH-VC1 のモニタデータ(Hex 表示)
データがない場合は，"--,--,--,--",

機 能　Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での POH モニタデータを問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:POHData?
< "01,02,03,04,05,06,07,08,09",
"--,--,--,--,--,--,--,--,--",
"01,02,03,04"

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SLABel?
:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PLABel?

レスポンス
<pohvc4>,<bitvc4>,<pohvc3>,<bitvc3>
<pohvc4> = <STRING RESPONSE DATA>
POH-VC4 のモニタデータの C2(ニーモニック表示)
(SDH)

"Unequipped"	(0000 0000)
"Equipped-non-specific"	(0000 0001)
"TUG structure"	(0000 0010)
"Locked TU"	(0000 0011)
"Async. 34M or 45M(C-3)"	(0000 0100)
"Async. 139M(C-4)"	(0001 0010)
"ATM mapping"	(0001 0011)
"MAN(DQDB)mapping"	(0001 0100)
"FDDI mapping"	(0001 0101)
"O.181 mapping"	(1111 1110)
"VC-AIS"	(1111 1111)

(SONET)

"Unequipped"	(0000 0000)
"Equipped-non-specific"	(0000 0001)
"VT structure"	(0000 0010)
"Locked VT"	(0000 0011)
"Async. Mapping DS3"	(0000 0100)
"Async. Mapping DS4NA"	(0001 0010)
"Mapping for ATM"	(0001 0011)
"Mapping for DQDB"	(0001 0100)
"Async. Mapping FDDI"	(0001 0101)
"AIS-P"	(1111 1111)

<bitvc4> = <STRING RESPONSE DATA>
POH-VC4 のモニタデータの C2(ビット表示)
"00000000" ～ "11111111"
<pohvc3> = <STRING RESPONSE DATA>
POH-VC3 のモニタデータの C2(ニーモニック表示)
(SDH)

"Unequipped"	(0000 0000)
"Equipped-non-specific"	(0000 0001)
"TUG structure"	(0000 0010)
"Locked TU"	(0000 0011)
"Async. 34M or 45M(C-3)"	(0000 0100)
"Async. 139M(C-4)"	(0001 0010)
"ATM mapping"	(0001 0011)
"MAN(DQDB)mapping"	(0001 0100)
"FDDI mapping"	(0001 0101)
"O.181 mapping"	(1111 1110)
"VC-AIS"	(1111 1111)

(SONET)

"Unequipped"	(0000 0000)
"Equipped-non-specific"	(0000 0001)
"VT structure"	(0000 0010)
"Locked VT"	(0000 0011)
"Async. Mapping DS3"	(0000 0100)
"Async. Mapping DS4NA"	(0001 0010)
"Mapping for ATM"	(0001 0011)
"Mapping for DQDB"	(0001 0100)
"Async. Mapping FDDI"	(0001 0101)
"AIS-P"	(1111 1111)

<bitvc3> = <STRING RESPONSE DATA>
POH-VC3 のモニタデータの C2(ビット表示)
"00000000" ～ "11111111"

機 能　OH モニタでの C2(1-8bit)のモニタデータを問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SLABel?
< "Unequipped","00000000","VC-AIS","11111111"

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:VLABel?

レスポンス　<pohvc2/1>,<bitvc2/1>

<pohvc2/1> = <STRING RESUPONSE DATA>

POH-VC2/1 のモニタデータの V5(ニーモニック表示)

(SDH)

"Unequipped"	(000)
"Unequipped-non-specific"	(001)
"Asynchronous"	(010)
"Bitsynchronous"	(011)
"Bytesynchronous"	(100)
"Reserved"	(101)
"O.181 mapping"	(110)
"VC-AIS"	(111)

(SONET)

"Unequipped"	(000)
"Unequipped-non-specific"	(001)
"Asynchronous"	(010)
"Bitsynchronous"	(011)
"Bytesynchronous"	(100)
"Reserved"	(101)
"Reserved"	(110)
"AIS-P	(111)

<bitvc2/1> = <STRING RESUPONSE DATA>

POH-VC2/1 のモニタデータの V5(ビット表示)

"000" ～ "111"

データがない場合は,

"----------","---"

機 能　OH モニタでのモニタデータを問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:VLABel?

< "VC-AIS","111"

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:G1Label?

レスポンス　<vc4>,<bitvc4>,<vc3>,<bitvc3>

<vc3>,<vc4> = <STRING RESPONSE DATA>

OH モニタデータの G1(ニーモニック表示)

"No remote defect"	(000)
"No remote defect"	(001)
"Remote payload defect"	(010)
"No remote defect"	(011)
"Remote defect"	(100)
"Remote server defect"	(101)
"Remote connectivity defect"	(110)
"Remote defect"	(111)

<bitvc3>,<bitvc4> = <STRING RESPONSE DATA>

OH モニタデータの G1(ビット表示)

"000" ～ "111"

データがない場合は,

"----------","---"

機 能　　OH モニタでの VC4 および VC3 の G1(5-7bit)のモニタデータを問い合わせます。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:G1Label?
< "No remote defect","000","No remote defect","000"

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:K4Label?
:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:Z7Label?

レスポンス　　<pohg1>,<bitg1>
<pohg1> = <STRING RESPONSE DATA>
OH モニタデータの K4/Z7(ニーモニック表示)

"No remote defect"	(000)
"No remote defect"	(001)
"Remote payload defect"	(010)
"No remote defect"	(011)
"Remote defect"	(100)
"Remote server defect"	(101)
"Remote connectivity defect"	(110)
"Remote defect"	(111)

<bitg1> = <STRING RESPONSE DATA>
OH モニタデータの K4/Z7(ビット表示)
"000" ～ "111"
データがない場合は,
"----------","---"

機 能　　OH モニタでの K4/Z7(5-7bit)のモニタデータを問い合わせます。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:Z7Label?
< "No remote defect","000"

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:MSP?

レスポンス　　<request1>,<request2>,<channel1>,<channel2>,<bridge1>,<bridge2>,
<arch1>,<arch2>,<reserved2>
<request1> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
K1(1-4bit)のモニタデータ(ニーモニック表示)

NREQ	No request(0000)
DNR	Do not revet(0001)
RREQ	Reverce request(0010)
UUS3	Unused(0011)
EXER	Exercise(0100)
UUS5	Unused(0101
WTR	Wait to restore(0110)
UUS7	Unused(0111)
MSW	Manual switch(1000)
UUS9	Unused(1001)
SDLP	Signal degrade low priority(1010)
SDHP	Signal degrade high priority(1011)
SFLP	Signal fall low priority(1100)
SFHP	Signal fall high priority(1101)
FSW	Forced switch(1110)
LOPR	Lockout of protection(1111)

<request2> = <STRING RESPONSE DATA>
K1(1-4bit)のモニタデータ(ビット表示)
"0000"～"1111"
<channel1> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
K1(5-8bit)のモニタデータ(ニーモニック表示)

NCH	Null channel(0000)
WC1	Working channel1(0001)
WC2	Working channel2(0010)
WC3	Working channel3(0011)
WC4	Working channel4(0100)
WC5	Working channel5(0101)
WC6	Working channel6(0110)
WC7	Working channel7(0111)
WC8	Working channel8(1000)
WC9	Working channel9(1001)
WC10	Working channel10(1010)
WC11	Working channel11(1011)
WC12	Working channel12(1100)
WC13	Working channel13(1101)
WC14	Working channel14(1110)
ETCH	Extra traffic channel(1111)

<channel2> = <STRING RESPONSE DATA>
K1(5-8bit)のモニタデータ(ビット表示)
"0000"～"1111"
<bridge1> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
K2(1-4bit)のモニタデータ(ニーモニック表示)

NCH	Null channel(0000)
WC1	Working channel1(0001)
WC2	Working channel2(0010)
WC3	Working channel3(0011)
WC4	Working channel4(0100)
WC5	Working channel5(0101)
WC6	Working channel6(0110)
WC7	Working channel7(0111)
WC8	Working channel8(1000)
WC9	Working channel9(1001)
WC10	Working channel10(1010)
WC11	Working channel11(1011)
WC12	Working channel12(1100)
WC13	Working channel13(1101)
WC14	Working channel14(1110)
ETCH	Extra traffic channel(1111)

<bridge2> = <STRING RESPONSE DATA>
K2(1-4bit)のモニタデータ(ビット表示)
"0000"～"1111"
<arch1> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
K2(5bit)のモニタデータ(ニーモニック表示)

OPOA	1+1 architecture(0)
OCNA	1:n architecture(1)

<arch2> = <STRING RESPONSE DATA>
K2(5bit)のモニタデータ(ビット表示)
"0"～"1"
<reserved2> = <STRING RESPONSE DATA>
K2(6-8bit)のモニタデータ(ビット表示)
"000"～"111"

機 能　Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での K1/K2 モニタデータを問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:MSP?
< SDHP,"1101",WC14,"1110",WC14,"1110",OCNA,"1","101"

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:POINter?

レスポンス
<andf>,<ass>,<aid>,<tndf>,<tss>,<tid>
<andf> = <STRING RESPONSE DATA>
AU-PTR(NDF)のモニタデータ(ビット表示)
"----","0000"～"1111"
<ass> = <STRING RESPONSE DATA>
AU-PTR(SS)のモニタデータ(ビット表示)
"--","00"～"11"
<aid> = <STRING RESPONSE DATA>
AU-PTR(ID)のモニタデータ(10 進表示)
"----","0000" ～ "1023"
<tndf> = <STRING RESPONSE DATA>
TU-PTR(NDF)のモニタデータ(ビット表示)
"----","0000"～"1111"
<tss> = <STRING RESPONSE DATA>
TU-PTR(SS)のモニタデータ(ビット表示)
"--","00"～"11"
<tid> = <STRING RESPONSE DATA>
TU-PTR(ID)のモニタデータ(10 進表示)
"----","0000" ～ "1023"

機 能　Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での Pointer のモニタデータを問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:POINter?
< "1001","10","1023","0110","01","0001"

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PTRace:J0?

レスポンス
<crc>,<tim>,<trdata>
<crc> = <STRING RESPONSE DATA>
J0 の CRC チェックの結果
Form4
<tim> = <STRING RESPONSE DATA>
J0 の TIM チェックの結果
Form4
<trdata> = <STRING RESPONSE DATA>
J0 のモニタ結果(64 文字固定)
0x20-0x7e 以外の文字を出力する場合は，'?'に置き換えられます。

機 能　Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での Path trace(J0)のモニタデータを問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PTRace:J0?
< "Unacceptable","0123456789 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz _ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ",

DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PTRace:J1H?

レスポンス
<crc>,<tim>,<trdata>
<crc> = <STRING RESPONSE DATA>
J1-HP の CRC チェックの結果
Form4
<tim> = <STRING RESPONSE DATA>
J1-HP の TIM チェックの結果
Form4
<trdata> = <STRING RESPONSE DATA>
J1-HP のモニタ結果(64 文字固定)
0x20-0x7e 以外の文字を出力する場合は，'?'に置き換えられます。

機 能　Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での Path trace(J1-HP)のモニタデータを問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PTRace:J1H?
< "Unacceptable","0123456789 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz _ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ",

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PTRace:J1L?

レスポンス
<crc>,<tim>,<trdata>
<crc> = <STRING RESPONSE DATA>
J1-LP の CRC チェックの結果
Form4
<tim> = <STRING RESPONSE DATA>
J1-LP の TIM チェックの結果
Form4
<trdata> = <STRING RESPONSE DATA>
J1-LP のモニタ結果(64 文字固定)
0x20-0x7e 以外の文字を出力する場合は，'?'に置き換えられます。

機 能　Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での Path trace(J1-LP)のモニタを問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PTRace:J1L?
< "Unacceptable","0123456789 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz _ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ",

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PTRace:J2?

レスポンス
<crc>,<tim>,<trdata>
<crc> = <STRING RESPONSE DATA>
J2 の CRC チェックの結果
Form4
<tim> = <STRING RESPONSE DATA>
J2 の TIM チェックの結果
Form4

<trdata> = <STRING RESPONSE DATA>
J2 のモニタ結果(64 文字固定)
0x20-0x7e 以外の文字を出力する場合は，'?'に置き換えられます。

機 能　Analyze 主画面(OH monitor 副画面)での Path trace(J2)のモニタを問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PTRace:J2?
< "Unacceptable","0123456789 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz _ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ",

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PFRame <display>

パラメータ　<display> = <CHRACTER PROGRAM DATA>

FAS139	FAS139M
FAS34	FAS 34M
FAS8	FAS　8M
FW2	FW　2M
NFW2	NFW　2M
MFW2	MFW　2M

機 能　PDH frame の表示項目を選択します。

制 約　次の場合無効となります。
・FAS139M が非測定項目時，<FAS139>設定の場合。
・FAS 34M が非測定項目時，<FAS34>設定の場合。
・FAS　8M が非測定項目時，<FAS8>設定の場合。
・FAS　2M が非測定項目時，<FW2>,<NFW2>,<MFW2>設定の場合。
・:SENSe:TELecom:M2:SIGNaling が<OFF>時，<MFW2>設定の場合。

使用例　FAS139 を選択する場合。
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PFRame FAS139

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PFRame?

レスポンス　<display>,<pattern>
<display> = <CHRACTER RESPONSE DATA>
<pattern> = <STRING RESPONSE DATA>

"XXXXXXXXXXXX"	FAS139
"XXXXXXXXXX"	FAS34
"XXXXXXXXXX"	FAS8
"XXXXXXXX"	FW2
"XXXXXXXX"	NFW2
"XXXXXXXX"	MFW2

機 能　PDH frame モニタのパターンを問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PFRame?
< FAS139,"001001000111"

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PAYLoad?

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

Payload のモニタデータ(Hex 表示)

データがない場合は,

・Bit rate : 3488M,622M,156M

```
"--,--,--,--,--,--,--,--,--,
"--,--,--,--,--,--,--,--,--,
"--,--,--,--,--,--,--,--,--,
"--,--,--,--,--,--,--,--,--,
"--,--,--,--,--,--,--,--,--,
"--,--,--,--,--,--,--,--,--,
"--,--,--,--,--,--,--,--,--,
"--,--,--,--,--,--,--,--,--,
"--,--,--,--,--,--,--,--,--,"
```

・Bit rate : 52M

```
"--,--,--,
"--,--,--,
"--,--,--,
"--,--,--,
"--,--,--,
"--,--,--,
"--,--,--,
"--,--,--,
"--,--,--,"
```

機 能　OH モニタでのペイロードのモニタデータを問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PAYLoad?

```
< "  01,02,03,04,05,06,07,08,09
     01,02,03,04,05,06,07,08,09,
     01,02,03,04,05,06,07,08,09,
     01,02,03,04,05,06,07,08,09,
     01,02,03,04,05,06,07,08,09,
     01,02,03,04,05,06,07,08,09,
     01,02,03,04,05,06,07,08,09,
     01,02,03,04,05,06,07,08,09,
     01,02,03,04,05,06,07,08,09,"
```

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PCH <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 64　　ステップ値 : 1

機 能　OH Monitor(ペイロード)でのチャネルを選択します。

制 約　次の場合無効となります。

・SENSe:TELecom:BRATe が, <M139>,<M45>,<M34>,<M8>, <M2>,<M1_5>の場合。

使用例　チャネル 1 を選択する場合。

> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PCH 1

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PCH?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　OH Monitor(ペイロード)でのチャネルを問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PCH?

< 1

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PCOLumn <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

～ 16704＋#/1　　ステップ値 : 1

機 能　OH Monitor(ペイロード)でのカラムを設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・SENSe:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2>,<M1_5>の場合。

使用例　　カラム位置を 1 とする場合。
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PCOLumn 1

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PCOLumn?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　　OH Monitor(ペイロード)でのカラム位置を問い合わせます。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PCOLumn?
< 1

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TTRace?

レスポンス　　<crc>,<mismatch>,<trail>
<crc> = <STRING RESPONSE DATA>
Trail trace の CRC チェックの結果
Form4
<mismatch> = <STRING RESPONSE DATA>
Trail trace の TR mismatch チェックの結果
Form4
<trail> = <STRING RESPONSE DATA>
Trail trace のモニタ結果(16 文字固定)
0x20-0x7e 以外の文字を出力する場合は，'?'に置き換える。
"abcdefghijklmnop"
※データがない場合，以下の内容が出力される。
< "----------","----------","----------"

機 能　　OH モニタでの Trail trace のモニタデータを問い合わせます。

制 約　　次の場合無効となります。
:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TYPE の設定が Trail trace 以外の場合。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TTRace?
< "Unacceptable","Unacceptable","abcdefghijklmnop"

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:IBData?

レスポンス　　<channel> = <NUMERIC RESPONSE DATA>
1～31 モニタチャネル
<pattern> = <STRING RESPONSE DATA>
“00000000”

機 能　　2M 指定の 64k チャネルのバイト(8bit)モニタを行います。

使用例　　2M 指定の 64k チャネルのバイト(8bit)モニタを行う場合の設定。
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor: IBData?
< 1,”00000000”

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:IBCHannel

パラメータ　　<channel> = <NUMERIC RESPONSE DATA>
1～31 モニタチャネル

機 能　　OH monitor 画面 Info.byte のモニタチャネルを設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TYPE の設定が Info. Byte 以外の場合。

使用例　OH monitor 画面 Info.byte のモニタ 1 チャネルの設定をする場合。
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:IBCHannel 1

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:IBCHannel?

レスポンス　<channel> = <NUMERIC RESPONSE DATA>
1～31 モニタチャネル

機 能　OH monitor 画面 Info.byte のモニタチャネルを問い合わせます。

制 約　次の場合無効となります。
:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TYPE の設定が Info. Byte 以外の場合。

使用例　OH monitor 画面 Info.byte のモニタチャネルの問い合わせをする場合。
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:IBCHannel?
> :1

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PAUSe <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	Pause OFF
ON or 1	Pause ON

機 能　OH モニタでの Pause を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:TMENu[:NAME]が<"MANual[:JOFF]">,<PSEQuence [:"JOFF"]>以外の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M1_5>の場合，または<M45>時，45M_2M オプション未装着の場合。

使用例　OH モニタでの Pause を ON に設定を行う場合。
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PAUSe ON

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PAUSe?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0	Pause OFF
1	Pause ON

機 能　OH モニタでの Pause 状態を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PAUSe?

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TANDem?

レスポンス

（Monitor が N1-HP(Type2),N1-LP(Type2),N2 の時）
<frame1-8>,<frame9-72>,<frame73>,<frame74>,<frame75>,<frame76>
<frame1-8> = <STRING RESPONSE DATA>
"0000000000000000”～”1111111111111111"
<frame9-72> = <STRING RESPONSE DATA>
"00"～”FF”　(16 バイト固定)
<frame73> = <STRING RESPONSE DATA>
“00”～”11”
<frame74> = <STRING RESPONSE DATA>
“00”～”11”
<frame75> = <STRING RESPONSE DATA>
“00”～”11”
<frame76> = <STRING RESPONSE DATA>
“00”～”11”

（Monitor が N1-HP(Type1)のとき）
<flag>,<sapi>,<tei>,<type>,<eic>,<lic>,<unit>,<fic>,<fcs>
<flag> = <STRING RESPONSE DATA>
"00000000”～”11111111"　(BIN 形式)
<sapi> = <STRING RESPONSE DATA>
"00000000”～”11111111"　(BIN 形式)
<tei> = <STRING RESPONSE DATA>
"00000000”～”11111111"　(BIN 形式)
<type> = <STRING RESPONSE DATA>
"00000000”～”11111111"　(BIN 形式)
<eic> = <STRING RESPONSE DATA>
“00”～”FF” (10 バイト固定)
<lic> = <STRING RESPONSE DATA>
“00”～”11” (11 バイト固定)
<fic> = <STRING RESPONSE DATA>
“00”～”FF” (10 バイト固定)
<uint> = <STRING RESPONSE DATA>
“00”～”FF” (6 バイト固定)
<fic> = <STRING RESPONSE DATA>
“00”～”FF” (38 バイト固定)
<fcs> = <STRING RESPONSE DATA>
"0000”～”FFFF"　　(HEX 形式)

機 能　Tandem モニタデータを問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TANDem?
< "1111111111111110,11,12,13,14,15,16,17,18,19,20,21,22,23,24,25,26,
00,00,00,00"

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TCSelect <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

N1HP1	N1-HP(Type1)
N1HP2	N1-HP(Type2)
N1LP2	N1-LP(Type2)
N2	

機 能　Tandem connection モニタのタイプを設定します。

使用例　Tandem connection モニタのタイプを N1-HP(Type1)にする場合。
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TCSelect N1HP1

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TCSelect?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Tandem connection モニタのタイプを設定します。

使用例　Tandem connection モニタのタイプを問い合わせる場合。
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TCSelect?
< N1HP1

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:ASCII <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
HEX
ASCII

機 能　Tandem connection(TC-API #9-#72)表示切り替えを設定します。

制 約　なし

使用例　Tandem connection(TC-API #9-#72)表示を ASCII にする場合。
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:ASCII ASCII

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:ASCII?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Tandem connection(TC-API #9-#72)表示切り替えを問い合わせます。

使用例　Tandem connection(TC-API #9-#72)表示切り替えを問い合わせる場合。
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:ASCII?
< ASCII

:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SIGDATA?

レスポンス

(64multiframe 時)
(sig#1 時)
<fs>,<ais>,<15mbais>,<bais>,<loopocu>,<pty>,<berr>,<loop2>,<lp>,<trace>,<ress>,<resu>
(sig#2 時)
<fs>,<ais>,<kx>,<bais>,<loop15m>,<pty>,<berr>,<lp>,<trace>,<ress>,<resu>
(sig#3 時)
<fs>,<ais>,<ky>,<bais>,<pty>,<berr>,<lp>,<trace>,<ress>,<resu>
(sig#4 時)
<fs>,<ais>,<kz>,<bais>,<pty>,<berr>,<lp>,<trace>,<ress>,<resu>
(8multiframe 時)
(sig#1 時)～ (sig#4 時)
<fs>
<fs> = <STRING RESPONSE DATA>
・00000000”～”11111111”
<ais> = <STRING RESPONSE DATA>
・000000”～”111111”
<15mbais> = <STRING RESPONSE DATA>
“0”～”1”
<kx>,<ky>,<kz> = <STRING RESPONSE DATA>
“0”～”1”
<bais> = <STRING RESPONSE DATA>
“000000”～”111111”
<loopocu>,<loop15m> = <STRING RESPONSE DATA>
“0”～”1”
<pty> = <STRING RESPONSE DATA>
“000000”～”111111”
<berr> = <STRING RESPONSE DATA>
“000000”～”111111”

<loop2> = <STRING RESPONSE DATA>
“000”～”111”
<lp> = <STRING RESPONSE DATA>
“000000”～”111111”　sig#1 時は “000”～”111”
<trace> = <STRING RESPONSE DATA>
“000000”～”111111”
<ress>,<resu> = <STRING RESPONSE DATA>
“000000”～”111111”

機 能　OH monitor モニタデータ(Signalling #4 時)を問い合わせます。

使用例　OH monitor モニタデータ(Signalling 時)を問い合わせする場合。
> :DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SIGDATA?
<"11010110,000000,0,000000,000000,000000,000000,000000,000000,000000"

:DISPlay:ANALysis:OPMeter:WLENgth <length>

パラメータ　<boolean> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
"1.31"　1.31 μ m
"1.55"　1.55 μ m

機 能　Opt. power meter での Wave length を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・MP0111A,MP0112A,MP0113A ユニット未装着の場合。
・DISPlay:TMENu[:NAME]が，<"MANual[:JOFF]">,<"PSEQuence[:JOFF]">以外の場合。
・MP0111A ユニット装着の時，<"1.55">設定した場合。
・MP0112A ユニット装着の時，<"1.31">設定した場合。

使用例　Opt. power meter での Wave length を 1.31 に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:OPMeter:WLENgth "1.31"

:DISPlay:ANALysis:OPMeter:WLENgth?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
"1.31"　1.31 μ m
"1.55"　1.55 μ m

機 能　Opt. power meter での Wave length 状態を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:OPMeter:WLENgth?
< "1.31"

:DISPlay:ANALysis:OPMeter:REFerence:SET

パラメータ　なし

機 能　Opt. power meter での Reference 値を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・MP0111A,MP0112A,MP0113A ユニット未装着の場合。
・DISPlay:TMENu[:NAME]が，<"MANual[:JOFF]">,<"PSEQuence[:JOFF]">以外の場合。

使用例　Opt. power meter での Reference 値を設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:OPMeter:REFerence:SET

:DISPlay:ANALysis:OPMeter:PAUSe <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	Pause OFF
ON or 1	Pause ON

機 能　Opt. power meter での Pause を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・MP0111A,MP0112A,MP0113A ユニット未装着の場合。

・DISPlay:TMENu[:NAME]が，<"MANual[:JOFF]">,<"PSEQuence [:JOFF]">以外の場合。

使用例　Opt. power meter での Pause を ON に設定する場合。

> :DISPlay:ANALysis:OPMeter:PAUSe ON

:DISPlay:ANALysis:OPMeter:PAUse?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0	Pause OFF
1	Pause ON
2	

機 能　Opt. power meter での Pause 状態を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:OPMeter:PAUSe?

< 1

:DISPlay:ANALysis:OPMeter:DATA?

レスポンス　<power>,<relative>,<reference>

<freq> = <STRING RESPONSE DATA>

" -40.0" ～ " + 0.0", "<-40.0", ">+ 0.0", " -----"

<relative> = <STRING RESPONSE DATA>

" -40.0" ～ " +40.0", " -----"

<reference> = <STRING RESPONSE DATA>

" -40.0" ～ " + 0.0", " -----"

※データがない場合，以下の内容が出力される。

< " -----"," -----"," -----"

機 能　Opt. power meter のモニタデータを問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:OPMeter:DATA?

< " -23.4"," + 2.0"," -25.4"

:DISPlay:ANALysis:OHCapture:TITLe <title>

パラメータ　<title> = <STRING PROGRAM DATA>

"タイトル文字列"　タイトル文字列(最大 15 文字)

文字列長は 0～15 文字とし，""は可とします。

15 文字に満たない場合はスペースをうめます。

機 能　Analyze:OH capture 画面でのタイトルを設定します。

使用例　測定タイトルに"TITLE-DISP"を表示する場合。

> :DISPlay:ANALysis:OHCapture:TITLe "TITLE-DISP"

:DISPlay:ANALysis:OHCapture:TITLe?

レスポンス　<title> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　Analyze:OH capture 画面でのタイトルを問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:ANALysis:OHCapture:TITLe?
< "TITLE-DISP　　"

:DISPlay:ANALysis:OHCapture:JUMP:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
TRIGger　トリガ位置表示
NUMBer　Number 位置表示
機 能　Analyze:OH capture 画面での表示位置を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
Capture データが存在しない場合。
使用例　Analyze:OH capture 画面での表示位置をトリガ表示位置へ移動する場合。
> :DISPlay:ANALysis:OHCapture:JUMP:TYPE TRIGer

:DISPlay:ANALysis:OHCapture:JUMP:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
TRIG　トリガ位置表示
NUMB　Number 位置表示
機 能　Analyze:OH capture 画面での表示位置を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:ANALysis:OHCapture:JUMP:TYPE?
< TRIG

:DISPlay:ANALysis:OHCapture:JUMP:LINE <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 1017　ステップ値：1
機 能　Analyze:OH capture 画面での表示位置(Number)を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・Capture データが存在しない場合。
・:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:JUMP:TY
PE の設定が Trigger 時。
・Capture データ総数より大きい値。(同値設定あり)
下記の表が Max 値となり設定範囲になります。

Type	H1/H1	K1/K2[HEX]	K1/K2[Binary]	SOH 1byte	POH 1byte
1 画面	978	1001	978	1001	1001
2 画面	1008	1016	1008	1017	1017
3 画面	1016	1016	1016	1017	1017

使用例　表示開始位置を 5 に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:OHCapture:JUMP:LINE 5

:DISPlay:ANALysis:OHCapture:JUMP:LINE?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　Analyze:OH capture 画面での表示位置(Number)を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:ANALysis:OHCapture:JUMP:LINE?
< 5

:DISPlay:ANALysis:OHCapture:SCRoll <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へスクロール
RIGHt	右へスクロール
UP	上へスクロール
DOWN	下へスクロール
HTOP	左端へ移動
HBOTtom	右端へ移動
VTOP	先頭へ移動
VBOTtom	後尾へ移動

機 能　Analyze:OH capture 画面でのスクロールを指示します。

制 約　次の場合無効となります。

・:SENSe:OHCapture:TYPE の設定が H1/H2,K1/K2 時。

・:SENSe:OHCapture:TYPE の設定が:SOH 1byte[TOH 1byte]かつ 1 画面表示, 2 分割表示時。

・:SENSe:OHCapture:TYPE の設定が POH 1byte かつ 1 画面表示, 2 分割表示時。

使用例　表の最終行へ移動する場合。

> :DISPlay:ANALysis:OHCapture:SCRoll VBOTtom

:DISPlay:ANALysis:OHCapture:PTYPe<type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

HEX	HEX
BINARY	Binary

機 能　データ表示形式を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

:SENSe:OHCapture:TYPE の設定が K1/K2 以外のとき。

使用例　表示形式を HEX に設定する場合。

> :DISPlay:ANALysis:OHCapture:PTYPe HEX

:DISPlay:ANALysis:OHCapture:PTYPe?

レスポンス　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

機 能　データ表示形式の設定を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:OHCapture:PTYPe?

< HEX

:DISPlay:ANALysis:OHCapture:PRINt <from>,<to>

パラメータ　<from> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 1023　ステップ値：1

<to> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

from ～ 1023　ステップ値：1

機 能　印刷範囲を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

データが存在しない場合。

使用例　7 行目だけ印刷する場合。

> :DISPlay:ANALysis:OHCapture:PRINt 7,7

:DISPlay:ANALysis:OHCapture:PRINt?

レスポンス　<from> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
<to> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　印刷範囲を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:OHCapture:PRINt?
< 7,7

:DISPlay:ANALysis:APSCapture:TITLe <title>

パラメータ　<title> = <STRING PROGRAM DATA>
"タイトル文字列"　タイトル文字列（最大１５文字）
タイトル文字列長は 0～15 文字とし，""は可とします。
15 文字に満たない場合はスペースを埋めます。

機 能　Analyze:APS capture 画面でのタイトルを設定します。

使用例　タイトルに"TITLE-DISP"を表示する場合。
> :DISPlay:ANALysis:APSCapture:TITLe "TITLE-DISP"

:DISPlay:ANALysis:APSCapture:TITLe?

レスポンス　<title> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　Analyze:APS capture 画面でのタイトルを問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:APSCapture:TITLe?
< "TITLE-DISP　　"

:DISPlay:ANALysis:APSCapture:JUMP:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
TRIGger　トリガ位置表示
NUMBer　Number 位置表示

機 能　Analyze:APS capture 画面での表示位置を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
Capture データが存在しない場合。

使用例　トリガ表示位置へ移動する場合。
> :DISPlay:ANALysis:APSCapture:JUMP:TYPE TRIGger

:DISPlay:ANALysis:APSCapture:JUMP:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
TRIG　トリガ位置表示
NUMB　Number 位置表示

機 能　Analyze:APS capture 画面での表示位置を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:APSCapture:JUMP:TYPE?
< TRIG

:DISPlay:ANALysis:APSCapture:JUMP:LINE <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 55　ステップ値：1

機 能　Analyze:APS capture 画面での表示位置(Number)を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・Capture データが存在しない場合。
・:DISPlay:ANALysis:APSCapture:JUMP:TYPE の設定が Trigger のとき。
・Capture データ総数より大きい値のとき。

使用例　　表示開始値を 5 に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:APSCapture:JUMP:LINE 5

:DISPlay:ANALysis:APSCapture:JUMP:LINE?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　Analyze:APS capture 画面での表示位置(Number)を問い合わせます。
使用例　　> :DISPlay:ANALysis:APSCapture:JUMP:LINE?
< 5

:DISPlay:ANALysis:APSCapture:SCRoll <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

TOP	データ先頭位置へ移動
END	データ最終位置へ移動
UP	5 行スクロールアップ
DOWN	5 行スクロールダウン

機 能　　ASP Capture データ表のスクロールを行います。
使用例　　表の最終行へ移動する場合。
> :DISPlay:ANALysis:APSCapture:SCRoll END

:DISPlay:ANALysis:PMONitor:MARKer <marker>

パラメータ　　<marker> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へ 1Div 移動
RIGHt	右へ 1Div 移動

機 能　　Analyze:Error/Alarm 画面でのマーカ移動を指示します。
制 約　　次の場合無効となります。
Marker:OFF のとき。
使用例　　右方向へ移動する場合。
> :DISPlay:ANALysis:PMONitor:MARKer RIGHt

:DISPlay:ANALysis:PMONitor:DATA?

レスポンス　　<time>,<ptr>,<ppjc>,<mpjc>,<ndf>,<cons>
<time> = <year>,<month>,<day>,<hour>,<minute>,<second>
マーカの示す時間
<year> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0, 1994 ～ 2093　年
<month> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0, 1 ～ 12　　月
<day> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0, 1 ～ 31　　日
<hour> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 ～ 23　　時
<minute> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 ～ 59　　分
<second> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 ～ 59　　秒
<ptr> = <STRING RESPONSE DATA>
AU PTR 値　　Form1 形式
<ppjc> = <STRING RESPONSE DATA>
+PJC 値　　Form1 形式

<mpjc> = <STRING RESPONSE DATA>
-PJC 値　　Form1 形式
<ndf> = <STRING RESPONSE DATA>
ndf(new data flag)値　Form1 形式
<cons> = <STRING RESPONSE DATA>
Cons 値　Form1 形式

機 能　Analyze:Pointer monitor 画面で，マーカが示すデータを問い合わせます。

使用例　Analyze:Pointer monitor 画面で，マーカが示すデータの問い合わせをする場合。
> :DISPlay:ANALysis:PMONitor:DATA?
< 1994,12,25,12,54,30,"　396","　0","　235","　3","　0"

:DISPlay:ANALysis:PMONitor:INTerval <numeric>,<suffix>

パラメータ　<numeric> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
1, 15, 60
<suffix> = < CHARACTER PROGRAM DATA>
Min　minute
S　sec

機 能　Analyze:Pointer monitor 画面での時間軸の 1 目盛りの幅を設定します。

使用例　1 目盛りの幅を 1 分に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis: PMONitor:INTerval 1,M

:DISPlay:ANALysis:PMONitor:INTerval?

レスポンス　<interval> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Analyze:Pointer monitor 画面での時間軸の 1 目盛りの幅を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:PMONitor:INTerval?
< 1,M

:DISPlay:ANALysis:PMONitor:MDISplay <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　マーカ OFF
ON　or 1　マーカ ON

機 能　Analyze:Pointer monitor 画面でのマーカ表示の有無を設定します。

使用例　マーカ表示を有りに設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:PMONitor:MDISplay ON

:DISPlay:ANALysis:PMONitor:MDISplay?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0　マーカ OFF
1　マーカ ON

機 能　Analyze:Pointer monitor 画面でのマーカの表示状態を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:PMONitor:MDISplay?
< 1

:DISPlay:ANALysis:PMONitor:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
(SDH)
AU
TU
(SONET)
STS
VT

機 能　モニタする pointer の設定をします。

制 約　次の場合無効となります。
Setup:Mapping 画面において TU[VT]は，受信の mapping が下記の場合。
139M(Async),VC4[STS3cSPE]-Bulk,
AU3[STS1SPE]-45M(Async),AU3[STS1SPE]-Bulk,
VC4*Xc[STS3cSPE*Xc]-Bulk

使用例　モニタする pointer の設定を AU にする場合。
> :DISPlay:ANALysis:PMONitor:TYPE AU

:DISPlay:ANALysis:PMONitor:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　モニタする pointer の設定を問い合わせます。

使用例　モニタする pointer の設定を問い合わせする場合。
> :DISPlay:ANALysis:PMONitor:TYPE?
< AU

:DISPlay:ANALysis:PMONitor:PSCale <scale>

パラメータ　< scale > = <CHARACTER PROGRAM DATA>
200
400
800

機 能　Analyze:Pointer monitor 画面でのポインタグラフ縦軸スケールを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
Setup:Mapping 画面 : Rx Mapping が，TU12,TU11 時の，800,400 の選択。

使用例　Analyze:Pointer monitor 画面でのポインタグラフ縦軸スケールを 400 に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:PMONitor:PSCale 400

:DISPlay:ANALysis:PMONitor:PSCale?

レスポンス　< scale > = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Analyze:Pointer monitor 画面でのポインタグラフ縦軸スケールを問い合わせます。

使用例　Analyze: Pointer monitor 画面でのポインタグラフ縦軸スケールの問い合わせをする場合。
> :DISPlay:ANALysis: PMONitor:SCAle?
< 400

:DISPlay:ANALysis:PMONitor:JSCale < scale >

パラメータ　< scale > = <CHARACTER PROGRAM DATA>

1E9	1E9
1E6	1E6
1E3	1E3

機 能　Analyze:Pointer monitor 画面でのジャスティフィケーショングラフ縦軸スケールを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
AU PTR,TU PTR 時

使用例　Analyze:Pointer monitor 画面でのジャスティフィケーショングラフ縦軸スケールを 1 E3 に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:PMONitor:JSCale S1E3

:DISPlay:ANALysis:PMONitor:JSCale?

レスポンス　<numeric> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Analyze:Pointer monitor 画面でのジャスティフィケーショングラフ縦軸スケールを問い合わせます。

使用例　Analyze: Pointer monitor 画面でのジャスティフィケーショングラフ縦軸スケールの問い合わせをする場合。
> :DISPlay:ANALysis: PMONitor:JSCale?
< S1E3

:DISPlay:ANALysis:PMONitor:SELect <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

AU	AU PTR
TU	TU PTR
PJC	+PJC/-PJC

(SONET)

STS	
VT	
PJC	+PJC/-PJC

機 能　Pointer monitor で表示するグラフを選択します。

制 約　次の場合無効となります。
TU[VT] 時 AU PTR[STS PTR]の場合。
Type:AU[STS]時 TU PTR[VT PTR] の場合。

使用例　Pointer monitor で表示するグラフを TU PTR にする場合。
> :DISPlay:ANALysis:PMONitor:SELect TU

:DISPlay:ANALysis:PMONitor:SELect?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Pointer monitor で表示するグラフの設定を問い合わせます。

使用例　Pointer monitor で表示するグラフの設定問い合わせをする場合。
> :DISPlay:ANALysis:PMONitor:SELect?
< TU

:DISPlay:ANALysis:IPCapture:CAPTuretype <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
IPV4　IPv4
IPV6　IPv6

機 能　Capture する IP パケットの種類を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・オプション 14 が装着されていないとき。

使用例　IP パケットを IPv4 に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:IPCapture:CAPTuretype IPV4

:DISPlay:ANALysis:IPCapture:CAPTuretype?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Capture する IP パケットの種類を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:IPCapture:CAPTuretype?
< IPV4

:DISPlay:ANALysis:IPCapture:JUMP　<jump>

パラメータ　<jump> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 9999999　　ステップ値：1

機 能　表示開始位置を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・オプション 14 が装着されていないとき。
・Capture データが存在しない場合。
・Capture したデータ総数より大きい値を設定した場合。

使用例　表示開始位置を 25 に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:IPCapture:JUMP 25

:DISPlay:ANALysis:IPCapture:JUMP?

レスポンス　<jump> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　表示開始位置を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:IPCapture:JUMP?
< 25

:DISPlay:ANALysis:IPCapture:SCRoll <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

TOP	データ先頭位置へ移動
END	データ最終位置へ移動
UP	12 データスクロールアップ （複数画面の場合は 5 データ）
DOWN	12 データスクロールダウン （複数画面の場合は 5 データ）

機 能　IPCapture データの表をスクロールします。

使用例　表の最終行へ移動する場合。
> :DISPlay:ANALysis:IPCapture:SCRoll END

:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:TITLe <title>

パラメータ　<title> = <STRING PROGRAM DATA>
"タイトル文字列"　タイトル文字列（最大１５文字）
タイトル文字列長は 0～15 文字とし，""は可とします。
15 文字に満たない場合はスペースを埋めます。

機 能　Analyze: Frame capture 画面でのタイトルを設定します。

使用例　測定のタイトルに"TITLE-DISP"を表示する場合。
> :DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:TITLe "TITLE-DISP"

:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:TITLe?

レスポンス　<title> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　Analyze: Frame capture 画面でのタイトルを問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:TITLe?
< "TITLE-DISP　　"

:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:DFRame <frame>

パラメータ　<frame> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
１ ～ 64　ステップ値：1

機 能　表示するフレーム番号を設定します。

使用例　フレーム開始位置を 1 に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:DFRame 1

:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture: DFRame?

レスポンス　<frame> = <DECIMAL NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　表示するフレーム番号を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:DFRame?
< 1

:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:JUMP:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
TRIGger　トリガ位置表示
NUMBer　Number 位置表示

機 能　Analyze:Frame capture 画面での表示位置を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
Capture データが存在しない場合。

使用例　トリガ表示位置へ移動する場合。
> :DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:JUMP:TYPE TRIGger

:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:JUMP:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
TRIG　トリガ位置表示
NUMB　Number 位置表示

機 能　Analyze:Frame capture 画面の表示位置を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:JUMP:TYPE?
< TRIG

:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:JUMP:LINE <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC RESPONSE DATA>
　1 ～ 17272　ステップ値:1

機 能　Analyze:Frame capture 画面での表示位置(Number)を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
Capture データが存在しない場合。

使用例　表示位置を 10 に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:JUMP:LINE 10

:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:JUMP:LINE?

レスポンス　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Analyze:Frame capture 画面での表示位置(Number)を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:JUMP:LINE?
< 10

:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:PRINt <from>,<to>

パラメータ　<from> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　1 ～ 17280　ステップ値：1
<to> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　<from> ～ 17280　ステップ値：1

機 能　Frame capture データの印字開始，終了位置を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
Bit Rate： 9953M:1～17280,2448M:1～4320,622M:1～1080,
156M:1～270,52M:1～90 の範囲以外設定時。
Capture データ総数より大きい値のとき。

使用例　Frame capture データを 10～20 まで印刷する場合。
> :DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:PRINt 10,20

:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:PRINt?

レスポンス　<from> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
<to> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Frame capture データの印字開始，終了位置設定を問い合わせます。

使用例　Frame capture データの印字開始，終了位置設定の問い合わせをする場合。
> :DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:PRINt?
< 10,20

:DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:SCRoll <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

TOP	データ横軸先頭位置へジャンプ
END	データ横軸最終位置へジャンプ
BEFOR	データ横軸 18 バイト左スクロール
NEXT	データ横軸 18 バイト右スクロール

機 能　Cell capture データ表のスクロールを行います。

使用例　表の最終位置へ移動する場合。
> :DISPlay:ANALysis:FRAMecapture:SCRoll END

:DISPlay:ANALysis:FMONitor:FREQuency?

レスポンス　<freq>,<ppm>,<relative>
<freq> = <STRING RESPONSE DATA>
Form10
<ppm> = <STRING RESPONSE DATA>
Form11
<relative> = <STRING RESPONSE DATA>
Form13
※データがない場合，以下の内容が出力される。
< "----------","--------","----------"

機 能　Freq.モニタデータを問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:FMONitor:FREQuency?
< "　　1100.0"," +1000.0","　　+100.0"

:DISPlay:ANALysis:FMONitor:PAUSe <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　　Pause OFF
ON　or 1　　Pause ON

機 能　Freq.モニタでの Pause を設定します。

使用例　Freq.モニタでの Pause を ON に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:FMONitor:PAUSe ON

:DISPlay:ANALysis:FMONitor:PAUSe?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0　　Pause OFF
1　　Pause ON

機 能　Freq.モニタでの Pause 状態を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:FMONitor:PAUSe?
< 1

:DISPlay:ANALysis:FGRaph:TITLe <title>

パラメータ　<title> = <STRING PROGRAM DATA>
"タイトル文字列"　タイトル文字列(最大 15 文字)
文字列長は 0～15 文字とし，""は可とする。
15 文字に満たない場合はスペースをうめる。

機 能　Analyze:Frequency 画面でのタイトルを設定します。

使用例　Frequency のタイトルに"TITLE-DISP"を表示する場合。
> :DISPlay:ANALysis:FGRaph:TITLe "TITLE-DISP"

:DISPlay:ANALysis:FGRaph:TITLe?

レスポンス　<title> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　Analyze:Frequency 画面でのタイトルを問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:FGRaph:TITLe?
< "TITLE-DISP　　"

:DISPlay:ANALysis:FGRaph:SCRoll <scroll>

パラメータ　<scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へスクロール
RIGHt	右へスクロール
TOP	先頭へ移動
BOTTom	後尾へ移動

機 能　Analyze:Frequency 画面でのスクロールを指示します。

使用例　左方向へスクロールする場合。

> :DISPlay:ANALysis:FGRaph:SCRoll LEFT

:DISPlay:ANALysis:FGRaph:MARKer <marker>

パラメータ　<marker> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へ 1Div 移動
RIGHt	右へ 1Div 移動

機 能　Analyze:Frequency 画面でのマーカ移動を指示します。

制 約　次の場合無効となります。

・Marker:OFF のとき。

使用例　右方向へ移動する場合。

> :DISPlay:ANALysis:FGRaph:MARKer RIGHt

:DISPlay:ANALysis:FGRaph:DATA?

レスポンス　<time>,<frequency>,<ppm>

<time> = <year>,<month>,<day>,<hour>,<minute>,<second>

読みだしデータの年月日時分秒

パラメータで指定した時間のデータがない場合，指定時間以降で最も近い時間のデータを出力します。

測定開始時刻以前の時間を設定した場合，測定開始時刻のデータを出力します。また，ログ終了時刻以降の時間を設定した場合，ログ終了時刻のデータを出力します。

<year>　= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0,1994 ～ 2093　年

<month>　= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0,1 ～ 12　月

<day>　= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0,1 ～ 31　日

<hour>　= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0 ～ 23　時

<minute> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0 ～ 59　分

<second> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0 ～ 59　秒

<frequency> = <STRING RESPONSE DATA>

モニタ周波数(Hz)

(Form10)

<ppm> = <STRING RESPONSE DATA>

モニタ周波数偏差(ppm)

(Form11)

※データが存在しない場合，以下の内容が出力されます。

< 0,0,0,0,0,0,0,"----------","--------"

機 能　　Analyze:Frequency 画面で，マーカが示すデータを問い合わせます。
使用例　　> :DISPlay:ANALysis:FGRaph:DATA?
　　< 1995,10,23,1,20,30,"　　100.0"," +1000"

:DISPlay:ANALysis:FGRaph:INTerval <numeric>,<suffix>

パラメータ　　<numeric> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
　　1, 15, 60
　　<suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
　　M　　minute
機 能　　Analyze:Frequency 画面での時間軸の 1 目盛りの幅を設定します。
使用例　　1 目盛りの幅を 1 分に設定する場合。
　　> :DISPlay:ANALysis:FGRaph:INTerval 1,M

:DISPlay:ANALysis:FGRaph:INTerval?

レスポンス　　<numeric> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
　　<suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　　Analyze:Frequency 画面での時間軸の 1 目盛りの幅の問い合わせます。
使用例　　> :DISPlay:ANALysis:FGRaph:INTerval?
　　< 1,M

:DISPlay:ANALysis:FGRaph:MDISplay <boolean>

パラメータ　　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
　　OFF or 0　　マーカ OFF
　　ON　or 1　　マーカ ON
機 能　　Analyze:Frequency 画面でのマーカ表示を設定します。
使用例　　Frequency のマーカ表示を ON に設定を行う場合。
　　> :DISPlay:ANALysis:FGRaph:MDISplay 1

:DISPlay:ANALysis:FGRaph:MDISplay?

レスポンス　　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
　　0　　マーカ OFF
　　1　　マーカ ON
機 能　　Analyze:Frequency 画面でのマーカ表示を問い合わせます。
使用例　　> :DISPlay:ANALysis:FGRaph:MDISplay?

:DISPlay:ANALysis:FGRaph:FROM <numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5>,[,<numeric6>]

パラメータ　　<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　　<numeric1> =　　1994 ～ 2093 (year)
　　<numeric2> =　　1 ～ 12 (month)
　　<numeric3> =　　1 ～ 31 (day)
　　<numeric4> =　　0 ～ 23 (hour)
　　<numeric5> =　　0 ～ 59 (minute)
　　<numeric6> =　　0 ～ 59 (second)
　　※パラメータで指定した時刻が存在しない場合，指定時刻以降で最も近い時刻が設定されます。なお，先頭データ時刻以前の時刻を設定した場合，先頭データ時刻が設定されます。また，最新データ時刻以降の時刻を設定した場合，最新データ時刻が設定されます。

機 能　Frequency グラフの表示開始位置を設定します。
使用例　1996 年 7 月 28 日 11 時 30 分 40 秒から表示する場合。
> :DISPlay:ANALysis:FGRaph:FROM 1996,7,28,11,30,40

:DISPlay:ANALysis:FGRaph:FROM?

レスポンス　<numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,
<numeric5>,<numeric6>
= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
※Frequency データがない場合は，以下の内容が出力されます。
< -,-,-,-,-,-
機 能　Frequency グラフの表示開始位置を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:ANALysis:FGRaph:FROM?
< 1996,7,28,11,30,40

:DISPlay:ANALysis:FGRaph:PRINt <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

DISPlay	Display
ALL	All
AFTer	After
BEFore	Before

機 能　Analyze:Frequency 画面の印字範囲を指定します。
使用例　Frequency 画面範囲を設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:FGRaph:PRINt DISPlay

:DISPlay:ANALysis:FGRaph:PRINt?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

DISP	Display
ALL	All
AFT	After
BEF	Before

機 能　Analyze:Frequency 画面の印字範囲を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:ANALysis:FGRaph:PRINt?
< DISP

:DISPlay:ANALysis:FGRaph:SCALe <character>

パラメータ　<character> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

10	10 ppm
100	100 ppm
1000	1000 ppm

機 能　Analyze:Frequency 画面でのグラフ縦軸スケールを設定します。
使用例　Frequency のグラフ縦軸スケールを 10ppm に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:FGRaph:SCALe 10

:DISPlay:ANALysis:FGRaph:SCALe?

レスポンス　<numeric1> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　Analyze:Frequency 画面でのグラフ縦軸スケールを問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:ANALysis:FGRaph:SCALe?
< 10

:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?

レスポンス　<type> = <STRING RESPONSE DATA>

"EAL"	Error/Alarm 測定
"FGR"	Frequency データ
"JSW"	Jitter sweep
"APS"	APS capture データ
"OH"	OH capture データ
"FSW"	Freq. sweep データ

機 能　Analyze:Recall 画面に表示されているデータ種別を問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?
< "EAL"

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:SCRoll <scroll>

パラメータ　<scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へスクロール
RIGHt	右へスクロール
TOP	先頭へ移動
BOTTom	後尾へ移動

機 能　Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)でのスクロールを指示します。

制 約　次の場合無効となります。
:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が，<"EAL">以外の場合。

使用例　右方向へスクロールする場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:SCRoll RIGHt

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:MARKer <marker>

パラメータ　<marker> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へ 1Div 移動
RIGHt	右へ 1Div 移動

機 能　Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)でのマーカ移動を指示します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が，<"EAL">以外の場合。
・:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:MDISplay が，<OFF>の場合。
※複数画面表示時，マーカが ON であれば通常の動きをします。

使用例　右方向へ移動する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:MARKer RIGHt

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:DATA?

レスポンス　<time>,<alarm1s>,<alarm1c>,<alarm2s>,<alarm2c>,<alarm3s>,
<alarm3c>,<alarm4s>,<alarm4c>,<alarm5s>,<alarm5c>,<error1>,
<error2>

機 能　Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)で，マーカが示すデータを問い合わせいます。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:DATA?
< 1994,12,25,12,54,30,"　1","　1","　0","　0",
"　104","　10","　1","　1","　1","　1",
"　189"," 3.3E-04"

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:INTerval <numeric>,<suffix>

パラメータ　<numeric> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
1, 15, 60
<suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
M　minute
S　sec

機 能　Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)での時間軸の 1 目盛りの幅を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が，<"EAL">以外の場合。
・Save されたときの Graph resolution 状態によって下記の制限を受けます。
【次の設定以外の場合】
・1sec: 1sec, 1min,15min,60min
・1min: 1min,15min,60min
・15min:15min,60min
・60min:60min

使用例　1 目盛りの幅を 1 分に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:INTerval 1,M

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:INTerval?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
<suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)での時間軸の 1 目盛りの幅を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:INTerval?
< 1,M

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:MDISplay <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　マーカ OFF
ON　or 1　マーカ ON

機 能　Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)でのマーカの表示有無を設定します。

制 約　:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が, <"EAL">以外の場合無効とします。

使用例　マーカ表示を有りに設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:MDISplay ON

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:MDISplay?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0　マーカ OFF
1　マーカ ON

機 能　Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)でのマーカの表示状態を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:MDISplay?
< 1

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:SEARch <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

BEFore	Before サーチ
NEXT	Next サーチ

機 能　Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)でのサーチを指示します。

制 約　次の場合無効となります。

・:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が，<"EAL">以外の場合。
・:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:MDISplay が，<OFF>の場合。
・前方向に測定ポイントが存在しないときに，<BEFore>設定の場合。
・後方向に測定ポイントが存在しないときに，<NEXT>設定の場合。

使用例　前方向にサーチを指示する場合。

> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:SEARch BEFore

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:FROM <numeric1>,<numeric2>, <numeric3>,<numeric4>,<numeric5>,<numeric6>

パラメータ　<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

<numeric1> =　1994 ～ 2093 (year)
<numeric2> =　1 ～ 12 (month)
<numeric3> =　1 ～ 31 (day)
<numeric4> =　0 ～ 23 (hour)
<numeric5> =　0 ～ 59 (minute)
<numeric6> =　0 ～ 59 (second)

※パラメータで指定した時刻が存在しない場合，指定時刻以降で最も近い時刻が設定されます。なお，測定開始時刻以前の時刻を設定した場合，測定開始時刻が設定されます。また，ログ終了時刻以降の時刻を設定した場合，ログ終了時刻が設定されます。

機 能　Analyze:Recall 画面での Error/Alarm グラフの表示開始位置を設定します。

制 約　:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が, <"EAL">以外の場合無効にします。

使用例　1996 年 7 月 28 日 11 時 30 分 40 秒から表示する場合。

> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:FROM 1996,7,28,11,30,40

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:FROM?

レスポンス　<numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5>, <numeric6>
= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Analyze:Recall 画面での Error/Alarm グラフの表示開始位置を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:FROM?
< 1996,7,28,11,30,40

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ERRor <error1>,<error2>

パラメータ　<error1> = <STRING PROGRAM DATA>
<error2> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

機 能　Analyze:Recall 画面での Error/Alarm グラフ表示するエラー項目を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が，<"EAL">以外の場合。
・<"HIT">設定時に，<ER>設定の場合。

使用例　　ビットエラーのエラーレートを表示する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ERRor "BIT",ER

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ERRor?

レスポンス　　<error1>,<error2>
<error1> = <STRING RESPONSE DATA>
<error2> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　Analyze:Recall 画面での Error/Alarm グラフ表示するエラー項目を問い合わせます。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ERRor?
< "BIT",ER

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1 <alarm>

パラメータ　　<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>

"ALL"	ALL
"POWer"	Power fail
"LOS"	LOS
"LOF"	LOF
"OOF"	OOF
"AIS:MS"	MS-AIS
"RDI:MS"	MS-RDI
"AIS:AU"	AU-AIS
"LOP:AU"	AU-LOP
"RDI:HP"	HP-RDI
"SLM:HP"	HP-SLM
"AIS:TU"	TU-AIS
"LOP:TU"	TU-LOP
"RDI:LP"	LP-RDI
"SLM:LP"	LP-SLM
"RFI:LP"	LP-RFI
"LOM:TU"	TU-LOM
"AIS:M139"	139M AIS
"AIS:M45"	45M AIS
"AIS:M34"	34M AIS
"AIS:M8"	8M AIS
"AIS:M2"	2M AIS
"AIS:M1_5"	1.5M AIS
"LOF:M139"	139M LOF
"LOF:M45"	45M LOF
"LOF:M34"	34M LOF
"LOF:M8"	8M LOF
"LOF:M2"	2M LOF
"LOF:M1_5"	1.5M LOF
"LOF:MF"	MF LOF
"RDI:M139"	139M RDI
"RDI:M45"	45M RDI

"RDI:M34"	34M RDI
"RDI:M8"	8M RDI
"RDI:M2"	2M RDI
"RDI:M1_5"	1.5M RDI
"RDI:MF"	MF RDI
"PATTern"	Sync. Loss

機 能　Analyze:Recall 画面でのアラーム 1 に表示するアラーム項目を設定します。

制 約　:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE?が，<"EAL">以外の場合，無効とします。

使用例　アラーム 1 に Power fail を表示する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1 "POWer"

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1?

レスポンス　<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　Analyze:Recall 画面でのアラーム 1 に表示するアラーム項目を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1?
< "POW"

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm2 <alarm>

パラメータ　<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>
:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1 と同じです。

機 能　Analyze:Recall 画面でのアラーム 2 に表示するアラーム項目を設定します。

制 約　:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1 と同様。

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm2?

レスポンス　<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　Analyze:Recall 画面でのアラーム 2 に表示するアラーム項目を問い合わせます。

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm3 <alarm>

パラメータ　<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>
:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1 と同じです。

機 能　Analyze:Recall 画面でのアラーム 3 に表示するアラーム項目を設定します。

制 約　:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1 と同様。

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm3?

レスポンス　<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>
:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1? と同じです。

機 能　Analyze:Recall 画面でのアラーム 3 に表示するアラーム項目を問い合わせます。

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm4 <alarm>

パラメータ　<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>
:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1 と同じです。

機 能　Analyze:Recall 画面でのアラーム 4 に表示するアラーム項目を設定します。

制 約　:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1 と同様。

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm4?

レスポンス　<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>
:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1? と同じです。

機 能　Analyze:Recall 画面でのアラーム 4 に表示するアラーム項目を問い合わせます。

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm5 <alarm>

パラメータ　<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>
:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1 と同じです。

機 能　Analyze:Recall 画面でのアラーム 5 に表示するアラーム項目を設定します。

制 約　:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1 と同様。

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm5?

レスポンス　<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>
:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1? と同じです。

機 能　Analyze:Recall 画面でのアラーム 5 に表示するアラーム項目を問い合わせます。

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:PRINt <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

DISPlay	Display
ALL	All
AFTer	After
BEFore	Before

機 能　Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)の印字範囲を指定します。

制 約　:DISPlay:ANALysis:RECall:TYPE が, <"EAL">以外の場合無効にします。

使用例　現在表示されている画面範囲を印字する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:PRINt DISPlay

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:PRINt?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

DISP	Display
ALL	All
AFT	After
BEF	Before

機 能　Analyze:Recall 画面(Error/Alarm)の印字範囲を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:PRINt?
< DISP

:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:TITLe?

レスポンス　<title> = <STRING RESPONSE DATA>
:DISPlay:ANALysis:TGRaph:TITLe と同じ。
機 能　Analyze:Recall 画面でのトレースグラフのタイトルを問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:TITLe?
< "TITLE-DISP　　"

:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:TITLe?

レスポンス　<title> = <STRING RESPONSE DATA>
機 能　Analyze:OH capture 画面でのタイトルを問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:TITLe?
< "TITLE-DISP　　"

:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:JUMP:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
TRIGger　トリガ位置表示
NUMBer　Number 位置表示
機 能　Analyze:Recall（OH capture）画面での表示位置を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
Capture データが存在しない場合。
使用例　トリガ表示位置へ移動する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:JUMP:TYPE TRIGger

:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:JUMP:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
TRIG　トリガ位置表示
NUMB　Number 位置表示
機 能　Analyze: Recall (OH capture)画面での表示位置を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:JUMP:TYPE?
< TRIG

:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:JUMP:LINE <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 1017　ステップ値：1
機 能　Analyze: Recall (OH capture)画面での表示位置（Number）を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
他機能からの制限：・Capture データが存在しない場合。
・ :DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:JUMP:TYPE の設定が Trigger 時。
・PE の設定が Trigger 時。
・Capture データ総数より大きい値。(同値設定あり)
下記の表が Max 値となり設定範囲になります。

Type	H1/H1	K1/K2[HEX]	K1/K2[Binary]	SOH 1byte	POH 1byte
1 画面	978	1001	978	1001	1001
2 画面	1008	1016	1008	1017	1017
3 画面	1016	1016	1016	1017	1017

使用例　表示位置を 5 に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:JUMP:LINE 5

:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:JUMP:LINE?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　Analyze: Recall (OH capture)画面での表示位置（Number）を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:JUMP:LINE?
< 5

:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:SCRoll <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へスクロール
RIGHt	右へスクロール
UP	上へスクロール
DOWN	下へスクロール
HTOP	左端へ移動
HBOTtom	右端へ移動
VTOP	先頭へ移動
VBOTtom	後尾へ移動

機 能　Analyze:OH capture 画面でのスクロールを指示します。
制 約　次の場合無効となります。
・:SENSe:OHCapture:TYPE の設定が H1/H2,K1/K2 時。
・:SENSe:OHCapture:TYPE の設定が:SOH 1byte[TOH 1byte]，かつ 1 画面表示または 2 分割表示のとき。
・:SENSe:OHCapture:TYPE の設定が POH 1byte，かつ 1 画面表示または 2 分割表示のとき。
使用例　表の最終行へ移動する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:SCRoll VBOTtom

:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:PTYPe<type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

HEX	HEX
BINARY	Binary

機 能　データ表示形式を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
:SENSe:OHCapture:TYPE の設定が K1/K2 以外のとき。
使用例　表示形式を HEX に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:PTYPe HEX

:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:PTYPe?

レスポンス　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
機 能　データ表示形式の設定を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:PTYPe?
< HEX

:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:PRINt <from>,<to>

パラメータ　<from> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　1 ～ 1023　ステップ値：1
<to> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　from ～ 1023　ステップ値：1

機 能　印刷範囲を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
データが存在しない場合。

使用例　7 行目だけ印刷する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:PRINt 7,7

:DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:PRINt?

レスポンス　<from> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
<to> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　印刷範囲を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:RECall:OHCapture:PRINt?
< 7,7

:DISPlay:ANALysis:RECall:APSCapture:TITLe?

レスポンス　<title> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　Analyze:APS capture 画面でのタイトルを問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:APSCapture:TITLe?
< "TITLE-DISP　　"

:DISPlay:ANALysis:RECall:APSCapture:JUMP:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
　TRIGger　トリガ位置表示
　NUMBer　Number 位置表示

機 能　Analyze: Recall (APS capture)画面での表示位置を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
Capture データが存在しない場合。

使用例　Analyze: Recall (APS capture)画面での表示位置をトリガ表示位置に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:APSCapture:JUMP:TYPE TRIGger

:DISPlay:ANALysis:RECall:APSCapture:JUMP:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Analyze: Recall (APS capture)画面での表示位置を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:RECall:APSCapture:JUMP:TYPE?
< TRIG

:DISPlay:ANALysis:RECall:APSCapture:JUMP:LINE <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　1 ～ 55　ステップ値：1

機 能　Analyze: Recall (APS capture)画面での表示位置（Number）を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・Capture データが存在しない場合。
・:DISPlay:ANALysis:APSCapture:JUMP:TYPE の設定が Trigger のとき。
・Capture データ総数より大きい値のとき。

使用例　　表示位置を 5 に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:APSCapture:JUMP:LINE 5

:DISPlay:ANALysis:RECall:APSCapture:JUMP:LINE?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　　Analyze: Recall (APS capture)画面での表示位置（Number）を問い合わせます。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:RECall:APSCapture:JUMP:LINE?
< 5

:DISPlay:ANALysis:RECall:APSCapture:SCRoll <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

TOP	データ先頭位置へ移動
END	データ最終位置へ移動
UP	5 行スクロールアップ
DOWN	5 行スクロールダウン

機 能　　ASP Capture データ表のスクロールを行います。

使用例　　表の最終行へ移動する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:APSCapture:SCRoll END

:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:TITLe?

レスポンス　　<title> = <STRING RESPONSE DATA>
Recall:Frequency アナライズデータが存在しない場合は，以下の内容が出力されます。
< "No data"

機 能　　Analyze:Recall 画面(Frequency)での他タイトルを問い合わせます。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:TITLe?
< "TITLE-DISP　　"

:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:SCRoll <scroll>

パラメータ　　<scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へスクロール
RIGHt	右へスクロール
TOP	先頭へ移動
BOTTom	後尾へ移動

機 能　　Analyze:Recall 画面(Frequency)でのスクロールを指示します。

使用例　　左方向へスクロールする場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:SCRoll LEFT

:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:MARKer <marker>

パラメータ　　<marker> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へ 1Div 移動
RIGHt	右へ 1Div 移動

機 能　Analyze:Recall 画面(Frequency)でのマーカ移動を指示します。
制 約　次の場合無効となります。
Marker:OFF のとき。
使用例　右方向へ移動する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:MARKer RIGHt

:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:DATA?

レスポンス　<time>,<frequency>,<ppm>
※・Recall:Frequency アナライズデータが存在しない場合は，以下の内容が出力されます。
< "No data"
・マーカが OFF の場合は，以下の内容が出力されます。
< 0,0,0,0,0,0,"----------","--------"
機 能　Analyze:Recall 画面(Frequency)で，マーカが示すデータを問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:DATA?
< 1994,12,25,12,54,30,"　　1000.0"," +1000.0"

:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:INTerval <numeric>,<suffix>

パラメータ　<numeric> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
1, 15, 60
<suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
M　minute
機 能　Analyze:Recall 画面(Frequency)での時間軸の 1 目盛りの幅を設定します。
使用例　1 目盛りの幅を 1 分に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:INTerval 1,M

:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:INTerval?

レスポンス　<numeric> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
<suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
※Recall:Frequency アナライズデータが存在しない場合は，以下の内容が出力されます。
< "No data"
機 能　Analyze:Recall 画面(Frequency)での時間軸の 1 目盛りの幅を問い合わせます。
使用例　> :DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:INTerval?
< 1,M

:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:MDISplay <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　マーカ OFF
ON　or 1　マーカ ON
機 能　Analyze:Recall 画面(Frequency)でのマーカ表示を設定します。
使用例　Frequency のマーカ表示を ON に設定を行う場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:MDISplay 1

:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:MDISplay?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0　マーカ OFF

1　マーカ ON

※Recall:Frequency アナライズデータが存在しない場合は，以下の内容が出力されます。

< "No data"

機 能　Analyze:Recall 画面(Frequency)でのマーカ表示を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:MDISplay?

< 1

:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:FROM <numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5>[,<numeric6>]

パラメータ　<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

<numeric1> =　1994 ～ 2093 (year)

<numeric2> =　1 ～ 12 (month)

<numeric3> =　1 ～ 31 (day)

<numeric4> =　0 ～ 23 (hour)

<numeric5> =　0 ～ 59 (minute)

<numeric6> =　0 ～ 59 (second)

※パラメータで指定した時刻が存在しない場合，指定時刻以降で最も近い時刻が設定されます。なお，先頭データ時刻以前の時刻を設定した場合，先頭データ時刻が設定されます。また，最新データ時刻以降の時刻を設定した場合，最新データ時刻が設定されます。

機 能　Analyze:Recall 画面での Frequency グラフの表示開始位置を設定します。

使用例　1996 年 7 月 28 日 11 時 30 分 40 秒から表示する場合。

> :DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:FROM 1996,7,28,11,30,40

:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:FROM?

レスポンス　<numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5>,<numeric6>

= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

※Recall:Frequency アナライズデータが存在しない場合は，以下の内容が出力されます。

< "No data"

機 能　Analyze:Recall 画面での Frequency グラフの表示開始位置を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:FROM?

< 1996,7,28,11,30,40

:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:PRINt <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

DISPlay　Display

ALL　All

AFTer　After

BEFore　Before

機 能　Analyze:Recall 画面(Frequency)の印字範囲を指定します。

使用例　Frequency 画面範囲を設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:PRINt DISPlay

:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:PRINt?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

DISP	Display
ALL	All
AFT	After
BEF	Before

※Recall:Frequency アナライズデータが存在しない場合は，以下の内容が出力されます。
< "No data"

機 能　Analyze:Recall 画面(Frequency)の印字範囲を問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:PRINt?
< DISP

:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:SCALe <numeric>

パラメータ　<numeric> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

10	10 ppm
100	100 ppm
1000	1000 ppm

機 能　Analyze:Recall 画面(Frequency)でのグラフ縦軸スケールを設定します。

使用例　Frequency のグラフ縦軸スケールを 10ppm に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:SCALe 10

:DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:SCALe?

レスポンス　<numeric> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
※Recall:Frequency アナライズデータが存在しない場合は，以下の内容が出力されます。
< "No data"

使用例
> :DISPlay:ANALysis:RECall:FGRaph:SCALe?
< 10

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TYPE?

レスポンス　<type> = <STRING RESPONSE DATA>

"TRS"	Trouble search
"EALFGR"	Error/Alarm 測定 Frequency データ

機 能　Analyze:Recall 画面に表示されているデータ種別を問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TYPE?
< "EALFGR"

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:SCRoll <scroll>

パラメータ　<scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へスクロール
RIGHt	右へスクロール
TOP	先頭へ移動
BOTTom	後尾へ移動

機 能　Analyze: Sequence test 画面(Error/Alarm)でのスクロールを指示します。

制 約　次の場合無効となります。
・Sequence test が実行されていない場合。

使用例　右方向へスクロールする場合。
> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:SCRoll RIGHt

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:MARKer <marker>

パラメータ　<marker> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へ 1Div 移動
RIGHt	右へ 1Div 移動

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)でのマーカ移動を指示します。

制 約　次の場合無効となります。
・Sequence test が実行されていない場合。

使用例　右方向へ移動する場合。
> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:MARKer RIGHt

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:DATA?

レスポンス　<time>,<alarm1s>,<alarm1c>,<alarm2s>,<alarm2c>,<alarm3s>,<alarm3c>,<alarm4s>,<alarm4c>,<alarm5s>,<alarm5c>,<error1>,<error2>
:DISPlay:ANALysis:TGRaph:DATA? と同じです。

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)において，マーカが示すデータを問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:DATA?
< 2000,12,25,12,54,30," 1"," 1"," 0"," 0",
" 104"," 10"," 1"," 1"," 1"," 1",
" 189"," 3.3E-04"

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:INTerval <numeric>,<suffix>

パラメータ　<numeric> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
1, 15, 60
<suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

M	minute
S	Second

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)における時間軸の 1 目盛りの幅を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・Sequence test が実行されていない場合。
・測定時の，Setup:System 画面で Graph resolution により影響を受けます。

Graph resolution	分析グラフ間隔
1s	1s, 1min, 15min, 60min
1min	1min, 15min, 60min
15min	15min, 60min
60min	60min

使用例　　1 目盛りの幅を 1 分に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:INTerval 1,M

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:INTerval?

レスポンス　　<numeric> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
<suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)における時間軸の 1 目盛りの幅を問い合わせます。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:INTerval?
< 1,M

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:MDISplay <boolean>

パラメータ　　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	マーカ OFF
ON　or 1	マーカ ON

機 能　　Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)でのマーカの表示有無を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・Sequence test が実行されていない場合。

使用例　　マーカ表示を有りに設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:MDISplay ON

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:MDISplay?

レスポンス　　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0	マーカ OFF
1	マーカ ON

機 能　　Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)でのマーカの表示状態を問い合わせます。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:MDISplay?
< 1

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:SEARch <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

BEFore	Before サーチ
NEXT	Next サーチ

機 能　　Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)でのサーチを指示します。

制 約　　次の場合無効となります。
・Sequence test が実行されていない場合。
・:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:MDISplay が，<OFF>の場合。
・前方向に測定ポイントが存在しないときに，<BEFore>設定の場合。
・後方向に測定ポイントが存在しないときに，<NEXT>設定の場合。

使用例　　前方向にサーチを指示する場合。
> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:SEARch BEFore

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:FROM<numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5>,<numeric6>

パラメータ　<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

<numeric1> =　1994 ～ 2093 (year)
<numeric2> =　1 ～ 12 (month)
<numeric3> =　1 ～ 31 (day)
<numeric4> =　0 ～ 23 (hour)
<numeric5> =　0 ～ 59 (minute)
<numeric6> =　0 ～ 59 (second)

※パラメータで指定した時刻が存在しない場合，指定時刻以降で最も近い時刻が設定されます。なお，測定開始時刻以前の時刻を設定した場合，測定開始時刻が設定されます。また，ログ終了時刻以降の時刻を設定した場合，ログ終了時刻が設定されます。

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面での Error/Alarm グラフの表示開始位置を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・Sequence test が実行されていない場合。

使用例　2000 年 7 月 28 日 11 時 30 分 40 秒から表示する場合。

> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:FROM 2000,7,28,11,30,40

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:FROM?

レスポンス　<numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5>,<numeric6>
= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面での Error/Alarm グラフの表示開始位置を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:FROM?
< 2000,7,28,11,30,40

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ERRor <error1>,<error2>

パラメータ　<error1> = <STRING PROGRAM DATA>
<error2> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ERRor と同じです。

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面での Error/Alarm グラフに表示するエラー項目を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・Sequence test が実行されていない場合。

使用例　ビットエラーのエラーレートを表示する場合。

> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ERRor "BIT",ER

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ERRor?

レスポンス　<error1>,<error2>
<error1> = <STRING RESPONSE DATA>
<error2> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面での Error/Alarm グラフ表示するエラー項目を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ERRor?
< "BIT",ER

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm1 <alarm>

パラメータ　<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>
:DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1 と同様。

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 1 に表示するアラーム項目を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・Sequence test が実行されていない場合。

使用例　アラーム 1 に Power fail を表示する場合。
> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm1 "POWer"

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm1?

レスポンス　<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 1 に表示するアラーム項目を問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm1?
< "POW"

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm2 <alarm>

パラメータ　<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 2 に表示するアラーム項目を設定します。

制 約　:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm1 と同じです。

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm2?

レスポンス　<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>
:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm1? と同じです。

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 2 に表示するアラーム項目を問い合わせます。

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm3 <alarm>

パラメータ　<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 3 に表示するアラーム項目を設定します。

制 約　:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm1 と同じです。

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm3?

レスポンス　<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>
:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm1? と同じです。

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 3 に表示するアラーム項目を問い合わせます。

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm4 <alarm>

パラメータ　<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>
:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm1 と同じです。

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 4 に表示するアラーム項目を設定します。

制 約　:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm1 と同じです。

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm4?

レスポンス　<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>
:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm1? と同じです。

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 4 に表示するアラーム項目を問い合わせます。

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm5 <alarm>

パラメータ　<alarm> = <STRING PROGRAM DATA>
:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm1 と同じです。

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 5 に表示するアラーム項目を設定します。

制 約　:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm1 と同じです。

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm5?

レスポンス　<alarm> = <STRING RESPONSE DATA>
:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:ALARm1? と同じです。

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面でのアラーム 5 に表示するアラーム項目を問い合わせます。

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:PRINt <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

DISPlay	Display
ALL	All
AFTer	After
BEFore	Before

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)の印字範囲を指定します。

制 約　次の場合無効となります。
・Sequence test が実行されていない場合。

使用例　現在表示されている画面範囲を印字する場合。
> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:PRINt DISPlay

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:PRINt?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

DISP	Display
ALL	All
AFT	After
BEF	Before

使用例　> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:PRINt?
< DISP

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:TITLe?

レスポンス　<title> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面(Error/Alarm)でのグラフのタイトルを問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:TGRaph:TITLe?
< "TITLE-DISP　　"

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:TITLe?

レスポンス　<title> = <STRING RESPONSE DATA>
:DISPlay:ANALysis:TRAFfic:TITLe と同じです。

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)でのタイトルを問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:TITLe?
< "TITLE-DISP　　"

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:MDISplay <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	マーカ OFF
ON　or 1	マーカ ON

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)でのマーカ表示を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・Sequence test が実行されていない場合。
・データが存在しない場合。

使用例　Frequency のマーカ表示を ON に設定を行う場合。
> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:MDISplay 1

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:MDISplay?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0	マーカ OFF
1	マーカ ON

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)でのマーカ表示を問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:MDISplay?
< 1

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:SCRoll <scroll>

パラメータ　<scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へスクロール
RIGHt	右へスクロール
TOP	先頭へ移動
BOTTom	後尾へ移動

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)でのスクロールを指示します。

使用例　左方向へスクロールする場合。
> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:SCRoll LEFT

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:MARKer <marker>

パラメータ　<marker> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

LEFT	左へ 1Div 移動
RIGHt	右へ 1Div 移動

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)でのマーカ移動を指示します。

制 約　　次の場合無効となります。
・Sequence test が実行されていない場合。
・:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:MDISplay の設定が 0 (Marker:OFF)の場合。

使用例　　右方向へ移動する場合。
> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:MARKer RIGHt

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:DATA?

レスポンス　　<time>,<frequency>,<ppm>
:DISPlay:ANALysis:FGRaph:DATA と同じです。

機 能　　Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)で，マーカが示すデータを問い合わせます。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:DATA?
< 2000,12,25,12,54,30,"　　1000.0"," +1000.0"

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:INTerval <numeric>,<suffix>

パラメータ　　<numeric> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
1, 15, 60
<suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
M　　minute

機 能　　Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)に対する時間軸の 1 目盛りの幅を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・Sequence test が実行されていない場合。

使用例　　1 目盛りの幅を 1 分に設定する場合。
> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:INTerval 1,M

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:INTerval?

レスポンス　　<numeric> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
<suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　　Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)に対する時間軸の 1 目盛りの幅を問い合わせます。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:INTerval?
< 1,M

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:FROM<numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5>[,<numeric6>]

パラメータ　　<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
<numeric1> =　1994 ～ 2093 (year)
<numeric2> =　1 ～ 12 (month)
<numeric3> =　1 ～ 31 (day)
<numeric4> =　0 ～ 23 (hour)
<numeric5> =　0 ～ 59 (minute)
<numeric6> =　0 ～ 59 (second)
※パラメータで指定した時刻が存在しない場合，指定時刻以降で最も近い時刻が設定されます。なお，先頭データ時刻以前の時刻を設定した場合，先頭データ時刻が設定されます。また，最新データ時刻以降の時刻を設定した場合，最新データ時刻が設定されます。

機 能　　Analyze:SEQuencetest 画面での Frequency グラフの表示開始位置を設定します。

使用例　　2000 年 7 月 28 日 11 時 30 分 40 秒から表示する場合。

> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:FROM 2000,7,28,11,30,40

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:FROM?

レスポンス　　<numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5>,<numeric6>

= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　　Analyze:SEQuencetest 画面での Frequency グラフの表示開始位置を問い合わせます。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:FROM?

< 2000,7,28,11,30,40

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:PRINt <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

DISPlay	Display
ALL	All
AFTer	After
BEFore	Before

機 能　　Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)の印字範囲を指定します。

制 約　　次の場合無効となります。

・Sequence test が実行されていない場合。

使用例　　Frequency 画面範囲を設定する場合。

> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:PRINt DISPlay

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:PRINt?

レスポンス　　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

DISP	Display
ALL	All
AFT	After
BEF	Before

機 能　　Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)の印字範囲を問い合わせます。

使用例　　> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:PRINt?

< DISP

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:SCALe <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

10	10 ppm
100	100 ppm
1000	1000 ppm

機 能　　Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)でのグラフ縦軸スケールを設定します。

制 約　　次の場合無効となります。

・Sequence test が実行されていない場合。

使用例　　Frequency のグラフ縦軸スケールを 10ppm に設定します。

> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:SCALe 10

:DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:SCALe?

レスポンス　<numeric> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Analyze:SEQuencetest 画面(Frequency)でのグラフ縦軸スケールの設定を問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:ANALysis:SEQuencetest:FGRaph:SCALe?
< 10

:DISPlay:SETup[:NAME] <sdisplay>

パラメータ　<sdisplay> = <STRING PROGRAM DATA>

"MAPPing"	Mapping 副画面
"MEMory"	Memory 副画面
"PRINt"	Print 副画面
"FDISk"	Floppy disk 副画面
"SYSTem"	System 副画
"SPPData"	OH preset data 副画面
"TANDem"	Tandem 画面
"DMYPreset"	Dummy Preset 画面
"MEAScond"	Measurement condition 画面
"APSProg"	APS programable data 画面
"PTR64frame"	PTR 64frame 画面
"OHCHange"	OH change data 画面
"FMEMory”	Frame memory 画面
"SIGPreset”	Signaling preset 画面
"25G10Gcustom"	2.5G/10G custom 画面
"CUSTOmer"	Custom function 副画面
"IPPAcket"	IP packet 画面
"SEQuence"	Sequence test 画面
"ASETup"	Auto setup 副画面
"STESt"	Self test 副画面

機 能　Setup 主画面での副画面を選択します。

制 約　次の場合無効となります。
Test menu 主画面で設定した測定実行中時，<"STESt">設定の場合無効にします。

使用例　Setup 主画面での副画面を"PRINt"にします。
> :DISPlay:SETup:NAME "PRINt"
または :DISPlay:SETup "PRINt"（NAME はできます）

:DISPlay:SETup[:NAME]?

レスポンス　<display> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　Setup 主画面での副画面を問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:SETup:NAME?
または :DISPlay:SETup?（NAME はできます）
< "PRIN"

:DISPlay:SETup:BRATe <brate>

パラメータ　<brate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

M9953	9953Mbit/s
M2488	2488Mbit/s
M622	622Mbit/s
M156	156Mbit/s
M52	52Mbit/s

機 能　Setup 主画面(OH preset data 副画面)での OH プリセットデータの表示ビットレートを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・622M タイプインタフェースユニット未装着時，<M622>設定の場合。
・156M タイプインタフェース未装着かつ 2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着時，<M156>設定の場合。

使用例　622Mbit/s 用の表示をします。
> :DISPlay:SETup:BRATe M622

:DISPlay:SETup:BRATe?

レスポンス　<brate> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Setup 主画面(OH preset data 副画面)での OH プリセットデータの表示ビットレートを問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:SETup:BRATe?
< M622

:DISPlay:SETup:SOHCh <numeric>
:DISPlay:SETup:TOHCh <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　ステップ値:1

機 能　Setup 主画面(OH preset data 副画面)での OH プリセットデータの表示 SOH チャネルを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
2/8/34/139/156M(CMI)ユニットのみ装着の場合，無効とします。

使用例　SOH チャネル 4 の表示をします。
> :DISPlay:SETup:SOHCh 4

:DISPlay:SETup:SOHCh?
:DISPlay:SETup:TOHCh?

レスポンス　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Setup 主画面(OH preset data 副画面)での OH プリセットデータの表示 SOH チャネルを問い合わせます。

使用例　> :DISPlay:SETup:SOHCh?
< 4

:DISPlay:SETup:FDPage <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 7　ページ番号

機 能　Setup 主画面(Floppy Disk 副画面)でのページ切り替え指示をします。

使用例　2 ページ目に切り替える場合。
> :DISPlay:SETup:FDPage 2

:DISPlay:SETup:FDPage?

レスポンス　<numeric1>,<numeric2>
<numeric1> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
現ページ番号
1 ～ 7
<numeric2> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
全ページ数
1 ～ 7

機 能　Setup 主画面(Floppy Disk 副画面)において現在表示されているページ番号を問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:SETup:FDPage?
< 1,2

:DISPlay:SETup:OHPReset[:NAME] <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

SDH	SDH
SONET	SONET

機 能　Setup 画面の OH プリセットデータの表示切り替えを設定します。

制 約　次の場合無効となります。
Setup:Mapping 画面の Config の設定が NON の場合。

使用例　STM 画面に切り替える場合。
> :DISPlay:SETup:OHPReset:NAME STM
または,
> :DISPlay:SETup:OHPReset STM

:DISPlay:SETup:OHPReset[:NAME]?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

SDH	SDH
SONET	SONET
E3	E3
E4	E4
DS3Plcp	DS3 PLCP

機 能　Setup 画面の Oh プリセットデータの表示切り替えを問い合わせます。

使用例
> :DISPlay:SETup:OHPReset:NAME?
または,
> :DISPlay:SETup:OHPReset?
< STM

:DISPlay:SETup:PTR64:SCRoll <type>

パラメータ　<scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

UP	上へスクロール
DOWN	下へスクロール
TOP	先頭へ移動
BOTTom	後尾へ移動

機 能　Setup 画面の PTR64 frame でのスクロールを指示します。

使用例　上方向へスクロールする場合。
> :DISPlay:SETup:CELL:MEMorized:SCRoll UP

:DISPlay:SETup:FMEMory:JUMP <jump>

パラメータ　<jump> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 73	52M 時
1 ～ 253	156M 時
1 ～ 1063	622M 時
1 ～ 4303	2448M 時
1 ～ 17263	9953M 時

機 能　編集するための表示列番号の先頭値を設定します。

使用例　編集するための表示列番号を 7 に設定する場合。

> :DISPlay:SETup:FMEMory:JUMP 7

:DISPlay:SETup:FMEMory:JUMP?

レスポンス　<jump> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　編集する表示位置の設定を問い合わせます。

使用例　編集する表示位置の設定の問い合わせをする場合。

> :DISPlay:SETup:FMEMory:JUMP?

< 7

:DISPlay:SETup:FMEMory:SCRoll <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

TOP	先頭カラムへジャンプ
END	最後方カラムへジャンプ
NEXT	1 ページ分(18 カラム)進む
BEFOR	1 ページ分(18 カラム)戻る

機 能　Frame memory のペイロードデータの表示位置を設定します。

使用例　1 ページ分進ませる場合

> :DISPlay:SETup:FMEMory:SCRoll NEXT

:DISPlay:SETup:APS:SCRoll <type>

パラメータ　<scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

UP	上へスクロール
DOWN	下へスクロール
TOP	先頭へ移動
BOTTom	後尾へ移動

機 能　Setup 画面の APS program data におけるスクロールを指示します。

使用例　上方向へスクロールする場合。

>:DISPlay:SETup:APS:SCRoll UP

:DISPlay:SETup:SPR:SCRoll <type>

パラメータ　<scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

UP	上へスクロール
DOWN	下へスクロール
TOP	先頭へ移動
BOTTom	後尾へ移動

機 能　Setup 画面の S1 program data におけるスクロールを指示します。

使用例　上方向へスクロールする場合。

> :DISPlay:SETup:SPR:SCRoll UP

10.3.5　ROUTe subsystem

ROUTe サブシステムでは，コネクタを設定します。以下に，機能，コマンド，およびパラメータの一覧表と，コマンドの詳細説明を示します。

機能	コマンド	パラメータ
Page 10-408		
受信信号が 2M の場合の信号入力コネクタを選択	:ROUTe:INPut:SELect	port
受信信号が 2M の場合の信号入力コネクタの問い合わせ	:ROUTe:INPut:SELect?	
Page 10-408		
Through 機能の選択	:ROUTe:THRough[:TYPE]	boolean
Through 機能の設定状態を問い合わせ	:ROUTe:THRough[:TYPE]?	
Page 10-408		
Through on 時のデータの加工方法を設定	:ROUTe:THRough:MODE	mode
Through on 時のスルーデータ加工方法を問い合わせ	:ROUTe:THRough:MODE?	
Page 10-409		
Through on 時の OH overwrite の範囲を設定	:ROUTe:THRough:OH	otype
Through on 時の OH overwrite の範囲を問い合わせ	:ROUTe:THRough:OH?	
Through on 時の SOH 1byte overwrite のバイト位置を設定	:ROUTe:THRough:POSition:SOH1	posi
	:ROUTe:THRough:POSition:TOH1	posi
Through on 時の SOH 1byte overwrite のバイト位置を問い合わせ	:ROUTe:THRough:POSition:SOH1?	
	:ROUTe:THRough:POSition:TOH1?	
Through on 時の SOH 1byte のチャンネル位置を設定	:ROUTe:THRough:CHANel	ch
Through on 時の SOH 1byte のチャンネル位置を問い合わせ	:ROUTe:THRough:CHANel?	
Through on 時の POH 1byte overwrite の変更バイト位置を設定	:ROUTe:THRough:POSition:POH1	vctype, posi
Through on 時の POH 1byte overwrite の変更バイト位置を問い合わせ	:ROUTe:THRough:POSition:POH1?	
Page 10-412		
52M 信号の入力の設定	:ROUTe:M52:MINPut	type
52M 信号の入力の問い合わせ	:ROUTe:M52:MINPut?	
Page 10-413		
52M 信号の出力の設定	:ROUTe:M52:OUTPut	type
52M 信号の出力の問い合わせ	:ROUTe:M52:OUTPut?	

:ROUTe:INPut:SELect <port>

パラメータ　<port> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

PORT1	アンバランスコネクタ
PORT2	バランスコネクタ

機 能　受信信号が 2M の場合の信号入力コネクタを選択します。

制 約　次の場合無効とします。

・2/8/34/139/156M(CMI)ユニット未装着の場合。

・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M2>以外の場合。

使用例　入力コネクタをアンバランスに設定する場合。

> :ROUTe:INPut:SELect PORT1

:ROUTe:INPut:SELect?

レスポンス　<port> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　受信信号が 2M の場合の信号入力コネクタを問い合わせます。

使用例　> :ROUTe:INPut:SELect?

< PORT1

ROUTe:THRough[:TYPE] <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	Through OFF
ON or 1	Through ON

機 能　Through 機能を選択します。

制 約　次の条件をすべて満たしていない場合，無効となります。

・:INSTrument:COUPle が<ALL>に設定されている。

・:SENSe:TELecom:BRATe が<M622>または<M156>に設定されている。

・:SENSe:TELecom:MMODe が<ISERvice>に設定されている。

使用例　Through 機能を ON にする場合。

> :ROUTe:THRough ON

:ROUTe:THRough:[TYPE]?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　Through 機能の設定状態を問い合わせます。

制 約　次の場合無効となります。

・SYSTem:COUPled:M1656 が<ON>の場合。

使用例　> :ROUTe:THRough?

< 1

:ROUTe:THRough:MODE <mode>

パラメータ　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

（SDH）

TRANS	Transparent through
OH	OH overwrite
PAYLOAD	Payload overwrite
SOH1	SOH 1 byte overwrite
POH1	POH 1 byte overwrite

（SONET）

TRANS	Transparent through
OH	OH overwrite
PAYLOAD	Payload overwrite
TOH1	TOH 1 byte overwrite
POH1	POH 1 byte overwrite

機 能　Through on 時のスルーデータの加工方法を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM の場合。

・ROUTe:THRough[:TYPE] <OFF>の場合。

使用例　Through on 時のスルーデータ加工方法を OH overwrite に設定する場合。

> :ROUTe:THRough:MODE OH

:ROUTe:THRough:MODE?

レスポンス　<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Through on 時のスルーデータの加工方法を問い合わせます。

使用例　Through on 時のスルーデータの加工方法を問い合わせする場合。

> :ROUTe:THRough:MODE?

< OH

:ROUTe:THRough:OH <otype>

パラメータ　<otype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

SOH

POH

K1_K2

S1

機 能　Through on 時 OH overwrite の範囲を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・:INSTrument:CONFig <type> が NON,CID,ATM の場合。

・ROUTe:THRough[:TYPE] <OFF>の場合。

・ :ROUTe:THRough:MODE <OH>以外の場合。

・オプション 22 未実装時に<K1_K2>,<S1>を選択した場合。

使用例　Through on 時 OH overwrite の範囲を SOH に設定する場合。

> :ROUTe:THRough:OH SOH

:ROUTe:THRough:OH?

レスポンス　<otype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Through on 時 OH overwrite の範囲を問い合わせます。

使用例　Through on 時 OH overwrite の範囲を問い合わせする場合。

> :SOURce:TELecom:THRough:OH?

< SOH

:ROUTe:THRough:POSition:SOH1 <posi>
:ROUTe:THRough:POSition:TOH1 <posi>

パラメータ　　<posi> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH)

A11	A12	A13	A21	A22	A23	J0 Z01	X18	X19
X21	X22	X23	E1 X24	X25	X26	F1 X27	X28	X29
D1 X31	X32	X33	D2 X34	X35	X36	D3 X37	X38	X39
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	X54	X55	X56	X57	X58	X59
D4 X61	X62	X63	D5 X64	X65	X66	D6 X67	X68	X69
D7 X71	X72	X73	D8 X74	X75	X76	D9 X77	X78	X79
D10 X81	X82	X83	D11 X84	X85	X86	D12 X87	X88	X89
S1 Z11	Z12	Z13	Z21	Z22	E2 X97	Z23 M1	X98	X99

(SONET)

A11	A12	A13	A21	A22	A23	J0 Z01	Z02	Z03
X21	X22	X23	E1 X24	X25	X26	F1 X27	X28	X29
D1 X31	X32	X33	D2 X34	X35	X36	D3 X37	X38	X39
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	X54	X55	X56	X57	X58	X59
D4 X61	X62	X63	D5 X64	X65	X66	D6 X67	X68	X69
D7 X71	X72	X73	D8 X74	X75	X76	D9 X77	X78	X79
D10 X81	X82	X83	D11 X84	X85	X86	D12 X87	X88	X89
S1 Z11	Z12	Z13	Z21	Z22	Z23	Z23 M1	X98	X99

機 能　　Through on 時の SOH 1byte overwrite
[TOH 1byte overwrite] のバイト位置を設定します。

制 約　　次の場合無効になります。
・:INSTrument:CONFig <type>が NON,CID,ATM の場合。
・:ROUTe:THRough[:TYPE] <OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE <SOH1>,<TOH1>

使用例　　Through on 時の SOH 1byte overwrite のバイト位置を A11 に設定する場合。
>:ROUTe:THRough:POSition:SOH1 A11

:ROUTe:THRough:POSition:SOH1?
:ROUTe:THRough:POSition:TOH1?

レスポンス　<posi> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Through on 時に SOH 1byte overwrite
[TOH 1byte overwrite]のバイト位置を問い合わせます。

使用例　>:ROUTe:THRough:POSition:SOH1?
<A11

:ROUTe:THRough:CHANel <ch>

パラメータ　<ch> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64　ステップ値 1

機 能　Through on 時の SOH 1byte のチャネル位置を設定します。

制 約　次の場合無効になります。
・:INSTrument:CONFig <type>が NON,CID,ATM の場合。
・:ROUTe:THRough[:TYPE] <OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE <SOH1>,<TOH1>の場合

使用例　Through on 時の SOH 1byte overwrite のチャネルを 4 に設定する場合。
>:ROUTe:THRough:CHANel 4

:ROUTe:THRough:CHANel?

レスポンス　<ch> = <NR1 RESPONSE DATA>
1 ～ 64　ステップ値 1

機 能　Through on 時の SOH 1byte のチャネル位置を問い合わせます。

使用例　>:ROUTe:THRough:CHANel?
<4

:ROUTe:THRough:POSition:POH1 <vctype>,<posi>

パラメータ　<vctype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
(SDH)
VC4　POH VC4 パターン
VC3　POH VC3 パターン
VC1　POH VC2/1 パターン
(SONET)
STS3　POH STS3 パターン
STS1　POH STS1 パターン
VT　POH VT パターン
<posi> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
(SDH)　J1 C2 G1 F2 H4 F3 K3 N1 J2 N2 K4
(SONET)　J1 C2 G1 F2 H4 Z3 Z4 Z5 J2 Z6 Z7

機 能　Through on 時の POH 1byte overwrite の変更バイト位置を設定します。

制 約　次の場合無効になります。
・:INSTrument:CONFig <type>が NON,CID,ATM の場合。
・:ROUTe:THRough[:TYPE] <OFF>の場合。
・:ROUTe:THRough:MODE <POH1>の場合。
・VC4[STS3]は :SOURce:TELecom:MAPPing:AU の設定が<AU3>の場合。

・VC3[STS1]は :SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE の設定が
<VC4_ASY>,<VC4_BLK>,<VC4_64CBLK>, <VC4_16CBLK>,
<VC4_4CBLK>, <VC4_CBLK>または<ST3_ASY>, <ST3_BLK>,
<STS3_64CBLK>, <STS3_16CBLK>, <STS3_4CBLK>, <STS3_CBLK>
の場合。

・VC3[STS1]は :SOURce:TELecom:MAPPing:AU の設定は<AU4>の場合かつ，:SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE の設定が下記の Mapping 設定時。
<VC2_6MASY>, <VC2_6MBIT>, <VC2_BLK>, <VC2_MC>,
<VC12_ASY>, <VC12_BIF>, <VC12_BIL>, <VC12_BYF>,
<VC12_BYL>, <VC12_BLK>, <VC11_ASY>, <VC11_BIF>,
<VC11_BIL>, <VC11_BYF>, <VC11_BYL>, <VC11_BLK>,
<VC11_BYD>, <VC11_BYV>, <VC11_384D>, <VC11_384V> または
<VT6_ASY>, <VT6_BIT>, <VT6_BLK>, <VT6_MC>, <VT2_ASY>,
<VT2_BIF>, <VT2_BIL>, <VT2_BYF>, <VT2_BYL>, <VT2_BLK>,
<VT15_ASY>, <VT15_BIF>, <VT15_BIL>, <VT15_BYF>,
<VT15_BYL>, <VT15_BLK>, <VT15_ASY>, <VT15_BIF>,
<VT15_BIL>, <VT15_BYF>, <VT15_BYL>, <VT15_BLK>,
<VT15_BYD>, <VT15_BYV>, <VT15_384D>, <VT15_384V>

・VC2/1[VT]は :SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE の設定が下記の Mapping 設定時。
<VC4_ASY>, <VC4_BLK>, <VC4_64CBLK>, <VC4_16CBLK>,
<VC4_4CBLK>, <VC4_CBLK>, <VC3_ASY>, <VC3_SYN>,
<VC3_BLK>, <VC3_45MASY>, <VC12_BIL>, <VC12_BYL>,
<VC11_BIL>, <VC11_BYL> または <ST3_ASY>, <ST3_BLK>,
<STS3_64CBLK>, <STS3_16CBLK>, <STS3_4CBLK>, <STS3_CBLK>,
<VC3_ASY>, <VC3_SYN>, <STS1_45MASY>, <STS1_BLK>,
<VT2_BIL>, <VT2_BYL>, <VT15_BIL>, <VT15_BYL>

使用例　Through on 時の POH 1byte overwrite のバイト位置を VC4 J1 に設定する場合。
>:ROUTe:THRough:POSition:POH1 VC4,J1

:ROUTe:THRough:POSition:POH1?

レスポンス　<vctype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　Through on 時の POH 1byte overwrite の変更バイト位置を問い合わせます。

使用例　>:ROUTe:THRough:POSition:POH1?
<VC4,J1

:ROUTe:M52:MINPut <type>

パラメータ　<type> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　Monitor input OFF
ON or 1　Monitor input ON

機 能　52M 信号の入力を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・52M(Optical)ユニット未装着の場合。
・:SOURce:TELecom:BRATe が，<M52>以外の場合。

使用例　52M 信号の入力を Monitor input に設定する場合。
> :ROUTe:M52:MINPut ON

:ROUTe:M52:MINPut?

レスポンス　<type> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0	Monitor input OFF
1	Monitor input ON

機 能　52M 信号の入力を問い合わせます。
使用例　> :ROUTe:M52:INPut?
< 1

:ROUTe:M52:OUTPut <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

OPTical1	(1.31μm)
OPTical2	(1.55μm)

機 能　52M 信号の出力を設定をします。
制 約　次の場合無効となります。
・52M(Optical)ユニット未装着の場合。
・52M(1.31)ユニット未装着時，<OPTical1>設定の場合。
・52M(1.55)ユニット未装着時，<OPTical2>設定の場合。
・:SENSe:TELecom:BRATe が，<M52>以外の場合。
使用例　52M 信号の入力を Optical(1.31μm)に設定する場合。
> :ROUTe:M52:OUTPut OPTical1

:ROUTe:M52:OUTPut?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
OPT1
OPT2
機 能　52M 信号の出力を問い合わせます。
使用例　> :ROUTe:M52:OUTPut?
< OPT1

10.3.6　CALCulate subsystem

CALCulate サブシステムでは，パフォーマンス測定の設定や測定結果の表示を行います。以下に，機能，コマンド，およびパラメータの一覧表と，コマンドの詳細説明を示します。

機能	コマンド	パラメータ
Page 10-420		
パフォーマンス測定の種類の設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE	perform
パフォーマンス測定の種類を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE?	
パフォーマンス測定フレームの設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:FRAMe	pdhframe
パフォーマンス測定フレームを問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:FRAMe?	
M.2100パフォーマンス測定の，スレッショルド値による判定を行うかの設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:SET	boolean
M.2100パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:SET?	
M.2100パフォーマンス判定時の，スレッショルド値の設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:S1	numeric
M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)の問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:S1?	
M.2100パフォーマンス判定時の，スレッショルド値の設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:S2	numeric
M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:S2?	
M.2100パフォーマンス測定の，スレッショルド値による判定を行うかの設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:SET	boolean
M.2100パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:SET?	
M.2100パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:S1	numeric
M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:S1?	
M.2100パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:S2	numeric
M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:S2?	
M.2100パフォーマンス測定の，スレッショルド値による判定を行うかの設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:SET	boolean
M.2100パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:SET?	
M.2100パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:S1	numeric
M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:S1?	
M.2100パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:S2	numeric
M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:S2?	
M.2100パフォーマンス測定の，スレッショルド値による判定を行うかの設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:SET	boolean
M.2100パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:SET?	
M.2100パフォーマンス判定時の，スレッショルド値の設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:S1	numeric

M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)の問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:S1?	
M.2100パフォーマンス判定時の, スレッショルド値を設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:S2	numeric
M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:S2?	
M.2100パフォーマンス測定の, スレッショルド値による判定を行うかの設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:SET	boolean
M.2100パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:SET?	
M.2100パフォーマンス判定時の, スレッショルド値を設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:S1	numeric
M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:S1?	
M.2100パフォーマンス判定時の, スレッショルド値の設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:S2	numeric
M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:S2?	
M.2101パフォーマンス測定の, スレッショルド値による判定を行うかの設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:SET	boolean
M.2101パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:SET?	
M.2101パフォーマンス判定時の, スレッショルド値の設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:S1	numeric
M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:S1?	
M.2101パフォーマンス判定時の, スレッショルド値の設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:S2	numeric
M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:S2?	
M.2101パフォーマンス測定の, スレッショルド値による判定を行うかの設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:SET	boolean
M.2101パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:SET?	boolean
M.2101パフォーマンス判定時の, スレッショルド値の設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:S1	numeric
M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:S1?	
M.2101パフォーマンス判定時の, スレッショルド値の設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:S2	numeric
M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:S2?	
M.2101パフォーマンス測定の, スレッショルド値による判定を行うかの設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:SET	boolean
M.2101パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:SET?	
M.2101パフォーマンス判定時の, スレッショルド値の設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:S1	numeric
M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)の問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:S1?	
M.2101パフォーマンス判定時の, スレッショルド値の設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:S2	numeric
M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:S2?	
M.2101パフォーマンス測定の, スレッショルド値による判定を行うかの設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:SET	boolean

M.2101パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:SET?	
M.2101パフォーマンス判定時の, スレッショルド値の設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:S1	numeric
M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:S1?	
M.2101パフォーマンス判定時の, スレッショルド値の設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:S2	numeric
M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:S2?	
M.2101パフォーマンス測定の, スレッショルド値による判定を行うかの設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:SET	boolean
M.2101パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:SET?	
M.2101パフォーマンス判定時の, スレッショルド値の設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:S1	numeric
M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:S1?	
M.2101パフォーマンス判定時の, スレッショルド値の設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:S2	numeric
M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせ	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:S2?	
M.2110測定のBIS Limit タイプを設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:TYPe	type
M.2110測定のBIS Limitタイプの設定を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:TYPe?	
M.2110測定のBIS Limit値を設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:LIMit	limit
M.2110測定のBIS Limit値の設定を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:LIMit?	
M.2110測定の2 hour ES S1 スレッショルド値の設定	CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H2S1	numeric
M.2110測定の2 hour ES S1 スレッショルド値を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H2S1?	
M.2110測定の2 hour ES S2 スレッショルド値の設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H2S2	numeric
M.2110測定の2 hour ES S2 スレッショルド値を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H2S2?	
M.2110測定の24 hour ES S1 スレッショルド値の設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H24S1	numeric
M.2110測定の24 hour ES S1 スレッショルド値を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H24S1?	
M.2110測定の24 hour ES S2 スレッショルド値の設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H24S2	numeric
M.2110測定の24 hour ES S2 スレッショルド値を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H24S2?	
M.2110測定の7 day ES S1 スレッショルド値の設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:D7S1	numeric
M.2110測定の7 day ES S1 スレッショルド値を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:D7S1?	
M.2110測定の7 day ES S2 スレッショルド値の設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:D7S2	numeric
M.2110測定の7 day ES S2 スレッショルド値を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:D7S2?	
M.2110測定の2 hour SES S1 スレッショルド値の設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H2S1	numeric
M.2110測定の2 hour SES S1 スレッショルド値を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H2S1?	

M.2110測定の2 hour SES S2 スレッショルド値の設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H2S2	numeric
M.2110測定の2 hour SES S2 スレッショルド値を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H2S2?	
M.2110測定の24 hour SES S1 スレッショルド値の設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H24S1	numeric
M.2110測定の24 hour SES S1 スレッショルド値を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H24S1?	
M.2110測定の24 hour SES S2 スレッショルド値の設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H24S2	numeric
M.2110測定の24 hour SES S2 スレッショルド値を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H24S2?	
M.2110測定の7 day SES S1 スレッショルド値の設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:D7S1	numeric
M.2110測定の7 day SES S1 スレッショルド値を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:D7S1?	
M.2110測定の7 day SES S2 スレッショルド値の設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:D7S2	numeric
M.2110測定の7 day SES S2 スレッショルド値を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:D7S2?	
M.2120測定のスレッショルドタイプを設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:TYPe	type
M.2120測定のスレッショルドタイプの設定を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:TYPe?	
M.2120測定のスレッショルド値を設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:LIMit1	limit
M.2120測定のスレッショルド値の設定を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:LIMit1?	
M.2120測定のスレッショルド値を設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:LIMit2	limit
M.2120測定のスレッショルド値の設定を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:LIMit2?	
M.2120測定のES TR1(15分測定) スレッショルド値の設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:ES:TR1	numeric
M.2120測定のES TR1(15分測定) スレッショルド値を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:ES:TR1?	
M.2120測定のES TR2(24時間測定) スレッショルド値の設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:ES:TR2	numeric
M.2120測定のES TR2(24時間測定) スレッショルド値を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:ES:TR2?	
M.2120測定のSES TR1(15分測定) スレッショルド値の設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:SES:TR1	numeric
M.2120測定のSES TR1(15分測定) スレッショルド値を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:SES:TR1?	
M.2120測定のSES TR2(24時間測定) スレッショルド値の設定	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:SES:TR2	numeric
M.2120測定の SES TR2(24時間測定) スレッショルド値を問い合わせ	:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:SES:TR2?	

Page 10-442

現在または直前に行われた測定結果の問い合わせ	:CALCulate:DATA?	string

Page 10-458

測定結果の問い合わせ	:CALCulate:HISTory?	string

Page 10-458

トラブルサーチの判定結果を問い合わせ	:CALCulate:TSEarch:RESult?	

Page 10-458

トラブルサーチの結果データを問い合わせ	:CALCulate:TSEarch:DATA?	result

Page 10-461

エラーアラーム測定の分析結果を問い合わせ	:CALCulate:TGRaph:DATA?	numeric1 numeric2 numeric3 numeric4 numeric5 numeric6

Page 10-462

周波数モニタのグラフデータについての問い合わせ	:CALCulate:FGRaph:DATA?	Time number

Page 10-463

同時測定の結果の問い合わせ	:CALCulate:SIMultaneous:DATA?	ch1 ch2

Page 10-464

APSキャプチャの結果の問い合わせ	:CALCulate:APSCapture:DATA?	numeric1 numeric2

Page 10-464

フレームキャプチャデータの問い合わせ	:CALCulate:FRAMecapture:DATA?	start1 start2 stop1 stop2

Page 10-464

OHCapture測定の結果の問い合わせ	:CALCulate:OHCapture:DATA?	Type numeric1 numeric2

Page 10-465

現在画面に表示されているSource addressとDestination addressの問い合わせ	:CALCulate:IPCapture:LIST?	

Page 10-465

IPの Source addressとDestination addressの個数の問い合わせ	:CALCulate:IPCAPTure:PCOunt?	

Page 10-466

指定したNoのEtypeとIP header，およびstartとstopで指定したInformationデータの問い合わせ	:CALCulate:IPCapture:IPPacket?	no start stop

:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE <perform>

パラメータ　<perform> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

OFF	OFF
G821	G.821 パフォーマンス測定
G826	G.826 パフォーマンス測定
M2100	M.2100 パフォーマンス測定
M2101	M.2101 パフォーマンス測定
M2110	M.2110 パフォーマンス測定
M2120	M.2120 パフォーマンス測定

機 能　パフォーマンス測定の種類を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・下記の条件をすべて満たすとき，<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>設定の場合。

①:SENSe:TELecom:BRATe が，<M139>,<M45>,<M34>,<M8>,<M2><M1_5>

②:SENSe:TELecom:MMODe が，<ISERvice>

③:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が，<OFF>

④:SENSe:TELecom:FRAMing が，<OFF>

_ç:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE，<VC4_BLK>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>,<VC12_BLK>,<VC11_BLK>時,<G821>,<M2100>設定の場合。

・下記の条件をすべて満たすとき，<G821>,<M2100>設定の場合。

①:SENSe:TELecom:BRATe が，<M622>,<M156>,<M156CMI>,<M52B3ZS>

②:SENSe:TELecom:MMODe が，<ISERvice>

③:SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe が，<OFF>

④:SENSe:TELecom:FRAMing が，<OFF>

使用例　M.2100のパフォーマンス測定を行う場合。

> :CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE M2100

:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE?

レスポンス　<perform> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　パフォーマンス測定の種類を問い合わせます。

使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE?

< M2100

:CALCulate:TELecom:PERFormance:FRAMe <pdhframe>

パラメータ　<pdhframe> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

M139	139Mbit/s フレーム
M45	45Mbit/s フレーム
M34	34Mbit/s フレーム
M8	8Mbit/s フレーム
M2	2Mbit/s フレーム
M1_5	1.5Mbit/s フレーム

機 能　パフォーマンス測定フレームを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・1.5/45/52MB3ZS ユニットのみ装着の場合。

・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，<OFF>の場合。

・:SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE が，<VC4_BLK>,<VC3_BLK>,<VC2_BLK>,<VC2_MC>,<VC12_BLK>,<VC11_BLK>の場合。
・:SENSe:TELecom:MMODe が，<OSERvice>の場合。

使用例　パフォーマンス測定フレームを139Mbit/sフレームに設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:FRAMe M139

:CALCulate:TELecom:PERFormance:FRAMe?

レスポンス　<pdhframe> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　パフォーマンス測定フレームを問い合わせます。
使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:FRAMe
< M139

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:SET <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　判定を行わない。
ON or 1　判定を行います。

機 能　M.2100パフォーマンス測定の，スレッショルド値による判定を行うかどうかを設定します。
上記コマンドは，RxES の ON/OFF を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，<OFF>,<G821>,<OFF>,<G821>,<G826>,<M2101>,<M2110>,<M2120>の場合。

使用例　M.2100のRxESによる判定をONに設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:SET ON

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:SET?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0　判定を行わない。
1　判定を行います。

機 能　M.2100パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせます。
使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:SET?
< 1

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:S1 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 99998　ステップ 1

機 能　M.2100パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，RxES の S1(スレッショルドの下限値)を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，<OFF>,<G821>,<G826>,<M2101>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:SET が，<OFF>の場合。

使用例　M.2100のRxESのスレッショルド下限値を4に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:S1 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:S1?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)を問い合わせます。
使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:S1?
< 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:S2 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
(S1+1) ～ 99999 ステップ 1
機 能　M.2100パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，RxES の S2(スレッショルドの上限値)を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2101>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:SET が，
<OFF>の場合。
・S2 ≦ S1 のときに設定した場合。
使用例　M.2100のRxESのスレッショルド上限値を99999に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:S2 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:S2?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせます。
使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:S2?
< 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:SET <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　判定を行わない。
ON　or 1　判定を行います。
機 能　M.2100パフォーマンス測定の，スレッショルド値による判定を行うかどうかを設定します。
上記コマンドは，RxSES の ON/OFF を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2101>,<M2110>,<M2120>の場合。
使用例　M.2100のRxSESによる判定をONに設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:SET ON

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:SET?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0　判定を行わない。
1　判定を行います。
機 能　M.2100パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせます。
使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:SET?
< 1

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:S1 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 99998　ステップ 1

機 能　M.2100パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，RxSES の S1(スレッショルドの下限値)を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2101>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:SET が
<OFF>の場合。

使用例　M.2100のRxSESのスレッショルド下限値を4に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:S1 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:S1?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)を問い合わせます。

使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:S1?
< 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:S2 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
(S1+1) ～ 99999 ステップ 1

機 能　M.2100パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，RxSES の S2(スレッショルドの上限値)を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2101>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:SET が
<OFF>の場合。
・S2 ≦ S1 のときに設定した場合。

使用例　M.2100のRxSESのスレッショルド上限値を99999に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:S2
99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:S2?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA

機 能　M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせます。

使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:S2?
< 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:SET <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　判定を行わない。
ON　or 1　判定を行います。

機 能　M.2100パフォーマンス測定の，スレッショルド値による判定を行うかどうかを設定します。
上記コマンドは，RxUS の ON/OFF を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2101>,<M2110>,<M2120>の場合。
使用例　　M.2100のRxUSによる判定をONに設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:SET ON

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:SET?

レスポンス　　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0　　判定を行わない。
1　　判定を行います。
機 能　　M.2100パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせます。
使用例　　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:SET?
< 1

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:S1 <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 99998　　ステップ 1
機 能　　M.2100パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，RxUS の S1(スレッショルドの下限値)を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2101>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:SET が,
<OFF>の場合。
使用例　　M.2100のRxUSのスレッショルド下限値を4に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:S1 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:S1?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)を問い合わせます。
使用例　　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:S1?
< 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:S2 <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
(S1+1) ～ 99999　　ステップ 1
機 能　　M.2100パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，RxUS の S2(スレッショルドの上限値)を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2101>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:SET が,
<OFF>の場合。
・S2 ≦ S1 のときに設定した場合。
使用例　　M.2100のRxUSのスレッショルド上限値を99999に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US
:S2 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:S2?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせます。

使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:S2?
< 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:SET <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0　判定を行わない。
ON or 1　判定を行います。

機 能　M.2100パフォーマンス測定の，スレッショルド値による判定を行うかどうかを設定します。
上記コマンドは，TxES の ON/OFF を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，<OFF>,<G821>,<G826>,<M2101>,<M2110>,<M2120>の場合。
・2M が測定範囲外，または，:SENSe:TELecom:M2:CRC が<OFF>，または，:SENSe:TELecom:MMODe が<OSERvice>の場合。

使用例　M.2100のTxESによる判定をONに設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES :SET ON

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:SET?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0　判定を行わない。
1　判定を行います。

機 能　M.2100パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせます。

使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:SET?
< 1

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:S1 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0 ～ 99998　ステップ 1

機 能　M.2100パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，TxES の S1(スレッショルドの下限値)を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，<OFF>,<G821>,<G826>,<M2101>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:SET が，<OFF>の場合。
・2M が測定範囲外，または，:SENSe:TELecom:M2:CRC が<OFF>，または，:SENSe:TELecom:MMODe が<OSERvice>の場合。

使用例　M.2100のTxESのスレッショルド下限値を4に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:S1 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:S1?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)を問い合わせます。

使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:S1?
< 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:S2 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
(S1+1) ～ 99999 ステップ 1

機 能　M.2100パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，TxES の S2(スレッショルドの上限値)を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2101>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:SET
が，<OFF>の場合。
・2M が測定範囲外，または，:SENSe:TELecom:M2:CRC が<OFF>,
または，:SENSe:TELecom:MMODe が<OSERvice>の場合。
・S2 ≦ S1 のときに設定した場合。

使用例　M.2100のTxESのスレッショルド上限値を99999に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES
:S2 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:S2?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせます。

使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:S2?
< 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:SET <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　判定を行わない。
ON　or 1　判定を行います。

機 能　M.2100パフォーマンス測定の，スレッショルド値による判定を行うかどうかを設定します。
上記コマンドは，TxSES の ON/OFF を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2101>,<M2110>,<M2120>の場合。

使用例　M.2100のTxSESによる判定をONに設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:SET
ON

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:SET?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0　判定を行わない。
1　判定を行います。

機 能　M.2100パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせます。

使用例　　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES
:SET?
< 1

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:S1 <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 99998 ステップ 1

機 能　　M.2100パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
記コマンドは，TxSES の S1(スレッショルドの下限値)を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2101>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES
:SET が，<OFF>の場合。
・2M が測定範囲外，または，:SENSe:TELecom:M2:CRC が<OFF>,
または:SENSe:TELecom:MMODe が<OSERvice>の場合。

使用例　　M.2100のRxESのスレッショルド下限値を4に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:S1 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:S1?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　　M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)を問い合わせます。

使用例　　M.2100のRxTXSESのスレッショルド下限値を4に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:S1?
< 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:S2 <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
(S1+1) ～ 99999 ステップ 1

機 能　　M.2100パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，TxSES の S2(スレッショルドの上限値)を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2101>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES
:SET が，<OFF>の場合。
・2M が測定範囲外，または:SENSe:TELecom:M2:CRC が<OFF>,
または，:SENSe:TELecom:MMODe が<OSERvice>の場合。
・S2 ≦ S1 のときに設定した場合。

使用例　　M.2100のTxSESのスレッショルド上限値を99999に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES
:S2 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:S2?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　　M.2100パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせます。

使用例　　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:S2
?
< 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:SET <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　判定を行わない。
ON or 1　判定を行います。

機 能　M.2101パフォーマンス測定の，スレッショルド値による判定を行うかどうかを設定します。
上記コマンドは，RxES の ON/OFF を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2110>,<M2120>の場合。

使用例　M.2101のRxESによる判定をONに設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:SET ON

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:SET?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0　判定を行わない。
1　判定を行います。

機 能　M.2101パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせます。

使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:SET?
< 1

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:S1 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 99998　ステップ 1

機 能　M.2101パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，RxES の S1(スレッショルドの下限値)を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:SET が，
<OFF>の場合。

使用例　M.2101のRxESのスレッショルド下限値を4に設定する場合。
:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:S1 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:S1?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)を問い合わせます。

使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:S1?
< 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:S2 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
(S1+1) ～ 99999 ステップ 1

機 能　M.2101パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，RxES の S2(スレッショルドの上限値)を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2110>,<M2120>の場合。

・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:SET が，<OFF>の場合。
・S2 ≦ S1 のときに設定した場合。

使用例　M.2101のRxESのスレッショルド上限値を99999に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:S2 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:S2?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせます。
使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:S2?
< 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:SET <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　判定を行わない。
ON or 1　判定を行います。

機 能　M.2101パフォーマンス測定の，スレッショルド値による判定を行うかどうかを設定します。
上記コマンドは，RxSES の ON/OFF を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2110>,<M2120>の場合。

使用例　M.2101のRxSESによる判定をONに設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:SET ON

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:SET?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0　判定を行わない。
1　判定を行います。

機 能　M.2101パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせます。
使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:SET?
< 1

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:S1 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 99998　ステップ 1

機 能　M.2101パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，RxSES の S1(スレッショルドの下限値)を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:SET が，<OFF>の場合。

使用例　M.2101のRxSESのスレッショルド下限値を4に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:S1 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:S1?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)を問い合わせます。

使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:S1?
< 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:S2 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
(S1+1) ～ 99999 ステップ 1

機 能　M.2101パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，RxSES の S2(スレッショルドの上限値)を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:SET
が，<OFF>の場合。
・S2 ≦ S1 のときに設定した場合。

使用例　M.2101のRxSESのスレッショルド上限値を99999に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES
:S2 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:S2?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせます。

使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:S2?
< 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:SET <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	判定を行わない。
ON or 1	判定を行います。

機 能　M.2101パフォーマンス測定の，スレッショルド値による判定を行うかどうか設定します。
上記コマンドは，RxUS の ON/OFF を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2110>,<M2120>の場合。

使用例　M.2101のRxUSによる判定をONに設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:SET ON

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:SET?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0	判定を行わない。
1	判定を行います。

機 能　M.2101パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせます。

使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:SET?
< 1

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:S1 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 99998　ステップ 1

機 能　M.2101パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，RxUS の S1(スレッショルドの下限値)を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:SET
が，<OFF>の場合。

使用例　M.2101のRxUSのスレッショルド下限値を4に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:S1 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:S1?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)を問い合わせます。

使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:S1?
< 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:S2 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
(S1+1) ～ 99999 ステップ 1

機 能　M.2101パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，RxUS の S2(スレッショルドの上限値)を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:SET
が，<OFF>の場合。
・S2 ≦ S1 のときに設定した場合。

使用例　M.2101のRxUSのスレッショルド上限値を99999に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US
:S2 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:S2?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせます。

使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:S2?
< 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:SET <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　判定を行わない。
ON　or 1　判定を行います。

機 能　M.2101パフォーマンス測定の，スレッショルド値による判定を行うかどうかを設定します。
上記コマンドは，TxES の ON/OFF を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2110>,<M2120>の場合。
・2M が測定範囲外，または，:SENSe:TELecom:M2:CRC が<OFF>，
または，:SENSe:TELecom:MMODe が<OSERvice>の場合。

使用例　　M.2101のTxESによる判定をONに設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:SET
ON

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:SET?

レスポンス　　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0　　判定を行わない。
1　　判定を行います。

機 能　　M.2101パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせます。

使用例　　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:SET?
< 1

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:S1 <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 99998　　ステップ 1

機 能　　M.2101パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，TxES の S1(スレッショルドの下限値)を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:SET
が，<OFF>の場合。
・2M が測定範囲外，または:SENSe:TELecom:M2:CRC が<OFF>，
または，:SENSe:TELecom:MMODe が<OSERvice>の場合。

使用例　　M.2101のTxESのスレッショルド下限値を4に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:S1 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:S1?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　　M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)を問い合わせます。

使用例　　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:S1?
< 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:S2 <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
(S1+1) ～ 99999 ステップ 1

機 能　　M.2101パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，TxES の S2(スレッショルドの上限値)を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，<OFF>，<G821>，
<G826>，<M2100>，<M2110>，または<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:SET
が，<OFF>の場合。

・2M が測定範囲外，:SENSe:TELecom:M2:CRC が<OFF>，または，:SENSe:TELecom:MMODe が<OSERvice>の場合。
・S2 ≦ S1 のときに設定した場合。

使用例　M.2101のTxESのスレッショルド上限値を99999に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES
:S2 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:S2?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせます。
使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:S2?
< 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:SET <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　判定を行わない。
ON or 1　判定を行います。

機 能　M.2101パフォーマンス測定の，スレッショルド値による判定を行うかを設定します。
上記コマンドは，TxSES の ON/OFF を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，<OFF>，<G821>，<G826>，<M2100>，<M2110>，または<M2120>の場合。

使用例　M.2101のTxSESによる判定をONに設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:SET
ON

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:SET?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0　判定を行わない。
1　判定を行います。

機 能　M.2101パフォーマンスのスレッショルド判定の設定を問い合わせます。
使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:SE
:SE T?
< 1

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:S1 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 99998　ステップ 1

機 能　M.2101パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，TxSES の S1(スレッショルドの下限値)を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES
:SET が，<OFF>の場合。
・2M が測定範囲外，または:SENSe:TELecom:M2:CRC が<OFF>，
または，:SENSe:TELecom:MMODe が<OSERvice>の場合。

使用例　M.2101のRxESのスレッショルド下限値を4に設定する場合。
:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:S1 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:S1?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(下限値)を問い合わせます。
使用例　M.2101のRxTXSESのスレッショルド下限値を4に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:S1?
< 4

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:S2 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
(S1+1) ～ 99999 ステップ 1
機 能　M.2101パフォーマンス判定時の，スレッショルド値を設定します。
上記コマンドは，TxSES の S2(スレッショルドの上限値)を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2110>,<M2120>の場合。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES
:SET が，<OFF>の場合。
・2M が測定範囲外，または，:SENSe:TELecom:M2:CRC が<OFF>,
または，:SENSe:TELecom:MMODe が<OSERvice>の場合。
・S2 ≦ S1 のときに設定した場合。
使用例　M.2101のTxSESのスレッショルド上限値を99999に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:S2
99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:S2?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　M.2101パフォーマンスのスレッショルド値(上限値)を問い合わせます。
使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:S2?
< 99999

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

PATH	Path allocation
USER	User

機 能　M.2110測定のBISLimitを設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が，
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2120>の場合。
使用例　M.2110測定のBIS LimitをUserに設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:TYPe USER

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　M.2110 の測定の BIS Limit の設定を問い合わせます。
使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:TYPe?
< USER

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:LIMit <limit>

パラメータ　<limit> = <NON-DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0.5 ～ 63.0　ステップ値：0.5

機 能　M.2110 測定の BISLimit を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2120>の場合。

使用例　M.2110測定のBIS Limitを7.5に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:LIMit 7.5

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:LIMit?

レスポンス　<numeric> = <NR2 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　M.2110の測定のBIS Limitの設定を問い合わせます。

使用例　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:LIMit?
< 7.5

CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H2S1 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 7119　ステップ値：1

機 能　M.2110の測定の2 hour ES S1 THReshold値を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2120>の場合。

使用例　M.2110の測定の2 hour ES S1 THReshold値を500に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H2S1 500

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H2S1?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　M.2110の測定の2 hour ES S1 THReshold値を問い合わせます。

使用例　M.2110の測定の2 hour ES S1 THReshold値の問い合わせをする場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H2S1?
> 500

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H2S2 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
2 hour ES S1 値+1 ～ 7200　ステップ値：1

機 能　M.2110の測定の2 hour ES S2 THReshold値を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2120>の場合。

使用例　M.2110の測定の2 hour ES S2 THReshold値を850に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H2S2 850

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H2S2?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　M.2110の測定の2 hour ES S2 THReshold値を問い合わせます。

使用例　M.2110の測定の2 hour ES S2 THReshold値の問い合わせをする場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H2S1?
> 850

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H24S1 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 86399 ステップ値：1

機 能　M.2110の測定の24 hour ES S1 THReshold値を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2120>の場合。

使用例　M.2110の測定の24 hour ES S1 THReshold値を850に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H24S1
850

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H24S1?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　M.2110の測定の24 hour ES S1 THReshold値を問い合わせます。

使用例　M.2110の測定の24 hour ES S1 THReshold値の問い合わせをする場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H24S1?
> 850

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H24S2 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
24 hour ES S1 値+1 ～ 86400　ステップ値：1

機 能　M.2110の測定の24 hour ES S2 THReshold値を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2120>の場合。

使用例　M.2110の測定の24 hour ES S2 THReshold値を850に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H24S2
850

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H24S2?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　M.2110の測定の24 hour ES S2 THReshold値を問い合わせます。

使用例　M.2110の測定の24 hour ES S2 THReshold値を問い合わせる場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H24S2?
> 850

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:D7S1 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 99998 ステップ値：1

機 能　M.2110の測定の7 day ES S1 THReshold値を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2120>の場合。

使用例　M.2110の測定の7 day ES S1 THReshold値を850に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:D7S1
12340

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:D7S1?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　M.2110の測定の7 day ES S1 THReshold値を問い合わせます。
使用例　M.2110の測定の7 day ES S1 THReshold値の問い合わせをする場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:D7S1?
> 12340

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:D7S2 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
7 day ES S1 値+1 ～ 99999　ステップ値：1
機 能　M.2110の測定の7 day ES S2 THReshold値を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2120>の場合。
使用例　M.2110の測定の7 day ES S2 THReshold値を850に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:D7S2
12340

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:D7S2?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　M.2110の測定の7 day ES S2 THReshold値を問い合わせます。
使用例　M.2110の測定の7 day ES S2 THReshold値の問い合わせをする場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:D7S2?
>12340

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H2S1 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 711　ステップ値：1
機 能　M.2110の測定の2 hour SES S1 THReshold値を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2120>の場合。
使用例　M.2110の測定の2 hour SES S1 THReshold値を500に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H2S1
500

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H2S1?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　M.2110の測定の2 hour SES S1 THReshold値を問い合わせます。
使用例　M.2110の測定の2 hour SES S1 THReshold値の問い合わせをする場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H2S1?
> 500

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H2S2 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
2 hour SES S1 値+1 ～ 7200　ステップ値：1
機 能　M.2110の測定の2 hour SES S2 THReshold値を設定します。

制 約　　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2120>の場合。
使用例　　M.2110の測定の2 hour SES S2 THReshold値を850に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H2S2
850

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H2S2?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　M.2110測定の2 hour SES S2 THReshold値を問い合わせます。
使用例　　M.2110測定の2 hour SES S2 THReshold値の問い合わせ
る場合。
>　:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H2S1?
> 850

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H24S1 <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 86399 ステップ値：1
機 能　　M.2110の測定の24 hour SES S1 THReshold値を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2120>の場合。
使用例　　M.2110の測定の24 hour SES S1 THReshold値を850に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H24S1
850

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H24S1?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　M.2110測定の24 hour SES S1 THReshold値を問い合わせます。
使用例　　M.2110測定の24 hour SES S1 THReshold値の問い合わせを
する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H24S1?
> 850

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H24S2 <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
24 hour SES S1 値+1 ～ 86400　ステップ値：1
機 能　　M.2110の測定の24 hour SES S2 THReshold値を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2120>の場合。
使用例　　M.2110の測定の24 hour SES S2 THReshold値を850に設定する場合
。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H24S2
850

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H24S2?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　M.2110測定の24 hour SES S2 THReshold値を問い合わせます。
使用例　M.2110測定の24 hour SES S2 THReshold値の問い合わせをする場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H24S2?
＞850

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:D7S1 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 99998　ステップ値：1
機 能　M.2110の測定の7 day SES S1 THReshold値を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2120>の場合。
使用例　M.2110の測定の7 day SES S1 THReshold値を850に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:D7S1
12340

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:D7S1?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　M.2110測定の7 day SES S1 THReshold値を問い合わせます。
使用例　M.2110測定の7 day SES S1 THReshold値の問い合わせをする場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:D7S1?
> 12340

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:D7S2 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
7 day ES S1 値+1 ～ 99999　ステップ値：1
機 能　M.2110の測定の7 day SES S2 THReshold値を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2120>の場合。
使用例　M.2110の測定の7 day SES S2 THReshold値を850に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:D7S2
12340

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:D7S2?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　M.2110の測定の7 day SES S2 THReshold値を問い合わせます。
使用例　M.2110の測定の7 day SES S2 THReshold値の問い合わせをする場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:D7S2?
> 12340

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
PATH　Path allocation
USER　User

機 能　　M.2120測定のThresholdを設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2110>の場合。
使用例　　M.2120測定のThreshold(1)をUserに設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:TYPe USER

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:TYPE?

レスポンス　　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　　M.2120測定のThresholdの設定を問い合わせます。
使用例　　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:TYPe?
< USER

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:LIMit1 <limit>

パラメータ　　<limit> = <NON-DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0.5 ～ 63.0　　ステップ値：0.5
機 能　　M.2120測定のThresholdを設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2110>の場合。
使用例　　M.2120測定のThresholdを7.5に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:LIMit1 7.5

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:LIMit1?

レスポンス　　<numeric> = <NR2 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　M.2120測定のThresholdの設定を問い合わせます。
使用例　　>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:LIMit1?
<7. 5

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:LIMit2 <limit>

パラメータ　　<limit> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 100　　ステップ値：1
機 能　　M.2120測定のThresholdを設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2110>の場合。
使用例　　M.2120測定のThresholdを7に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:LIMit2 7

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:LIMit2?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　M.2120の測定のThresholdの設定を問い合わせます。
使用例　　> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:LIMit2?
< 7

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:ES:TR1 <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 900　　ステップ値：1

機 能　　M.2120の測定のES TR1(15-minute) THReshold値を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2110>の場合。
使用例　　M.2120の測定の ES TR1 THReshold値を500に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:ES:TR1 500

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:ES:TR1?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　M.2120測定の　ES TR1 THReshold値を問い合わせます。
使用例　　M.2120測定の　ES TR1 THReshold値の問い合わせをする場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:ES:TR1?
> 500

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:ES:TR2 <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 86400　　ステップ値：1
機 能　　M.2120の測定の ES TR2 THReshold値を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2110>の場合。
使用例　　M.2120の測定の ES TR2 THReshold値を850に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:ES:TR2 850

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:ES:TR2?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　M.2120測定の　ES TR2 THReshold値を問い合わせます。
使用例　　M.2120測定の　ES TR2 THReshold値の問い合わせをする場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:ES:TR2?
> 850

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:SES:TR1 <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
(ES+1) ～ 900　ステップ値：1
機 能　　M.2120の測定のSES TR1(15-minute) THReshold値を設定します。
制 約　　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2110>の場合。
使用例　　M.2120の測定の SES TR1 THReshold値を500に設定する場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:SES
:TR1 500

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:SES:TR1?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　M.2120の測定のESS TR1(15-minute) THReshold値を問い合わせます。
使用例　　M.2120の測定の　SES TR1 THReshold値の問い合わせをする場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:SES:TR1?
> 500

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:SES:TR2 <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
(ES+1) ～ 86400　ステップ値：1

機 能　M.2120の測定の SES TR2(24-hour) THReshold値を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
・:CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE が,
<OFF>,<G821>,<G826>,<M2100>,<M2101>,<M2110>の場合。

使用例　M.2120の測定の SES TR2 THReshold値を850に設定する場合。
>:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:SES:TR2 850

:CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:SES:TR2?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　M.2120測定のSES TR2(24-hour) THReshold値を問い合わせます。

使用例　M.2120測定のSES TR2 THReshold値の問い合わせをする場合。
> :CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:SES:TR2?
> 850

:CALCulate:DATA? <string>

パラメータ　<string> = <STRING PROGRAM DATA>
"[CURRent:]<result>"　現在の測定結果
"LAST:<result>"　直前の測定結果
<result>の内容は下記の表を参照。

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
下記の表を参照。

機 能　パラメータに対応した測定結果を問い合わせます。

使用例　ビットエラーのEC現在値を問い合わせる場合。
:CALCulate:DATA? "CURRent:EC:BIT"
, または :CALCulate:DATA? "EC:BIT"(CURRent:は省略可)
< "　892"

測定結果の問い合わせ内容　(1/23)

項目		<result>	レスポンス・フォーマット
EC	B1 エラー	"EC:B1"	Form1
	B2 エラー	"EC:B2"	Form1
	HP-B3 エラー	"EC:B3:HP"	Form1
	LP-B3 エラー	"EC:B3:LP"	Form1
	BIP-2 エラー	"EC:BIP2"	Form1
	MS-REI エラー	"EC:REI:MS"　(SDH)	Form1
	HP-REI エラー	"EC:REI:HP"　(SDH)	Form1
	LP-REI エラー	"EC:REI:LP"　(SDH)	Form1
	REI-L エラー	"EC:REI:L"　(SONET)	Form1
	REI-P エラー	"EC:REI:P"　(SONET)	Form1
	REI-V エラー	"EC:REI:V"　(SONET)	Form1
	コードエラー	"EC:CODE"	Form1
	139M フレームエラー	"EC:FRAMe:M139"	Form1
	45M フレームエラー	"EC:FRAMe:M45"	Form1
	34M フレームエラー	"EC:FRAMe:M34"	Form1
	8M フレームエラー	"EC:FRAMe:M8"	Form1
	2M フレームエラー	"EC:FRAMe:M2"	Form1
	1.5M フレームエラー	"EC:FRAMe:M1_5"	Form1
	139M REI エラー	"EC:REI:M139"	Form1
	45M REI エラー	"EC:REI:M45"	Form1
	34M REI エラー	"EC:REI:M34"	Form1
	REI PLCP エラー	"EC:REI:PLCP"	Form1
	CRC-4 エラー	"EC:CRC4"	Form1
	E-Bit エラー	"EC:EBIT"	Form1
	BIP-8 エラー	"EC:BIP8"	Form1
	Parity エラー	"EC:PARITY"	Form1
	C-Bit エラー	"EC:CBIT"	Form1
	CRC-6 エラー	"EC:CRC6"	Form1
	Cell エラー	"EC:CELL"	Form1
	Corrected エラー	"EC:CORR"	Form1
	Discarded エラー	"EC:DISC"	Form1
	Nonconf エラー	"EC:NONCONF"	Form1
	Errored cell エラー	"EC:ERRORED"	Form1
	Lost cell エラー	"EC:LOST"	Form1
	Misinserted エラー	"EC:MISINS"	Form1
	SECB エラー	"EC:SECB"	Form1
	SAR-PDU エラー	"EC:SARPDU"	Form1
	SNP エラー	"EC:SNP"	Form1
	Uncorect SNP エラー	"EC:UCSNP"	Form1
	P エラー	"EC:P"	Form1

測定結果の問い合わせ内容　(2/23)

項目		<result>	レスポンス・フォーマット
EC	OSF エラー	"EC:OSF"	Form1
	SN エラー	"EC:SN"	Form1
	CPS-Packet エラー	"EC:CPSPKT"	Form1
	HEC error エラー	"EC:CPSHEC"	Form1
	Length エラー	"EC:LI"	Form1
	indicater エラー		
	Length エラー	"EC:LENGTH"	Form1
	CPCS-PDU エラー	"EC:CPCS"	Form1
	MID エラー	"EC:MID"	Form1
	CRC10 エラー	"EC:CRC10"	Form1
	Discarded エラー	"EC:DISCPDU"	Form1
	PDU エラー		
	HP-IEC エラー	“EC:HIEC”	Form1
	HP-TC-REI エラー	“EC:HTREI”	Form1
	HP-OEI エラー	“EC:HOEI”	Form1
	LP-IEC エラー	“EC:LIEC”	Form1
	LP-TC-REI エラー	“EC:LTREI”	Form1
	LP-OEI エラー	“EC:LOEI”	Form1
	N2 BIP-2 エラー	“EC:N2BIP2”	Form1
	OH Bit エラー	“EC:OHBIT”	Form1
	Segment type エラー	"EC:ST"	Form1
	Abort エラー	"EC:ABORT"	Form1
	Undelivered エラー	"EC:UDLVPDU"	Form1
	PDU エラー		
	CPI エラー	"EC:CPI"	Form1
	B/ETag エラー	"EC:BETAG"	Form1
	BASize エラー	"EC:BASIZE"	Form1
	AL エラー	"EC:AL"	Form1
	Frame size エラー	"EC:FSIZE"	Form1
	CRC32 エラー	"EC:CRC32"	Form1
	FM Lost エラー	"EC:FM:LOST"	Form1
	FM エラー	"EC:FM:MISINS"	Form1
	Misinserted エラー		
	FM BIPV エラー	"EC:FM:BIPV"	Form1
	FM SECB エラー	"EC:FM:SECB"	Form1
	BR Lost エラー	"EC:BR:LOST"	Form1
	BR エラー	"EC:BR:MISINS"	Form1
	Misinserted エラー		
	BR BIPV エラー	"EC:BR:BIPV"	Form1
	BR SECB エラー	"EC:BR:SECB"	Form1
	ビットエラー	"EC:BIT"	Form1
	CID PKT エラー	"EC:CIDPKT"	Form1

測定結果の問い合わせ内容　(3/23)

項目		<result>	レスポンス・フォーマット
ER	B1 エラー	"ER:B1"	Form2
	B2 エラー	"ER:B2"	Form2
	HP-B3 エラー	"ER:B3:HP"	Form2
	LP-B3 エラー	"ER:B3:LP"	Form2
	BIP-2 エラー	"ER:BIP2"	Form2
	MS-REI エラー	"ER:REI:MS"　(SDH)	Form2
	HP-REI エラー	"ER:REI:HP"　(SDH)	Form2
	LP-REI エラー	"ER:REI:LP"　(SDH)	Form2
	REI-L エラー	"ER:REI:L"　(SONET)	Form2
	REI-P エラー	"ER:REI:P"　(SONET)	Form2
	REI-V エラー	"ER:REI:V"　(SONET)	Form2
	コードエラー	"ER:CODE"	Form2
	139M フレームエラー	"ER:FRAMe:M139"	Form2
	45M フレームエラー	"ER:FRAMe:M45"	Form2
	34M フレームエラー	"ER:FRAMe:M34"	Form2
	8M フレームエラー	"ER:FRAMe:M8"	Form2
	2M フレームエラー	"ER:FRAMe:M2"	Form2
	1.5M フレームエラー	"ER:FRAMe:M1_5"	Form2
	139M REI エラー	"ER:REI:M139"	Form2
	45M REI エラー	"ER:REI:M45"	Form2
	34M REI エラー	"ER:REI:M34"	Form2
	REI PLCP エラー	"ER:REI:PLCP"	Form2
	CRC-4 エラー	"ER:CRC4"	Form2
	E-Bit エラー	"ER:EBIT"	Form2
	BIP-8 エラー	"ER:BIP8"	Form2
	Parity エラー	"ER:PARITY"	Form2
	C-Bit エラー	"ER:CBIT"	Form2
	CRC-6 エラー	"ER:CRC6"	Form2
	Cell エラー	"ER:CELL"	Form1
	Corrected エラー	"ER:CORR"	Form1
	Discarded エラー	"ER:DISC"	Form1
	Nonconf エラー	"ER:NONCONF"	Form1
	Errored cell エラー	"ER:ERRORED"	Form1
	Lost cell エラー	"ER:LOST"	Form1
	Misinserted エラー	"ER:MISINS"	Form1
	SECB エラー	"ER:SECB"	Form1
	SAR-PDU エラー	"ER:SARPDU"	Form1
	SNP エラー	"ER:SNP"	Form1
	Uncorect SNP エラー	"ER:UCSNP"	Form1
	P エラー	"ER:P"	Form1
	OSF エラー	"ER:OSF"	Form1
	SN エラー	"ER:SN"	Form1
	HEC error エラー	"ER:CPSHEC"	Form1
	Length エラー	"ER:LI"	Form1

測定結果の問い合わせ内容　(4/23)

項目		<result>	レスポンス・フォーマット
ER	indicater エラー		
	Length エラー	"ER:LENGTH"	Form1
	CRC10 エラー	"ER:CRC10"	Form1
	Discarded エラー	"ER:DISCPDU"	Form1
	PDU エラー		
	Segment type エラー	"ER:ST"	Form1
	Abort エラー	"ER:ABORT"	Form1
	Undelivered エラー	"ER:UDLVPDU"	Form1
	PDU エラー		
	HP-IEC エラー	“ER:HIEC”	Form1
	HP-TC-REI エラー	“ER:HTREI”	Form1
	HP-OEI エラー	“ER:HOEI”	Form1
	LP-IEC エラー	“ER:LIEC”	Form1
	LP-TC-REI エラー	“ER:LTREI”	Form1
	LP-OEI エラー	“ER:LOEI”	Form1
	N2 BIP-2 エラー	“ER:N2BIP2”	Form1
	OH Bit エラー	“ER:OHBIT”	Form1
	CPI エラー	"ER:CPI"	
	B/ETag エラー	"ER:BETAG"	Form2
	BASize エラー	"ER:BASIZE"	Form2
	AL エラー	"ER:AL"	Form2
	Frame size エラー	"ER:FSIZE"	Form2
	CRC32 エラー	"ER:CRC32"	Form2
	FM Lost エラー	"ER:FM:LOST"	Form2
	FM エラー	"ER:FM:MISINS"	Form2
	Misinserted エラー		
	FM BIPV エラー	"ER:FM:BIPV"	Form2
	FM SECB エラー	"ER:FM:SECB"	Form2
	BR Lost エラー	"ER:BR:LOST"	Form2
	BR エラー	"ER:BR:MISINS"	Form2
	Misinserted エラー		
	BR BIPV エラー	"ER:BR:BIPV"	Form2
	BR SECB エラー	"ER:BR:SECB"	Form2
	ビットエラー	"ER:BIT"	Form2
	CID PKT エラー	"ER:CIDPKT"	Form2

測定結果の問い合わせ内容　(5/23)

項目		<result>	レスポンス・フォーマット
Power fail		"ASEConds:POWer"	Form1
LOS		"ASEConds:LOS"	Form1
Sync. loss		"ASEConds:PATTern"	Form1
AIS	139M	"ASEConds:AIS:M139"	Form1
	45M	"ASEConds:AIS:M45"	Form1
	34M	"ASEConds:AIS:M34"	Form1
	8M	"ASEConds:AIS:M8"	Form1
	2M	"ASEConds:AIS:M2"	Form1
	1.5M	"ASEConds:AIS:M1_5"	Form1
	MS	"ASEConds:AIS:MS"(SDH)	Form1
	AU	"ASEConds:AIS:AU"　(SDH)	Form1
	TU	"ASEConds:AIS:TU"　(SDH)	Form1
	L	"ASEConds:AIS:L"　(SONET)	Form1
	P	"ASEConds:AIS:P"　(SONET)	Form1
	V	"ASEConds:AIS:V"　(SONET)	Form1
LOF	139M	"ASEConds:LOF:M139"	Form1
	45M	"ASEConds:LOF:M45"	Form1
	34M	"ASEConds:LOF:M34"	Form1
	8M	"ASEConds:LOF:M8"	Form1
	2M	"ASEConds:LOF:M2"	Form1
	1.5M	"ASEConds:LOF:M1_5"	Form1
	MF	"ASEConds:LOF:MF"	Form1
	(SDH)	"ASEConds:LOF"	Form1
	PLCP	"ASEConds:LOF:PLCP"	Form1
RDI	139M	"ASEConds:RDI:M139"	Form1
	45M	"ASEConds:RDI:M45"	Form1
	34M	"ASEConds:RDI:M34"	Form1
	8M	"ASEConds:RDI:M8"	Form1
	2M	"ASEConds:RDI:M2"	Form1
	1.5M	"ASEConds:RDI:M1_5"	Form1
	MF	"ASEConds:RDI:MF"	Form1
RDI	PLCP	"ASEConds:RDI:PLCP"	Form1
RAI	PLCP	"ASEConds:RAI:PLCP"	Form1
OOF		"ASEConds:OOF"	Form1
	PLCP	"ASEConds:OOF:PLCP"	Form1
LOP	AU	"ASEConds:LOP:AU"　(SDH)	Form1
	TU	"ASEConds:LOP:TU"　(SDH)	Form1
	P	"ASEConds:LOP:P"　(SONET)	Form1
	V	"ASEConds:LOP:V"　(SONET)	Form1
RDI	MS	"ASEConds:RDI:MS"　(SDH)	Form1
	HP	"ASEConds:RDI:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"ASEConds:RDI:LP"　(SDH)	Form1
	L	"ASEConds:RDI:L"　(SONET)	Form1
	P	"ASEConds:RDI:P"　(SONET)	Form1
	V	"ASEConds:RDI:V"　(SONET)	Form1
SLM	HP	"ASEConds:PLM:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"ASEConds:PLM:LP"　(SDH)	Form1

測定結果の問い合わせ内容　(6/23)

項目		<result>	レスポンス・フォーマット
PLM	P	"ASEConds:PLM:P"　(SONET)	Form1
	V	"ASEConds:PLM:V"　(SONET)	Form1
RFI	LP	"ASEConds:RFI:LP"　(SDH)	Form1
	V	"ASEConds:RFI:V"　(SONET)	Form1
TIM	HP	"ASEConds:TIM:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"ASEConds:TIM:LP"　(SDH)	Form1
UNEQ	HP	"ASEConds:UNEQ:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"ASEConds:UNEQ:LP"　(SDH)	Form1
VC-AIS	HP	"ASEConds:VAIS:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"ASEConds:VAIS:LP"　(SDH)	Form1
FAS	HP	"ASEConds:FAS:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"ASEConds:FAS:LP"　(SDH)	Form1
IncAIS	HP	"ASEConds:IAIS:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"ASEConds:IAIS:LP"　(SDH)	Form1
ISF	HP	"ASEConds:ISF:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"ASEConds:ISF:LP"　(SDH)	Form1
TC-RDI	HP	"ASEConds:TRDI:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"ASEConds:TRDI:LP"　(SDH)	Form1
ODI	HP	"ASEConds:ODI:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"ASEConds:ODI:LP"　(SDH)	Form1
Sync. OH		"ASEConds:SYNCOH"　(SDH)	Form1
AIS HG		"ASEConds:AISHG"　(SDH)	Form1
REC HG		"ASEConds:RECHG"　(SDH)	Form1
BAIS1.5M		"ASEConds:BAIS15"　(SDH)	Form1
SigAIS1.5		"ASEConds:SAIA15"　(SDH)	Form1
Sig OOF		"ASEConds:SIGOOF"　(SDH)	Form1
Power fail		"AFRame:POWer"	Form1
LOS		"AFRame:LOS"	Form1
Sync. loss		"AFRame:PATTern"	Form1
AIS	139M	"AFRame:AIS:M139"	Form1
	45M	"AFRame:AIS:M45"	Form1
	34M	"AFRame:AIS:M34"	Form1
	8M	"AFRame:AIS:M8"	Form1
	2M	"AFRame:AIS:M2"	Form1
	1.5M	"AFRame:AIS:M1_5"	Form1
	MS	"AFRame:AIS:MS"　(SDH)	Form1
	AU	"AFRame:AIS:AU"　(SDH)	Form1
	TU	"AFRame:AIS:TU"　(SDH)	Form1
	L	"AFRame:AIS:L"　(SONET)	Form1
	P	"AFRame:AIS:P"　(SONET)	Form1
	V	"AFRame:AIS:V"　(SONET)	Form1

測定結果の問い合わせ内容　(7/23)

項目		<result>	レスポンス・フォーマット
LOF	139M	"AFRame:LOF:M139"	Form1
	45M	"AFRame:LOF:M45"	Form1
	34M	"AFRame:LOF:M34"	Form1
	8M	"AFRame:LOF:M8"	Form1
	2M	"AFRame:LOF:M2"	Form1
	1.5M	"AFRame:LOF:M1_5"	Form1
	MF	"AFRame:LOF:MF"	Form1
	(SDH)	"AFRame:LOF"	Form1
	PLCP	"AFRame:LOF:PLCP"	Form1
RDI	139M	"AFRame:RDI:M139"	Form1
	45M	"AFRame:RDI:M45"	Form1
	34M	"AFRame:RDI:M34"	Form1
	8M	"AFRame:RDI:M8"	Form1
	2M	"AFRame:RDI:M2"	Form1
	1.5M	"AFRame:RDI:M1_5"	Form1
	MF	"AFRame:RDI:MF"	Form1
RDI	PLCP	"AFRame:RDI:PLCP"	Form1
RAI	PLCP	"AFRame:RAI:PLCP"	Form1
OOF		"AFRame:OOF"	Form1
	PLCP	"AFRame:OOF:PLCP"	Form1
LOP	AU	"AFRame:LOP:AU"　(SDH)	Form1
	TU	"AFRame:LOP:TU"　(SDH)	Form1
	P	"AFRame:LOP:P"　(SONET)	Form1
	V	"AFRame:LOP:V"　(SONET)	Form1
RDI	MS	"AFRame:RDI:MS"　(SDH)	Form1
	HP	"AFRame:RDI:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"AFRame:RDI:LP"　(SDH)	Form1
	L	"AFRame:RDI:L"　(SONET)	Form1
	P	"AFRame:RDI:P"　(SONET)	Form1
	V	"AFRame:RDI:V"　(SONET)	Form1
SLM	HP	"AFRame:SLM:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"AFRame:SLM:LP"　(SDH)	Form1
PLM	P	"AFRame:PLM:P"　(SONET)	Form1
	V	"AFRame:PLM:V"　(SONET)	Form1
RFI	LP	"AFRame:RFI:LP"　(SDH)	Form1
	V	"AFRame:RFI:V"　(SONET)	Form1
TIM	HP	"AFRame:TIM:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"AFRame:TIM:LP"　(SDH)	Form1
UNEQ	HP	"AFRame:UNEQ:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"AFRame:UNEQ:LP"　(SDH)	Form1
VC-AIS	HP	"AFRame:VAIS:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"AFRame:VAIS:LP"　(SDH)	Form1
FAS	HP	"AFRame:FAS:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"AFRame:FAS:LP"　(SDH)	Form1
IncAIS	HP	"AFRame:IAIS:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"AFRame:IAIS:LP"　(SDH)	Form1
ISF	HP	"AFRame:ISF:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"AFRame:ISF:LP"　(SDH)	Form1

測定結果の問い合わせ内容　(8/23)

項目		<result>	レスポンス・フォーマット
TC-RDI	HP	"AFRame:TRDI:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"AFRame:TRDI:LP"　(SDH)	Form1
ODI	HP	"AFRame:ODI:HP"　(SDH)	Form1
	LP	"AFRame:ODI:LP"　(SDH)	Form1
Sync. OH		"AFRame:SYNCOH"　(SDH)	Form1
AIS HG		"AFRame:AISHG"　(SDH)	Form1
REC HG		"AFRame:RECHG"　(SDH)	Form1
BAIS1.5M		"AFRame:BAIS15"　(SDH)	Form1
SigAIS1.5		"AFRame:SAIA15"　(SDH)	Form1
Sig OOF		"AFRame:SIGOOF"　(SDH)	Form1

測定結果の問い合わせ内容　(9/23)

項目		<result>	レスポンス・フォーマット
TU-LOM		"ASEConds:LOM:TU"(SDH)	Form1
LOM-V		"ASEConds:LOM:V" (SONET)	Form1
VP	AIS	"ASEConds:VP:AIS"	Form1
	RDI	"ASEConds:VP:RDI"	Form1
	LOC	"ASEConds:VP:LOC"	Form1
VC	AIS	"ASEConds:VC:AIS"	Form1
	RDI	"ASEConds:VC:RDI"	Form1
	LOC	"ASEConds:VC:LOC"	Form1
LCD		"ASEConds:LCD"	Form1

測定結果の問い合わせ内容　(10/23)

項目		<result>	レスポンス・フォーマット
VP	AIS	"ACOunts:VP:AIS"	Form1
	RDI	"ACOunts:VP:RDI"	Form1
	LOC	"ACOunts:VP:LOC"	Form1
VC	AIS	"ACOunts:VC:AIS"	Form1
	RDI	"ACOunts:VC:RDI"	Form1
	LOC	"ACOunts:VC:LOC"	Form1

測定結果の問い合わせ内容　(11/23)

項目			<result>	レスポンス・フォーマット
G.821		%ES	"G821:ES"	Form3
		ES	"G821:ES2"	Form1
		AnD%ES	"G821:ES3"	Form3
		Code ES	"G821:ES4"	Form1
		%SES	"G821:SES"	Form3
		SES	"G821:SES2"	Form1
		%US	"G821:US"	Form3
		US	"G821:US2"	Form1
		%DM	"G821:DM"	Form3
		DM	"G821:DM2"	Form1
		EC	"G821:EC"	Form1
		%EFS	"G821:EFS"	Form3
		EFS	"G821:EFS2"	Form1
M.2100		RxES	"M2100:ES"	Form1
		TxES	"M2100:ES2"	Form1
		RxSES	"M2100:SES"	Form1
		TxSES	"M2100:SES2"	Form1
		RxUS	"M2100:US"	Form1
		RxTEST	"M2100:TEST"	Form4
		TxTEST	"M2100:TEST2"	Form4
M.2101	Section	RxES	"M2101:SECTion:ES"	Form1
		RxSES	"M2101:SECTion:SES"	Form1
		RxUS	"M2101:SECTion:US"	Form1
		RxTEST	"M2101:SECTion:TEST"	Form4
		TxES	"M2101:SECTion:ES2"	Form1
		TxSES	"M2101:SECTion:SES2"	Form1
		TxTEST	"M2101:SECTion:TEST2"	Form4
	HO-path	RxES	"M2101:HOPath:ES"	Form1
		RxSES	"M2101:HOPath:SES"	Form1
		RxUS	"M2101:HOPath:US"	Form1
		RxTEST	"M2101:HOPath:TEST"	Form4
		TxES	"M2101:HOPath:ES2"	Form1
		TxSES	"M2101:HOPath:SES2"	Form1
		TxTEST	"M2101:HOPath:TEST2"	Form4
	LO-path	RxES	"M2101:LOPath:ES"	Form1
		RxSES	"M2101:LOPath:SES"	Form1
		RxUS	"M2101:LOPath:US"	Form1
		RxTEST	"M2101:LOPath:TEST"	Form4
		TxES	"M2101:LOPath:ES2"	Form1
		TxSES	"M2101:LOPath:SES2"	Form1
		TxTEST	"M2101:LOPath:TEST2"	Form4

測定結果の問い合わせ内容　(12/23)

項目			<result>	レスポンス・フォーマット
G.826	Bit or FAS/CRC	ES	"G826:ES"	Form1
		SES	"G826:SES"	Form1
		BBE	"G826:BBE"	Form1
		ESR	"G826:ESR"	Form2
		SESR	"G826:SESR"	Form2
		BBER	"G826:BBER"	Form2
		SDP	"G826:SDP"	Form1
		US	"G826:US"	Form1
	B1	ES	"G826:ES:B1"	Form1
		SES	"G826:ES:B1"	Form1
		BBE	"G826:SES:B1"	Form1
		ESR	"G826:ESR:B1"	Form2
		SESR	"G826:SESR:B1"	Form2
		BBER	"G826:BBER:B1"	Form2
		SDP	"G826:SDP:B1"	Form1
		US	"G826:US:B1"	Form1
	B2	ES	"G826:ES:B2"	Form1
		SES	"G826:SES:B2"	Form1
		BBE	"G826:BBE:B2"	Form1
		ESR	"G826:ESR:B2"	Form2
		SESR	"G826:SESR:B2"	Form2
		BBER	"G826:BBER:B2"	Form2
		SDP	"G826:SDP:B2"	Form1
		US	"G826:US:B3:HP"	Form1
	HP-B3	ES	"G826:ES:B3:HP"	Form1
		SES	"G826:SES:B3:HP"	Form1
		BBE	"G826:BBE:B3:HP"	Form1
		ESR	"G826:ESR:B3:HP"	Form2
		SESR	"G826:SESR:B3:HP"	Form2
		BBER	"G826:BBER:B3:HP"	Form2
		SDP	"G826:SDP:B3:HP"	Form1
		US	"G826:US:B3:HP"	Form1
	LP-B3	ES	"G826:ES:B3:LP"	Form1
		SES	"G826:SES:B3:LP"	Form1
		BBE	"G826:BBE:B3:LP"	Form1
		ESR	"G826:ESR:B3:LP"	Form2
		SESR	"G826:SESR:B3:LP"	Form2
		BBER	"G826:BBER:B3:LP"	Form2
		SDP	"G826:SDP:B3:LP"	Form1
		US	"G826:US:B3:LP"	Form1
	BIP-2	ES	"G826:ES:BIP2"	Form1
		SES	"G826:SES:BIP2"	Form1
		BBE	"G826:BBE:BIP2"	Form1
		ESR	"G826:ESR:BIP2"	Form2
		SESR	"G826:SESR:BIP2"	Form2
		BBER	"G826:BBER:BIP2"	Form2
		SDP	"G826:SDP:BIP2"	Form1
		US	"G826:US:BIP2"	Form1

測定結果の問い合わせ内容　(13/23)

項目			<result>	レスポンス・フォーマット
G.826	MS-REI	ES	"G826:ES:REI:MS"	Form1
		SES	"G826:SES:REI:MS"	Form1
		BBE	"G826:BBE:REI:MS"	Form1
		ESR	"G826:ESR:REI:MS"	Form2
		SESR	"G826:SESR:REI:MS"	Form2
		BBER	"G826:BBER:REI:MS"	Form2
		SDP	"G826:SDP:REI:MS"	Form1
		US	"G826:US:REI:MS"	Form1

測定結果の問い合わせ内容　(14/23)

項目			<result>	レスポンス・フォーマット
G.826	HP-REI	ES	"G826:ES:REI:HP"	Form1
		SES	"G826:SES:REI:HP"	Form1
		BBE	"G826:BBE:REI:HP"	Form1
		ESR	"G826:ESR:REI:HP"	Form2
		SESR	"G826:SESR:REI:HP"	Form2
		BBER	"G826:BBER:REI:HP"	Form2
		SDP	"G826:SDP:REI:HP"	Form1
		US	"G826:US:REI:HP"	Form1
	LP-REI	ES	"G826:ES:REI:LP"	Form1
		SES	"G826:SES:REI:LP"	Form1
		BBE	"G826:BBE:REI:LP"	Form1
		ESR	"G826:ESR:REI:LP"	Form2
		SESR	"G826:SESR:REI:LP"	Form2
		BBER	"G826:BBER:REI:LP"	Form2
		SDP	"G826:SDP:REI:LP"	Form1
		US	"G826:US:REI:LP"	Form1
	REI-L	ES	"G826:ES:REI:L"	Form1
		SES	"G826:SES:REI:L"	Form1
		BBE	"G826:BBE:REI:L"	Form1
		ESR	"G826:ESR:REI:L"	Form2
		SESR	"G826:SESR:REI:L"	Form2
		BBER	"G826:BBER:REI:L"	Form2
		SDP	"G826:SDP:REI:L"	Form1
		US	"G826:US:REI:L"	Form1
	REI-P	ES	"G826:ES:REI:P"	Form1
		SES	"G826:SES:REI:P"	Form1
		BBE	"G826:BBE:REI:P"	Form1
		ESR	"G826:ESR:REI:P"	Form2
		SESR	"G826:SESR:REI:P"	Form2
		BBER	"G826:BBER:REI:P"	Form2
		SDP	"G826:SDP:REI:P"	Form1
		US	"G826:US:REI:P"	Form1
	REI-V	ES	"G826:ES:REI:V"	Form1
		SES	"G826:SES:REI:V"	Form1
		BBE	"G826:BBE:REI:V"	Form1
		ESR	"G826:ESR:REI:V"	Form2
		SESR	"G826:SESR:REI:V"	Form2
		BBER	"G826:BBER:REI:V"	Form2
		SDP	"G826:SDP:REI:V"	Form1
		US	"G826:US:REI:V"	Form1

測定結果の問い合わせ内容　(15/23)

項目			<result>	レスポンス・フォーマット
G.826	Parity	ES	"G826:ES:PARITY"	Form1
		SES	"G826:SES:PARITY"	Form1
		BBE	"G826:BBE:PARITY"	Form1
		ESR	"G826:ESR:PARITY"	Form2
		SESR	"G826:SESR:PARITY"	Form2
		BBER	"G826:BBER:PARITY"	Form2
		SDP	"G826:SDP:PARITY"	Form1
		US	"G826:US:PARITY"	Form1
M.2110 (SDH)	Section	Rx 2-hour	"M2110:SECTion:HOUR2R"	Form1
		Rx 24-hour	"M2110:SECTion:HOUR24R"	Form1
		Rx 7-day	"M2110:SECTion:DAY7R"	Form1
		Rx ES	"M2110:SECTion:ESR"	Form4
		Rx SES	"M2110:SECTion:SESR"	Form1
		Rx US	"M2110:SECTion:USR"	Form1
		Tx 2-hour	"M2110:SECTion:HOUR2T"	Form1
		Tx 24-hour	"M2110:SECTion:HOUR24T"	Form1
		Tx 7-day	"M2110:SECTion:DAY7T"	Form1
		Tx ES	"M2110:SECTion:EST"	Form4
		Tx SES	"M2110:SECTion:SEST"	Form1
	HO-path	Rx 2-hour	"M2110:HOPath:HOUR2R"	Form1
		Rx 24-hour	"M2110:HOPath:HOUR24R"	Form1
		Rx 7-day	"M2110:HOPath:DAY7R"	Form1
		Rx ES	"M2110:HOPath:ESR"	Form4
		Rx SES	"M2110:HOPath:SESR"	Form1
		Rx US	"M2110:HOPath:USR"	Form1
		Tx 2-hour	"M2110:HOPath:HOUR2T"	Form1
		Tx 24-hour	"M2110:HOPath:HOUR24T"	Form1
		Tx 7-day	"M2110:HOPath:DAY7T"	Form1
		Tx ES	"M2110:HOPath:EST"	Form4
		Tx SES	"M2110:HOPath:SEST"	Form1
	LO-path	Rx 2-hour	"M2110:LOPath:HOUR2R"	Form1
		Rx 24-hour	"M2110:LOPath:HOUR24R"	Form1
		Rx 7-day	"M2110:LOPath:DAY7R"	Form1
		Rx ES	"M2110:LOPath:ESR"	Form4
		Rx SES	"M2110:LOPath:SESR"	Form1
		Rx US	"M2110:LOPath:USR"	Form1
		Tx 2-hour	"M2110:LOPath:HOUR2T"	Form1
		Tx 24-hour	"M2110:LOPath:HOUR24T"	Form1
		Tx 7-day	"M2110:LOPath:DAY7T"	Form1
		Tx ES	"M2110:LOPath:EST"	Form4
		Tx SES	"M2110:LOPath:SEST"	Form1

測定結果の問い合わせ内容　(16/23)

項目			<result>	レスポンス・フォーマット
M.2110 (PDH)	Rx 2-hour		"M2110:HOUR2R"	Form1
	Rx 24-hour		"M2110:HOUR24R"	Form1
	Rx 7-day		"M2110:DAY7R"	Form1
	Rx ES		"M2110:ESR"	Form4
	Rx SES		"M2110:SESR"	Form1
	Rx US		"M2110:USR"	Form1
	Tx 2-hour		"M2110:HOUR2T"	Form1
	Tx 24-hour		"M2110:HOUR24T"	Form1
	Tx 7-day		"M2110:DAY7T"	Form1
	Tx ES		"M2110:EST"	Form4
	Tx SES		"M2110:SEST"	Form1
M.2120 (SDH)	Section	Rx TR1-ES	"M2120:SECTion:TR1ESR"	Form1
		Rx TR1-SES	"M2120:SECTion:TR1SESR"	Form1
		Rx TR2-ES	"M2120:SECTion:TR2ESR"	Form1
		Rx TR2-SES	"M2120:SECTion:TR2SESR"	Form1
		Rx ES	"M2120:SECTion:ESR"	Form4
		Rx SES	"M2120:SECTion:SESR"	Form1
		Rx US	"M2110:SECTion:USR"	Form1
		Tx TR1-ES	"M2120:SECTion:TR1EST"	Form1
		Tx TR1-SES	"M2120:SECTion:TR1SEST"	Form1
		Tx TR2-ES	"M2120:SECTion:TR2EST"	Form1
		Tx TR2-SES	"M2120:SECTion:TR2SEST"	Form1
		Tx ES	"M2120:SECTion:EST"	Form4
		Tx SES	"M2120:SECTion:SEST"	Form1
	HO-path	Rx TR1-ES	"M2120:HOPath:TR1ESR"	Form1
		Rx TR1-SES	"M2120:HOPath:TR1SESR"	Form1
		Rx TR2-ES	"M2120:HOPath:TR2ESR"	Form1
		Rx TR2-SES	"M2120:HOPath:TR2SESR"	Form1
		Rx ES	"M2120:HOPath:ESR"	Form4
		Rx SES	"M2120:HOPath:SESR"	Form1
		Rx US	"M2110:HOPath:USR"	Form1
		Tx TR1-ES	"M2120:HOPath:TR1EST"	Form1
		Tx TR1-SES	"M2120:HOPath:TR1SEST"	Form1
		Tx TR2-ES	"M2120:HOPath:TR2EST"	Form1
		Tx TR2-SES	"M2120:HOPath:TR2SEST"	Form1
		Tx ES	"M2120:HOPath:EST"	Form4
		Tx SES	"M2120:HOPath:SEST"	Form1

測定結果の問い合わせ内容　(17/23)

項目			<result>	レスポンス・フォーマット
M.2120 (SDH)	LO-path	Rx TR1-ES	"M2120:LOPath:TR1ESR"	Form1
		Rx TR1-SES	"M2120:LOPath:TR1SESR"	Form1
		Rx TR2-ES	"M2120:LOPath:TR2ESR"	Form1
		Rx TR2-SES	"M2120:LOPath:TR2SESR"	Form1
		Rx ES	"M2120:LOPath:ESR"	Form4
		Rx SES	"M2120:LOPath:SESR"	Form1
		Rx US	"M2110:LOPath:USR"	Form1
		Tx TR1-ES	"M2120:LOPath:TR1EST"	Form1
		Tx TR1-SES	"M2120:LOPath:TR1SEST"	Form1
		Tx TR2-ES	"M2120:LOPath:TR2EST"	Form1
		Tx TR2-SES	"M2120:LOPath:TR2SEST"	Form1
		Tx ES	"M2120:LOPath:EST"	Form4
		Tx SES	"M2120:LOPath:SEST"	Form1
M.2120 (PDH)	Rx TR1-ES		"M2120:TR1ESR"	Form1
	Rx TR1-SES		"M2120:TR1SESR"	Form1
	Rx TR2-ES		"M2120:TR2ESR"	Form1
	Rx TR2-SES		"M2120:TR2SESR"	Form1
	Rx ES		"M2120:ESR"	Form4
	Rx SES		"M2120:SESR"	Form1
	Rx US		"M2110:USR"	Form1
	Tx TR1-ES		"M2120:TR1EST"	Form1
	Tx TR1-SES		"M2120:TR1SEST"	Form1
	Tx TR2-ES		"M2120:TR2EST"	Form1
	Tx TR2-SES		"M2120:TR2SEST"	Form1
	Tx ES		"M2120:EST"	Form4
	Tx SES		"M2120:SEST"	Form1

測定結果の問い合わせ内容（SDH）　(18/23)

項目			<result>	レスポンス・フォーマット
COUNT	AU PTR	NDF	"JC:NDF:AU"	Form1
		+PJC	"JC:PPJC: AU "	Form1
		-PJC	"JC:NPJC: AU "	Form1
		Cons.	"JC:CONS: AU "	Form1
	TU PTR	NDF	"JC:NDF:TU"	Form1
		+PJC	"JC:PPJC: TU "	Form1
		-PJC	"JC:NPJC: TU "	Form1
		Cons.	"JC:CONS: TU "	Form1
	C1		"JC:C1"	Form1
	C2		"JC:C2"	Form1
	C		"JC:C"	Form1
RATE	AU PTR	NDF	"JR:NDF: AU "	Form2
		+PJC	"JR:PPJC: AU "	Form2
		-PJC	"JR:NPJC: AU "	Form2
		Cons.	"JR:CONS: AU "	Form2
	TU PTR	NDF	"JR:NDF: TU "	Form2
		+PJC	"JR:PPJC: TU "	Form2
		-PJC	"JR:NPJC: TU "	Form2
		Cons.	"JR:CONS: TU "	Form2
	C1		"JR:C1"	Form2
	C2		"JR:C2"	Form2
	C		"JR:C"	Form2

測定結果の問い合わせ内容（SONET）　(19/23)

項目			<result>	レスポンス・フォーマット
C O U N T	STS PTR	NDF	"JC:NDF:STS"	Form1
		+PJC	"JC:PPJC: STS "	Form1
		-PJC	"JC:NPJC: STS "	Form1
		Cons.	"JC:CONS: STS "	Form1
	VT PTR	NDF	"JC:NDF:VT"	Form1
		+PJC	"JC:PPJC: VT "	Form1
		-PJC	"JC:NPJC: VT "	Form1
		Cons.	"JC:CONS: VT "	Form1
	C1		"JC:C1"	Form1
	C2		"JC:C2"	Form1
	C		"JC:C"	Form1
R A T E	STS PTR	NDF	"JR:NDF: STS "	Form2
		+PJC	"JR:PPJC: STS "	Form2
		-PJC	"JR:NPJC: STS "	Form2
		Cons.	"JR:CONS: STS "	Form2
	VT PTR	NDF	"JR:NDF: VT "	Form2
		+PJC	"JR:PPJC: VT "	Form2
		-PJC	"JR:NPJC: VT "	Form2
		Cons.	"JR:CONS: VT "	Form2
	C1		"JR:C1"	Form2
	C2		"JR:C2"	Form2
	C		"JR:C"	Form2

測定結果の問い合わせ内容　(20/23)

項目	<result>	レスポンス・フォーマット (単位は，μs)
Current	"DELay:CURRent"	Form1
Maximum	"DELay:MAXimam"	Form1
Minimum	"DELay:MINimam"	Form1

測定結果の問い合わせ内容　(21/23)

項目	<result>	レスポンス・フォーマット (単位は，ms)
Switch time	"APSTest:Switchtime"	Form7

測定結果の問い合わせ内容　(22/23)

項目	<result>	レスポンス・フォーマット (単位は，μs)
測定結果	"B2:CH1"	Form1
	"B2:CH64"	

測定結果の問い合わせ内容　(23/23)

項目	<result>	レスポンス・フォーマット
IP 送信パケット	"IPSend:PACket1" "IPSend:PACket2" "IPSend:PACket3"	Form15
受信パケット	"IPRecive:PACket"	Form15

:CALCulate:HISTory? <string>

パラメータ　<string> = <STRING PROGRAM DATA>
"CURRent"　現在の測定結果
"LAST"　直前の測定結果

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
結果は Error/Alarm あり　"Unacceptable"
なし　" Acceptable"
無効　"----------"　（12 文字分）

機　能　測定結果の問い合わせを行います。
有効な Error/Alarm 測定項目の測定結果（0/1）を返します。
ただし Peformance,Justification,B2 Error 測定項目／結果は含みません。
測定開始時にクリアされるものとし測定を通して保持されるものとします。
（測定中から停止時に移行した場合 Cutrrent と Last は同データとなります。測定中（測定終了含む）を対象にデータ更新します。）

使用例　> :CALCulate:HISTory? “LAST”
< “ Acceptable“

:CALCulate:TSEarch:RESult?

レスポンス　<result>,<trouble>,<route>
<result> = <STRING RESPONSE DATA>
トラブルサーチの判定結果
Form4
<trouble> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
トラブルのあったルート数
0 ～ 31744
<route> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
トラブルサーチを行った全ルート数
1 ～ 31744

機 能　トラブルサーチの判定結果を問い合わせます。

使用例　> :CALCulate:TSEarch:RESult?
< " Acceptable",0,512

CALCulate:TSEarch:DATA? <result>

パラメータ　<result> = <STRING PROGRAM DATA>
下記の表を参照。

レスポンス　<string> = <STRING PROGRAM DATA>
下記の表を参照。

機 能　トラブルサーチの結果データを問い合わせます。

使用例　> :CALCulate:TSEarch:DATA? "TSEarch:LOS"
< " Acceptable"

測定結果データ(Trouble search)の問い合わせ内容　(1/3)

項目	<result>	レスポンス・フォーマット
B1 エラー	"TSEarch:B1"	Form4
B2 エラー	"TSEarch:B2"	Form4
HP-B3 エラー	"TSEarch:B3:HP"	Form4
LP-B3 エラー	"TSEarch:B3:LP"	Form4
BIP-2 エラー	"TSEarch:BIP2"	Form4
MS-REI	"TSEarch:REI:MS"	Form4
HP-REI	"TSEarch:REI:HP"	Form4
LP-REI	"TSEarch:REI:LP"	Form4
コードエラー	"TSEarch:CODE"	Form4
139M フレームエラー	"TSEarch:FRAMe:M139"	Form4
45M フレームエラー	"TSEarch:FRAMe:M45"	Form4
34M フレームエラー	"TSEarch:FRAMe:M34"	Form4
8M フレームエラー	"TSEarch:FRAMe:M8"	Form4
2M フレームエラー	"TSEarch:FRAMe:M2"	Form4
1.5M フレームエラー	"TSEarch:FRAMe:M1_5"	Form4
45M REI エラー	"TSEarch:REI:M45"	Form4
CRC-4 エラー	"TSEarch:CRC4"	Form4
E-Bit エラー	"TSEarch:EBIT"	Form4
BIP-8 エラー	"TSEarch:BIP8"	Form4
Parity エラー	"TSEarch:PARITY"	Form4
CRC-6 エラー	"TSEarch:CRC6"	Form4
C-Bit エラー	"TSEarch:CBIT"	Form4
ビットエラー	"TSEarch:BIT"	Form4

測定結果の問い合わせ内容　(2/3)

項目		<result>	レスポンス・フォーマット
LOS		"TSEarch:LOS"	Form4
Sync. Loss		"TSEarch:PATTern"	Form4
AIS	139M	"TSEarch:AIS:M139"	Form4
	45M	"TSEarch:AIS:M45"	Form4
	34M	"TSEarch:AIS:M34"	Form4
	8M	"TSEarch:AIS:M8"	Form4
	2M	"TSEarch:AIS:M2"	Form4
	1.5M	"TSEarch:AIS:M1_5"	Form4
	MS	"TSEarch:AIS:MS"	Form4
	AU	"TSEarch:AIS:AU"	Form4
	TU	"TSEarch:AIS:TU"	Form4
LOF	139M	"TSEarch:LOF:M139"	Form4
	45M	"TSEarch:LOF:M45"	Form4
	34M	"TSEarch:LOF:M34"	Form4
	8M	"TSEarch:LOF:M8"	Form4
	2M	"TSEarch:LOF:M2"	Form4
	1.5M	"TSEarch:LOF:M1_5"	Form4
	MF	"TSEarch:LOF:MF"	Form4
	(SDH)	"TSEarch:LOF"	Form4
RDI	139M	"TSEarch:RDI:M139"	Form4
	45M	"TSEarch:RDI:M45"	Form4
	34M	"TSEarch:RDI:M34"	Form4
	8M	"TSEarch:RDI:M8"	Form4
	2M	"TSEarch:RDI:M2"	Form4
	1.5M	"TSEarch:RDI:M1_5"	Form4
	MF	"TSEarch:RDI:MF"	Form4
OOF		"TSEarch:OOF"	Form4
LOP	AU	"TSEarch:LOP:AU"	Form4
	TU	"TSEarch:LOP:TU"	Form4
RDI	MS	"TSEarch:RDI:MS"	Form4
	HP	"TSEarch:RDI:HP"	Form4
	LP	"TSEarch:RDI:LP"	Form4
SLM	HP	"TSEarch:SLM:HP"	Form4
	LP	"TSEarch:SLM:LP"	Form4

測定結果の問い合わせ内容　(3/3)

項目	<result>	レスポンス・フォーマット
LP-RFI	"TSEarch:RFI:LP"	Form4
TU-LOM	"TSEarch:LOM:TU"	Form4
判定	"TSEarch:TEST"	Form4
HP-TIM	"TSEarch:HTIM"	
HP-UNEQ	"TSEarch:HUNEQ"	
LP-TIM	"TSEarch:LTIM"	
LP-UNEQ	"TSEarch:LUNEQ"	

:CALCulate:TGRaph:DATA?<numeric1>,<numeric2>,<numeric3>,<numeric4>,<numeric5>,[<numeric6>]

パラメータ　　<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
読みだしデータの年月日時分秒
<numeric1> = 1994 ～ 2093 (year)
<numeric2> = 1 ～ 12 (month)
<numeric3> = 1 ～ 31 (day)
<numeric4> = 0 ～ 23 (hour)
<numeric5> = 0 ～ 59 (minute)
<numeric6> = 0 ～ 59 (second)

レスポンス　　<time>,<alarm1s>,<alarm1c>,<alarm2s>,<alarm2c>,<alarm3s>,
<alarm3c>,
<alarm4s>,<alarm4c>,<alarm5s>,<alarm5c>,<error1>,<error2>
<time> = <year>,<month>,<day>,<hour>,<minute>,<second>
読みだしデータの年月日時分秒
パラメータで指定した時間のデータがない場合，指定時間以降で最も近い時間のデータを出力します。
<year> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
　0,1994 ～ 2093　年
<month> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
　0,1 ～ 12　月
<day> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
　0,1 ～ 31　日
<hour> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
　0 ～ 23　時
<minute> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
　0 ～ 59　分
<second> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
　0 ～ 59　秒
<alarm1s> = <STRING RESPONSE DATA>
　アラーム 1 の発生時間（s）
　(Form1)
<alarm1c> = <STRING RESPONSE DATA>
　アラーム 1 の発生時間
　(Form1)
<alarm2s> = <STRING RESPONSE DATA>
　アラーム 2 の発生時間（s）
　(Form1)
<alarm2c> = <STRING RESPONSE DATA>
　アラーム 2 の発生時間
　(Form1)
<alarm3s> = <STRING RESPONSE DATA>
　アラーム 3 の発生時間（s）
　(Form1)
<alarm3c> = <STRING RESPONSE DATA>
　アラーム 3 の発生時間
　(Form1)

<alarm4s> = <STRING RESPONSE DATA>
アラーム 4 の発生時間（s）
(Form1)
<alarm4c> = <STRING RESPONSE DATA>
アラーム 4 の発生時間
(Form1)
<alarm5s> = <STRING RESPONSE DATA>
(Form1)
アラーム 5 の発生時間（s）
<alarm5c> = <STRING RESPONSE DATA>
(Form1)
アラーム 5 の発生時間
<error1> = <STRING RESPONSE DATA>
エラーカウント値
(Form1)
<error2> = <STRING RESPONSE DATA>
エラーレート値
(Form2)
※ データがない場合
< 0,0,0,0,0,"--------","--------","--------","--------","--------",
"--------","--------","--------","--------","--------","--------","--------"

機 能　Error/Alarmの分析結果を問い合わせます。

使用例　1994年10月23 1時20分の分析データを読み出す場合。
> :CALCulate:TGRaph:DATA? 1994,10,23,1,20
< 1994,10,23,1,20,"0","0","14","
4","4","4","1.2E+06","100","0","0","111"," 1.3E-06"

:CALCulate:FGRaph:DATA? <time>[,<number>]

パラメータ　<time> = <year>,<month>,<day>,<hour>,<minute>,[<second>]
<year> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1994 ～ 2093　年
<month> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 12　月
<day> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 31　日
<hour> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 23　時
<minute> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 59　分
<second> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0 ～ 59　秒
<number> = <DECIMAL NUMEIC PROGRAM DATA>
読み出しデータ数
0 ～ 3600

レスポンス　<time> = <year>,<month>,<day>,<hour>,<minute>,<second>
読み出しデータの年月日時分秒
パラメータで指定した時間のデータがない場合、指定時間以降でもっとも近い時間のデータを出力します。

測定開始時刻以前の時間を設定した場合、測定開始時刻のデータを出力します。
また、ログ終了時刻以降の時間を設定した場合、ログ終了時刻のデータを出力します。
<year>　= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0,1994 ～ 2093　年
<month>　= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0,1 ～ 12　月
<day>　= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0,1 ～ 31　日
<hour>　= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 ～ 23　時
<minute>　= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 ～ 59　分
<second>　= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 ～ 59　秒
<freq> = <STRING RESPONSE DATA>
周波数値(Hz)
From10
<ppm>　= <STRING RESPONSE DATA>
ppm 値
From11
※データが存在しない場合、以下の内容が出力されます。
< 0,0,0,0,0,0,"----------","--------"

機 能　周波数モニタのグラフデータについて問い合わせます。

使用例　1995年 6月10日10時30分から1本、データを読み出す場合。
> :CALCulate:FGRaph:DATA? 1995,6,10,10,30,0,1
または,
> :CALCulate:FGRaph:DATA? 1995,6,10,10,30,1
< 1995, 6,10,10,30, 0,"　300.9","　-10.0"

:CALCulate:SIMultaneous:DATA? <ch1>,<ch2>

パラメータ　<ch1> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 7 ステップ値：1　(TUG2#, VTG#の設定)
<ch2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 4 ステップ値：1　TU11#,TU12#,TU2#,VT1.5#,VT2#, VT6#の設定)

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
(AIS,LOP,RDI,RFI,BIP2,REI の順で結果を表示)
“ACCEPTABLE”　OK
“UNACCEPTABLE”　NG

機 能　Simultance 測定の結果の問い合わせます。

使用例　TUG2# が 7, TU11# が 1 の時の AIS,LOP,RDI,RFI,BIP2,REI の Simultance 測定結果を問い合わせる場合。
> :CALCulate:SIMultance：DATA? 7,1
< ”ACCEPTABLE,ACCEPTABLE,UNACCEPTABLE,ACCEPTABLE,UNACCEPTABLE,ACCEPTABLE”

:CALCulate:APSCapture:DATA? <numeric1>,<numeric2>

パラメータ　<numeric1>, <numeric2> =
<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 64 ステップ値：1

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
"K1,K2,Frame"を指定数分返す。

機 能　APSCapture測定の結果の問い合わせます。

使用例　No.5～No. 7 の測定結果を問い合わせる場合。
> :CALCulate:APSCapture：DATA? 5,7
< "FF,01,8000","20,06,17","6E,0A,6890"

:CALCulate:FRAMecapture:DATA? <start1>,<start2>,<stop1>,<stop2>

パラメータ　<start1>, <stop1> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 9　ステップ値：1　行番号
<start2>, <stop2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 90　52M 時　ステップ値：1　列番号
1 ～ 270　156M 時　ステップ値：1　列番号
1 ～ 1080　622M 時　ステップ値：1　列番号

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
HEX 表示で指定数分返す。

機 能　Frame Captureデータの問い合わせます。

使用例　3行7列から3行11列目までのフレームデータを問い合わせる場合。
> :CALCulate:FRAMecapture：DATA? 3,7,3,11
< "00,01,02,03,04"

:CALCulate:OHCapture:DATA? <type>, <numeric1>,<numeric2>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

H1H	H1/H2
K1K2	K1/K2
SOH	SOH 1byte [TOH 1byte]
POH	POH 1byte

<numeric1> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 1023 (10 進数)　ステップ値：1
<numeric2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
numeric1 ～ 1023 (10 進数)　ステップ値：1

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
type = H1/H2 のとき
"NDF, SS, PTR, IDIDIDIDID" を指定数分返します。
type = K1/K2 のとき
"K1,K2" を指定数分返します。
type = SOH 1byte のとき
"SOH(TOH) 1byte の位置", "チャネル",
"HEX 表示のデータ numeric で指定した部分を繰り返し表示"
type = POH 1byte のとき
"POH 1byte のタイプ(VC4/VC3/VC21)または
(STS3/STS1/VT)", "POH 1byte の位置",
"HEX 表示のデータ numeric で指定した部分を繰り返し表示"

機 能　OHCapture測定の結果の問い合わせます。

使用例　type = H1/H2のとき No.5～No. 7 の測定結果を問い合わせる場合。
> :CALCulate:OHCapture : DATA? H1H2, 5, 7
<“1001,00, 3,0000000011”,“1001,00, 5,0000000101”,“1001,00, 12,0000001100”
type = K1/K2 のとき No.5～No. 7 の測定結果を問い合わせる場合。
> :CALCulate:OHCapture : DATA? K1K2, 5, 7
< “FF”, “01”, “20”, “06”, “6E”, “0A”
type = SOH 1byte のとき No.5～No. 7 の測定結果を問い合わせる場合。
> :CALCulate:OHCapture : DATA? SOH, 5, 7
< “X19”, “ 1”, “00”, “02”, “03”
type = POH 1byte のとき No.5～No. 7 の測定結果を問い合わせる場合。
> :CALCulate:OHCapture : DATA? POH, 5, 7
< “VC4”, “J1”, “00”, “00”, “03”

:CALCulate:IPCapture:LIST?

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>
Source address および Destination address をすべて返します。
IPV4 時　“255.255.255.255”, “255.255.255.255”
　データなしの時　“---.---.---.---”, “---.---.---.---”
IPV6 時
“FFFF.FFFF.FFFF.FFFF.FFFF.FFFF.FFFF.FFFF”,“FFFF.FFFF.FFFF.FFFF.FFFF.FFFF.FFFF.FFFF”
　データなしの時　“---.---.---.---.---.---.---.---”,“---.---.---.---.---.---.---.---”

機 能　現在画面に表示されているSource addressとDestination address を問い合わせます（最大12個）。

使用例　IPV4時 Source address および Destination address を問い合わせる場合。
> :CALCulate:IPCapture : LIST?
<“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,“255.255.255.255”,

機 能　　IPの Source addressとDestination addressの個数の問い合わせます。
使用例　　> :CALCulate:IPCAPTure:PCOunt?
< 2047

:CALCulate:IPCapture:IPPacket? <no>,<start>,<stop>

パラメータ　　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 9999999　　ステップ値：1
<start> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 65535 ステップ値：1　　(information No)
<stop> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
(start+1) ～ 65535　　ステップ値：1　　(information No)
※<start>値が 65535 の場合<stop>値の範囲は 65535 のみです。

レスポンス　　<ppp> = <STRING RESPONSE DATA>
(Flag, Address, Control, Protocol, FCS, Flag)
<iphed> = <STRING RESPONSE DATA>
IP header
IPV4 時
(Ver,IHL,type of service,Total length,identification,flag,
Fragment offset,Time to live,Protocol,Checksum,
Source address,Destination address)
IPV6 時
(Ver,Priority,Flow Label, Payload length,Next Header Hop Limit,
Source address,Destination address)
<info> = <STRING RESPONSE DATA>
information(パラメータで指定した start～stop までのInformation
値)

機 能　　指定したNoのProtocolとIP header，およびstartとstopで指定した
Informationデータの問い合わせます。

使用例　　IP capture のIpv4時の No.5の PPP, IP header および
Informationデータの30～31を問い合わせる場合。
> : CALCulate:IPCapture：IPPacket? 5,30,31
< ”4”,”00101”,”00000110”,”1114”,”FFFF”,”000”,”0000”,”127”,”6”,”----
“, “128.128.128.128”,“128.128.128.129”,“00”,”00”

10.3.7　SYSTem subsystem

SYSTem サブシステムでは，プリンタ，メモリ，およびブザーなどを設定します。以下に，機能，コマンド，およびパラメータの一覧表と，コマンドの詳細説明を示します。

機能	コマンド	パラメータ
Page 10-471		
中間データ印字の種類を選択	:SYSTem:PRINt:IDATa[:TYPE]	type
中間データ印字の種類を問い合わせ	:SYSTem:PRINt:IDATa[:TYPE]?	
中間データ印字周期の設定	:SYSTem:PRINt:IDATa:PERiod	numeric suffix
中間データ印字周期の問い合わせ	:SYSTem:PRINt:IDATa:PERiod?	
Page 10-471		
測定条件印字の ON/OFF を設定	:SYSTem:PRINt:MCONdition	boolean
測定条件印字の設定を問い合わせ	:SYSTem:PRINt:MCONdition?	
Page 10-472		
エラー発生印字の ON/OFF を設定	:SYSTem:PRINt:ERRor:SET	boolean
エラー発生印字の設定を問い合わせ	:SYSTem:PRINt:ERRor:SET?	
エラー発生印字形式の設定	:SYSTem:PRINt:ERRor:TYPE	type
エラー発生印字形式を問い合わせ	:SYSTem:PRINt:ERRor:TYPE?	
エラー発生印字のエラーカウントのスレッショルド値を設定	:SYSTem:PRINt:ERRor:THReshold:EC	numeric
エラー発生印字のエラーカウントのスレッショルド値を問い合わせ	:SYSTem:PRINt:ERRor:THReshold:EC?	
エラー発生印字のエラーレートのスレッショルド値を設定	:SYSTem:PRINt:ERRor:THReshold:ER	erate
エラー発生印字のエラーレートのスレッショルド値を問い合わせ	:SYSTem:PRINt:ERRor:THReshold:ER?	
ペーパーセーブ印字の有無を設定	:SYSTem:PRINt:ERRor:SQUelch	boolean
ペーパーセーブ印字有無を問い合わせ	:SYSTem:PRINt:ERRor:SQUelch?	
Page 10-474		
アラーム発生印字の ON/OFF を設定	:SYSTem:PRINt:ALARm:SET	boolean
アラーム発生印字の設定を問い合わせ	:SYSTem:PRINt:ALARm:SET?	
Page 10-474		
測定結果(Last)データの印字の ON/OFF を設定	:SYSTem:PRINt:LDATa:SET	boolean
測定結果(Last)データの印字の設定を問い合わせ	:SYSTem:PRINt:LDATa:SET?	
測定結果(Last)データ中のエラーデータ印字を設定	:SYSTem:PRINt:LDATa:ERRor	boolean
測定結果(Last)データ中のエラーデータの印字設定を問い合わせ	:SYSTem:PRINt:LDATa:ERRor?	
測定結果(Last)データ中のアラームデータ印字の ON/OFF を設定	:SYSTem:PRINt:LDATa:ALARm	boolean
測定結果(Last)データ中のアラームデータの印字設定を問い合わせ	:SYSTem:PRINt:LDATa:ALARm?	

測定結果(Last)データ中のパフォーマンスデータの印字を設定	:SYSTem:PRINt:LDATa:PERFormance	boolean
測定結果(Last)データ中のパフォーマンスデータ印字有無を問い合わせ	:SYSTem:PRINt:LDATa:PERFormance?	
測定結果(Last)データ中のポインタデータ印字有無を設定	:SYSTem:PRINt:LDATa:JUSTificat	boolean
測定結果(Last)データ中のポインタデータ印字有無を問い合わせ	:SYSTem:PRINt:LDATa:JUSTificat?	

Page 10-476

印字の設定	:SYSTem:PRINt:ENABle	boolean
印字の ON/OFF の問い合わせ	:SYSTem:PRINt:ENABle?	

Page 10-476

パラメータで指定した文字列を内蔵または外部プリンタへ出力	:SYSTem:PRINt:TEXT	string

Page 10-476

Condition メモリからデータを呼び出し	:SYSTem:MEMory:RECall	numeric

Page 10-476

データをメモリに書き込み	:SYSTem:MEMory:STORe	numeric

Page 10-476

メモリの設定データを消去	:SYSTem:MEMory:CLEar	numeric

Page 10-477

設定データ用メモリに名前を書き込む	:SYSTem:MEMory:LABel	numeric title
メモリの名前を問い合わせ	:SYSTem:MEMory:LABel?	numeric

Page 10-477

アナライズデータメモリの登録状況の問い合わせ	:SYSTem:MEMory:ANALysis:LABel?	numeric
メモリからアナライズデータの呼び出し	:SYSTem:MEMory:ANALysis:RECall	numeric
アナライズデータをメモリへ書き込み	:SYSTem:MEMory:ANALysis:STORe	type string
メモリのアナライズデータを消去	:SYSTem:MEMory:ANALysis:CLEar	numeric
メモリのアナライズデータをすべて消去	:SYSTem:MEMory:ANALysis:ACLear	

Page 10-478

フロッピーディスクにおいて，ファイルのデータの読み出し	:SYSTem:MMEMory:RECall	file_name memorized

Page 10-478

フロッピーディスクにおいて，データのファイルへの書き込み	:SYSTem:MMEMory:STORe	type file_name

Page 10-479

フロッピーディスクにおいて，ファイルまたはディレクトリの削除	:SYSTem:MMEMory:DELete	file_name

Page 10-479

フロッピーディスクにおいて，サブディレクトリを作成	:SYSTem:MMEMory:MDIRectory	dir_name

Page 10-480

フロッピーディスクにおいて，ファイル名の変更	:SYSTem:MMEMory:RERename	src_file dst_file

Page 10-480

フロッピーディスクのフォーマット	:SYSTem:MMEMory:INITialize	

Page 10-480

フロッピーディスクの情報を問い合わせ	:SYSTem:MMEMory:CATalog?	numeric

Page 10-481

フロッピーディスクにおいて，ディレクトリの移動	:SYSTem:MMEMory:CDIRectory	dir_name

Page 10-481

勧告 G.783 と G.841 表示形式の切り替え設定	:SYSTem:PROTection	mode
勧告 G.783 と G.841 表示形式の問い合わせ	:SYSTem:PROTection?	

Page 10-482

音声データ入出力バイト切り替え設定	:SYSTem:ORDerwire:TYPE	otype
音声データ入出力バイトの問い合わせ	:SYSTem:ORDerwire:TYPE?	

Page 10-482

音声データ入出力音量設定	:SYSTem:ORDerwire:VOLume	volume
音声データ入出力音量の問い合わせ	:SYSTem:ORDerwire:VOLume?	

Page 10-482

MS-RDI の検出・解除の条件を決定する勧告の選択設定	:SYSTem:RDI:VC43 :SYSTem:RDI:STS	bit
MS-RDI の検出・解除の条件を決定する勧告の問い合わせ	:SYSTem:RDI:VC43? :SYSTem:RDI:STS?	

Page 10-483

MS-RDI の検出・解除の条件を決定する勧告の選択設定	:SYSTem:RDI:VC21 :SYSTem:RDI:VT	bit
MS-RDI の検出・解除の条件を決定する勧告の問い合わせ	:SYSTem:RDI:VC21? :SYSTem:RDI:VT?	

Page 10-483

エラー・アラーム測定の Pause 機能設定	:SYSTem:MPAuse	mode
エラー・アラーム測定の Pause 機能の問い合わせ	:SYSTem:MPAuse?	

Page 10-484

シーケンステストを実行する設定データを設定	:SYSTem:SEQUence:SET	no1 no2
シーケンステストを実行する設定データ測定条件の問い合わせ	:SYSTem:SEQUence:SET?	no1

Page 10-484

メモリから測定結果データの呼び出し	:SYSTem:SEQUence:RECall	no
測定結果データの RECall No の問い合わせ	:SYSTem:SEQUence:RECall?	

Page 10-485

現在の日付の設定	:SYSTem:DATE	numeric1 numeric2 numeric3
現在の日付の問い合わせ	:SYSTem:DATE?	

Page 10-485

現在の時間の設定	:SYSTem:TIME	numeric1 numeric2 numeric3
現在の時間の問い合わせ	:SYSTem:TIME?	

Page 10-485

ブザーの ON/OFF を切り替え	:SYSTem:BUZZer	boolean
ブザーの設定状態を問い合わせ	:SYSTem:BUZZer?	

Page 10-486

LED ヒストリ機能の設定	:SYSTem:LED:HISTory	boolean
LED ヒストリ機能の設定状態を問い合わせ	:SYSTem:LED:HISTory?	

Page 10-486

Coupled MP1656A 設定	:SYSTem:COUPled:M1656	boolean
Coupled MP1656A の問い合わせ	:SYSTem:COUPled:M1656?	

Page 10-486

トリガ出力の設定	:SYSTem:TRIGgerout	trg
トリガ出力の設定の問い合わせ	:SYSTem:TRIGgerout?	

:SYSTem:PRINt:IDATa[:TYPE] <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

OFF	中間データを出力しない。
INDividual	直前の中間データからの値。
ACCumulative	測定開始からの累積値。

機 能　中間データ印字の種類を選択します。

使用例　直前の中間データからの値を印字します。

> :SYSTem:PRINt:IDATa:TYPE　INDividual

または :SYSTem:PRINt:IDATa　INDividual

:SYSTem:PRINt:IDATa[:TYPE]?

レスポンス　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

OFF	中間データを出力しない。
IND	直前の中間データからの値。
ACC	測定開始からの累積値。

機 能　中間データ印字の種類を問い合わせます。

使用例　> :SYSTem:PRINt:IDATa:TYPE?

または :SYSTem:PRINt:IDATa?

< IND

:SYSTem:PRINt:IDATa:PERiod <numeric>,<suffix>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 99	ステップ値:1

<suffix> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

D	day
H	hour
M	minute
S	second

機 能　中間データの印字周期を設定します。

制 約　:SYSTem:PRINt:IDATa[:TYPE]で<OFF>とした場合は無効となります。

使用例　中間データの印字周期を 1 時間に設定する場合。

> :SYSTem:PRINt:IDATa:PERiod　1, h

:SYSTem:PRINt:IDATa:PERiod?

レスポンス　<numeric>,<suffix>

<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONS DATA>

<suffix> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　中間データの印字周期を問い合わせます。

使用例　> :SYSTem:PRINt:IDATa:PERiod?

< 1,h

:SYSTem:PRINt:MCONdition <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	測定条件を印字しない。
ON　or 1	測定条件を印字する。

機 能　測定条件印字の ON/OFF を設定します。

使用例　測定条件の印字をする場合。

> :SYSTem:PRINt:MCONdition　ON

:SYSTem:PRINt:MCONdition?

レスポンス　　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
　　0 or 1
機 能　　測定条件印字の設定を問い合わせます。
使用例　　> :SYSTem:PRINt:MCONdition?
　　< 1

:SYSTem:PRINt:ERRor:SET <boolean>

パラメータ　　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
　　OFF or 0　　エラー発生印字を行わない。
　　ON　or 1　　エラー発生印字を行う。
機 能　　エラー発生印字の ON/OFF を設定します。
使用例　　エラー発生印字をする場合。
　　> :SYSTem:PRINt:ERRor:SET ON

:SYSTem:PRINt:ERRor:SET?

レスポンス　　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
　　0 or 1
機 能　　エラー発生印字の設定を問い合わせます。
使用例　　> :SYSTem:PRINt:ERRor:SET?
　　< 1

:SYSTem:PRINt:ERRor:TYPE <type>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>
　　EC　　エラーカウント
　　ER　　エラーレート
機 能　　エラー発生の印字形式を設定します。
制 約　　:SYSTem:PRINt:ERRor:SET で<OFF>とした場合は無効となります。
使用例　　エラーカウントの印字をする場合。
　　> :SYSTem:PRINt:ERRor:TYPE　EC

:SYSTem:PRINt:ERRor:TYPE?

レスポンス　　<type> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　　エラー発生印字形式を問い合わせます。
使用例　　> :SYSTem:PRINt:ERRor:TYPE?
　　< EC

:SYSTem:PRINt:ERRor:THReshold:EC <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0	OFF
1	>　1
10	>　10
100	> 100
1000	>1000

機 能　　エラー発生印字のエラーカウントのスレッショルド値を設定します。
　　1 秒間に発生するエラーの個数が，設定した数値を越える場合に印字を行います。

制 約　　次の場合無効となります。
・:SYSTem:PRINt:ERRor:SET で<OFF>とした場合。
・:SYSTem:PRINt:ERRor:TYPE で<ER>を設定した場合。
使用例　　1 秒間に 100 個を越えるエラーが発生したときに印字する場合。
> :SYSTem:PRINt:ERRor:THReshold:EC　100

:SYSTem:PRINt:ERRor:THReshold:EC?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
機 能　　エラー発生印字のエラーカウントのスレッショルド値を問い合わせます。
使用例　　> :SYSTem:PRINt:ERRor:THReshold:EC?
< 100

:SYSTem:PRINt:ERRor:THReshold:ER <erate>

パラメータ　　<erate> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

OFF	
E_3	>1E-3
E_4	>1E-4
E_5	>1E-5
_6	>1E-6

機 能　　エラー発生印字のエラーレートのスレッショルド値を設定します。
1 秒間に発生するエラーのレートが設定値を越えたときに印字を行います。
制 約　　次の場合無効となります。
・:SYSTem:PRINt:ERRor:SET で<OFF>とした場合。
・:SYSTem:PRINt:ERRor:TYPE で<EC>を設定した場合。
使用例　　1 秒間に 1E-4 を越えるエラーが発生したときに印字をする場合。
> :SYSTem:PRINt:ERRor:THReshold:ER　E_4

:SYSTem:PRINt:ERRor:THReshold:ER?

レスポンス　　<erate> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　　エラー発生印字のエラーレートのスレッショルド値を問い合わせます。
使用例　　> :SYSTem:PRINt:ERRor:THReshold:ER?
< E_4

:SYSTem:PRINt:ERRor:SQUelch <boolean>

パラメータ　　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	ペーパーセーブ印字をしない。
ON　or 1	ペーパーセーブ印字をする。

機 能　　ペーパーセーブ印字の有無を設定します。
制 約　　:SYSTem:PRINt:ERRor:SET で<OFF>とした場合は，無効となります。
使用例　　連続エラー発生時に印字を停止します。
> :SYSTem:PRINt:ERRor:SQUelch　ON

:SYSTem:PRINt:ERRor:SQUelch?

レスポンス　　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 or 1
機 能　　ペーパーセーブ印字有無を問い合わせます。
使用例　　> :SYSTem:PRINt:ERRor:SQUelch?
< 1

:SYSTem:PRINt:ALARm:SET <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
　OFF or 0　アラームデータを印字しない。
　ON　or 1　アラームデータを印字する。
機 能　アラーム発生印字の ON/OFF を設定します。
使用例　アラーム発生／回復時にアラームデータを印字します。
> :SYSTem:PRINt:ALARm:SET　ON

:SYSTem:PRINt:ALARm:SET?

レスポンス　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
　0 or 1
機 能　アラーム発生印字の設定を問い合わせます。
使用例　> :SYSTem:PRINt:ALARm:SET?
< 1

:SYSTem:PRINt:LDATa:SET <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
　OFF or 0　測定結果データを印字をしない。
　ON　or 1　測定結果データを印字をする。
機 能　測定結果データ印字の ON/OFF を設定します。
使用例　測定結果データの印字をする場合。
> :SYSTem:PRINt:LDATa:SET ON

:SYSTem:PRINt:LDATa:SET?

レスポンス　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
　0　測定結果データを印字をしない。
　1　測定結果データを印字をする。
機 能　測定結果データの印字有無の設定を問い合わせます。
使用例　> :SYSTem:PRINt:LDATa:SET?
< 1

:SYSTem:PRINt:LDATa:ERRor <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
　OFF or 0　測定結果データ中エラーデータの印字をしない。
　ON　or 1　測定結果データ中エラーデータの印字をする。
機 能　測定結果データ中のエラーデータ印字有無を設定します。
制 約　:SYSTem:PRINt:LDATa:SET で<OFF>とした場合は，無効となります。
使用例　測定結果データ中のエラーデータを印字する場合。
> :SYSTem:PRINt:LDATa:ERRor ON

:SYSTem:PRINt:LDATa:ERRor?

レスポンス　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
　0 or 1
機 能　測定結果データ中のエラーデータ印字有無を問い合わせます。
使用例　> :SYSTem:PRINt:LDATa:ERRor?
< 1

:SYSTem:PRINt:LDATa:ALARm <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	測定結果データ中アラームデータの印字をしない。
ON　or 1	測定結果データ中アラームデータの印字をする。

機 能　測定結果データ中のアラームデータ印字有無を設定します。

制 約　:SYSTem:PRINt:LDATa:SET で<OFF>とした場合は，無効となります。

使用例　測定結果データ中のアラームデータを印字する場合。

> :SYSTem:PRINt:LDATa:ALARm ON

:SYSTem:PRINt:LDATa:ALARm?

レスポンス　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0 or 1

機 能　測定結果データ中のアラームデータ印字有無を問い合わせます。

使用例　> :SYSTem:PRINt:LDATa:ALARm?

< 1

:SYSTem:PRINt:LDATa:PERFormance <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	測定結果データ中パフォーマンスデータの印字をしない。
ON　or 1	測定結果データ中パフォーマンスデータの印字をする。

機 能　測定結果データ中のパフォーマンスデータ印字有無を設定します。

制 約　:SYSTem:PRINt:LDATa:SET で<OFF>とした場合は，無効となります。

使用例　測定結果データ中のパフォーマンスデータを印字する場合。

> :SYSTem:PRINt:LDATa:PERFormance ON

:SYSTem:PRINt:LDATa:PERFormance?

レスポンス　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0 or 1

機 能　測定結果データ中のパフォーマンスデータ印字有無を問い合わせます。

使用例　> :SYSTem:PRINt:LDATa:PERFormance?

< 1

:SYSTem:PRINt:LDATa:JUSTificat <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	測定結果データ中ポインタデータの印字をしない。
ON　or 1	測定結果データ中ポインタデータの印字をする。

機 能　測定結果データ中のポインタデータ印字有無を設定します。

制 約　:SYSTem:PRINt:LDATa:SET で<OFF>とした場合は，無効となります。

使用例　測定結果データ中のポインタデータを印字する場合。

> :SYSTem:PRINt:LDATa:JUSTificat ON

:SYSTem:PRINt:LDATa:JUSTificat?

レスポンス　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　測定結果データ中のポインタデータ印字有無を問い合わせます。

使用例　> :SYSTem:PRINt:LDATa:JUSTificat?

< 1

:SYSTem:PRINt:ENABle <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
　OFF or 0　プリンタ OFF
　ON　or 1　プリンタ ON

機 能　プリンタの印字の ON/OFF を設定します。(Print キー)

使用例　プリンタをイネーブルにする場合。
> :SYSTem:PRINt:ENABle　ON

:SYSTem:PRINt:ENABle?

レスポンス　<NR1 NUMERIC PROGRAM DATA>
　0 or 1

機 能　プリンタの印字の ON/OFF を問い合わせます。

使用例
> :SYSTem:PRINt:ENABle?
< 1

:SYSTem:PRINt:TEXT <string>

パラメータ　<string> = <STRING PROGRAM DATA>
　"各種文字列" ("を含んで最大 40 文字)

機 能　パラメータで指定した文字列を内蔵または外部プリンタへ出力します。

使用例　"--- 139M TEST ---"を内蔵または外部プリンタへ出力する場合。
> :SYSTem:PRINt:TEXT　"--- 139M TEST ---"

:SYSTem:MEMory:RECall <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　0 ～ 10

機 能　Condition メモリからデータを呼び出します。

制 約　データが書き込まれていない Condition メモリの番号を指定した場合は無効となります。

使用例　メモリの 1 番からデータを呼び出す場合。
> :SYSTem:MEMory:RECall　1

:SYSTem:MEMory:STORe <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　1 ～ 10

機 能　データを Condition メモリに書き込みます。
共通コマンド*SAV と同じ動作をします。

使用例　Condition メモリの 3 番にデータを書き込みする場合。
> :SYSTem:MEMory:STORe　3

:SYSTem:MEMory:CLEar <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　1 ～ 10

機 能　Condition メモリのデータを消去します。

制 約　データの書き込まれていない Condition メモリの番号を指定した場合は無効となります。

使用例　Condition メモリの 3 番のデータを消去する場合。
> :SYSTem:MEMory:CLEar　3

:SYSTem:MEMory:LABel <numeric>,<title>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　1 ～ 10
<title> = <STRING PROGRAM DATA>
　"メモリの名前"("を含んで最大 15 文字)

機 能　Condition メモリに名前をつけます。

制 約　データの書き込まれていない Condition メモリの番号を指定した場合は無効となります。

使用例　Condition メモリの 1 番の名前を"139M TEST"にする場合。
> :SYSTem:MEMory:LABel　1,"139M TEST"

:SYSTem:MEMory:LABel? <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　1 ～ 10

レスポンス　<title> = <STRING RESPONSE DATA>

機 能　Condition メモリの名前を問い合わせます。

使用例　Condition メモリの 1 番の名前を問い合わせる場合。
> :SYSTem:MEMory:LABel? 1
< "139M TEST"

:SYSTem:MEMory:ANALysis:LABel? <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　1 ～ 15　　メモリ No.1 ～ メモリ No.15

レスポンス　<title>,<gtype>,<stime>,<use>
　<title> = <STRING RESPONSE DATA>
　　メモリの名前(8 文字固定)
　<gtype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
　　グラフの種別

EAL	Error/Alarm 測定
FREQ	Frequency データ
APSC	APS capture データ
OHCA	OH capture データ

　<stime> = <STRING RESPONSE DATA>
　　測定開始時刻(19 文字固定)
　　"1994.12.25 18:40:30"
　<use> = <STRING RESPONSE DATA>
　　メモリ使用量(パーセント表示)
　　Form3

機 能　Analyze メモリの登録状況を問い合わせます。

使用例　メモリ No.1 の登録状況の問い合わせをする場合。
> :SYSTem:MEMory:ANALysis:LABel? 1
< "PDH ANAL",EAL,"1994.12.25 18:40:30"," 30.0000"

:SYSTem:MEMory:ANALysis:RECall <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
　1 ～ 15　　メモリ No.1 ～ メモリ No.15

機 能　Analyze メモリからデータを呼び出します。

制 約　データが書き込まれていないメモリ番号を指定した場合は無効となります。

使用例　　メモリ No.1 のデータを呼び出す場合。
> :SYSTem:MEMory:ANALysis:RECall 1

:SYSTem:MEMory:ANALysis:STORe <type>,<string>

パラメータ　　<type> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

EALarm	Error/Alarm データ
FREQuency	Frequency データ
APSCapture	APS capture データ
OHCapture	OH capture データ

<string> = <STRING PROGRAM DATA>
メモリの名前(最大 8 文字。""を含まない。)

機 能　　データを Analyze メモリへ書き込みます。

制 約　　次の場合無効となります。
・Analyze メモリの残り容量が不足している場合。
・すでに 10 項目の内容が登録されている場合。

使用例　　データ(Error/Alarm)を，"Demo1"の名前で Analyze メモリに書き込む場合。
> :SYSTem:MEMory:ANALysis:STORe EALarm,"Demo1"

:SYSTem:MEMory:ANALysis:CLEar <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 15　　メモリ No.1 ～ メモリ No.15

機 能　　Analyze メモリのデータを消去します。

使用例　　メモリ No.1 のデータを消去する場合。
> :SYSTem:MEMory:ANALysis:CLEar 1

:SYSTem:MEMory:ANALysis:ACLear

パラメータ　　なし

機 能　　Analyze メモリのデータをすべて消去します。

使用例　　> :SYSTem:MEMory:ANALysis:ACLear

:SYSTem:MMEMory:RECall <file_name>[,<memorized>]

パラメータ　　<file_name> = <STRING PROGRAM DATA>
“ファイル名”(大小文字の区別なし。拡張子含む。)
最大 12 文字
<memorized> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

OHPRset	OH preset 画面へリコールする。
APSProgram	APS program 画面へリコールする。
SPRogram	S1 program 画面へリコールする。
OHCHange	OH change 画面へリコールする。

機 能　　フロッピーディスクにおいて，ファイルからデータを読み出します。
(カレントディレクトリ内のみ)

使用例　　"DEMO1.CND"というファイルを読み出す場合。
> :SYSTem:MMEMory:RECall "DEMO1.CND"

:SYSTem:MMEMory:STORe <type>,<file_name>[,<ippacket_no>]

パラメータ　　<type> = <STRING PROGRAM DATA>

"CONDition"	設定状態データ
"TSEarch:RTEXt"	Result 画面の Trouble search 測定結果(テキスト形式)
"EALarm:RTEXt"	Result 画面の Error/Alarm 測定結果(テキスト形式)

"DELay:RTEXt"　Result 画面の DELay 測定結果(テキスト形式)
"EALarm:EALarm"　Error/Alarm 画面の Error/Alarm アナライズデータ
"EALarm:EAText"　Error/Alarm 画面の Error/Alarm アナライズデータ (テキスト形式)
"RECall:RECall"　Recall 画面のアナライズデータ(バイナリ形式)
"RECall:RTExt"　Recall 画面のアナライズデータ(テキスト形式)
“APSCapture:APSCapture”　APS capture 画面のアナライズデータ (バイナリ形式)
“APSCapture:APSText"　APS capture 画面のアナライズデータ (テキスト形式)
“OHCapture:OHCapture”　OH capture 画面のアナライズデータ(バイナリ形式)
“OHCapture:OHText･　OH capture 画面のアナライズデータ (テキスト形式)
"FREQuency:FREQuency"　Frequency 画面のアナライズデータ(バイナリ形式)
"FREQuency:FTEXt"　Frequency 画面のアナライズデータ(テキスト形式)
“OHPReset:DATText” Setup 画面のテーブルデータ設定 OH preset(テキスト形式)
“OHCHange:DATText”　Setup 画面のテーブルデータ設定 OH change(テキスト形式)
“APSProgram:DATText”　Setup 画面のテーブルデータ設定 APS program (テキスト形式)

<file_name> = <STRING PROGRAM DATA>
ファイル名(大小文字の区別なし。拡張子含む。)
最大 12 文字(""は含まない)
<ippacket_no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 999999　(IP capture 時)　　ステップ値： 1

機 能　フロッピーディスクにおいて，データのファイルへの書き込みを行います。(カレントディレクトリ内のみ)

制 約

使用例　現在の設定状態を"DEMO1.CND"というファイルに書き込みする場合。
> :SYSTem:MMEMory:STORe "CONDition","DEMO1.CND"

:SYSTem:MMEMory:DELete <file_name>

パラメータ　<file_name> = <STRING PROGRAM DATA>
ファイル名(大小文字の区別なし。ファイルの場合，拡張子含む。)
最大 12 文字(""は含まない)

機 能　フロッピーディスクにおいて，ファイルまたはディレクトリの削除を行います。(カレントディレクトリ内のみ)

使用例　"DEMO1.CND"というファイルを削除します。
> :SYSTem:MMEMory:DELete "DEMO1.CND"

:SYSTem:MMEMory:MDIRectory <dir_name>

パラメータ　<dir_name> = <STRING PROGRAM DATA>
ディレクトリ名(大小文字の区別なし。)
最大 12 文字

機 能　フロッピーディスクにおいて，サブディレクトリを作成します。(カレントディレクトリ内のみ)

使用例　カレントディレクトリの下に，"ORIGINAL"というサブディレクトリを作成する場合。
> :SYSTem:MMEMory:MDIRectory "ORIGINAL"

:SYSTem:MMEMory:REName <src_file>,<dst_file>

パラメータ　<src_file> = <STRING PROGRAM DATA>
元ファイル名(大小文字の区別なし。)
最大 12 文字
<dst_file> = <STRING PROGRAM DATA>
先ファイル名(大小文字の区別なし。)
最大 12 文字

機 能　フロッピーディスクにおいて，ファイル名を変更します。
(カレントディレクトリ内のみ)

制 約　・MS-DOS 形式に従います。

使用例　"DEMO1.CND"というファイル名を"DEMO2.CND"というファイル名に変更する場合。
> :SYSTem:MMEMory:REName "DEMO1.CND","DEMO2.CND"

:SYSTem:MMEMory:INITialize

パラメータ　なし

機 能　フロッピーディスクをフォーマットします。
(フォーマット種別の指定はありません。)

使用例　1.44MB でフロッピーディスクのフォーマットをする場合。
> :SYSTem:MMEMory:INITialize

:SYSTem:MMEMory:CATalog? <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
表示データの先頭行番号
最も日付けの新しいファイルまたはサブディレクトリを行番号 1 とします。
1 ～ 200

レスポンス　<use_byte>,<free_byte>,<current_dir>,<current_file>,<file_entry>
<use_byte> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
使用容量
0 ～ 1457664
<free_byte> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
空き容量
0 ～ 1457664
<current_dir> = <STRING RESPONSE DATA>
カレントディレクトリ
<current_file> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
カレントディレクトリ上の全ファイル数
(サブディレクトリも含む)
0 ～ 200
<file_entry> = <STRING RESPONSE DATA>
カレントディレクトリのファイル情報
各ファイルごとに，以下の情報を出力します。
日付けの新しい順に出力されます。
ただし，サブディレクトリはファイルより優先されて出力されます。

<file_name>,<file_size>,<date_time>
<file_name> : サブディレクトリまたはファイル名。
大文字(ファイル名は拡張子を含みます。ディレクトリ名は
<>で囲みます。)
<file_size> : ファイルのサイズ(Form1)。
<date_time> : ファイルの年月日時分秒。
ディスク情報が読み出せない場合
0,0,"--------",0,"--------,---------,----------"

機 能　フロッピーディスクの情報を問い合わせます。
1 度に出力可能なファイルまたはサブディレクトリの情報は，最大 4 個です。

使用例
```
> :SYSTem:MMEMory:CATalog? 1,4
< 1024,1456640,"¥ORIGINAL",35,
"<SUB_ORG1>,---------,----------,
<SUB_ORG2>,---------,----------,
DEMO___1.CND,        256,1994.12.31 10:30:00,
DEMO___2.CND,        256,1994.12.31 10:22:05"
```

:SYSTem:MMEMory:CDIRectory <dir_name>

パラメータ　<dir_name> = <STRING PROGRAM DATA>
ディレクトリ名
(大小文字の区別なし。相対パス/フルパスのどちらでも指定可。)
文字列長は 1～63 文字とし，""は不可。

機 能　フロッピーディスクにおいて，ディレクトリを移動します。

使用例　現在いるサブディレクトリと同レベルの"ORIGINAL"というサブディレクトリに移動する場合。
```
> :SYSTem:MMEMory:CDIRectory "..¥ORIGINAL"
```

:SYSTem:PROTection <mode>

パラメータ　<mode> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

G783	勧告 G.783
G841	勧告 G.841

機 能　勧告 G.783，G.841 表示形式の切り替えを設定します。

使用例　表示形式を勧告 G.841 に設定する場合。
```
> :SYSTem:PROTection G841
```

:SYSTem:PROTection?

レスポンス　<mode> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　勧告 G.783，G.841 表示形式を問い合わせます。

使用例　勧告 G.783，G.841 表示形式を問い合わせる場合。
```
> :SYSTem:PROTection?
< G841
```

:SYSTem:ORDerwire:TYPE <otype>

パラメータ　<otype> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

OFF	OFF
E1U	E1u-low
E1A	E1a-low
E2U	E2u-low
E2A	E2a-low

機 能　音声データの入出力バイトの切り替えを設定します。

使用例　音声データを SDH の E1a-low byte にのせる設定にする場合。

> :SYSTem:ORDerwire:TYPE E1A

:SYSTem:ORDerwire:TYPE?

レスポンス　<otype> = <CHARACTER RESPONSE DATA>

機 能　音声データの入出力バイトを問い合わせます。

使用例　音声データ入出力バイトの問い合わせする場合。

> :SYSTem:ORDerwire:TYPE?

< E1A

:SYSTem:ORDerwire:VOLume <volume>

パラメータ　<volume> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1 ～ 8

機 能　Order wire が OFF 以外のとき, 音声データの入出力の音量を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

Order wire が OFF 時の Volume 設定。

使用例　音声データの入出力の音量を 5 に設定する場合。

> :SYSTem:ORDerwire:VOLume 5

:SYSTem:ORDerwire:VOLume?

レスポンス　<volume> = <DECIMAL NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　音声データの入出力の音量を問い合わせます。

使用例　音声データの入出力の音量の問い合わせをする場合。

> :SYSTem:ORDerwire:VOLume?

< 5

(SDH 時)

:SYSTem:RDI:VC43 <bit>

(SONET 時)

:SYSTem:RDI:STS <bit>

パラメータ　<bit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

G1B57	G1(b5-7)
G1B5	G1(b5)

機 能　MS-RDI の検出・解除の条件を決定する勧告の選択を設定します。

使用例　> :SYSTem:RDI:VC43 G1B57 または

> :SYSTem:RDI:STS G1B57

(SDH 時)
:SYSTem:RDI:VC43?
(SONET 時)
:SYSTem:RDI:STS?

レスポンス　<bit> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　MS-RDI の検出・解除の条件を決定する勧告を問い合わせます。
使用例　> :SYSTem:RDI:VC43? または
> :SYSTem:RDI:STS?
< G1B57

(SDH 時)
:SYSTem:RDI:VC21 <bit>
(SONET 時)
:SYSTem:RDI:VT <bit>

パラメータ　<bit> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

(SDH 時)		(SONET 時)	
K4B57	K4(b5-7)	Z7	Z7(b5-7)
V5B8	V5(b8)	V5	V5(b8)

機 能　MS-RDI の検出・解除の条件を決定する勧告の選択を設定します。
使用例　> :SYSTem:RDI:VC21 V5B8 または
> :SYSTem:RDI:VT V5B8

(SDH 時)
:SYSTem:RDI:VC21?
(SONET 時)
:SYSTem:RDI:VT?

レスポンス　<bit> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能　MS-RDI の検出・解除の条件を決定する勧告を問い合わせます。
使用例　> :SYSTem:RDI:VC21? または
> :SYSTem:RDI:VT?
< V5B8

:SYSTem:MPAuse <mode>

パラメータ　<mode> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
DISABLE or 0
ENABLE　or 1
機 能　Error/Alarm 測定の Pause 機能を設定します。
制 約　次の場合無効となります。
測定実行中。
使用例　Pause 機能を使用する設定にする場合。
> :SYSTem:MPAuse ENABLE

:SYSTem:MPAuse?

レスポンス　<mode> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0
1

機 能　Error/Alarm 測定の Pause 機能を問い合わせます。

使用例　Error/Alarm 測定の Pause 機能を問い合わせする場合。
> :SYSTem:MPAuse?
< 1

:SYSTem:SEQuence:SET <no1>,<no2>

パラメータ　<no1> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 10　シーケンステスト順序 NO.
<no2> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 10　メモリ NO. 1 ～10

機 能　シーケンスごとに実行する設定データの種類を設定します。

制 約　次の場合無効となります。
データが存在しない場合。

使用例　メモリ登録されている測定条件 NO.6 をシーケンステストの NO.2 に設定する場合。
> :SYSTem:SEQuence:SET 2,6

:SYSTem:SEQuence:SET? <no1>

パラメータ　<no1> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

レスポンス　<condition> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
メモリ登録されている測定条件ニーモニック

機 能　シーケンスごとに実行する設定データを問い合わせます。

使用例　シーケンステスト NO.2 に設定されている測定条件を問い合わせする場合。
> :SYSTem:SEQuence:SET? 2
< Error/Alarm1

:SYSTem:SEQuence:RECall <no>

パラメータ　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1 ～ 10　メモリ NO. 1 ～10

機 能　メモリから測定結果データの呼び出しを行います。

制 約　次の場合無効となります。
データが存在しない場合。

使用例　メモリ NO.2 より Result データおよび Analyze データを呼び出す場合。
> :SYSTem:SEQuence:RECall 2

:SYSTem:SEQuence:RECall?

レスポンス　<no> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

機 能　測定結果データの RECall No を問い合わせます。

使用例　メモリ NO.2 より Result データおよび Analyze データを呼び出す場合。
> :SYSTem:SEQuence:RECall?

:SYSTem:DATE <numeric1>,<numeric2>,<numeric3>

パラメータ　<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
<numeric1>　= 1994 ～ 2093
<numeric2>　= 1 ～ 12
<numeric3>　= 1 ～ 31

機 能　現在の日付を設定します。

使用例　現在の日付(１９９５年７月２８日)を設定する場合。
> :SYSTem:DATE 1995,7,28

:SYSTem:DATE?

レスポンス　<numeric1>,<numeric2>,<numeric3>
= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　現在の日付を問い合わせます。

使用例
> :SYSTem:DATE?
< 1995,7,28

:SYSTem:TIME <numeric1>,<numeric2>,<numeric3>

パラメータ　<DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
<numeric1> = 0 ～ 23
<numeric2> = 0 ～ 59
<numeric3> = 0 ～ 59

機 能　現在の時間を設定します。

使用例　現在の時間(１４時０分０秒)を設定する場合。
> :SYSTem:TIME　14,0,0

:SYSTem:TIME?

レスポンス　<numeric1>,<numeric2>,<numeric3>
= <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

機 能　現在の時間を問い合わせます。

使用例
> :SYSTem:TIME?
< 14,0,0

:SYSTem:BUZZer <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>
OFF or 0　ブザー OFF
ON　or 1　ブザー ON

機 能　ブザーの ON/OFF を切り替えます。

使用例　ブザーを ON にする場合。
> :SYSTem:BUZZer ON

:SYSTem:BUZZer?

レスポンス　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0 or 1

機 能　ブザーの設定状態を問い合わせます。

使用例
> :SYSTem:BUZZer?
< 1

:SYSTem:LED:HISTory <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	LED ヒストリ機能 OFF
ON or 1	LED ヒストリ機能 ON

機 能　LED ヒストリ機能を設定します。

使用例　LED ヒストリ機能を ON にする場合。

> :SYSTem:LED:HISTory ON

:SYSTem:LED:HISTory?

レスポンス　<NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0 or 1

機 能　LED ヒストリ機能の設定状態を問い合わせます。

使用例　> :SYSTem:LED:HISTory?

< 1

:SYSTem:COUPled:M1656 <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF	or	0
ON	or	1

機 能　Coupled MP1656A を設定します。

制 約　次の場合無効となります。

・Coupled MP1656A モード Disable の場合。

使用例　Coupled MP1656A を ON に設定する場合。

> :SYSTem:COUPled:M1656 ON

:SYSTem:COUPled:M1656?

レスポンス　<bollean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

機 能　Coupled MP1656A を問い合わせます。

使用例　> :SYSTem:COUPled:M1656?

< 1

:SYSTem:TRIGgerout <trg>

パラメータ　<trg> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

OFF
CAPTURE
TXFRAME
TXCLOCK
RXFRAME
RXCLOCK

機 能　トリガ出力を実行する／しないを設定します。

制 約　次の場合無効となります。

受信の検出発生の場合、Error/Alarm のマスクがかけられているときは検出発生しません。

使用例　トリガ出力を Txframe に設定する場合。

> :SYSTem:TRIGgerout TXFRAME

:SYSTem:TRIGgerout?

レスポンス	<trg> = <CHARACTER RESPONSE DATA>
機 能	トリガ出力を実行する／しないの設定値を問い合わせます。
使用例	トリガ出力の設定値を問い合わせる場合。 > :SYSTem:TRIGgeout? < TXFRAME

10.3.8　TEST subsystem

TEST サブシステムでは，セルフテストの結果などを表示します。以下に，機能，コマンド，およびパラメータの一覧表と，コマンドの詳細説明を示します。

機能	コマンド	パラメータ
Page 10-490		
セルフテストの種別を選択	:TEST:TYPE	string
Page 10-490		
本体機能試験で試験対象の選択	:TEST:SCONtent:TYPE	type
本体機能試験で試験対象の問い合わせ	:TEST:SCONtent:TYPE?	
Page 10-491		
本体機能試験で SDH/PDH 項目を試験対象に設定	:TEST:SCONtent:PSDH　(SDH 時)	boolean
本体機能試験で SDH/PDH 項目の設定状態の問い合わせ	:TEST:SCONtent:PSDH?　(SDH 時)	
Page 10-491		
SONET/SDH/PDH 試験で試験対象ユニットを設定	:TEST:SCONtent:SUNit	type
SONET/SDH/PDH 試験で試験対象ユニットの問い合わせ	:TEST:SCONtent:SUNit?	
Page 10-492		
セルフテストの測定状態の問い合わせ	:TEST:STATe?	
Page 10-492		
セルフテストを開始	:TEST:STARt	
Page 10-492		
セルフテストを停止	:TEST:STOP	
Page 10-492		
セルフテストの結果を問い合わせ	:TEST:ECODe?	block
Page 10-493		
セルフテストの結果を問い合わせ	:TEST:RESult?	
Page 10-493		
エラーコードの表示位置を設定	:TEST:SCRoll	scroll

:TEST:TYPE <string>

パラメータ　<string> = <STRING PROGRAM DATA>

"MFTest"	Mainframe 機能テスト	…①
"IFTest:MP0109A"	MP0109A 622M/156M Interface test	…②
"IFTest:MP0110A"	MP0110A 622M/156M Interface test	…③
"IFTest:MP0104A:M156"	MP0104A 156M Interface test	…④
"IFTest:MP0104B:M156"	MP0104B 156M interface test	…⑤
"IFTest:MP0104B:M622"	MP0104B 622M interface test	…⑥
"IFTest:MP0105A:M156"	MP0105A 156M interface test	…⑦
"IFTest:MP0106B:M156"	MP0106B 156M interface test	…⑧
"IFTest:MP0106B:M622"	MP0106B 622M interface test	…⑨
"IFTest:MP0108A"	MP0108A 622M/156M Interface test	…⑩
"IFTest:MP0111A"	MP0111A 622M/156M Interface test	…⑪
"IFTest:MP0112A"	MP0112A 622M/156M Interface test	…⑫
"IFTest:MP0113A:1.31"	MP0113A 622M/156M(1.31) Interface test	…⑬
"IFTest:MP0113A:1.55"	MP0113A 622M/156M(1.55) Interface test	…⑭

機 能　セルフテストの種別を選択します。

制 約　以下の場合，無効とします。

・下表で○以外の場合。

装着ユニット＼診断項目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
No unit	○													
MP0109A	○	○												
MP0110A	○		○											
MP0104A	○			○										
MP0104B	○				○	○								
MP0105A	○						○							
MP0106B	○							○	○					
MP0108A	○									○				
MP0111A	○										○			
MP0112A	○											○		
MP0113A	○												○	○

:TEST:SCONtent:TYPE <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTOR PROGRAM DATA>

ISELect　Item select

機 能　本体機能試験で試験対象を選択します。

制 約　以下の場合，無効とします。

・:TEST:TYPE が<MFT>以外の場合。

使用例　試験対象を選択モードに設定する場合。

> :TEST:SCONtent:TYPE ISELect

:TEST:SCONtent:TYPE?

レスポンス　<type> = <CHARACTOR RESPONSE DATA>

機 能　本体機能試験で試験対象を問い合わせます。

使用例　> :TEST:SCONtent:TYPE?

< ISEL

:TEST:SCONtent:PSDH <boolean>

パラメータ　<boolean> = <BOOLEAN PROGRAM DATA>

OFF or 0	SDH/PDH 試験を行わない。
ON　or 1	SDH/PDH 試験を行う。

機 能　本体機能試験で SDH/PDH 項目を試験対象に設定します。

制 約　以下の場合，無効とします。

・MP0121A ユニットおよび MP0122A/B ユニットが無効の場合。
・:TEST:TYPE が<MFT>以外の場合。
・:TEST:SCONtent:TYPE が<ISEL>以外の場合。

使用例　SDH/PDH 項目を試験対象とします。

```
> :TEST:SCONtent:PSDH ON
```

:TEST:SCONtent:PSDH?

レスポンス　<boolean> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0	SDH/PDH 試験を行わない。
1	SDH/PDH 試験を行う。

機 能　本体機能試験で SDH/PDH 項目の設定状態を問い合わせます。

使用例

```
> :TEST:SCONtent:PSDH?
< 1
```

:TEST:SCONtent:SUNit <type>

パラメータ　<type> = <CHARACTOR PROGRAM DATA>

ALL	MP0121A ユニットおよび MP0122A または MP0122B ユニット
MP0121A	MP0121A ユニット
MP0122A	MP0122A ユニット
MP0122B	MP0122B ユニット
MP0131A	MP0131A ユニット

機 能　SDH/PDH 試験で試験対象ユニットを設定します。

制 約　以下の場合，無効とします。

・MP0121A ユニットが無効時に<MP0121A>を設定した場合。
・MP0122A ユニットが無効時に<MP0122A>を設定した場合。
・MP0122B ユニットが無効時に<MP0122B>を設定した場合。
・MP0131A ユニットが無効時に<MP0131A>を設定した場合。
・MP0121A ユニットおよび MP0122A または MP0122B ユニットが無効時に<ALL>を設定した場合。
・:TEST:TYPE が<MFT>以外の場合。
・:TEST:SCONtent:TYPE が<ISEL>以外の場合。
・MP0121A ユニットまたは MP0122A または MP0122B ユニットのいずれか一方が未装着時に<ALL>を設定した場合。

使用例　MP0121A を試験対象とします。

```
> :TEST:SCONtent:SUNit MP0121A
```

:TEST:SCONtent:SUNit?

レスポンス　<type> = <CHARACTOR RESPONSE DATA>

機 能　SDH/PDH 試験で試験対象ユニットを問い合わせます。

使用例

```
> :TEST:SCONtent:SUNit?
< MP0121A
```

:TEST:STATe?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0	測定終了
1	測定中
2	測定中断

機 能　セルフテストの状態を問い合わせします。

使用例
> :TEST:STATe?
< 1

:TEST:STARt

パラメータ　なし

機 能　セルフテストを開始させます。

制 約　セルフテスト画面が表示されていない場合無効となります。

使用例
> :TEST:STARt

:TEST:STOP

パラメータ　なし

機 能　セルフテストを停止させます。

制 約　以下の場合，無効とします。
・Setup:Selftest 画面が表示されていない場合。

使用例
> :TEST:STOP

:TEST:ECODe? <block>

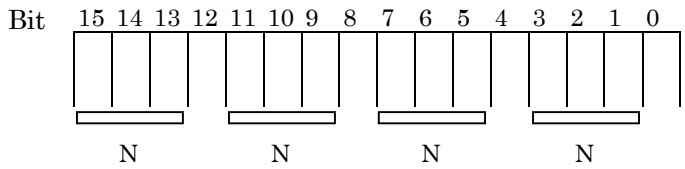
パラメータ　<block> = <CHARACTOR PROGRAM DATA>

BLOCK0	1～40 番目のエラーコードを表示する。
BLOCK1	41～80 番目のエラーコードを表示する。
BLOCK2	81～120 番目のエラーコードを表示する。
BLOCK3	121～160 番目のエラーコードを表示する。
BLOCK4	161～200 番目のエラーコードを表示する。
BLOCK5	201～240 番目のエラーコードを表示する。

レスポンス　<string> = <STRING RESPONSE DATA>

"XXNNNN"	XX	：自己診断項目を表す 2 文字の英数字
	NNNN	：エラーの詳細内容を表す 4 桁の数値

(十六進数)



指定したブロックにデータが 1 つも無い場合は，"------"が出力されます。
複数存在する場合は，カンマで区切られます。
１度に出力可能なエラーコードは最大 36 個です。

機 能　セルフテストの結果を問い合わせます。
多数ある場合のレスポンスはコンマで区切って返されます。
例 "1A0001,1B0001,...."
自己診断の項目と，各ビット毎のエラーの詳細内容については付録Ｂを参照してください。

使用例
> :TEST:ECODe? BLOCK0
< "1A0001,1B0001,1C0010,0D1000"

:TEST:RESult?

レスポンス　<result> = <STRING RESPONSE DATA>
　　Form4

機 能　セルフテストの結果を問い合わせます。

使用例　> :TEST:RESult?
< "Unacceptable"

:TEST:SCRoll <scroll>

パラメータ　<scroll> = <CHARACTER PROGRAM DATA>

TOP	エラーコード(または測定結果)の先頭頁を表示する。
BEFore	エラーコード(または測定結果)の前頁を表示する。
NEXT	エラーコード(または測定結果)の次頁を表示する。
BOTTom	エラーコード(または測定結果)の最終頁を表示する。

機 能　エラーコードの表示位置を設定します。

制 約　以下の場合，無効とします。

・Debug:OFF 時にエラーコードが 1 つも存在しない場合。
・Debug:ON 時に測定結果が 1 つも存在しない場合。
・前頁が存在しない時に<BEF>を設定した場合。
・次頁が存在しない時に<NEXT>を設定した場合。

使用例　表示位置を先頭頁に設定する。
> :TEST:SCRoll TOP

10.3.9　STATus subsystem

STATus サブシステムでは，ステータスレジスタの制御 (設定および表示) を行います。以下に，機能，コマンド，およびパラメータの一覧表と，コマンドの詳細説明を示します。

機能	コマンド	パラメータ
Page 10-508		
ステータスレジスタの初期化	:STATus:PRESet	
<QUEStionable Status Register>		
Page 10-509		
Questionable ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable[:EVENt]?	
Page 10-509		
Questionable ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:CONDition?	
Page 10-509		
Questionable ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:ENABle	numeric
Questionable ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:ENABle?	
Page 10-509		
Questionable ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:PTRansition	numeric
Questionable ステータスレジスタにおける Positive Transition Register の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:PTRansition?	
Page 10-510		
Questionable ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:NTRansition	numeric
Questionable ステータスレジスタにおける Negative Transition Register の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:NTRansition?	
<TELecom Status Register>		
Page 10-511		
TELecom ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom[:EVENt]?	
TELecom ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:CONDition?	
TELecom ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:ENABle	numeric

TELecom ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:ENABle?	
TELecom ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:PTRansition	numeric
TELecom ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:PTRansition?	
TELecom ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:NTRansition	numeric
TELecom ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の現在の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:NTRansition?	

<139M Status Register>

Page 10-514

139M ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M139[:EVENt]?	
139M ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M139:CONDition?	
139M ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:M139:ENABle	numeric
139M ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M139:ENABle?	
139M ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:M139:PTRansition	numeric
139M ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M139:PTRansition?	
139M ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:M139:NTRansition	numeric
139M ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M139:NTRansition?	

<34M Status Register>

Page 10-516

34M ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M34[:EVENt]?	
34M ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M34:CONDition?	
34M ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:M34:ENABle	numeric
34M ステータスレジスタにおける Event Enable Register の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M34:ENABle?	

34M ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:M34:PTRansition	numeric
34M ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M34:PTRansition?	
34M ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:M34:NTRansition	numeric
34M ステータスレジスタにおける Negtive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M34:NTRansition?	

<8M Status Register>

Page 10-518

8M ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M8[:EVENt]?	
8M ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M8:CONDition?	
8M ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:M8:ENABle	numeric
8M ステータスレジスタにおける Event Enable Register の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M8:ENABle?	
8M ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:M8:PTRansition	numeric
8M ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M8:PTRansition?	
8M ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:M8:NTRansition	numeric
8M ステータスレジスタにおける Negtive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M8:NTRansition?	

<2M Status Register>

Page 10-520

2M ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M2[:EVENt]?	
2M ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M2:CONDition?	
2M ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:M2:ENABle	numeric
2M ステータスレジスタにおける Event Enable Register の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M2:ENABle?	
2M ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:M2:PTRansition	numeric
2M ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M2:PTRansition?	
2M ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:M2:NTRansition	numeric

2M ステータスレジスタにおける Negtive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:M2:NTRansition?	

<SDH and SONET Status Register>

Page 10-523

For SDH

SDH ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH[:EVENt]?	
SDH ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:CONDition?	
SDH ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:ENABle	numeric
SDH ステータスレジスタにおける Event Enable Register の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:ENABle?	
SDH ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:PTRansition	numeric
SDH ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:PTRansition ?	
SDH ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:NTRansition	numeric
SDH ステータスレジスタにおける Negtive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:NTRansition ?	

For SONET

SONET ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet[:EVENt]?	
SONET ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:CONDition ?	
SONET ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:ENABle	numeric
SONET ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:ENABle?	
SONET ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:PTRansitio n	numeric
SONET ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter 内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:PTRansitio n?	
SONET ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:NTRansitio n	numeric
SONET ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:NTRansitio n?	

<SECT Status Register>

Page 10-525

For SDH

SECT ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT[:EVENt]?	
SECT ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:CONDition?	
SECT ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:ENABle	numeric
SECT ステータスレジスタにおける Event Enable Register の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:ENABle?	
SECT ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:PTRansition	numeric
SECT ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:PTRansition?	
SECT ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:NTRansition	numeric
SECT ステータスレジスタにおける Negtive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:NTRansition?	

For SONET

SLIN ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:SLINe[:EVENt]?	
SLIN ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:SLINe:CONDition?	
SLIN ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:SLINe:ENABle	numeric
SLIN ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:SLINe:ENABle?	
SLIN ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:SLINe:PTRansition	numeric
SLIN ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:SLINe:PTRansition?	
SLIN ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:SLINe:NTRansition	numeric
SLIN ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:SLINe:NTRansition?	

<HP/P Status Register>

Page 10-527

For SDH

HP ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP[:EVENt]?	
HP ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:CONDition?	
HP ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:ENABle	numeric
HP ステータスレジスタにおける Event Enable Register の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:ENABle?	
HP ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:PTRansition	numeric
HP ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:PTRansition?	
HP ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:NTRansition	numeric
HP ステータスレジスタにおける Negtive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:NTRansition?	

For SONET

P ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:P[:EVENt]?	
P ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:P:CONDition?	
P ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:P:ENABle	numeric
P ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:P:ENABle?	
P ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:P:PTRansition	numeric
P ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:P:PTRansition?	
P ステータスレジスタの Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:P:NTRansition	numeric
P ステータスレジスタの Negative Transition Filter の内容を問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:P:NTRansition?	

<LP / V Status Register>

Page 10-530

For SDH

LP ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP[:EVENt]?	
LP ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:CONDition?	
LP ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:ENABle	numeric

LP ステータスレジスタにおける Event Enable Register の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:ENABle?	
LP ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:PTRansition	numeric
LP ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:PTRansition?	
LP ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:NTRansition	numeric
LP ステータスレジスタにおける Negtive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:NTRansition?	

For SONET

V ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:V[:EVENt]?	
V ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:V:CONDition?	
V ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:V:ENABle	numeric
V ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:V:ENABle?	
V ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:V:PTRansition	numeric
V ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:V:PTRansition?	
V ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:V:NTRansition	numeric
V ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:V:NTRansition?	

<TCOH(HP) / TCOH(P) Status Register>

Page 10-533

For SDH

TCOH(HP)ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP[:EVENt]?	
TCOH(HP)ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:CONDition?	
TCOH(HP)ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:ENABle	numeric
TCOH(HP)ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:ENABle?	
TCOH(HP)ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:PTRansition	numeric

TCOH(HP)ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:PTRansition?	
TCOH(HP)ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:NTRansition	numeric
TCOH(HP)ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:NTRansition?	

For SONET

TCOH(P)ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TP[:EVENt]?	
TCOH(P)ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TP:CONDition?	
TCOH(P)ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TP:ENABle	numeric
TCOH(P)ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TP:ENABle?	
TCOH(P)ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TP:PTRansition	numeric
TCOH(P)ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TP:PTRansition?	
TCOH(P)ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TP:NTRansition	numeric
TCOH(P)ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TP:NTRansition?	

<TCOH(LP) / TCOH(V) Status Register>

Page 10-536

For SDH

TCOH(LP)ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP[:EVENt]?	
TCOH(LP)ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:CONDition?	
TCOH(LP)ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:ENABle	numeric
TCOH(LP)ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:ENABle?	
TCOH(LP)ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:PTRansition	numeric

TCOH(LP)ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:PTRansition?	
TCOH(LP)ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:NTRansition	numeric
TCOH(LP)ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:NTRansition?	

For SONET

TCOH(V)ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TV[:EVENt]?	
TCOH(V)ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TV:CONDition?	
TCOH(V)ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TV:ENABle	numeric
TCOH(V)ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TV:ENABle?	
TCOH(V)ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TV:PTRansition	numeric
TCOH(V)ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TV:PTRansition?	
TCOH(V)ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TV:NTRansition	numeric
TCOH(V)ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TV:NTRansition?	

<OH Status Register>

Page 10-539

For SDH

OH ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH[:EVENt]?	
OH ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:CONDition?	
OH ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:ENABle	numeric
OH ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:ENABle?	
OH ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:PTRansition	numeric
OH ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:PTRansition?	

OH ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:NTRansition	numeric
OH ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:NTRansition?	
SIGnalling ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGnalling[:EVENt]?	
SIGnalling ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:CONDition?	
SIGnalling ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:ENABle	numeric
SIGnalling ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:ENABle?	
SIGnalling ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:PTRansition	numeric
SIGnalling ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:PTRansition?	
SIGnalling ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:NTRansition	numeric
SIGnalling ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:NTRansition?	

For SONET

OH ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:OH[:EVENt]?	
OH ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:OH:CONDition?	
OH ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:OH:ENABle	numeric
OH ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:OH:ENABle?	
OH ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:OH:PTRansition	numeric
OH ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:OH:PTRansition?	
OH ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:OH:NTRansition	numeric
OH ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:OH:NTRansition?	

SIGnalling ステータスレジスタにおけるイベントレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:SIGnalling[:EVENt]?	
SIGnalling ステータスレジスタにおけるコンディションレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:SIGNalling:CONDition?	
SIGnalling ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:SIGNalling:ENABle	numeric
SIGnalling ステータスレジスタにおけるイベントイネーブルレジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:SIGNalling:ENABle?	
SIGnalling ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:SIGNalling:PTRansition	numeric
SIGnalling ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:SIGNalling:PTRansition?	
SIGnalling ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:SIGNalling:NTRansition	numeric
SIGnalling ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:SIGNalling:NTRansition?	

<TELecom2 Status Register>

Page 10-544

TELecom2 ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom2[:EVENt]?	
TELecom2 ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom2:CONDition?	
TELecom2 ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom2:ENABle	numeric
TELecom2 ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom2:ENABle?	
TELecom2 ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom2:PTRansition	numeric
TELecom2 ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom2:PTRansition?	
TELecom2 ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom2:NTRansition	numeric
TELecom2 ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の現在の内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom2:NTRansition?	

<45M Status Register>

Page 10-546

45M ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom2:M45[:EVENt]?	
45M ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:CONDition?	
45M ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:ENABle	numeric
45M ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:ENABle?	
45M ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:PTRansition	numeric
45M ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:PTRansition?	
45M ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:NTRansition	numeric
45M ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:NTRansition?	

<1.5M Status Register>

Page 10-548

1.5M ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom2:M1_5[:EVENt]?	
1.5M ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom2:M1_5:CONDition?	
1.5M ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 値の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom2:M1_5:ENABle	numeric
1.5M ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom2:M1_5:ENABle?	
1.5M ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom2:M1_5:PTRansition	numeric
1.5M ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom2:M1_5:PTRansition?	
1.5M ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:QUEStionable:TELecom2:M1_5:NTRansition	numeric
1.5M ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:QUEStionable:TELecom2:M1_5:NTRansition?	

<OPERation Status Register>

Page 10-550

OPERation ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:OPERation[:EVENt]?	

Page 10-550

OPERation ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:OPERation:CONDition?	

Page 10-550

OPERation ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 値の設定	:STATus:OPERation:ENABle	numeric
OPERation ステータスレジスタにおける Event Enable Register の設定値の問い合わせ	:STATus:OPERation:ENABle?	

Page 10-550

OPERation ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:OPERation:PTRansition	numeric
OPERation ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:OPERation:PTRansition?	

Page 10-551

Operation ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:OPERation:NTRansition	numeric
OPERation ステータスレジスタにおける Negtive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:OPERation:NTRansition?	

<INSTrument Status Register>

Page 10-552

INSTrument ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:OPERation:INSTrument[:EVENt]?	
INSTrument ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容の問い合わせ	:STATus:OPERation:INSTrument:CONDition?	
INSTrument ステータスレジスタにおける Event Enable Register の mask 値の設定	:STATus:OPERation:INSTrument:ENABle	numeric
INSTrument ステータスレジスタにおける Event Enable Register の設定値の問い合わせ	:STATus:OPERation:INSTrument:ENABle?	
INSTrument ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定	:STATus:OPERation:INSTrument:PTRansition	numeric
INSTrument ステータスレジスタにおける Positive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:OPERation:INSTrument:PTRansition?	
INSTrument ステータスレジスタにおける Negative Transition Filter の設定	:STATus:OPERation:INSTrument:NTRansition	numeric
INSTrument ステータスレジスタにおける Negtive Transition Filter の設定値の問い合わせ	:STATus:OPERation:INSTrument:NTRansition?	

:STATus:PRESet

パラメータ	なし
機 能	ステータスレジスタを初期化します。 このコマンドによって影響を受けるレジスタは下記の通りです。 ・SCPI 規定ステータスレジスタのトランジションとイネーブルレジスタ。 ・装置固有ステータスレジスタのトランジションとイネーブルレジスタ。
使用例	> :STATus:PRESet

<QUEStionable Status Register>

QUEStionable Status Register では，DATA Status Register のサマリなどを供給します。

:STATus:QUEStionable[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Questionable ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:EVENt?
または :STATus:QUEStionable?
< 512

:STATus:QUEStionable:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Questionable ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:CONDition?
< 512

:STATus:QUEStionable:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

512 (Bit 9)	TELecom Status Register サマリ
1024 (Bit10)	TELecom 2 Status Register サマリ

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Event Enable Register の mask をセットします。mask に対応する Event Register の状態が QUEStionable サマリビットに報告されます。Event Enable Register のビットに 1 がたっている場合，対応する Event bit が真になった時に QUEStionable サマリビットが真となります。

使用例　ビット 9 をイネーブルにする場合。
> :STATus:QUEStionable:ENABle　512

:STATus:QUEStionable:ENABle?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Event Enable Register の現在の mask の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:ENABle?
< 512

:STATus:QUEStionable:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

512　(Bit 9)	TELecom Status Register サマリ
1024　(Bit10)	TELecom 2 Status Register サマリ

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Positive Transition Filter をセットします。
Positive Transition Filter のビットをセットすると，対応する QUEStionable Condition Register のビットが 0 から 1 へ変化しとたきに，対応する QUEStionable Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 9 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:PTRansition　512

:STATus:QUEStionable:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Positive Transition Register の現在の設定を問い合わせます。

使用例
> :STATus:QUEStionable:PTRansition?
< 512

:STATus:QUEStionable:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

512	(Bit 9)	TELecom Status Register サマリ
1024	(Bit10)	TELecom 2 Status Register サマリ

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Negative Transition Filter をセットします。
Negative Transition Filter のビットをセットすると，対応する QUEStionable Condition Register のビットが 1 から 0 へ変化したときに，対応する QUEStionable Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 9 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:NTRansition　512

:STATus:QUEStionable:NTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Negative Transition Register の現在の設定を問い合わせます。

使用例
> :STATus:QUEStionable:NTRansition?
< 512

<TELecom Status Register>

TELecom Status Register では，139M，34M，8M，および 2M Status Register のサマリの供給や，電源断などを表示します。

:STATus:QUEStionable:TELecom[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　TELecom ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:EVENt?
または :STATus:QUEStionable:TELecom?
< 2050　(ビット 1 と 11 がセットされていたことを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　TELecom ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容を問い合わせます。

使用　> :STATus:QUEStionable:TELecom:CONDition?
< 4100　(ビット 2 と 12 がセットされていたことを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	コードエラー発生
2	(Bit 1)	ビットエラー発生
4	(Bit 2)	パターンシンクロス発生
8	(Bit 3)	シグナルロス発生
16	(Bit 4)	電源断発生
32	(Bit 5)	クロックロス発生
64	(Bit 6)	UNLOCK 発生
1024	(Bit10)	SDH Status Register サマリ
2048	(Bit11)	2M Status Register サマリ
4096	(Bit12)	8M Status Register サマリ
8192	(Bit13)	34M Status Register サマリ
16384	(Bit14)	139M Status Register サマリ

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Event Enable Register の mask をセットします。mask に対応する Event Register の状態が TELecom サマリビットに報告されます。
Event Enable Register のビットに 1 がたっている場合，対応する Event bit が真になった時に TELecom サマリビットが真となります。

使用例　ビット 4 と 14 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:ENABle　16400

:STATus:QUEStionable:TELecom:ENABle?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Event Enable Register の現在の mask の設定を問い合わせます。

使用例
> :STATus:QUEStionable:TELecom:ENABle?
< 16400

:STATus:QUEStionable:TELecom:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	コードエラー発生
2	(Bit 1)	ビットエラー発生
4	(Bit 2)	パターンシンクロス発生
8	(Bit 3)	シグナルロス発生
16	(Bit 4)	電源断発生
32	(Bit 5)	クロックロス発生
64	(Bit 6)	UNLOCK 発生
1024	(Bit10)	SDH Status Register サマリ
2048	(Bit11)	2M Status Register サマリ
4096	(Bit12)	8M Status Register サマリ
8192	(Bit13)	34M Status Register サマリ
16384	(Bit14)	139M Status Register サマリ

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Positive Transition Filter をセットします。
Positive Transition Filter のビットをセットすると，対応する TELecom Condition Register のビットが 0 から 1 へ変化したときに，対応する TELecom Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 2 と 13 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:PTRansition　8198

:STATus:QUEStionable:TELecom:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Positive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例
> :STATus:QUEStionable:TELecom:PTRansition?
< 8198

:STATus:QUEStionable:TELecom:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	コードエラー発生
2	(Bit 1)	ビットエラー発生
4	(Bit 2)	パターンシンクロス発生
8	(Bit 3)	シグナルロス発生
16	(Bit 4)	電源断発生
32	(Bit 5)	クロックロス発生
64	(Bit 6)	UNLOCK 発生
1024	(Bit10)	SDH Status Register サマリ
2048	(Bit11)	2M Status Register サマリ
4096	(Bit12)	8M Status Register サマリ

8192 (Bit13)　　34M Status Register サマリ
16384(Bit14)　　139M Status Register サマリ
セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Negative Transition Filter をセットします。
Negative Transition Filter のビットをセットすると，対応する TELecom Condition Register のビットが 1 から 0 へ変化したときに，対応する TELecom Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 3 と 12 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:NTRansition　4104

:STATus:QUEStionable:TELecom:NTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Negative Transition Filter の現在の内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:NTRansition?
< 4104

<139M Status Register>

139M Status Register では，139M 信号におけるフレームエラーなどを表示します。

:STATus:QUEStionable:TELecom:M139[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　139M ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:M139:EVENt?
または :STATus:QUEStionable:TELecom:M139?
< 3　(ビット 0 と 1 がセットされていたことを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:M139:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　139M ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:M139:CONDition?
< 6　(ビット 1 と 2 がセットされていたことを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:M139:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	139M LOF 発生
2	(Bit 1)	139M RDI 発生
4	(Bit 2)	139M AIS 発生
4096	(Bit12)	139M REI エラー発生
8192	(Bit13)	139M BIP-8 エラー発生
16384	(Bit14)	139M フレームエラー発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Event Enable Register の mask をセットします。mask に対応する Event Register の状態が 139M サマリビットに報告されます。
Event Enable Register のビットに 1 がたっている場合，対応する Event bit が真になった時に 139M サマリビットが真となります。

使用例　ビット 2 と 14 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:M139:ENABle　16388

:STATus:QUEStionable:TELecom:M139:ENABle?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Event Enable Register の現在の mask の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:M139:ENABle?
< 16388

:STATus:QUEStionable:TELecom:M139:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	139M LOF 発生
2	(Bit 1)	139M RDI 発生

4　(Bit 2)　139M AIS 発生
4096 (Bit12)　139M REI エラー発生
8192 (Bit13)　139M BIP-8 エラー発生
16384(Bit14)　139M フレームエラー発生
セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Positive Transition Filter をセットします。
Positive Transition Filter のビットをセットすると，対応する 139M Condition Register のビットが 0 から 1 へ変化したときに，対応する 139M Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 0 と 14 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:M139:PTRansition　16385

:STATus:QUEStionable:TELecom:M139:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Positive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:M139:PTRansition?
< 16385

:STATus:QUEStionable:TELecom:M139:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1　(Bit 0)　139M LOF 発生
2　(Bit 1)　139M RDI 発生
4　(Bit 2)　139M AIS 発生
4096 (Bit12)　139M REI エラー発生
8192 (Bit13)　139M BIP-8 エラー発生
16384(Bit14)　139M フレームエラー発生
セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Negative Transition Filter をセットします。
Negative Transition Filter のビットをセットすると，対応する 139M Condition Register のビットが 1 から 0 へ変化したときに，対応する 139M Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 1 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:M139:NTRansition　2

:STATus:QUEStionable:TELecom:M139:NTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Negative Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:M139:NTRansition?
< 2

<34M Status Register>

34M Status Register では，34M 信号におけるフレームエラーなどを表示します。

:STATus:QUEStionable:TELecom:M34[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　34M ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:M34:EVENt?
または :STATus:QUEStionable:TELecom:M34?
< 3　(ビット 0 と 1 がセットされていることを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:M34:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　34M ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:M34:CONDition?
< 6　(ビット 1 と 2 がセットされていることを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:M34:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	34M LOF 発生
2	(Bit 1)	34M RDI 発生
4	(Bit 2)	34M AIS 発生
4096	(Bit12)	139M REI エラー発生
8192	(Bit13)	139M BIP-8 エラー発生
16384	(Bit14)	34M フレームエラー発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Event Enable Register の mask をセットします。mask に対応する Event Register の状態が 34M サマリビットに報告されます。
Event Enable Register のビットに 1 がたっている場合，対応する Event bit が真になった時に 34M サマリビットが真となります。

使用例　ビット 2 と 14 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:M34:ENABle　16388

:STATus:QUEStionable:TELecom:M34:ENABle?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Event Enable Register の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:M34:ENABle?
< 16388

:STATus:QUEStionable:TELecom:M34:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	34M LOF 発生
2	(Bit 1)	34M RDI 発生

4　(Bit 2)　34M AIS 発生
4096 (Bit12)　139M REI エラー発生
8192 (Bit13)　139M BIP-8 エラー発生
16384(Bit14)　34M フレームエラー発生
セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Positive Transition Filter をセットします。
Positive Transition Filter のビットをセットすると，対応する 34M Condition Register のビットが 0 から 1 へ変化したときに，対応する 34M Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 0 と 14 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:M34:PTRansition　16385

:STATus:QUEStionable:TELecom:M34:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Positive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:M34:PTRansition?
< 16385

:STATus:QUEStionable:TELecom:M34:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
1　(Bit 0)　34M LOF 発生
2　(Bit 1)　34M RDI 発生
4　(Bit 2)　34M AIS 発生
4096 (Bit12)　139M REI エラー発生
8192 (Bit13)　139M BIP-8 エラー発生
16384(Bit14)　34M フレームエラー発生
セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Negative Transition Filter をセットします。
Negative Transition Filter のビットをセットすると，対応する 34M Condition Register のビットが 1 から 0 へ変化したときに，対応する 34M Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 0 と 2 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:M34:NTRansition　5

:STATus:QUEStionable:TELecom:M34:NTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Negtive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:M34:NTRansition?
< 5

<8M Status Register>

8M Status Register では，8M 信号におけるフレームエラーなどを表示します。

:STATus:QUEStionable:TELecom:M8[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　8M ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:M8:EVENt?
または :STATus:QUEStionable:TELecom:M8?
< 1　(ビット 0 がセットされていることを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:M8:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　8M ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:M8:CONDition?
< 2　(ビット 1 がセットされていることを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:M8:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	8M LOF 発生
2	(Bit 1)	8M RDI 発生
4	(Bit 2)	8M AIS 発生
16384	(Bit14)	8M フレームエラー発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Event Enable Register の mask をセットします。mask に対応する Event Register の状態が 8M サマリビットに報告されます。
Event Enable Register のビットに 1 がたっている場合，対応する Event bit が真になった時に 8M サマリビットが真となります。

使用例　ビット 2 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:M8:ENABle　4

:STATus:QUEStionable:TELecom:M8:ENABle?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Event Enable Register の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:M8:ENABle?
< 4

:STATus:QUEStionable:TELecom:M8:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	8M LOF 発生
2	(Bit 1)	8M RDI 発生
4	(Bit 2)	8M AIS 発生
16384	(Bit14)	8M フレームエラー発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。

全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Positive Transition Filter をセットします。
Positive Transition Filter のビットをセットすると，対応する 8M Condition Register のビットが 0 から 1 へ変化したときに，対応する 8M Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 14 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:M8:PTRansition　16384

:STATus:QUEStionable:TELecom:M8:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Positive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例
> :STATus:QUEStionable:TELecom:M8:PTRansition?
< 16384

:STATus:QUEStionable:TELecom:M8:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	8M LOF 発生
2	(Bit 1)	8M RDI 発生
4	(Bit 2)	8M AIS 発生
16384	(Bit14)	8M フレームエラー発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Negative Transition Filter をセットします。
Negative Transition Filter のビットをセットすると，対応する 8M Condition Register のビットが 1 から 0 へ変化したときに，対応する 8M Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 0 と 14 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:M8:NTRansition　16385

:STATus:QUEStionable:TELecom:M8:NTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Negtive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例
> :STATus:QUEStionable:TELecom:M8:NTRansition?
< 16385

<2M Status Register>

2M Status Register では，2M 信号におけるフレームエラーなどを表示します。

:STATus:QUEStionable:TELecom:M2[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　2M ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:M2:EVENt?
または :STATus:QUEStionable:TELecom:M2?
< 24　(ビット 3 と 4 がセットされていることを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:M2:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　2M ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:M2:CONDition?
< 8200　(ビット 3 と 13 がセットされていることを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:M2:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	2M LOF 発生
2	(Bit 1)	2M RDI 発生
4	(Bit 2)	2M AIS 発生
8	(Bit 3)	LOF MF 発生
16	(Bit 4)	RDI MF 発生
4096	(Bit12)	E-Bit 発生
8192	(Bit13)	CRC エラー発生
16384	(Bit14)	2M フレームエラー発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Event Enable Register の mask をセットします。mask に対応する Event Register の状態が 2M サマリビットに報告されます。
Event Enable Register のビットに 1 がたっている場合，対応する Event bit が真になった時に 2M サマリビットが真となります。

使用例　ビット 13 と 14 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:M2:ENABle　24576

:STATus:QUEStionable:TELecom:M2:ENABle?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Event Enable Register の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:M2:ENABle?
< 24576

:STATus:QUEStionable:TELecom:M2:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	2M LOF 発生
2	(Bit 1)	2M RDI 発生
4	(Bit 2)	2M AIS 発生
8	(Bit 3)	LOF MF 発生
16	(Bit 4)	RDI MF 発生
4096	(Bit12)	E-Bit 発生
8192	(Bit13)	CRC エラー発生
16384	(Bit14)	2M フレームエラー発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Positive Transition Filter をセットします。
Positive Transition Filter のビットをセットすると，対応する 2M Condition Register のビットが 0 から 1 へ変化したときに，対応する 2M Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 3 と 4 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:M2:PTRansition　24

:STATus:QUEStionable:TELecom:M2:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Positive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:M2:PTRansition?
< 24

:STATus:QUEStionable:TELecom:M2:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	2M LOF 発生
2	(Bit 1)	2M RDI 発生
4	(Bit 2)	2M AIS 発生
8	(Bit 3)	LOF MF 発生
16	(Bit 4)	RDI MF 発生
4096	(Bit12)	E-Bit 発生
8192	(Bit13)	CRC エラー発生
16384	(Bit14)	2M フレームエラー発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Negative Transition Filter をセットします。
Negative Transition Filter のビットをセットすると，対応する 2M Condition Register のビットが 1 から 0 へ変化したときに，対応する 2M Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 4 と 14 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:M2:NTRansition　16400

:STATus:QUEStionable:TELecom:M2:NTRansition?

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。
機 能	Negtive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。
使用例	> :STATus:QUEStionable:TELecom:M2:NTRansition? < 16400

<SDH and SONET Status Register>

SDH and SONET Status Register では，SDH/SONET 信号におけるアラームなどを表示します。

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH[:EVENt]?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　SDH ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:EVENt?
または :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH?
< 24　(ビット 3 と 4 がセットされていることを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:CONDition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　SDH ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:CONDition?
< 8200　(ビット 3 と 13 がセットされていることを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:ENABle <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

64	(Bit 6)	LOF 発生
128	(Bit 7)	OOF 発生
2048	(Bit11)	SECT Status Register サマリ
4096	(Bit12)	HP Status Register サマリ
8192	(Bit13)	LP Status Register サマリ

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Event Enable Register の mask をセットします。mask に対応する Event Register の状態が SDH サマリビットに報告されます。
Event Enable Register のビットに 1 がたっている場合，対応する Event bit が真になった時に SDH サマリビットが真となります。

使用例　ビット 13 と 14 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:ENABle　24576

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:ENABle?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:ENABle?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Event Enable Register の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:ENABle?
< 24576

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:PTRansition <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

64	(Bit 6)	LOF 発生
128	(Bit 7)	OOF 発生
2048	(Bit11)	SECT Status Register サマリ
4096	(Bit12)	HP Status Register サマリ
8192	(Bit13)	LP Status Register サマリ

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Positive Transition Filter をセットします。
Positive Transition Filter のビットをセットすると，対応する SDH Condition Register のビットが 0 から 1 へ変化したときに，対応する SDH Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 3 と 4 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:PTRansition　24

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:PTRansition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Positive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:PTRansition?
< 24

STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:NTRansition <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

64	(Bit 6)	LOF 発生
128	(Bit 7)	OOF 発生
2048	(Bit11)	SECT Status Register サマリ
4096	(Bit12)	HP Status Register サマリ
8192	(Bit13)	LP Status Register サマリ

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Negative Transition Filter をセットします。
Negative Transition Filter のビットをセットすると，対応する SDH Condition Register のビットが 1 から 0 へ変化したときに，対応する SDH Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 4 と 14 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:NTRansition　16400

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:NTRansition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:NTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Negtive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:NTRansition?
< 16400

<SECT Status Register>

SECT Status Register では, SECT 信号におけるアラームなどを表示します。

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT[:EVENt]?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:SLINe[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　SECT ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:EVENt?
または :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT?
< 24　(ビット 3 と 4 がセットされていることを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:CONDition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:SLINe:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　SECT ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:CONDition?
< 8200　(ビット 3 と 13 がセットされていることを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:ENABle <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:SLINe:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	MS-AIS 発生
4	(Bit 2)	MS-RDI 発生
1024	(Bit10)	B1 エラー発生
2048	(Bit11)	B2 エラー発生
16384	(Bit14)	MS-REI 発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Event Enable Register の mask をセットします。mask に対応する Event Register の状態が SECT サマリビットに報告されます。
Event Enable Register のビットに 1 がたっている場合，対応する Event bit が真になった時に SECT サマリビットが真となります。

使用例　ビット 0 と 2 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:ENABle　5

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:ENABle?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:SLINe:ENABle?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Event Enable Register の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:ENABle?
< 5

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:PTRansition <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:SLINe:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	MS-AIS 発生
4	(Bit 2)	MS-RDI 発生
1024	(Bit10)	B1 エラー発生
2048	(Bit11)	B2 エラー発生
16384	(Bit14)	MS-REI 発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Positive Transition Filter をセットします。
Positive Transition Filter のビットをセットすると，対応する SDH Condition Register のビットが 0 から 1 へ変化したときに，対応する SDH Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 0 と 2 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:PTRansition　5

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:PTRansition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:SLINe:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Positive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:PTRansition?
< 5

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:NTRansition <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:SLINe:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	MS-AIS 発生
4	(Bit 2)	MS-RDI 発生
1024	(Bit10)	B1 エラー発生
2048	(Bit11)	B2 エラー発生
16384	(Bit14)	MS-REI 発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Negative Transition Filter をセットします。
Negative Transition Filter のビットをセットすると，対応する SECT Condition Register のビットが 1 から 0 へ変化したときに，対応する SECT Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 0 と 2 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:NTRansition　5

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:NTRansition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:SLINe:NTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Negtive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SECT:NTRansition?
< 5

<HP/P Status Register>

HP/P Status Register では，HP/P 信号におけるアラームなどを表示します。

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP[:EVENt]?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:P[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　HP ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:EVENt?
または :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP?
< 24　(ビット 3 と 4 がセットされていることを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:CONDition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:P:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　HP ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:CONDition?
< 8200　(ビット 3 と 13 がセットされていることを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:ENABle <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:P:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	AU-AIS 発生
2	(Bit 1)	AU-LOP 発生
4	(Bit 2)	HP-RDI 発生
16	(Bit 4)	HP-SLM 発生
4096	(Bit12)	HP-B3 エラー発生
16384	(Bit14)	HP-REI 発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Event Enable Register の mask をセットします。mask に対応する Event Register の状態が HP サマリビットに報告されます。
Event Enable Register のビットに 1 がたっている場合，対応する Event bit が真になった時に HP サマリビットが真となります。

使用例　ビット 0 と 2 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:ENABle　5

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:ENABle?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:P:ENABle?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Event Enable Register の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:ENABle?
< 5

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:PTRansition <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:P:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	AU-AIS 発生
2	(Bit 1)	AU-LOP 発生
4	(Bit 2)	HP-RDI 発生
16	(Bit 4)	HP-SLM 発生
4096	(Bit12)	HP-B3 エラー発生
16384	(Bit14)	HP-REI 発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Positive Transition Filter をセットします。
Positive Transition Filter のビットをセットすると，対応する SDH Condition Register のビットが 0 から 1 へ変化したときに，対応する SDH Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 0 と 2 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:PTRansition　5

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:PTRansition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:P:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Positive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:PTRansition?
< 5

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:NTRansition <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:P:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	AU-AIS 発生
2	(Bit 1)	AU-LOP 発生
4	(Bit 2)	HP-RDI 発生
16	(Bit 4)	HP-SLM 発生
4096	(Bit12)	HP-B3 エラー発生
16384	(Bit14)	HP-REI 発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Negative Transition Filter をセットします。
Negative Transition Filter のビットをセットすると，対応する HP Condition Register のビットが 1 から 0 へ変化したときに，対応する HP Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 0 と 2 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:NTRansition　5

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:NTRansition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:P:NTRansition?

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。
機 能	Negtive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。
使用例	> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:HP:NTRansition? < 5

<LP / V Status Register>

LP/V Status Registe では, LP/V 信号におけるアラームなどを表示します。

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP[:EVENt]?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:V[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　LP ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:EVENt?
または :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP?
< 24　(ビット 3 と 4 がセットされていることを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:CONDition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:V:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　LP ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:CONDition?
< 8200　(ビット 3 と 13 がセットされていることを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:ENABle <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:V:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	TU-AIS 発生
2	(Bit 1)	TU-LOP 発生
4	(Bit 2)	LP-RDI 発生
8	(Bit 3)	HP-LOM 発生
16	(Bit 4)	LP-SLM 発生
32	(Bit 5)	LP-RFI 発生
4096	(Bit 2)	LP-B3 エラー発生
8192	(Bit13)	BIP-2 エラー発生
16384	(Bit14)	LP-REI 発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Event Enable Register の mask をセットします。mask に対応する Event Register の状態が LP サマリビットに報告されます。
Event Enable Register のビットに 1 がたっている場合，対応する Event bit が真になった時に LP サマリビットが真となります。

使用例　ビット 0 と 2 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:ENABle　5

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:ENABle?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:V:ENABle ?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Event Enable Register の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:ENABle?
< 5

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:PTRansition <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:V:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	TU-AIS 発生
2	(Bit 1)	TU-LOP 発生
4	(Bit 2)	LP-RDI 発生
8	(Bit 3)	HP-LOM 発生
16	(Bit 4)	LP-SLM 発生
32	(Bit 5)	LP-RFI 発生
4096	(Bit12)	LP-B3 エラー発生
8192	(Bit13)	BIP-2 エラー発生
16384	(Bit14)	LP-REI 発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Positive Transition Filter をセットします。
Positive Transition Filter のビットをセットすると，対応する SDH Condition Register のビットが 0 から 1 へ変化したときに，対応する SDH Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 0 と 2 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:PTRansition　5

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:PTRansition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:V:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Positive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:PTRansition?
< 5

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:NTRansition <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:V:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	TU-AIS 発生
2	(Bit 1)	TU-LOP 発生
4	(Bit 2)	LP-RDI 発生
8	(Bit 3)	HP-LOM 発生
16	(Bit 4)	LP-SLM 発生
32	(Bit 5)	LP-RFI 発生
4096	(Bit12)	LP-B3 エラー発生
8192	(Bit13)	BIP-2 エラー発生
16384	(Bit14)	LP-REI 発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Negative Transition Filter をセットします。
Negative Transition Filter のビットをセットすると，対応する LP Condition Register のビットが 1 から 0 へ変化したときに，対応する LP Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 0 と 2 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:NTRansition　5

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:NTRansition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONet:V:NTRansition?

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。
機 能	Negtive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。
使用例	> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:LP:NTRansition? < 5

<TCOH(HP) / TCOH(P) Status Register>

TCOH(HP)/ TCOH(P)Status Register では，タンデムコネクションにおける HP/P のアラームなどを表示します。

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP[:EVENt]?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TP[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0～32767　イベントレジスタのビットの総和(十進数)

ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　TCOH(HP)ステータスレジスタのイベントレジスタの内容を問い合わせます。

使用例　TCOH(HP)ステータスレジスタのイベントレジスタの問い合わせを行います。

> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP [:EVENt]?
< 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:CONDition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TP:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0～32767　コンディションレジスタのビットの総和(十進数)

ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　TCOH(HP)ステータスレジスタのコンディションレジスタの内容を問い合わせます。

使用例　TCOH(HP)ステータスレジスタのコンディションレジスタの問い合わせを行います。

> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:CONDition?
< 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:ENABle <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TP:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0～32767　イベントイネーブルレジスタのビットの総和(十進数)

ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　TCOH(HP)ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタのマスク値をセットします。

使用例　TCOH(HP)ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタに 32767 をセットする場合。

> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:ENABle 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:ENABle?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TP:ENABle?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0～32767　イベントイネーブルレジスタのビットの総和(十進数)

ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　TCOH(HP)ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせます。

使用例　TCOH(HP)ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタの問い合わせを行います。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP ENABle?

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:PTRansition <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TP:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0～32767　トランジションフィルタのビットの総和(十進数)
ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　TCOH(HP)ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)をセットします。
1 でセット。

使用例　TCOH(HP)ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)に32767 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:PTRansition 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:PTRansition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TP:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0～32767　トランジションフィルタのビットの総和(十進数)
ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　TCOH(HP)ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)の内容を問い合わせます。

使用例　TCOH(HP)ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)の問い合わせを行います。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:PTRansition?
< 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:NTRansition <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TP:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0～32767　トランジションフィルタのビットの総和(十進数)
ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　TCOH(HP)ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)をセットします。
1 でセット。

使用例　TCOH(HP)ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)に32767 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:NTRansition 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:NTRansition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TP:NTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0～32767　トランジションフィルタのビットの総和(十進数)

ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　TCOH(HP)ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)の内容を問い合わせます。

使用例　TCOH(HP)ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)の問い合わせを行います。

```
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:THP:NTRansition?
< 32767
```

<TCOH(LP) / TCOH(V) Status Register>

TCOH(LP) / TCOH(V) Status Register では，タンデムコネクションにおける LP/V のアラームなどを表示します。

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP[:EVENt]?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TV[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0～32767　イベントレジスタのビットの総和(十進数)

ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　TCOH(LP)ステータスレジスタのイベントレジスタの内容を問い合わせます。

使用例　TCOH(LP)ステータスレジスタのイベントレジスタの問い合わせを行います。

> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP [:EVENt]?

< 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:CONDition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TV:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0～32767　コンディションレジスタのビットの総和(十進数)

ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　TCOH(LP)ステータスレジスタのコンディションレジスタの内容を問い合わせます。

使用例　TCOH(LP)ステータスレジスタのコンディションレジスタの問い合わせを行います。

> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:CONDition?

< 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:ENABle <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TV:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0～32767　イベントイネーブルレジスタのビットの総和(十進数)

ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　TCOH(LP)ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタのマスク値をセットします。

0 でマスク。

使用例　TCOH(LP)ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタに 32767 をセットする場合。

> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:ENABle 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:ENABle?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TV:ENABle?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0～32767　イベントイネーブルレジスタのビットの総和(十進数)

ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　　TCOH(LP)ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせます。

使用例　　TCOH(LP)ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタの問い合わせを行います。

> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP ENABle?

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:PTRansition <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TV:PTRansition <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0～32767　　トランジションフィルタのビットの総和(十進数)

ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　　TCOH(LP)ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)をセットします。

1 でセット。

使用例　　TCOH(LP)ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)に32767 をセットする。

> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:PTRansition 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:PTRansition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TV:PTRansition?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0～32767　　トランジションフィルタのビットの総和(十進数)

ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　　TCOH(LP)ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)の内容を問い合わせます。

使用例　　TCOH(LP)ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)の問い合わせを行います。

> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:PTRansition?
< 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:NTRansition <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TV:NTRansition <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0～32767　　トランジションフィルタのビットの総和(十進数)

ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　　TCOH(LP)ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)をセットします。

1 でセット。

使用例　　TCOH(LP)ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)に32767 をセットする場合。

> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:NTRansition 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:NTRansition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:TV:NTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0～32767　トランジションフィルタのビットの総和(十進数)

ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　TCOH(LP)ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)の内容を問い合わせます。

使用例　TCOH(LP)ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)の問い合わせを行います。

```
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:TLP:NTRansition?
< 32767
```

<OH Status Register>

OH Status Register では，オーバヘッドのエラーやアラームなどを表示します。

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH[:EVENt]?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:OH[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0～32767　イベントレジスタのビットの総和(十進数)

ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　OH ステータスレジスタのイベントレジスタの内容を問い合わせます。

使用例　OH ステータスレジスタのイベントレジスタを問い合わせます。

> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH[:EVENt]?
< 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:CONDition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:OH:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0～32767　コンディションレジスタのビットの総和(十進数)

ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　OH ステータスレジスタのコンディションレジスタの内容を問い合わせます。

使用例　OH ステータスレジスタのコンディションレジスタの問い合わせを行います。

> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:CONDition?
< 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:ENABle <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:OH:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

0～32767　イベントイネーブルレジスタのビットの総和(十進数)

ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　OH ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタのマスク値をセットします。

0 でマスク。

使用例　OH ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタに 32767 をセットします。

> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:ENABle 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:ENABle?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:OH:ENABle?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>

0～32767　イベントイネーブルレジスタのビットの総和(十進数)

ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　OH ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせます。

使用例　OH ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタの問い合わせを行います。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH ENABle?

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:PTRansition <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:OH:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0～32767　トランジションフィルタのビットの総和(十進数)
ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　OH ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)をセットします。
1 でセット。

使用例　OH ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)に 32767 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:PTRansition 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:PTRansition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:OH:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0～32767　トランジションフィルタのビットの総和(十進数)
ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　OH ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)の内容を問い合わせます。

使用例　OH ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)の問い合わせを行います。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:PTRansition?
< 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:NTRansition <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:OH:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0～32767　トランジションフィルタのビットの総和(十進数)
ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　OH ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)をセットします。
1 でセット。

使用例　OH ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)に 32767 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:NTRansition 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:NTRansition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:OH:NTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0～32767　トランジションフィルタのビットの総和(十進数)
ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　OH ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)の内容を問い合わせます。

使用例　　OH ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)の問い合わせを行います。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:OH:NTRansition?
< 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGnalling[:EVENt]?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:SIGnalling[:EVENt]?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0～32767　　イベントレジスタのビットの総和(十進数)
ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　　SIGnalling ステータスレジスタのイベントレジスタの内容を問い合わせます。

使用例　　SIGnalling ステータスレジスタのイベントレジスタの問い合わせを行います。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGnalling [:EVENt]?
< 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:CONDition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:SIGNalling:CONDition?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0～32767　　コンディションレジスタのビットの総和(十進数)
ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　　SIGnalling ステータスレジスタのコンディションレジスタの内容を問い合わせます。

使用例　　SIGnalling ステータスレジスタのコンディションレジスタの問い合わせを行います。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:CONDition?
< 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:ENABle <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:SIGNalling:ENABle <numeric>

パラメータ　　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0～32767　　イベントイネーブルレジスタのビットの総和(十進数)
ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　　SIGnalling ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタのマスク値をセットします。
0 でマスク。

使用例　　SIGnalling ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタに 32767 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:ENABle 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:ENABle?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:SIGNalling:ENABle?

レスポンス　　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0～32767　　イベントイネーブルレジスタのビットの総和(十進数)
ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　　SIGnalling ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタの内容を問い合わせます。

使用例　SIGnalling ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタの問い合わせを行います。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:ENABle?

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:PTRansition <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:SIGNalling:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0～32767　トランジションフィルタのビットの総和(十進数)
ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　SIGnalling ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)をセットします。
1 でセット。

使用例　SIGnalling ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)に 32767 をセットする場合。
>:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:PTRansition 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:PTRansition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:SIGNalling:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0～32767　トランジションフィルタのビットの総和(十進数)
ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　SIGnalling ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)の内容を問い合わせます。

使用例　SIGnalling ステータスレジスタのトランジションフィルタ(正方向変化)を問い合わせます。
> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:PTRansition?
< 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:NTRansition <numeric>
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:SIGNalling:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
0～32767　トランジションフィルタのビットの総和(十進数)
ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　SIGnalling ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)をセットします。

使用例　SIGnalling ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)に 32767 をセットする場合。
>:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:NTRansition 32767

:STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:NTRansition?
:STATus:QUEStionable:TELecom:SONET:SIGNalling:NTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
0～32767　トランジションフィルタのビットの総和(十進数)
ビット内容については８章ステータス報告を参照してください。

機 能　SIGnalling ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)の内容を問い合わせます。

使用例

SIGnalling ステータスレジスタのトランジションフィルタ(負方向変化)を問い合わせます。

> :STATus:QUEStionable:TELecom:SDH:SIGNalling:NTRansition?
< 32767

<TELecom2 Status Register>

TELecom2 Status Register では，45M および 1.5M Status Register のサマリの供給や，電源断などを表示します。

:STATus:QUEStionable:TELecom2[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　TELecom2 ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom2:EVENt?
または :STATus:QUEStionable:TELecom2?
< 2050　(ビット 1 と 11 がセットされていたことを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom2:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　TELecom2 ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom2:CONDition?
< 4100　(ビット 2 と 12 がセットされていたことを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom2:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
2048 (Bit11)　1.5M Status Register サマリ
4096 (Bit12)　45M Status Register サマリ
セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Event Enable Register の mask をセットします。mask に対応する Event Register の状態が TELecom2 サマリビットに報告されます。Event Enable Register のビットに 1 がたっている場合，対応する Event bit が真になった時に TELecom2 サマリビットが真となります。

使用例　ビット 4 と 14 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom2:ENABle　16400

:STATus:QUEStionable:TELecom2:ENABle?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Event Enable Register の現在の mask の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom2:ENABle?
< 16400

:STATus:QUEStionable:TELecom2:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
2048 (Bit11)　1.5M Status Register サマリ
4096 (Bit12)　45M Status Register サマリ
セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Positive Transition Filter をセットします。
Positive Transition Filter のビットをセットすると，対応する TELecom2 Condition Register のビットが 0 から 1 へ変化したときに，対応する TELecom2 Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット２と１３をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom2:PTRansition　8200

:STATus:QUEStionable:TELecom2:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Positive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例
> :STATus:QUEStionable:TELecom2:PTRansition?
< 8200

:STATus:QUEStionable:TELecom2:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
2048 (Bit11)　1.5M Status Register サマリ
4096 (Bit12)　45M Status Register サマリ
セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Negative Transition Filter をセットします。
Negative Transition Filter のビットをセットすると，対応する TELecom2 Condition Register のビットが 1 から 0 へ変化したときに，対応する TELecom2 Event Register の ビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 3 と 12 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom2:NTRansition　4104

:STATus:QUEStionable:TELecom2:NTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Negative Transition Filter の現在の内容を問い合わせます。

使用例
> :STATus:QUEStionable:TELecom2:NTRansition?
< 4104

<45M Status Register>

45M Status Register では，45M 信号におけるフレームエラーなどを表示します。

:STATus:QUEStionable:TELecom2:M45[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　45M ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:EVENt?
または :STATus:QUEStionable:TELecom2:M45?
< 3　(ビット 0 と 1 がセットされていたことを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　45M ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:CONDition?
< 6　(ビット 1 と 2 がセットされていたことを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	45M LOF 発生
2	(Bit 1)	45M RDI 発生
4	(Bit 2)	45M AIS 発生
1024	(Bit10)	45M Parity 発生
2048	(Bit11)	45M C-bit 発生
4096	(Bit12)	45M REI 発生
16384	(Bit14)	45M フレームエラー発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Event Enable Register の mask をセットします。mask に対応する Event Register の状態が 45M サマリビットに報告されます。
Event Enable Register のビットに 1 がたっている場合，対応する Event bit が真になった時に 45M サマリビットが真となります。

使用例　ビット 2 と 14 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:ENABle　16388

:STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:ENABle?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Event Enable Register の現在の mask の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:ENABle?
< 16388

:STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	45M LOF 発生
2	(Bit 1)	45M RDI 発生
4	(Bit 2)	45M AIS 発生
1024	(Bit10)	45M Parity 発生
2048	(Bit11)	45M C-bit 発生
4096	(Bit12)	45M REI 発生
16384	(Bit14)	45M フレームエラー発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Positive Transition Filter をセットします。
Positive Transition Filter のビットをセットすると，対応する 45M Condition Register のビットが 0 から 1 へ変化したときに，対応する 45M Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 0 と 14 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:PTRansition　16385

:STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Positive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:PTRansition?
< 16385

:STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	45M LOF 発生
2	(Bit 1)	45M RDI 発生
4	(Bit 2)	45M AIS 発生
1024	(Bit10)	45M Parity 発生
2048	(Bit11)	45M C-bit 発生
4096	(Bit12)	45M REI 発生
16384	(Bit14)	45M フレームエラー発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Negative Transition Filter をセットします。
Negative Transition Filter のビットをセットすると，対応する 45M Condition Register のビットが 1 から 0 へ変化したときに，対応する 45M Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 1 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:NTRansition　2

:STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:NTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Negative Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom2:M45:NTRansition?
< 2

<1.5M Status Register>

1.5M Status Register では，1.5M 信号におけるフレームエラーなどを表示します。

:STATus:QUEStionable:TELecom2:M1.5[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　1.5M ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom2:M1.5:EVENt?
または :STATus:QUEStionable:TELecom2:M1.5?
< 3　(ビット 0 と 1 がセットされていたことを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom2:M1.5:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　1.5M ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom2:M1.5:CONDition?
< 6　(ビット 1 と 2 がセットされていたことを示します)

:STATus:QUEStionable:TELecom2:M1.5:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	1.5M LOF 発生
2	(Bit 1)	1.5M RDI 発生
4	(Bit 2)	1.5M AIS 発生
8192	(Bit13)	1.5M CRC-6 発生
16384	(Bit14)	1.5M フレームエラー発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Event Enable Register の mask をセットします。mask に対応する Event Register の状態が 1.5M サマリビットに報告されます。
Event Enable Register のビットに 1 がたっている場合，対応する Event bit が真になった時に 1.5M サマリビットが真となります。

使用例　ビット 2 と 14 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom2:M1.5:ENABle　16388

:STATus:QUEStionable:TELecom2:M1.5:ENABle?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Event Enable Register の現在の mask の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom2:M1.5:ENABle?
< 16388

:STATus:QUEStionable:TELecom2:M1.5:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	1.5M LOF 発生
2	(Bit 1)	1.5M RDI 発生
4	(Bit 2)	1.5M AIS 発生
8192	(Bit13)	1.5M CRC-6 発生
16384	(Bit14)	1.5M フレームエラー発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Positive Transition Filter をセットします。
Positive Transition Filter のビットをセットすると，対応する 1.5M Condition Register のビットが 0 から 1 へ変化したときに，対応する 1.5M Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 0 と 14 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom2:M1.5:PTRansition　16385

:STATus:QUEStionable:TELecom2:M1.5:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Positive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom2:M1.5:PTRansition?
< 16385

:STATus:QUEStionable:TELecom2:M1.5:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	1.5M LOF 発生
2	(Bit 1)	1.5M RDI 発生
4	(Bit 2)	1.5M AIS 発生
8192	(Bit13)	1.5M CRC-6 発生
16384	(Bit14)	1.5M フレームエラー発生

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Negative Transition Filter をセットします。
Negative Transition Filter のビットをセットすると，対応する 1.5M Condition Register のビットが 1 から 0 へ変化したときに，対応する 1.5M Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 1 をセットする場合。
> :STATus:QUEStionable:TELecom2:M1.5:NTRansition　2

:STATus:QUEStionable:TELecom2:M1.5:NTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Negative Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:QUEStionable:TELecom2:M1.5:NTRansition?
< 2

<OPERation Status Register>

OPERation Status Register では，INSTrument Status Register のサマリを供給し，測定実行中であることを表示します。

:STATus:OPERation[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　OPERation ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:OPERation:EVENt?
または :STATus:OPERation?
< 16　(ビット 4 がセットされていることを示します)

:STATus:OPERation:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　OPERation ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:OPERation:CONDition?
< 8192　(ビット 13 がセットされていることを示します)

:STATus:OPERation:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

16	(Bit 4)	測定実行中
8192	(Bit13)	INSTrument Status Register のサマリ
16384	(Bit14)	INSTrument2 Status Register のサマリ

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Event Enable Register の mask をセットします。mask に対応する Event Register 状態が OPERation サマリビットに報告されます。
Event Enable Register のビットに 1 がたっている場合，対応する Event bit が真になった時に OPERation サマリビットが真となります。

使用例　ビット 4 をセットする場合。
> :STATus:OPERation:ENABle　16

:STATus:OPERation:ENABle?

レスポンス　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Event Enable Register の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:OPERation:ENABle?
< 16

:STATus:OPERation:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

16	(Bit 4)	測定実行中
8192	(Bit13)	INSTrument Status Register のサマリ
16384	(Bit14)	INSTrument2 Status Register のサマリ

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Positive Transition Filter をセットします。
Positive Transition Filter のビットをセットすると，対応する OPERation Condition Register のビットが 0 から 1 へ変化したときに，対応する OPERation Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 13 をセットする場合。
> :STATus:OPERation:PTRansition　8192

:STATus:OPERation:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Positive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例
> :STATus:OPERation:PTRansition?
< 8192

:STATus:OPERation:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

16	(Bit 4)	測定実行中
8192	(Bit13)	INSTrument Status Register のサマリ
16384	(Bit14)	INSTrument2 Status Register のサマリ

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Negative Transition Filter を Negative Transition Filter のビットをセットすると，対応する OPERation Condition Register のビットが 1 から 0 へ変化したときに，対応する OPERation Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 4 と 13 をセットする場合。
> :STATus:OPERation:NTRansition　8208

:STATus:OPERation:NTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Negtive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例
> :STATus:OPERation:NTRansition?
< 8208

<INSTrument Status Register>

INSTrument Status Register では，セルフテストの終了およびログ情報などを表示します。

:STATus:OPERation:INSTrument[:EVENt]?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　INSTrument ステータスレジスタにおける Event レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:OPERation:INSTrument:EVENt?
または :STATus:OPERation:INSTrument?
< 3　(ビット 0 と 1 がセットされていることを示します)

:STATus:OPERation:INSTrument:CONDition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　INSTrument ステータスレジスタにおける Condition レジスタの内容を問い合わせます。

使用例　> :STATus:OPERation:INSTrument:CONDition?
< 6　(ビット 1 と 2 がセットされていることを示します)

:STATus:OPERation:INSTrument:ENABle <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	ログが一杯
2	(Bit 1)	ログが空
4	(Bit 2)	試験(測定)の終了
8	(Bit 3)	セルフテストの終了
16	(Bit 4)	アラームに変化
128	(Bit 7)	プリンタ中間印字タイミングを示す
2048	(Bit11)	SOH64frame トリガ待ち
4096	(Bit12)	SOH64frame キャプチャ終了待ち

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Event Enable Register の mask をセットします。mask に対応する Event Register の状態が INSTrument サマリビットに報告されます。Event Enable Register のビットに 1 がたっている場合，対応する Event bit が真になった時に INSTrument サマリビットが真となります。

使用例　ビット 2 と 3 をセットする場合。
> :STATus:OPERation:INSTrument:ENABle　12

:STATus:OPERation:INSTrument:ENABle?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Event Enable Register の現在の設定を問い合わせます。

使用例　> :STATus:OPERation:INSTrument:ENABle?
< 12

:STATus:OPERation:INSTrument:PTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	ログが一杯
2	(Bit 1)	ログが空
4	(Bit 2)	試験(測定)の終了
8	(Bit 3)	セルフテストの終了
16	(Bit 4)	アラームに変化
128	(Bit 7)	プリンタ中間印字タイミングを示す
2048	(Bit11)	SOH64frame トリガ待ち
4096	(Bit12)	SOH64frame キャプチャ終了待ち

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Positive Transition Filter をセットします。
Positive Transition Filter のビットをセットすると，対応する INSTrument Condition Register のビットが 0 から 1 へ変化したときに，対応する INSTrument Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 3 と 4 をセットする場合。
> :STATus:OPERation:INSTrument:PTRansition　24

:STATus:OPERation:INSTrument:PTRansition?

レスポンス　<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA>
セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。

機 能　Positive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。

使用例
> :STATus:OPERation:INSTrument:PTRansition?
< 24

:STATus:OPERation:INSTrument:NTRansition <numeric>

パラメータ　<numeric> = <DECIMAL NUMERIC PROGRAM DATA>

1	(Bit 0)	ログが一杯
2	(Bit 1)	ログが空
4	(Bit 2)	試験(測定)の終了
8	(Bit 3)	セルフテストの終了
16	(Bit 4)	アラームに変化
128	(Bit 7)	プリンタ中間印字タイミングを示す
2048	(Bit11)	SOH64frame トリガ待ち
4096	(Bit12)	SOH64frame キャプチャ終了待ち

セットするビットのビット桁値の総和を設定してください。
全ビットを偽とする時は 0 を設定してください。

機 能　Negative Transition Filter をセットします。
Negative Transition Filter のビットをセットすると，対応する INSTrument Condition Register のビットが 1 から 0 へ変化したときに，対応する INSTrument Event Register のビットへ 1 が書き込まれます。

使用例　ビット 0 と 3 をセットする場合。
> :STATus:OPERation:INSTrument:NTRansition　9

:STATus:OPERation:INSTrument:NTRansition?

レスポンス	<numeric> = <NR1 NUMERIC RESPONSE DATA> セットされたビットのビット桁値の総和がレスポンスになります。
機 能	Negtive Transition Filter の現在の設定を問い合わせます。
使用例	> :STATus:OPERation:INSTrument:NTRansition? < 9

11章　プログラム例

この章では，リモートコントロールを使用して測定する場合の，プログラミング例を示します。

- この章で説明するプログラムは，Quick BASIC を使用して作成したものです。
- この章で説明するプログラムは，GPIBとRS-232Cのどちらのインタフェースでも動作します。
- インタフェースの種類およびコントローラの種類によって異なる設定を行う部分は，サブルーチンとしています。プログラムを作成する環境に合わせてサブルーチンを作成してください。

11.1　サンプルプログラム(1)　ループバック測定 11-3
11.2　サンプルプログラム(2)　モニタ測定 11-9

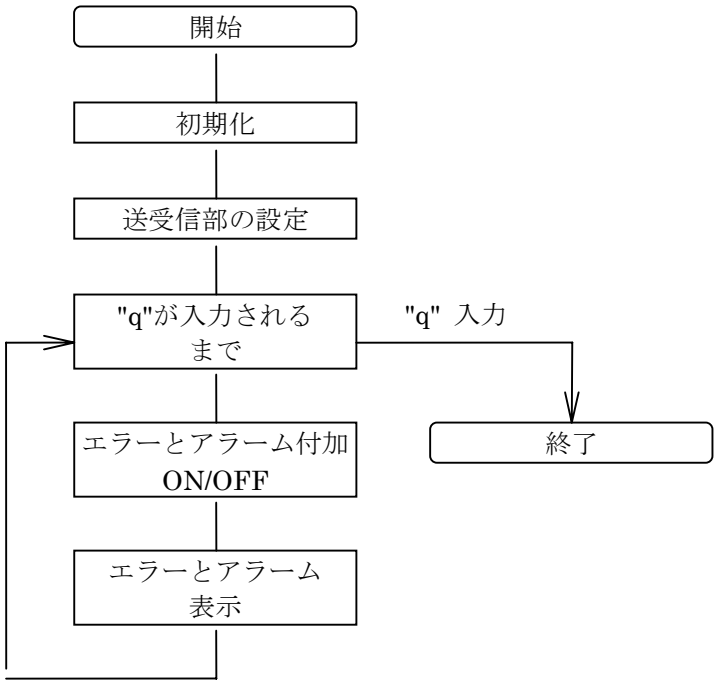
11.1　サンプルプログラム(1)　ループバック測定

アウト オブ サービスの状態で，ループバック測定を行う場合のプログラミング例を説明します。

測定条件

- ５秒周期で，測定を繰り返す。
- １回の測定中に発生したビットエラー，AIS139M，およびRDI139Mの測定結果を表示する。
- キーボード入力により，エラーとアラーム付加のON/OFFを設定する。
- キーボードから”q”が入力されるまで，測定を継続する。

プログラムの簡単な流れ図を下に示します。



次ページ以降に，Sample Program(1)を示します。

MP1570A SONET/SDH/PDH/ATM Analyzer
Sample Program(1)

ヘッダファイルのインクルード
使用する定数をファイル head.bas で定義します。
本プログラムでは，下記の定義をしています。

CONST SON% = 1	ONの状態を表します。
CONST SOFF% = 0	OFFの状態を表します。
CONST ZERO$ = "　　0"	測定結果が０かどうかの判定時に使用します。
CONST EOT% = 4	INSTrumentステータスイベントレジスタのビット２が立っているかどうかの判定時に使用します。($4=2^2$)
CONST TRUE% = -1	真の状態を表します。

```
REM $INCLUDE: 'head.bas'
```

サブルーチン，関数の宣言

```
DECLARE SUB init ()
DECLARE SUB send (cmd$)
DECLARE SUB rcv (resp$)
```

インタフェースなどの初期化 (initサブルーチン参照)

```
CALL init
```

送受信部の設定

```
CALL send(":DISPlay:TMENu'MANual'")                        'Manual測定
CALL send(":SENSe:TELecom:MMODe OSERvice")                 'Out-of Service
CALL send(":INSTrument:COUPle ALL")                        'Tx&Rx (送受共通設定)
CALL send(":SENSe:TELecom:BRATe M139;PATTern PRBS23")      'Bit rate:139Mb/s  Patt:PRBS23
CALL send(":SENSe:TELecom:FRAMing ON")                     'Frame:ON
CALL send(":SOURce:TELecom:ERRor:TYPE OFF")                'Error:OFF
CALL send(":SOURce:TELecom:ALARm:TYPE OFF")                'Alarm:OFF
CALL send(":SENSe:MEASure:TYPE REPeat;PERiod 5,s")         'Mode:Repeat [ 5 secs ]
```

変数の初期値設定

```
char$ = ""                                                 'char$ : 押されたキーの保存用変数
```

測定開始

```
CALL send(":STATus:PRESet")                                'ステータスレジスタのリセット
CALL send(":SENSe:MEASure:STARt")                          '測定開始
PRINT "Measurement Start"
```

```
５秒毎の測定結果表示 (ビットエラー，AIS139M，RDI139M)
キーボードから”q”が入力されるまで５秒毎の測定結果を表示します。
WHILE TRUE%
    CALL send("*CLS")                                   'イベントレジスタのクリア
    測定終了判定，および文字入力
        １回の測定が終了するまで，測定終了判定，およびキーボード入力によるエラーとアラーム付
        加のON/OFFを行います。
    mend% = SOFF%                                       'mend%：測定終了判定用変数
    t0 = TIMER                                          't0,t1:時間待ち用変数
    t1 = t0
    WHILE mend% = SOFF%
        測定終了の判定
            １回の測定が終了した事を判定するために，INSTrumentステータスイベントレジスタ
            を読み取りそのビット２ (測定終了判定ビット) が立っているかどうかをチェックしま
            す。
            ビット２が立っていた場合はAND演算により０以外の数値が変数 mend% に設定され
            ます。
        t1 = TIMER                                      '時間待ち
        WHILE t0 = t1
        t1 = TIMER
        WEND
        t0 = t1
        CALL send(":STATus:OPERatiON:INSTrument:EVENt?")   イベントレジスタの読み込み
        CALL rcv(st$)
        mend% = VAL(st$) AND EOT%                       'ビット２の状態のチェック
```

キーボード入力

キーボード入力によりエラーとアラーム付加のON/OFF，およびプログラムの停止を行います。各キーには下の機能が対応しています。

・”e”：１３９M信号に1E-3の割合のビットエラーを付加します。
・”a”：１３９M信号にAISを付加します。
・”r”：１３９M信号にRDIを付加します。
・”s”：エラーとアラーム付加をOFFにします。
・”q”：プログラムを停止します。

```
    char$ = INKEY$
    SELECT CASE char$                                   'キーの判定
    CASE “e”
    CALL send(":SOURce:TELecom:ERRor:TYPE BIT139;ERATe R1E_3;STARt")
    CASE “a”
    CALL send(":SOURce:TELecom:ALARm:TYPE AIS139;STARt")
    CASE “r”
    CALL send(":SOURce:TELecom:ALARm:TYPE RDI139;STARt")
    CASE “s”
    CALL send(":SOURce:TELecom:ERRor:TYPE OFF")
    CALL send(":SOURce:TELecom:ALARm:TYPE OFF")
    CASE “q”
    PRINT "Measurement Stop"
    STOP
    END SELECT
WEND
```

時刻，および測定結果の読み込み

時刻，およびビットエラー，AIS139M，およびRDI139Mの測定結果を読み込みます。

```
CALL send(":SYSTem:DATE?")                          '年月日時分秒の読み込み
CALL rcv(dat1$)
CALL send(":SYSTem:TIME?")
CALL rcv(dat2$)
CALL send(":CALCulate:DATA? 'LAST:EC:BIT'")         'ビットエラーのエラーカウント
                                                     の読み込み
CALL rcv(mdBERR$)
CALL send(":CALCulate:DATA? 'LAST:ASECONds:AIS:M139'")  'AIS139Mのアラームセカンドの
                                                     読み込み
CALL rcv(mdAIS$)
CALL send(":CALCulate:DATA? 'LAST:ASECONds:RDI:M139'")  'RDI139Mのアラームセカンド
                                                     の読み込み
CALL rcv(mdRDI$)
```

測定結果の表示
測定結果が０でない時（エラーとアラームが発生していた時），発生していたエラーとアラームのエラーカウントとアラームセカンドを表示します。

```
    IF (mdBERR$ <> ZERO$) OR (mdAIS$ <> ZERO$) OR (mdRDI$ <> ZERO$) THEN
        PRINT dat1$
        PRINT dat2$
        IF mdBERR$ <> ZERO$ THEN
            PRINT "      Bit Err", mdBERR$
        END IF
        IF mdAIS$ <> ZERO$ THEN
            PRINT "     AIS139M", mdAIS$
        END IF
        IF mdRDI$ <> ZERO$ THEN
            PRINT "     RDI139M", mdRDI$
        END IF
    END IF
WEND
END
```

init　インタフェースなどの初期化
御使用のコントローラ，インタフェースに合わせて，下記のような処理を行うサブルーチンを作成してください。
GPIBインタフェース　：バスの初期化 (IFC)，メッセージ交換の初期化 (DCL，SDC)，ターミネータの設定などをこのサブルーチンで行ってください。
RS-232Cインタフェース　：コントローラのデータ伝送速度，パリティ，伝送キャラクタ長などの設定が必要な場合はこのサブルーチンで行ってください。

```
SUB init
        :
        :
END SUB
```

send(cmd$)　測定器へのコマンド送出
引数 cmd$：送出するコマンドを表す文字列変数
御使用のコントローラに合わせて，測定器へコマンドを送出するサブルーチンを作成してください。

```
SUB send (cmd$)
        :
        :
END SUB
```

rcv(resp$)　測定器からのデータ読み込み 引数 resp$：測定器からの返り値を代入する文字列変数 御使用のコントローラに合わせて，測定器からデータを読み込むサブルーチンを作成してください。

```
SUB rcv (resp$)
        :
        :
END SUB
```

＜実行結果＞

```
Measurement Start
1994,02,04;13,06,56
    Bit Err       9.82E+07
    AIS139M              4
    RDI139M              4
1994,02,04;13,07,01
    Bit Err       1.43E+08
    AIS139M              5
    RDI139M              5
1994,02,04;13,07,06
    Bit Err       1.45E+08
    AIS139M              5
    RDI139M              5
Measurement Stop
```

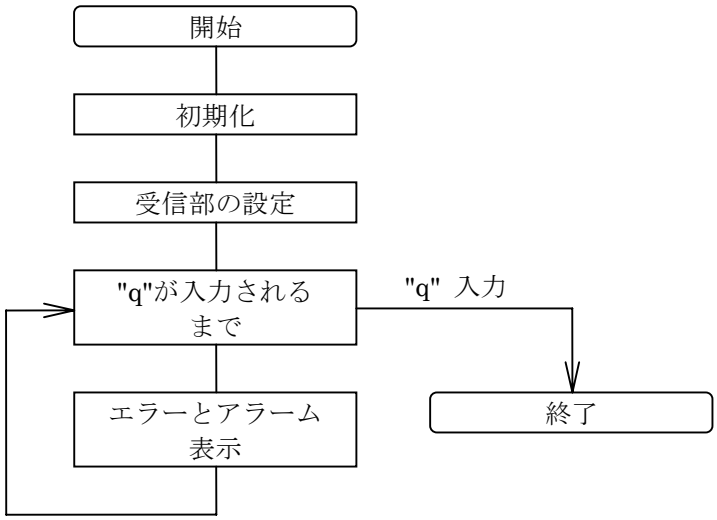
11.2　サンプルプログラム(2)　　モニタ測定

インサービスの状態で，モニタ測定を行う場合のプログラミング例を説明します。

測定条件

- ５秒周期で，測定を繰り返す。
- １回の測定中に発生する34Mフレームエラー，AIS34M，およびRDI34Mの測定結果を表示する。
- キーボードから”q”が入力されるまで，測定を継続する。

プログラムの簡単な流れ図を下に示します。



次ページ以降に，Sample Program (2) を示します。

- 「**11.1 サンプルプログラム(1) ループバック測定**」と同様の処理を行っている部分の詳細説明については，そちらのプログラムをご覧ください。

MP1570A SONET/SDH/PDH/ATM Analyzer
Sample Program(2)

```
ヘッダファイルのインクルード（Sample Program(1)参照）
        CONST SON% = 1
        CONST SOFF% = 0
        CONST ZERO$ = "          0"
        CONST EOT% = 4
        CONST TRUE% = -1
REM $INCLUDE: 'head.bas'
サブルーチン，関数の宣言
DECLARE SUB init ()
DECLARE SUB send (cmd$)
DECLARE SUB rcv (resp$)
インタフェースなどの初期化（Sample Program(1) initサブルーチン参照）
CALL init
受信部の設定
CALL send(":DISPlay:TMENu'MANual'")                    'Manual測定
CALL send(":SENSe:TELecom:MMODe ISERvice")             'In-Service
CALL send(":INSTrument:COUPle NONE")                   '送受別設定
CALL send(":SENSe:TELecom:BRATe M34")                  'Bit rate:34Mb/s
CALL send(":SENSe:TELecom:FRAMing ON")                 'Frame:ON
CALL send(":SENSe:MEASure:TYPE REPeat;PERiod 5,s")     'Mode:Repeat [ 5 secs]
変数の初期値設定
char$ = ""                                             'char$ : 押されたキーの保存用変数
測定開始
CALL send(":STATus:PRESet")                            'ステータスレジスタのリセット
CALL send(":SENSe:MEASure:STARt")                      '測定開始
PRINT "Measurement Start"
```

```
５秒毎の測定結果表示（34Mフレームエラー，AIS34M，RDI34M）
キーボードから”q”が入力されるまで５秒毎の測定結果を表示します。
WHILE TRUE%
    CALL send("*CLS")                                          'イベントレジスタのクリア
    測定終了判定，およびキーボード入力
        １回の測定が終了するまで，測定終了判定，およびキーボード入力を行います。
    mend% = SOFF%                                              'mend%：測定終了判定用変数
    t0 = TIMER                                                 't0,t1:時間待ち用変数
    t1 = t0
    WHILE mend% = SOFF%
        測定終了の判定
            １回の測定が終了した事を判定するために，INSTrumentステータスイベントレジスタ
            を読み取りそのビット２ (測定終了判定ビット) が立っているかどうかをチェックしま
            す。
            ビット２が立っていた場合はAND演算により０以外の数値が変数 mend% に設定され
            ます。
        t1 = TIMER                                             '時間待ち
        WHILE t0 = t1
        t1 = TIMER
        WEND
        t0 = t1
        CALL send(":STATus:OPERatiON:INSTrument:EVENt?")       'イベントレジスタの読み込み
        CALL rcv(st$)
        mend% = VAL(st$) AND EOT%                              'ビット２の状態のチェック
```

```
    キーボード入力
        キーボードから，”q”が入力されるとプログラムは停止します。
    char$ = INKEY$
    IFChar$ = “q” THEN
        PRINT "Measurement Stop"
        STOP
    END IF
WEND
  時刻，および測定結果の読み込み
      時刻，および34Mフレームエラー，AIS34M，およびRDI34Mの測定結果を読み込みます。
CALL send(":SYSTem:DATE?")                                  '年月日時分秒の読み込み
CALL rcv(dat1$)
CALL send(":SYSTem:TIME?")
CALL rcv(dat2$)
CALL send(":CALCulate:DATA? 'LAST:EC:FRAMe:M34'             'ビットエラーのエラーカウント
                                                            の読み込み
CALL rcv(mdBERR$)
CALL send(":CALCulate:DATA? 'LAST:ASECONds:AIS:M34'")       'AIS34Mのアラームセカンドの
                                                            読み込み
CALL rcv(mdAIS$)
CALL send(":CALCulate:DATA? 'LAST:ASECONds:RDI:M34'")       'RDI 34Mのアラームセカンド
                                                            の読み込み
CALL rcv(mdRDI$)
```

測定結果の表示

測定結果が０でない時（エラーとアラームが発生していた時），発生していたエラーとアラームのエラーカウントとアラームセカンドを表示します。

```
    IF (mdBERR$ <> ZERO$) OR (mdAIS$ <> ZERO$) OR (mdRDI$ <> ZERO$) THEN
        PRINT dat1$
        PRINT dat2$
        IF mdBERR$ <> ZERO$ THEN
            PRINT "      FRM 34M", mdBERR$
        END IF
        IF mdAIS$ <> ZERO$ THEN
            PRINT "      AIS 34M", mdAIS$
        END IF
        IF mdRDI$ <> ZERO$ THEN
            PRINT "      RDI 34M", mdRDI$
        END IF
    END IF
WEND
END
```

init　インタフェースの初期化　（Sample Program(1)参照）

```
SUB init
        :
        :
END SUB
```

send(cmd$)　測定器へのコマンド送出　（Sample Program(1)参照）

```
SUB send (cmd$)
        :
        :
END SUB
```

rcv(resp$)　測定器からのデータ読み込み　（Sample Program(1)参照）

```
SUB rcv (resp$)
        :
        :
END SUB
```

＜実行結果＞

```
Measurement Start
1994,02,04;13,09,49
    FRM 34M      726
1994,02,04;13,09,54
    FRM 34M    30887
    RDI 34M        1
1994,02,04;13,09,59
    FRM 34M    29486
    RDI 34M        2
1994,02,04;13,10,04
    FRM 34M    23202
    RDI 34M        1
Measurement Stop
```

付録A　Conformance Information

A.1　SCPI バージョン

MP1570A は，SCPI バージョン 1993.0 に適合しています。

A.2　SCPI 確定コマンド

MP1570A のリモートコマンドで, SCPI1993.0 で確定されているものを, 以下に示します。

:INSTrument:COUPle
:INSTrument:COUPle?
:CALCulate:DATA?
:SYSTem:DATE
:SYSTem:DATE?
:SYSTem:TIME
:SYSTem:TIME?
:SYSTem:ERRor?
:SYSTem:VERSion?
:STATus:PRESet
:STATus:QUEStionable[:EVENt]?
:STATus:QUEStionable:CONDition?
:STATus:QUEStionable:ENABle
:STATus:QUEStionable:ENABle?
:STATus:QUEStionable:PTRansition
:STATus:QUEStionable:PTRansition?
:STATus:QUEStionable:NTRansition
STATus:QUEStionable:NTRansition?
:STATus:OPERation[:EVENt]?
:STATus:OPERation:CONDition?
:STATus:OPERation:ENABle
:STATus:OPERation:ENABle?
:STATus:OPERation:PTRansition
:STATus:OPERation:PTRansition?
:STATus:OPERation:NTRansition
:STATus:OPERation:NTRansition?
:STATus:OPERation:INSTrument[:EVENt]?
:STATus:OPERation:INSTrument:CONDition?
:STATus:OPERation:INSTrument:ENABle
:STATus:OPERation:INSTrument:ENABle?
:STATus:OPERation:INSTrument:PTRansition
:STATus:OPERation:INSTrument:PTRansition?
:STATus:OPERation:INSTrument:NTRansition
:STATus:OPERation:INSTrument:NTRansition?

*IDN?
*RST
*TST?
*OPC
*OPC?
*WAI
*CLS
*ESE
*ESE?
*ESR?
*SRE
*SRE?
*STB?
*TRG
*PSC
*PSC?
*SAV
*RCL
*OPT?

＊　上記以外のコマンドは, SCPI で定義されていない MP1570A 独自のコマンドです。

付録Ｂ　自己診断エラーコード

自己診断エラーコードについては，「MP1570A 取扱説明書 Vol.1 基本操作」をご覧ください。

付録 C　コマンド・画面の対応

プログラムコマンドとパネルの表示画面との対応を以下に示します。
プログラムコマンドの詳細については，「10.3 装置固有コマンド」をご覧ください。

C.1　Test menu 主画面のコマンド対応

C.1.1　Trouble search 副画面

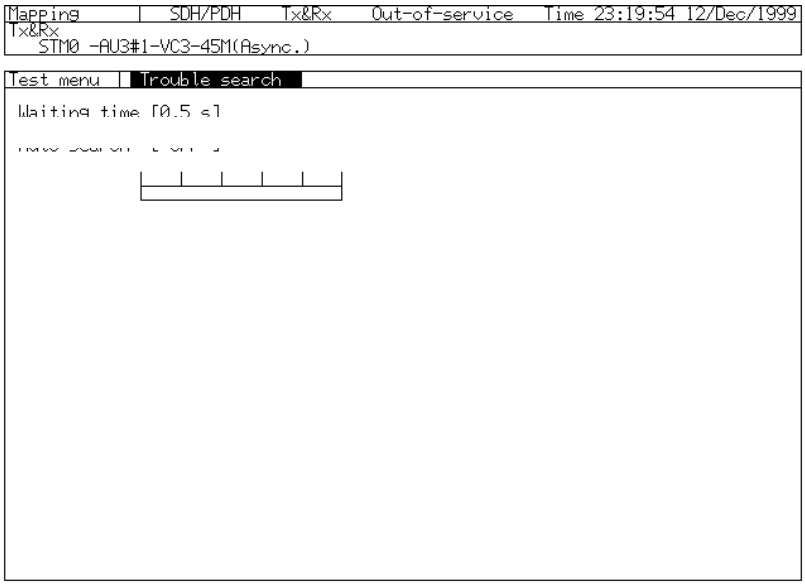


図 C-1　Test menu 主画面(Trouble search 副画面)

(1):SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe

(2):SOURce:TELecom:MAPPing:mc

(3):SOURce:TELecom:MUX:N

(4):SOURce:TELecom:MUX:ROUTe

(5):SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe

(6):SENSe:TELecom:MAPPing:mc

(7):SENSe:TELecom:DEMUX:N

(8):SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe

(9):DISPlay:TMENu[:NAME]

(10):SENSe:MEASure:TSEarch:WTIMe

C.1.2　Manual 副画面

```
Mapping        | SDH/PDH    Tx&Rx      In-service     Time 02:07:58 07/Jan/2000
Tx&Rx
  STM1 -AUG#01-AU4-VC4-TUG3#1-TUG2#1-TU12#1-VC12-2M(Async.)
MixCH]
Test menu |      Manual       [ SDH ]

 Test patt [PRBS15 ]

 Alarm     [   OFF   ]

 Error     [   OFF   ]

 K1 Bit1-4 [0001, Do not revert   ]
    Bit5-8 [0001, Working #1      ]
 K2 Bit1-4 [0010, Working #2      ]
    Bit5-8 [1, 1:N  ] [  000, Idle  ]

 PTR    AU [0110 10][   0] +PJC -PJC
        TU [0110 10][   0] +PJC -PJC

 Payload offset [   0.0]ppm

 Mode      [Manual ]

 PRG start [OFF]
```

図 C-2　Test menu 主画面(Manual 副画面)

(1):SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe

(2):SOURce:TELecom:MAPPing:mc

(3):SOURce:TELecom:MUX:N

(4):SOURce:TELecom:MUX:ROUTe

(5):SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe

(6):SENSe:TELecom:MAPPing:mc

(7):SENSe:TELecom:DEMUX:N

(8):SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe

(9):DISPlay:TMENu[:NAME]

(10):SOURce:TELecom:ALARm:TYPE

(11):SOURce:TELecom:ERRor:TYPE

(12):SOURce:TELecom:ERATe:TYPE

(13):SOURce:TELecom:MSPMessages:REQuest

(14):SOURce:TELecom:MSPMessages:CHANnel

(15):SOURce:TELecom:MSPMessages:BRIDge

(16):SOURce:TELecom:MSPMessages:ARCHitect

(17):SOURce:TELecom:ALARm:STARt

(18):SOURce:TELecom:ALARm:STOP

(19):SOURce:TELecom:ALARm:STATe?

(20):SOURce:TELecom:ERRor:EFRame

(21):SOURce:TELecom:ERRor:NFRame

(22):SOURce:TELecom:ERRor:STARt

(23):SOURce:TELecom:ERRor:STOP

(24):SOURce:TELecom:ERRor:STATe?

(25):SOURce:TELecom:ERRor:OHCH

(26):SOURce:TELecom:ERRor:OHCH?

(27):SOURce:TELecom:ERRor:OHTYpe

(28):SOURce:TELecom:ERRor:OHTYpe?

(29):SOURce:TELecom:ERRor:OHPattern

(30):SOURce:TELecom:ERRor:OHPattern?

(31):SOURce:TELecom:MSPBits:REQuest
(32):SOURce:TELecom:MSPBits:CHANnel
(33):SOURce:TELecom:MSPBits:BRIDge
(34):SOURce:TELecom:MSPBits:ARCHitect
(35):SOURce:TELecom:MSPBits:REServed
(36):SOURce:TELecom:PSETting:NDFSet
(37):SOURce:TELecom:PSETting:SSSet
(38):SOURce:TELecom:PSETting:IDSet
(39):SOURce:TELecom:PSETting:PPJC
(40):SOURce:TELecom:PSETting:NPJC
(41):SENSe:TELecom:PATTern[:TYPE]
(42):SENSe:TELecom:PATTern:UWORd
(43):SENSe:MEASure:TYPE
(44):SENSe:MEASure:PERiod
(45):SENSe:MEASure:BTIMe:SET
(46):SENSe:MEASure:BTIMe:STARt

C.1.3　Pointer sequence 副画面

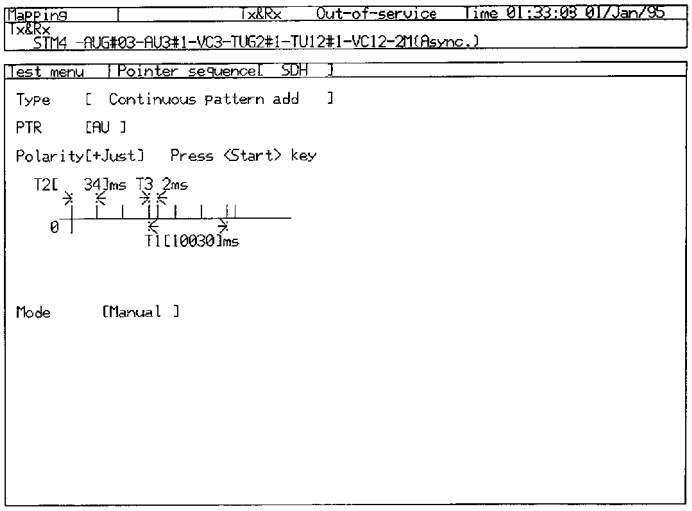


図 C-3　Test menu 主画面(Pointer sequence 副画面)

(1):SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe
(2):SOURce:TELecom:MAPPing:mc
(3):SOURce:TELecom:MUX:N
(4):SOURce:TELecom:MUX:ROUTe
(5):SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe
(6):SENSce:TELecom:MAPPing:mc
(7):SENSe:TELecom:DEMUX:N
(8):SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe
(9):DISPlay:TMENu[:NAME]
(10):SOURce:TELecom:PSEQuence:TYPE
(11):SOURce:TELecom:PSEQuence:POLarity
(12):SOURce:TELecom:PSEQuence:POINter
(13):SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T1
(14):SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T2
(15):SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:T
(16):SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:AINTerval
(17):SOURce:TELecom:PSEQuence:TIMing:CINTerval

C.1.4　Delay 副画面

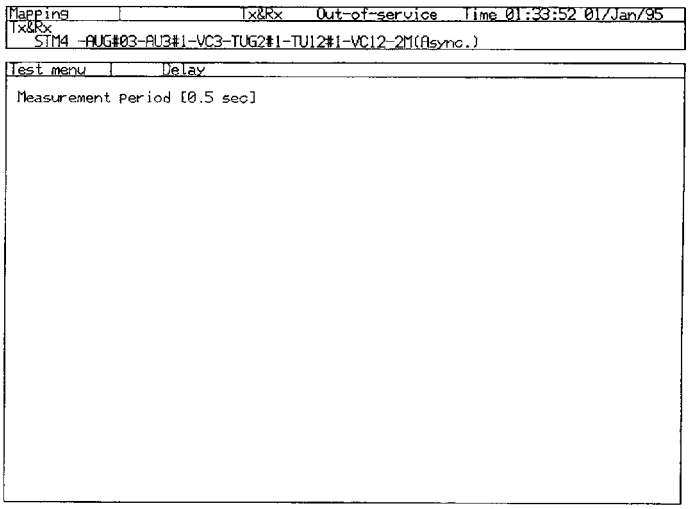


図 C-4　Test menu 主画面(Delay 副画面)

(1):SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe
(2):SOURce:TELecom:MAPPing:mc
(3):SOURce:TELecom:MUX:N
(4):SOURce:TELecom:MUX:ROUTe
(5):SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe
(6):SENSe:TELecom:MAPPing:mc
(7):SENSe:TELecom:DEMUX:N
(8):SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe
(9):DISPlay:TMENu[:NAME]
(10):SENSe:MEASure:DELay:PERiod

C.2　Result 主画面のコマンド対応

C.2.1　Trouble search 副画面

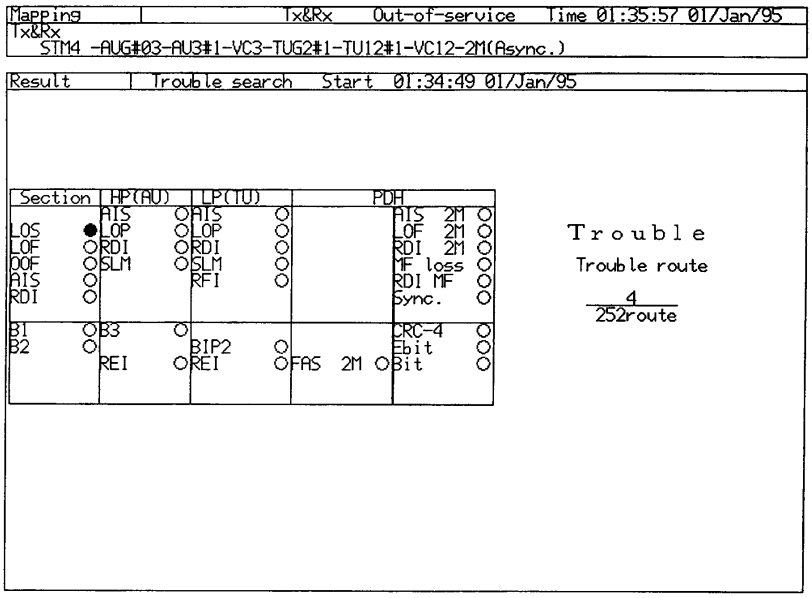


図 C-5　Result 主画面(Trouble search 副画面)

(1):SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe
(2):SOURce:TELecom:MAPPing:mc
(3):SOURce:TELecom:MUX:N
(4):SOURce:TELecom:MUX:ROUTe
(5):SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe
(6):SENEe:TELecom:MAPPing:mc
(7):SENSe:TELecom:DEMUX:N
(8):SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe
(9):DISPlay:RESult[:NAME]
(10):DISPlay:RESult:TIME
(11)時間の表示
:SENSe:MEASure:STIMe?
:SENSe:MEASure:ELAPsed?
(12)結果の表示
:CALCulate:TSEarch:RESult?
:CALCulate:TSEarch:DATA?

C.2.2　Error/Alarm 副画面

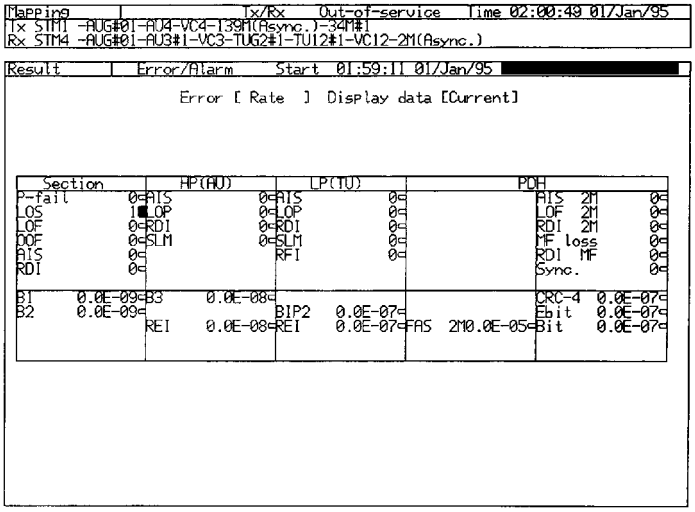


図 C-6　Result 主画面(Error/Alarm 副画面)

(1):SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe

(2):SOURce:TELecom:MAPPing:mc

(3):SOURce:TELecom:MUX:N

(4):SOURce:TELecom:MUX:ROUTe

(5):SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe

(6):SENSe:TELecom:MAPPing:mc

(7):SENSe:TELecom:DEMUX:N

(8):SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe

(9):DISPlay:RESult[:NAME]

(10):DISPlay:RESult:TIME

(11):DISPlay:RESult:EALarm:UNIT

(12):DISPlay:RESult:EALarm:MODE

(13):DISPlay:RESult:EALarm:AUNit

(14)時間の表示

:SENSe:MEASure:STIMe?

:SENSe:MEASure:ELAPsed?

(15)結果の表示

:CALCulate:DATA?

C.2.3　Justification 副画面

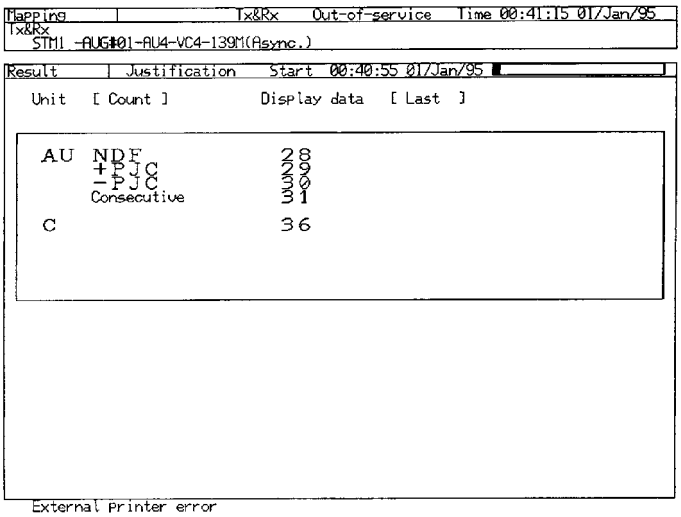


図 C-7　Result 主画面(Justification 副画面)

(1):SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe

(2):SOURce:TELecom:MAPPing:mc

(3):SOURce:TELecom:MUX:N

(4):SOURce:TELecom:MUX:ROUTe

(5):SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe

(6):SENSe:TELecom:MAPPing:mc

(7):SENSe:TELecom:DEMUX:N

(8):SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe

(9):DISPlay:RESult[:NAME]

(10):DISPlay:RESult:TIME

(11):DISPlay:RESult:JUSTificat:UNIT

(12):DISPlay:RESult:JUSTificat:MODE

(13)時間の表示

:SENSe:MEASure:STIMe?

:SENSe:MEASure:ELAPsed?

(14)結果の表示

:CALCulate:DATA?

C.2.4　Zoom 副画面

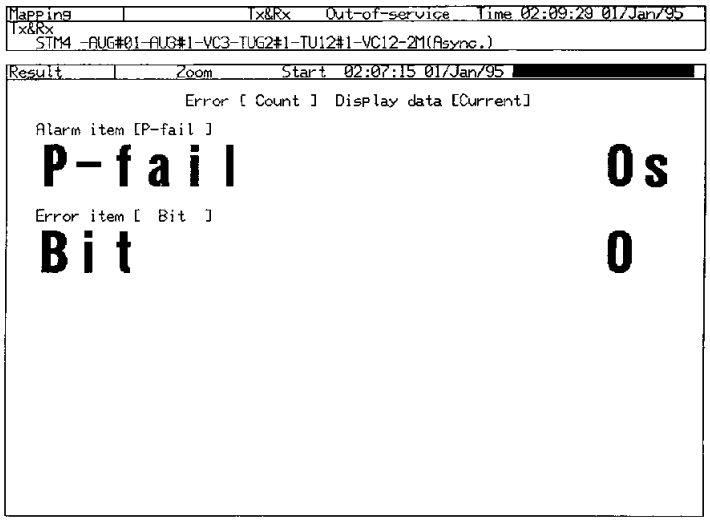


図 C-8　Result 主画面(Zoom 副画面)

(1):SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe

(2):SOURce:TELecom:MAPPing:mc

(3):SOURce:TELecom:MUX:N

(4):SOURce:TELecom:MUX:ROUTe

(5):SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe

(6):SENSe:TELcom:MAPPing:mc

(7):SENSe:TELecom:DEMUX:N

(8):SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe

(9):DISPlay:RESult[:NAME]

(10):DISPlay:RESult:TIME

(11):DISPlay:RESult:ZOOM:UNIT

(12):DISPlay:RESult:ZOOM:MODE

(13):DISPlay:RESult:ZOOM:UNIT

(14):DISPlay:RESult:ZOOM:ALARm

(15):DISPlay:RESult:ZOOM:ERRor

(16)時間の表示

:SENSe:MEASure:STIMe?

:SENSe:MEASure:ELAPsed?

(17)結果の表示

:CALCulate:DATA?

C.2.5　Performance 副画面

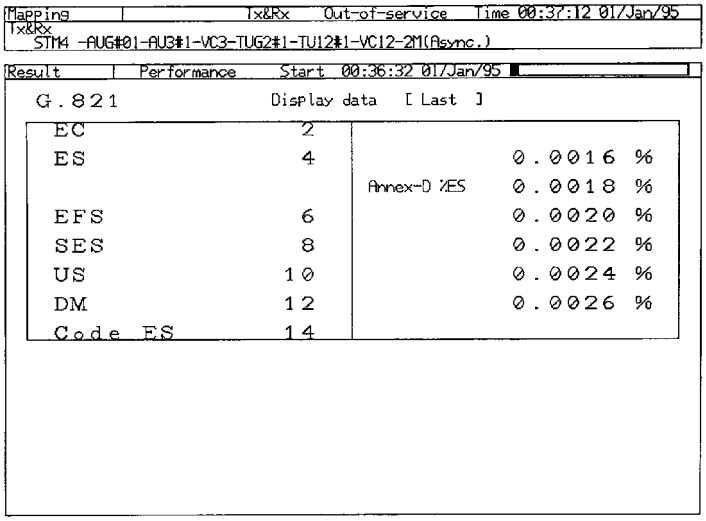


図 C-9　Result 主画面(Performance 副画面)

(1):SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe

(2):SOURce:TELecom:MAPPing:mc

(3):SOURce:TELecom:MUX:N

(4):SOURce:TELecom:MUX:ROUTe

(5):SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe

(6):SENSe:TELecom:MAPPing:mc

(7):SENSe:TELecom:DEMUX:N

(8):SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe

(9):DISPlay:RESult[:NAME]

(10):DISPlay:RESult:TIME

(11):DISPlay:RESult:PERFormance:ERRor[:G826]

(12):DISPlay:RESult:PERFomance:ERRor:M2100

(13):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:SET

(14):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:SET

(15):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:SET

(16):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:SET

(17):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:SET

(18):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:S1

(19):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:S1

(20):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:S1

(21):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:S1

(22):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:S1

(23):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:ES:S2

(24):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:SES:S2

(25):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:US:S2

(26):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXES:S2

(27):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2100:TXSES:S2

(28):DISPlay:RESult:PERFomance:ERRor:M2101

(29):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:SET

(30):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:SET

(31):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:SET

(32):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:SET

(33):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:SET

(34):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:S1

(35):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:S1

(36):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:S1

(37):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:S1

(38):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:S1

(39):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:ES:S2

(40):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:SES:S2

(41):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:US:S2

(42):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXES:S2

(43):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2101:TXSES:S2

(44):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:TYPe

(45):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:LIMit

(46)CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H2S1

(47):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H2S2

(48):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H24S1

(49):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:H24S2

(50):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:D7S1

(51):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:ES:D7S2

(52):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H2S1

(53):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H2S2

(54):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H24S1

(55):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:H24S2

(56):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:D7S1

(57):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2110:SES:D7S2

(58):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:TYPe

(59):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:LIMit1

(60):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:LIMit2

(61):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:ES:TR1

(62):CALCulate:TELecom:PERFormance:THReshold:M2120:ES:TR2

(63)時間の表示

:SENSe:MEASure:STIMe?

:SENSe:MEASure:ELAPsed?

(64)結果の表示

:CALCulate:DATA?

C.2.6　Delay 副画面

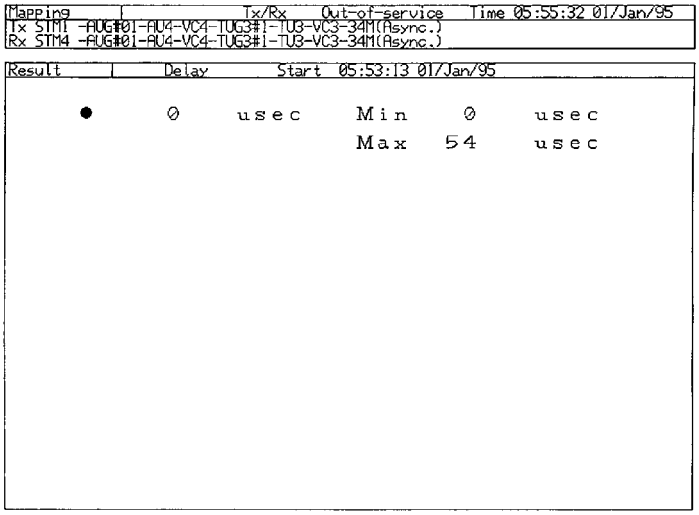


図 C-10　Result 主画面(Delay 副画面)

(1):SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe

(2):SOURce:TELecom:MAPPing:mc

(3):SOURce:TELecom:MUX:N

(4):SOURce:TELecom:MUX:ROUTe

(5):SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe

(6):SENSe:TELecom:MAPPing:mc

(7):SENSe:TELecom:DEMUX:N

(8):SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe

(9):DISPlay:RESult[:NAME]

(10):DISPlay:RESult:TIME

(11)時間の表示

:SENSe:MEASure:STIMe?

:SENSe:MEASure:ELAPsed?

(12)結果の表示

:CALCulate:DATA?

C.2.7　B2 Error 副画面

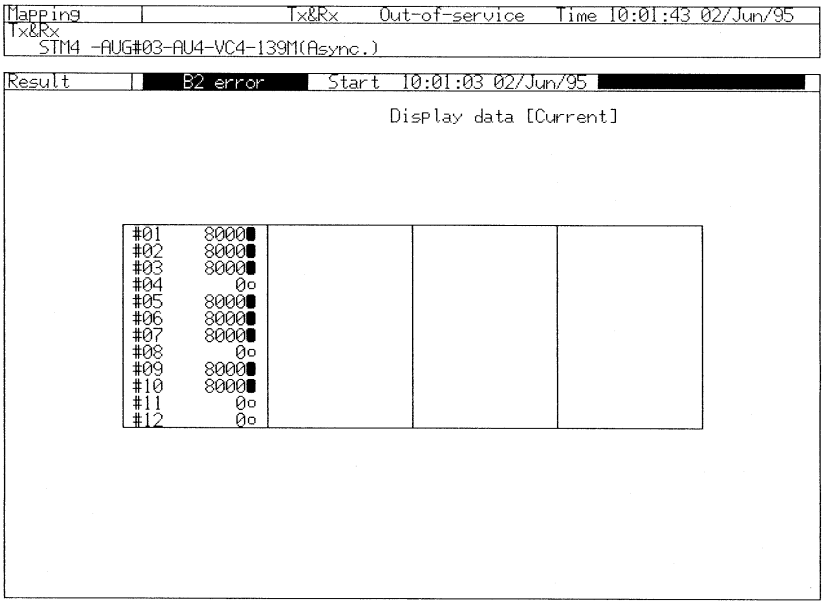


図 C-11　Result 主画面(B2 error)

(1):SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe

(2):SOURce:TELecom:MAPPing:MC

(3):SOURce:TELecom:MUX:N

(4):SOURce:TELecom:MUX:ROUTe

(5):SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe

(6):SENSe:TELecom:MAPPing:MC

(7):SENSe:TELecom:DEMUX:N

(8):SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe

(9):DISPlay:RESult[:NAME]

(10):DISPlay:RESult:TIME

(11):DISPlay:RESult:B2:MODE

(12)時間の表示

:SENSe:MEASure:STIMe?

:SENSe:MEASure:ELAPsed?

(13)結果の表示

:CALCulate:DATA?

C.3　Analyze 主画面のコマンド対応

C.3.1　Trouble search 副画面

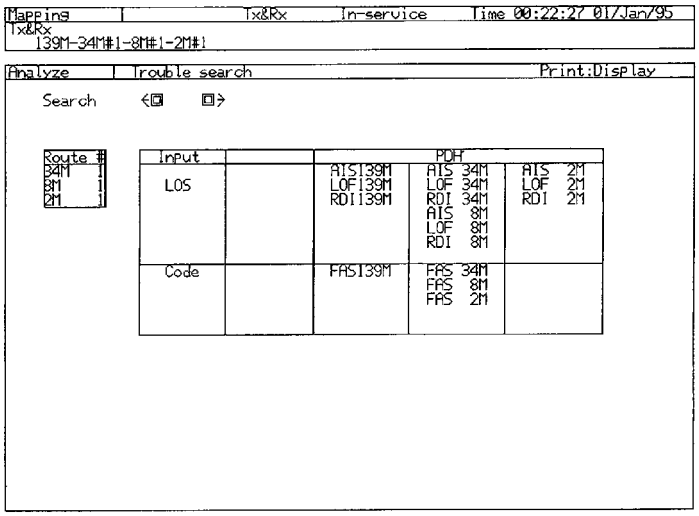


図 C-12　Analyze 主画面(Trouble search 副画面)

(1):SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe
(2):SOURce:TELecom:MAPPing:mc
(3):SOURce:TELecom:MUX:N
(4):SOURce:TELecom:MUX:ROUTe
(5):SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe
(6):SENSe:TELecom:MAPPing:mc
(7):SENSe:TELecom:DEMUX:N
(8):SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe
(9):DISPlay:ANALysis[:NAME]
(10):DISPlay:ANALysis:TSEarch:SEARch
(11):DISPlay:ANALysis:TSEarch:ROUTe
(12):DISPlay:ANALysis:TSEarch:PRINt
(13)結果の表示
　　:DISPlay:ANALysis:TSEarch:DATA?

C.3.2　Error/Alarm 副画面

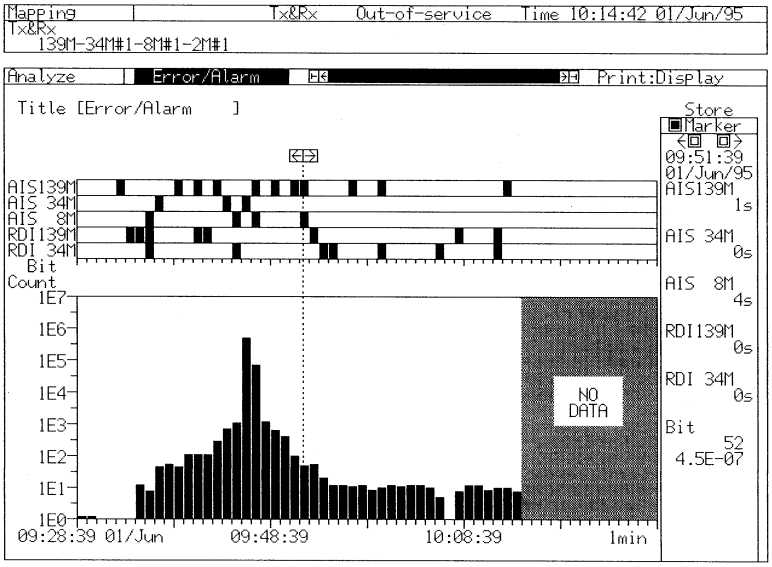


図 C-13　Analyze 主画面(Error/Alarm 副画面)

(1):SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe
(2):SOURce:TELecom:MAPPing:mc
(3):SOURce:TELecom:MUX:N
(4):SOURce:TELecom:MUX:ROUTe
(5):SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe
(6):SENSe:TELecom:MAPPing:mc
(7):SENSe:TELecom:DEMUX:N
(8):SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe
(9):DISPlay:ANALysis[:NAME]
(10):DISPlay:ANALysis:TGRaph:SCRoll
(11):DISPlay:ANALysis:TGRaph:MARKer
(12):DISPlay:ANALysis:TGRaph:INTerval
(13):DISPlay:ANALysis:TGRaph:MDISplay
(14):DISPlay:ANALysis:TGRaph:SEARch
(15):DISPlay:ANALysis:TGRaph:FROM
(16):DISPlay:ANALysis:TGRaph:ERRor
(17):DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm1
(18):DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm2
(19):DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm3
(20):DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm4
(21):DISPlay:ANALysis:TGRaph:ALARm5
(22):DISPlay:ANALysis:TGRaph:PRINt
(23):DISPlay:ANALysis:TGRaph:TITLe
(24):SENSe:MEASure:GRESolution
(25)結果の表示
　　:DISPlay:ANALysis:TGRaph:DATA?
　　:CALCulate:TGRaph:DATA?

C.3.3　OH monitor 副画面

```
Mapping        |  SDH/PDH    Tx/Rx    Out-of-service   Time 23:36:06 04/Jan/2000
Tx STM1 -AUG#01-AU4-VC4-TUG3#1-TUG2#1-TU12#1-VC11-1.5M(Async.)
Rx STM4 -AUG#01-AU4-VC4-TUG3#1-TUG2#1-TU12#1-VC11-1.5M(Async.)

Analyze        |     OH monitor

 Type [    OH     ]          ▣ Pause

 SOH #[ 3]                     POH   POH
   3  7 11 15 19 23 27 31 35  VC4   VC1
 1F6 F6 F6 28 28 28 03 AA AA   J100  V5C4
 200 00 00 00 00 00 00 00 00   B3A5  J200
 300 00 00 00 00 00 00 00 00   C202  N200
 46A 9B 9B 0A FF FF 00 00 00   G100  K400
 5BC 2B 54 01 00 00 18 00 00   F200
 600 00 00 00 00 00 00 00 00   H401
 700 00 00 00 00 00 00 00 00   F300
 800 00 00 00 00 00 00 00 00   K300
 900 00 00 00 00 00 00 00 00   N100

     S1 : Quality Unknown
 VC4 C2 : TUG structure              G1 : No remote defect
 VC1 V5 : Asynchronous               K4 : No remote defect
```

図 C-14　Analyze 主画面(OH monitor 副画面)

(1):SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe
(2):SOURce:TELecom:MAPPing:mc
(3):SOURce:TELecom:MUX:N
(4):SOURce:TELecom:MUX:ROUTe
(5):SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe
(6):SENSe:TELecom:MAPPing:mc
(7):SENSe:TELecom:DEMUX:N
(8):SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe
(9):DISPlay:ANALysis[:NAME]
(10):DISPlay:ANALysis:OHMonitor:TYPE
(11):DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SOHCh?
(12):DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PFRame
(13):DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PAUSe
(14)結果の表示
　:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SOHData?
　:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:POHData?
　:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SSMessage?
　:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:SLABel?
　:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PLABel?
　:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:VLABel?
　:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:G1LABel?
　:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:K4LABel?
　:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:Z7LABel?
　:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:MSP?
　:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:POINter?
　:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PTRace:J0?
　:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PTRace:J1H?
　:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PTRace:J1L?
　:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PTRace:J2?
　:DISPlay:ANALysis:OHMonitor:PFRame?

C.3.4　OH Capture 副画面

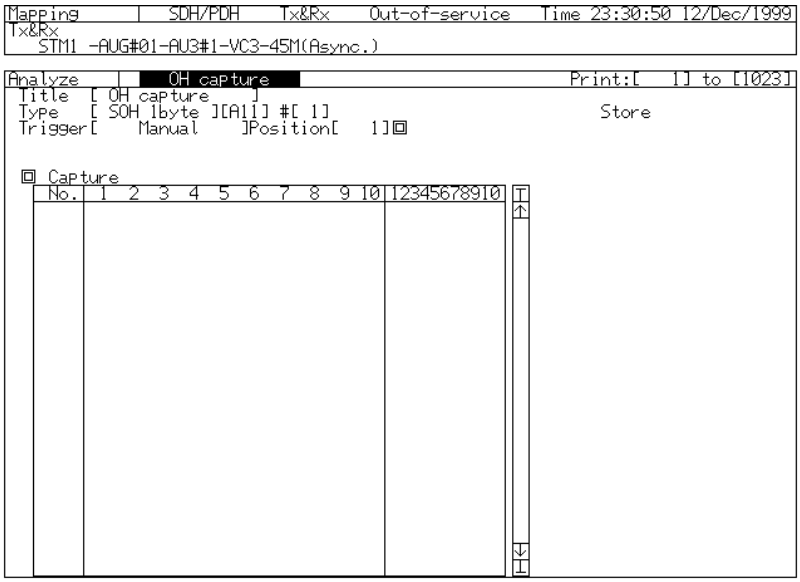


図 C-15　Analyze 主画面(OH Captuer 副画面)

(1):SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe
(2):SOURce:TELecom:MAPPing:mc
(3):SOURce:TELecom:MUX:N
(4):SOURce:TELecom:MUX:ROUTe
(5):SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe
(6):SENSe:TELecom:MAPPing:mc
(7):SENSe:TELecom:DEMUX:N
(8):SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe
(9)::SENSe:OHCapture:TYPE
(10):SENSe:OHCapture:TRIGger:TYPE
(11):SENSe:OHCapture:TRIGger:POSition
(12):SENSe:OHCapture:TRIGger:PATTern
(13):SENSe:OHCapture:TRIGger:MASK
(14):SENSe:OHCapture:STARt
(15):SENSe:OHCapture:STOP
(16):SENSe:OHCapture:STATe?
(17):SENSe:OHCapture:POSition:SOH
(18):SENSe:OHCapture:POSition:TOH
(19):SENSe:OHCapture:POSition:POH
(20):SENSe:OHCapture:CHANel
(21):DISPlay:ANALysis[:NAME]
(22):DISPlay:ANALysis:OHCapture:TITLe
(23):DISPlay:ANALysis:OHCapture:JUMP
(24):DISPlay:ANALysis:OHCapture:SCRoll
(25)結果の表示
　　:CALCulate:OHCapture:DATA?

C.3.5　Recall 副画面

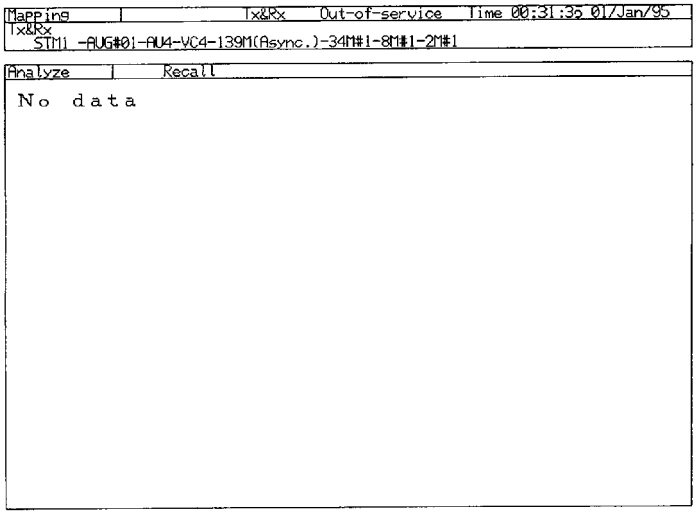


図 C-16　Analyze 主画面(Recall 副画面)

(1):SOURce:TELecom:MAPPing:ROUTe
(2):SOURce:TELecom:MAPPing:mc
(3):SOURce:TELecom:MUX:N
(4):SOURce:TELecom:MUX:ROUTe
(5):SENSe:TELecom:MAPPing:ROUTe
(6):SENSe:TELecom:MAPPing:mc
(7):SENSe:TELecom:DEMUX:N
(8):SENSe:TELecom:DEMUX:ROUTe
(9):DISPlay:ANALysis[:NAME]
(10):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:SCRoll
(11):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:MARKer
(12):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:INTerval
(13):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:MDISplay
(14):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:SEARch
(15):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:FROM
(16):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ERRor
(17):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm1
(18):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm2
(19):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm3
(20):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm4
(21):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:ALARm5
(22):DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:PRINt
(23)結果の表示
　　:DISPlay:ANALysis:RECall:TGRaph:DATA?

C.4　Setup 主画面のコマンド対応

C.4.1　Mapping 副画面

```
Setup        Mapping        [Tx/Rx]    Time 23:32:46 12/Dec/1999
 Config.[    SDH/PDH     ]  Meas. mode[Out-of-service]

 Tx Bit rate     [      156M      ]
 Mapping  [STM1-AUG-AU3-VC3-45M(Async.)                          ]

   Dummy STM     [      Copy      ]
 MUX             [      OFF       ]
 Frame           [      OFF       ]
                                     45M  Framed       [      M13       ]
                                          Xbit         [       11       ]
 Clock           [         Internal        ]

 Rx Bit rate     [      622M      ]

 Mapping  [STM4-AUG-AU3-VC3-45M(Async.)                          ]
 DEMUX           [      OFF       ]
 Frame           [      OFF       ]

                                     45M  Framed       [      M13       ]
```

図 C-17　Setup 主画面(Mapping 副画面)

(1):DISPlay:SETup[:NAME]
(2):INSTrument:COUPle
(3):SOURce:TELecom:BRATe
(4):SOURce:TELecom:MAPPing:TYPE
(5):SOURce:TELecom:MAPPing:AU
(6):SOURce:TELecom:MAPPing:TU
(7):SOURce:TELecom:MUX:MRATe
(8):SOURce:TELecom:FRAMing
(9):SOURce:TELecom:M2:CRC
(10):SOURce:TELecom:M2:MCHannel
(11):SOURce:TELecom:CLOCk:SOURce
(12):SOURce:TELecom:M1.5:FRAMed
(13):SOURce:TELecom:M1.5:CODE
(14):SOURce:TELecom:M45:FRAMed
(15):SOURce:TELecom:M45:XBIT
(16):SOURce:TELecom:DSX
(17):SENSe:TELecom:BRATe
(18):SENSe:TELecom:MAPPing:TYPE
(19):SENSe:TELecom:MAPPing:AU
(20):SENSe:TELecom:MAPPing:TU
(21):SENSe:TELecom:DEMUX:MRATe
(22):SENSe:TELecom:FRAMing
(23):SENSe:TELecom:MMODe
(24):SENSe:TELecom:M2:CRC
(25):SENSe:TELecom:M2:SIGNaling
(26):SENSe:TELecom:M2:MCHannel
(27):SENSe:TELecom:M1.5:FRAMed
(28):SENSe:TELecom:M1.5:CODE
(29):SENSe:TELecom:M45:FRAMed
(30):SENSe:TELecom:DSX
(31):SENSe:TELecom:IMODe
(32):SENSe:MEASure:GRESolution
(33):ROUTe:INPut:SELect
(34):ROUTe:THRough
(35):CALCulate:TELecom:PERFormance:TYPE
(36):CALCulate:TELecom:PERFormance:FRAMe

C.4.2　Memory 副画面

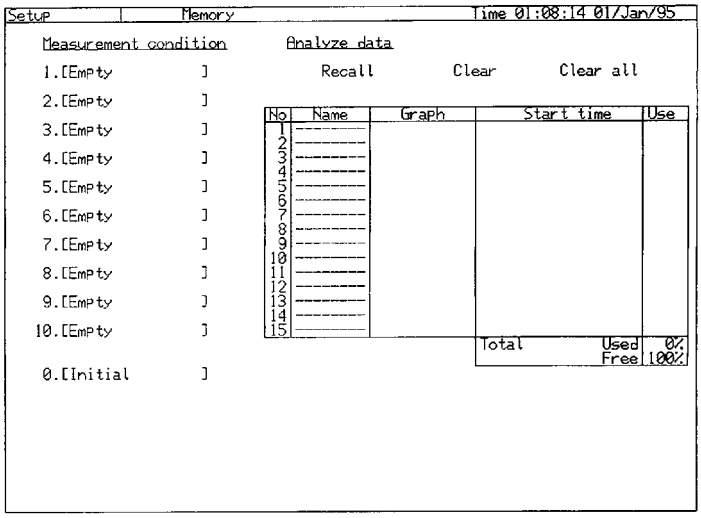


図 C-18　Setup 主画面(Memory 副画面)

(1):DISPlay:SETup[:NAME]

(2):SYSTem:MEMory:RECall

(3):SYSTem:MEMory:STORe

(4):SYSTem:MEMory:CLEar

(5):SYSTem:MEMory:LABel

(6):SYSTem:MEMory:ANALysis:LABel?

(7):SYSTem:MEMory:ANALysis:RECall

(8):SYSTem:MEMory:ANALysis:STORe

(9):SYSTem:MEMory:ANALysis:CLEar

(10):SYSTem:MEMory:ANALysis:ACLear

C.4.3　Print 副画面

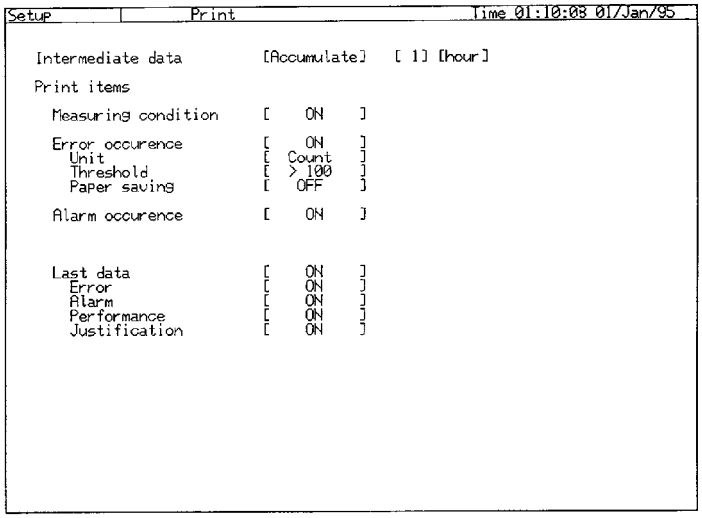


図 C-19　Setup 主画面(Print 副画面)

(1):DISPlay:SETup[:NAME]

(2):SYSTem:PRINt:IDATa[:TYPE]

(3):SYSTem:PRINt:IDATa:PERiod

(4):SYSTem:PRINt:MCONdition

(5):SYSTem:PRINt:ERRor:SET

(6):SYSTem:PRINt:ERRor:TYPE

(7):SYSTem:PRINt:ERRor:THReshold:EC

(8):SYSTem:PRINt:ERRor:THReshold:ER

(9):SYSTem:PRINt:ERRor:SQUelch

(10):SYSTem:PRINt:ALARm:SET

(11):SYSTem:PRINt:LDATa:SET

(12):SYSTem:PRINt:LDATa:ERRor

(13):SYSTem:PRINt:LDATa:ALARm

(14):SYSTem:PRINt:LDATa:PERFormance

(15):SYSTem:PRINt:LDATa:JUSTificat

C.4.4　OH preset data 副画面

```
Setup        OH Preset data                                   Time 01:12:16 01/Jan/95
  Select      [  STM   ]   ☑Default
  Bit rate    [ 156M]                                          POH      POH      POH
  SOH#[ 1]    1   2   3   4   5   6   7   8   9                VC4      VC3      VC2/1
              A1  A1  A1  A2  A2  A2  J0 X18 X19               J1       J1       V5
             [F6][F6][F6][28][28][28][01][AA][AA]             [00]     [00]     [**]
              B1 X22 X23  E1 X25 X26  F1 X28 X29               B3       B3       J2
              --[00][00][00][00][00][00][00][00]              --       --       [00]
              D1 X32 X33  D2 X35 X36  D3 X38 X39               C2       C2       N2
             [00][00][00][00][00][00][00][00][00]             [12]     [01]     [00]
              H1  H1  H1  H2  H2  H2  H3  H3  H3               G1       G1       K4
              --  --  --  --  --  --  --  --  --              [00]     [00]     [00]
              B2  B2  B2  K1 X55 X56  K2 X58 X59               F2       F2
              --  --  --  --[00][00] --[00][00]               [00]     [00]
              D4 X62 X63  D5 X65 X66  D6 X68 X69               H4       H4
             [00][00][00][00][00][00][00][00][00]             [00]     [00]
              D7 X72 X73  D8 X75 X76  D9 X78 X79               F3       F3
             [00][00][00][00][00][00][00][00][00]             [00]     [00]
             D10 X82 X83 D11 X85 X86 D12 X88 X89               K3       K3
             [00][00][00][00][00][00][00][00][00]             [00]     [00]
              S1  Z1  Z1  Z2  Z2  M1  E2 X98 X99               N1       N1
             [00][00][00][00][00][00][00][00][00]             [00]     [00]

  Path trace  J0    [ON ][CRC OFF]
              J1-HP[ON ][CRC OFF]
              J1-LP[ON ][CRC OFF]
              J2    [ON ][CRC OFF]
    Pattern       [J1-HP]
     [ TRACE PATTERN  :Anritsu MP1552B SDH/PDH/ATM Analyzer          ]

  DCC external      [D1-D3 ]
```

図 C-20　Setup 主画面(OH preset data 副画面)

(1):DISPlay:SETup[:NAME]

(2):SOURce:TELecom:OHPReset:SOHPattern

(3):SOURce:TELecom:OHPReset:POHPattern

(4):SOURce:TELecom:OHPReset:DEFault

(5):SOURce:TELecom:OHPReset:PTCondition

(6):SOURce:TELecom:OHPReset:PTData

(7):SOURce:TELecom:OHPReset:DEXTernal

(8):DISPlay:SETup:BRATe

(9):DISPlay:SETup:SOHCh

(10):SOURce:TELecom:OHPReset:SSMessage

(11):SOURce:TELecom:OHPReset:SLABel

C.4.5　System 副画面

```
Setup                    System                          Time 23:18:12 12/Dec/1999

  Standard                [        SDH        ]
  Protection Protocol     [       G.783       ]
   (K1/K2 Translate)
  Buzzer                  [        OFF        ]
  Order wire              [        OFF        ]
  Graph resolution        [       15min       ]
  Date & Time adjust      [23:18:12 12/Dec/1999]

  GPIB Interface          [      Control      ]
    Address               [          1        ]
  RS-232C Interface       [      Printer      ]
    Speed                 [        9600       ]
    Character length      [        8bit       ]
    Parity                [        None       ]
    Stop bit              [        1bit       ]
    Flow control          [     X-ON/X-OFF    ]
```

図 C-21　Setup 主画面(System 副画面)

(1):DISPlay:SETup[:NAME]

(2):SYSTem:DATE

(3):SYSTem:TIME

(4):SYSTem:BUZZer

(5):SYSTem:COLor

(6):INSTrument:STANdard

(7):SYSTem:PROTection

(8):SYSTem:ORDerwire:VOLume

(9):SENSe:MEASure:GRESolution

C.4.6　Floppy disk 副画面

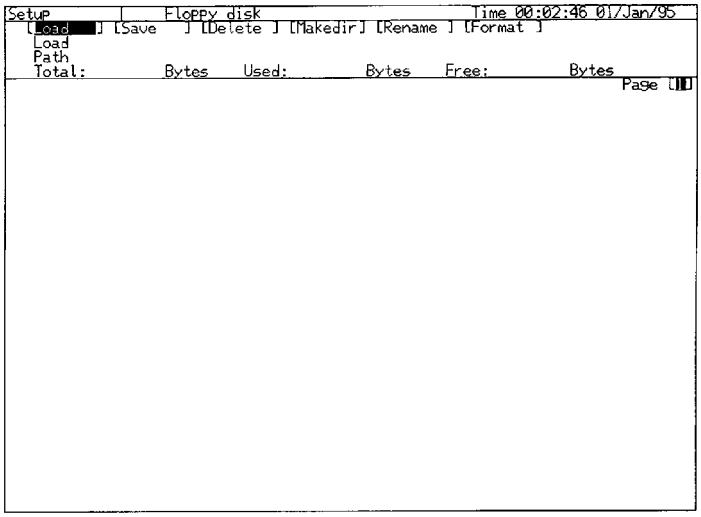


図 C-22　Setup 主画面(Floppy disk 副画面)

(1):DISPlay:SETup[:NAME]
(2):DISPlay:SETup:FDPage?
(3):SYSTem:MMEMory:RECall
(4):SYSTem:MMEMory:STORe
(5):SYSTem:MMEMory:DELete
(6):SYSTem:MMEMory:MDIRectory
(7):SYSTem:MMEMory:REName
(8):SYSTem:MMEMory:INITialize
(9):SYSTem:MMEMory:CATalog?
(10):SYSTem:MMEMory:CDIRectory

C.4.7　Auto setup 副画面

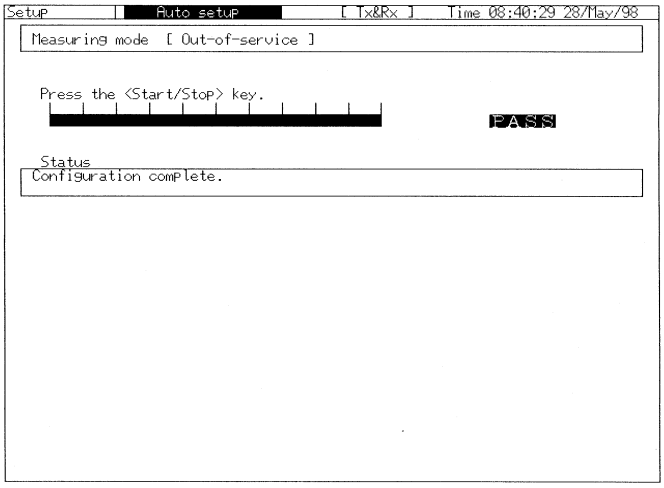


図 C-23　Setup 主画面(Auto setup 副画面)

(1):DISPlay:Setup[:NAME]

C.4.8　Self test 副画面

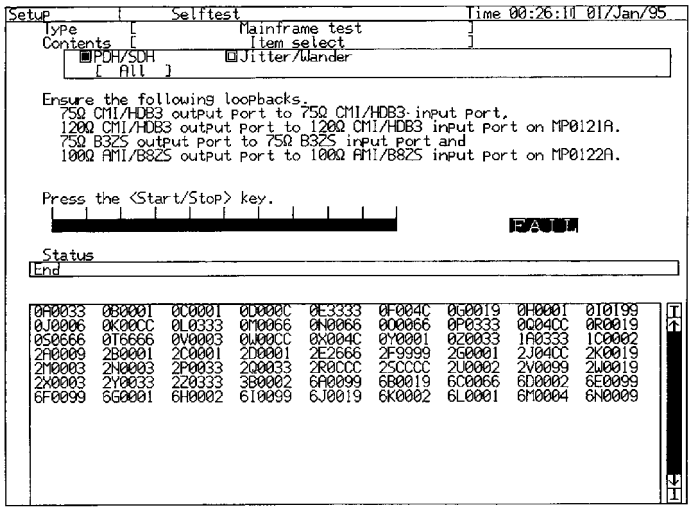


図 C-24　Setup 主画面(Self test 副画面)

(1):DISPlay:SETup[:NAME]
(2):TEST:TYPE
(3):TEST:ECODe?
(4):TEST:RESult?
(5):TEST:CONTent:TYPE
(6):TEST:CONTent:PSDH
(7):TEST:STARt
(8):TEST:CONTinue
(9):TEST:STOP
(10):TEST:SCRoll

C.4.9　Custom function 副画面

```
SetuP        Custom function                    Time 23:34:21 12/Dec/1999

RDI Detection/Remove
  VC4-Xc/VC4/VC3          [  G1(b5)  ]

  VC2/VC1                 [  V5(b8)  ]
```

図 C-25　Setup 主画面(Customer 副画面)

(1):DISPlay:Setup[:NAME]
(2):SYSTem:COUPled:M1656
(3):SYSTem:RDI:VC43
(4):SYSTem:RDI:STS
(5):SYSTem:RDI:VC21
(6):SYSTem:RDI:VT
(7):SYSTem:MPAuse

C.5　正面パネル・その他のコマンド対応

表 C-1　正面パネル・その他のコマンド対応表

各	Start/Stop キー 測定	:SENSe:MEASure:STARt :SENSe:MEASure:STOP :SENSe:MEASure:STATe?
キ	自己診断	:TEST:STARt :TEST:STOP :TEST:STATe?
	Print キー	:SYSTem:PRINt:ENABle
	Print Now キー	:SYSTem:PRINt:COPY
	Paper Feed キー	:SYSTem:PRINt:FEED
	History キー	:SYSTem:LED:HISTory
	History Reset キー	:SYSTem:LED:RESet
その他		:SYSTem:PRINt:TEXT :SYSTem:ERRor? :SYSTem:VERSion? STARus Subsystem